



## 2000.06.02 Fri もし私がデリケートだったなら

---

仕事も終わり、近所のスポーツクラブに行ってひと泳ぎしてきた。今日は時間がなかったのであまり泳げなかった。お風呂とサウナもついでに入ってさっぱり。さあ、帰ろうかとスポーツクラブを後にし自転車を走らせたと同時に雨がポツリポツリと……。こういうとき、デリケートな人だったら雨宿りするか傘を買うんだらうな、なんて思いながらこぎすすめていった。雨はますます激しくなっていく。せっかく洗った髪があ〜！！そして全身ずぶぬれで帰途に着いたのだ。

途中暗くてよく見えず、危うくカエルをひきそうになってしまった。嬉しそうに道端に佇んでいた彼を踏まなくてよかった。ところでここに越してきて1年になるが、東京でカエルを見たのは初めてで、ちょっと感動……。

土曜で休日。私は一人でゆっくりと過ごしていた。でも、あまり一人で家にいると、だんだん気が滅入ってくる今日このごろ。おまけに結構激しい地震もあり、ビビる。このボロアパートが壊れるんじゃないかと思った。

夜から私は外に出た。明日は横浜の開港祭にお弁当を持って出かけるため、まずはいつもの肉屋へ。そこはスーパーよりも新鮮なお肉を安く売っているのである。鳥のささ身を見つけて、明日はこれをフライにすることに決定。

まだ食料の買い出しは終わってないのだが、ちょっと寄り道して、ビルの小さなブースでシャツとTシャツを購入。久しぶりに服を買ってなんだかうれしくなる。

それから東急ストアへ。そこで買い忘れた野菜や、漬物や、おむすびの具なんかを買う。小さなちくわにチーズなんか入れておかずにしてしようと決意（チーちく）。

普段ひとりでは買わないスイカが私を呼んでいたため、半カット¥500で購入。明日のデザートにしても余るかな？洋服の袋とスーパーの袋を両手に持ち、はるばる歩いて、アパートに着く。スーパーの袋、計ると6.5キロもあった。明日は左の腕、筋肉痛かな。

もしも明日が雨ならば・・・お出かけは中止となる。

今日は日中快晴で、予定通りお弁当を作り開港祭へ。7時半に起きたのだけど、準備が遅れて11時の待ち合わせに15分遅刻してしまった・・・、どうしていつもこうなんだろうなー。

友人と一緒に、ランドマークを左に見上げながら臨港パークへ。今日の桜木町は非常に混んで、臨港パークも、出店やフリーマーケット、ステージなどもやっていたので賑やかだった。とりあえず、少しでも日陰になっているところをぐるぐる回って探して、やっと落ち着ける場所にたどり着いた。まずはビールで喉を潤す。青空の下で飲むビールは最高！歩き疲れていたのも、一気に缶1本あけてしまった。

お弁当を食べて、他愛もないおしゃべりして、しばらく日光浴した後は、ワールドポーターズにちょっと出かけて買い物。食料品、雑貨、洋服、インテリア・・・、と、いろいろ雑多な店が入ってて飽きなかった。見て回るうちにいつのまにか日が暮れていた。

8時過ぎからさっきの臨港パークで花火が始まった。行くと昼以上にすごい人だった。この夏初めての花火だったけど、期待以上にすごくて感動・感激！ショーのように音を流しながら花火を打ち上げるというもので、またそれが迫力を増した。20分くらいの時間の中、釘づけになって空を見上げていた。私は白色の花火で、雪みたいに散っていく感じのものがすごく好きだ。そういうのもいっぱいあって、満足満足。

打ち上げるタイミングとか違ってきちゃうと、まとまりがなくきれいじゃなくなるんだろうな、って思う。あらためてこの計算され尽くした芸術作品のすごさを認めさせられた。

この日彼女と飲んだ缶ビールは、しめて7本。お腹がでるんじゃないかと心配です。

夏の夜が好きだ。夏の夜、外に出て少し涼しい風に当たると、なにかちょっと心地よい胸騒ぎがする。

近所では、人々も遅くまで外を歩いている。Tシャツ姿で、サンダルで。そんな開放的な雰囲気が好きだ。

家々の明かりがまだ灯されてるのを見ると、安心する。浴室のそばを通ったのか、石鹸のいいにおいがする。台所で後片付けをする音が聞こえる。そこから家族の声が聞こえてくると、どうしようもないせつないような気分になる。それぞれの家に家庭があり、それぞれの生活を送っている、という当たり前のことが大切に思えてくる。

大切なものは意外と身近にあるものなのだろう。

都会の人はよく歩く。駅から徒歩20～30分の所に住んでいる人でも、バスも自転車も使わずに歩いて通う人が結構いる。買い物に行ったり、遊園地に行ったりしても、みんなよく歩く。たとえば、ランドマークに行って地上階から最上階まで見尽くしたあと、クイーンズスクエアをくまなくまわって、それからワールドポーターズに行った後、さらに海岸通まで歩いていくといった感じだ。

私の田舎ではどこに出かけるにしても必ず自転車やバイク、車を使う。駅までどんなに近かろうと、歩いて通う人なんてめったにいない。

昔は私も歩くのがおっくうで、ちょっと街をぶらぶらしていただけても、すぐ疲れてしまっていた。でも、こっちに出てきてからは何かと歩くことが多くなって、足腰が鍛えられた感じがする。地下鉄に乗っても、連絡通路は何百メートルもあるところばかりだし、横浜に住んでいたときはとにかく坂が多かったのだ。8時間立ちっぱなしのバイトなんていうのもけっこうやったし。

今は、そのおかげか、歩くことに慣れて、遊園地で1日中歩き回って遊んでいても、足が棒になることってあんまりない。家と駅との15分ずつの往復も当たり前のようにやっている。

歩いても疲れなくなったというのは、自分としては楽しみが増えた気がするのだが、一緒に歩く人にとってはやっかいなものらしい。このごろは私がマイペースで歩くものだから、相手を疲れさせてしまうまでになってしまったようだ。嫌われない程度に、休憩をはさみながら歩くことを心がけよう。

歩くことは楽しい。自転車や車で通りすぎるよりもいろいろなことが発見できるから。「あ、こんなお店、新しくできたんだー。」「紫陽花が咲いてる、もう梅雨なのねー。」なんて風情を楽しむこともできる。

私の実家は駅まで歩いて20分～25分くらいなのだが、帰省すると母親が車で駅まで迎えに来る。たまに母が迎えに来れないときは、「タクシーで帰ってきなさい。」と言われる。でもタクシー代が惜しいので歩いて帰ると、驚かれ、変な顔をされる。「珍しい子ねー。」と。

地元民にもこの歩くことの楽しさを教えてあげたい。



小さなテーブルを囲んだ瞬間、長い時の隔たりも消し去られ、大切な人たちとの大切な時間が始まる。今日はちょっと幸せ気分。仲間との再会がこんなにもいとおしい。

去年結婚した彼は、愛について語りだした。

結婚は長い長い人生を共に過ごしていくのだからそれなりの覚悟を持ちつづけなくちゃ、と思っていた。しかし、彼には別にそんな気負いは見られない。ただ当たり前、妻を、家庭を大切にするのだ。長い長い人生の中で、恋だってするときもあるだろう。しかし、夢は夢。夢を現実にしようと思った時点で崩れてしまうものだ。

ただ当たり前のように愛する。そこには責任や思いやりといった難しい問題はなく、その人の気持ちそのものなんだ。

自然に、素直に人のことを愛せるかな。私もきっと。



あなたはいつもこわい顔をしている

だれにだって気を許さない

でもあなたの歌が

こんなにも激しくて長いのは

きっと話したいことが

伝えたいことが

たくさんあるからだろう

誰かといちばん最初に食事を共にするとき、ちょっとした緊張感がある。

同じ人間といえども、好みは人それぞれ違うし、食べ方も十人十色。

この人はどんな物を食べているんだろう、どんな食べ方をするんだろう。

と、食べる前はいろいろと思いをめぐらせる。

その人の食べる物や食べるしぐさなど、ちょっとしたことが

その人を知るきっかけになって、おもしろい。

だから私は人と一緒に食事をするのが好きだ。

死ぬときってどんな死に方がいい？

自分で自らの命を絶つ勇気も

病気で苦しんで死ぬ覚悟もない

かといって天寿を全うするには

ふさわしくない存在

誰かの憎しみを一身に受けて

殺される死に方が

自分に一番ふさわしい

殺されるかもしれない不安の中で

そう思った

2人での時間をどういうふうに使ってますか？  
食べたり、飲んだり、映画見たり、おしゃべりしたり？

2人での時間とは、ある意味で浪費との闘いだ

具体的に何かをやっていないときは  
いかに時間の浪費をできるか  
それが2人の関係で重要になってくる

無駄な時間をただの無駄で終わらせるか  
それとも無駄な時間を意味あるものにするか

時間の浪費ができなくなって  
行き詰まりを感じてしまったとき  
私達は終わりを迎えていた

一緒にいる時間を何も考えずに過ごせることは  
すごく幸せなことである

2000.06.19 Mon 夢

---

母が夢に出てくることはそう珍しいことではないのだけど、あまりにも印象的な夢だったので場面だけばっちり覚えている。

私は母に「お兄ちゃんと私、どっちが好き？」と尋ねていた。母は渋い顔をして「お兄ちゃん」と答えていた。

夢の中の私は母の言葉を聞いた瞬間ひどく失望していた。ただそれだけの夢なのになぜか脳裏から焼き付いて離れない。

この夢は何を意味するのだろうか。私には愛が足りないのだろうか。

父へ

あなたは今ごろ何処で何をしているでしょうか

あなたとは小さい頃にもう別れてしまったけど

今でもあなたとの思い出は鮮明に残っています

大人になって

あなたと時々会うときには

あなたの曖昧な態度で私は苦しみました

母にそのことを告げると

父は誰よりもお前のことを思っているよ

だって昔は目に入れても痛くないほどに

かわいがっていたんだから

との答えが返ってきました

私はその言葉を聞いたとき

うれしかったのか悲しかったのか

わけのわからない涙がこぼれました

はじめてそのとき

あなたと母のそばで過ごしたかったと

思いました

一昨年

あなたが病で倒れたとき

あなたの頬は冷たかったけど

あなたの瞳は二度と開かなかったけど

あなたの生き写しのような

私の姿を誇りに思いました

何にもしない日があってもいいよね？

しかし在宅勤務というものは私には合わないものかもしれない。

一人で仕事しててもつまらないよー。もっと人と接する仕事がしたいよ。

メリハリが欲しい。最初は一人でもメリハリをつけて仕事してたんだけどね。

やはり長く働いているとダラダラとしちゃうようになって。

職をそろそろ真剣に探そうかと思う今日この頃。

よし、夢に向かって動き出すか。

やるときゃやらねば！



梅雨はどこにいったの？  
こんなじゃ紫陽花も枯れちゃうよ  
まあまた雨も降るようになるだろうけど

とにかくこんな天気が続くと暑いわけで  
そろそろエアコンの出番かな？  
去年はいつごろから稼働させたっけな

東京の夏は九州に住んでたときより  
神奈川に住んでたときよりつらい  
異常な蒸し暑さだ

私はエアコンの涼しさとか温もりとか  
あんまり好きじゃないんだけど  
(なんだか人工的なものは快適ではないし、  
環境問題も気になる)  
東京に住んでる限りまた使う日がやってくるだろう

汗かいてでも使わずにいてやろう  
汗かいたら水風呂に入ろう  
意地でもエアコンONにするもんか  
なんて今は思ってるけど  
そういうわけにはいかないだろうな

いつまで使わずにいられるか  
我慢比べだ！！  
・・・なんてね。

今日、毎日新聞の夕刊を読んで、料理研究家の栗原はるみさんのレストランが存在することを知った。オープンしたのは結構前だったのね、知らなかった。

そのお店はランチタイム・ティータイム・ディナータイムの3部制になってるらしい。私は時々栗原さんの姿をテレビなんかで見るけど、特に興味を持ったのは栗原さんの出すお菓子の本だ。彼女の本に載っていたお菓子はどれもすごくおいしそうで食べたくなるようなものばかりだったのだ。ティータイムに行けばデザートなんかもメニューが豊富なのかなあ。うゝーん、いつか足を運んでみたい。

栗原さんは料理を楽しみながらやっている、という感じがして好きだ。「料理研究家」みたいな「仕事」になっちゃうとどうしても技術なんかの目先のことばかりにとられるようになっちゃうかもしれない。でも彼女の場合生き生きと楽しそうに料理をしているから、見てるこっちまで嬉しくなっちゃうのだ。

そう、料理は義務じゃなくて、楽しむものだよね。気持ちがこもってる料理ってそれだけでおいしいと感じられるもの。だから、毎日の食事を義務として作るか、楽しんで作るかの違いで、食べる側の気持ちも違ってくるよね。

私は一人でも結構料理はする方だけど、それはコンビニなんかに行ってもあんまり食べたいものが見つからないし、やっぱり作ることって楽しいと思うから。昔は母に台所で助手みたいに料理を手伝わさせられるのがいやだったけど、今は傍らであの時見ていたことが役に立っているから、感謝している。

豆腐はコロッケにするよりそのまま食べる方がうまいと思う。ワインもジュースと混ぜたカクテルより、そのまま飲んだ方がうまいと思う。某居酒屋にて。

人でも、食べ物でも、音でも、生まれたままの姿の方が人に直に訴えかけてくる気がする。

外見やコトバを飾っても本当の人間は見えない。自分の本性を利害計算なく表す方が素直で愛せる。

フルーツも生の果実をそのまま食べることに意義がある。これが木からぶら下がってたそのままの姿なんだ。そこでは生物の不思議さというか神秘が感じられる。

シンセの作られた音よりアコースティックなものの方がココロに響く。マイクを通した歌声より、そのまま聴いている方がダイレクトに感じる。

純粋とは、生命の実感である。

- ・洗濯物が乾かず、布団が干せず憂鬱
- ・長いパンツ履いて外に出ると必ず泥がはねる（歩き下手？）
- ・どこか室内（電車、店）に入ると傘を忘れる（折りたたみだったら大丈夫）

今日で香港が中国に返還されてからまる3年。私は96年の12月、97年の8月、98年の7月に香港を訪ねた。最初はホテルに、後の2回は知り合いの家に滞在した。

返還前と返還後でどこが変わったのかはあまり見分けられなかった。工事中の建物が増えていた、ということくらいだろうか。

知り合いの家のすぐそばに大型のスーパーがあり、私はそこに行くのが好きだった。特に最後に行ったときはちょうど台風が来ていたときだったので、どこにも出かけられずにスーパーの中をよく物色していた。

香港のスーパーには多種多様の食材が並べてあり、見ているだけでも面白い。スターフルーツ、ドリアン、などといった南国の果物もたくさんあり、特殊な香りが漂っていた。他にも、例えば肉や魚でも日本では絶対食べないような種類のものが多いし、お菓子でもさまざまな国のものがある。日本のスナック類なんかも多くて、ちゃんと広東語のパッケージになっている。

最初に友達から香港に行こうと誘われた時には、私には、なんだかブランド品の買い物のイメージしかなくて、あまり乗り気ではなかった。しかし、実際に行ってみるとすごく魅力的な街だと感じて、それからリピーターになってしまった。

確かにブランド物を買いたるために行く日本人も多いが、そういう目的がなくても十分楽しめる街だと思う。私が好きになった面は、とにかく彼ら現地の人にはパワフルでエネルギッシュなところ。よく食べよく飲みよくしゃべる。見ているだけで元気が出る。

香港には英国風のどっしりした建物や通りと中国の庶民的な所が混在していて、そのギャップもまた面白い。街を歩けばホントにいろんな国の人と出会える。まさに人種のるつぼである。

私が海外に行ったのはこの香港を3回訪れただけで、他の国にも行ってみたい気もするのだが、香港もまだまだ知らない面が多くて、もっと探求したい気持ちも強い。それくらい興味のひかれる街である。

私はお酒が好きだ。店に飲みに行くのも好きだし，家でカクテルなど作って飲むのも好き。そして野外でバーベキューやお花見をしながら飲むという雰囲気も好き。

でも納得いかないことが一点。なぜ，「居酒屋」や「バー」でない普通の飲食店と思われる所が「お飲み物は何にいたしましょうか。」と席に座るなりドリンクの注文を取りにくるのだろうか。焼肉を食べに来たのに，お好み焼きを食べに来たのに，中華料理を食べに来たのに，なぜ飲み物から注文を取るのだ！！飲みたい時には自分で注文するわい！！

まあ，このごろは飲むつもりがない時にははっきりと「いりません」と断れるようになったけど，以前は流されて，飲みたくもないのに頼んでた自分でした。

「お飲み物は何にいたしましょうか。」と真っ先に聞かれて「いりません」と答える客はそうそういないと思われる。そういう店ではなにかのドリンクを頼むのが当然だと思われるから，食事だけするのは気がひける。こういう私って小心者かなあ。でも，飲みに来てないときは「水かお茶でいいのに」って思うことありません？？

某乳製品会社が食中毒問題でつぶれそうな勢いである。一度そういう問題を出してしまえば食品を扱う会社には大きな損害となる。食べ物は直接人の口に入るものだから絶対安全でなければならない。安全だという前提に人々はその製品を買い、口にする。信頼できない食品は買わなくなるのが当然だろう。

私がバーで働いていたときに、調理場でも仕事をする時があったが、責任者からは、とにかく調理場は清潔にして、菌を寄りつかせないように、と口をすっぱくして言われていた。従業員一同、神経質なほどに衛生管理には気を配っていた。「一度でも何か問題が起こればこんな店はやめる他はない。」と言っていたことが今回の事件で改めてよく分かる。

2000.07.08 Sat 誕生日

---

今日は貴ちゃんの誕生日だった。彼女には大切な人がいるからその人と過ごす予定だったのだけど、急遽会えなくなってしまった。そこで友達に私が誕生日当日のパートナーになった。

大切な人と会えずに最初は少し元気がなかった彼女。でも他愛もないおしゃべりをしているうちに、いつもの明るい顔を取り戻していた。

彼と会えなかったのは残念だったけど、私がそばにいてくれて良かったと言われて嬉しかった。

外はすごい雨だったが、2人のいるレストランでは穏やかな時間が流れていた。



## 2000.07.11 Tue エアコン稼動開始

---

先週土曜、とうとうエアコンのスイッチを入れてしまった。どうも人工的な風は好きになれないのだが、客が来てるときは快適にしてやらなくちゃいかんだろうなあ。

もう一つの暑さ対策として扇風機があるのだが、扇風機は昔から使う習慣がないのだ（祖母の家にはあるが）。だから扇風機を見るとすごく恐怖を感じてしまう。あの羽根が自分に向かって飛んでくるような。ブ～ンって。

**2000.07.11 Tue** スパゲティ

---

カルボナーラを作った。他の料理と同時進行だったので、できあがったカルボナーラをそのまま放っておいたら、なんと煮込みスパゲティに変身してしまった。コシのないふにゃふにゃしたスパゲティほどまずいものはない。できてしまった料理は手早く皿に盛りましょう。

私はのんびり屋だから自分の今の環境を無理に変えたりはしない方だ。

でもそんな私が、「今のままでいいのかな」って強く思う。

将来進みたかった道から外れている今、どこで軌道修正しようかと焦っている。

どこで今の仕事に見極めをつけ再出発するのか、計画を立てなければ。

2000.07.12 Wed 兄

---

町田に住んでいる兄と久々に話をした。兄とは年に3～4回ほどしか話さない。お互い、ちょっとしたことでは連絡をとらない性格なのだ。今回は私の方から電話した。「夏は実家に帰るの？帰るんだったらいつ頃になりそう？」と。兄は今夏は帰らないそうだ。冬に長く帰っていたし、8月は仕事があるから、と言っていた。でも実家に持って帰ってほしいものがあるので、私が帰省する前に一度会おうということだった。そんな感じで私たちは電話を終えた。兄弟では多くを語らない。でもこんな風に声を聞くとなんだか安心する。

2000.07.13 Thu BON JOVI

---

先輩とBON JOVIのライブに行ってきた。東京ドーム広すぎ。アリーナ席ではなかったけど、結構いい席だと思ってたのに、遠い～！ おお～い、ジョニー！！って感じだった。でも、ジョンの声が会場いっぱい響き渡ったとき、姿は小さくても、私の全身に音楽が伝わってきて鳥肌が立ってくるのが分かった。

「It's My Life」で盛り上がり、「Bed of Roses」に酔いしれ、「You Give Love A Bad Name（禁じられた愛）」ではじめて・・・。一気に2時間あまりが過ぎてしまった。洋楽のライブに行ったのは初めてだったけど、こんなに熱いもんだとは。すべての音がストレートに身体の奥までしみこんできて、もう日常の何もかもを忘れてしまうくらいライブに溶けてしまった。

やはり彼らと彼らの音楽は最高。世代が違うのか、20代に満たない人達ってあんまりいなかった気がする。もっと若い人にも聴いてほしいな。

2000.07.15 Sat 理想

---

私はいつしか人と離れてゆく  
みんな通りすがりの人と変わりはない  
出会いとはさよならをするためにあるものかな  
きっとそうじゃないってことは分かってるけれど  
いつも逃げ腰の自分がいる  
私はこのままどこに流れ流れてゆくんだろう

2000.07.15 Sat 中華街

---

久々に横浜中華街に足を運んだ  
金曜の夜だというのに人通りは少なめで活気のなさを感じた  
好きな場所であるだけに、とても寂しい気がした  
バー「M」は相変わらずの客の入りで  
私達を含めてたった3組しかいなかった  
こんな人のいない店内で  
クーラーだけがフル回転していた

今日は久々に運動した。バスケットを20～30分やっただけだったが、汗が滝のように流れ落ちてスカッとした。

が、終わってから「飲みに行くぞー」と誰かが言ったとき、いつもの私ならパブロフの犬のようにすばやく反応するのに、今日に限っては鈍いやつだった。

飲みに行ってもペースが遅くて食欲もない。

どうもこないだの金曜から調子がおかしい。

週末飲みっぱなしのせいもあるだろうが、エアコンのきいた部屋にずっといるのも良くないのだろう。つけっぱなしにしたままの部屋で寝てしまうのが一番良くない。寝てるときは涼しくて気持ちのよいものだが、起きたらだるさがどっとくる。

冷房・暖房にあたりっぱなしだと身体にある体温調節の機能がうまく働かなくなるというが、今それを実感している。

家では風通しをよくして、自然の風にあたり、汗をかいたらシャワーを浴びるのが最終的には快適なのだと思う。



ふと「海で」泳ぎたくなって、ひとり海水浴に出かけた。仕事は自主休暇で。天気が最高に良くて、窓を全開にしてドライブしたら、やなことなんか吹っ飛んでしまう。

伊豆半島を半周くらいした所に「弓ヶ浜」という海水浴場があって、そこに車をとめて水着に着替えると一気に海の中へ。

想像してたよりも水の中は冷たかった。

結構遠くの方まで泳いでいくと地に足がつかなくなりドキドキした。

空を見ながらぶかぶか浮かぶと、視界にあるのはただ青い空。

太平洋は大きくて、このちっぽけな、いち生物の私を包みこんでくれる。

なぜかここが私の帰る場所・ふるさとのような気がした。

平井堅さんのアルバム「S t a r e A t」を聴いた。最近の曲よりPOPなものが多くてなんだか元気になれるアルバムだった。

学生の時、96年の大学祭で平井堅さんのミニライブを見た。うちの大学出身だということで実行委員会が呼び寄せたらしい。背の高い細身の身体で関西弁をしゃべっていたのが印象に残っている。それと顔を苦しそうにゆがめて心をこめて歌う姿も。

「S t a r e A t」を聴くと、当時ライブで聴いた曲が次々と思い出されて、懐かしい気分になった。「会いたいよ」「横顔」など、改めて聴いて、いい曲だなあ、としみじみ。「王様のレストラン」のエンディング・テーマも清々しいメロディでいいな。

彼の場合本当に歌が好きで歌いつづけているんだなあ、と思う。これからも流行に押しつぶされないように、自分のスタイルを貫いて行ってほしいな、と思う。

2000.07.20 Thu ピザ

---

おなかがすいた。一人なのになぜかピザが食べたくなって、宅配ピザを注文した。チーズたっぷりホワイトソースたっぷりのピザ，これ1枚何キロカロリーあるんだろう，なんて思いながらやっところさ1枚たいらげた。おなかいっぱい。満足。

今日1日の食事はこれ一食。たまにはこんな日もあっていい（のかな）？

今日も関東地方はいいお天気！きれいな空でした。雲一つない空もいいけど、今日みたいに雲がちらほらと浮かんでいるのも好きだなあ。雲が光に当たるとなんであんなにきれいなんだろう。白というより銀色に見えるんだね。

そんな天気の中で、今日は洗濯をしました。でも、・・・あれ～？靴下が片方ないっ！！洗濯機の中調べても、洗濯カゴの中調べても、ないよ～！！仕方なく片方だけ干したけど、その後、何かをしてても靴下の片われのことが気になって気になってしょうがなかった。

そして、ふと、「もしや・・・」と思いついて積み重なってる古新聞の間を見ると、くしゃくしゃになった靴下片方が・・・！

（見つけた～。）とニヤリ。やっと落ち着いて他のことができる。めでたし、めでたし。

今から留守にするので早めに書いた日記でした♪（当日に書くななんてホント珍しいなあ～）

**2000.07.24 Mon** 八ヶ岳

---

登山に行ってきた。

空気も景色もきれいで最高の気分だった。

標高2899mの赤岳の往復。初めて登山をする私にとっては十分のぼり応えのある山だった。

## 2000.07.24 Mon またトラブル

---

パソコンの調子が悪い。文字の変換をしたらいきなりウインドウが強制終了されてしまう。

「IEXPLORE のページ違反です。」

モジュール : IMEJP98K.DLL、アドレス : 0187:7c58a3cd

Registers:

EAX=004e0201 CS=0187 EIP=7c58a3cd EFLGS=00010246

EBX=00000023 SS=018f ESP=0058d6a4 EBP=00000022

ECX=849dd000 DS=018f ESI=00000000 FS=1a4f

EDX=004e6078 ES=018f EDI=004e6078 GS=0000

Bytes at CS:EIP:

8a 06 84 c0 0f 84 86 9b 00 00 fe c8 50 56 e8 5e

Stack dump:

004e0201 7c58a1eb 004e6078 004e0201 0058d6cc 004e6078 004e6078 00000023 7c58a02c

004e6078 00000001 00000023 0058d6ec 004e6078 00000022 7c5dbe6a」

エラーの詳細を見るとこんなメッセージ。んー、なんだろう。

**2000.07.24 Mon** どうしよう

---

きのう、おとといにひきつづきPCのエラーが直らないのでどうしようかと思案中。しごとにもししょうが……。こまったものだ。

**2000.07.25 Tue 一時的解決**

---

「〇〇情報ビジネス」という、このパソコンを買った会社に電話をしてみたら、変換ソフト？の故障だと言われて、今までのIMEからNECのにチェンジしてみたらどうにかエラーが出なくなった。でも使い勝手が悪くてイライラする。その内「office2000」をインストールしなければ

。先週の登山で私の足は筋肉痛だし、なんだか最近不調続きの2「台」でした。



昨日は、昔のサークルの先輩に電話した。今日は、同じくサークルの友達に電話した。今度、皆で集まる予定を決めるために連絡を取った。

二人とも声を聞いたのは久しぶりで、近況報告など、たくさん話すことがあった。先輩にはもう長いことつきあってる彼女がいるのだが、「くされ縁だよ～、そろそろ買い替え時かな。」なんて冗談で言っていた。もう一人の友達にも彼氏がいて、また長い付き合いなのだが、「だらだらとつき合ってるから続いてるって感じかな～？」などと言っていた。

二人ともそんなこと言ってるけど、お互い自分の恋人を大切にしているんだなって思ってなんだかおかしかった。だって電話の向こうから愛情が、深い気持ちが、伝わって来るのだから。

2000.07.28 Fri マウスタコ

---

昔はよく鉛筆やシャープペンシルなどでものを書いていたので、右手中指にペンダコができていた。今はその陰もすっかり薄くなって、なんと、最近は右手首の付け根（手のひらの左下）に「マウスタコ」なるものができてしまったのだ。

マウスを動かすときにこの部分がなんだか痛むなあ、と思ったら、ここだけちょっと赤みを増して、堅くなっていた。ん～、ノートパソコンにしようかなあ。

## 2000.08.01 Tue 思い出話

---

学生の時、私は自転車部というサークルに入っていた。別の部で一緒だった先輩が立ち上げた私設サークルだった。

活動は、横浜という場所がら、いろいろとサイクリングに適した所があって、頻繁に行っていた。週一回の主な活動は、江の島、城ヶ島、山下公園など近場にサイクリングに行くこと。合宿では秩父山地、北海道に行った。

先輩が卒業してリーダーがいなくなってから、残り4名の部員は、まとまりを失った。皆、自転車以外のことに興味を持ち始めて、結局リーダーの後継ぎを買って出る者はいなかった。必然的に2年程度続いた自転車部は廃部となってしまった。

部を存続させてほしいという先輩の思いに答えられなかったことが今でも悔やまれる。私を含め元のメンバーは今でもマウンテンバイクに乗って、各自でサイクリングを楽しんではいるが。

明日、申し訳ない気持ちを抱えたまま、約1年半ぶりに元自転車部のメンバーと会う。

2000.08.03 Thu 兄弟

---

ずっと 別々に暮らしていても  
ふとした瞬間 心が通じ合うことがある

同じ血が流れていることを嬉しく思う瞬間

**2000.08.04 Fri 忘れんぼう**

---

このごろ忘れ物が多くて困る。昨日は、店にバッグを忘れ、今日は、田舎に帰るのに、携帯の充電器を家に置いたままで出てきてしまった。

この暑さで脳みそも溶けかかっているのだろうか。

2000.08.08 Tue 名古屋

---

田舎へ帰る途中で名古屋に寄った。仕事のためと、友人に会うため。

友人とはゴールデンウィークぶりの再会だった。金山駅にある店で定食を食べて、名古屋ポストン美術館を回って、その辺をぶらぶらしていたら、あっという間に電車の時間が来てしまった。楽しい時間は経つのが早い。

2000.08.08 Tue 帰省

---

今年の夏もまた電車でとことこと帰って来てしまった。暇があった学生時代を懐かしんで、これからも寄り道しながら鈍行列車の旅を続けるのかなあ。

約4ヶ月半ぶりの帰省だったが、地元は帰るたびに町の様子が変わっている。駅前にコンビニなんてなかったぞ。昔行ってたアイススケート場が跡形もなくなって、駐車場に代わってる～！

！  
我が家のそばにも1年くらい前にコンビニができたが、元は田んぼで、昔はよくれんげ草を摘んでいたものだった。親しみのある場所がどんどんなくなっていくのは寂しいな。

母と家から車で30分ほど走ったところにある温泉に行った。岩の露天風呂のそばには竹やぶがあり、温泉に入っていると、そこから吹いてくる風が当たって気持ちよかった。

旅で疲れた身体をすっかり洗い流してスッキリ。

夜は小学生時代からの良き友に会った。彼女は建築家を目指して、今建設会社で働いているが、会社の人員削減対策が始まっていて、不安そうだった。目標の4年間まであと半年。がんばってほしいなあ。

「建築家になって自分の家を設計したい。」これが彼女が小学校の卒業アルバムの夢のページに書いたこと。ずっとその夢を持ちつづけて努力してる彼女を見ると尊敬の念すらわいてくる。

話はいつまでも尽きず、ファミレスでおしゃべりしてたら日付が変わってしまった。ケーキセット二人分（なんと合わせて¥500!）だけでこんなに居座っていいのかしら？



2000.08.09 Wed 第3日目

---

夜、Hさんと相知町の見歸りの滝に行った。夜の滝はっそう涼しく、辺りが暗いのでとても怖かった。ここのところ雨が降っていたので滝の流れも速くて、落ちたらおしまいだと思った。

夜中にこんなところに連れてくるHさんってやっぱり変。殺されるかと思いましたよ、私や。

夜、一昨日会った友と一緒に、中学時代の恩師の家に遊びに行った。

先生は私が入っていた陸上部の顧問で、しかも私の担任を2回も受け持っていた、というなんとも縁の深い人である。高校時代に会ってから約6年ぶりの再会だった。

「こうして生徒とお酒を飲むのが夢だったのよね。」と先生は嬉しそうに言っていた。前回遊びに来た時はまだ赤ん坊だった、一人息子の「つくし君」ももう小学1年生で時の流れははやいなあ、としみじみ。

先生はちょっと口うるさいところもあったけれど、それだけ一生懸命に生徒のことを考えてくれていた。ひょうきんなところも昔と変わってなくて、私たちは本当に楽しい時間を過ごした。

母と母の友人と一緒に「清水の滝」に行った。なぜかこのごろ滝に行くことが多い。もっとも今回は昼間だったから、透き通る清流を拝めたのだが。

滝の近くには鯉料理の店が並んでいて、私たちは「滝見屋」というお店で昼食をとった。鯉を食べるのは初めてだったのでちょっと抵抗があった。鯉のあらいはみそだれで食べると少し臭みがあるように感じられたが、ゆず胡椒をたくさんいれて、まあおいしく食べられた。醤油につけて食べると海魚の刺身のように、食べやすかった。鯉こくは私好みの味噌汁で、とてもおいしくて何度もおかわりした。

夕方、父の墓参りに行った。もうすぐ2回目の盆が来る。父のことは完全に過去の思い出と化したかという、そうではない。やはりこの思い出深い故郷に帰ってくると、父もふっと私の前に現れそうな気がして、時々つらい。墓前で手を合わせて父の顔が鮮明に浮かんでくるうちは、ずっとこんな思いでいることだろう。

今日は故郷を発つ日だ。今回はわりと長く滞在できたけど、思ったよりも忙しくてあっという間に6日間が過ぎてしまった。

母に別れを告げ、高速バスで福岡まで向かった。

福岡では知り合いと前から約束していたので、飛行機の間まで福岡をドライブした。海の中道に行ったが、天気良すぎて日差しも強く、日射病になるかと思った。でも、関東のような蒸し暑さがあまりないのでその点では快適だと思われる。

飛行機に乗り、一人になると物思いにふけた。今はまだ元気な母の事。いつまで私は故郷と関東の往復を続けるのだろうか。このまま遠くで暮らしていてよいのだろうか。母は本気で私に帰って来いと言ったことはないが、心の中では戻ってきてほしいと思っているんだろうなあ。でも私は・・・。

**2000.08.09 Wed** 夏休みもおしまい

---

今日で長かった夏期休暇はおしまいである。なのに1週間の疲れがどっと出て、ほとんど睡眠で1日を過ごしてしまった。

明日からまた仕事が始まる。私も夢に向かってがんばろう。

パソコンを買った。配送を希望したが、届くのは木曜になると言われ、それでは仕事に支障をきたすので仕方なく持ち帰る。タクシーにて運び、早速セットアップ。スムーズに事は運びつつあったが、そこで1本の電話が・・・。

千絵から「今渋谷にいるんだけど一緒にご飯食べない？」と誘われ、いよいよネットに繋ぐところだったのだが中断して出かける支度をする。

渋谷に着くとどしゃぶりの雨と雷。人のいないスクランブル交差点！珍しいものを見てしまった。

ご飯を食べる＝飲む、という前提ができあがってる私たちは、早速居酒屋へ。築地本店の前の居酒屋に入って食べて飲んで話して。あまり元気がないと思ったら、彼女の会社もつぶれそうな勢いなのだそう。なんでも給料が払われていない様子……。彼女は新入社員だからちゃんと払われたそうなのだが。このごろそんな話が多くて、日本って大変なんだなあ、と実感。

つてで今日からCHOTしたバーでアルバイトをすることになりました。

週に2〜3回、1日5時間程度でよいというので、家で一人で仕事をしている私にとってはよい気分転換になると思ったから。

今までそこには4回行ったことがあったけど、飲食店で働くのは久しぶりで、ちょっと緊張気味。でも、バーといっても堅苦しいところではないので、仕事に慣れたらこの緊張も和らぐかな。

初日なのにその忙しいことといたら。普段はもっと暇なんだそう。でも人と一緒に仕事するのは久しぶりだったから、嬉しかったのです。

2000.08.11 Fri 幸せ

---

自分が幸せなときって

他人も幸せなんじゃないかって

思い込んでしまうところがある



## 2000.08.11 Fri バイト先の店長から教えられたこと

---

32歳の店長には娘さんが3人いるそうだ

自分の置かれた環境で いかにも人生を楽しんで生きられるか工夫する  
それが彼の目標とするところだそうだ

確かに 不満ばかりで 自分も相手もちっとも楽しんでいない  
そんな家族や付き合いをしている人も 多いみたい

でも ちょっとした努力や工夫で  
その関係を変えられることだってあるはずだ

私も 日々変わる気持ちや思いにおびえず  
うまく環境をコントロールできる自信がわいてきた

2000.08.12 Sat 夏風邪

---

田舎から帰ってきてからすぐ風邪をひいてしまった。夏なのに。夏に風邪をひくなんて今まで生きてきた中の記憶にはないくらい珍しいこと。身体が衰えはじめているのかなあ。

今まで何も気をつけなくても健康体でいられるというおごりがあった。しかし今回の病気は、ちゃんと栄養をとって規則正しい生活をしなければ身体を壊すぞという警告に違いない。

**2000.08.14 Mon** 町田→上野→渋谷

---

町田の兄のところへ届け物をして、それから兄が上野に用事があると言うので、私も上野まで同行した。上野で分かれて、私はアメ横に行った。アルバイト先で履くためのスニーカーを買いたかったのだが、気に入ったものが見つからなかった。果物や魚介類も安く、うなぎが7枚でなんと¥1000!! 買おうかどうか迷ったが、あまりおいしそうではなかったのでやめといた。レモンが8個で¥300だったので買う。ココナッツミルクも¥150とお買い得で手に入れる。

その後、渋谷でむつみと会う。109の中の餃子屋に入って、鉄鍋餃子をはじめとして春巻など数点を注文した。ビールと一緒に頂き、至福の時間を過ごした。

人間が悲しむとき

- ・ 自分の存在が否定されたとき
- ・ 自分の気持ちを誤解されたとき
- ・ 自分を支えてくれるものがなくなったとき

人間は一人では歩けない

2000.08.16 Wed 乱れ

---

部屋が散らかっていると何をする気も起こらないなあ  
ゴミ出しも寝坊してサボってしまったし・・・

小学校の先生が「今日できることは明日に伸ばすな」  
と言ってたっけなあ。

ダラダラしないで今やるべきことをきちんとしよう。

最終電車に乗って家まで帰る道すがら、路上生活者を横目で見ている。帰る家がないってどんな気持ちなんだろう、と思いながら。

自分の住む家があるというのは、自分にとっては第一の条件だと思っている。帰る場所がなく、さすらいの旅を続けるのは本当に虚しいことのような気がするからだ。

本気で職を見つけようと思えばどんな職にも就ける、と簡単に考えていたが、日増しに増えていくように思われる路上生活者を見ると、その考えは間違いだと気づいた。やはり私と同じように、住む家があるのが人間らしい生活だと思っている人が大半のはずだ。なのにこうして野宿で暮らしているということは、あらゆる手段を使っても職に就けなかった人が相当いるのだろう。

自分に何ができるわけでもないのに、ちょっと憂えた夜でした。

2000.08.18 Fri 優しさ

---

久しぶりに会った人と一緒にご飯を食べた。久しぶりだったのでなんだか最初はぎこちなくて、何から話したらよいかわからず、沈黙に陥ったこともあった。でも私は気にせず、言葉をあまり選ばないように話していた。ただそれだけのことだった。

なのに、友は「かほ、優しくなったね。」と私にぼそっと言った。

いつも元気でいようとする今日この頃。常に明るい気持ちで人とも自分とも向き合いたいと思っている。友と一緒にいた頃の私はそんなことすら忘れていて、きっとなんて冷たい人間なんだ、って思われていたことだろう。

今でも、私自身はあまり変わっていない気がする。自分は基本的に冷たい人間だと思う。ただ、前みたいに人を傷つけないな、という気持ちは強くなった。

今日は、アルバイトで、ビールを生ビールサーバーから注ぐ練習を教わった。

私はこのバーの面接（7月後半）の後、ビールを2杯いただいて帰ったのだが、今まで飲んだビールの中でも本当においしいと思える味だった。そして、今日の指導でその「ウマイ秘訣」を教えてもらったのだ。

- ・まず、注ぎ口に残ってる不純物やぬるいビールを除くために少しビールを流す
- ・よく、泡を立てないように注ぐやり方をするが、泡はビールを酸化しにくくする大切なものなので、まず、泡→ビールの順で注ぐ（ビール：泡＝7：3が理想）

その他の細かな点は省略。でも、これだけで、ビールはおいしくなります。

この要領で、心を込めて注がれたビールの味は格別なのだ。

家で飲む缶ビールも、そのまま缶から飲むのではなく、グラスに泡と一緒にビールを注ぐやり方の方がおいしく飲めるということが分かった（実験済み）。

ビール好きの私としては生涯忘れられない勉強をしたような心地である。



2000.08.20 Sun 寂しさ

---

しばらく、「淋しい」なんて気持ちは私の中になかった。いや、あったけど、今日はむしように淋しかった。

「淋しい」のは何かが足りなくて「淋しい」のだろう。その「淋しさ」を埋めるためにはどうすればよいかは分かっている。「ずっと一緒にいる」こと。可能かな、不可能かな。きっと可能なんだろうけど、今、そんな環境にしてしまったら無理をすることになるかな。

だったら淋しさに浸ることなんかやめてしまおう。淋しさを紛らす何かをしよう。

2000.08.21 Mon 明太子

---

九州に帰って、必ず買って戻るものは明太子。それも、一腹ずつ売っているものではなくてチューブに入っているのがここ最近のお気に入りだ。明太子スパゲティに入れたり他の料理に使ったりするのに便利である。

しかし、やはり生ものなので賞味期限が早い。よって、最近は明太子の料理ばかり食べている。自分の胃の中が真っ赤になってるんじゃないかと心配する今日この頃。

今度のパソコンはいろんなことができ、まだ使いこなせていない。

こないだ「宮崎県民の部屋」(tetsu\_i@chance)にたまたま入って、そのチャットに参加できたのは私のパソコンにチャットのソフトが入っていたからだと分かった。

そのチャットではファイルをその場で送信できたり、大勢の中でも1:1で話ができたりする機能がある。その機能を初めて体験した時は、驚くと同時に感動してしまった。

#### 私のネット変遷

- ・ 2000年3～4月 Yahoo! のオセロゲーム、メッセージャー、ポストペットにハマる
- ・ 2000年5～7月 GaiaxのミニHP作りにハマる (チャットは衰退)

そして、ちょっとまたチャットにハマろうとしている今日この頃である。

2000.08.24 Thu 昨日はあんなことを書いたけど

---

このテレビほどの大きさの白い箱は

匂いもない

味もない

いつも同じ手触りで

こんな無機質なものに

ずっと向かってる自分が

ふと空しくなる

「PCを捨てよ、街へ出よう！」

今日、貴ちゃんと美里とドライブに行った。わざわざレンタカーを借りて行ったのは、8年も運転してない貴ちゃんが運転の練習をしたい、と言い出したのと、海に行きたいという意見が一致したからだ。夜、9時頃レンタカー屋さんで車を借り、貴ちゃんを拾いに行った。今回はピンクっぽい「VITZ」。小さいので小回りがきいて運転しやすかった。

まずは腹ごしらえ、ということで中野坂上のデニーズへ。鯖の味噌煮定食を頼んでお腹いっぱい。久々に「飯」を食べた気がした。

それから、大久保のドン・キホーテで花火を買って、美里を拾って、海へ向かうことにした。葛西臨海公園へ行くため、首都高を走る。途中で思いがけなくレインボーブリッジを通過して感激。

葛西臨海公園の駐車場はがらんとしていて、ここは運転練習に最適！貴ちゃんは何度も車庫入れの練習をしていた。

それから海のそばに行き、花火をした。海といえども真っ暗で波の音もなく、「なんだかちがうねー。」と言いながら早々に引き上げる。公園からディズニーランドのシンデレラ城が見えてきれいだった。

公園を後にした私たちは環七を通過して、横浜方面に行った。ここも、ずっと真っ直ぐに走るだけでよいので、貴ちゃんが運転した。途中ふらふらと隣の車に寄っていく場面が何度かあり、スリル満点のドライブだった。

横浜は金沢八景の近くまで行き、海の公園に入ろうとするが、駐車場がなく、泣く泣く引き上げた。市大病院の近くに防波堤があり、そこで一休みしようとした頃にはもう朝の7時近く。釣り客が多く、コンクリートにフナムシの大群がうじゃうじゃいて気持ち悪かった！！

というわけで、今回は貴ちゃんの運転の練習はできたものの、砂浜が広がる海を見ることはできなかった。また1ヶ月後ね、と約束して夏のドライブはこうして幕を閉じた。

世界中にはいろんなお酒がある。ウイスキーひとつをとっても故郷があり、さまざまなエピソードがある。その一つ一つを知るのは実に面白い。

飲むことももちろん好きだが、それ以上に、お酒が豊富なバーや飲み屋、酒屋に行ってお酒を眺めるのが好きだ。こういう所では胸がドキドキして子どもみたいにはしゃいでしまう。

今日も初めて足を運んだお酒売り場があったのだが、小さな一区画にお酒がぎっしりと並んでいて、引きつけられた私はなかなかそこから離れることができなかった。

結局給料日前なのに、聞いたこともないメーカーのホワイトラムとベルモットロツソとビールを購入してしまった。その日試飲したのは、黒ビールならぬ白ビール。確かにグラスに注ぐと白っぽい。最初はクセがちょっと気になったが、飲むうちに味わいが出てきてたまらなくおいしかった。

よい出会いをした。

2000.09.01 Fri 青春?@

---

18きっぷが余っていたので、ふらっと旅に出た。夜行電車に乗って。行き先はいろんな人の意見を吟味した結果、石川県の金沢に。

学生の頃から期間限定のこの切符を使いつづけてきたが、そろそろ長距離電車に乗っているのが苦痛になってきた。あと、何年体力が続くだろう？なんて思った今回の旅だった。

朝、名古屋に着いた。それから琵琶湖のそばを通過して北陸へと向かう。夜が明ける5時頃、電車の中から見えた朝焼けの美しいことと言ったら！サーモンピンクの空が稜線の辺りで静かに広がっていく。その風景だけでも旅に出てよかったと思わせるのに十分だった。

昼、やっと金沢に着いて、お昼を食べる。12時間近くも電車に乗っていたので、疲れてお腹もすいていた。近江町市場という、金沢駅からさほど離れていない市場に行って昼食をとった。食べたものは・・・回転寿司！東京で食べる寿司より、新鮮で魚の味わいがあった気がした。うまかったー。

市場では新鮮なお魚、野菜、果物などが格安で売られていた。立派なカニ、身の大きなホタテ、プリプリしたうなぎ・・・。こんな所がうちの近くにもあったら毎日買い出しに来るのになあ。

次に兼六園に行った。江戸時代に作られたという大きな庭だった。のんびりと散歩するには格好の場所だった。でも・・・思いっきり晴れていたのが暑くてしょうがなかった。

それから金沢の町を探索し、町の雰囲気など感じながら歩いていたが、あつという間に辺りが暗くなってしまった。電車もなくなったし、どこかに泊まろう、と思い、まずはユースホテルに電話した。そしたら素泊まりでもいいですよ、と言われ、宿は即決定した。送迎が来るまで時間があつたので、金沢駅周辺でぶらぶらとしていた。

20時半に兼六園に迎えに来たバスに乗りこむとき、既に3人の若者が乗っていた。みんな学生風だった。その内2人は仲が良さそうなカップルで、1人は大きなバックパックを背負った小柄な女の子だった。ユースのオーナーが気軽に話しかけてくれたおかげで、皆と打ち解けた雰囲気になった。

私は一人旅の女の子と同室になった。金沢の夜景が見える展望台が近くにあるというので募って見に行った。口数の少ない人だったので、私は余計なことはあまりしゃべらないようにした。お互い部屋は同室でも、プライバシーは守る、という感じだった。彼女はすごく疲れていたようで、10時過ぎには寝てしまった。私も長い間歩き回つたので、明日の用意をしながらうとうとして、11時には就寝した。きちんとした布団で寝れるって幸せなんだなあ、なんて思いながら。



朝、6時半に起きて8時半の電車に乗り、東京へと向かった。GOOD-BYE金沢また来るよ。

名古屋の金山でお昼を食べた。味噌カツ膳、おいしかったあ。名鉄の上にある飲食店街で、こないだ名古屋に行ったときは、友達と喫茶店&お寿司屋に入ったのだが、今日はそのフロアの和食屋さん。名古屋での食事は外れたことがないのでなんだか好きだ。

中央本線の中津川駅で、1時間近く電車待ち合わせの時間があつた。降りるとすぐ美容院があつたので、伸びっぱなしの髪をカットしてもらつた。なんと料金¥1500!揃えてもらうだけでよかつたので、料金の安さは気にしなかつた。でも普通に仕上がつてホツとした。

美容院を出てもまだ時間があつたので、駅から遠ざかってみたら、今度はスーパーがあつた。APITAだっけな?洋服や、雑貨もおいてあるショッピングセンターで、見ていて飽きなかつた(“COMME CA DU MODE”の店なんかもあつた)。

店をぶらぶらしていたら、あつという間に時間が経つてしまい、駅に戻る。高尾まで中央本線を乗り継ぎながら帰つたら、家に着いたのは夜の11時だつた。東海道を使わずに帰つたのは初の試みで、なかなか面白かつた。

今回の旅で分かつたことは「田舎の方がコミュニケーションがとりやすい」ということである。都会の人はとかく人(身内以外の)に接することを避けるが、田舎では最低限の挨拶や接触はそれぞれの身にしみこんでいるのである。

都会と田舎、どちらが優れているともいえないが、自然にコミュニケーションがとれると気持ちのよいものである。そして、他人に接しないようにしようとするこつとってちょっと寂しいものである。

2000.09.02 Sat 甘え一包みこまれたい

---

悪いのは私だと分かっている  
だからまず自分を責めて  
だけど非常に苦しくなって  
やっぱりほんのちょっと思いやりがほしくて  
相手を責めたくなる

でも“わがまま”って思われたくなくて  
嫌われるのが怖くて  
言いたいことが言えなくて  
自分の気持ち隠したまま  
欲求だけが独り歩きしている

昨日、朝起きたら、家の電話がかけられなかった。そしてパソコンを開いてもなぜかネットにつながなかった。

こりゃ一回線の故障だ！と思って、NTTに電話したら（携帯から）、故障の問い合わせの番号を教えられて、そこにかけると言われた。でも家の電話は使えないし、どうしようか、と思いながら夕方になってしまって、アルバイトに出かける前にお風呂に入った。

シャワーを浴びながら、ふと思いついた。もしかしたら電話代払っていなかったのかも・・・、と。私の家では公共料金はほとんど引き落としにしていないのだ。そして、請求書を入れるカゴの中をひっくり返して探したら、あったあった「お知らせのハガキ」が！！「30日までに支払われなかったら、31日から電話の回線を停止します。」だって。

一夜明けて、NTTの営業開始と同時に支払いを済ませた。ホントに情けない気持ちだった。

郵便物にはきちんと目を通しましょう。公共料金の支払いは後回しにしないようにしましょう。

兄が私の家のそばまで来たので、預かってた物を渡した。二人とも夕食がまだだったので、一緒にラーメンを食べた。用事はそれだけで済んだのだが、話がしたかったのか、兄はまだ帰る気配がなかった。それで、なぜかラーメン屋の後にマックに入り、二人でシェイクを飲んだ。

二人で顔を向かい合わせてしゃべるなんて、昔の私たちでは考えられなかった。小・中学生の頃は兄にはよく虐められ、殴ったり蹴られたりもした。私も兄もお互いのことが嫌いだった。

でも、こうして年を取ると穏やかな気持ちになるのか、いつのまにか普通に接するようになった。ただ今でも落ち着かない雰囲気は残っているが……。あんなに憎みあった二人が今はこうして談笑してるなんて、気持ち悪い、とも思うのだ。

何はともあれ、正常なコミュニケーションをとれるようになったのは嬉しいことである。

2000.09.06 Wed もう秋

---

今日は涼しい一日でした。2日前くらいには今年最高の気温だなんて言ってたのに。こんな日はなぜか小学校の運動会を思い出すなあ。秋晴れのさわやかな日、コスモスが揺れていた校庭。

**2000.09.06 Wed** カンガエル

---

お昼頃、雨がしとしと降っていた。出かけて家に帰る途中、大きなカエルを見つけた。雨の中じっとそこにとどまって何かを考えてるような顔つきである。私もじっと彼を見ていると、その色といい、形といい、なんだかこの世の物ではないような不思議な生き物のような気がしてきた。

このごろ、自分がとる行動が他人の目にどう映っているのか、気になりだした。自分では普通の行動をとっているつもりでも、他人から見ると奇妙な行動に思えることもあるらしい。奇妙なだけならよいが、たまに他人に不快感を与えているのでは、と心配になる。

主観的にもものを考えてばかりいると、周りが見えなくなって、独りよがりの行動になってしまう。必要なのは、今行動している自分を観察することである。もう一人の自分が、今の自分を見つめているとしたら、もっと客観的に冷静に自分のとる行動が正しいかどうかを判断できると思う。

「汝の意思の格率が常に普遍的立法の原理として妥当するよう行為せよ。」

—By.Kant

2000.09.09 Sat 水

---

今日は久々に近所のスポーツクラブのプールで泳いだ。会員料金を毎月払っているのにこの頃ずっと行ってなかったのだ。もったいないなあ。

小さい頃からなぜだか泳ぐことが好きだ。泳ぎながら水のチャプチャプという音を聞くのが好きだ。あと、あおむけになってぷかーんと浮かんでいるとなんとも言えない解放感が味わえて良い。

楽になりたいときには水に包まれることをお勧めします。



## 2000.09.11 Mon 再会

---

大学時代の友人たち4人で川崎に集まった。本当はみんなで8月にビア・ガーデンに行く予定だったが延びてしまい、結局川崎の夜景が見える居酒屋に行った。

みんな、昔と変わらず打ち解けてよくしゃべった。けど、3人とも、前よりきれいになっていて、女の中から見てもドキドキした（ヤバイ?）。自分がすごく子供じみている気がしてならなかった。

話が尽きるまでとことん楽しみたいと思っていた私としては、もうちょっと一緒にいたかったのだが、6時に集まり9時前には自然な流れで解散していた。少し物足りない気がした。学生の頃のように羽目をはずさなくなったなあ、という感じがした。

それも仕方がないということは分かっている。仕事をするようになると、そのことにエネルギーを多く使うようになる。そして他のことをするときにはエネルギーを貯めよう、貯めよう、としてしまう。学生の頃とは環境が変わったのだ。

それでも余りにも早いおひらきに少し寂しくなって愚痴をこぼしてしまった。

2000.09.11 Mon 遊び

---

暇があり、お金がある時の遊びよりも、忙しい中で時間を見つけて遊ぶほうが楽しめるんじゃないかって思った。

2000.09.12 Tue 料理

---

お腹を満たすだけのものならコンビニやファーストフード店に行けばたくさんある。しかし、  
敢えて工夫を凝らして、手間ひまかけて作られた料理ほど温かくて美味しいものはない。

今日カレンダーを見たら十五夜だと書いてあった。  
空を見上げてみた。  
天気は悪かったけど、雲の隙間からまあいとお月さんが見えた。  
それだけで満たされた気分になり、嬉しかった。

「この世をばわが世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」

と藤原道長が詠んでいるように、昔から満ち足りた月というのは、満足の象徴だったようだ。

月と言えば、私が小さい頃、お隣の中原さんと家族ぐるみで庭で月見をしていたことを思い出す。器の上に盛られたたくさんの団子をほおぼりながら、二家族団欒の楽しいひと時だった。けど、中原さん一家は、10年ほど前のある日突然、隣から姿を消した。薬局を営んでいたのだが、経営が不振だったようで、金融業者に追われていたとのことだった。つまり夜逃げをしたのだ。

年が一つしか離れていない大貳（だいに）君という男の子とは幼稚園の頃から仲良しで、毎日のように一緒に遊んでいた。小さい頃は「わたし大貳くんのお嫁さんになるんだー。」と書いていたくらい大好きだったのに。

突然の一方的な別れに私はたまらない気持ちになった。連絡を取ろうにも居所なんてわからない。偶然再会するなんてこともきつとないだろう。こんなんじゃ死の別れと一緒にじゃないか、と本当に悲しかった。

今でも実家に帰ると、隣を通るたびに中原さんたちがいた頃のことを思い出してしまう。昔彼らが住んでいた家はアパートに変わってしまったけれど、私の部屋の窓から隣を見ると、大貳くんがこっちを見ているような錯覚さえ起きる。

どこにいて何をしてるかも分からない彼らだけど、どこかで仲良く暮らして生きていてほしい。

今夜の月は、そんなことを思いながら夜遅くひとりで帰る私を後ろから見守るかのように優しく輝いていたのでした。

**2000.09.15 Fri** 和気あいあい

---

アルバイト先のお客さんは、よく大勢で来てわいわいとおしゃべりしている。年代は20代から60代の人たちだが、世代の差は関係なく仲が良い。同じ職場で働いている人々の集まりだそうだ。

普段、一人で仕事をしている私にとっては、一緒に仕事をしている仲間達とこんな風に飲みながら、楽しくおしゃべりできるというのは理想であり、うらやましく思う。

一緒にいてもどことなく不安で

行動、発言すべてが気になる

人の気持ちに疎い私が

すべてを総合して

心の奥底の気持ちを確認しようとする

それでもやっぱり人の気持ちは読めない

そんな時はあたたかいあの歌を歌い

やり場のない感情を鍵盤にぶつけよう

千葉の市川市に住んでるあい子の家に遊びに行った。

千葉方面はめったに行かないので、電車から見える風景が新鮮に思えた。

隅田川や江戸川にかかったら、河原が広がっているのが見えて、なんだか散歩をしてみたくなくなってしまった。こんな下町のような穏やかな風景が好きだ。

市川駅で初めて降りて、改札であい子を待った。ほどなくして彼女が来ると、お昼にしよう、と最近できたという焼肉屋に連れて行かれた。そこでは4種類の焼肉ランチがあり、私はビビンバセットを注文した。なんと、ビビンバ、カルビ(100gかな?)、わかめスープ、サラダ、和え物、韓国のり、ドリンクバーがついてたったの900円!お肉もとても美味しくて、全て平らげてしまった。

すごいボリュームのランチでお腹も心も満腹・満足。

昼間に焼肉を食べたのは初めてだけど、こんなにいいお店が近くにあるなら毎日でも行くのになあ、と思ってしまった。

そして、駅前のスーパーは24時間営業だそう。それを聞いた私はとてもうらやましく思えた。深夜族にはたまらない町だ。

というわけで、市川に一目ぼれしてしまったのでした。・・・引っ越そうかな。

お酒を飲むと本音が出る、というのが、果たして本当にそうだろうか。

確かにアルコールが入ると、神経が麻痺して、抑えていたものが露になることもある。しかし、必要以上に感情的になる部分もあり、緻密な思考ができなくもなる。

酔って表れた感情というのは勢い余って出たものであり、やはり、人間の正常な状態からのものではない。

普段、理性をもって感情をコントロールしている私達にとって、本気で話をする場面ではアルコールはいらない、と思うのだ。



私の中学校時代の同級生のK君が自殺した、と実家の母から聞かされた。母と彼の継母は友人同士なので、K君の話はよく聞いていただけに、ショックだった。

K君は中学1年の時、私と同じクラスだった。背が高くて細身の真面目な男の子だった。その年のある日、K君のお母さんが亡くなった。

ごく普通に生活していたK君はそれから変わってしまって、ひどく取り乱すことが多くなった。授業中、いきなり「お母さん」とつぶやく場面も覚えている。彼にとってお母さんが全てだったのだ。

何年か後、警察官であるK君のお父さんは再婚した。偶然、その再婚相手は母の友人だったので、間接的にK君の様子が耳に入ってくるようになった。

K君は新しいお母さんが受け入れられず、暴力さえふるうようになった。彼女は心労で入退院を繰り返した。このままでは息子に殺される、とったりもしたそうさ。

K君はこの年になってもろくに仕事をしていなかったのだが、やっと、趣味のパソコンを生かして、パソコン教室を始めようとしていたところだった。その矢先に、彼は自らの命を絶った。他人を傷つけつづけてきたのは今まで自分にそうすることができなかったからだと思えて仕方がない。

愛する人を失って、それに代わるものもきっと見つからないまま、孤独感のうちに死んでいった。誰からの愛情も感じられないまま結局死を選んでしまった彼の気持ちを思うとやりきれない思いでいっぱいになる。

2000.09.19 Tue 給料

---

今日、約2か月5日ぶりに会社からお給料が入った。公共料金の支払いも遅れていたし、遊びにも行けないし、本当にいつまでこの生活が続くんだろう、と不安になっていた頃だった。私の会社はちょっといい加減な所があり、困ってしまう。

それと同時に、貯金をしておくことの大切さも身にしみて感じている。何かあったときのためにお金は適度に持っていた方が良い。これからは少し節約して貯めていこうと思った。

とりあえず、今日くらいは・・・、と連れと飲みに行ってきた。ここも2か月ぶりに足を運んだ。本当に気に入っている店なので、行けるのを楽しみにしていたのだ。これからも時々でいいから贅沢しに行くつもりでいる。

さて、これから、計画的に消費生活を送る案を立てなければ・・・。

今日、アパートに水道局の人が来て、「近頃、この近辺の住民の方から水道水のカルキ臭が強すぎる、という指摘を受けることが多くて・・・、ちょっと検査させてもらえませんか。」と言われた。

私はコップに水を注いで局員の人に渡すと、水質検査の様子を見た。なにやら反応を起こさせるための液体を入れたら、水道水の色がオロナミンCのような黄色になってしまった。この黄色が濃いほどカルキの量が多いということである。うちで使う水もやはり標準値よりカルキが強いとのことであった。そして、カルキを加熱すると何とかという発ガン性物質が発生してしまうという恐ろしい話も聞いた。

その後で、簡単な浄水器の設置をすればカルキもとれて安心して水をご使用になれます、と説明された。その浄水器は1日130円で、水道料と一緒に請求されるとのこと。毎日ペットボトルを買うことを考えれば、確かに安いかもしれないが、すぐには決定することができず、考えさせてもらうことにした。

私は今まで水道水はペットボトルに入れて冷蔵庫で冷やして毎日のように飲んでいて、お茶を作るときも水道水をやかんに入れて沸かして飲んでいて、田舎で暮らすようには東京で暮らせないのだと、改めて思った。

そんな話を聞いてからは飲む気にもなれなくなってしまった。ペットボトルの水で暮らすことを習慣づけるか、浄水器を設置するか・・・、どちらの方が良策だろうか。

誰か、水に詳しい人がいたら教えてください。

女子マラソンを見ていた。日本人選手3人がまだトップにいる途中から見始めたのだが、だんだんと高橋尚子さん以外の方がペースダウンしていく中で、高橋選手だけはいつまでも衰えず、体力・精神力の強さを見せつけたレース運びだった。

きついきついと思いながら走るのではなく、「走ることが好き」というポジティブな意識を持ちながら走っていたからこそあんな軽やかな走りができるのだろう。

私も中学の頃に陸上をやっていたが、毎日の練習は苦痛以外の何ものでもなかった。決して他人から押し付けられて走っていたわけではないのに。大会では「自己ベストを更新したい」「入賞したい」などの目標はあったが、「走ることが好き」・・・いつの間にか、失われてしまったこの感情。やはり一番の原動力になるものはこういう感情なんだなあ。

何事も楽しみながらやるのが長続きする秘訣なのだと思う。

今の仕事を紹介してくれた友人と、直属の上司から連絡が来た。

実は私の働いている会社は経営不振に陥っていて、しかも事業内容も出発地点の時となんら変わりが無い。とうとう事業縮小せざるをえなくなり、私の今やっている仕事にまで手が回らないので9月いっぱいレイオフ（一時的解雇）させてほしい、とのことだった。一時的に解雇といってもこの事業展開が進まない限り、永久に解雇されたも同然だ。

オーナーの会社は私が使えないからクビだと言いつ渡したが、それはうちの会社の意図とは異なるので気を落とさないでほしい、ということだった。しかし、私に即戦力があれば採用されたはずなので、それがなかったという自分の現実を見据えなければいけないと思う。

2人から何度もごめんなさいと言われたが、今度はありがとう、と言われて必要とされる職場で働けるように努力したい。

東の空が白んできてても寝れない。

朝8時過ぎになってやっと疲れてゴミ出して寝るという日々が続いている。

今日なんかひどかった。

午後2時頃になって眠気がきて、昼寝をしてしまった。

ハローワークに行ったり銀行に行ったりいろいろやらねばならなかったのだが。

明日にお預け。

## 2000.09.29 Fri Hello!Work

---

ハローワークこと職安に初めて行ってきた。

職安というと、簡易宿舎に住んでいる日雇い労働者のイメージがあるという偏見から拒否していたのだが、恐る恐る行ってみると学生やら主婦やら、仕事をしたい人なら誰でも入れる雰囲気のところだった。

相談に乗ってくれた職員の人もととても親切でいろいろなアドバイスをくれて、参考になった。

職安についての新しい偏見(?)は「職業について真剣に考える人がいて、その人たちをバックアップしてくれる場所」ということ。

運良く面接に応じてくれる会社があったので、さっそく明日出かけてきます。

九段下の会社を訪問して面接を受けてきた。

担当の人の言うことを「はいはい」と聞くのと、質問されたことについて答えるだけだったが、もっと自己PRなるものをした方がいいのかなあ、という気にさせられた。それとも聞かれなきゃ何も言う必要はないものか……。うう、面接って難しい。

とりあえず、その会社のことを何も知らない私は、仕事の内容など重要なことだけを質問したが、なかなか面白そうな仕事だと思った（給料はさほど高くないが）。しかし、この会社で働く自分を想像してみると、いまいちピンとこないし、もっといろんな会社に行って話を聞いてみたいと思った。



今日は、派遣会社の登録に行ってきた。

手続きなんてすぐに済むものだと思っていたが、まず、一般常識のテスト、OA操作のテストを受けさせられた。それから会社のアドバイザーの方との簡単な面接。彼女ははきはきとした口調で、動作もてきぱきとしていて、やり取りがとてもスムーズにいった。私の希望などしっかりとメモしながら聞いてくれたので、好感を持った。来週はさっそく研修に出かけることになり、どういふ話があるのか、ちょっと楽しみでもある。

普段以上によく動いた一週間だったので、週末はバッテリーがきれてしまった感じである。今日は一日中寝てばかりいて、夜になってやっと起き出して、Kさんと飲みに行った。久々によく飲んだ。

大森の居酒屋でビール「琥珀の時間」と、日本酒「一の蔵」、「美少年」。つまみは六色納豆。納豆といか、たくあん、まぐろ、きゅうり、生卵などをぐちゃぐちゃにして混ぜる食べ物だった。これがなんとも美味い！他にも串焼きなどいろいろたのんだが、これが今日のヒットだな。

大森のバーでラム「レモンハートデメララ」、マロンリキュールとブランデーのカクテル（名前は忘れた）。つまみは「ひき肉と松の実のひと口ボール」。ひと口ではとても食べられない大きさだったが、美味しかった。

横浜のバーでカクテル「シンガポールスリング」、ウイスキー「バルンタイン」、カクテル「ギムレット」。つまみはナチョス、チーズの盛り合わせ。量が多くてとても2人では食べきれなかった。

こうして振り返るとなんとも節操のないドリンク選択の仕方ではないか。ちゃんぽんもいいところ。

これでもか、というくらいによく食べたので、今日は酔っ払いにならずにすんだ。この調子。

**2000.10.02 Mon** 不安定

---

人に必要とされる人間になりたい、と思いながらも、人からの評価を受けることを拒否してしまいたくなる今日この頃。

2000.10.03 Tue 失速

---

就職活動を始めて1週間が経つ。

まだまだ先が見えないので焦る気持ちも少しずつ出てきた。

あらゆる所の求人情報を調べているつもりだが、なかなかピンとくる会社がない。

もっと範囲を広げて自分の足で歩いて探さなければ。

派遣会社の研修に行ってきた。40～50人くらいも、それも女性ばかりが集まっていたので何だか引いてしまいそうになったが、有意義な時間を過ごせた。

前でしゃべるスタッフの人は自信に満ち溢れていて、女性としてもすごく憧れるような存在だった。

また隣や後ろに座っていた人とも話をしたが、皆、真剣に仕事について考えており、私も負けられない、と思った。

「過去と他人は変えられないけど、未来と自分を変えられる。」

何気なく言ったスタッフの言葉が耳に連呼している。

電話で採用の通知を「待つ」。

バーで客が来るのを「待つ」。

しんぼう強く、ひたすら「待つ」。

「待つ」時間というのはどうにも長く感じられる。

でもその間の時間は？

何もしなくても、何かをしても、同じように時が流れていく。

ただ、流れていく時間をやり過ごすだけでなく、

「待つ」間の時間も楽しめるようになりたい。

**2000.10.07 Sat 不採用**

---

こないだ受けた会社の結果が出た。

見事に不採用だった。

改めて会社に入ることの難しさを思い知った。

でも、休んでいる暇なんてないのだ。

私には生活がかかっている！！！！

## 2000.10.07 Sat のんべえのジントニック？

---

今日は昼も夜もバーのアルバイトだった。

お昼はカレーのランチをやっていて、2時間半だけ働き、夕方になってまたお店に戻ってバータイムの仕事。

カウンターに入ると、カクテルの注文がTさんから通された。

が、「のんべえのジントニック2つ」と言われ、一瞬考えてしまった。(のんべえのジントニックとは一体・・・?)

何の事はない、「ボンベイのジントニック」を聞き違えてしまっただけだったのです。きっと私は疲れていたのでしょう。のんべえのジントニック……。きっと濃いカクテルなのでしょう。

ちょっと精神的にまいっているときなのですが、敢えて明るい(?)話題を取り上げてみました。苦しいときには笑ってみると意外と楽になれるのですね。



**2000.10.08 Sun 秋物**

---

もう肌寒くなってきたので、やっと秋物を押入れから出して衣替えした。だけど・・・なんだか着たい服がないのだ。服の量だけが多くて気に入った服が少ない。着まわしできる服も少ないし。おしゃれ下手だなあと思う、今日この頃。

## 2000.10.10 Tue 客待ち商売

---

今日のバーはがらがらで、Tさんと2人で暇を持て余していた。

私もTさんもカウンターに座ってあまり言葉を発することもなく、それぞれ本を読んでいた。はたから見れば奇妙な光景なのかもしれない、と思った。でも、無理して共通の話題を探すよりもなんだか自然で楽なのだ。

こんな風に穏やかに過ごす日があっても良い。

最後はお客さんは1組しかいなくて、いつもより私は1時間早く帰れたのだが、寄り道をしていたので、結局いつもと同じ時間に帰宅した。

帰ってからHPを見てみたら母のカキコがあってびっくりした。まさか、掲示板に投稿できるなんて思ってもいなかったのだ。昨日まで、HPは全てYahoo!のものだと思っていた人なのに。今後に期待。

## 2000.10.11 Wed 手紙

---

私はもともと筆不精なのだが、電子メールというのはキーボード一つで簡単に手紙が送れてしまうので、よく利用している。

が、7月28日に届いた明子からの郵便の手紙には相変わらず返事を書かずに、もう10月になってしまっていた。ずっと気にはしていたので忘れていたわけではなかったのだが、便箋に書くとなるとなぜか気合があるので後回しにしてしまっていた。

昨日、やっと気合が入り、便箋5枚分もの手紙を明子に書いて送った。3月に遊んだ時の写真と9月24日の誕生日のプレゼントを添えて。

筆を動かしながら、やはり直筆の手紙の方が自分の気持ちを整理しやすい、ということが分かった。メールでは書き直したいところもすぐに書き直せるが、手紙ではそういうわけにいかない。じっくり考えながら書く作業をする。より自分のこと、相手のことを考えながら書くことができる、と感じた。

静かに紙と向き合って「書く」機会を増やしたい、と思う。

今日は履歴書も1社に郵送。明日は作文と自己PR文を書く予定。

今日、ある会社に電話して、応募の詳細について問い合わせたところ、履歴書と作文を送ってくれ、と言われる。作文のテーマは「生きがい」について。

生きがいってなんだろうね。私は好きなことはいろいろあるけど、それらが生きがいだとは思ったことがないので、非常に書きづらかった。

プラトンは「哲学は死に対する準備だ」と言ったそうだが、生きがいについても同じことが言えるのではないか。生きがいを求める人は、生きていることに心の張り合いを感じたいと思う人だ。生きているうちにそうやって何らかの意義を見出そうとすることは、「死」を意識しているからだろう。楽しみの一つもないまま死にたくない、という思いがあるから「生きがい」を探すのではないか、と漠然と思った。

## 2000.10.13 Fri キンモクセイ

---

日中、窓を開けていると涼しい風が入ってきて、とても過ごしやすい気候のこの頃。私の住んでいるアパートの隣の家にはキンモクセイが咲いていて、この辺りはほわ〜んといいい香りに包まれている。毎年この季節になるとこの香りが楽しめて、この香りがするたびに、また1年が過ぎたんだなあ、としみじみとしてしまう。

この香りがするたびに、過去を振り返る。去年も一昨年も3年前も4年前も5年前も、私自身は変わらないけど、それぞれ違った環境にいた自分を思い返す。

いくつになっても落ち着くことがない私の気持ちをあらわにする季節でもある。

## 2000.10.15 Sun 面接（2社目）

---

早稲田の会社で12時から面接。編集プロダクションなのに社員は皆スーツを着ていて、12時だというのに、席に着いてもくもくと仕事をしていた。お昼はいつ食べているんだろう・・・などと余計な心配をしてしまった私であった。

面接をしてくださった方は若い男性で、会社の説明など、丁寧な対応をしていたのが印象的だった（面接官の印象より自分への印象を気になさい）。今日も話を聞くのに終始してしまった感じで、あまり仕事に対しての意欲を見せられなかったので失敗だった、かな。話を聞いていると、あんまり気の進まない仕事だったので、それが正直に態度に表れてしまったような気がする。

## 2000.10.15 Sun 面接（3社目）

---

土曜日なのに面接があり、今日は日本橋の会社に出向いた。いつも時間ギリギリに行動する私なのに、今日はわりと早く着いて、一番乗りだった。11時から試験があり、狭い部屋で4人で筆記試験を受けた。まず、自分のことについての調書を書かされ、それから作文の試験だった。テーマは「私の家族」。結構身近なテーマだったので書きやすかったが、それでも時間が余ることはなかった。

一番乗りだったので、面接も最初に受けさせてもらえた。

応接室みたいな所に通され、なんと、おじさん（えらそうな）が3人も座ってる前での面接。最初に郵送しておいた履歴書、今日書いた調書、そして作文の内容についての質問がほとんどだった。自分の趣味や学生時代に学んだことなど、とても具体的なことを聞かれた。答える側としてはとてもやりやすい面接だった。

今日は自分のできることを全てやり尽くした感じで、少し充実していたように思える。しかし、どういう基準で選ばれるのかが分からないため、イマイチ自信がない。それに・・・今まで受けた会社、今後受ける会社などを聞かれて、正直に答えてしまったので、不安が残る。

## 2000.10.16 Mon 物を減らす努力

---

一人暮らしなのに、なんて私の部屋はモノであふれかえっているのだろう。もう着ていない服や、読みもしない本や、使いもしない化粧品や文具類……。本当は最小限のモノでシンプルな生活をしたいと望んでいるのだが、この状態ではシンプルライフなんてほど遠い。

今日は久々に一人でゆっくりできたので、身の回りの整理をしていた。これからは unnecessary モノは買うまいと思うのであった。



こないだ履歴書などを郵送したA社から書類選考で考慮されれば、連絡が来るはずだった。が・・・午後6時を回っても連絡もない、郵便箱も空。せっかく一生懸命作文を書いて、丁寧な字で履歴書も書いたのに、「残念ながら・・・」の連絡一つない。応募が殺到してるだろうから、忙しいのは分かるけど、何だか足蹴にされているような気分である。そういえば、電話のときも担当者は私の前の仕事について根掘り葉掘り聞いて、その上、前の職種の方でお探しになったら、というような口ぶりだった。あの電話のときから、選考基準から外れていたのかと思うと、貴重な時間を割いて書類を作成したことが悔やまれた。

その代わり、と言っではなんだが、土曜日に試験と面接を受けてきたD社から携帯に電話があり、雑誌の編集ではなく、新聞の編集の方でもいいですか、というようなことを聞かれた。私はこの会社には好感を持っていたし、仕事内容にも興味をもっていたので、「はい」と返事をした。すると、また水曜日に会社に来てください、と言われた。「もしかしたら・・・」の期待が沸いてくる。が、水曜日も何らかの試験が課されるらしい。油断しないで、慎重に行ってください。

## 2000.10.19 Thu 面接

---

先週の土曜に行った会社の面接がもう一度あった（ちょっと違う職種で考慮してくれると言うので）。そこではまた作文を書かされ、その後に改めて面接が行われた。こないだの面接官とは違う人たちだったが、聞かれたことは大体同じだった。前回、サンプルとして、会社から出している雑誌・新聞を頂いたのだが、今回の作文のテーマは、それらを読んでの感想を書けというものだった。ざっとしか読んでいなかった私は低レベルのものしか書けずに終わってしまい、今回も多分、不採用だなあ、とがっかり。

もっと用意周到にしておけばよかったといまさら悔やんでももう遅い。

2000.10.20 Fri うゝ ～ん

---

今日、友人のTとMと3人で会うことになった。急にMは用事ができて遅れるというので、私とTは先に会って待っていることにした。私はTの家まで行って、Mの用事が終わるのを一緒に待っていた。でもいっこうに連絡が来ない。こっちもしびれを切らして電話をかけた。すると応答して、やっと用事が済んだ、と言う。Tの家の最寄の駅に来るように言って、着いたら電話するようにとMに言った。でもまたいくら待っても連絡が来ない。またこちらから電話をかけると、他の用事ができてしまって、また遅くなる、と言うのだ。

時計は深夜12時を回っていて、次の日も朝からバイトが入っていた私は、仕方なくTの家を後にして自宅に帰った。

ご飯も3人で食べるつもりで、2人で待っていたのに、彼女が連絡一つ入れないおかげでずいぶん時間を無駄にした気がする。いくら友達同士でも、約束を守る、予定が変わったなら自分から連絡するなどの最低限のことを怠ってはいけない。こういうことを守るのは信頼関係を保つ上で大事なことだと思う。

と、今日のMを見ていて思った。私も時間にはルーズな方なので、気をつけなければなあ。こういう場面で友達に甘えてはいけないな、と思う。

新宿でむつみと待ち合わせをした。彼女は公務員だが仕事が忙しくて、毎日仕事が終わるのが10時過ぎ。今日は少し早めに終わり、9時45分には会うことができた。

彼女はいつも雑誌の切抜きを持っている。「ぴあ」などの情報誌からグルメ情報を探すのが好きなようだ。今日は、つけ麺の専門店と、ピビンバ（&焼肉）の店の切抜きを持っていた。「どっちがいい？」と聞かれて、優柔不断な私は、いつもなら決断できないところだが、今日は、なんだかむつみの声に元気がなかったので、なんとなく元気が出そうな焼肉の方を咄嗟に選んだ。

新宿西口にあるその韓国料理店にはサラリーマン風の男性ばかり、3組が席に着いていた。最初に出迎えてくれた店員の人は韓国人で、私たちに気軽に話しかけてきた。切抜きを手にしていたので、「ちょっと見せて」とその切抜きを受け取ると、しばらく嬉しそうに店の紹介文を読んでいた。

私は生のピビンバ、むつみは石焼ピビンバ、それと2人で焼肉を2種類と生ビールを注文した。

そして、思いがけず、さっきの店長（他の店員より若そうに見えたが、実は店長だった！）がキムチをサービスしてくれて、思わぬ特典に2人で喜んだ。

むつみの石焼ピビンバは「おこげ」をうまく作れるように、店長が目の前で丁寧に混ぜてくれていた。私は生のピビンバが好きなのだが、むつみの石焼もひと口もらったら非常においしかった。

むつみとは付き合いも6年目で、会う回数は少ないが、なんとなく気心が知れている感じがして、一緒にいると居心地がいい。2人はいろいろな話をした。恋愛のこと、仕事のこと、その他自分の今いる環境のこと・・・。

2人はよく自分自身の話をする。そして、相手の話をよく聞く。こういう関係ができあがっているからなんだか二人の間には安心感があるんだと思える。何でも話せるが、お互いへの気遣いは忘れずに接している。私と会って話せたことで元気が出たと言ってくれたときには本当に嬉しい。

## 2000.10.23 Mon 子ども

---

今日は私が時々参加しているバレーボールチームの試合があり、応援に行った。チームメイトは子ども（4ヶ月と2歳。どちらも女の子）を連れてきていて、2歳の女の子は会うのは今日が初めてだったのに人見知りもせずに手をすんなり繋いだ。子どもの手はすごく小さくてかわいくって、でも握る手は力強かった。まだろくに言葉もしゃべれないのだが、全身で自分の感情を表していて、しぐさや目の動きを見ているだけで心が和む。

子どもがそばにいる生活っていいなあ、と単純ながら思ってしまった。実際育てるとなると大変なんだろうけどね。

## 2000.10.23 Mon 結果

---

今（午前11時半現在）、こないだ受けたD社から不採用の連絡が来た。3度目の正直ならず、非常に残念だった。

今日からまた頑張ろう。

ハローワーク（職業安定所）に行ってまいりました。今日はバイト先の近く、港区の公共職安へ。途切れなく就職活動をしている私。そりゃそうだ。生活がかかっているんだから・・・。でもここいらでちょっと一休みしたい気もする。しかし、あとひと頑張り！

今日もバイトに行ってきました。常連さんから「今日は何だか嬉しそうだねえ。」と言われ、妙に明るくふるまっている自分に気がついた。本当は将来のことを考えると、不安で不安でたまらないのだけれど、元気出さなきゃどんどん暗くなっていくような気がして。

いろんな人に心配してもらったり、応援してもらったりしているので、笑顔は忘れないようにしたい。そして、今年中にはいい報告ができるように、1日1日を大切に生きていきたい。

期限まであと・・・2か月ちょっと。

自力で就職活動を始めて、早1ヶ月。ようやく念願の「採用」の一言が頂けました。なんとも言えない喜びでいっぱいです。

生活への不安、自分の能力への不安などで、辛かった1ヶ月だった。それでも活動を続けてこれたのは、周りの人の励ましや、アドバイスをたくさんもらったから。中学生の頃からやりたかった仕事だったから、最初はただその「夢」に突き進んでいくだけでよかった。でも、何度も断られ、この仕事には向いていないんじゃないか、なんて自信がなくなるときもあった。他の仕事でもいいや、とあきらめかけたこともあった。でも、「これが最後のチャンスだよ。」と言って、妥協を許そうとしなかったJや、回線の向こうから静かに応援してくれた人々、そして私の様子を気にしてくれていた友達、先輩たちがいてくれたおかげでなんとか続けてこられました。みんな、ありがとう。

今日、面接を担当してくれた人はとても面白い人だった。まず、私の履歴書を読み、私が編集の未経験者であることを確認すると、「特に聞くことはないなあ。」と言って、私への質問はほとんどしなかった。その代わりに、「この会社はね・・・」と会社に不利な情報ばかりを私に話すのだ。こんなに汚い会社だよ、と会社の中を見せて回ったり、残業は多いし、給料はそんなに多く出せないし、とのたまったりした。それでも私は一通りの業務内容を聞き、ぜひともやりたい仕事だと思ったので、彼が「それでもうちに入りたいと思う？」と尋ねた時にも「はい。」と明るく答えた。すると彼は「こんだけ言っても入りたいのか。」と困ったとも嬉しいとも取れる顔つきでつぶやいていた。

1時間ばかりの面接が終わり作文を書かされた。筆記ではなく、そばにある古いコンピュータを使って。それも「〇〇について」という題に基づくものではなく、1400字のある社説を400字に要約するというものだった。特に制限時間は決められず、コーヒーを出され、気長にやってください、と言われたのでわりとマイペースで書き進めることができた。

提出したものを読むと、彼は「それでは来週から来られますか？」と私に尋ねた。私はすぐに採用が決定するなんて思っていなかったので、驚いた。同時に喜びも隠せなかった。

「ありがとうございます」とお礼を言って私は会社を後にした。

長年やりたかったことがやっと実現できそう。忘れられない日になりそうです。



今までやっていたバーのアルバイトは実質上今日でおしまいだ。バーではJもいたし、いろんな人と知り合うことができたし、ホントに楽しかったんだけど、来週から新しい仕事が始まるので泣く泣く辞めることになった。

悔いのないように、今までで一番元気を出して働いたつもり。Jには怒られてばかりで、自分の足りない面を思い知らされた2か月だった。でもおかげで少しは人の立場になってものを考える習慣がついたかもしれない。半月ほどで仕事に慣れた時に、「余裕を持ちすぎる。最初の頃の方が緊張感があってよく働いていた。」と言われた。私は自分ではそういうつもりはなかったので、悔しかったけど、よく考えてみればそんな態度もちょっとはあったかな、と素直に反省した。それからはなるべく迷惑をかけないように、状況を察しながら働くようになったかな。

帰りはJといつものおでん屋に行って終電までの短い時間を過ごした。ここもこれからは立ち寄ることができないんだと思うと、本当に寂しい。

来週からはすぐにまた違う場所で働かなくてはならないのに、なかなか気持ちの切り替えができない私である。

今日は久々に泳ぎに行こうとした。しかし、いつも愛用している自転車（MTB）の前後輪とも空気がなくて、ぷにぷにしている……。しばらく乗らずに放置してたから空気が抜けちゃったのか？それとも誰かからイタズラされた？

とにかく、今日は自転車に乗るのをあきらめて、歩いてスポーツクラブまで出かけた。約20分の道のりで、いつも自転車で通り過ぎていくだけの風景が新鮮に映った。こんなお店もあったのか……。などと、いくつかの発見をしながら目的地に着いた。

泳ぐのは1ヶ月ぶりくらいだったかな。やっぱり気持ちがいい。肩に力を入れずにゆっくりと泳ぐと、身体も心もリラックスできる感じがする。

帰りもやはり徒歩で帰ったが、ちょっと気になっていたラーメン屋で食事をして帰った。こってり九州ラーメンだったが、味にはイマイチこくがないような気がして、残念だった。

水泳の後は程よい疲労感とともにすぐに寝つくことができる。おやすみなさい。

入社1日目。月曜は9時から朝礼があるのでそれまでに出勤してください、と言われた（はずだった）。が、時間どおりに入社したのに、会社はひっそりと静かで、ただ窓際に常務（面接をしてくれたおじさん）が座っていただけだった。私は特別早く来たわけでもないのに、なんでみんな来ていないんだろう、と思いながら恐る恐る「オハヨウゴザイマス。」と尝试してみた。すると常務は驚いた顔で「早いね〜。」と一言。「あれ、9時までに出勤ではなかったですか？」と聞くと、常務は「9時15分って言ったはずだけど・・・。」と答え、「君は少しそそっかしいところがあるようだね。」と笑顔で言った。「ははは〜。」と苦笑顔で立ち尽くす私に常務は「ここがあなたの席だよ。」と入り口からほど近い机を指して言った。机の上には名前が書かれた紙が貼ってあった（照れくさいので後で“様”のそこから折って隠した）。

「まあ、まだ朝礼までしばらくあるから本でも読んでよ。社員に薦めてる本が10冊ほどあるから。」と中公新書を渡された。こないだの面接の際の作文は岩波新書を使っただけの試験だった。きっと全て新書で揃っているであろう。まだ起きていない頭に活字をそっと入れこむ私。ゆづべは不安と緊張のせいか、結局5時過ぎまで眠れなかったのだから、起きたのも8時15分、と遅かったのだ（それでも間に合う所に住んでいるのは幸運だ）。

10分ほど経つと、他の社員の人々も次々にやってきた。私と同じくらいの年と思われる女性も入ってきた。彼女も今日から働く社員だった。新入社員は私だけかと思っていたので、同期がいることを知り、少し安心した。常務は「他の社員たちは後で紹介するけど、とりあえず、あなた方は今日から働きはじめる社員だから。」と先に互いを紹介してくれた。

朝礼は9時半から始まった。名簿と、先週の業務報告・今週の進行予定が書かれている紙を渡された。新入りの私たち2人の紹介が終わった後は、社員13名一人一人が報告をしていった。

朝礼が終わると、それぞれの課ごとに分かれて仕事が始まった。私が所属することになった所はすごく忙しい課らしく、一通りの仕事の流れを説明された後、私もすぐに仕事を任された。

業務終了予定の18時を過ぎても、皆残って仕事をしていたが、新入りの私たち2人は常務と喫茶店に行き、コーヒーを飲みながら今日1日働いての感想を述べ合った。つづく。

常務は会社のことを何も分からない私たちを気遣ってくれて、質問なり意見なりを聞いてくれようとする。上司ぶらない気さくな人なので、他の社員さんとの関係もうまくいっているようだ。おかげで私たちも気兼ねなくリラックスして話すことができる。まだ入社して1日目だけど、やっていけるかもしれない、との希望がわいてくる。

最後に「明日は9時半出社だよ。」と念を押され、会社の前で分かれた。私と同期のIさんは途中まで同じ電車に乗って一緒に帰った。初対面なのに全然気取らない人で、友達みたいに明るくしゃべることができた。彼女の今一番の悩みは、家から会社までが遠く、引越ししようかどうか、ということだそうだ。常務から「今日どうだった？」と聞かれたときも、「仕事で時刻表を見ながら（※今日は時刻表を使う仕事だった）、引っ越した方がいいのかなあ、と気を揉んでいました。」と答えた彼女。なかなか面白い人かもしれない。

とりあえず、明日は時間を間違えないように行こうっと！

## 2000.11.01 Wed 買い物

---

今日は、7時に会社が終わったので、帰りに買い物をして帰った。中野ブロードウェイの地下には、手ごろな値段の服を売っている店が何店もあり、しばらく見て回って、昨日のお給料が入ったばかりだったので、ジャケットとニットを買った。ピンクのニットのパーカが気になっていたのだが、年も年だしあきらめた。無難な黒と白にした。

会社勤めをするようになってから、帰って一人でご飯食べて寝る生活が続いている。夜の一人の時間というのはとても長く感じられ、なんだか家で一人で過ごすことが寂しいのだ。明日の朝が早くても、まっすぐ家に帰らずにどこかに寄りたい気分になってしまう。

一人の時間は大切だ。でも、誰かと一緒にいたい気持ちも強くなっている今日この頃。秋だからかな？

## 2000.11.02 Thu 誕生日

---

11月2日はもう13年も付き合っている大事な友達、梅ちゃんの誕生日だ。2日になりたての0時過ぎ、おめでとうコールを入れた。が、彼女はもうとっくに夢の中であった。残業続きで忙しく、ろくに寝れない日々が続いていたらしいのだが、昨日はたまたま早くに帰れたので、貴重な睡眠をとっていたそうだ。

そんなことも知らずに電話をかけてしまったことが悔やまれた。離れていても心はそばにいるからね！と常々言っている二人だが、やはり、離れているとお互いの状況にどうしても疎くなってしまうのは否定できない。

私たちはお互いがどんなに迷惑をかけても、最低限のルールを守っている限り、揺るがない関係だとは思っている。でも、それに安心しきってはいけない。少し、電話の回数を増やそうかなあ、と考えた一日でした。

2000.11.03 Fri 夢

---

ちょっと印象深い夢を見た。街を歩いていると、犬や猫に混じってアライグマを見かけて、それが本当にかわいいので近づいて行って眺めている夢。次に、同じ場所で長渕剛さんを見かけて、感激して、思わず握手してもらった夢。長渕さんは昔の長い髪の頃の姿だった。

フロイトによると、「夢は願望充足である」そうだ。さて、これらの夢は私のどんな願望を表しているのでしょうか？どなたか心理学に詳しい人がいたら教えてください。

誰とも会う予定がない土曜日。今日は近所の丸井と、横浜に用事で出かけたついでに東急ハンズに寄り、一人で買い物をした。

まず、財布。1年ほど前から使っているピンクの財布は機能性は高いのだが、汚れが激しく、とても人前にさらすのは恥ずかしい状態になってしまったので、買い換えようと思っていた。前からヌメ皮の財布に惹かれていて、いつか専門店で買うつもりだった。でも、ハンズに行くと種類が豊富にあり、ここで買うことに決めた。毎日使うものだから選ぶのに迷って10分くらい悩んでいた。その品揃えの良さに感心しながら。

次に、会社用のボールペン。3色入りのボールペンを愛用していたのだが、いつの間にか無くしてしまい、泣く泣く買うことにした。ハンズの文具券があったので、それを利用し、安く手に入れた。今度は4色入りで、しかも握りやすくて気に入った。無くしにくいように(?)赤い色の表面のやつにした。

そして、丸井にて念願のロングブーツ。ちょっと前に手に入れた古着の革のスカートに合わせる靴が欲しくて、とうとう買ってしまった。黒かこげ茶にしようか迷ったが、真っ黒よりは茶の方が合わせやすいと思い、後者を選んだ。ファスナーがついていないのだが、とても履きやすいので、お気に入り。大切に履こうと思う。10代の頃から悩んでいる筋肉質のふくらはぎもこれで隠せると思うと、なんだか嬉しくなってしまう。

というわけで、1日中一人で歩き回った。疲れたけど、衝動買いをせずに、ちゃんと必要だと思えるものを買えたという充実感が味わえた。昔の私はこんなじゃなかった。つつい外見ばかりに囚われてその場でよく考えもせずに買ってしまい、あとで後悔することもしばしばあった。その頃から比べると、お金の使い方、買い物の仕方が少しは上手になったかな、と思った。



今日で働きだして1週間経った。今日は会社には行かずに、小田急線の狛江駅に集まり、先輩と二手に分かれて歩き回った。狛江の近くにできるマンションのパンフレットを作るため、現地近くの医療機関、大型店、公共の施設などをチェックするためだ。

それらの営業時間、名称などを完璧にチェックしながら、大きな施設だと写真も撮る。昨日はあんなに晴れていたのに、今日は雲が広がっていて、あまり喜ばしくない天気だった。

朝、10時に集合して、私は狛江駅の周辺、先輩のKさんは喜多見駅の周辺を調査した。大きな地図を持ちながらうろうろしているので、現地の人からは怪しく見えるらしく、ずいぶんと変な目で見られた。でも、気にせず、完璧に仕事を終わることに徹した。

もともと歩くのは好きだし、地図を見るのも、新しい場所に行くのも好きなので、こういう仕事は自分に合っていると思う。しかし、狛江駅の北・南口と、和泉多摩川駅方面までずっと徒歩で歩きつづけていたので、恐ろしく疲れた。会社で仕事するよりは楽しいけど、これが毎日だったら続かないだろうなあ。

今日は学生時代のトモと、わが亡き父の誕生日だ。彼女は24歳、父は生きていれば52歳。トモへは久しぶりに電話をして、おめでとうと言った。3ヶ月以上も連絡をとっていなかったのだけど、いつもと変わらず元気そうでよかった。彼女と私は似たような所があるので、話しているとなんだか穏やかな気持ちでいられる。もう1年くらいも会っていないので、いろいろな話をした後、今世紀中に会おう、と約束した。

父は50でこの世を去ってしまったが、今でもひょっこり現れそうな気がする。もうこの世にいない人の誕生日を祝うのは変だと思われるかもしれないが、父が生まれたおかげで今の私もいるのだと思うと、やはりこの日は特別な日なのだ。いつからか自然に父の誕生日をひそかに祝うようになった。祝うと言っても、気持ちだけだけど。

誕生日・・・それはその人が生まれてきてくれたことを感謝する日。「生まれてきてくれてありがとう、そしておめでとう。」

2000.11.08 Wed 公園

---

今日はとても天気がよかったので、会社の近くの公園で同僚のAと昼食をとった。私たちの会社は皆、お昼をとるのが遅く、いつも1時半過ぎになる。今日も、2時を回っていた。

2時の公園では、たくさん子どもたちやお母さんが遊んでいて、他にも、中学生がテニスをしたり、近くの会社員だと思われる人たちが一休みをしたりしていてにぎやかだった。

公園には木がたくさんあり、黄色や赤に色づいているものもあった。風が吹くとそれらの葉っぱがひらひらと落ちていく。風に舞うときにキラキラと輝く様はとてもきれいで、二人でしばらく見とれてしまった。

地下鉄東西線の木場駅で同僚のAと共にアンケート調査を行った。今日も初めて降りた駅で、右往左往しながらもしっかりと自分の足で回ってきた。すごく寒い日だったけど、歩き回っていたときは身体がぼかぼかしていた。

木場駅の近隣に住んでいる人に交通機関利用の状況などを質問したのだが、近づくと、不審そうな顔をして、話も聞かず逃げる人もいるし、ちゃんと答えてくれる人もいる。「宗教じゃないの〜？」とあるおじさんに、はなから勘違いされたときは、ちょっとショックを受けた。私はそういう風に見えるのかなあ。この仕事をしていると自分の第一印象がよく分かって面白くもある。

通行人は立ち止まっていろいろと聞かれるのが億劫なのか、人の目が気になるのか、なかなか協力しない。お店の店員さんはわりと愛想よく答えてくれる。私も街で声をかけられたら、嘘ついてでも逃げようとするので、気持ちはよく分かるが、やはり、気持ちよく応じてくれるとすごく嬉しい。

3時半頃、やっと調査が終わり、会社に戻った。ドアを開けると、「おかえりなさい。」の聲がかかってくる。一人で仕事をしていた頃とは違って、こうして人と交わりあいながら仕事ができるということに幸せを感じている。

早くに仕事を切り上げて、常務とAと3人で話し合いをすることになっていた。常務は新入りの私たちを気遣い、時々こういう場を設けてくれる。こないだみたいに喫茶店で話すのかと思っていたら、今日は会社の近くの居酒屋に連れて行かれた。ここは会社の人たちの会議室になっているそうだ。

2週間働いてみてどうか、そして、これからもやっていけそうか、と聞かれた。最近は気持ちに余裕が出てきたと言うと、常務は喜んでいて、確かにそうなのだ。最初は自分に与えられた仕事をこなしていくのが精一杯だったが、このごろやっと周りのことも目に入るようになって、楽しみながら仕事をしている。

そのうちに専務(=社長)がやってきて、初めてまともに話した。専務はその辺にいる普通のおじさん、という感じなのだが、なんとなく威圧感を感じて、恐ろしく緊張してしまった。Aも私も、借りてきたネコのようだった。

それから社員達が続々と集まって、にぎやかになってくると、緊張もほぐれてきた。(常務は「こんなに呼んだはずじゃなかったのに・・・」と困った顔をしながらも、嬉しそうだった。) 普段はできない突っ込んだ話などできて、非常に面白かった。それでも新参者なので、少しは遠慮があったかな？

11時を回って、やっとおひらきになり、皆とおわかれした。Aと二人きりになるととたんに安心して、私たちはもう一度飲みなおしていろんな話をした。やはり、会社の中で一番気を許せるのはAで、今ではいろんなことを話すようになった。彼女は打てば響く人で、とにかく明るい。これからも一緒に働いていけたら、と願っているのだが、彼女自身は仕事を続けていこうかどうか迷っているらしい。一番のネックは、遅くまでの残業。うちの会社はすすんで残業するような雰囲気があるので、定時では帰りにくいのだ。これからも常務と相談する機会がたくさんあると思うので、改善される希望は持っているのだが・・・。

今日は11月11日。夕方、友人Mから電話があり、船橋のバーで1111円の飲み放題をやっているというので、一緒に飲みに行った。

千葉方面はあまり行ったことがなく、船橋も初めて訪れた街だった。駅周辺はデパートもあったし、飲食店も多く、賑やかだった。

バーAは駅に程近い裏通りのビルの1階にあり、薄暗い店内に入ると、奥のカウンターには大きな水槽が見えた。青い照明に包まれた水槽の中ではたくさんの熱帯魚が気持ちよさそうに泳いでいて、おしゃれな雰囲気だった。

カウンターでは女性のスタッフが一人でてきぱきと働いていた。店長らしき男性は時々カウンターに出てきたが、主に裏のキッチンで調理を担当しているようだった。

まず、私はエビスビールを注文した。Mは店のオリジナルのカクテルを注文した。小柄な女性バーテンダーはオーダーが入るとすばやくお酒を用意し、慣れた手つきで作り出した。言葉もはきはきとしていて、無駄な動き一つない仕事ぶりだった。忙しいのに、客へのちょっとした気配りも忘れていない。私が3杯目のドリンクを飲んでいたら、ちょっと顔が火照ってきたので暑いなあ、と思っていると、お冷を用意してくれたり、程よい間を見て話しかけてきたりした。そのパーフェクトとも言えるような対応には驚いてしまった。

Mは私の就職祝いということで誘ってくれたので、活動をしていた時のこと、決まった時のこと、そして働き出してからのこと、順に報告をしていった。本当によかったね、と私よりもMの方が嬉しそうだった。Mの会社も残業が多くて、自分のプライベートの時間がないのが辛いと聞かされていたのだが、働いていないときは想像するしかなかった。でも、今、私が同じような状況になり、やっとMの気持ちが分かったような気がする。今の所は仕事が楽しいので、苦痛には感じないけれど……。

Mがよく口にしていたことがもう一つ。週末休みになると、ただボーっと過ごすのではなく、何かをしなければという気持ちになると言う。これも、私は以前はそういう気持ちがよく分からず、Mはわりと忙しくしていないと気が済まない性質だから、と思っていた。でも、今は分かる気がする。平日は疲れて何もできない。せめて、休日くらいは有意義な暮らしをしたい、ということなのだろう。でも急かされたように自分を忙しくするのは何か大切なものを見過ごしてしまう気もする。

今度の春、住んでいるアパートの更新をしなければならない。今のところ、私はどこか別の場所に引っ越す予定でいるのだけど、まだ具体的には決まっていない。今日、テレビを見ていたら、退去時の原状回復について専門家が詳しく説明していた。

例えば、備え付けのじゅうたんに家具の跡がくっきりとついてしまった場合。これは借り手の責任にはならないらしい。画鋏の跡や、ポスターを貼っていた場所が日焼けにより跡が残ってしまった場合も、責任を負わなくてよいらしい。しかし、額などをかけるために釘などを打ちつけて、その跡が残った場合はこちらの責任であるという。意外と借り手の方に有利な条件だなあ、と驚いた。私の部屋は壁も床も板張りで、特に損傷している場所もないので安心しているが、1ヶ月分の敷金はどのくらい戻ってくるのだろう……。ちなみに5年前住んでいたアパートは5万円の敷金のうち、3万円が返ってきた。1円も戻ってこなかったこともあるが、逆に修繕費用などを請求されたことはない。今回もそうであることを祈っているが、果たしてどうなることやら。

引っ越す場所を探すのは楽しい。小さい頃は間取り図を見るのが好きで、よく、広告の裏に自分で簡単な間取り図を書いて人形と一緒に遊んでいた（暗い?）。引っ越す予定がない時も、住宅情報などの雑誌を見ながら、こういう家に住めたらいいなあ、と想像を膨らませたりしていた。そして、今回、マンションのパンフレット作り、という職に就いて、いろんな街に行く機会があるので、なんだか、趣味と実益を兼ねている気もする。今までいろんな場所に住んだが、愛着がわく場所ばかりだった。「住めば都」という言葉に裏切られたことはない。次回引っ越した先も、そうなりといいな。

私が今会社で仕事を一から教えてもらっているKさんはとても神経質な男性である。二人である一つのパンフレットに取りかかっているのだが、まず、私は地図作りを任された。業務用(?)の住宅地図をコピーし張り合わせて、現地を中心とした2メートル四方位の地図を完成させなければならない。コピーは機械がやるが、切り貼りするのは人間の手作業なので張り合わせていくうちに多少のズレが生じる。大きな地図は作業用と、依頼した会社用に2枚作らなければならないのだが、作業用はあまりそのズレは気にしなくてもよい。しかし、Kさんは寸分でもズレようなら容赦なく作り直しを私に命じる。わりと適当に新人教育をやっている他の社員と違って、Kさんは常に私の様子を窺っていて、作業上、彼の意に添わない行動をしようものなら、それをすぐに指摘する。非常に苦勞してカッターで切り、セロハンテープで留めていっている私を見て、周りのスタッフは「Kさんと一緒では大変だね」と同情してくれる。

Kさんは自分でパソコンを使うとき、よく独り言を言っている。ちょっとでも変換を誤ろうなら「チェツチェツ」と舌打ちをし、なかなか思い通りの変換がされないときには「バカがっ！」と無言の機械に向かって腹を立てている。一緒に仕事をして長い他の社員でも、Kさんの独り言には未だ慣れないと言う。

神経質な人なんだなあ、と判断した理由の第一に彼のしゃべり方がある。Kさんの話し方には独特のルールがあるようで、とにかく、何か簡単なことでも理路整然と説明しなければ気がすまない、と言った感じである。闇雲に言葉を発するのではなく、きちんと頭の中で整理しながら話しているのが分かる。電話を取るときも然り。一句一句はきはきと大きな声で話すことを常に考えながら話している、と感じる。

最初はKさんと仕事をしながら、なんだか疲れる人だなあ、と思っていたのだが、ずっと一緒にやっているうちに、だんだんと印象が変わってきた。人にも自分にも厳しいが、実はとても親切な人だということ。何も分からない私に次々に新しい仕事を覚えさせる機会を作ってくれている。早く仕事を覚えて慣れてほしい、と思っているのだと思う。何かKさんの仕事を手伝ったときには必ず「ありがとう」と言ってくれるし、いろいろな場面でも優しい人だと感じるが多くなった。今では彼に心の奥で感謝しながら仕事をしている。



仕事で狛江のパンフレットを作っているの、ふとMr.Childrenが聴きたくなった。彼らの歌「雨のち晴れ」には狛江が登場するのだ。昨日初めてミスチルのアルバムを聴いてみた。

「雨のち晴れ」の中に狛江が出てくるのは知っていた。学生時代の先輩Nさんがよくカラオケで歌っていたから。Nさんは幼少時代を狛江で過ごし、狛江には特別な思い出があったようだ。また「雨のち晴れ」というコトバ自体も好きだと言っていた。雨が降り続いた後、カラッと晴れるのがたまらなく嬉しいんだそうだ。

Nさんはポジティブな人だった。性格は内向的なところがあって、大人しい印象を持たれやすかったが、常に明るくて楽観的だった。この歌も、「今は僕の心には雨が降っているけど、いつかは晴れるさ」という前向きになろうとしている歌で、何だか歌の「僕」とNさんが重なって見える。

「狛江」以外にも、「歌舞伎町」「銀座」「横浜」「湘南」「九十九里浜」など、歌に登場する土地の名前（「桜坂」はどうかかな？）はたくさんある。その場所に行ったときに、詞を書いた人の気持ちに思いを馳せてみるのも面白いかもしれない。

## 2000.11.15 Wed 出会いと別れ

---

2年以上愛用していた携帯電話が壊れてしまったので、機種変更をした。4代目のケータイ君は恐ろしいほど機能が豊富で、一晩では使い方をマスターするに至らなかった。モバイルカメラなんてのもついているのだが、果たして使うのだろうか・・・？でもついつい好奇心で選んでしまった。

長く使用していた携帯は重くて大きくて人を見るとびっくりするような形をしていたのだが、私の手になじんでいて、お気に入りだった。もう使うことがないのだと思うと残念だけど、今度のケータイ君とも末永く仲良くしていけたらいいな、と思っている。

2000.11.18 Sat お酒

---

おいしいお酒を適量飲んで満足。

## 2000.11.20 Mon 朝礼

---

私の働いている会社は毎週月曜に朝礼がある。いつもは9時半出勤なのだが、月曜だけは9時15分くらいに着いて、朝礼の準備をしなければならない。

朝礼にはいつも会社にはいない専務（社長）が社に顔を出し、皆の勤務状況などを把握する、というのが常。

この会社は専務のものだけど、専務がいろんなことに口を挟むとついつい反論してしまいたくなくなってしまう。今の所おとなしくしているが、そのうち逆らうようになるのかもしれない。

江東区木場へ環境調査の仕事。

最近できたばかりのイトーヨーカドーはたくさんのお客がいた。店内には映画館もあるし、さすがにこんな大規模なお店ができればみんなやってくるだろうなあ。

でも私はそこからちょっと離れた所にある24時間営業のスーパー（セイフー）の方にひかれた。今の悩みは仕事帰りになかなか食料品の買い物ができないことだから（帰りはいつも夜10時近く）。近所にこんなスーパーあったらいいのになあ。

夜、Cから電話があり、新橋にいたので、私の働いているバーに行きたいと言う。Cにはまだ私がバーを辞めたことを伝えていなかったのだが、私はちょうど今日バーに届け物をする用事があったので、「偶然！」と思いながら、約束をした。

新宿で兄と会い、取っておいた飛行機のチケットを渡した後、Cの待つ新橋に行った。Cと会い、モノレールに乗り、バーに向かった。

お酒を飲みながらお互いの近況報告などをしているうちに、すっかり酔っ払ってしまって、店を出る前後の頃のことをあまり覚えていない。飲むと顔がほてってくるので恥ずかしいと思いながら、ペースを落とさずに飲んでいた。これからはちょっと配分も考えなければ。

前々から決まっていたのだが、今日は社内のレイアウト変更をした（うちではなぜだか「模様替え」と言わないようだ）。

机やロッカーの位置を変え、仕事をしやすいようにするという、大変な作業だった。それだけではなく、昔の書類を処分したり、真っ黒に汚れた床を磨いたり、と大掃除並みのこととした。

この会社は十数年前からあるようだが、昔の書類からは専務の若かりし頃の写真や手帳などが出てきて、新参者の私にはなかなか面白かった。また、処分する雑誌の中には私の興味のある本がごろごろしていて、捨てるのがとても惜しかったので図々しく頂いた。

その他、捨てられようとしていた使い古しのファイルやメモなど譲ってもらったので、ほぼからっぽだった私の机の中は一気にモノであふれかえった。

大変だったけど、充実した1日だった。

午後8時過ぎて、やっと一段落ついたので、会社のみんなで飲みに行った。

ビールがおいしかったけど、私は明日6時半の飛行機に乗らなければならないので、泣く泣く先に帰った。

朝6時半の飛行機に乗り、九州へと向かった。福岡空港に着いたのは8時過ぎ。それから8時45分の高速バスで佐賀へと向かい、佐賀駅に着いたのが10時近く。実家に電話をすると母はまだ寝ていた。タクシーで帰ってきなさい、と言う。5分後、タクシーで実家に降り着くと、ゆうべ一足早く帰っていた兄が出迎えてくれた。

2人ともまだ起きたばかり、という顔をしていた。ゆうべは明け方5時くらいまで親子で語りあっていたようだ。

徐々に家族3人が揃った。何も変わっていない。時の隔たりも感じさせない。

11時半から妙念寺というお寺で父の三回忌が始まるので、私たちは急いで用意をした。3人とも喪服に着替え、車に乗り込み、ぎりぎりにお寺へ着いた。

お寺にはもう人が集まっていて、祖母（父のお母さん）、叔母（父の妹）、その他、父の友人や恩師などいろいろな人がお焼香を始めていた。

私たち家族もお焼香を終えると、いつもお世話になっているお坊さんが出てきて三回忌の式が始まった。お経を読み、お話が少しあり、1時間ほどで式は終わった。

私と兄は、父と祖父のお墓に行き、手を合わせてからまたお寺へと戻ると、皆、次の会場へと行く用意をしていた。近くの旅館で昼食会があるため、移動しなければならなかった。

昼食会では料理を食べながら、いろいろな人とお話をした。父の中学時代の友人や、職場の友人……。私が生まれる前の父の話など聞いて面白かった。皆、父のことを慕って来てくださっていると分かって、とてもありがたかった。

普段、あまり連絡を取らない祖母や叔母とも久しぶりに会って話して、これからはもっと気軽に遊びに行こうと思った。

なんと、親子3人朝まで同じこたつの中で寝ていた。ぐうたら家族である。

兄は早々と朝7時の飛行機に乗り、帰ってしまった。母と私の2人だけになってしまった。

今日は母が盲学校の生徒にピアノを教える日だということで、一緒に行って授業参観をしてきた。

3人の小・中学生が教わっているのだが、皆、鍵盤の形や位置を覚えていて、目が見えなくても立派にメロディを奏でている。ハンデを物ともしないその姿に驚き、感動してしまった。

そして、目が見える子に教えるのとはまた違った工夫をしなければならないだろうけれど楽しそうに教えている母を見た。私はこんな場面では、母に対して一人の人間として、とても魅力を感じる。昔から、母のピアノを弾いている姿、生徒に教えている姿を見るのが好きだったんだなあ、と思った。ピアノのそばにいる時は彼女が一番生き生きしている時間の一つだ。

私も手に職つけたいなあ、なんて時々思う。



小・中・高と同じ学校で、今でも連絡を取り合っている明子と会った。

久々に明子の家まで自転車をとばして行った。15年前もこうして同じ道を自転車で走らせて通ってたんだ。思い出すとなんだかおかしい。

玄関のドアホンを押すと元気そうな顔が出てきた。明子だ。昔から極端に変わってはいないけど、しばらく見ないうちに、なんだかきれいになったなあ、という感じである。

しばらく明子の部屋でおしゃべりして、夕方になってから街へと繰り出した。自転車を十数分とばして、彼女の気に入っている（レストラン）バーに着いた。

3月に明子が東京に遊びに来て以来、会うのは半年以上ぶりだったので、積もる話があった。仕事の話、友達の話、彼の話……。お酒を飲みながらいろんな話をして、結局、店を出たのは11時近くだった。いったい2人で何杯飲んだのだろうか？

明子話を聞いていると、考えさせられることが多い。彼女の言葉一つ一つに重みがある。それは苦しい時期を乗り越えてきたからでもあるし、彼女自身が考えることを怠らなかったからだと思う。恋愛の悩みなど私がたまに聞いていたこともあったけれど、彼女の優しさ、繊細さ、思いの深さに私の方が憧れていた。今はそれに加えて強さを感じる。遠く離れていても、とても存在感のある友達である。

2000.11.27 Mon 日常

---

月曜は朝礼がある日。早めに行くと、同期のAはいなかった。府中の調査に行っていて今日は帰ってこないそうだ。先週の水曜以来会っていないので、しばらく顔を見ていないんだなあ。なんだか寂しい。

2000.11.28 Tue 痛い

---

こないだ笑ったときに、口の端が切れて、痛い。ご飯を食べるときにも口を大きく開けるので痛い。今日のお昼時にはとうとう血が出てきてしまった。それを見たアルバイトのNさんが一言。「口の端が切れるのは胃が悪いからなんだって。」ううむ、医者に診てもらった方がいいかなあ。

先週からやっていた仕事を完成して、依頼された会社に納品する日だった。

余裕で夕方には仕上がると思っていたのに、なぜか時間がかかり、夜8時頃にやっとまとまった。

私が銀座の会社まで持っていくことになった。9時近くに着いて、こんな時間に人がいるものかと思ったが、やはりどの会社にも遅くまで残っている人はいるのだと知った。別の部署の方に手渡して、他の会社へのお使いも済ませた後、お腹がすいて、ロッテリアで軽く食べてから家に帰った。

とうとう、私も一人で仕事を任されることになった。

明日は一人で足立区へ調査に行き、来週からは一人で進行をしなければならない。マイペースでできるという嬉しさもあるが、やはり不安は大きい。

今日はそのために地図などを準備しなければならなかったのだが、丁寧にやり過ぎて6時に終わらなかったため、上司のYさんが手伝ってくれた。彼女は私のいる調査室の室長なのだが、まずは一人でやらせて、困ったときは手をさしのべるという方針なのだということがよく分かる。

初めて覚える事柄は必ずメモを取らせて、自分で考えさせる。それも、表面的なことだけではなく、そういう過程に至る根拠まで丁寧に教えてくれるので、残る知識となる。

でも細身の彼女は毎日終電まで残って精一杯働いていて、あまり身体の調子も良くないようで、見ていて痛々しい。「なぜそこまで働くの？」と思うのだが、他の社員に対しての気遣いと責任を感じながら仕事をしているのだと思う。こないだまでは早く帰りたい、とばかり思っていたが、今は彼女を少しでも楽にさせてあげたいなあ、と思うようになった。

## 2000.12.04 Mon 当番

---

今日から1週間、いつもより30分早く出勤しなければならない。9時に出勤して、電話番や掃除など、そして、月曜の朝礼の司会をする当番なのだそうだ。

今日は辛うじて9時に会社に着いた。そして、朝礼の司会をした。人の前で何かを考えてしゃべるのなんて学生の頃以来だったので妙に緊張した。

2000.12.05 Tue 感謝

---

同僚のAと一緒に帰った。Aは電車の中で、「かほ、この頃調子良くないんじゃない？」と言った。気分がすぐれなかったのは確かだけど、それを誰かに気づかれているとは思わなかったので、驚いた。と同時に、心配してくれる彼女の気持ちが嬉しかった。帰って、残りの仕事をしているとAからメールが入っていて、いい奴だなあ、と改めて思った。

**2000.12.06 Wed 遅刻**

---

昨夜、家で仕事をやっていたが、はかどらなかったので、今朝は残った仕事を家で終わらせてから出勤した。

残業をしたくないからと言って、仕事を家に持ち帰っても結局やらずじまいになってしまうことが分かった。



今日の仕事は、こないだ調査した町の雰囲気、住みやすさ、周りの環境などについて文章を書くことだった。普段の仕事ではあまり頭を使わないので、こういう仕事をやる際には相当悩みながら仕事をする。

短い文章をたった7～8種類書くのに1日かかってしまった。普段から想像力を働かせて、深くものを考えなければいけないなあと思った。

**2000.12.08 Fri 納品**

---

今週からやっていた仕事に修正があったため、今朝もう一度現場に行かなくてはならなかった。午後から出勤し、夜、任された仕事を無事納品することができた。まとめる段階ではいろいろな人の力を借りたので、一人でやり遂げた感じはないのだが、室長が、「よく一人で調べたね。」と言ってくださった時には嬉しかった。今日は納品したらさっさと帰ろうと思っていたのに、気が付いたら深夜の12時過ぎまで人の仕事の手伝いをしてしまっていた。今はまだ仕事が好きだと思える。

2000.12.11 Mon 坂戸

---

会社の3人で埼玉県坂戸市の環境調査をした。東武東上線に初めて乗り、ちょっとした旅行気分だった。同僚のAとアルバイトのNさんと私の3人だったが、みな同じ年で、帰りに友達のようにいろいろとおしゃべりしたのが楽しかった。

今日も夜10時まで残業。同僚のAは私と一緒に帰ろうと計らってくれるのだが、なかなか同じ時間に帰れない。それは私の要領が悪いからでもあるし、キリのいい所で作業を終わらせたいからという理由もある。

周りの人々は10時になっても帰ろうとする気配さえうかがえない。終電ギリギリまで残る人たちがほとんどなのだ。新入社員の私たちが一番楽をしているように見えるだろう。

Aがいなかったら、私はだらだらといつまでも残って仕事をする社員になっていたはずだ。でも、マイペースなAがいるから、私もできるだけ早く帰ろうと思えるし、プライベートの時間を大切にしようと思えるんだろうな。

## 2000.12.13 Wed マップメーター

---

うちの会社のパソコンには電子地図というソフトが入っている。そのソフトを使えば、地名を選択するだけで、目的の場所の詳しい地図が見れる。それだけではなく、地図に図形を描いたり、建物間の距離を測ったりもできる賢いソフトなのである。しかし、今回調査している地域は電子地図外なので、マップメーターという器具を使って、紙の地図上で距離を測らなければならなかった。

初めて見るその道具は、裁縫用のルーラーに似た形で、それを地図上に押し当ててポイントまでの距離を測っていくやり方もルーラーの使い方によく似ていた。しかし、ギザギザの部分を紙に押し当てるため、何度も測る部分の地図は、まるで型抜きのようにきれいに切れてしまう。また、手が滑って少しでもずれたり後戻りしてしまうと、測り直さなければならない。

四苦八苦しなながら、その計測作業を終えたのは夜の9時近くだった。一日かかって地図とにらめっこしていたのである。

愛知に住んでいる友人Tが昨晚電話してきて、「今、仕事で埼玉にいるんだけど、明日会えない？」と言った。私は偶然にも今日仕事で埼玉に行くことになっていた。私の仕事が終わる次第、会うことになった。

今日は一人で仕事を任されていたので、早く切り上げて、2時半ごろ待ち合わせ場所の品川に向かうことができた。約5ヶ月ぶりに会ったTは全然変わっていなかった。Tと東京で会うのは初めてで、今日は私が案内することになっていた。

前々から中華街に行きたいと言っていたので、私たちは横浜に向かった。

午後4時という中途半端な時間に着いたので、飲茶で軽く食事をして、ぶらぶらと通りを歩いた。久々の中華街でとても嬉しかった。それから元町→外国人墓地→港の見える丘公園、と目的もなく歩いていた。公園から見える夜景が思いがけずとてもきれいだった。

夜になり、私たちはまた中華街に戻った。雑誌で見たえびと卵の炒め物が食べたいとTが言ったので、関帝廟近くの店に入り「えびたま」なるものと、麺類を注文した。「えびたま」はなかなかおいしくて、箸がすすんだ。

あっという間に時間が過ぎ、私はTを新横浜まで送っていった。Tはプリンスホテルの地下で会社へのお土産を買っていた。夜8時39分の新大阪行き最終の新幹線で帰っていった。

Tと私はお互いが優しくなれるいい関係だなあ、と改めて思った。これからも遠距離だけど友情を保っていけたらいいな。

**2000.12.15 Fri 坂戸**

---

朝6時に起き、もう一度埼玉県坂戸市に行き、必要な写真と情報を揃えた。会社に帰ってからは、坂戸市の文化施設などに関する短い文章を書かなくてはならず、遅筆な私は1日中かかって仕上げた。

夜、皆で残業していたら、室長のYさんが差し入れをしてくれて、バナナなどおいしく頂いた。本当に面倒見がよく、細やかな気配りをしてくれる上司だなあ、と思う。同じ女性として見習いたいなあ。

2000.12.18 Mon 納品

---

A社に資料を納品して、今日からまた新しい仕事が回ってきた。

明日は港区元麻布へ調査をしに行く予定。そのための事前の準備に手間をかけすぎて、また時間がなくなってしまった。丁寧かつ段取りよく仕事ができるようになればなあ、と思う。



昼、Aとお昼を買いに行くつもりで外に出ると、駅前の穴八幡宮に人がたくさん集まっていた。私たちは入り口から中の方へと続いている露店をめざして並んでいたが、その列はお札を受け取る人の列だった。私とAは露店でも特に欲しい物がなく、お札もいらなかったもので、一方通行の通りを逆行して神社を出てしまった。

それにしても、Aのフレンドリーな性格には頭が上がらない。ためらいもせず、気軽に辺りにいる通行人やお巡りさんにお祭りの内容について、しつこいくらいに質問していた。「これは、節分までやってるんだよ。」「ふうん、そうなのかあ。お札って何のためにもらうんですかあ？」という調子で。まるで何も考えていなさそうだと思えば、意外としっかりとものを考えていることに気づくときもある。なんだか不思議な子だと思う。

結局2人は歩き回っているうちに、お昼のための外出時間が終わりそうになってしまい、松屋で安い牛丼を食べて戻ったのでした。

## 2000.12.22 Fri 忘年会

---

今日は会社の忘年会。18時半には仕事を終わらせ、隣駅の高田馬場まで皆で急いだ。

高田馬場駅から数分歩いた所に「力」という居酒屋があり、そこで水炊きの鍋をつつきながら、総勢15名ほどでお疲れ様の会をした。

今は飲めない私は、他の飲めない2人に紛れて烏龍茶を頼んだ。皆、飲むように強要もしないし、なぜ飲まないのかとも聞かないので、安心して、食べに徹した。水炊きに始まり、焼き鳥やポテトサラダ、イカと大根の煮物、大根の梅風味サラダ、オムライス、焼きうどん、など履いていたジーパンがきつくなるくらいに食べてしまった。

今日はアルバイトの人たちも交えての飲み会だったので、とてにぎやかで、楽しかった。

## 2001.01.03 Wed 里帰り

---

日中は鈍行列車を何度も乗り換え電車の旅をしていた。乗る電車によって車内の温度が非常に異なるので、身体がおかしくなりそうだった。

山口の辺りで佐賀の友人Aから電話がかかってきて、小学校時代の仲間が集まっているのでおいでと誘われる。私は久々に友人達に会いたくなり、新下関から博多まで新幹線に乗ってショートカットした。夜11時着の予定が2時間早まり9時に故郷に着いた。

母に駅に迎えに来てもらい、母の開店したての雀荘に行く。そこでお客さんに挨拶してしばらくくつろいだ後、友人達のいるカラオケ屋へと車をとばした。

部屋に入ると小学校・中学校の友人ら10名ほどがわいわいと騒いでいて、とたんに懐かしくなった。一人一人顔つきは変わらないのだが、中には想像もしていなかったほどきれいになった女の子もいて、驚いた。

この中の友人達で未だに連絡をとっているのは電話をかけてきたAだけなのだが、皆、久しぶりに会ったせいか、話が絶えず、学生時代に戻ったようだった。

同じ場所において、同じことをしていた仲間が、今はあちこちいろんな場所においてまったく別々の仕事をしていると思うと、時の流れの面白さをしみじみと感じる。

退院後の経過を診てもらうために、午後、病院に行った。歩いて向かう途中、ぱらぱらと白いものが降ってきたと思ったら、雪だった。どんどん降ってきて、あっという間に積もった。

病院では、経過は良好なので、もう普通の生活に戻っていいと言われる。やっと湯船に漬かれる！冬はシャワーだけでは本当にツライ。あったまんないから。

青春18きっぷが余っていたので（本日が有効期限）、最後にどこかへ行こう、と思って、寄り道して家に帰った。どこに寄ったかと言うと、南武線で私の生まれた町、立川へ。

しかし、着いたら異常な寒さで、立川の街を歩くことは一切せず、駅直結のグランデュオ立川というファッションビルに入った。

中にはスーパー、雑貨屋、ブランド店など、いろいろ入っていて、一人でぶらぶらしながら結構楽しめた。どこのテナントでもセールをやっていたので、つついとお買い得商品がないかと探してしまう。

“Vert Dense”のスカート2800、“ART/BERG”のスニーカー2000で購入。どちらもなかなかいい買い物だった（と思っている）。

上のレストラン街では、全て中華料理店&中国雑貨の店のフロアがあり、中華街好きの私は、ぐるぐると回っていた。やはり一人で中華料理屋で食事するのは寂しいので、見るだけだったけど。いつか誰かと改めて一緒に行きたいなあ。

帰りは積もったばかりの雪の道を歩きながら、幸せ気分だった。寒いのは嫌いだけど、辺り一面積もった雪がいつもと違う景色を作り出していて、面白かった。

友達のライブに行った。ライブハウスなんて5年ぶりくらいだ。中に入ると、もうどこかのバンドの演奏が始まっていて、入ると同時にお腹にすごい振動が来た。

友達のバンド“DEKOBOKO”は、今までに聴いた事のない部類の音楽で、なんだか新鮮だった。ボーカルは2人いて、ハスキーで低音のMの声と、透き通った高音のKの声が対照的でマッチしていた。しかし、何を言っているのかまったく聴き取れない。詞ってなんのためにあるのだろう、とってしまった。

Mはとにかく表現力豊かで、客を惹きこむようなところはさすがだと思った。ステージに立ってもぎこちなさが全然ない。全身全霊をささげて歌っている、という感じだった。集中力=邪念がないということが人に感動を与えるのかな。

よく歩いた一日だった。

仕事で西東京市に行き、保谷駅から保谷市庁舎を歩いて往復した。

その後会社に帰ったが、納品のため、月島に行かなければならなかった。

外回りは疲れるけれど、直帰を許されるので、早く帰れるのが嬉しい。

月島から大江戸線に乗り、大門まで。

大門からは天王洲アイルまで歩いた。駅にすると3つ分くらいだろうか。

この頃はそれくらいすぐに歩いてしまう。昔の私では考えられなかったことだ。

2、3駅ほどのために交通費を払って電車に乗ることが惜しいのだ（ケチ？）。

歩く時間があつたらその時間を他のことに費やすことができるだろうに、と思われるだろうが、私は歩いて浮いたお金を他のことに費やしたいと（時々）思うのだ。歩いている時間は、風景を楽しんだり、考え事をしたりして決して無駄ではない（と思いたい）。

移動時間を短くして、きちきちと時間を切り詰めた方が、より中身の濃い人生を送れるのだろうか。

## 2001.01.23 Tue 500円貯金

---

100円ショップで買った「30万円たまるバンク」。中身は全て500円というルール。お財布の中に500円玉があると貯金するようにしているが、このごろやりすぎて手持ちのお金がずいぶん減ってしまった。給料日まで後2日もあるのに、もうお財布の中には2000円しかない……。貯金もほどほどにしなければ。

30万円貯まったら？用途は未定だけど、多分、旅行に行くか、引越すするんだろうな。欲しいもの、今のところはないしなあ。

あ、ストーブが欲しい！でも貯まる頃には、もう暖かくなっているんだろうな……。来年もこたつストーブ無しで越冬か？

2001.01.25 Thu 上司

---

私の直属の上司は30代前半の女性。私たち部下のことを本当に大切にしてくれる。

誰かの仕事でミスがあっても、彼女は当人を責めたりせず、自分の責任だとして処理する。

あまりからだの調子が良くないときでも、自分のことより部下のことを先に心配する。そのうち倒れるのではないか、とこちらが心配になる。

早く一人前になって、彼女の負担を少なくしたいなあ、と思う。



2001.01.26 Fri 船橋

---

千葉県の船橋市で調査の仕事をした。今日は、自分で歩いて距離を測らなくてはならなかった。コロコロと転がすと、距離がカウントされる、あの器械。測っているときは目立ってしょうがない。人の目が気になるので、（自分の）気を他のことにそらそうと（？）音楽聴きながら仕事をしていた。

昼12時頃から仕事を始めて、終わったのは夜の11時だった。適当にやればもっと早く終わる仕事なのだが、歩いて自分の目で確かめないと心配なのだ。10時間ぐらい歩いていて疲れた～。

今日はお腹の調子が悪かった。地下鉄で船橋に向かっている途中、痛みが限界に達して下車した。それからは快調だと思っていたのに、夜の7時過ぎ、また繰り返した。こういう時、外での仕事はツライなあ。

雪が降らなかったのは助かった。ほっ。

**2001.01.30 Tue** かわいい雪

---

先週末に雪が積もり、それからカチンコチンに凍ってしまい、駅までの道を歩くのにツルツル滑って一苦労だった。気温が上がらないので、数日間、路面は氷のままだった。

ひとしきり雨が降った後、あんなに頑なだったかたまりが徐々に融けてきてざくざく雪になった。意地をはっていた心が素直さを取り戻した時のようで、なんだか可愛く思えた。

今日は外で調査をしていた。昨日のテレビの影響か、むしようにラーメンが食べたくなったので、現地近くのラーメン屋に入った。

ラーメンだけなのに、なぜか10分近くも待たされた。とんこつ白湯スープのラーメンを注文したが、出てきたのは、とんこつしょうゆ色をしていた。味は・・・可もなく不可もなく、といった感じ。でも、食べ進めるうちにだんだん塩辛く思えてきた。麺を食べ終わる頃には塩の味がとがって感じられ、いい印象が残らなかった。

テレビや雑誌では、ラーメン特集など頻繁にやっているが、いくら人気の店に食べに行っても、本当に自分がおいしいと思えるラーメンにはなかなか出会えないものだ。

私が車の免許を取った5年前、高校時代からお世話になっている人から定期入れ（兼免許証入れ）をもらった。何年か愛用していたが、いつからか使わなくなってしまった。ふとその存在を思い出して、昨日からまた使っている。

今日、その定期入れを持って、会社に行ったが、肝心の財布を忘れてしまった。気づいたのはお昼を買いに行こうとした時だった。振り込みもあったので昼休みに家に取りに戻った。

この頃、本当に忘れ物&物忘れがひどい。病気なのではないか、と思うほどだ。これから生きていく上で支障が出なければいいのだが・・・。

## 2001.02.07 Wed 電気ブラン

---

立春は越えたが今日はかなり寒かった。

友人Tと一緒に電気ブランを飲んで帰った。

ウイスキーかなあ？と思ったが、少し甘くて飲みやすかった。

お酒のおかげで、帰り道はちょっと暖かかった。

2001.02.09 Fri 笑う

---

今日締め切りの納品物を無事、得意先に持っていくことができた。

S社のMさんは相変わらず無表情で、愛想笑いなど全くしない。私はどちらかと言うといつもへらへらしているタイプなので、こういう人と接するときは恐れ多い。

なぜか仕事の話をする場で、夕飯の話になり、実は昼食も摂っていないということを告げると、「ご飯を食べないと脳に血液が回らなくなるのだからしっかり食べなくちゃ。」と真剣に怒られてしまった。他にも、「凍傷ってどうして起こるか知ってますか。」と聞かれたり。ことあるごとに、「女性は身体を大切にしなくちゃ。」と言われる。

どうやらS社は女性を大切にする会社なのだそうだ（うちとは大違い?）。愛想は悪いが、こんな下っ端の私を気遣ってくれるなんて、きっと優しい人なのだろう。

愛想ばかりがいい(?) 私にとっては、こういうポーカーフェイスの人は憧れでもある。誰にでもいい顔するのって良くないよなあ。

**2001.02.10 Sat** 何もない休日

---

昼12時過ぎまで寝ていて、それから起きて、洗濯物干して、ご飯食べて（餃子作った!）また夕方から寝ていた・・・。

久々に一日中家にいることができ、満足。

あ、洗濯物干すときに、隣の大家の家の庭に、ハンカチを落っことしてしまった。明日取りに行こうっと。

今日も、1日中外に出ず、家にこもっていた。

あちこちに散らばったMDやCDを整理して、スッキリ。

そして、深夜から私のアルバム作成が始まった。子どもの頃からの膨大な数の写真が、ただのポケットアルバムにしまっていたので、こないだまとめようと大きなアルバムを買っておいたのだった。

小学3年になる前の春休みに、つくば万博に行った時の写真が出てきた。

1985年に開催されたつくば博では、15年後に届けられるハガキを書くというコーナー（ポストカプセル2001）があったらしく、私もこないだ友達から、彼女が自分宛てに書いたハガキを見せてもらったばかりだ。

私は、そんなハガキを書いた覚えもなかったし、実際、ハガキは届かなかった。当時、私達家族が行ったときには雨が降っていたので、あまり見て回ることもなく、早々に引き上げたのだろう、と推測する。ちょっと残念である。

中学時代までの写真を1冊のアルバムに収めた後、力尽きて寝床に入った。

高校、大学時代の写真は、これ以上に多いので、まあ、気長にやっっていこうかな、と思っている。

とりあえず、ずっとやりたかったことに着手できただけでも満足。



## 2001.02.12 Mon 休日出勤

---

今週金曜までに納品しなければならない制作物があるので、昼、のそのそと起きて会社に行った。会社のドアを開けると、社員の半分くらいが出勤していて、思わず今日は通常出勤日なのか、と焦ってしまった。が、彼らも締め切り間近の納品物を抱えており休日出勤していたのだった。

いつの間にか終電の時間が迫ってきており、気が付いたら一人だった。私の住む場所が会社に最も近く、終電も他の人より遅くまである。でも、いつもだったら、皆と一緒に会社を出るのだけれど、今日は私が出遅れたので、戸締りをして帰らなければならなかった。

終電に間に合うように余裕を持って出ようとしたが、最後の電気のスイッチがどこにあるのかわからず、時間を食ってしまった。数分後、なんとか見つけ出し、会社のドアにも鍵をかけて出た。しかし、今度はビルの入り口のシャッターを閉めるのにてこずり、とうとう終電は行ってしまった（このビルには数社が入っており、一番最後の会社がビル全体の鍵をかけることになっている）。

泣く泣く隣の駅まで走り、別の路線で帰ったのだった。

最後まで残るのはもう、やめたい。

朝、天気予報を見ていたら、日中の最高気温が6度なんて言っている。今日は外に出て調査する日なのに～。

重い腰を上げて家から出て、東京の下町の方へ電車を乗り継いで行った。今日訪れた町は、江戸時代からの伝統を受け継ぐ職人さんたちがたくさん住んでいる町だ。べっ甲職人、木彫り職人、能面職人、etc・・・。区はこういった職人さんたちに、「マイスター」の称号を与えている。そして、それぞれの工房を「小さな博物館」として、広く一般市民にも公開・開放している。後世にこれらの文化を受け継いでいってもらいたい、という狙いなのだろうけれど、とても良いアイデアなのではないか。

このような文化施設が多い町はすごく魅力的だと思う。暇なときにふらっと訪れて気軽に文化を学べる、しかもほとんど無料で。こういう町に住んだら、知的好奇心が旺盛になるような気がする。

仕事でいろいろな地域を訪れたけれど、行政が力を入れているだろう分野を垣間見ることができて面白い。たまに、住みやすい町になるように努力してるの？と言いたくなる地域もあるけれど。官公署が分散しすぎていたり、区画が整っていなかったり、情報公開がきちんとされていないような町に行くと、どうしてもマイナスのイメージが残る。

## 2001.02.14 Wed バレンタインデー

---

この年になると、この日を特に意識することもなく過ごしてしまう。

昔は、自分で言うのもなんだが、かわいかったなあ。小学1or2年の時だったか、ちょっと気になる男の子にさりげなくチロルチョコ（1個！）をあげたり。中学生の時には好きな先輩にマフラーを編んだりして、かなり盛り上がっていた気がする。

どこの会社でも男の社員さんに義理チョコなるものをあげたりすると思うのだが、うちの会社では、今日は、女子社員の誰も、バレンタインの「バ」の字も口に出さなかった。残業時に女性の上司のYさんから差し入れられたせんべいをバリバリ食べながら、女性も男性も複雑な気持ちだったにちがいない・・・？

## 2001.02.17 Sat 腰痛

---

こないだの夜、筋トレをして以来、どうやら腰を痛めてしまったようだ。腰痛なんてほとんど経験したことがなかったのに、今は長時間座っていて立った時に、痛みが走る。日ごろの運動不足を思い知らされている。最近は忙しくて泳ぎにも行ってないしなあ。そろそろ水泳禁断症状が出はじめているので、来週あたりプール、行きたいなあ。

今日は外での仕事だった。

駅に着き、切符を買おうときっぷうりばへ向かった。私の前で、ぽっちゃりした女性が突然、くるりと華麗に1回転したので思わず注目すると、前を歩いていた女性の前でぴたりと止まり、「手相を見せてください。」などと話しかけていた。話しかけられた女性は、目も合わせず通り過ぎ去って行ってしまった・・・。

勇氣を出して声をかけたのに相手にもされないなんて、不憫だなあ、なんて思ったり、あんな風にバツタリと出会ったかのようにピタリと止まるなんて器用だなあ、なんて感心したり・・・？

2001.02.20 Tue 昇給

---

常務が仕事をしている私のそばへ来たかと思うと、紙の切れ端を目の前にそっと置いた。

なんだろう(?)と見ると、給与明細だった。基本給が少し上がっていたので驚いて常務の方を見ると「がんばっているから。」と一言。とても嬉しかった。夜遅くまで働いている甲斐があったなあ、としみじみとしてしまった。それでも今まで通り、生活は切り詰めなければ苦しいのだけれど、少し余裕が出てきて精神的に楽になった。

## 2001.02.21 Wed オークション

---

もうすぐ冬も終わりだが、Yahoo!のオークションでストーブを購入した。

今度、うちに受験生が泊まりに来るのだが、極寒の我が家では風邪を引いてしまうだろうと考えて・・・。

オークションで購入した品は中古とは言えど、傷一つなく、とてもいい状態のものだった。やかんが置けるので、お湯も沸かせるし、加湿器代わりにもなる。まさに一石三鳥？使うのが楽しみ。

うちの会社にアルバイトで来ているHさんと途中まで一緒に帰った。私がやっている仕事を手伝ってもらっていて、今日は12時近くまで働いてもらった。

彼は語尾に「ね」をよく使い、おっとりとしゃべるので、若いイメージがあったのだが、年を聞いたら、私と同年代だと言ったので驚いた。

でも、仕事に関してはきちんとやってくれるどころか、私にアドバイスをよくくれるので、非常に有り難い（経験は彼の方が長いのだ）。

あまりにも遅くまで手伝ってもらって悪いなあと思ったので、「もう帰っていいですよ。続きは明日でいいから。」と言うと、「こびとがやっといてくれるよ。」と一言。

・・・こういう迷言がポンポンと飛び出す彼のアタマの中はどうなっているんだろうと、時々不思議になる。



## 2001.02.23 Fri メキシカンライス

---

会社の近くのメキシコ料理店で、同僚Aとランチを食べた。

2人でメキシカンライスを注文した。

プレートにジャンバラヤ（辛いピラフ）とチョリソーとキャベツの千切りが乗っていて、チョリソーがとても辛かったので、思わず、ビールが欲しいね、と言い合った。でも仕事の途中だったので、ぐっと我慢した。さすがに平日の昼間からアルコールはまずいだろう。

昔、母が「〇〇〇〇〇ライス」と称して作った料理があった。それは、炒めた牛肉と、キュウリとトマトの角切りをご飯の上に乗せ、その上からマヨネーズをかけたものだった。私は今日のメキシコ料理店でメキシカンライスをたのむ時、そういうものを想像していたのだが全然違っていた。

ふと、今ごろになって思い出した。母が作っていたのは「シシリアンライス」だったのだと。どうりで似ても似つかない料理が出てきたわけだ。

## 2001.02.27 Tue 運動不足

---

最近、身体のあちこちが痛み出し、これまでになかったことなので、戸惑うとともに、健康への意識が芽生えた。

会社に入る前は何らかの形で運動する機会がちょくちょくあったが、最近は働き詰めである一定の筋肉しか動かしていない。柔軟性が失われているのがはっきりと分かる。

ストレッチなどをして、普段使っていない筋肉を動かしてあげなければ。

小学3年生の時、私たちのクラスにAちゃんという女の子が転入してきた。彼女は、私の家の近所に住んでいて、母のピアノ教室の生徒でもあったので、すぐに仲良しになった。

私からAちゃんの家まで歩いて約3分。毎日のように彼女の家に行っては、路上でボール遊びやバトミントンをしたり、家の中でゲームをしたり、お菓子を作ったりした。彼女の妹のJちゃんも一緒に遊ぶことが多かった。Aちゃんの両親はとても優しい人たちで、いつも快く私を受け入れてくれた。

転校したばかりの頃、Aちゃんは、以前住んでいた福岡が恋しい、こんな所（佐賀）にいたくない、とぼやいていたが、何年か付き合ううちにそんな言葉も言わなくなった。

中学を卒業した頃、Aちゃんはもと住んでいた福岡に帰ることになった。それ以来、ほとんど会わなくなったが、今でも年賀状のやり取りをしている。

そんなAちゃんから、こないだ一通のハガキが届いた。

中身が見えないピンク色のハガキを開いてみると、「結婚しました」との報告。小さい頃の思い出を思い返しながらか、感慨深い気持ちになった。無邪気に遊んでいた友達が、新しい家庭を築く。月日は確実に流れていっているのだと。

今はこんなに離れている私にも結婚式の招待状を送ってくれた。今度、4月28日に古きよき友達の晴れ姿を見に、九州に帰るつもりでいる。

## 2001.03.01 Thu 心配

---

同僚のAが朝から首が痛いと訴えていた。どうやら寝違えたらしいのだ。昼ご飯を食べてから、ますます痛み出し、夜になって残業している時に激痛へと変わっていった。

私はその時やっていた仕事を中断して、Aと一緒に帰ったのだが、途中で分かれるとき、本当に心配だった。明日は多分病院に行くだろうけれど、早く良くなるといいなあ。

2001.03.02 Fri 多忙

---

D社に今週やっていた仕事を夕方5時過ぎに納品して、ほっとしたのもつかの間、また新しい仕事を任され、せっかくの金曜なのに残業。それもすぐに済むと思っていたのに、なんと、週明け、軽井沢に行ってくれとイキナリ言われ、その準備に追われた。

軽井沢ではいろんなお店を回り、取材をしてこななければならない。ずっと他の社員が担当するものだと思っていたのに、急にそんなことを言われても・・・、と納得が行かなかったが、断るわけにもいかず、引き受けた。

寒いんだろうな・・・。

2001.03.03 Sat ひなまつり

---

桜もちが食べたい。

大分から母の友人の娘Mが受験のために東京へやってきた。彼女が幼児の頃からしょっちゅう遊んでいたの、私にとっては妹みたいなものだ。それでもMが小学生高学年の頃からは行き来があまりなくなり、最後に会ったのはMが中学生の時だった。

Mは服装も性格もボーイッシュな感じだったが、今日久しぶりに会ったら髪の毛も伸びていて、一応女の子に見えた。一見おとなしいように見えるが、瞳の奥にはすごく強い意志が表れていて、なんだか大物になりそうな予感すらする。

彼女はもう別の大学に受かっていて、春から東京に来ることは決まっているのだけれど、明日受ける大学が本命のようである。知り合いが近くに住むことは嬉しい。

受験生を送った後、私は会社の先輩と新幹線に乗り、軽井沢に向かった。仕事の残りをしていて、結局前日寝たのは4時半だったので、眠くて仕方がなかった。

軽井沢には1時間あまりで着いた。こんなに気軽に行ける場所だったのか、と驚いた。しかし、現地は雪、雪、雪！あたり一面積もっていて、さらに吹雪いていた。先輩はいきなりやる気をなくしたと言っていたが、私は、きれいな景色と静寂に惹かれて、非日常的な雰囲気を楽しんでいた。

今日は軽井沢の塩沢湖付近の美術館の取材だったが、外観など撮っても誌面に載せられるはずもなく、悩んだ。まあ、なんとかなるさ、と仕事が終わら美術館めぐりをした。シーズンオフの軽井沢は眠ったように静かだった。

夜はレストラン付きのホテルに泊まったが、私たちを含め、客は2組！大浴場はこんな状態のため、使われておらず、部屋に付属しているユニットバスだけだった。大きなお風呂であたたまって、疲れを癒せることをかなり期待していたのに・・・、それが一番残念だった。

疲れていたのでも早く眠りたかったが、先輩と明日の打ち合わせのため、夜0時ごろまで起きていた。拷問だと思った。



6時半起床。私はまず、朝食の前に近くのコンビニにコピーをとりに行かなければならなかった。宿のご主人はとても親切で、車を貸してくれた。雪道を初めて運転した。転倒しなくてよかった。

先輩は7時半起床。それから急いで朝ご飯を食べ、先輩の9時の取材に間に合うようにした。ご主人が送ってくれてとても助かった。

私はある乗馬クラブに行き、そこでいろいろと話を聞いた。なんと馬にも乗せてくれた。北海道に行った時に引き馬で乗って以来だが、こんなに高さがあったかなあ、と少し怖かった。インストラクターの人が、丁寧に馬の動かし方を教えてくれたので、一人でも馬に乗って歩くことができた。雪道を引いてもらったが、なにしろ深く積もっているのに、馬がつまづきそうになって非常に怖い思いをした。でも、馬はすごくおとなしくて温かくて、ずっと一緒にいたかった。

この他に、教会やレストランなどの取材をし、19時発の新幹線で帰った。疲れたけれど、軽井沢の人たちはとても親切で、気持ちのよい仕事があった。最初はおっくうだったけれど、なかなか有意義な出張だったなあ、と思う。

## 2001.03.07 Wed 出張から帰って

---

今回の出張では地図を持ち、いろいろな場所に移動するときに、きちんと現時点を把握していたので、より深くその地を知ることができたと思う。

今までいろいろな場所に旅行をしてきたが、どれも、ただ目的地をめざし、その中で楽しむという単純なものだった。これからは、事前に少しその地のことを勉強して、地理的なことも把握しておく、より充実感が得られるのではないかと気づいた。

2001.03.08 Thu 失恋

---

朝7時頃Tちゃんから電話がかかってきて、寝ぼけた頭で電話に出ると、「彼と別れた。」と泣いていた。理由を聞くと、彼に好きな人ができて、もうこれ以上付き合えない、と言われたという。2人は付き合っただけ3ヶ月で、本当に仲良く見えていたのに、どうして?と信じられなかった。

別れには死などの不可抗力のものと、人の気持ちの変化によるものがある。前者はより深い悲しみを、後者は心に深い傷をもたらすのだろうか。

今日できた仕事の資料を手渡しに、N社まで行った。その帰り、ちょうどお昼時だったので、お昼を食べにインド料理屋に入った。そこはビルの8階にあり、4階はパキスタン料理の店だった。エレベーターを上がるときに、8階に行こうとする私に、4階のパキスタン人が「量をたくさん食べたいなら8階へ、美味しい料理を食べたいなら4階へ。」と言い残して、4階で降りていった。

実は4階のパキスタン料理の店は前回行ったのだ。確かに美味しかったけれど、カレー好きの私はいろいろと試してみたいと思い、今日は8階に行ってみたのだ。8階にあがると、私のほかに客はいなくて、がらんとしていた。店のスタッフはインド人ばかりで圧倒されそうになったが、席に着き、カレーをたのんだ。その店は食べ放題だったので、まず、マトンカレーをたのんだ。ちょっと臭みがあり、イマイチ……。ナンはおいしかったけど。次に、豆カレーをたのんだ。これは豆が入りすぎて、口の中がぼそぼそしてうまくなかった。

やはり、今度からは4階にしよう。

マトン肉とラム肉の違いをこないだ軽井沢の洋食屋で教わったので、覚え書き。マトン肉は大人の牛で、生きていうちに体臭が強くなってしまい、肉に臭みが出るのだそうだ。それは羊が食べている草の臭いでもあるそうだ。

ラム肉は生後数ヶ月の子羊なので、それほどクセがないということ。ちょっと納得したが、人づてで聞いた話なので、正確な情報かどうかはわかりません。

入社当時から仕事を教わっていたKさんが今週いっぱい会社を辞めてしまうそう。今週に入って面接を受ける人がたびたび来ていたので、どうしてだろうと思っていたのがようやく納得できた。

Kさんは、昼に食事に行くと言って、実は密かに別の会社の面接を受けに行っていたようだ。最初から計画性のある人だと思っていたが、最後まで抜かりのない人だった。もう来週からは他の会社への勤務が決まっていた。

Kさんは、うちの会社の上司にも、この過酷な労働形態を改善するよう求めていたが、なかなか意見が反映されず、結局この会社に愛想をつかせてしまったのだろう。まともなことを言っているのに、聞き入れられず、私も不本意だと思っていたところだった。

会社で数少ない信頼できる人だったのに、いなくなってしまうのはとても寂しい。

2001.03.15 Thu 交流

---

入社して4ヶ月、仕事の基礎的なことは一通り覚え、このごろはお昼のひとときが一番の楽しみとなってきた。

お昼を女子社員数人で食べに行くことが多いのだが、他愛もないおしゃべりをしているだけで、気分がほぐれる。

忙しい毎日の中で、人とのコミュニケーションがとれることが貴重に思えてきているのだ。

## 2001.03.16 Fri 送別会

---

会社が終わって19時半からKさんの送別会。近くの居酒屋に集まった。仕事が長引いて遅れる人が続出し、時間制限のある飲み会だったので、盛り上がり半ばに解散となってしまい残念。

2次会はカラオケ。半年ぶりくらいにカラオケ屋に行った。主役のKさんは一番に「スーダラ節」を歌い出し、皆どう反応したらよいのかわからなかったようだ。（次の番には彼は「Fly Me to the Moon」を歌っていた。渋い人だ。）

終電の時間が来て、Kさんら5人で途中まで一緒に帰ったが、これで、もう会えなくなるのかと思うと、むしように寂しかった。学生時代と違って、こういう社会では同窓会なんてものはない。また会う可能性なんてほとんどないのだ。

社会人になって、初めて経験した別れかもしれない。

2001.03.17 Sat 充電

---

週末はとにかく眠る、眠る、眠る！

あー、よく寝た・・・



2001.03.20 Tue 仕事

---

春分の日だけれど、昨日遊んだので、今日は代わりに仕事に出かけた。

やはり、冬の季節と比べて、日が暮れるのがだいぶ遅くなった。

写真を撮る作業があるので、大変喜ばしいことである。

## 2001.03.23 Fri やりたい仕事

---

今日は、朝会社に直行せずに、仕事の調べものがあったので、図書館に寄った。

調べに行く前には全然明らかでなかったことが、少し司書の方にお話を聞いたり、自分で資料を見つけて読んだりするうちに、だんだん分かってきた。

会社に帰り、調べたことをレポートにまとめる作業はなかなか楽しくて、自分はこういう仕事に喜びを見出すのだと、ちょっと新発見だった。

駅前の店で、回転焼を2つ買ってJと分けて食べた。

どうやらこちらでは「大判焼」とか「今川焼」と言うらしい。同じ物でも地方によって名前が違うものが結構多いんだなあ。

・・・後で、インターネットでちょっと調べたら、九州の方では「回転焼」と呼び、中国地方では「二重焼」と呼んでいるみたい。正式名称が「今川焼」のようです。面白いですねえ。

2001.03.27 Tue コンビ

---

先週入ってきた新入社員とコンビを組んで、明日仕事に出かけることになった。彼は私と同じ姓なので、非常に紛らわしい。今日も明日の打ち合わせをしていたら、ドアの入り口で「Tさん」と呼ぶ声がし、二人同時に返事をしてしまった。

なんでもいいから呼び方変えて～！

## 2001.03.28 Wed 体重の変化

---

私の身体に関して、いつも不思議に思うことがある。

飲んだ次の日はなぜか体重が減っているのだ。

しかも、大量に飲んだ後は、とくに。

お酒は水分だから外に出て行くってことかしら？

前々から仕事の要領が悪いのは気にしていたのだが、明日で入社5ヶ月になるのに、まだまだ改善されていない。

今日も終電コースで、人通りの少ない道を一人で足早に帰っていった。

深夜1時をまわっていた。

同じ遅い時間でも、12時前に帰ると1時過ぎて帰るとでは、帰り道の恐怖感が違う。自転車1台がやっと通れるくらいの細い道を歩くため、ホントに静かで心細い。深夜はひっそりしていて、どこかから誰かが出てくるのではないかと怯えてしまう。

## 2001.03.30 Fri 5ヶ月目

---

入社して、ちょうど5ヶ月。

すっかり仕事色に染まってしまった。

自分の夢が少しでも実現できそうな会社を選んだつもりだが、今やっていることは少しズレている。自分で努力をしないと、ずっと進歩のないままだ毎日過ごすことになってしまいそうだ。

合間を見つけてきちんと勉強をしなければなあ。

2001.04.01 Sun 夢

---

渋谷の109に行った。

以前のアルバイト先の仲間が、今ここでフリーターとして働きながら音楽のプロの道を目指している。過去にはいろいろな問題に巻き込まれ、一時はどうなることかと思ったが、今はやっと落ち着いて、着実に自分のやりたいことへと進んでいるように見えた。友達の頑張っている姿を見ると、すごく応援したくなるし、自分も何かやらなくちゃという気になる。



## 2001.04.03 Tue 自分の時間

---

久しぶりに早く帰れた。

帰って一人でボーっとできる時間がこのごろ貴重に思える。

2001.04.05 Thu 限界

---

昨日は外回りだったが、今日は会社でずっと仕事。一緒に行動した新人クンは、一つの仕事をするのにすごく時間がかかってしまっていて、とうとう定時を過ぎても終わらなかった。

時間がたてばたつほど仕事のミスは多くなっていき、思考が限界に達してしまっていると、彼は言った。本当に気の毒だった。

精神衛生上良くない仕事だなあ、とつくづく思う。

## 2001.04.06 Fri 時間の流れ

---

週の半ばに外での仕事をしたので、なんだか今週は1週間が早く感じて、ついつい今日は金曜日だということを忘れてしまっていた。

明日は待ちに待った休日。

・・・このごろの楽しみといえば、同僚と一緒に昼を食えることと、土日の休みくらいだ。

**2001.04.07 Sat 花見**

---

電車で10分で行ける大きな公園で花見をした。正確に言うと花見歩きだが・・・。

公園では、絵を描く人、音楽を演奏する人、物を売る人、宴会で騒いでいる人・・・皆、さまざまな過ごし方をしている。外で人間がこれほど解放的になって、のびのびゆったり過ごせる場所ってそうそうないなあ、と思う。

久々にバレーボールの練習に顔を出した。

仕事で長時間歩くことはあっても、全身を伸ばすことをしていなかったなので、非常に身体が硬くなってしまっている。

バレーボールそのものよりも、週に1度でもしっかりと柔軟体操して、カラダをほぐすことに重点をおきたい。

## 2001.04.11 Wed 食事

---

常務からランチに誘われて、近くのファミレスに行った。同じ物を同時に食べ始めても、私は10分近くも食べ終わるのが遅かった。別に私がずっとおしゃべりしているわけでもないのに、どこでそんなに差がつくのかと、不思議だった。

一人だけ食べているのをじっと見られるのはちょっと恥ずかしくて、ますます食べ方に気を使って遅くなってしまうのだ。

今日取材したフラワーショップの女性のオーナーは、お花屋だけでなく、陶芸教室、フラワーアレンジメント教室などを経営していて、さらには、再来月に喫茶店まで開く予定だと言う。もう50近いと思われる人が、目をキラキラさせて、自分の夢について語っていた。

「お店の中は・・・お花でいっぱいにして、・・・好きな音楽をかけて、・・・一人の空間を大切にできる喫茶店にしたいの。」

好きなことをやっている充実感が垣間見られ、納得のいく人生を送っているように思えた。

私も今のうちに修行を積んで、年をとったら何か好きなことを仕事にできたらいいな、と思う。

## 2001.04.13 Fri 仕事の後の1杯

---

千葉に取材に行き、歩き回って疲れて帰る途中、駅の構内にあるキオンシティで1杯だけ飲んだ。そして、また1時間ほど電車で揺られ、会社に帰った。今日は、とても暖かかったのでビールの味も格別だった。

自分の隣に座っていた中年のサラリーマンは「ここでは長居できないな・・・。」とぼそつと言った。たしかに喫茶店感覚でゆっくり飲む場所ではないけれど、こういう場所は一人で飲むにはわりと居心地がいいものだ。



## 2001.04.14 Sat とんこつラーメン

---

昨日の夕方、会社に戻る前にポジフィルムを現像に出して、昼食がまだだったので、ラーメン屋に入った。

久々にとんこつラーメンを食べた。高菜漬け、紅しょうが、にんにくを好きな量だけトッピングできる。やはり、博多ラーメンはこうでなくては。・・・落ち着いた。

## 2001.04.15 Sun バレーボール

---

何ヶ月かぶりに、バレーボールの練習に顔を出した。いつものメンバーに新しい顔ぶれがプラスされて、大勢来ていた。

入念に準備体操をし、まずは、バスケットでウォーミングアップ。ただ走っているだけの様な気がしたけど、楽しかった。

バレーボールは、張り切ってやっても、しょせん初心者。空回り状態でかなり迷惑をかけてしまった……。でも、うまくなりたいなあ。

これから毎週日曜は運動しに行こうと思う。

2001.04.16 Mon 大急ぎ

---

朝から仕事であちこち走りまくり！

まず、K社に出していた写真を取りに行き、それからI社に朝イチで届け、会社に戻りN社に11時頃到着し、打ち合わせ。

あわただしい一日だったけど、外に行き、いろんな会社の人と知り合えるのは嬉しい。でも、このペースで一週間仕事すれば・・・死ぬな。

やっと私も初めて「制作」と呼べる仕事を任されつつある。ちょっとしたパンフレットを一から作りはじめるという・・・。

前に先輩が作った「作品」を眺めていたら、人それぞれいろんなデザインのものを作っていて、個性が出て面白かった。

これらのパンフレットを作るには、「イラストレーター」というソフトをマスターしないといけない。私はほとんどこのソフトにはタッチしていなかったので、これがネックである。

このソフトを操れるようになれば、ちょっとした制作物を完成させることができるので、ぜひともマスターしたい。

それが今の私の目標である。

先輩が得意先のMさんと電話でなにやら喧嘩をしている。このごろ、こういう光景は珍しくない。

聞くと、雨で進行状況が思わしくないのに、先方が無理を言ってくるので、お互いの言い分を主張しているうちに白熱してしまったようだ。

お客さんと喧嘩をするなんて、仕事を回してもらえなくなるんじゃないかとハラハラしてしまうが、どうやら先輩の場合はこれで自分の地位がしっかりと確認できているようである。先方が無理な注文を言ってくるときに、ハイハイと何でも受け入れようとするのではなく、できないことはできないと、はっきり言う。そのことで仕事の信頼関係が築けているのだと思う。

でも、それは、しっかりと相手から頂いた仕事をできている自信がないと、きっと逆効果になってしまうのだろう。

昨日、会社でデジカメがもう一台必要ということで、私が買いに行くことになった。パソコン関連機器に詳しい先輩に品質のよいデジカメをリストにしてもらったりしたが、電器店に行って調べるとそれらのほとんどが古い機種で、結局は自分で選んで買うことになってしまった。

最近ではMP3のプレイヤーがついていたり、本当に軽くて小さかったり、といろんな種類のカメラがあり、迷いに迷った末、約1時間後(?)、オリンパスの最新のデジカメを購入した。10万円を預かっていたが、5~6万円で購入するだろう、と言われていたのが、300万画素以上の、8万近くのカメラを買ってしまった。それにスマートメディアをプラスしたら、おつりがほとんど来なかった・・・。

社内では思い切ったね、と言われても、自分ではちょっといい買い物をしたんじゃないかな、と満足だった。これなら、きっといろんなことに活用できる気がするから。でも、大きな買い物って難しいなあ。

## 2001.04.20 Fri 取材拒否

---

埼玉に行き、お店の取材。

今日は時間もなく、飛びこみで入るお店が多かったのだが、千葉のときに比べ、本当に取材拒否ばかりで苦労した。

やはり、マンション販売用のパンフレットなんかだとイメージが悪いのだろうなあ、とちょっとブルーになった1日でもあった。

**2001.04.21 Sat** 間が悪い

---

土曜なんてどこの店も忙しいのに、取材日は週末しかいないため、また埼玉へ出かけて行った。  
やる気のないまま店を回り、取材を進めていったけど、なかなか集まらない。  
また明日も行かなければ……。ふう。



週末に埼玉の取材途中で寄った健康食品のお店で、今話題のビール酵母を買ってみた。

健康雑誌などで取り上げられているのは知っていたが、そもそもビール酵母というものがどんな効果があるのかは知らなかったので、近づいてきた店員さんに尋ねると、栄養がいっぱい詰まっています、満腹作用があり、ダイエットにも効果があるということ。

最近仕事オンリーの生活をしていて、ろくに身体に良い食べ物を食べていなかった私は、試しに買ってみることにしたのだ。カウンターで600円ほど出して購入した。

ビール酵母は小麦粉のような粗い粉状なので、ヨーグルトに入れてなめらかになるまでよくかき混ぜると口に入れやすいそう。

今朝、試したときは、ビールの臭いが強くて、しかも大量に入れすぎたため、非常にまずかった。ただ、腹持ちがよく、今日も埼玉で取材で駆け回っていても、空腹感が来るのが遅かった。

しかし、飽きっぽい上に、朝は食事をする暇もないほどバタバタしているので、続けることができるとは到底思えない。

## 2001.04.23 Mon まとめ

---

週末に行った取材のまとめをしていた。

撮った写真をパソコン上で見たが、やはり、こないだ買ったカメラの画像はとても美しく、改めて感動。

しかし、1日目に同行したアルバイトのA君が、撮影先でカメラのケースを無くしてしまったとのこと。上司にはまだ黙ったままだけど、私が言わなければ……。でも、カメラ本体でなくてよかった。

## 2001.04.30 Mon 筋肉痛

---

昨日、夜に行ったバレーボールの練習でもたもたや筋肉痛。ひどくぎこちない動きで仕事をした一日だった。

**2001.05.06 Sun 黄金週間最終日**

---

GWもほとんど仕事で終わってしまった。明日からは普通に出勤だというのに、終電帰り。絶対代休とってやる～！

## 2001.05.07 Mon 休み明け

---

朝8時頃家を出て、お客さんに渡さなければならない書類を銀座に持っていき、それから会社に着き、朝礼がはじまった。

9日間の連休をまるまるとってリフレッシュした顔の社員もいれば、いつもどおり疲れた顔をしている社員もいた。キッチンの近くには各地のお土産が積まれていて、旅行に行った人をうらやましいとも思ったが、私たちが働いていた分、仕事をせずにちゃんと休みがとれた人がいて、良かった、とも思った。

今日締め切りの仕事を済ませ、自分で届けた後、遅いお昼を夕方6時近くに食べてまた社に戻った。

今週はもっと多忙になりそうだ。

私にとって、今の最大の難関は、「Adobe Illustrator」。ずっと、簡単な仕事しか任されてこなかったのだが、入社して半年経って、やっと本格的に制作やデザインの仕事に入るようになった。

このソフトが使える、きちんとした文章も書けるようになれば、ちょっとした本が自分で作れてしまう。本を作るのが目標の私は、いつかきちんとこのソフトを使いこなしたい、と思っている。

明日には、計24ページのちょっとしたパンフレットの大まかな内容をこれでまとめて提出しなければならないのだが、とりあえず、ひどいものになってしまいそうだ。

今日は大ラフの提出日で、みんなに迷惑をかけながらも、なんとかお客さんに渡すことができた。

私に仕事を依頼している営業マンは、某大手の会社に打ち合わせに来ているというので、直接持っていった。

会うのは2度目だけど、やはり営業という職業柄だからか、服装も身のこなしもきちんとしていて、うちの会社にはこんな人いないなあ・・・と、無事渡して分かれた後もしばらく彼の姿が目に焼き付いていた。一言で言えば、「カッコイイ！」のだ。

しょせんうちは小さな下請け会社だが、お客さんと会うときくらいはきちんとした服装をしていかなければなあ、と考えさせられた。

## 2001.05.13 Sun 昨日の埋め合わせ

---

昨日、途中で仕事を放り出した分、今日は終電までかかって仕事した。パソコンの画面とにらめっこしながら地図を描いていたら、帰る頃にはふらふらになってしまった。思考の限界というものを体験した。



**2001.05.15 Tue 徹夜**

---

明日はあるパンフレットの第1校の納品日。私の受けた仕事だけど、初心者ということで、上司2人に手伝ってもらい、朝まで作業をした。

上司の一人がこのごろ優しくて、外に買出しに出るときには必ず私の分も買ってきてくれる。私のリクエストで買ってきてもらった「ア○ナミンV」がよく効いた。初めて栄養ドリンクに頼ったが、常飲するとオヤジ化してしまいそうなので気をつけよう。

**2001.05.16 Wed 徹夜明け**

---

眠い身体に鞭打って、一旦家に帰った後も、寝ずにお風呂だけ入って、そのまま仕事へ。  
会社に行くと、いつものような朝が始まる。

でも、一晩寝てないのと寝たのとでは大違いで、ふらふらとして、倒れそうだった。  
めどがついたので、とりあえず、今日は終電で帰れてよかった。

2001.05.17 Thu 正念場

---

今日も一つ締め切りを抱えていたので、朝からスパートかけていた。  
絶対にお客さんの期待を裏切っちゃいけない、と、思うと、眠くなる暇もなかった。  
でも、なかなか終わらず、とうとう、夜までに納品できなかった。  
明日の朝までに間に合えばOKという連絡を頂いたので、上司と3人でまた徹夜。  
やっと一つのもののできあがったのは、午前3時過ぎ。

ほっと一息ついて、タクシーで、それぞれの家へと帰った。

2001.05.19 Sat 自由

---

今日から私は1週間自由の身だ！

明日は親友の結婚式だから、髪の毛も切りに行こう、服も買いに行こう、と予定がいろいろあったのに、やはり、徹夜明けでそのまま起きてはられず、なんと、夕方まで寝てしまった。

ああ、もう、今日実家に帰るのは無理だなあ、と母に連絡した。

新聞を広げていたら、香港の往復航空券が格安でチラシに載っていた。私はしばらく考えた後、オフシーズンに旅行に行けるチャンスは今しかない！と思い、水曜日発のチケットを予約した。

そして、夜9時近くになり、新宿の駅ビルで明日の結婚式に着ていくワンピースを買った。靴まではそろえられなくて、母に借りることにした。私は小さい頃の親戚の披露宴などを除いて、結婚式に出るのは初めてだったので、いろいろとわからないことも多かった。母は、そんな状況も察してくれているのか、戸惑っている私を無条件にバックアップしてくれ、親というものの有り難味を改めて感じた。

2001.05.22 Tue 再び東京へ

---

母との暮らしもたった数日でまた東京へ帰る

## 2001.05.23 Wed 香港一人旅

---

午後4時台出発の飛行機で成田から香港へ  
香港国際空港から一歩外へ出るとむっとした空気  
やはり亜熱帯地方  
暑い！

2001.05.24 Thu 赤柱海岸

---

バスに乗り2年前に訪れた赤柱（スタンレー）へ  
たった2年しか経っていないのに非常に様変わりしていた  
でも懐かしのイタリア料理屋はまだ健在でランチを食べた  
ビールとカルボナーラフィットチーネ  
たぶんこの辺りは外国人が多いせいだろう  
量がたっぷりで食べきれなかった

2001.05.25 Fri 浅水湾・香港仔

---

またバスに乗り浅水湾（レパルス・ベイ）、香港仔（アバディーン）へ  
レパルス・ベイは映画「慕情」の舞台でもあったそうだが面影はどこに？

アバディーンは世界最大の水上レストランがあるのだが歩き疲れたため遠目に見ながら早々に  
引き上げてしまった

中湾（セントラル）へバスで向かった

そこからフェリーに乗り九龍半島へ

実際大陸へあがったのだが、香港ではあまりそんな気がしない

やはり中国以西に行ってみたいと思った



2001.05.26 Sat 帰国

---

今回は計画もなしに旅行に行ったので準備不足の感がある  
もっと広東語を勉強してから行けばよかったとか  
英語もマスターしたいとか  
いろいろと反省  
もう4回も行ったわけだしそろそろ違う楽しみ方をしないと  
だけどやはり香港は好きだ  
他の国にも憧れるし行ってみたいのだけれど  
自分の中では海外というと香港になってしまっている

2001.05.27 Sun 体育館

---

旅の記憶が頭から離れずまだ夢を見ているような気持ち  
それでも元の生活が始まり  
いつもの体育館へ  
ちょっと野球とバドミントンをして終わった  
一週間に一度でも全身を使う機会は貴重である

2001.05.28 Mon 仕事復帰

---

束の間の休みも終わり今日からまた仕事  
しかしとても長い一週間だった  
それだけ充実していたということかな？  
出勤するとなんだかぎこちなかった  
長い間休みを一人だけもらっていて気が引けていたから  
そんな感覚も午後になれば薄れたけど

珍しく誰かが飲みに行こうと言い出した  
私も今日は早くあがれたので（仕事復帰のリハビリのためにも早く退社した）  
会社近くの焼き鳥屋へ

いつもおっとりしている私も周りのノリに合わせて今夜はハイテンションだった  
この会社でこんなに盛り上げられるとは

2001.05.30 Wed 夏

---

天気が悪かったけれど  
家から駅までの道のりで  
近頃だんだん緑が濃くなっていくのが分かる  
陽射しも強い  
夏が始まる  
私の大好きな季節

**2001.05.31 Thu** 音が鳴りません

---

こないだからパソコンの音が鳴らなくなった。

無言のパソコンというのは、なんだかさびしい・・・。

**2001.06.05 Tue** 方向音痴

---

自分の勤める会社は山手線を基準にすると、内側だが、どうしても東西南北がいつもこんがらがってしまう。西へ行けば都心へ向かうという思いこみがなおらない。ああ、もう半年も勤めているのに、どうしてこんなに会社の近くで迷子にならなければならないんだろう・・・。

だいぶ前のことだが、3月に、私と同姓の男性が入ってきた。

それからというもの、皆、どっちを呼ぶにも「〇〇（名字）さん」と呼んでいて、非常に紛らわしいので、この二人は名前と呼ぼうということになった。

今まで姓で呼ばれていたのに、名前で「かほさん」と呼ばれると、なんだか照れくさかった。だけど、それは呼ぶ方もそう思っているらしく、なんだかぎこちなかった。

しかし、3ヶ月も経った今ではすっかり定着し、大概のことは、慣れると平気になれるんだなあ、と思う。

最近は会社で暇そうにしている人が増えた。

入ってくる仕事の量が減っているからだ。

みんな、今まで22時、23時までいるのが当たり前だったのだが、このごろでは19時台に帰れる人も多くなった。

私は相変わらず、来週までは、終電コースの仕事を抱えているが、それが終われば、家でゆっくりしたり、平日に友人と会ったりできるような気がしている。

それにしても、最近はみんな自分の仕事が終われば、さっさと帰ってしまう。以前は、定時を過ぎても、残っている人がいれば「何か手伝いましょうか?」と言って、人の仕事まで手伝うのが当たり前だったのに。

「自分のことは自分で」これが本来のあるべきやり方だったんだなあと新たな発見。今では、みんな自分の時間を大切にしている。いい傾向にあると思っている。



2001.06.16 Sat 別れ

---

昨日の夜から今日の朝にかけて、社員のNさんの送別会をやった。

Nさんは、私がこの会社に入る前から長くアルバイトで働いていて、私が入った後に上司からすすめられて社員になった。でも、社員になるときの条件だった仕事内容とまったく違うことをさせられていて、精神的にも肉体的にもつらかったのだろう、先週末で辞めてしまった。

Nさんは私と同一年の男性だ。とても気さくな人で、はっきりものを言うけれど、決して感情的になることのない、優しい人だった。仕事のこともとても能力のある人で、私は最近扱いはじめたソフトの使い方を毎日のように教わっていた。そんな人が辞めてしまうのは、前年度に辞めたKさん同様、とても残念だった。

ただでさえ人の少ない会社で、また一人辞めてしまって、寂しくなる一方。

2001.06.18 Mon 徹夜

---

みんな、最近は帰りが早いというのに、私は仕事が終わらずに徹夜。

朝、8時頃まで仕事して、帰ってお風呂に入って、出勤した。

すごい量のアカの戻し。もう少し早くから内容を練っていてくれたらもっと楽だったのになぁとクライアントを恨む。

**2001.06.19 Tue** クライマックス

---

今日も徹夜コースでフラフラ。上司が手伝ってくれ、朝の4時で帰ることができたが・・・。  
このツメツメスケジュールの仕事も明日でやっと終わる。

2001.06.21 Thu 退職

---

こないだのNさんに引き続き、Mさんまで辞めてしまった。それも突然。

まだ自分の仕事があるのに途中でほっぽり出して辞めるなんて・・・、と最悪の印象をもたれる辞め方をしてしまった。私の後に入った人たちがどんどん辞めていき、うちの会社はちょっとした危機状態ではないか。

## 2001.06.22 Fri 夜の公園

---

やっと、ぎりぎりのスケジュールで進めてきた仕事を納品し、解放された気分。

今日は、同僚といつも昼食をとっている公園で飲んだ。

居酒屋やバーもいいけど、夜の公園は静かで、すずしくて、安上がりでなかなかいい飲み場だ

。

その後、遠距離恋愛をしている彼女の元に、彼が遊びに来るというので、一緒に東京駅まで迎えに行くことにした。邪魔するなよって？いえ、彼女の方が会わせてがっているんです。

彼の話はお昼のときによく話題にあがる。そして、彼女は私のことをよく彼に話すそうで、私と彼が初対面したときは、なんだか初めて会う感じでもなかった。私の名前のつづりまで知っていたのには驚きだったが。

そのまま、3人は電車に乗り、私は途中の駅で降り、分かれた。その20分の間、彼と彼女を見ていて、とても雰囲気の良いカップルだと思った。

彼女が別の人と付き合っている頃から、ずっと彼がアタックしていたことを知っていたので、けっこう強引な人なのかな、と思っていたが、そんな感じは受けず、物静かな好青年だった。なんだか安心しながら私は家路についた。

2001.06.27 Wed 天王洲

---

いろんな場所におつかいに行き、最後は月島でやっと直帰できることになった。疲れていたが、このまま直帰するのはなんだかつまらなくて、以前働いていたバーに寄った。

店長のTさんはカウンターの外に出ていて、カウンター内のアルバイトの男の子たちとなにやら話をしていて。私が店に入ると、久しぶりだったせいか、とても驚いていた。久しぶりにこの店を訪れたが、変わりがなくホッとした。新しいお酒が増えていたくらいかな。Tさんも変わりなく、一生懸命働いている。なんだか安心して3杯飲んで満足して帰った。

2001.06.28 Thu メガネ

---

7時過ぎにあがり、町田にメガネを買いに出かけた。

着いたのは9時ちょっと前で閉店間際だったが、店員さんはとても親切に接客してくれて、はるばる遠くまで買いに来てよかった、と思った。

メガネを踏んで壊して以来、ずっとコンタクトだったので、しばらくメガネで目を呼吸させてあげたいと思う。

立川で待ち合わせて、Fと会う。待ち合わせの12時から1時間半ほど遅れ、相変わらず、のんびりしている二人だと思う。

メガネを取りに町田に付き合ってもらい、帰りに入った喫茶店で飲んだコーヒーがおいしかった。最近はおいしいコーヒーというのを飲んでいなかったの（ファーストフードのばかりで）、やっぱり、きちんとしたお店のコーヒーは美味しいのだと感心した。

夜はFの彼女Mと会い、3人で飲んだ。これで彼らと会うのも4回目なのだが、もうすっかり安心してしまい、なんだかずっと前から友達のような気持ち。

それぞれに自分の世界がある人たちで、いろいろな話ができるのが面白い。やはり好きなものがたくさんあるっていいなあと思う。

社会人になってからは、気がねなく付き合える友達ってなかなかできずにいたので、自分としてはとても嬉しい。



今日は、天気がとてもよかったので、写真撮影をかねて、担当しているパンフレットの取材に、横浜へと向かった。

暑かったけれど、よく歩いた道をたどりながら、懐かしさと嬉しさでいっぱいだった。6年前からたった4年間だけど、この地に住んで、もしかしたら、自分が育った九州よりも私の一番のなじみの場所になってしまったのかもしれない。それくらい自分にとっては思い出のいっぱい詰まった魅力のある場所である。

過去の思い出を捨てきれない、情けない自分と、過去をもう一度現実のものに戻したい、と強く願う自分がいて、迷いながら毎日を生きている。

## 2001.07.09 Mon デザイナー

---

うちの会社でデザイナーを一人募集していて、やっと採用が決まり、今週から出勤している。レイアウトとかかなりの経験を積んでいるので、これから幅広く出版物など手がけられそうな予感。

金沢八景に取材。

たった4軒しか回っていないけど、歩き疲れてしまった。

夜は、学生時代の友人と地元のお寿司屋さんへ。

友人がアルバイトしていたところで、5000円出して特上寿司とお刺身、お酒をいただいた。自分でお寿司屋さんに行ったことなんてなかったのでよくわからないけど、これはすごくお得なお値段だそうである。

久々に自分の限界まで食べて、帰りは二人とも満足でふらふらしながら帰った。

2001.07.11 Wed 夢

---

こないだ「A. I」を観たからだろうか、変な夢を見た。

鏡で自分の歯を見ている夢で、なぜか、自分の前歯が白ではなく、透き通って中身がメカのようにになっていた・・・。

その部分しか覚えていないが、ってことは、自分もロボット！？

2001.09.21 Fri 無題

---

毎日考える暇もないほど忙しい。

3日間会社ではお昼抜きで働いた。

ああ、自分の時間(仕事以外の)が欲しい。

## 2001.10.15 Mon History&Origin

---

友人の出演する芝居を見に行った。

浅間山荘事件をモチーフにした芝居で、題材的には興味をひかれる芝居だったが、脚本はあまりにも薄い内容だったため、途中でちょっと見飽きてしまった。

そんな話はさておき、自分の中での最近のキーワードは「歴史」である。

何についてもそれぞれの歴史や起源があり、今はそれを知ることにより「夢中」になりそうな気がしている。

岐阜県の四ツ目川災害から70周年をむかえるにあたり、社内で記念誌を作っているが、過去から学ぶものはたくさんあると感じている。

例にとらわれない生き方は楽だけど、伝えていかなくてはいけないことを残し、忘れてはいけないことは何なのかを探索することは必要なのではないだろうか。

## 2001.10.16 Tue Inspiration&Knowledge

---

同僚とご飯を食べた後、昼休みの時間が余ったので書店に立ち寄った。

本屋でいろいろな出版物を見るのは楽しい。

写真にそれほど興味があるわけでもないのだが、「アラーキーの天才写真家入門」とかいう本を手にしてしばらく読んでいた。

「写真撮るとき、その対象についてのストーリーや背景なんておれにとってはどうでもいいのさ」「むしろそういうのは知らないようにしている」というようなことを書いてあって、写真家というものは（別に悪い意味じゃなく）そういうものなのかもしれないと思った。

ありとあらゆる雑多な情報を排除して、そこに見えるありのままの姿を撮ることが純粋な芸術なのかもしれないと思った。

岐阜に出張。別の部署の仕事を頼まれたのだった。

10:00ちょうどの「のぞみ」に乗り、名古屋に着いたのが11:36。新幹線って本当に速い！

岐阜方面行きの列車で会社の人達と合流。

岐阜ではお年寄りを集めての座談会をした。

70年前の災害について思い思いに語ってもらったが、75～92歳の人々が70年も前の記憶を手繰り寄せながら当時のことを話している様子は面白かった。私はまだ25年しか生きていないので、70年もの年月を想像することすら到底できない。しかし私もその当時の人になったつもりで、話を聞きながら様子を思い浮かべていた。それはまったく自分にとっては未知なのだけれど、ほんのちょっと、その時代にタイムスリップしたような気分になる。

70年・・・そんな遥か長い時間を生きてきた、それだけすごいことだと思う。自分が何年生きるかなんて分からないけど、ちょっと長生きをしてみたい、と思った。

帰りには現地解散して、愛知の友達と会った。今までは名古屋で会っていたのが、今回は友人の家のある知立を初めて訪ねた。初めて名鉄に乗り、愛知県民の足であることを実感。生活感にあふれた愛知の姿を見ることができて面白かった。

知立のジャマイカンバーにて食事。久々に会ったが友人は変わらず元気で、楽しいひとときを過ごした。



## 2001.10.23 Tue ほんこん飯

---

今日は一人で14時ごろ、遅いお昼をとった。

ご飯ものが食べたかったので、会社から数分歩いたところにある中華料理屋に初めて入り、「ほんこん飯」を注文した。

豚肉やキャベツなどをオイスターソースで炒めたものをご飯の上に乗せてあるだけだったが、シャキシャキしたキャベツとほどよく脂身のある豚肉がマッチして美味しかった。

カウンターでは店員さんが客を待つ間、ずっとワンタンを作る作業をしていて、なかなか手際がいい。ちょうどいい時間のつぶし方だなあ。

食べ終わった男性がレジまできて、近くに座っている私はなにやらこちらへの視線を感じた。

ふと見上げると、それは会社の上司だった……。すぐ後ろに座っていたのに私は気づいてなくて少し恥ずかしかった。

今日のお昼はケンタッキーにて。

ファーストフード店は若者から中年のサラリーマンまでたくさんの人でにぎわっている。

学生街にある店だから、多くは学生なんだけど、昨日今日と外で一人で食事をして、ちょっと思ったこと。

ファーストフードは、食べることにはあまりこだわらない、お腹を少し満たせばいい、時間をつぶせばそれでいい、という人達が多いような印象。主にコミュニケーションの場となっているような気がする。

昨日行ったような中華料理の店では、しっかり食べてお腹を満たす。長居はあまりできない雰囲気。時間つぶしというより食事が第一の目的なのだ。

香港では、あちらは外食中心の国民らしく、本当に飲食店が多い。麺料理屋や気軽な中華料理屋で、みんな楽しそうに(?) 食べながら、一生懸命しゃべっている(何を話しているのかはさっぱりだが)。お茶(もちろん中国茶)はすぐ気づいてつぎ足してくれる。こういう店がコミュニケーションの場であり、お腹を満たす場でもあるのだ。

会話も楽しめて、食事もしっかりできて、気軽に入れるお店が日本では少ないような気がした

。

今日で今の会社に入ってちょうど1年。1年前の私に比べるとずいぶんいろんなことができるようになったし、いろんな知識を身につけたと思う。でも、まだまだ知らないことはたくさんある。

不動産業界は嫌いだけど、仕事内容にはわりと満足して楽しみながら働いている。残業は多い、しかも、1銭も手当がつかない、という待遇の悪さだが、とりあえず、今は落ち着いているし、もう少しここでがんばってみようかな、と思っている。

ただ、私と同じ日に入った同い年の同僚が先週で辞めてしまったので、すごく寂しい。会社ではいつもそばに彼女がいて、私の心の支えだった。喪失感でいっぱい。できれば、彼女と一緒に1周年を迎えたかったが、もうこんな場所にいるのは彼女にとって耐えられなかったのを知っていたので、仕方がない、とも思う。彼女とは愚痴と理想をたくさん語り合った。

今日、帰りの終電車の中で上司から「かほさん（会社では同姓が2人いたので、名前で呼ばれている）も辞めるんじゃないかとドキドキしてる。」と言われた。確かに辞めたい気持ちも多いにあるけど、居心地の良さも少しは感じているのでなかなか踏み切れない。

辞めて私に何ができるのかまだ考え途中。しかもこの1ヶ月に3人も辞めてしまった今、きっと微力な私でもいなくなれば痛手だろう。しっかり引継ぎができるまで、しばらくはここにいさせてもらう、と上司に伝えた。

感想。

飲み口は、その辺で売ってる安い（薄い？）ワインと一緒になのだが、後味にほのかな味わいがあり、気に入っている。

1年半ぶりの長渕剛ライブ。

6年前の冬、私がまだ19だった頃一緒に行った先輩と共に有楽町の国際フォーラムへ。

6年前は東京ドーム。初めて長渕剛に会えた、あの頃の記憶がよみがえってきて、感慨深いライブだった。その後、3年間は横浜アリーナや武道館でのライブに行ったが、やはり、東京ドームの公演は別格だったと思う。あの広い東京ドームに一人、長渕がいて、一人で演奏し、観客と一緒に歌い、本当に魅せてくれた。

今日のライブも、彼が登場するときには感極まって涙が出そうだった。15年も彼の歌を聴いている私にとっては、彼の存在自体が特別なものなんだと再確認させられる。しかし、年取ったなあ、という印象は免れない。どうしても、昔の曲の方がパワーが感じられて、好きだ。

今まであまり生で聴いた事のなかった「明日へ向かって」はたぶん私の一番好きな曲でもあり、興奮状態で聴いていた。これで火がついてその後は元気にはしゃぎっぱなしの私だった。

まだ、ライブの余韻に酔いしれている。何がこう、私を惹きつけるのかわからないけど、あのしわがれた、でも気さくな声が毎回私を安心させる。

2001.11.27 Tue 正念場

---

近い将来、住宅金融公庫が消えるらしい。私のやっている仕事に深く影響を及ぼすだろう。

今、毎日の仕事が忙しく、終電まであと何時間しかない！というレベルで働いている。自分の生活は仕事色に染まりっぱなしのここ数ヶ月。

しかし、これも今年度が正念場かな、と思っている。スパートをかけて、ただただ走りぬくしかない、という気である。

なぜ、何の手当てもつかないのにここまでがんばれるかが不思議。会社にいる他の社員3人も同様にそれぞれの仕事をこなしている。皆、何を思いながらここまで仕事をしているのだろうと本当に不思議になる。責任からか、仕事をこなす喜びからか？一丸となって働いている状態は先月までは想像もつかなかったが、この緊迫感が少しだけ心地よくもなっている。

高円寺にて大学時代の先輩（率いるバンド）のライブ。

家に近いこともあって、このライブハウスに足を運ぶのは2度目。

コティ（先輩）の歌は、学生時代から好きだった。

今日は彼のお母さんも聴きにきていた。

彼とはもう7年目のつきあいになるが、お母さんにご対面するのは初めてだったので、なんだか感動した。

私の母よりも年は上だけど、音楽にはとても広い許容範囲があるな、と隣で一緒に聴いててそう感じた。自分の息子以外の音楽にもちゃんと耳を傾けて一生懸命聴いている、そしてリズムをとって楽しんでいる。あとで聞くと、自分もコーラスをやっていて音楽は大好きだという。きっとコティの音楽にはお母さんの影響は少なからずともあるんだろうなって思う。

私はコティの歌が聴きたかったのだが、コーラスがメインでちょっと残念だった。彼自身が歌う歌がホントに好きなのだ。

だけど、ライブの後に、他の出演者とそれぞれの客が合同で集まって一緒に話す機会が持てて、とても楽しいひとときが過ごせた。

## 2001.12.16 Sun パフォーマー

---

昨日はライブでさまざまなパフォーマー（表現者）に出会えてなんだか刺激になった。みんな自分の魅力をよく知っていて、それを人に伝える手段を持っている。私には何ができるんだろう・・・と考える。ただ毎日を仕事に追われながら生きてそれ以外のことは何も考えない日々がそろそろつまらないと思うようになる。

自分の人生を面白くするのは、自分だなあ。



仕事で西川口へ。

ここを訪れるのは初めてだった。

駅の出口を出るとピンクの看板を掲げた人々が門番のようにで〜んと立ってて、東口も西口も風俗店が幅をきかせていた。

仕事でうろうろしてるとどこ行くの〜？などとガラの悪いおじさん達からやたらに話しかけられる。（ほっといてくれ！）

ピンクで染まっている町と逆の方を歩くと、駅前なのに人も車もあまり通らず、時がとまったように静かで、うちの地元の正月のような、なんだか懐かしささえ覚えた。都心から20分かからず来れる町とは思えないほど、ガランとしていて、人から忘れ去られた町のような、不思議な感覚をおぼえた。

メガネの女子高生が制服のままくわえタバコで歩いていたり、急いでいるのかこれまた別のお姉さんは、こんな人の少ない通りで人をひったくるようにして通りすぎていく。なんなんだ一体・・・。

久々に長電話をした。

コティとぼつりぼつりと話した。

1時間弱の会話の中で、何も話さない時間が半分くらいあった。

でも沈黙があまり気にならない。

不思議な人だ。

普段は太陽みたいに情熱的に歌をうたう人なのに、夜にはまるで月のような静寂さがある。

自分をもっと見つめようと思っている。

自分の見るもの、聞くもの、触れるもの、もっと感じていきたい、と言ったら

何が見えたの？と尋ねられた。

たとえば、埼京線の駅のそばの「かくれ家」という店。

電車の中からふと目にとまる。

こんなに堂々と「かくれ」ているなんて、全然隠れ家じゃないじゃん！

と思ったことを話したら、（なんちゅう例じゃ！）

それ、俺、知ってる、と返事がかえってきた。

コティもその店には興味を示していたらしい。

どんな隠れ家やろって思ってたって。

2人別々の時間に、しかもお互い偶然訪れた場所で、偶然目に入ったものを共有できるなんて

。

ちょっと感動した。

仕事は生活のため、1銭も手当てのつかない仕事のために残業するのはまっぴらだ、一番大事なのは自分の時間だ、と割りきる自由主義者。

仕事は生活のため、だけど、人が重い荷物（＝抱えきれない量の仕事）を持っていたら、ちょっとは持ってあげようとするべきだという平等主義者。

自由主義者のほとんどは、自主的あるいは強制的に辞めた（辞めさせられた）のだけど、依然として彼らの対立は続いている感じだ。

自由主義者は平等主義者が自分達をどうにか同じ仲間に入れようとしているように見えるらしい。私は少々の外れなことを言っているな、と感じたのだが……。それを自由主義者に伝えると、「かほさん、それは違うよ」と諭された。

意識的に、「仲間に入らなければ排除しよう」と考えてはいなくても、無意識でそう思ってるはずだよ、と。

う～ん、私にはその心理学というべきか、思考の展開がよく分からん。

考える暇もないほど働いている人たちの裏で、意外な被害妄想に縛られている人々がいることに驚いた。

自由を守ろうとするあまりに不自由になってしまうこともあるかもしれない。

仕事で池上界限へ。

4年ほど前に訪れた時は、お寺周辺が最高ににぎわう「お会式」の時だった。数々の萬燈があがって、人がわんさかいた。秋の半ば、ちょっと肌寒い時期だったな。

あの頃のにぎわいとは別物で、今日はひっそりと静まりかえっていた。訪れる人はちらほらいたけれど。しかし、冬の真っ只中でなんとなく風情があった。

久が原のダイシン百貨店にも寄る。

東京の23区内にこんな懐かしめのデパートがあるなんて……。ちょっとしたカルチャーショックだった。まさにそれはうちの田舎のデパート、それ以上にローカルな場所だったのだ。流行の服も置いていない、狭々とした店内だったが、この不況化に結構にぎわっていて、驚いた。

特に食品売り場をぐるっと回ると、スーパー顔負けの安さにびっくり。惣菜売り場で大好きな「バッテラ」を思わず買ってしまった。（閉店間際でもないけれど、ちゃんと？値引きされている。）

なかなかいいところだ……。大田区民が少しうらやましくなった。

## 2001.12.21 Fri ちゃんこ鍋

---

川崎でバレーボールのメンバー6人とちゃんこ鍋屋へ。

冬の初めだったか、この店を見かけて以来、もう足を運ぶのはこれで3度目。ここは個室になっていて、落ち着けるし、とにかく安い。ワインがグラス1杯80円だったっけな。

ちゃんこ鍋は一人分でも結構な量だし、その他のつまみもあっさり系からこってり系までそれなりにある。

いつもだったら、飲む時にはあまりご飯とか重いやつは食べないのだけれど、今日は鍋の後の雑炊が一番おいしかった。・・・こうやってお肉が増えていくのね。

昨日もギリギリまで仕事して川崎に向かったけれど、今日も昼から仕事してそこから直接川崎へ。一年に一度の忘年会なのだ。

いつもバレーが終わってから飲みに行く焼鳥屋を貸し切って15人ほど集まった。イベント好きのメンバーが何を血迷ったか、今回の罰ゲームでは「金魚を飲ませる」と言い出し、熱帯魚やさんで金魚を買ってポリ袋の中で泳がせていた。

「クリスマスのデートコースを書きなさい」「長島監督を描きなさい」「北島三郎を描きなさい」などとお題を出され、真っ白な画用紙に皆それぞれもくもくと書きこむ。審査され、こりゃだめだ、と最も下手くそだった人が金魚を飲まされる。私はセーフだったけれど、とても他の飲んでる人たちを直視することはできなかった。酔いがさめてからは、思い出すだけでも気持ち悪い！

というわけで、ローテンションな飲み会になってしまったのであった（自分の中では）。

**2001.12.26 Wed** 終わりよければすべてよし・・・

---

今日から仕事納めまでの3日間遅刻はしないぞ！と心に誓っていたが、なんと、残業で朝6時に帰ってきてしまった。  
それから眠らずにお風呂だけ入って出社しようと思っていた。  
しかし・・・湯船につかってあったまってるうちに、湯船で寝てしまった！  
お風呂から出たのが8時半。  
くらくらしながら、会社へ行く準備をしよう・・・と、思ったのもつかの間、いつのまにか私は裸でふとんの中。  
目が覚めたら10時でした。  
誓いはむなしく夢の中へ葬り去られたのでした。

## 2002.01.01 Tue 明けました

---

2002年の幕開けです。

私は夜行列車の中で年を越しました。

缶ビール飲みながら、遙か遠い九州へと向かっていました。

夜行列車は午前6時すぎに大垣へ着き、西へ向かう人々がいっせいに乗り継ぎしようとする。

この光景はいつ見ても住民大移動！といった感じで圧倒されてしまいます。

午後11時過ぎ、ふるさと一佐賀へ到着。

母のやっているお店へ直行し、おせちを食べ、やっと正月気分。



ふるさとでは年賀状を書いていた。

自分の年賀状もまだ出していないのに、母の年賀状を私が作っていました、パソコンで。

今は便利なソフトがあって、宛名も文面もすべてパソコンが作ってくれるので、私以上に無精者の母は

すべてのその作業を私に任せていました。

こういう形の親孝行もあるのね・・・。

私は宛名は自分で書き、ちょっとそのソフトを借りてお馬の絵だけは印刷で。

やっぱり年賀状は手書きの方が好きだなあ。

夕方親友の梅ちゃんちへ。

8月に産んだ子どもの千成（せな）君が予想以上に大きくなっていてビックリ！！

おっぱいの飲ませすぎで、まだ4ヶ月なのに8ヶ月並の体重があるという。

私も抱いてみた。

重い・・・けど、なんだか心穏やかになるような不思議な気分。

こうして抱かれている赤ちゃんは無条件にかわいい。

この子の存在だけで、おうちが明るくみえる。

梅ちゃんのお父さん・お母さんもバカみたいに(笑)にこにこしている。

大切に大切に育てられていくんだろうなあ。

2002.01.03 Thu Uターン

---

あっという間だったけど、私は故郷を後にし、東京へ。

(お父さん、墓参り行かなくてごめんね。)

飛行機&列車を使いました。

東海地方は大雪で、電車がたまに停車してしまうという事態も。

小さな駅では雪かきしてないので、ホームに降りたとたん、ずぼっと雪の中に埋もれてしまうのだ、たいへん！

大体冬にこっちに帰ってくるときって、雪に見舞われてしまう。

静岡でちょっと時間があったので、駅周辺をうろついてみた。

外のベンチに座ってボーっとしてみる。

誰一人としてこの辺でたたずんでる人はいない。

それくらい寒い日だったみたいだけど、なんだか私にはこの冷たい風が心地よかった。

2002.01.04 Fri 逆流

---

晴れているはずなのに雨が降っている  
永遠に同じことを繰り返していくのだろうか、という恐れと  
もう迷わない、という決意と  
築き上げてきたものを自分の手で壊してしまったという罪悪感と  
忘れてはいけないという使命感と  
純粋な自分の感情と  
打算と欲望と期待とを  
すべて胸に

## 2002.01.05 Sat 虚しい気持ち

---

Aと会う予定だったけど、届いた1通のメール。

「今日には行けなさそう。」

物分かりのいい私は「そっかぁ、残念だね、でもまた今度。」

何をする気も起こらず、ただ音楽を聴いてぼーっとしていた。

その辺にあった平井堅のCDをかけていた。

流れてくる“even if”。

伝わらない思い、相手とはかけ離れた気持ちが悲しい調べとともに運ばれてくる。

束縛したくなる気持ちが似ていた。

2002.01.06 Sun 出不正月（でぶしょうがつ）

---

東京に帰ってきてから、一度しか部屋から出ていない。  
ちょっとした引きこもり状態。  
明日から仕事！こんなんで社会復帰できるのだろうか？

いやいや、新年からこんな弱気ではいけない。  
今年は遅刻しないぞ。自転車出勤するぞ。  
がんばるぞ——！！

## 2002.01.07 Mon 仕事始め

---

重い腰をあげて、今日からお仕事。

でも自転車で元気に出社。

平日に自転車で会社に行ったのは初めてだったけど、いつも35分はかかるのに、今日は25分くらいで着いた。ベストタイムだー。

冬の自転車通勤は寒い。いつもコートを着て、マフラーをして、毛糸の帽子をかぶって重装備しているんだけど、昨日、部屋の掃除をしていて、いいもの出てきたので今日はそれを使用。

それは耳がかくれるヘッドホンなのであった。

重低音がよく聞こえるヤツで、朝の寝ぼけた頭に刺激的だった（あぶない？）。

サニーデイサービスを聴いていた。

サニーデイサービスはなぜか中央線が似合うと思う。

中央線から見える東京の風景によくマッチするんだ。

仕事で綱島へ。

モデルを使っての撮影。

不動産広告で使うものだから、プロのモデルは使わずに、新婚夫婦に見える男女を業者さんが連れてくる予定だった・・・。

けど、来たのはどう見ても会社の同僚同士としか思えない男女。

見るからにカメラ慣れしていない人達だ。

これではいくらプロのカメラマンでも限界があるよー。

あまりにも緊張感のない撮影会に、ちょっとがっかり。

2002.01.09 Wed 鏡

---

大門と月島の広告代理店へ。

上司と打ち合わせに行って、パンフレットの内容を話し合う。

私の上司は、相手の言うことをただハイハイと聞くのではなく、

自分でこうしたい、こうした方がいいと思ったことはどんどん意見する。

いつも自ら態度を示し仕事を教えてくれる上司に感謝し、尊敬の念すらおぼえる。



## 2002.01.10 Thu 非常事態

---

昨日は9:30に出社し、明け方6:00までエンドレスで働いた。

今日はろくに眠らないまま9:30に出社し、明け方になっても仕事が終わらず、そのまま会社にいた。

他の社員の手には負えない仕事を手伝っているだけに、先が読めず、不安な状態。

## 2002.01.11 Fri 非常事態2

---

2日間、ろくに寝ないまま、仕事続行。

金曜くらい早く帰れると思ったけど、甘かった。

仕事は減るところか増える一方で、恐ろしくも土曜の朝8時頃まで会社にいた。

何も考える余裕のない日でした。

## 2002.01.12 Sat 束の間の休日

---

土曜の朝8:00まで仕事をし、10:00に町田で取材に1件行ってくれと頼まれる。

田園都市線に乗り、すずかけ台に向かうが、なんと寝過ごしてつきみ野まで行ってしまった。

5分遅れくらいで、取材先（喫茶店）に到着。

ネタになりそうなことを質問し、写真を撮って、取材終了。

これで帰れるかな・・・とびくびくしながら会社に電話。

帰ってよい、とのお許しを得る。この上ない開放感。

せっかく遠いところまで来たんだから、と、スリフトモールとカルフルとグランベリーで買い物。

歩き回る余力があることに驚く。

帰りは小田急で爆睡。

家に帰って爆睡。

2002.01.13 Sun コロッケ

---

上司のおうちは世田谷で、酒屋を兼ねたコンビニを営んでいるらしい。

よく会社に果物やお惣菜なんかを差し入れしてくれる。

今日は「家で作ったものが余ってたから」

と弁当箱にいろいろ詰めて持ってきてくれた。

遠慮なく頂く。

なんと、その中にカニクリームコロッケがあってすごく美味しかった！！

うちの会社はレンジもないので冷めたコロッケだった。

でも今までに食べたクリームコロッケの中で一番美味しかった！！

家庭の味、という感じがして、一人暮らしの私は本当に感動してしまったのです。

2002.01.14 Mon 愛

---

また休日返上で昨日からずっと会社にいた。  
昼になってやっと納品、帰れるかな?と思ったら、またまた仕事を頼まれる。  
今日も小田急線にとことこ揺られて鶴間&町田へ。  
乗った駅からもう意識がなかった。  
40分もの間、眠りつづけていた。  
この間に車内で何があったのか。  
きっと何もなかったんだろうけど、恐ろしい。

無事、撮影を終えて、フリーに。  
町田の兄に新年の挨拶がてら会おうかと電話する。  
でも、ふられてしまった。

国立の元同僚Aをつかまえて、ショッピング&お食事。  
ふらふらとお店を歩き回っただけだったけど、楽しかった。  
彼女は私にとってたった一人の同僚だった。  
会社を辞めた今でもこうして向かい合って話せることが本当にうれしくて、目の前にいる彼女を  
しみじみと見ていた。  
同性だから別に恋心を抱いているわけではないが、それに近いものがある。  
不思議。

2002.01.15 Tue 成人式

---

昨日は成人の日だった。

友人との待ち合わせ場所へ向かう横浜線の車内で、たくさんの新成人を見かけた。

スーツできめた男の人、首に白いフワフワ（これなんていうの？）をつけた女の人。

仲良く笑顔でおしゃべりしている人達もいれば、疲れたように無言で電車に揺られている人達も

。

あれ、なんで私、20歳の頃に戻りたいなんて思ってたんだろ～。

悔いのある人生なんて送りたいくないのに。

正月、実家に帰ってる途中、博多駅で乗り継ぎまでの長い待ち合わせ時間があったので、ちょっと駅を降りて近くを散策してみた。

もう21時を過ぎていたし、正月だったこともあって、お店なんてほとんど開いていない。そんな中、駅からさほど遠くないところに“ブックオフ”を見つけた。

2階まである大きなお店。

ぷらぷらと店内を歩いて回っていると、“蛍の光”が聞こえてきた。

22時で閉店になるのだ。

私は、これから乗る電車の中で読む文庫本でも探そうかなあ、と思った。

しかし、フロアは見渡す限り文庫本……。1冊ずつ書名を見ている時間はない。

仕方なく目をつぶり、手に取った本をレジへ持って行った。

片岡義男の『湾岸道路』という小説。

「芙美子」という女性と「杉本」という男性の話。

芙美子は誰もが振りかえるほどの容姿を持った女性。

杉本は“カッコイイ”ことがとにかく好きなスポーツクラブのインストラクター。

という設定なのだが、今まで読んだ小説とどこかが違う。

感情の描写がないのだ。

実家に帰って本好きの母に聞いてみたら、片岡義男はハード・ボイルドの小説を書けらしいことが分かった。

登場人物の台詞、彼らをとりにまく環境……。などから、読み手側が好きなように心情を解釈する。

心情が書かれていないので、淡々とした印象だったが、なんだかそんな小説は新鮮で、心に残っている。

仕事中に母から電話が来た。

伝えることが2つあるという。

一つは一家在京の時に親しくしていた溝上氏が亡くなったとのこと。

もう一つは、母が親しくしている友人の会社が社員を募集しているので、帰ってきて転職しないか、とのこと。

仕事内容は建築関係で、最初は手伝いから始まって、ゆくゆくは図面もかいてほしいそう。

「そのうち実家に帰ろうと思ってる」と母には言ったけれど、こんなに早く決断を迫られるとは・・・。

こんなご時世に、帰っても仕事があるというのは幸せなことだと思う。

だけど、やっぱり自分の一番好きな仕事をしていたい。

すべては今の仕事をかたづけてからだな・・・。



**2002.01.18 Fri 解放感**

---

やっと、今まで社内全体でやってきた大きな仕事が終わる。

休みを1週間くらい一人ずつ順にとろう！という話が出た。

休みもうれしいが、やっとこれから人間らしい生活ができることが何よりうれしい。

**2002.01.19 Sat** 昼夜逆転

---

こまごまとした仕事を納品して、朝、10時頃帰ってきた。  
中野ブロードウェイのAVICで買い物をした。  
商品を手に取りながらいつのまにか眠っていた・・・(笑)。  
家に帰って思う存分寝た。  
起きたら夜の8時で、外は真っ暗。  
夜なのか、夜明け前なのか、しばらく理解できなかった。

2002.01.20 Sun 無念

---

“青春18きっぷ”が1日分余ってたので、どっかへ行こう！と思いついた。

けど思いついただけで、外から一步も出なかった。

有効期限は今日まで。もったいないなあ。

昔はよく一人旅にも行ったけど、なんだか最近腰が重い。

家でもかたづけとか、洗濯とか、いろいろやることがあったんだけど、何にもしないまま過ごした。

何からやればいいのかわからないんだ。

## 2002.01.21 Mon コーヒー

---

休日仕事をしなかったのに、今日も徹夜するはめに。

インスタントコーヒーをかなり飲んだ。

おかげで目がパッチリ。

一晩中がんばれた。

恐るべし、カフェインの威力！！

でも、胃にわるそ～。

寝ずに横浜へ行き、仕事。

東急東横線の中でぐうぐう寝ていた。

後ろの窓ガラスに思いきり頭をぶつけた。

その衝撃で起きたが、知らないふりをしてまた眠りつづけた・・・。

今日はめちゃくちゃ天気がよくて、山下公園の風景に見とれてしまった。

久々の中華街にも足を運ぶ。

あの独特な匂いがする。

異国の香りという感じがして、わくわくする。

特に裏通り。生活くささがたまらない。

伊勢崎町へ向かっている途中、赤い鳥居が見える。

巖島神社があった。

そういえば、初詣はまだだ。

思い立って、鳥居をくぐり、手を清め、お参りする。

おみくじは、第一番の“大吉”！

でも中身を読むと、書いてある事はすべて否定的だった。

待ち人は来らず、旅行は見合わせよ、買うはよからず・・・。

どうして～？

それから能見台へ。

高台から海が見える。

能見台はマンション王国で、これからもどんどん新しい建物が増えていくことだろう。

この風景が失われないことを祈りつつ、去る。

2002.01.25 Fri くもり

---

自分の心に執着するあまりに周りが見えなかった二十歳の頃。  
心が真っ暗になって、くよくよ考えてしまうことがよくあった。  
久々にそんな状態。  
不安で不安定。  
安心がほしい。

2002.01.26 Sat 雨

---

昼間、曇っていた。夕方から雨が降り出した。

まるで私の心に合わせるかのように・・・。

晴れているトコロに行きたいな。

明日は、晴れるかな？

わりと早く起きたけど、外は雨～～～。

仕事にいかなくちゃならないのに、動く気が失せる。

じっと外の音に耳を傾けているといつしか辺りが静かになっていく。

それまで続いていたぴちゃぴちゃという音はぴたっと止んで、窓から光が射してくる。

やっと出かける気持ちになり、正午すぎ、部屋をあとに。

ドアを開けたら、そこには優しい明るさがあった。

なぜだか、懐かしい、と思った。

会社には私一人。

明日が締め切りのパンフレットのラフを1ページずつこなしていく。

上司も手伝いに来てくれて、二人でそれぞれMacとにらめっこ。

上司が貸してくれたGarnet CrowのCDを聴きながら仕事をしていた。

「君の家に着くまでずっと走ってゆく」は知っている。

どこかノスタルジックで好き。

19時すぎ、マコトさんのライブに出かける。

ライブハウスで、大勢の人達の中で歌を聴いていると、なんだか安心した。

美味しいものを食べているような、そんな喉から聞こえてくる、いい声だった。



2002.01.28 Mon 徹夜明け

---

徹夜明けで、会社で9時半をむかえ、そのまま朝礼。

専務が疲れている私にお茶を入れてくれた。

と思ったら、私のカップに口をつけて間接キッス♪していたようだ。

・・・なんてやつだ。見て見ぬふりをした。

周りの社員は苦笑いしていた。

数日前から背中がズキズキと痛む。

人に呼ばれて後ろを振り向くと、ピキッとくる。

そして、下を見下ろすと、突っ張ってイテツとなる。

我ながら情けないが、そんな状態で仕事もろくにできないので、お昼休み、会社近くの整骨院に行った。

初めて行ったその医院は、若い兄ちゃんが2人でやっていた。

少々不安になりながらも、温熱を患部に当てられ、あったかい手でマッサージされると、気持ちよかった。

肩は凝っていなかったつもりだったけど、どうやら、結構凝っていたみたい。

自覚がないと、こうして突然痛んだりするんですよ〜〜〜、と言われた。

なるほど。もっと自分の身体に敏感にならなければ、ということか。

会社でパソコンに向かって同じ体勢で仕事してるから、固まっちゃったのかなあ・・・、疲れもあるんだろうなあ、と思っていたが、

この部分だと、きっと寝違えたんですよ、と言われて、ひと安心。

いやあ、今年は風邪も引かず健康だったのに、久々のお医者さんだったなあ。

たまに行くと新鮮(笑)。

この1週間の間に、中野駅前で何度知らない人に声をかけられたらう。

「手相の勉強をしているんですが、ちょっとお時間よろしいですか？」と話しかけてくるのだ。  
昼も夜も彼らは中野駅前でがんばっている。

彼らと言ったが、私に話しかけてくる人達は、すべて女性だった。

でも男性も見かけた。

共通して言えるのは、みんな何かにとりつかれたような顔をしている、ということだ。

何が彼らをこうさせたのだろうか？

断った後、いつも不思議な人達だと思う。

いつもギリギリでしか行動しない私は「お時間」のある時なんてない。

どうか、ほっといてください。

これに輪をかけて不思議な人がいる。

以前、ある若い女性に声をかけていた人で、話しかける前にくるっと1回転するのを見た。

「獲物」がちょうど自分の前に着くのを計算(?)して、くるりと360度回り、ご対面すると同時に声をかけるのだ。

待ち伏せしていたのを悟られないようにするためか？

それとも何かのおまじない??

そんな姿がお茶目にも見えていたのだが、今日、自分がそれに出くわした。

・・・引いてしまった。

この人達の正体は何なんでしょうか？

お仕事では地図も描きます

今日は横浜市金沢区の地図を描いていました

ここは昔は金沢八景と呼ばれ、8つの美しい風景があったそうなのですが、今では埋め立てなどの開発で大きく変わってしまいました。

金沢区の図書館に行って、昔の資料を見てきました。

数十年前の写真を見てびっくり。

なんと、今のシーサイドラインが通っている場所は、海だったのです。

自然にある海を埋め立ててまで、どうして土地を増やそうとするのか・・・。

私にはよう理解できん。

変わり果てた金沢区を見る、それはそれで興味深かったけど、これ以上今の街並みを失ってほしくないと祈っています。

## 2002.02.01 Fri 温泉療法

---

背中を故障中の私に、上司が温泉のチラシ2枚をくれた。

上司は小田急沿線に住んでるので、小田急が企画している大山の温泉パックのチラシだった。

大山は学生の時ドライブで行ったつきりだなあ。

豆腐料理の店が多かったのを覚えている。

あの時はなぜ大山に行ったんだっけ？

もう1週間になるけど、なかなかよくなる。

湯治にでも行ってくるか・・・。

## 2002.02.02 Sat 「僕たちはどこへ行くんだろう」

---

深ちゃん、美保子ちゃん達と5人で会う。

新宿ミロードでケーキを食べてしゃべっていた。

行くつもりでいたライブに彼らも誘ってみた。

でも「行かない」とも言われずにやんわりと断られたのが悔しかった(苦笑)。

いつのまにか私は一人で改札まで見送られていたのだ・・・。

6時半。

ライブハウスに着くとお客さんはほとんどいなかった。

サイコ・キッズだったっけな、初めて聴いたけどボーカルのよく通る素朴な声が印象に残った。

NO BORDERさんは相変わらずいい音を出していて、私はしばし夢のような世界に浸っていた。

さて、お待ちかねの極楽音楽商会が一番長い45分なのに、一気に聴いたという感じ。

採点用紙を最後に配られたが、あまりにもあっという間すぎたので、

一つ一つの歌がどうだったということはあまり覚えていなくて、適当に書いて出した。

「STAR」を歌ってる時のコニーが一番楽しそうだった。

あれは気持ちのよい歌だ！

2度目のリトルアジアへ。

好きな人たちと楽しいお酒が飲めた。

会社を辞めることを周りの人々に知らせながら、私はこれからどこへ行くんだろうなあ、

なんて考えこんでしまった（今日の極楽のセリフじゃないけど）。

自分でも分からなくなり、ふと不安になる。

バカだなあ、私って・・・。

2002.02.03 Sun 湯治

---

鶴見のスーパー銭湯へ。

大きなお風呂に入りたくって行ったけど、とても客が多くて、芋の子を洗うようだった。

それでも、サウナや電気風呂や、いろんなお風呂に入れて満足。

お食事処もある所で、風呂あがりに1杯飲んで帰った。

ほろ酔い～♪どころか、かなりいい気分だった。

猛スピードで身体中の血行が良くなっていくのを感じた。

2階にわたって駐車場がある広いトコロだったが、これで運転したらヤバイだろ～。

肝心の背中具合は・・・？

今はなかなか楽しんだ。

真っ暗な闇の中を独りさまよっていた。

「どうして私は生きているんだろう・・・」

そんな単純なことさえわからなくなってた。

美しいものを見るため？

おいしいものを食べるため？

だれかと愛し合うため？

よく、「僕は歌うために生きてきたんだ！」「踊るために生きてきたんだ！」

なんて言ってる人がいるけど、本当にそれだけで生きてる証になるのかな。

「あなたさえいてくれたら私は生きていられる」

そんなこともない。

きっと私は欲張りだからそれだけでは生きていけない。

大切な人たちはたくさんいる。

そんな人々と言葉を交わして、一緒の時を過ごしているときは、とても幸せだと感じる。

人に依存するなんて、人に執着するなんてカッコよくないけど、今の私は人に支えられながら生きてる。

今、この場所を去ってしまったら・・・私はどうなるんだろう。

無理やり去ろうとしてしまってるのが、急に愚かな行為に思えてきて。

希望はここにあるのかもしれない。

もう少しここにいたいと思っています。



## 2002.02.05 Tue うれしかったこと

---

仕事から帰ってきたら、じゅんこから1通のハガキが届いていました。

とりとめもない内容だったけど、とてもうれしかったのです。

瞬時に届くE-mailではなく、郵便やさんが運んでくれた自分宛のメッセージが、なんだかとても新鮮で。

筆不精であまり手紙を書かない私だけ、ちゃんと時間を作って直筆で返事を書きたいなあと思いました。

ハガキや便箋を前にするとペンが止まってしまって何を書けばいいのかわからなくなる。

でも、要はその人を思う気持ちだよ。

そういえば、今日は寒気もしないし、熱もないのに、くしゃみと鼻水が出た。

もしかしてもしかして・・・・・・・・。

例の症候群？

ついに私もか！？

上司と一緒にランチ。

初めて連れてってもらったその店は、早稲田には珍しくオシャレなカフェだった。

白く清潔感のある内装、手前にはゆったりしたソファ、奥には美しいカタチのテーブル。

日当たりのよい、手前のソファに通された。

ランチを頼むと、食前にアイスティーとサラダが出てきた。

ランチのメニューは（ふわふわの）オムライス、（ほうれん草の）カレーライス、日替わりパスタ（3種ほど）があって、

迷った末（これだけなのに）上司はオムライス、私は（やっぱり）カレーを注文した。

上司と分け合った。

オムライスはとろとろ&ふわふわの卵で包まれていて、なんとおいしかったこと！

・・・久々に卵を食べて幸せな気分だった。

ほうれん草のカレーは、どうやらすりおろしたほうれん草と一緒に煮込んであるらしく、グリーン色が散らばっていた。スパイシー&まろやかで、これもいける。

喫茶店のカレーもあなどれないなあ。

食後にはエスプレッソが出てきて、完全なランチに満足。

去年開店したばかりの新しい店だったけど、お店の工夫がこらしてあって、なんだか居心地よかった。

今担当している能見台のパンフレットの直しを深夜一人で残ってやっていた。

商店街マップなど新たに作らねばならないページが6ページ分。

提出は明朝。

間に合うかな、と不安になりながら、気合を入れてパソコンに向かっていた。

どうしても遠近感のある地図を作りたくて、参考書を読みながら試行錯誤していたが、なかなかうまくできない。

でもなんとか形になった、かな。

まだまだ覚えなくちゃならないこと、たくさんあるなあ。

もっともっと勉強が必要だ。

## 2002.02.08 Fri 後悔

---

今日原稿の渡し、タイムリミットは11:30。

11:00ちょうどに全部用意ができて、急いでお客さんの所に向かう。

ギリギリに着いて、中身をチェックしてもらった。

その新人の営業担当は、最初だからか、とてもやる気のある人で、しかも態度も丁寧。

こっちもがんばっていいものを作ろうという気になる。

一昨日上司にお願いしていた通り、午後は半休をもらって直帰。

夜は一睡もしていなかったけど、気がはりつめていたせいかそれまで全然眠くなかった。

しかし、すべて終わると睡魔が襲ってきて有楽町線でひと眠り。

家に着いたら、お風呂に入ってすぐに出かけるつもりだった。

だけど、家に着いたら不覚にも寝てしまった！

やりたいことたくさんあったのに、何もできなかった。

時間よ戻れ～～～。

## 2002.02.09 Sat 当たり前

---

- コンタクトレンズを外す。
- 窓を開ける。
- 布団を干す。
- 落としたものを元の位置に戻す。
- 新聞を読む。
- 借りた物を返す。
- 電気を消して寝る。
- 遅刻しない。
- 人を傷つけない。
- そんな当たり前のことができなくなってる今日この頃。

2002.02.10 Sun 最高！

---

元同僚・彩子が所属する楽団の定期演奏会に行ってきた。

指揮は表現力豊かで目にも楽しめた。

彩子の演奏するフルートもよくきこえてきて、素晴らしい演奏だった。

ジャンルに関わらず、演奏の場での静けさには二通りある。

それは空気のちがい。

つまらなくて聴く人の心に訴えかけない演奏の場合、周りの空気は動きがなく、ばらばらに感じられる。

何らかの感動を与える演奏の場合、周りの空気は一つ所に集まる。そして心地よく揺れている。

初めて聴く曲が多かった中で、アンコールの日本歌曲「花のまち」は私の好きな曲だった。

でも忘れ去られようとしていた。

今日の演奏会が記憶から呼び起こしてくれた。

やっぱり音楽が大好きです。

引き続き会社で仕事してたら、上司のIさんが「渋い顔してるね～～。」と私を見て言った。  
「俗に言う『ぶうたれてる』ってやつかな？」とも。

私が朝から機嫌が悪いのがばれてしまった！！  
会社ではなるべく顔に出さないように努めているのに・・・。  
ただそれだけ、淡々と感想を述べるとIさんは仕事に戻った。

そう、今日はいつになくイライラしてた。  
別の上司の態度にあまりにも配慮がなく。

でも、こんな風に観察されると、なんだか客観的に自分を見なおすことができ、少し楽になった。

Iさんは社内で一番忙しいのに、いつもこうやってのほほんとしている。  
ささいなことでは気分を乱すことがない、どこか超越した雰囲気のある人。  
この人にはよく心を中和してもらって、お世話になったなあ。

人間の心にはなんて欲望が多いことだろう。

子どもの頃は、大人たちに我慢させられることが多かった。

大人になった今、ある程度の欲望は自分で満たすことができるようになった。

だけど、欲望に流され、支配されてるんじゃないかってときどき思う。

欲望は時に自分の生活を乱す。

昔の方がはうまくコントロール「され」、快適な生活を送れていたようにも思う。

原点に戻り、自分を律することをはじめてみようかと思っている。

「律する」と「抑制する」は似ているようで違う。

前者は自分が正しい方向に歩いていけるようにすること、後者はただやみくもに我慢すること？

自分の生きたいように自由に生きられることはステキだ。

だけど、それは欲望のおもむくままに生きることじゃない。



バレンタインデー。

そんな世間のイベントとはかけ離れた1日。

午後10時頃、やってた2つの仕事が終わりに、それぞれの会社に向かった。

2件目の会社のJさんは新人で、こないだ会った時は元気いっぱいだったのに、今日はくたくたという感じだった。

以前のフレッシュさはどこへ？

聞くと、2日帰ってなくて2日間お風呂にも入ってないそうである・・・。

こうやって人波にのまれて一人前の営業マンになっていくのね。

2002.02.15 Fri 越南

---

得意先の優しいJさんが休日も働かなくていいようにしてくれたので  
お休みもらえた！

今日開店したばかりのアジア料理屋さんへ。  
テーブルや何もかも新しく、新築の匂いがした。

先にドリンクの注文をとられる。

フードメニューは・・・？と探したけど、どこにもない。

もしかして、おまかせ？(笑)

と冗談言ったら、フードメニューが間に合わなかったらしく、  
奥のテーブルのカードから好きなものを選んで、と言われた。

これとこれと・・・と4種類くらい選んで、楽しみに待つ。

グリーンカレーやフォーやいろいろ、おいしかった。

他にも食べたけど名前は忘れた・・・。

帰りにお店の人がベトナムのお土産をくれた。

ちっちゃい小銭入れみたいなやつ。

夢を入れてくださいとのことだ。

ベトナムの話を聞かせてくれた。

店の人みんなベトナムにはまってそうな人ばかりだった。

私も行ってみたいくなった。

2002.02.16 Sat 闇

---

残業で2時まで仕事をして、Iさんとタクシーで途中まで一緒に帰った。

オンラインクーポンがあるので、ビデオかCDを借りてかえろ、とTSUTAYAに寄った。

綾戸智絵のCDを借りてみた。

前から、小さいホールとかでよくコンサートやってるみたいだけど、どんな声なのかなぁと興味があったんだ。

家に着いた。

ドアの隙間に何かはさんである。

東京電力からだ。

「再三のご請求にもかかわらず電気使用料金をお支払いいただけなかったので、誠に不本意ながら供給を停止させていただきます」

．．．．．。

そういえば、最近、郵便物のチェックもしてなかったなあ。

真っ暗闇の中、懐中電灯で照らしながら、振込み用紙を探し、コンビニへ。

支払いが済んだ後、東電にTEL。その時刻、午前3時。

「今から1時間ほどでお伺いします」との返事。

1時間何をしようか．．．。

とりあえずガスは生きてるので、お風呂をわかした。

わかしている間に電気屋さんがきた。

ドアの所でガチャガチャ音がして、しばらくすると去っていった。

電気屋さん、こんな夜中（もう明け方か）にゴメンナサイ！

電話や冷蔵庫が動き出し、もとどおり復旧した。

ああ、電気がないってホントに不便。しかし、情けない。

公共料金はちゃんとチェックしようと心に誓うのであった。

こないだ借りた綾戸智絵を聴いてみた。

「LOVE」というアルバムだが、まさか、ジャズとは知らず、かけたとたんビックリした。

もっと「きれいな」声を想像していたのだけど、堂々としたハスキーボイスだった。

でも、この人といい、鈴木聖美といい、ケイコ・リーといい、どうしたらこんなステキな声が出るんだろう。

JAZZっていいな。情熱的でせつなくて・・・。

本人による曲目解説見ながら、しばし酔いしれた。

以前働いてたお店でもJAZZがかかりっぱなしだったから、その頃を思い出して懐かしい気分にも。

映画「慕情」の曲がいちばんのお気に入りだった。

怒涛の1週間のはじまり。

土日でエネルギーをためこんどいてよかった・・・。

飯田橋で調べもの。

ハローワークの上の法務局に初めて行った。

登記簿のことなんて、全然わからないけど。

お客さんからチェックが戻ってきて、パンフの直しに追われる。

とりあえず、今日は徹夜残業。

インスタントコーヒーを何杯飲んだことだろう。

夕飯は吉野家の牛丼（テイクアウト）。

明け方まであっというまだった。

朝、ちょこっと帰ってお風呂に入り、そのまま出社。

パンフの直し、つづく。

緊張感の中で、時計とにらみ合いながらの一日。

お客さんから何度催促の電話が鳴り響いたことだろう。

18時すぎ、やっと終わり、FAX送信。

2時間後、またチェックが入り、戻される。

ケッコウな量だ。

今日も帰れない。

夕飯は、松屋の牛丼。

早稲田には牛丼屋が多い。

今日は入稿の日。

なんとか印刷屋に持っていくことができた。

でも全然満足じゃない。

いいものを作ろうと思ってたのに、自分の中では不本意な結果に終わった。

後悔先に立たず。

**2002.02.21 Thu 解放？**

---

やっと長期の仕事が終わった。

これからは退社まで単発的な仕事をちょこちょこやることになるだろう。

今日から落ち着けると思いきや、今日もしっかり社員そろって徹夜残業。

急ぎの仕事が入ってしまった。

しかし不思議と疲れはない。

ただ眠いだけ。



2002.02.22 Fri 恥

---

朝、8時頃帰ってきた。

品川での調査の仕事が入っていたので、寝ずに直行しようと思ってたら、意志の弱い私はいつものまにか布団に・・・。

携帯電話のバイブレーションのかすかな音で目が覚めた。

「レ〇〇〇スです。」

と元気よく！寝ぼけていた私は応答した。

しまった、これは会社の電話ではない！と思ったがもう遅い。

しばらく沈黙が続き、笑い声が受話器の向こうで響いた・・・。

社員のKさんからのモーニングコール（ホントはもうお昼）だったのだ。

師匠とのりさんにご対面。

頭のよい魅力的な方々だった。

あっという間に時間は過ぎていった。

2002.02.23 Sat 野方

---

野方駅近くの焼鳥屋さんに行った。

西武新宿線のこの駅は歩いて15分もかからないけど、あまり利用しない。

でも、初めて野方駅前の商店街をゆっくりと歩いてみたら、意外と魅力的なお店が多いことに気づいた。

お惣菜のお店、雑貨屋、輸入食材のお店、飲み屋・・・。

ちょっとふらっと入りたくなるようなお店が結構あるのだ。

スーパー長崎屋はこないだ閉店したけれど、商店街の活気は十分に残っているような気がする。

これからはこちらの町にもお邪魔しようかな。

**2002.02.24 Sun ABYSS**

---

家で映画『アビス』を見た。

ちょっと難しかった（設備・構造）。

ちょっと笑かしてくれた（大津波が戻るとは）。

海中SFものといった感じで楽しめた。

海の底に沈んでみたくなった。

新しい世界があるのかも??

2002.02.25 Mon 春

---

植え込みの前に並んで座ってカップラーメン食べてる、工事のおっちゃん。  
ガレージ前の小坂でパターの練習してるおとつつあん。  
穏やかな微笑をうかべながら自転車こぐおかあちゃん。

．．．．．春だなあ♪

もう、茶色の厚くて長いコートはクリーニングに出してしまおう。

2002.03.04 Mon 災い

---

2日前に怪我したかかところが痛くて足を引きずりながら歩いている。

靴が血まみれになってしまったくらい、イタイ怪我だった。

病気はしないが、怪我が多い、今年。

友人にもなぜか怪我する人多いなあ。

じん帯切ったり・・・。

私は災いのモトだったりするのか！？

## 2002.03.04 Mon 山手線

---

朝の山手線に乗った。

ラッシュ時に乗るのは初めてだったかもしれない。

恐ろしく混んでいる。

みんな殺気立っている。

多くの人がこんな電車で通勤しているのか、と今更ながら驚いた。

中学生の頃、一寸の隙間もなくぎゅうぎゅうに詰められた弁当を持ってきてる友達がいた。

横にしても崩れることのなかったお弁当。

よく、あんなにきれいに詰めて持ってこれるものだなあと感心していた。

人間。人と人との間には・・・。

やはり程よいスペースがあった方がよい。

2002.03.04 Mon 独り言

---

イラストマップを作る仕事で、今日も夜なべ。

こんなデザイン系の仕事に慣れていない私は、試行錯誤しながらやっていた。

ううむ、世の中に出せる代物ではない。

ほんのひとかけらでいいからセンスが欲しい。

2002.03.04 Mon 来訪

---

お客さんが原稿取りに私の勤める会社を訪ねてきた。

自慢じゃないけど、ハッキリ言ってここは自分が見たどの会社よりも散らかっている。

お客さんには見せたくない領域である。

うちの会社にはお掃除当番がいて、他の社員より30分早く出社して、きれいにすることになっている。

掃除の業者は雇っていないので、すべて当番と個々のやる気にかかっている。

来週は当番だ。まわってくるのはたぶんこれで最後になるだろう。

気合入れて掃除しようかな。

自分の部屋も・・・。



2002.03.04 Mon 偵察

---

今日は仕事で川崎のモデルルームの偵察。

近頃のマンションはよくできている！

大きいところだと、保育園やクリーニング受付やゲスト用の宿泊施設がついてたり・・・

人気の高いマンションは抽選で選ばれた者だけが入居できる。

人間の住む所なんて十分足りているはずなのに、なぜか一所に需要が集中している。

ホテルライクな設備・仕様のマンション。

ちょっと魅力的だけど、こんな所に住んでる自分は想像できない。

同じ敷地内に何百人も住むなんて、ちょっと怖い気もするのだ。

## 2002.03.10 Sun 当番

---

今週は早く出勤して当番！

当番の仕事は、月曜朝礼の司会、朝の掃除、退勤時のゴミ出し・・・。

社員の少ないうちの会社は当番が2ヶ月に1回は回ってくる。

今回で最後の当番だから・・・任務を遂行しよう。

しかし、皆の前でしゃべるといふことにはいつまで経っても慣れなかった。

2002.03.10 Sun 品川

---

今日は品川で仕事で、近くで別の仕事してたアルバイトの女の子と天王洲アイルへ。

昔働いてたバーへ久々に足を運んでみた。

店長は見事に彼女好みのカクテルを作ってて、さすがだなあと思った。

やっぱりお酒は楽しい～。

Hさんとはいろいろしゃべった。

会社のこと、将来のこと、趣味のこと・・・。

彼女はムードメーカーで、窮屈なことが多い会社でいつも明るく、バイト達をよくまとめている

。

2人で飲んだのは初めてで、改めて魅力的な人間だと知った。

彼女の内面の世界にひきこまれてしまった。

品川区役所に行った。

いろんな課を回って、話を聞かなければならない。

対応も十人十色で、親切に説明してくれる職員、最初からバカにしたような態度の職員・・・いろいろいる。

こっちの話も聞かず、横柄な態度のおじさんにはマイッタ！

こんな人に出会くと、ついついムキになってしまう自分がある・・・。

徐々に喧嘩ごしになってしまった（苦笑）。

2002.03.10 Sun 調べもの

---

五反田の歓楽街はどうしてできたのか、どんな店があるのか調べよ。

五反田には美智子さまの実家があるらしいが、昔彼女が働いてた和菓子屋を調べよ。

こんな変な指令が出て、現地に行ったり、図書館やらインターネットで探し回っていた。

どんな風俗店があるのか・・・って言われても困る。

ファッションヘルスやSMクラブや性感マッサージやピンクサロン・・・。

って風俗にもいろいろあるみたいだけど、違いがイマイチ分からないし！

うら若き乙女(?)にこんなこと調べさせるな～～！

風俗サイトを会社で検索するなんて、さすがに堂々とはできない。

ほかにもいろいろあり今日も徹夜残業。

## 2002.03.10 Sun 納品ラッシュ

---

お昼、変な調査資料がやっとまとまり、お客さんに渡して、一旦帰宅。

2日寝てないにもかかわらず、まだ急ぎの仕事が残ってるので、会社に戻らなければならなかった。

家に着いたらお風呂入って出かけよう・・・と思ってたのに、いつのまにか深い眠りにおちていた。

気がつくやと夜の8時！

程なくして会社から電話がかかってきた。

当然、呼び出される。

21時過ぎに会社に着いて、パソコンに向かってひたすら仕事。

寝たせいか集中力が続いた。

2002.03.10 Sun 半休

---

朝の納品はなんとか間に合った。

浦安に行って、お客さんに渡して、一段落。

お昼を専務におごってもらった。

うな井と寿司とファミレスとどれがいい??と聞かれ、迷った末ファミレスに。

バランスよく食べたい気分だったのだ。

会社のいろいろなことについて意見を求められ、本音で話すことができたと思う。

この状態をどうしたらいいか、自分の会社なのに専務自身も分からないようだ。

家に帰って一休み。

寝すぎてライブに遅刻した！

もっと早く行っていろんな人の演奏聴きたかったのだが・・・。

でも極楽の新曲が聴けて満足。

2002.03.11 Mon 涙

---

なぜ泣いたんだろう。  
悲しかったから？悔しかったから？

誤解。  
私がされていたわけじゃない。  
でもなんだか感情的になってしまった。  
大切なんだ。彼らの存在自体が。



2002.03.16 Sat ヘルプ

---

アルバイトのFさんが私に付き合っ、徹夜で仕事を手伝ってくれた。

きれいな地図を書いてくれた。

さすがデザインを長年やってただけある。

助かった！

彼が仕事してる間、睡魔が襲ってきてうとうとしてしまった。

ごめん。

2002.03.16 Sat ギリギリ

---

今日は終電ギリギリで帰った。

東西線のホームに電車が着いた頃、改札に駆け込む社員達。

なんとか間に合った。

しかし、一人足りない・・・。

あれ、さっき改札の所にいたAさんは・・・？

どうやら改札でつかまって乗れなかったらしい。

厳しい世の中だ。

2002.03.18 Mon おあずけ

---

上司が昨日から休んでいる。

電話では何度も「遅れる」と電話がある。

でも一向に来る気配がない。

どうやら行こうとするとフラフラして立てなくなるらしい。

働きすぎて過労死しちゃうぞ、きっと。

この非常事態のため、私は会社にとどまることになってしまった。

もちろん、いつまでもとは言いません。

とりあえず、3月20日には辞められそうにないです・・・。

**2002.03.18 Mon** まあまあ

---

夜が明けて・・・浦安のパンフ入稿！

初めてまあまあ納得のいく内容に仕上がった気がする。

たぶん、この会社で手がける制作物はこれで最後になるだろう。

ほどよい充実感。

満足ではないけれど・・・。

## 2002.03.22 Fri 魅力的な人

---

職場にとっても魅力的な人がいる。

彼女の存在があるだけで、場がぱっと明るくなる。

人間が好きで、誰に対しても優しい気持ちを持っている。

一対一で話をしている時も、程よく自分のことを話し、程よく相手の話を聞く。

それがすごく心地よくて、好きになろうとしなくてもいつのまにか好きになってた。

「好き」というメーターがあるならホントに魅力的な人に対しては、自動的に針が動くものだと思う。

カレーミュージアムへ。

ミュージアムっていうくらいだから、カレー食べるだけでなく少し知識もつく。

昔はカレーって高級な料理だったらしいね。

あ、今でも高いカレーはもちろんあるけど。

タイカレーやインドカレーも好きだけど、日本のカレーがやっぱり美味しい。

写真を撮りに五反田へ。

明日必要だったので、すぐに現像に出した。

五反田のDPE。

18時過ぎてたので念のため「今日中にできますか？」

と聞くと、「はい、55分かかりますけど。」との答え。

「じゃあ、お願いします。」と私。

「はい、お待ちしております。」と店員さん。

・・・私が今から待つんだけどなあ。

と言ってしまうたくなかったけど、まあ、おとなしく店を出た。

Kua Ainaだっけな、ハワイ生まれのハンバーガーショップで時間をつぶした。

「アボガドバーガー」なるものを食べた。

注文したものが、テーブルに届き、途方に暮れた。

・・・でかい！！

一方のバーガーのパンにはトマト、もう一方のバーガーのパンにはアボガドとハンバーグがのってる。

これらがポテトが敷かれたカゴに入ってやってきた。

(これ、どうやって食べるんだ?)

セットのポテトを食べながら、しばし思い悩んだ・・・。

ナイフとフォークあればいいけど、皿にのってるわけじゃないし・・・。

辺りをキョロキョロと見まわすが、みんなサンドイッチやらポテトを食べている。→参考になる人はいない。

結局分解して食べようと、決心。

まず、トマトののってる方から、かぶりつく。

すぐ先でコーヒー飲んでるお姉さんや、テイクアウト待ちのお兄さんと目が合う。

(なんか、違う??)

ふと遠くのお客さんが目に入る。

なんと器用に紙ナプキンで2つのパンをはさんで食べているではないか！！

そうか、やはりハンバーガーらしく食べればよかったのだ。

しかし、私は既に一方のパンを食べ終わる頃だった(やっこさ)。

分解状態でこのまま行くしかない。

開き直りそのまま食べつづけた後、珍しく胃がもたれていた。

ハンバーガーと格闘した初めての経験だった。

2002.03.24 Sun 新しい風

---

今日、新人のデザイナーが一人入社した。

年齢40前半の、キャリアのある人らしい。

なんでそんな人がうちに・・・？

と少々不審な気もするけど、とりあえず、即戦力になること間違いなし。

初日からバイトのデザイナーにいろいろ指導(?)しているようだ。

今日は会社の雰囲気がちょっと違う。



## 2002.03.24 Sun 都会の温泉

---

また上司から温泉のパンフレット2部もらった。  
一つは仙川のスーパー銭湯、もう一つは深大寺の温泉。  
上司が特にすすめてたのが深大寺の方。  
ホントの温泉がわいてるらしい。  
見ると「風水温泉」とうたってある。  
深大寺の開運エネルギーで癒されるらしい。  
あやしいなあと思いつつも、なんだか興味がひかれる。

今日で終わりのはずだったこの職場も、受注が多すぎるのでまだ辞められないでいる。それが先日の朝礼で伝わってから、普段通り、何も変わらず仕事を続ける社員たち。誰も何も言わないので、次の退職予定について切り出しにくくなっている。まだ机の引出しには私の荷物がたくさん、納品した仕事も未請求がたくさん……。と辞める準備もできてない状態。まあゆっくりでいいかな、と思うようになってきてしまっている。ずるずる、だらだら……。

元同僚がウチに泊まった。

中野のアジア料理屋でご飯食べた。

インドネシアやフィリピンのビールを飲みながら、二人でアジア旅行へ行こうと決めた。

ベトナム、タイ、インドが彼女のご希望。

私は何度行っても飽きない香港……と言いたいところだが、最近ではベトナムにも興味深々。

ここは外せない。

同じく元同僚のKさんは3年間外国を旅していて、いろいろ情報をもらえることでしょう。

歩いて国境越えをしてみたい。

早稲田のお気に入りカレー屋にドライカレーというメニューがある。

これは、いわゆるカレーピラフではなく、汁のないひき肉カレーが白いご飯にかかったもの。ドライカレーにも2通りあることをここで知った。

今日は、同僚が帰った後、ドライカレーに挑戦。

久々に料理をした。

同僚を送っていった帰り、ブロードウェイに寄り、食材を仕入れる。

地下は改装中だったが、今日はオープンしていてガラッと変わっていた。

よくテナントの配置がえをするなあ。

ドラッグストアが拡大していた。

ブロードウェイの地下には新鮮なお肉や魚や野菜が売られていて、早い時間に買い物できる時はいつもココ。

服や雑貨なども売られているのでついつい寄り道しそうになるけど、目的のものだけ買うことに専念。

家に着き、ご飯を炊く。

みじん切りの玉ねぎとニンジン、ひき肉を炒める。

カレーフレークを混ぜてさらに炒める。

カレーフレークは買い置きしてあった業務用のもの。

これがどうもマズイ。

フレークの材料の小麦粉が曲者みたいで、混ぜこむとねっとりとなってしまう。

普通のカレーパウダーの方がいいみたい。

まあ、食べられないほどじゃなかったけれど、早稲田のカレーには程遠かったのですた・・・。

仕事で上野に行った。

雨が降りそうだったけど、来週では遅いし、直帰したいという魂胆で強行。

雨雲なんか私の気合で吹き飛ばしてやる！！

と意気込むも虚しく、雨がぽつりぽつ〜り。

そうか、もともと、私は雨女だった。

(外に出れば雨が降らなさそうな日でも、雨が降る。傘を持っていった日には、雨が止む。)

上野駅はリニューアルしていた。

あまりの変わりように、構内で迷ってる人がたくさんいた。

私もきょろきょろ、キョロキョロ・・・。

新しい駅ビルにはお店がズラリ。

特に飲食店が充実。

おなじみのスターバックスに始まり、ハードロックカフェまである(オープンは25日)。

これ、最初は迷うかもしれないけど、慣れたら使いやすいのかも。

通路には「下町ストリート」とか通りの名前がついてるから。

ただ、自分が何階にいるのかを把握できる自信がない。

上野公園を通り、根津へ。

すぐやむと思ってた雨もだんだん本格的に。

今夜の花見宴会(他人の)は無理があるなあ。

それより仕事道具の地図がふにゃふにゃになってゆくのが心配だった。

冷たい雨にうたれながら歩き回って、今日のお仕事終了。

不忍池の橋の下で無防備に寝ているアヒルやカモを見ながら帰った。

## 2002.03.24 Sun ツマミは音楽

---

突然、元クラスメートのライブを見に行くことになり、関内へ。

変なバンド名だったが、演奏聴いたら、まともどころか、すばらしかった。

Mはドラムをたたいていた。

細っこい身体だけど、音も声も力強く、心地よいリズムで爽快な気分。

ビール2杯を軽く飲んだ。

なかなかこういう所でのビールはつまみなしではつらいものがあるけど、今日はいつのまにか飲み干していた。

つまみは音楽（数年前の麒麟のCMみたい）。

2002.03.29 Fri 突然

---

昼間、懐かしい人から突然電話が。

大学のいっこ上の先輩、Fちゃんから。

韓国に嫁いで以来、音信不通になってしまっていたが、日本に里帰りしているのだという。

子どもが産まれて、今6ヶ月。これも初耳。

「私、結婚するの。」と突然電話があって、連絡がとれなくなってから2～3年ぶりだろうか・・・。

何もかも突然なのが、彼女らしい。

もう一生会えないのでは、という思いもあったので、とても、嬉しかった。

2002.03.29 Fri 無関心

---

関わらなければ寂しさは薄れていくものだと思ってた。

どん底にいた、あの暗い日々にはどうしても戻りたくなかった。

関わらないようにしよう。

その決意も虚しく、また関わってしまった。

無邪気に見えるその笑顔の裏には何があるのかまだ分からないまま。

**2002.03.29 Fri 方向音痴**

---

もうこの会社に1年半近くも通っているのに、未だに北と南を勘違いする。

夏目坂をのぼってゆくと、南。

しかし、のぼる=上=北と誤ってしまっている。

単純な私。



**2002.03.29 Fri 元気**

---

仕事が早めに終わり、11時の閉店間際の西友で買い物。

おうちで料理。

ようやく夜に料理をできる生活に戻れつつある。

そういえば、会社で居眠りもあまりしなくなったなあ。

だんだんと疲れがとれてきていることを身体で実感している。

今日の夕飯は、舞茸とひき肉の炒飯。

2002.03.29 Fri つくば

---

来週は、仕事で茨城県のつくば市に出張。

締め切りは4月12日。

このままGWまで働くのかも。

でも、つくばといえば、1985年の万博以来。

懐かしく嬉しい気もする。

東京からバスで1時間20分ほどで行けるので日帰りだけど・・・。

小学校3年生の時に遊びに行ったつくば万博では、雨が降っていた。

だからかどうかは分からないけど、あまり見て回らなかったような気がする。

つくば博では、15年後の2001年の元旦に手紙を届けるイベント（タイムカプセル）をやっていたようだ。

でも、その存在も知らなかった。

むつみから自分に宛てた手紙が届いたよ、と現物を見せてもらった時には笑ったなあ。

子どものくせになんだか現実主義な手紙で・・・。

2002.04.03 Wed 脇合い合い

---

今日も会社だ。

会社では最近よくしゃべる。

バイトたちのペースに巻き込まれている感じで・・・。

和気あいあいムードが高まってきた今日この頃。

なんか学校みたいな雰囲気。

いいのか？

まあいいか、手を動かしていれば・・・。

2002.04.04 Thu ライブ

---

うれしいな、暇～な1日♪

昼間は家でのんびりして、夜はkaztouへ。

kaztouまで自転車で15分ほどで着くことが判明。

小倉マコトさんを聴いて・・・、その後初めて祥人さんを聴いた。

それぞれよかった。

また聴きたいと思った。

ギターの音、ピアノの音が最近好きな音。

## 2002.04.05 Fri 向ヶ丘遊園

---

今日で閉園してしまう向ヶ丘遊園へ。

学生時代以来だから、何年ぶりだろう？

あの時は人もまばらで、スケートなんかやったっけな。

KAZさん思い出の場所ということで誘われたけど、私も懐かしかった。

最後の日でめちゃくちゃ混んでたけど、3人でがんばって並んでいろいろ乗った。

さすがに2時間待ちの乗り物は待たなかったけど・・・。

閉園だからか、スタッフの人たちもなんだか寂しそう。

桜が別れを惜しむように、精いっぱい美しく咲いていた。

## 2002.04.05 Fri 筋肉痛

---

昨日、起伏の激しい場所を歩き回ったせいか、足の付け根あたりが筋肉痛である。

でもなんだか心地よい痛み。

筋肉痛の痛みってけっこう好きかも。

2002.04.05 Fri つくば

---

8時半に東京駅でバイトのIさんと待ち合わせ、高速バスでつくばへ。

1時間ちょっとで着いた。

つくばはいい天気で、行楽日和だった。

いやいや・・・仕事に行ったのである。

つくばの町は道がまっすぐで果てしなく続く。

つくばの中心・学園都市。ここには駅がない。

「つくばセンター」というバス停！が拠点でここからバスで東京や水戸や常磐線の各駅に行ける

。

駅がないのにデパートがある場所を初めて見た。

不思議な町だ。

まずは市役所で情報収集。

つくばセンターで「市役所まではどうやって行けますか？」

と聞いたら、今の時間は直行便はありません、と言われる。

途方に暮れながらもバスを乗り換えやっこさたどり着く。

で、資料を集め終わってさあ帰ろう、とバスの時刻表を覗いたら、2時間後まで空欄・・・。

歩くのと待つのではどちらが早く着くんだろうと思いながら、無謀にも歩き出す。

結局6kmの道のりを歩いてたどり着いた。

それからIさんとガストでご飯。

お昼を食べて、仕事は順調に進み、無事終了。

今日いきなり連絡をとったつくば仮在住の友人Mに会って、軽く3人で飲む。

歩き回ったせいか、ビールがとっても美味しかった！

Mはこないだのライブで会ったけど、話すのは久しぶり。

相変わらず独特のキャラクターでホッとした。

つくばに別れを告げ、2人でまたバスで東京へ。

いい旅だった。

職場へ何かお土産を・・・と思って買ってきた「妹（いも）ほっかり」。

出勤後、さっそく食べたSさんが何とも言えない複雑な顔をしていた。

「かほさん、これ、好き嫌いありますよ。」

どうやらシナモンの香りが強いらしい。

食べているそばからシナモンの香りが漂ってくる。

シナモンかぁ、そんなものが入ってたとは知らず買ってしまった。

昨日、西武百貨店で「芋と栗が有名なんだよ。」とMから教えてもらって、

パッケージも可愛い「妹ほっかり」で合意。

素直にMから薦められた水戸土産にしとけばよかったかな？

（いえいえ、Mの味覚が信用できなかったわけではありません）

私も数時間後、買ってきたやつを食べてみた。

・・・シナモンが強い。のは許せる。嫌いじゃないし。

でもシナモン以外の味という味がない。

いも自体の甘さもなく、ホントに何とも言えないお菓子だ。

これを作った人は、この味で満足なのだろうか？

・・・まあ、失敗もあるさ。



2002.04.06 Sat 四谷天窓

---

昨日から「明日は早く帰ります」と上司に言っていたにもかかわらず、8時近くにあがってしまった。

今日はみあさんLIVE。四谷天窓という所に行った。

ちょうど前の人が終わったと思われる時間に着いた。

入口にたまってる人たちに混じって聞いていた。

みあさんの高音の声（ $\alpha$ 派？）としっかりしたメロディが好きだ。

聴けてよかったなあ。

次の人の時は座敷にあがらせてもらった。

ライブハウスとは思えないくつろぎモード(笑)。

LIVEが終わった後、あまり面識のない人々とともに居酒屋へ。

でもあったかい人達ばかりで、とっても居心地よかった。

一人一人個性が強く、見てるだけでも面白かった。

ビールとウーロンハイしか飲んでいないはずなのに、なんだか酔い心地。よい心地。

昨日の小料理屋で知り合ったおじさんが、

「中野といえば、『よしのや』っていうラーメン屋によく通ってたなあ。」

と言うので調べてみたが、そんな名前のラーメン屋（ちなみに早稲田通り沿いだそうだ）なんて見つからない。

「つけ麺が美味しくてねえ、女性でもダブル(!)で注文しちゃうんだよ〜。」  
って言ってた。

すごく気になって探しているんですが、見つからないのです。

酔っ払いおじさんの虚言か？それとも既に幻と化してしまったか？

誰かご存知の方いらっしゃいましたらご一報ください。

というか、お年頃(?)なのに色気より食い気な自分が急に恥ずかしくなってきた。

ああ、今日も髪の毛切りに行けなかったなあ・・・。

## 2002.04.08 Mon 青い桜の木の下で～♪

---

花見in井の頭公園。

少しでも桜の気分を、と桜リキュールを買っていったが、味がイマイチ。

ヘルメスのリキュールは全体的に甘すぎ。

チェリーヒーリングにしとけばよかった。

クールなMさんの歌、渋みのあるRさんの歌、ファンキーなCの歌、一心不乱のYさんのパーカッション(笑)

そして『ヘンナガイジン』のスパニッシュなミュージック？(熱唱)

・・・とバラエティに富んだ音楽三昧の一日だった。

鍋も美味しく、天気もよく、平和なひとときを過ごした。

やはり、弾き語りは最高やね。

と、眠っているCASIO君の電源を久々につけてみたのだった。

ゆ、指が動かん・・・。

夜、窓を開けていても寒くない。

早くも夏が訪れようとしている。

夏は大好きだ。なんだかパワーがみなぎってくる。わくわくする。

今日は前から計画していた部屋の模様替え（夜中に）。

今まで部屋の中心で寝ていたのだが、窓際に布団を持ってこようと企んでいた。

7年前に私が初めて横浜に住んだとき、買ったもの。それはテーブル。

テーブルがないと手紙も書けない、ご飯も食べづらい、と何より先に購入した。

追浜の西友で1万円で買ったのを今でも覚えている。

椅子は追浜のリサイクルショップで仕入れたのと、実家から持ってきたものを使って長年テーブル生活をしていた。

今はそのテーブル、パソコンデスクになっている。

パソコンデスクをテーブルに復活させるべく、パソコンは低めの机に移動した。

さて次は窓際に眠っているCASIOの移動・・・、と次の行動に移ろうとしたが。

中途半端に移動された物たちの間に挟まれて、いつのまにか眠ってしまった。

現状<http://park16.wakwak.com/~kaho/madori1.gif>⇒未来理想

図<http://park16.wakwak.com/~kaho/madori2.gif>

## 2002.04.13 Sat 退職時期

---

やっと上司と話し合う機会が持てて、辞める日にちを決めた。

予定日は約1ヶ月遅れの、4月18日。

もう一つ仕事を割り当てられ、それを納品したら辞めるということで決着がついた。

これで決まりだ。

私とほぼ同時期に、上司が2人辞めることになっている（希望退職）。

この会社はどうなっちゃうんだろうなあ。

そんなことばかり心配せず、自分の将来のことを考えなくては・・・。

2002.04.13 Sat 月島もんじゃ

---

品川で仕事。

今年に入って品川区役所に行くのはもう3回目。

そろそろ顔を覚えられてしまいそう。

品川で仕事を済ませた後、S社に納品。

月島へ向かう。

月島では初めてもんじゃを食べた。

行く前に品川の書店でチェックした「本当にうまい店」に行ってみた。

出迎えてくれたのは愛想の悪いおじさんだったが、女性の店員さんは親切で接客も丁寧だった。

具がたっぷりのもんじゃとお好み焼きを食べてお腹いっぱい。

あんず巻も食べた。

これ一度食べてみたかったんだ。

大学祭の時に、サークルであんず巻の店を出したんだけど、本場で食べたのは初めて。

あまずっぱくておいしかった。

今日も品川へ。

数年前までは品川駅の東口は何もない暗いイメージだった。

今では超高層ビルが建ち、洒落た店もいくつかできて、すごい変貌ぶり。

帰宅ラッシュ時の東口は、祭りでもやってるのかと思うくらいの人・人・人。

ペDESTリアン・デッキが壊れそうなほど。

これだけの人が近くのオフィスに詰まっていたのかと思うとなんだか恐ろしい。

来年あたりには、駅前のビルに多くの企業が移転してくる。

この一角にある高級マンションの販売もほぼ終了している。

海側の工場だった場所には高層マンションもどんどん建てられている。

これ以上に人があふれかえる街となるんだろうな。

2002.04.14 Sun 子ども

---

廊下に子どもがいた。

子どもがいると通れないので、私は子どもを抱いて持ち上げた。

すると子どもは泣いた。

「いい子だね～。泣かなかったらいい子だね～。」

とあやしなげに、廊下を通った後、子どもを下ろし、そのまま去った。

今度は変な夢。

教室にある机の分、塩で線を引こうとしている。

塩はあまりなく、縦の列（7列）は引けるが、横の列は引けなかった。



ちょっとずつ部屋がかたづいてゆく。

できることなら、てってーてきにキレイにしたい。

もうどこも汚す気が起こらないくらい・・・。

しかし合間に寝てしまう。

いろんな夢を見る。

小学校時代の全然親しくない同級生がイキナリ何人も登場したり・・・。

夢って面白いなあ、と何度も眠る。

今日のkaztouは(も?)面白そうだったから行きたかった。

でもkaztouのライブが始まる時間には起きてたのに、なぜか、家にいた。

ちょっと現実逃避気味・・・。

そういえば郵便ポストにkaztouのチラシが入っていた。

木藤さんが歌ってる写真付きの、ギター教室と新規レギュラー募集のお知らせ。

いったいどこまで配ってるのかなあ？

2002.04.15 Mon 時間よもどれ

---

昼間は競馬なんぞ観てた（テレビで）。

ギムレット好きの私は、どんな馬なんだろう？って彼を目で追ってた。

一番人気だったらしいけど、最後の追い上げ間に合わず、結局3着。

馬券も買ってないのになぜか興奮して観てしまった。

馬って面白いのね。

夜は学生時代にバイトしてたドン、キホーテの仲間とちょっとした同窓会。

新宿の餃子屋さんでお食事した。

噂話に終始し、終わった後でほんのちょっと虚しくなった。

そして運命の時がやってきた。

家に帰ってHPのフレーム化に挑戦した私。

しゅん君やGawatyさんに習ったようにタグを並べ替え、プレビューで見ると成功していた。

しかし、実際にFTPでアップロードして見ると・・・になってない。

アップロードの仕方に問題があるんだな、と一度サーバー上のものを削除してみた。

その過程でなんと私はサーバー上のみならず、元ファイルまで削除してしまったのだ！

気づいた時にはもう手遅れ。ゴミ箱を探しても残っていない。

壁紙もプロフィールも、闇へ。

ショックでした。

つくづく自分が素人なのが情けなくて・・・。

これからはちゃんとバックアップとっておくぞ。

新人のアルバイトが入った。  
目がくりっとして、親しみやすそうな顔。  
関西弁をしゃべる。

先週は一部男性陣の間で、「女の子が入ってくるらしいよ〜♪」  
と騒がれていたけど、結局登場したのは、れっきとした(?)男の子。  
それにもかかわらず、古株たちはニコニコ顔だ。

なぜかな？  
それはすごく良い印象だったから。

ほどよい緊張感があり、礼儀も正しく、格好はシンプル。  
それ以上に、その人の持つ雰囲気がいかに良い印象を与えるのだ。

確実に、好印象を与える人っているんだなあ、と思った。

## 2002.04.20 Sat 最後のランチ

---

上司と最後の昼食をとった。

何を話せばいいのか分からない。

今までお世話になったという感謝の気持ちも、どう伝えたらいいのか分からないまま、  
普段どおり、何かをしゃべってご飯を食べて、会社に戻った。

## 2002.04.24 Wed 贈り物

---

学生時代、何かの雑誌でパン屋さん特集をやっていた。

その中でもおいしそうだったのが、千歳烏山の「nicnic」という店のパン。

横浜に住んでいた私は、はるばる千歳烏山まで足を運んだ。

しかし、なぜか店は閉まっていた、それ以来、行くことはなかった。

いつか上司にその話をしたら、なんと今朝、出勤前に寄って買ってきてくれたのだ！

上司は世田谷に住んでいて、近くだからということで・・・。

もう、ホントにお世話になりっぱなしだ。

たくさんあったので会社のみんなで食べた。

柔らかくてとてもおいしかった。

この感謝の気持ちをどう伝えたらいいんだろう。と、考えている。

## 2002.04.24 Wed 最後の仕事

---

任された仕事の納品日。

これで全て完了。

最後までめ切ギリギリだった。

だけど、納得のいくものに仕上がったと思う。

後は自分の使ったデータ、持ち物、身の回りを片付けなければ・・・。

必然的に明日も出勤することになってしまった。

## 2002.04.24 Wed 歓送迎会

---

新人2人と辞める3人の歓送迎会。

20人ほど集まって遅くまで飲んで騒いだ。

冷酒を飲んでいたら、いつのまにか酔っ払ってしまった。

夜は更けていき、終電の時間もいつのまにか過ぎてしまった。

大半の人がカラオケで朝まで過ごした。

何を歌ったのか、あまり記憶にない。

目撃者によると私は眠っていたらしい。

最後の最後に調子に乗りすぎてしまった。

## 2002.04.24 Wed 伊豆1日目

---

朝方帰ってきて、ろくに眠らずに伊豆へ。

湯河原で遅いランチを食べて、宿のある宇佐美に向かった。

宇佐美の駅に着くと、宿のおじいさんが迎えに来てくれた。

車に乗っていると、どんどん山道を上っていく。

何もなさそうなところだなあ、と思っているところに、白くて大きな建物が見えた。

「あれはなんだろう？」

と言ったら、「保養所」と書いてあったので、どこかの企業が所有する保養所なんだと思った。

しかし、実際には今日泊まる所だった。

あれ？確か、民宿じゃなかったっけ・・・？

着くとすぐにご飯。

量が半端じゃなく、不本意ながら残してしまった。

明日は何をしようかという計画を立てないまま、早く寝てしまった。



伊豆2日目。

容赦なく雨が降っていた。

伊豆マリンタウンという所に行ったが、まだ開いておらず、仕方なく伊東駅へ。

伊豆高原の駅を降り、オルゴール博物館に歩いて行った。

古いオルゴールが展示してあり、それを時間になると聴かせてくれる。

気になったのが、自動演奏のピアノ。

ミュージックロールという紙をピアノに組み込んであるのだが、どんな仕組みで鍵盤が動くのだろうかと不思議だった。

まじまじと見ていたが、よく分からなかった。

これを発明した人ってすごいなあ、と思う。

博物館を出て駅に戻った後、ハプニングが。

携帯電話を落っことしてしまったのだ。

落とした場所は分かっていたのだが、探しに行ってもない。

とりあえず、回線停止の手続きを取ったけど、なんだか戻ってこないような気がしていた。

あきらめて、今日泊まるペンションへ向かった。

片瀬白田という駅から車で10分くらいのところ。

今日も宿の人が迎えに来てくれて、昨日以上にすごい山道を上っていった。

山のほぼ頂上にあるペンションだった。でも嵐で景色は何も見えなかった。

久々の露天風呂。

外はすごーく寒かったけど、熱めのお湯加減で、ちょうどいい具合に温まった。

気持ちよかった。

宿にいるときに、携帯が見つかったという電話が駅からあった。

もう戻ってこないと思ってたので、驚くと同時にホッとした。

2002.04.24 Wed 伊豆3日目

---

昨日の大雨もすっきりやんで、あたりは晴れ渡っていた。

でも今日はもう帰らなくちゃいけない。

時間の許す限り遊んで帰ろうと、この3日間で一番いろいろとまわった。

中でも気に入ったのが、池田20世紀美術館。

川口起美雄の企画展をやっていて、その暗く美しい絵に見入ってしまった。

いい空気をいっぱい吸って、穏やかな気持ちになれた3日間だった。

またのんびりと旅したい。

私と連絡がとれないので、実家では大騒ぎになってしまっていた。

お母さんゴメンナサイ。

2002.04.25 Thu 睡眠

---

一日中、眠る眠る・・・。  
まるで家の中に根付いてしまったようだ。  
平日にこれだけ寝られるなんて、今しかない。  
ああ最高の贅沢よ。

しかし、寝すぎると早死にするという話を聞いたことがある。  
7時間がベストらしいが、みんなそうなのだろうか。

## 2002.04.25 Thu ボウリング

---

久しぶりにボウリング。

2ゲーム目の途中からだんだんとばててくるのが分かる。

運動不足。情けない。

どうがんばっても120台を超えられない。。。

だけど、動いてちょっといい汗かいてスッキリした。

家に閉じこもってないで、まめまめしく動くように心がけよう。

4つ年上の友達・貴ちゃんと、三ヶ月に一度くらいのペースでどこかへ行くようになって2年ほどになる。

先の約束なんかほとんどしない私が、彼女とだけは、休みを合わせて会う予定を決める。今日の約束も、2週間ほども前から決めていたものだ。

当初は外で待ち合わせてご飯を食べたり、互いの家に行き来してボーっと過ごすだけだった。でも、そのうち、車を借りて遠出するようになった。今まで2人で行ったのは、葛西臨海公園、お台場……。好きな音楽をかけながらドライブするだけでも、ケッコウ楽しい。

彼女には、精神不安定な親友がいる。

何度も自傷行為を繰り返している。

週3度、その人のところへ通い、一緒に過ごしている。

一日も欠かさず。

だから私と会えたり、バイトのシフトを入れたりできるのは、それ以外の週4日。

最初は、どうして貴ちゃんがこれほど、私との約束にこだわるのだろう、と不思議だった。

でもこの頃ようやく、なんとなく察している。

彼女は、自分の身の置き所を、親友のそばにと決めているからこそ、他の時間を大切に思うのだと。

限られた時間の中で、精いっぱい、人との出会いを大切にしているんだらうな、と。

彼女に比べると、私は楽な付き合いばかりしている気がする。

2002.04.29 Mon 悪化？

---

一向に回復せず、前夜から夕方にかけて、睡眠とりまくり！

ああ、なんと無生産な日々よ。

明日も良くならなかつたら医者に行こう～。

って、こないだ会社に健康保険証を返したんじゃないっけ??

気力で治すほかないのか。

明日から田舎に帰ります。

2002.04.30 Tue 風邪

---

起きたら、喉が痛い。

左の鼻の穴から鼻水が止まらない（汚くてすみません）。

自分の仕事を全て終えて、気が緩んだのか、風邪を引いてしまった。

（いや、普段の不摂生な生活が原因ですね。）

頭がくらくらして、ものを考える気力すらない。

久方ぶりの病に撃沈・・・。

## 2002.04.30 Tue 九州へ発つ

---

6:40の飛行機で羽田を発つ予定だった。

寝たら早起きできないと思って、眠らずに空港へ。

朝5時の電車に乗って十分間に合うと思っていたのに、早朝で接続が悪く、空港に着いたのは、飛行機が発つ時間のなんと20分前！

半分あきらめながらも走って、なんとかセーフ。

もっと早く出ればよかった・・・。

今回は旅行代理店でチケットを申し込んでいたので、団体用のカウンターへ。

JTBや近畿なんかは分かりやすいけど、マイナーな代理店だったため、係の人を見つけるのにひと苦労。

ようやくチケットと粗品（缶チューハイもらった♪）を受け取り、ダッシュで搭乗口へ。

離陸する頃にはどっと疲れていた。

無事に飛行機は福岡に到着。

申し込んだ往復航空券には、博多のビジネスホテル一泊分が付いていたので、実家には明日帰ることにして、博多へ。

まだ8時台だからチェックインには早すぎる～。

そこで福岡散策をすることにした。

特に当てもなく天神で降り、歩いてみた。

福岡市役所で観光用の地図をもらい、とりあえずどこかでランチをとることに。

中洲の「一蘭」というラーメン屋に入ってみた（ラーメンってランチって感じじゃないネ）。

食券を買う・・・ところまでは普通のラーメン屋と一緒に。

でも、一歩店に入るとショックを受けた。

一つ一つの席が投票所みたいな仕切りで区切られていて、隣の人顔が見えないのだ。

それだけでなく、目の前ものれんがかかっていて、店員の顔も見えない。

周りの環境に気を使わずにラーメンを食べてほしいという配慮からのものらしい。

席には記入用紙が置いてあり、スープの濃さの好み、麺の太さの好みなどを書いて前に出す。

それを店員が取り、客の要望に応じたラーメンを作りはじめるのだ。

誰にも顔を知られずに店に入り、孤独な食事を終え、誰とも顔を合わせないまま店を出る。

面白いシステムだけど、なんだか寂しかったなあ・・・。

5/3からは博多どんたく。お神輿が出発するはずの櫛田神社にお参りした。

きりっと気持ちが引き締まったあとは、また歩く歩く。



キャナルシティの中をぐるぐると回っていたら、時間はあっという間に過ぎてしまった。  
チェックインしたビジネスホテルは、部屋は狭いけど一人でくつろぐには十分な空間だった。  
ホテルとか旅館と違って私にとっては極上の空間だ。  
余計なものがなく静かで落ち着く。

2002.05.01 Wed 実家へ

---

博多のホテルを出て、佐賀の実家に向かった。

途中の鹿児島本線の中で、母から電話がかかり、進行方向とは逆の駅に行ってくれと、用事をたのまれた。

戻って用事を済ませて、再び実家へ向かった。

実家の最寄りの駅に着いて、意味もなく駅構内をぐるっとまわっていると、お気に入りのスパゲティ屋が閉店してしまったことに気づいた。

実家まで歩いていく途中にも、つぶれた店がいくつかあって・・・。

どんどん駅前はずびれていってるんだなあ。

この町はこれからどうなっていくのだろうか、と不安になった。

母と、同じく今日帰ってきた兄と久々に再会した。

2002.05.02 Thu 唐津

---

母と兄と3人で唐津のお寿司屋へ。

唐津には新鮮な魚を食べさせてくれるところがたくさんあるが、今日行ったのは、近所の人しか知らないような、住宅街の中にあるお寿司屋さんだった。

「でかネタ」って、テレビでは見たことがあったけど、実際に食べたのは初めて。

ヒラメ、中トロ、車海老etc・・・どれもシャリにドッカーンとのっかってる。

穴子なんてシャリをぐるっと一周するほど。

とれたて新鮮な地魚をたっぷり堪能しました。

おいしかった♪

## 2002.05.03 Fri 家族旅行

---

家族と鹿児島へ。

今回、母が休みをとったのでゆっくりと旅をしながら向かうことに。

佐賀→福岡→熊本→宮崎・・・と車でとことこ走って、えびの市の京町温泉に到着。

予約しておいた宿に一泊した。

古い古い宿で、通されたのは鍵もついていない、昔ながらの部屋だった。

風情があるといえはあのだが、床はきしむし、薄暗いし、なんか出てきそうでちょっぴり怖かった。。。

一番期待していた温泉は・・・あんまりキレイじゃなくて残念でした。

基本的に、洗い場がきちんと掃除されていない所はダメですね。

でも、家族3人でどっかよそに泊まるなんてホントに久しぶりだったし、のんびりできたのはよかったな。

2002.05.04 Sat 鹿児島へ

---

一家3人、朝食を食べて、宿を出た。  
今日も雨が降っている。  
私が九州に来てから天気のいい日、あったかなあ？

鹿児島へ向かう途中にいろんな所に寄った。  
小林市で元祖チーズ饅頭を購入。  
自家製のソフトクリーム屋さんにも行った。  
そこではなんと牛の出産に遭遇！  
飼われている牛を眺めながら、母が「あの子赤ちゃん産んでる。」  
と言ったので視線を移すと、ホントに頭がぴょこんと出ていて、まさに産まれる寸前だった。  
農家の人は知らん顔。  
でもそのうちにホルスタインちゃんは、自力で我が子を産んでしまった。  
ホントえらいわ～。  
産まれた赤ちゃんは真っ黒。必死に何度も一人で立とうとしている。  
お母さんのお乳に向かって。  
動物の本能ってうまくできているんだなあと思った。

宮崎から鹿児島に向かう途中で立ち寄り湯へ。  
300円でサウナも露天風呂もついでる、よいお風呂だった。  
今日も車でとことこ走りながら、18時頃鹿児島の祖父母の家に着いた。  
じいちゃん・ばあちゃんともに元気そうで何より。  
鹿児島の味・とんこつの煮物を食べて、家族団らんのひとときを過ごした。

じいちゃんのお母さん、私にとってはひいおばあちゃんに当たるのだが、彼女の五十回忌だった。

私は実際に会ったことはない。私の母が赤ん坊の頃に他界してしまった。

今日はじいちゃんの家で、じいちゃんの弟・妹達がたくさん集まった。

お寺で法要があり、その後、じいちゃん家で昼ご飯を食べた後、20名ほどで志布志町の温泉に泊まりに行った。

志布志湾に面したホテルで、部屋からの眺めはバツグン！

見渡す限り海だった。

お風呂も広くてのびのびできたし、食事もおいしかったし、最高だった。

本当に何十年ぶりかに会った親戚もいた。でも誰だか分からず困った・・・。

九州に帰ってきて、いったい何軒の古本屋に行っただろう。

兄は古いマンガの収集に凝っていて、鹿児島へ行く途中にも、鹿児島に来てからも古本あさりをしている。

今日も兄は古本屋めぐり。

兄を待つ間、母と私はモスバーガーで時間をつぶしていた。

ふと、母が「じいちゃんとはあちゃんにタンシチューを作ってあげよう！」

と思い立って、すぐに材料の買い出しをすることになった。

2人でスーパーに買い物へ。

牛タン・トマトソース・セロリ etc . . . 。

牛タンは和牛のよい肉を仕入れ、肉だけでなんと7000円なり！

家に帰って母がタンシチューを作った。

それはシェフも顔負けの味だった。絶品。

レシピも何も見ずにこんな美味しいものを作る母はすごい。

2002.05.07 Tue 佐賀へ

---

じいちゃん・ばあちゃん・きんちゃん（じいちゃんの妹）にわかれを告げ、佐賀へ。

カーナビがあるにもかかわらず、道を何度も間違える前の座席の2人。

私は後ろの席で暇を持て余していた（非協力的かな？）。

途中、大口市の地鶏料理屋で昼食をとったり、御立岬の温泉に入ったりして、休憩した。

夜、10時頃には佐賀に到着。

これからが大変。

母は自分の店で今日から仕事。私も少し手伝った。

お客さんは朝5時近くまでいた。

・・・こんな生活を毎日のように送っている母の身体が心配だ。



佐賀に帰ってきてショックだったこと。

自分の部屋、兄の部屋に何者かの足跡がある。

部屋に置いてあったワインのコルクなどをかじった跡がある。

なんだろう、これは・・・猫かな？

帰ってきた母に「猫預かったりしてた？」と聞くと、「いや全然。」との答え。

そして「ネズミがいるのよねえ〜。」と驚きの事実が発覚！

部屋中荒らされてたのはネズミの仕業だったのか！

兄と近くのホームセンターに行き、ネズミ駆除の道具を買う。

いろいろあるんだなあ・・・。

ゴキブリホイホイみたいにくっつくヤツとか、スプレーとか・・・。ケッコウ安い。

でも、姿を見たくないという母の要望で高価な、超音波で撃退するヤツを買った。

母の言った通り、居間にいるとバタバタとネズミの走る音がする。

もうそれだけでゾーッとする。

心理学の研究室にいたネズミは全然怖くなかったのになあ・・・。

今日は兄が東京に戻る日。

家族3人で福岡まで送りに行った。

なぜ近くの駅でなく、わざわざ福岡まで行ったかということ、母がある場所に寄りたかったから。

それは・・・温泉。

早良区にヒーリングサウナというのがある温泉があるらしく、一度行って見たかったそうなのだ。

。

しかし、場所がイマイチよく分からない。

書店で温泉ガイドを見てみたけど、載ってない。

仕方なく、駐車場から、母が愛読している温泉専門雑誌の編集部に電話し、教えてもらった。

なんとその本屋から数百メートルしか離れていないところにその温泉はあった。

なかなかキレイな外観。

オープンしてあまり日が経っていないようだ。

ヒーリングサウナは、40度くらいの低温サウナで、下に遠赤外線石が敷いてあり、そこに寝て発汗を促すというものだった。

専用着を着てサウナルームに入ると、天然ハーブの香りがし、リラックスできる音が効果的に流れている。

時間制で、指定の25分間経過後には、心地よい汗とともになんだか身体がスッキリしていた。

。

もう少しで眠りにおちそうだった。

これは初めての体験だったけど、なかなかよい。

家に帰ってから、親友の梅ちゃん家へ。

子どもの千成くんとともに元気だった。

梅ちゃんはもうすっかりお母さんという感じで、優しく強い雰囲気にもまれていた。

2002.05.10 Fri 東京へ

---

今日は私が東京へ戻る日。  
昼頃、佐賀駅を出て、博多へ。  
今回はだいぶ長く九州にいられたなあ。  
GW帰ってくるなんて、初めてのこともかもしれない。  
しかも家族3人揃ったのも珍しいこと。

今度はあまり間をあけず帰ってくるだろう。

東京へ着くと、雨が降っていた。  
ホントこの数日間、行く先々で雨ばかりという印象だ。

## 2002.05.11 Sat 極楽LIVE

---

久々にKaztouに、極楽音楽商会の音楽を聴きに行った。

カシオさんがいなくなってから初めてだったかな。

だけど、相変わらずよい音で安心した。

ギリギリまで雑用があって、行こうかどうしようかと迷っていたけど、やっぱり行ってよかった

。

いつでも、どんな時でも極楽の音楽を聴くと元気になるのです。

2002.05.13 Mon 宇宙

---

溜池山王にて久しぶりにAさんと会った。

会社のこと、宇宙のこと、子どものことなど、いろんな会話をした。

前にも聞いたことあったなあという話がよく出てくるけど、相変わらず宇宙の話は面白い。

宇宙は150億年も前にビッグバンが起こり生まれ、その後、どんどん膨張しつづけている。

地球が生まれたのが46億年前、そして人類が生まれて、たったの300万年ほどしか経っていない。

宇宙の長い歴史に比べたら、人間の歴史なんてほんのちっぽけなもの。

いつか地球は太陽に飲み込まれてしまう運命だという。

そして宇宙もいつか崩壊するという。

本当に人類が生きられる時間というのは短いんだろうなあ。

宇宙に思いを馳せると、今まで自分中心・人間中心に考えてきた世界の見方が変わる。

もっと広い世界のことを知りたいと思う。

## 2002.05.14 Tue サッカー観戦

---

深夜、サッカーのノルウェー代表vs日本代表の試合をTV観戦した。

前半なかなか点が入らないなあ～、後半もこんな調子かなあ～と思ってたら、後半、事態は悪化。

1点入れられたとき、解説者は、まだまだチャンスがあると言ってた。

だけど、残り20分で果たして取りかえせるのかなあ～、と心配しながら見てたら・・・。

続々とノルウェーのシュートが決まって、もう絶望的。

結局3点取られて日本は決定的なシュートもなく、あっけなく終わってしまった。

完全にノルウェーのペースだった。

日本のボールはカットされ長くもたないし、攻められてるときにはなかなか流れを変えられない。

ノルウェーはよくまとまってて強かった。

日本はなかなか一人一人の動きがかみ合わず苦戦してたなあ。

次に向けてがんばってほしい。

川崎のシーハーズに行って、にんにく料理を食べた。

にんにくみそグラタン（だっけな？）がおいしかった。

エスカルゴ料理で使われる焼皿（たこやき器みたいな）に、にんにくが一粒ずつ入ってて、みそ風味のチーズで焼いてある。

フランスパンにつけて食べるとまた良い。

店内にはボクシングの畑山のサインや、写真が飾ってある。

別店舗の「和シーハーズ」というところのオーナーをやっているそうなのだ。

東急池上線の「池上」の近くでは、同じくボクシングの竹原がイタリアンのお店を持っていたな（昔取材文を書いた）。

ボクシング選手は商売上手なのかな？

畑山は26歳という若さというからスゴイ。

私も将来はお店を持ちたいなあ～なんて漠然と思うのだけれど、経営のケの字も知らない。

1年後にはどこかに修行に出てるかもしれません。

昼間、家にいるとやたら電話がかかってくる。

大半はどこかの企業からで、マンション買いませんか？在宅ワークしませんか？というようなものだ。

今まで日中はいつも会社にいたので、前からこんなにかかってくるのか、と驚いた。

こういう電話はうざったいので出たくないんだけど、誰からかかってくるか分からないからとりあえず出る。

怪しげな商売の電話なんかだと、本当は「いりません」ときっぱり断ってすぐに切りたい。

でも一方的に切ると恨みを持たれそうなので（小心者）、話だけは聞くことが多い。

こないだは「在宅ワークやりませんか？」と、男性からの電話。

話を聞いていたら、脈があると思ったのか、上司であろう女性に突然代わった。

私は別に興味もないので、そう彼女に伝えると、「興味もないのに聞いていたんですか？」

と文句言ってきた！

こっちは一応礼儀だと思って話だけは聞いていたのに、なんでそんな言い方するんだ？

と思ったが、「すみません。」とこっちが謝って電話を切った。

これからは断る隙があろうがなかろうが、「ケッコウです。」と切ろう。

その方がお互いの時間の無駄にもならないんだし。

でも一方的にしゃべる電話って、ホント苦手なのよね。



2002.05.17 Fri 緊張

---

離職票を取りに会社へ。

おっくうでなかなか出向かなかったのだが、社員のHさんから、私の以前手がけた仕事の件でTELがあったので、やっと行く気になった。

今までは「ただいま。」とか「お疲れさま。」と言ってくぐった入口。

だけどそんな言葉も忘れ、「こんにちは。」と挨拶して入る。

相変わらず明るい従業員たちの顔を見てなんだかホッとした。

仕事の説明をしながら、やや緊張している自分がいた。

最近、私生活オンリーで生きているのでペースがつかめずに。

自分はこんなめまぐるしいスピードで毎日過ごしていたのかと、しみじみ思った。

久々に横浜駅周辺を歩いた。

東横線の改札前にはきれいな花屋さんができてるし、鶴屋町の辺りもいくつか新規のお店がオープンしてる。

ずいぶん変わったなあという印象。

モアーズ方面に歩くと、バッティングセンター、ハンズ方面に歩くと、朝5時までやってるボウリング場ができてた。

昔は横浜西口では遊ぶところが限られていたけど、今ではいろいろ増えててなんだか活気も増したみたいだ。

今日は前から行きたかったタイ料理店がお目当てだった。

お店は9時過ぎてるのに混んでて、珍しく順番待ちしてみた。

食べ終わった人たちが「美味しかった〜♪」と言いながら出てきたので、期待度アップ。

程なくして自分たちが席に着いた。まず注文したトムヤムクンが来た。

これは問題なく美味しく頂いた。かなり辛かったけど。

次に鶏のピリカラ炒め。これもなかなかいける。

それから大分間があいて、パイナップル炒飯が来た。

パイナップルの中身をくりぬいた器に盛られてきた。

見た目はきれい。味は・・・なんとも言えない。

パイナップルピザは好きだけど、パイナップルとご飯はちょっと合わないかな。

それより、冷凍もののミックスベジタブルが入ってたのがイマイチ気に入らなかった。

最後に春雨の焼きそば風のやつが来た。でも想像してたのと違ってあまり口に合わない。

辛くて酸っぱい春雨サラダみたいなのを想像していたのだが、予想に反して甘めの味つけ。

初めて行った店でも注文に失敗することってあまりないんだけど、本日は不本意な結果に終わってしまった。

食べ慣れない料理を注文する時は、みんな何を基準にしてメニューから選ぶのだろう？

## 2002.05.19 Sun 『突入せよ！あさま山荘事件』

---

4月25日に完成したエグゼクティブタワー（品川プリンスホテル）で、映画を観た。  
役所広司主演の『突入せよ！あさま山荘事件』をお得なレイトショーにて。  
現場で実質的な指揮をとる佐々氏を中心に、事件解決にあたる警察の様子がよく描かれていた。  
警察は犯人が立て籠もる「あさま山荘」を包囲するが、犯人は容赦なく攻撃してくる。  
その緊迫した場面はとてもリアルで怖かった。  
でも実話と脚色の部分を判別するのが難しかった。  
「本当のところどうなんだろう？」と勘ぐってしまう気持ちが、観る自分の集中力を邪魔した。

最初は、もっと「連合赤軍」「あさま山荘事件」の全体が分かるように描かれてもいいのに、  
と思った。  
しかしこの事件では、本当に犯人は不気味に沈黙し、ただ銃撃で応答するのみ。  
警察にとって、またTVで観る国民にとっての「あさま山荘事件」はまさにこういうものだったの  
では。  
と思うようになった。

初めて入った品川の劇場では、ゆったりと映画が観られて良かった。  
前の席との段差が大きいので、スクリーンが前の人の頭で見えないということもない。  
予告が少なく、映画がすぐ始まったのもよい（レイトショーだから？）。

2002.05.20 Mon 労働

---

今日で会社を辞めて1ヶ月が経過した。

この1ヶ月間ほとんど労働をしてない。

これだけ日が経つと、なんだか働いていないことが申し訳なくなってくる。

社会人として恥ずかしいな、とも思う。

そろそろ重い腰をあげて、次のステップへの準備をしなければ・・・。

小学校時代の恩師は言った。

「今日できることを明日に延ばすな。」と。

ハローワークにも行かず、HPの更新をしていた。

画像制作にはAdobe IllustratorとPhotoshopを使っているけれど、まだまだ勉強不足。

多分10%も使えていないだろう。

そして、パソコンの時計はいつのまにか狂っていた。

あまりにも没頭してて、ずっとつけっぱなしだったから？

休ませてあげないと、遅れるものなのか？？

しかし、こんなんじゃ何日あっても足りない。

もっとデザイン力があれば、なあ・・・。

そろそろホームページビルダーに手を出そうかどうか迷っている。

2002.05.23 Thu 信用

---

お客さんが来た。

マルセイのバターサンドを持って。

やっぱり「空気のような存在」だと思う。

一般的に言われる、「いるのが当たり前」という意味ではなく、「つかみどころのない」という意味で。

ただこれだけは確信した。

きっとこれ以上距離が縮まることはない。

## 2002.05.24 Fri 飲み会

---

働いていた会社のアルバイト達の飲み会in高田馬場。にお邪魔した。

会社の近況などを聞いて、つくづく入れ替わりの激しい大変な職場だなあと思う。

それにしてもみんな元気だ。そして明るくて優しい。

おいしいお酒を飲みながら話していたら、あっという間に時間が来てしまった。

0時を回っていたけれど、家には帰らず3人で東中野のNさん家で飲んだ。

ビールにワインに氷結なんかかっていうサワーにジンに・・・。

これらのお酒をじっくり朝まで飲んだ。

前回とは違い、記憶はわりとしっかりしている。

なんだか、自分以外の人一人暮らしの部屋に入ることってあまりないので、すごく嬉しかった

。

自分の部屋とは比べ物にならないくらい整然としていて、新鮮な匂いがした（4月から住み始めたばかりだから？）。

人の部屋に行くのってこんなに楽しいんだって再確認した。

いつのまにか家主は寝てしまい、Fさんといろいろ話しながら、あっという間に夜が明けた。

昨日泡盛を飲みすぎて、気だるい頭でゆっくり起きると、朝はからっと晴れていた。

今日は日本ダービー。

馬券は買ってないけど、タニノギムレット勝てばいいなあ～なんて思ってTVで応援。

ちょうど出走するころ、府中の競馬場ではぽつぽつ雨が降り出した。

タニノギムレット！圧倒的な強さで勝った！なんだか感動的なレース。

その頃から窓の外は雨・雨・雨！

どしゃぶりで、どっか散歩でも～と考えていたのに、とんでもない状態。

仕方なく、イタリアVS鹿島の試合を観ていた。

いつのまにか、光がさしている。サッカー場も急に青空が見えてきた。

試合が終わって、さて、出かけようかな、と思ったら、また急にどしゃぶり。

何なんだ、この天気は??

夜7時を過ぎて、やっと小降りになってきたので、近所に出かけた。



## 2002.05.28 Tue 自転車バラバラ事件

---

目的地に向かって、私は自転車をこいでいた。

突然ブレーキが切れて、自転車は吹っ飛び、空中分解した。

飛んでいった車輪は・・・はるか彼方の木の方にひっかかっていた。

乗っていた私は・・・というと、なぜか車道に投げ出されずに無事だった。

よかった、助かった、と胸をなでおろすも、目的地まであと少しだったのに、と残念がる私。

後ろからはおじさんが歩いてきて、こちらを一瞥しただけで通りすぎていく。

・・・という夢を見た。

う～ん、やな夢だなあ。何かの暗示か？

点検しとこ。

新宿で兄と会った。

頼まれて録っておいたビデオ（ドラマ）を渡しに。

ついでに食事をした。

兄からすすめられて“土風炉”に初めて行った。

どこかで、土風炉はとってもいいよ、と聞いたことがあって、ちょっと興味があった。

中に入ると、和風の旅館のような落ち着いた雰囲気。

メニューは豊富で、季節の料理もたくさんあった。

2人だったけど、ついついいろいろ頼んでしまった。

そら豆、まぐろとろかつ、串焼き・・・。

一番気に入ったのは、カツオのたたきにゴーヤーがのせてあるやつ（名前は忘れた）。

カツオの甘さに苦〜いゴーヤーが妙にマッチする。みょうがものっててくせになりそう。

あと、そばもコシがあって美味しかった。

兄からは珍しくご馳走してもらった。ラッキー♪

お礼にスターバックスでコーヒーを。

画家の話や引っ越しの話などしながら、あっという間に閉店時間になってしまった。

整形をしてきた・・・。髪の毛の。

長年この癖毛には大変悩まされてきた。

ごわごわして太いこの髪の毛は、いくらドライヤーをかけてもまっすぐにならない。

雨が降ると見事に爆発してしまう。

ってことで、縮毛矯正というのをやってもらった。

シャンプーから数えると、3時間近くもかかった。

これほど長く美容院にいたのは初めてかもしれない。

まず、液剤を塗って、ラップで包み、しばらく置く。

洗い流してから、ヘアアイロンをかける。

このアイロンがとにかく時間がかかる。

髪の毛を少しずつ取りながら、アイロンの器械で挟んでいく。

相当な熱気があるので、美容師さんはホントに暑そうだった。

それから次の液剤を塗り、2～3分後にはまた洗い流した。

流す時に、何かのトリートメントらしきものを使ってみたいで、ハッカのようなすーっとする香りがした。

で、乾かして終了。

今までの癖はどこ？というくらい、見事にまっすぐな髪の毛になった。

しかもつるつる・さらさらなのがたまらなく嬉しい。

帰りに自転車を走らせると、髪が風になびいて、感激した。

これまではくるくるだったから、髪がなびいたと実感したことなかったんだよね～。

この整形、すぐ崩れなければいいなあ。

あと1ヶ月で引っ越した。

今日はお風呂の大掃除をした。

お風呂の壁を磨いて、ピカピカになった。

でもどうしても、サッシのゴム部分の頑固な汚れが取れない。

どっかのサイトでこんな情報発見！

★サッシのゴム部分の黒ずみには塩が効果的★

「頑固な汚れがつきやすいのが、ガラス窓とサッシの境目にあるゴム部分。その汚れに水を吹きかけてから、塩を直接振りかける。数分そのままにしておくと汚れが塩に吸収されていくので、ぞうきんや歯ブラシ、綿棒などで黒くなった塩をふきとればOK。このふきとりはていねいね。腹黒い人には大量の塩を飲ませてみよう！塩が吸収してくれるかも。本当にやらないでね。」

・・・やってみよう（もちろん窓の方）。

話は変わるけど、お風呂に入ってる時に窓を少し開けると、ちょっとした露天風呂気分が味わえる。

たまに入ってくる涼しい風が気持ちいい♪

浴室からは隣の家の庭が見える。でも鬱蒼と木が生えているので、向こうからは見えない（これがホントの森林浴？）。

実家のお風呂にも窓はあるけど、開けたら隣のアパートから丸見えだ。

前の会社のFさんの住む笹塚まで自転車をこいでいった。

カレーを食べるために・・・。

今日は天気がよくて、日差しが強かったけど、湿気の少ないさわやかな暑さだった。

Fさんの薦めるポークカレーを食べたが、これがホントに美味しい！

具はポークのみ。あとはいろんな材料が溶けているみたい。こういうカレー好きなんだー♪

家や野外で作るなら、具がごろごろしてるカレーもいいんだけど。

とにかく今日のカレーは口の中がとろけそうなおいしさだった。

夜は友達と吉祥寺で会った。

3人は先に着いて飲んでたというのに、後から来た私の方が早くに酔っ払ってしまった。

またまたはしゃぎすぎて、反省・・・。

朝まで飲んでたけど、1軒目から泣いたり笑ったりしていた。

あー、恥ずかしい。

昨日の飲みすぎがたたって、今日は1日中家でおとなしくするはめに。  
友達からは私の違う一面を見ることができて面白かった、とメールが来た。  
お酒は人を変える・・・記憶もとばす・・・。  
みんなのびっくりしたような顔がぼんやりと思い浮かぶ。  
どうせなら、違うことでびっくりさせたかった。  
「酒は飲んでも飲まれるな」

これとは関係なく気がかりなこと。  
アパートの大家さんが大分高齢で、忘れっぽいのか、私に「いつ引っ越すの？」と何度も電話してくる。  
「今月の30日までには引っ越します。」と言うと、  
「あら、そんなの聞いてないわ。」とおっしゃる。  
(何度も話したじゃないか～！)  
彼女は自分の言ってることが間違ってるはずがないと信じているので困ってしまう。  
「あなたがもう1日2日で引っ越すと思ったので、お掃除やさんに頼んじやったわ。」  
(そんな早くには出ていけないよ。)  
でも、そしたら、なんで「いつ引っ越すの？」とまた電話してくるんだろうか。  
暗に早く出て行ってほしいと示しているのだろうか、と不安になってしまう。

今度の日曜日は中野区長選。

あと数週間で中野区を去るわけだが、一有権者としてなんとなく選挙の情報を意識している。

しかし、家にいると、たまに通る選挙カーが立候補者の名前の連呼に終始するのみで、

駅前を通っても、別にこれといった具体的な政策を打ち出すわけでもない。

これで「〇〇に一票をお願いします～」なんて叫ばれても、とてもそんな気になれない。

この中では誰が区長になっても同じだと思ってしまう。

次の選挙もきっと低投票率になるんだろうなあ。

横浜市では新市長が公約通り、市長の交際費を全面公開するということだ。

これさえやればいいというわけではないけれど、言ったことをすぐに実行するという姿勢はどこ

の首長でも見習うべきでは。

こういう一つ一つの取り組みが、少しずつ市民の政治への関心が高まることにつながると思う。

## 2002.06.04 Tue 日本VSベルギー

---

雑用を済ませ、18時数分前には家に到着。

普段それほどスポーツに興味がない私が、今日はW杯の試合を観るために帰ってきた。

だって、世界の舞台に日本が出ている。しかも日本での試合。

こんなの見逃すわけにはいかない。

うちのTVはPCと兼用なので、まずPCを起動。

起動するのに時間がかかり、TVがついたのはキックオフの30秒後。

この瞬間は観たかった～！

試合が進んでいくうちに、だんだん興奮状態。

できることなら試合会場で観たかった～！

サッカーを通して観たことなんて今までなかったけど、試合終了まではTVに釘付けだった。

残念な点の取られ方をしたけれど、日本勢もチャンスを逃さずシュートを決めたのは嬉しかった

。

サッカーって集中力・冷静さが本当に重要な鍵を握っているような気がする。

これらをたった一瞬でも失うだけで、調子のよい試合でも暗転してしまう。

次のロシア戦ではもっともっと気合を入れていい試合になりますように。

怪我もありませんように・・・。

私も気合を入れて応援します。



ビリヤードを何年ぶりかにやった。

ボウリング場のアルバイトをしていた時以来だ。

その頃はフロアの隅にビリヤードコーナーがあったけど、ビリヤードは苦手でほとんど遊ばなかった。

ボウリングは喜んでやったんだけどねえ。

ビリヤード、なぜ苦手かというと、ゲームにならないから・・・。

どうしても要領を得なくて、球をうまく突けない。

でも、今日は・・・なぜか球を突くことはかなりできたのだ。

これができて初めて、ポケットに入れることに集中できる。

・・・それはなかなか難しかったのだけど、一歩進んだ。

またやりたい、と初めて思った。

昨日今日の新聞の社会面には食品会社のお詫びの広告がぎっしり並んでいる。

食品衛生法で認められていない香料を食品に使用していたことが明らかになったから。

小さな文字で印刷された一つ一つのお詫び文を読む気にはならないけど、

その【対象商品】の種類と数の多いこと！

お菓子、ドレッシング、マーガリン、冷凍食品・・・本当にいろいろある。

その中には見慣れた名前のもものも相当ある。

これまでずっと食べ続けてきたのに、今更商品を回収して送料と商品代金を送る、なんて言われてもねえ。

ホントにおかしな話。

国は今まで何をチェックしていたのか？

それにしても普段食べているものに、こんなにたくさんの余計な添加物が含まれているなんて驚きだ。

他にもブランド偽装など、食品問題はどこまで続くんだろう・・・？

## 2002.06.07 Fri アルゼンチンVSイングランド

---

9日ロシア戦のチケットとれたら・・・と甘い期待を抱いて、正午だいぶ過ぎ(笑)電話してみた。

「・・・電話が大変混雑しており・・・」

とアナウンスが流れるのみ。何回かかけてあきらめた。

単に回線のトラブルに加担しただけだった。

公衆電話からかけた人も多かったみたいだけど、つながりやすいつって本当なのかな～？

夜はアルゼンチンVSイングランド戦をTV観戦。

ピアソラ好きの私としては、タンゴの国・アルゼンチンをひいき目に見てた。

しかし・・・、イングランドは鉄壁のようだった。

アルゼンチンの攻撃をこれでもか、というようにはね返す。

まさに執念が感じられた。

**2002.06.08 Sat** りえ、誕生日おめでとう！

---

My自転車は先週から笹塚に置いてあるので、歩いて高円寺まで。

今日はLIVEを見に行く日。

おがわみあさん初め、小倉マコトさん、玉城まさゆきさん、平間リョウさんが歌った。

みんなギター持って弾き語り。

だけど、それぞれの持つ雰囲気や、発声、曲調、全て違って、聴いてて飽きなかった。

もう、彼らの生の歌を聴くことはしばらくないんだろうなあと思う。

そこで、ふるさとに持って帰りたい曲！（敬称略！）

おがわみあ【旅唄】なんというかやっぱこれに落ち着く♪

小倉マコト【風】改めて詞がよいなあと感じた

玉城まさゆき【南へ】情景が浮かんでくるよう 氏の歌は初めて聴いた ギターの音に魅かれた

平間リョウ【...パイ投げ...】こんなに楽しいなんて...♪

引っ越しの荷物を減らすべく、フリーマーケットに参加。

100店舗出店される予定が、30店舗もあっただろうか。

客足もまばらで、全然商売にならなかった。

でも、今日はとってもいい天気で、木陰になってる神社の境内はすばらしい環境だった。

澄んだ空気の中で、知らない人とおしゃべり。これもまた楽し。

日中ずっと外にいたせいか、帰ってきたらぐったり。

でも疲れている暇なんかない、今日はロシア戦！

TVの画面に向かって応援した。

ロシア選手の尋常じゃない汗のかき様を見て、これはもしかしたら・・・と期待。

やはり多かれ少なかれ気候で有利ということはあるんじゃないか、と思った。

日本はホントに勝った！

絶妙なタイミングでのパス回し&落ち着きのあるシュート。

稲本選手のシュートは観てる方も気持ちがいい。

他の国同士の試合見ても、キーパーと1対1の勝負で失敗する選手の何と多いことか。

ロシア戦が終わった後、国立競技場帰りの友人Mと中野で落ち合う。

青いユニフォームに身を包まれた彼女は、疲れながらも満足げな表情。

居酒屋で祝杯をあげた。

しばらくしたら、同じく青い人達が入ってきて、Mはタッチで挨拶を交わす。

座敷にいる彼らの所に流れ込み、再び日本勝利の喜びを分かち合えることに。

青いMのおかげでちょっと得した気分。

ビール2杯とウイスキー3杯を飲み終え、自宅に帰った。

家でも2人でビールを飲んでいたが、Mは速攻で眠りにおちた。

私も後を追うようにいつのまにか寝てしまった。

朝11時頃目覚めた。身体が重い。なんかアルコールが残っている感じがする。

暑い中、私はMと部屋を出て、新宿に向かった。

ハローワークで雇用保険の説明会というものに参加しなければならなかったのだ。

だるだるの身体で、100分近くもビデオを見たり、職員の話の聞いたりしていた。

内容別に3人の職員が話をしたが、体調不良のせいか話し方がやけに耳に障った。

最初の男性は、「今の説明のほうでご理解のほう頂けましたでしょうか...」と、

彼の発する一句一句に「ほう」がついているという感じでまいった。

最後の女性は快調にしゃべっていて、聞きやすいなあと思っていたのだが、そろそろ終わるだ

ろう...

と思って帰る用意をしていた頃、「あとはですねえ...」と追加項目をどんどん増やしていくので

まいった。

やっと解放され、金沢八景へと向かい、久々に自分の母校を訪れた。

就職活動で使う卒業証明書と成績証明書をもって、キャンパス内をぐるっと歩いた。

歩いていてなんだか不思議な気持ちに襲われる。

もう一人の自分がこのキャンパス内にいるような・・・。

学生時代からこんなに時間が経ってるのに、まだ完全に卒業しきれていない自分がある。

それから横浜に行って、クラスメイトだったRと会う。

紺の服がよく似合っていた。

横浜駅の地下街でパスタを食べて、それからなぜか中華街へ。

月曜の夜の中華街は人通り少なく、不気味な感じすらした。

中華街の老舗のバーで飲んで、遅くまで話して分かれた。

Rと私のやりたいことというか将来像はどこか似てる部分があって、Rが私を励ましてくれたのが心強かった。

2002.06.11 Tue つけ麺

---

もうすっかり夏だ～～～！

こう暑いと食欲も失せてしまう。

でも麺類だったら食べたいなあと思って近所のつけ麺屋に行った。

初めてのお店だったし、つけ麺って食べ方がよく分からないからちょっと緊張(笑)。

ピリ辛スープにメンマやチャーシューの細切りが入ってて美味しかった。

周りの人が食べ終わったスープにお湯（ゆで汁？）を入れてもらってるのを見て真似してみた。

最後のスープがまたよい味で、身体にすーっと染み込んでいくようだった。

ひとつで2度楽しめるって、なんか嬉しい。

つけ麺にはまりそうだ。

元同僚Aと西荻窪で待ち合わせ。

Aが昔取材したカレー屋でお昼を食べて、そのあとケーキ屋でお茶を。

カレー屋では薬膳カレー。

くこの実や豆苗の葉など身体に良さそうなものがたくさん入ってた。

ケーキ屋ではゴルゴンゾーラチーズケーキ。

あのクセのあるチーズの香りが口いっぱい広がって、なんか病みつきになりそうな味だった。

一緒に頼んだコーヒーもまた美味しく、おしゃべりしながらついつい長居。

それから吉祥寺の街をぶらぶらと。

女2人で服など見て回り楽しかった。

夜、元会社の仲間と久々に再会。

仕事の話に花が咲いていた。

バランスをとりたがるという私の行為が逆にバランスを崩してしまう時がある。

人が大勢いる時は暴走する傾向にあるので、もっと落ち着きたい。

余裕がない自分の行動に少々落ちこんだ。



失業保険の認定日で、また職安に足を運んだ。  
起きたら10時で、指定時刻の11時にはギリギリセーフ！  
これに間に合わなければ大変なことになるところだった。  
午後は品川の図書館に本を返しに行った。  
そのまま横浜に行きたかった。特に用事もないのに。  
だけど、途中で思いとどまり中野に帰ってきた。  
なぜだろう・・・やっぱり八景は遠い・・・。  
家に向かってしていると、Uさんから東中野にいるという電話。  
夕暮れ時のサンプラザで外を歩く通行人を見ながらおしゃべり。  
学生時代のいろんな人のこと、仕事のこと、歌のこと・・・。  
いつでも楽しそうにしゃべってくれて、いつでも安心する。

## 2002.06.14 Fri 日本VSチュニジア

---

用事があって中継を観られなかったので、ビデオに撮っておいた。

帰ってきたら観るぞ〜〜〜！

と思っていたんだけど、電車の中で結果を知るはめに。

喜んでいる人の姿が目に入ってしまったのだ。

しかし、誰が出るか、いつ点数が入ったのかは未知のまま。

不思議なことに、結果を知ってもビデオを楽しみにしている自分がいた。

そして、家に帰ってビデオを観ながら応援した。

時間差で観ても、やっぱり面白い。

やったね、日本！

## 2002.06.16 Sun blue blue blue

---

hal主催のイベント“blue blue blue vol.2”に行ってきた。

5組のアーティストが出演したけれど、一番の目当ては元サニーデイの曾我部さん。

新しいhalのユニットpeppermints kiss cafeにも興味があった。

halの『ラブレター』というアルバムは好きでたまに聴いてるけど、このユニットは初めて。

Micky→ATAMI→曾我部恵一→peppermints～→northern bright。

DJは坂本美雨だった。

曾我部さんやnorthern brightの出番だけ盛り上がった感じがする、何となく後味の悪いイベントだった。

だけど、peppermintsのJaniohとかいう人、もう少し楽しそうにしてもいいんじゃない？と思った。

hal一人でがんばってて、音も何もかもバラバラのイメージ。

音楽って、歌う人が楽しんで初めて聴く人も楽しめるんじゃないか！とちょっと腹立った。

そういえば、昔JUDY AND MARYのLIVEに行った時も同じようなこと思ったなあ。

喧嘩してるのか知らないけど、TAKUYAが全然やる気なく、チケット代返せ～！と怒鳴りたくなった。

曾我部さんは、サマーソルジャーなど歌ってくれた。

嬉しかったけど、やっぱり私はサニーデイ・サービスが好きだったんだと思い知る。

サニーデイの曲は曾我部さん中心だったけど、一人だとなんだか物足りないんです。

northern brightは名前も知らなかったけれど、すごくよかった。

メンバー全員が音も表情も一体となってLIVEを作り上げている。カッコイイ。

また聴いてみたい、と思った。

CD買おうかな。

早朝のバスは富士急ハイランドへ。

朝食用のパンを買って、ちょっとした遠足キブン。

バスではほどなく眠ってしまったよ。

着いたら山のふもとで涼しい。

パス用の写真を撮って、さっそくFUJIYAMAに乗りこむ。

めちゃくちゃ怖かった。

一気に目覚め、次にはゾーラ7という易しそうなアトラクションへ。

これは屋内のコースターに乗り、ガンで敵を打ちながら進むというやつ。

甘く見ていたらコースターはいきなりUP！そしてほぼ真っ暗な中で急に落ちた。

予想は外れ、なかなかハードだった。

ガンの敵中率は目も当てられない状態。

それからお化け屋敷のような「処刑の館」へ。

ヘッドホンをあてると、処刑されているようなサウンドが聞こえる。

耳元で囁かれてるような声がぞっとするけど、最後はチェンソーの音でおしまい。

そりゃないよー！でも笑えた。

それから休みもせずにレッドタワーへ。

エレベーターの吊りロープが切れた時のように真下に落ちるやつ。

私はこの系統のアトラクションが大好き。

けど、今日のは恐ろしすぎた。

スリル抜群なのに待たずに乗れるのが不思議。

次は、水でも浴びてスッキリしようか、と「グレート・ザブーン」へ。

ポンチョを着て船に乗りこむ。

カップとどういう違い？

もっともポンチョともカップとも言いがたい、ただのビニールだったけど。

船は最後で滝くだりをするんだけど、フードをちゃんとかぶってなかった。

しかし、かぶり直す暇もなく「あちゃ〜」と「ひえ〜」をほぼ同時に叫ぶ。

頭はびしょびしょになってしまったが、ふと隣を見てもっとすごい人が。

頭から肩や足の方までバランスよく濡れていた...

「これなら乾きそうだね。」と、次に乗ったやつがたまたまたまた水系だった（ロッキースライダー）。

ボートに乗りこみ、ガタガタとウォータースライダーのようなコースを進む。

乗り合わせた前の2人のカップルが大騒ぎで、4人は妙に意気投合していた。

降りた時にはまた輪をかけて濡れてしまっていた。

そして、「武田信玄 埋蔵金伝説」という探検もの(?)へ。

カードを渡され「風・林・火・山」の文字と武田の家紋(?)を全て印字すればクリア。

情けないことに、与えられた15分で「林」の文字しか見つけられなかった。  
お昼時だったけど、激しいのは食事の前に！と人気の「ドドンパ」へ。  
でも1時間半待ちでやはりお昼へ向かう。

お昼はFOOD STADIUMでタコライスとロコモコ丼を。

美味しく頂いたけれど、タコライスのトマトソースがもっと欲しかったところ。

お腹が満たされて、期待の「ドドンパ」へ。

世界最速のコースターと呼ばれるこのアトラクションは、ハイランド中にその音を轟かせていた。

その下を通った人がビックリして耳を押さえるくらいにすごい音。

1時間半ほど待って、やっと本番。

乗る前から、ドキドキして緊張して、死ぬんじゃないかと思った。

「ド・ドンパッ」と不気味な効果音が列に並んでいる間から流れ、不安倍増。

乗りこんだ時には、心臓マヒになるかと思うくらい。

そして決死のスタート。

まずトンネルに入る。

それから一時停止して、一気に飛び出す。

ロケットの発射のように、ホントにヒューンと飛んでいく感じ。

風船がしぼんでいくように、待ったなしで舞った。

直角に落ちていく箇所もあったんだけど、あまりの速さに怖がってる暇もなかった。

FUJIYAMAとはまた違った楽しさがある。

スピード狂にはたまらないだろうな。

それからもう一度FUJIYAMAに乗ったけど、今度は一番前！

この機会に貴重なことを悟った。

(怖くない、怖くない)のおまじない(?)をすると理性を取り戻すという・・・。

実際、1回目よりも怖くなかったのである。

ソフトクリームを食べて一息つくと、ゴーカートへ。

かわいいマシンでコースを2周。

アクセル全開で無心に走った。

もう少しで前の人に追いつけたのに・・・。

また奥の方へと歩いていくと、ガンダムマニアのお店があり、プラモデルなど売っていた。

そのお店の上はなんとガンダムのアトラクションになっていた。

これはスクリーンの映像と動く椅子で、宙を動き回る錯覚に陥らせるやつ。

このテのアトラクションは苦手。酔うから・・・。

しかし、なかなか戦いが終わってくれず、揺さぶられつづけて最悪だった。

もうこれには乗らんど・・・。

そんなこんなで17時が近づいてきて、大観覧車とウォーターエース（足漕ぎボート）に乗って、園を後にした。

帰りのバスでは、思いきり遊んだ充実感と疲れとともに夢の中へ。

「おたがい、悔いのないように生きよう。」  
と言ったけど、今日世界の終わりが来てもいいと少し思った。  
長い一日だった。

## 2002.06.18 Tue 日本VSトルコ

---

日本は負けた。

悔しいとか、虚しいとか、よくやったとか、これからにつながる試合だったとか。

何も言いたくない、何も聞きたくない。

愚痴も賞賛も一切口にしたくない、耳に入れたくない、今日だけはそんな気分。

CMで観た小野の笑顔を最後にTVを閉じた。

光として。



鶴岡八幡宮にお参り。  
何もお願いしなかった。  
おみくじを引いたら“凶”と出た。  
Sは苦笑いしていた。

小町通りを歩いた。  
部活帰りの高校生、犬を散歩させている人、店じまいしてる商店街の人・・・  
こんな和の風景がなんだか艶っぽく見えてとても印象的だった。

鎌倉の夜の海はきれいで、ちょっと怖かった。  
暗闇に浮かび上がる白い波に吸い込まれるようだった。  
海にいると自分がホントに小さな存在に思えてくるね。  
だからこそ認め合って生きているのかもしれない。

東横線で帰っていたら、自分が座るBOX席の斜め前に酔っ払いのおじいさんが。  
渋谷に着いても、起きる気配なし。  
揺さぶっても全然起きない。  
本気で起こしたら、ようやく起きた。  
しかし、立ち上がったと思ったらフラフラ。も～う。  
今にも倒れそう！なのでそばにいたらホントに倒れてしまった。  
ごめんよ～、私がついていながら・・・。  
大丈夫？と心配して来た男性と起こして、改札までは腕を引いていった。  
信濃町までタクシーで帰るといっているので、じゃあ、と私は逆方向へ帰ったんだけど・・・。  
やっぱりタクシー乗り場まで送ってけばよかったな。  
どうも気が利かない私である。

熊本の好江ちゃんが遊びに来た。

彼女のもう一つのふるさと・和田町へ。

昔からよくお世話になった居酒屋“れつ”が21日をもって店じまいしてしまうので、ママさんとマスターに会いに行った（飲みに行った）。

3~4度ほど私も訪れたことがあるけれど、いつ行ってもほんわかあったかい店だ。

何も言わなくても、おつまみはきちんと3人で分けやすいように出してくれて、優しい気配りを感じる。

こんな居心地のよい家庭的なお店がなくなってしまうのは、すごく残念。

ママさんをお母さんのように慕っていた好江ちゃんも、名残惜しむようにずっとおしゃべりしていた。

## 2002.06.21 Fri 同居生活

---

好江ちゃんと、起きてもずっと一緒に行動。

昨日はなぜか中野には泊まらず、横浜に近いKさん宅を拠点に動いていた。

舞浜→横浜で一日うろついた後、帰ってきたのもなぜかうちではなく、Kさんち。

お風呂も借り、Tシャツも借り、遠慮なく住まわせてもらってた。

お礼にカレーを作ってあげよう、と材料を買ってきたけれど、あまりに疲れたので明日に変更。

歩くのは仕事で鍛えられて速いつもりでいたのに、ついて行けないほど疲れていたのだ。

彼女と私はいつのまにか「L」の字になって眠ってしまった。

朝起きてカレーを作り、洗濯をして干して、好江ちゃんに別れを告げ、一足早くKさんちを出た。後は、サッカー三昧の一日でした。  
韓国VSスペイン。

勝敗はどちらに転んでもおかしくないくらい、両者必死に戦っていたけれど・・・。  
スペインの2ゴールがどちらも無効だったのはなぜ？  
PK戦で韓国が5人とも成功したのはすごいと思った。  
けど、スペインの2ゴールは本物だったんじゃないか、と思うと複雑な気分。  
だれか、納得のいく説明をしてくだされ。

いつ観ても韓国の応援はすごい。  
これほど人間が一つにまとまったところを今まで見たことがあっただろうか。  
しかし・・・ブーイングもすごいね。  
PK戦の時などあまりにも露骨すぎて、観てる方もいい気持ちがしなかった。  
敵国を応援しろとは言わないけど、黙って観てられる韓国人がもう少しいてもいいのでは！？

トルコVSセネガル。  
どちらを応援していましたか？  
初出場でがんばってるセネガルを応援しつつも、  
日本に点を許さなかったトルコにもここで負けてほしくなかった。  
チャンスはトルコ側に多くあった。  
でも、なかなかシュートに結びつかない。  
そして延長戦。イルハンが素晴らしいシュートを決めた。  
あの、心から嬉しい！というような顔を見て、私も嬉しくなった。

夜は千絵が泊まりに来て、「家にあるお酒を飲もうの会」を開いた。  
けれど、夜も更けた頃にやってきたので、軽いのを3杯飲んで寝た。

我が家にあふれる本・雑誌。

あまり捨てたくなる書籍はないんだけど、いらぬ本が紙袋1つ分あった。

これをブック・オフに持っていったら、ほとんどが買い取れないと返され・・・

結局5冊で200円分にしかなかった。アハハ。

状態のよいコミックや小説でも、在庫がありすぎるのか、0円で戻された。

リサイクルの道は険しい・・・。

それにしても、なぜ高校時代の教科書なんて実家から持ってきたんだろう。

この7年間で開いたのって、世界史くらいだ。

健康を取り戻すための「薬」だが、一歩間違えると生命を失ってしまう恐れもある。血圧が高い母は、血圧を下げる薬を処方され飲んでいた。最近になって、自分の脈拍が弱まっていることに気づいて、別の病院に行ったところ、その薬には「脈拍が遅くなる」「心不全」という副作用があることを知らされたそうだ。最初の病院では単に血圧が高いから、とその薬を渡したのだと思うのだが、本当にベストな治療法だったのだろうか。後に行った病院では、「そんな薬は自分だったら恐ろしくて出せないな。」と院長に言われたそうである。私も心機能を低下させる薬なんて、恐ろしくて飲めないと思う。医者から渡される薬だって、用心するに越した事はないだろう。

大久保の駅を降りると、赤いユニフォームやTシャツを着ている人がうろうろ。職安通りに近づくにつれ、「大韓民国！」コールが次第に大きくなって・・・ひととき歓声の高い駐車場に着いた。その駐車場は臨時広場となっていて、大きなスクリーンが設置されているのだ。もっとも広場は韓国人がいっぱいで入る余地もなかったけど、大会会場にいるような雰囲気を感じた。

2002.06.26 Wed 大好き

---

Aと一緒に大好きなあの店へ。

こないだは3人で行ったので、テーブル席だったけど、今日は2人でカウンター。

19時頃から0時近くまでも肩つき合わせ飲んでた。

それくらい2人にとってはくつろげる場所なんだろうな。

ご主人とは初めてしゃべったけど、独特な雰囲気のある人だった。

忙しいことが好きじゃないんだって思う。

無理しない、マイペース。

その間合いがなんだか心地よかったのだ。

いつもより酔った彼女を自転車の荷台に乗せて、うちまで帰った。

2002.06.27 Thu 荷造り

---

起きたら、Aが荷造りを手伝ってくれ、引っ越し準備は少し進んだ。

でも、引っ越す張本人は早く遊びに行きたくてしょうがなかった。

一段落して、「大戸屋」に行って定食を食べた。

ここはいつも混んでて、ほぼ満席。

席に着いて、注文したものを待つ間に、いきなり停電した。

ブレーカーがおちたと思うんだけど、なかなか復旧しない。

レジで会計待ちしてる人や真っ暗闇でご飯を食べてる人はかわいそうだった・・・。



## 2002.06.29 Sat STOMP

---

“STOMP”を観に行きました。

出てくるのは8人のパフォーマーと、モップやマッチなど身近にある道具たち。

そして、彼らの筋肉隆々のカラダ！

どうして、こんなに鮮やかな音が出るんだろう、と不思議になるくらい、音そのものが、生き生きとしていました。

圧倒されたのは、そのリズム感と体力！

絶え間なく続く音の連鎖に、思わず見入って（聴き入って）しまいました。

8人それぞれにはキャラクターもあり、笑わせるところもちゃんとあり。

初めて観る部類の舞台だったけど、大満足でした。

帰りは、一緒に行った7人でお食事。

なんだかすごく楽しくて、引っ越しのこともしばし忘れて終電近くまで騒いでいたのです。

## 2002.06.30 Sun 引っ越し

---

3年住んだ中野区を去る。

今日はお引っ越し。

12時近くに業者の方が来て、どんどん荷物を運んでいった。

そして何もなくなった。

今まで暮らしていた、自分の帰る場所だったこの部屋も今日限り。

ちょっと寂しい気持ちになった。

3年前の4月、中野が好きで、住みはじめた。

住んでみて、中野はやはり好きだけど、どこか馴染めない部分もあった。

けれど、ここを拠点としてたくさんの人に知り合ったし、いろんなことがあった。

さまざまな思いが詰まっているこの部屋に別れを告げよう。

さようなら。そしてありがとう。

2002.07.01 Mon 佐賀へ

---

朝9:20発のスカイマークで故郷へ帰った。

空港を出て乗り込んだ高速バスの中で、母にいきなり電話した。

私がいつ帰るかははっきりと伝えていなかったのだ。

家のすぐそばにいることが分かったので、母はびっくりした。

そして、迎えに来てくれた。

今までの里帰りとは違う、今回は無期限の移住。

これまでにはない気持ち。

母と仲良くやっていこうという気持ち、新しい職への期待、新しい生活への不安・・・。

いろんな気持ちが入り混じって、少しドキドキしていた。

## 2002.07.05 Fri 諸手続き1

---

市役所へ住所異動届。

その帰り、久々にとんこつラーメンを食べた。

こちらのラーメンは500円も出せば食べられる所がほとんど。

なのに、高菜や紅しょうがや胡麻は使い放題なのが嬉しい。

デイトス（駅ビルのようなもの。1フロアしかない。）で母の知人Mさんに会う。

就職指南を受けた。

「まだ若いんだから、妥協して変な職に就くより、とことん考えて探してみたら？」

就職情報が載ってる新聞や資料までくれて、なんだかやる気になった。

ガンバルゾ。

## 2002.07.05 Fri 諸手続き2

---

職安に行って移管届を出そうとしたら、住所の確認できるものが必要だと言われた。そりゃそうだ。

相変わらず抜けてる。

住民票の写しを取りに、そのまま市役所に行ったら、窓口で高校の同級生がいた。

なんでも2年くらい別の場所で働いて、去年ここに就職したのだそうだ。

私も今就職活動だということを告げると、ここ（市役所）なんてどうですか、と言われた。

公務員になるために、地道に勉強するなんて私にはできない。

第一、勉強は苦手なのだ。

一生、縁のない職業だと思う。

## 2002.07.05 Fri ウォーキング

---

家の近くには多布施川というわりときれいな川があって、そこは最近整備された遊歩道がある。母とそこを小一時間散歩した。

中学時代に長距離をやっていた頃は、ここはジョギングコースだった。

きつい練習で走った道を、今は母と歩くなんて、あの頃は想像もしなかった。

佐賀に帰ってきてから毎日のように母と歩いているけど、今日は一番長く歩いた。

昔とは違って、トレーニング用の器具なんかも設置されてて、楽しめた。

それから母と温泉へ。

汗を流してリフレッシュして帰ってきました。

## 2002.07.05 Fri 面接

---

佐賀ではじめての面接。

ハローワークでちょっと魅力的な仕事を見つけたのだ。

職業相談の窓口に行って連絡をとってもらったら、本日面接に来れるか、と聞かれた。

帰ってすぐに履歴書を書けば間に合う、と思ったので、行きます、と答えた。

家に帰って、履歴書を書き、着替えて自転車で向かった。

それは、私がもっとも就きたい仕事の一つで、希望を持って面接に臨んだ。

社長方はじっくり話を聞いてくれて、経験など考慮した上で「問題なし」と結論を出してくれた

。

そして、うちで働けそうか、よく考えて月曜日に返事を下さい、と言われた。

というのは、労働時間は多いし、休みは少ないし、とにかく甘い仕事ではないから。

半年や数ヶ月で辞められては意味がないので、よく考えて、というのだ。

時間を与えてくれたことに感謝して、2日間悩むことにした。

2002.07.08 Mon 到着

---

引っ越しの荷物が届いた。

大阪かどこかの客の荷物と一緒にほるほる運んできたらしく、1週間も経ってしまった。

4tトラックで来て、2人の業者さんがせっせと荷物を降ろしていった。

その膨大な量の荷物にも母はびっくり。

「あんた本当に6畳の部屋に住んでたの？」

と言われた。

今回の引っ越しで、自分が“捨てられない性質”だということが改めて分かった。

いや、何より、物を減らす努力をしなかったことが悪かったのだ。

これから待ち構えているダンボールの解体作業を思うと、途方に暮れる。



2002.07.09 Tue どんぐり村

---

じりじりと焦げそうな日差しの中、福岡の街を歩いていると、母から電話が。  
今から温泉に行こう、と誘われた。

これから用事もなかったのでOKの返事をして、西鉄の駅で待ち合わせた。  
熊本の温泉「どんぐり村」まで。

周りには高い建物など何にもなくて、露天風呂に入ると一面に広い空！  
母はここでしし座流星群を見たそうだ。  
なんともうらやましい。

まだ日が暮れていなかったので気温が高く、熱いお風呂より「寝湯」が気に入った。  
20cmほどの浅いお風呂に寝そべて、うとうとしてるのが最高に気持ちよかった。

ここには犬用の温泉があり、人間のお風呂は350円なのに対して、ワンちゃんは400円という扱い

。バーベキューができる林もあり、そこに放されているウサギ（多分30～40匹はいる）がまた可愛いんだ。

あまりのかわいさに、携帯カメラやポテトチップスを持って、追いかけてまわってしまった。

2002.07.09 Tue 墓参り

---

就職活動はまだまだ続けることに。

一人で、父・祖父の墓参りに行った。

祖父が亡くなった時から訪れているお寺だけど、いつまで経っても墓参りというのは慣れない。

私自身に宗教を意識する習慣がないのか、宗教心がないのか、とにかく身についていない。

この世を去った身内を意識しないというわけではない。

特に父のことはたまにどころか、毎日のように思い出している。

だけど、墓に向かって手を合わせていると、なんだか虚しくなってしまうのだ。

2002.07.09 Tue 片付け

---

土曜に荷物が運ばれて以来、ぼちぼちと段ボールを解体し、片付けている。

私がこれから暮らす部屋は、昔の父の書斎。

ここには天井まで続く本棚にびっしりと本が埋まっている。

散乱しているものを棚に戻していると、たくさんの父の遺品が出てきた。

学生時代の文集やノートやメモなどなど・・・。

学生運動の一環として参加した会議や講演会の記録なども出てきて、興味深く読んだ。

父は、私が学生だった頃とはまったく違うことに時間を費やしていたんだと、改めて分かった。

## 2002.07.12 Fri 写真

---

駅近くの写真屋に、履歴書に貼る証明写真を撮りに行った。

昔から写真を撮られるのは苦手。

フラッシュの光でどうしても目をつぶってしまったり、顔がひきつってしまったり、失敗ばかりだから。

この写真屋では、現像前にテレビモニターで確認して、撮り直しができる。

1回目は髪の毛が浮いてしまったから、という理由でやり直し、2度目はもろに瞬きしてしまいアウト。

3回目になると次も失敗したらどうしようとのプレッシャーか、また瞬き。

4度目も髪の毛がハネたように写ってしまって気に入らなかったのだが、もうあきらめ、「これでいいです・・・」。

大体、テレビのモニターで見ても画像が粗くてよく分からないんだ。

と、内心で文句を言いながら現像された写真を受けとった。

やはり緊張したヘンな顔である・・・。

撮った写真を保存してくれるから、という理由でこの店に行ったんだけど、自分としては機械の方が楽だということにやっと気づいた。

2002.07.13 Sat 日差し

---

佐賀に帰ってきてから、行動するのはほとんど自転車で。

朝9時に家を出て、ハローワークへ向かった。

家から南へ15分ほどのところだ。

じりじりと太陽さんが左のほほを照りつけてくる。

顔半分日焼けしてしまうんでは、と心配するほど、こちらの日差しは脅威的だ。

あ、きっと高い建物が少ないということも、ますます熱を強めるんだろうな。

こんな土地にもだんだん慣れを取り戻してる今日この頃である。

佐賀の夏の景色はきれいだ。

何度も言うけど、高い建物が少ない。

だから、空が大きく見える。

遠くに見える山の稜線も平和な美しさ。

うんしょ、うんしょ、と重いPCを2階から運んできて・・・

やっと居間に設置した。

TAの線の関係で、どうしても居間に置くしか方法がなかったんだ。

とにかく久々に自分のPC君とご対面。

今日からやっとHPの更新ができる！

しかし、フレッツは来週から利用できるので、もうちょっと放置しようかな・・・。

ご勘弁を。

夜に母のお客さんが来た。

母の地元（鹿児島）友人のお兄さんだ。

仕事でたまたまこの近くに来たらしい。

母も私も初めて会った人なのだが、話が弾んでいた。

共通項の彼の弟さんの話より何より、趣味の話が面白くて、お茶だけで数時間も話していた。

他人の噂話だけに終始しない会話っていいなあと、なんだかホッとした。

## 2002.07.15 Mon 田舎の現状

---

母と、郊外にあるJUSCOにてお買い物。

休日だったこともあって、家族連れでにぎわっていた。

寂しいことに、佐賀で一番大きな駅の周りにはこれほどの活気がない。

10代の頃には人通りが多かった商店街も、今では閑散としている。

目立つのは、倒産・閉店してしまったお店の跡のガランとした空き地。

そして、金融業者の看板や支店もやたら多い。

まさに不況という言葉を象徴するような有り様である。

なんとかならないものかなあ・・・。

昼下がりに。

母の睡眠薬である分厚い文庫本を勝手に借りて読み出した。

11人のミステリー作家が一章ずつ物語を書いて行くリレー小説だ。

推理ものということもあって、なかなか途中で休むことができず、夢中で活字を追っていた。

それぞれの作家が構想を練って話を膨らませていくのが面白かった。

ふと、19の夏に北海道に旅行した時のことを思い出した。

同行した人と、一句ずつ歌詞をつなぎ合わせて、一つの歌を作り上げていった。

退屈になりがちな飛行機の中でのちょっとした遊びだった。

物語も詞も、起承転結があると思うのだが、結びなんて無視して、

思うがままに言葉をつなげていく・・・。

だけど、予想もできない展開がなんだか楽しかった。

またこんなことやりたいなあ。



朝が好きだ。

それも夜が明けたばかりの。

人々がまだ目覚めない頃の朝の空気は澄んでいて、とても気持ちが良い。

昼も、太陽さんがてかてかと光を放っているのを感じられるから好き。

植物が彼の方に向かって葉っぱを広げているのを見ると、こっちまで元気になる。

夜はどちらかというと苦手かもしれない。

真っ暗闇が怖いのだ。

街灯なんて、ご挨拶程度にポツリポツリと灯るだけ。

星空はよく見えるのだけど、足元が見えず、恐ろしいことこの上ない。

誰かがどこかに潜んでいるのでは、とびくびくしながら夜道に行く。

そんな恐怖感も、都会で暮らしすぎた慣れのせいだろう。

故郷を去って半年も経たない頃、関東在住の友人が私の田舎に来た時、

「この辺はホント暗いよね。」

と言っていたのを思い出す。

私はそういう感想を言われても、その時は「ふーん、そうかな？」とピンとこなかった。

でも、今ではその感覚がよく分かる。

本来は、夜は暗いものであるはずなのに、眠らない街にいたおかげで、

私もその常識をいつのまにか忘れてしまったのだ。

しばらくは、闇に、陰に、怯える日々が続きそう。

2002.07.19 Fri 長崎

---

長崎まで面接を受けに行った。

久々にスーツを着て、新しい特急電車「かもめ」に乗って。

「かもめ」は「つばめ」などと違って、車体も車内も洗練されたデザインがよい。

革のような素材の座席も、かっこよくて好きなのだが、今日だけは困った。

座席に座ると、普通の固いシートと違って大分お尻が沈むため、スーツにシワが寄ってしまうのだ。

かといって、1時間以上もかかる道のりを立ちつづける訳にもいかないしなあ。

シワだらけの後姿を担当者にあまり見られないようにするほかなかった。

説明会&面接は珍しく肩ひじ張らず、順調に進んだ。

しかし、残念ながら、あまり乗り気のしない仕事だった。

選り好みしているわけではないけれど、自分にあった仕事というのはあると思う。

どうしてこんなに遠くまで来てしまったんだろうと後悔しながら、長崎の街をぶらぶら歩いて帰った。

2002.07.19 Fri 楠

---

佐賀城内を母とウォーキング。

水と緑に囲まれたなかなかいい雰囲気の中で、2kmほどの散歩コースがある。

ここに来るたび、「いいところだなあ」と思う。

散歩するもよし、ベンチに座って語らうもよし。

隣の美術館で、絵や彫刻を鑑賞するもよし。

そしてもう一つ、目にとまるものがここにはある。

それは、クスの木。

佐賀県の木にも指定されているのだが、この巨大さには本当に驚く。

立派に育ったねえ～と思わず声をかけたくなるくらい。

けれど、彼らには長い間この場所で歴史を刻んできたという神聖な重みがあり、

なんだか拝みたくなるような気持ちに転じた。

## 2002.07.22 Mon 夏休みバイト

---

小学校時代の恩師に頼まれて、隣町の中学校のプール看視員をすることになった。  
毎年、大学生をアルバイトで雇うらしいのだが、今年は見つからなかったみたいで、まだ仕事のない私に声がかかった。

夏休みの15日間、一日3時間の仕事。

明日は、説明を聞きに中学校へ行く。

同じく水泳部だった友達にも頼もうと電話したら、9月に試験があり忙しいとのこと。

「お前は色の白かけん気をつけんばばい！」

と言われた。

暑いのは平気だけど、たしかに日焼けは心配だ。

今年の夏、違う人種に変身するかもしれません。

夏休みの仕事場となる中学校へ。

今日は終業式で、中学生がちょうど体育館から教室に帰るところだった。

何をやらかしたのか、先生に怒鳴られてる生徒もいて、妙に懐かしくなった。

私たちの中学生時代の光景と何ら変わらない・・・。

プール担当の教務のN先生は、ここを紹介した恩師・I先生とどこか似ている。

I先生の弟と言われれば信じてしまいそうだ。

職員室に通され、それから校長室へ。

先生方からは、いや～助かります、と有り難がられた。

案内されたプールには、屋根があり、ここから看視してくださいと言われ、少しホッとした。

しかし50mと長いので、しっかりと看視して見落とさないようにしないと。

昨日の夜から、熊本の好江ちゃんのところへ。  
久々に外で飲んだので、嬉しかったなあ～。

さて、本日は2人で黒川温泉へ。  
TVの温泉特集のランキングで2位だったらしい場所に行ってみた。  
途中お昼ご飯を食べよう、ということになり、鶉（うずら）専門のお店に行った。  
卵以外のうずらを食べたのは初めて。  
炭火でじっくり焼いて、あわ飯や「ご汁」（大豆の吸い物）と一緒に頂いた。  
ほかに、落下生豆腐やピーナッツの羊羹みたいなやつもついてきた。  
珍しいものづくしで美味しかった。

食事を済ませ、阿蘇の山々をどんだんのぼっていくと、やっと温泉に着いた。  
途中、好江ちゃんのTODAYが何やら機嫌を損ね、アクセル踏むと異音を発した。  
引き返そうかとも考えたけど、ゆっくりと走りつづけることにし、無事到着。  
温泉郷だから、目当ての旅館以外にもたくさんの温泉がある。  
どこも宿泊客や立ち寄りのお客さんでかなり混んでいた。

私たちが行ったのは、洞窟温泉！  
薄暗い洞窟の中の温泉に入ると、探検ごっこをしてるみたいで面白かった。  
でも、そんなに広くないし、洗い場もないので別のお風呂（露天風呂・穴風呂）に行きたかった  
のだが、  
あいにく混浴風呂・・・。  
まだ真っ昼間だし、休日で男性もわんさかいたから、とても混浴に入る勇気はなかった。  
もっと私のスタイルがよかったら、考えたかもしれないのだけど(涙)。

母のもう一つの仕事を手伝うことになるかもしれず、結婚式場へ。

チャペル式のアテンダントの仕事を見学した。

花嫁さんのウェディングドレスの裾を持ちあげたり、式場に来る人々に式の説明をしたり・・・

。

裏方役だけど、気を張ってのぞまなければいけない大変な仕事だった。

高校生の頃、聖歌隊としてここで歌った時は、牧師さんの話を聞いて感動したり、と

まだ余裕があったのだが、今日は、その場にいるだけで精いっぱいだった。

美しい花嫁さんやその衣装にも見とれている場合ではなかった。

仕事を覚えるのは大変。ふう。

久々に、机にかじりついて勉強というものをやってみた。

8月の終わりと9月にある採用試験に向けて。

本屋で買ってきた「一般常識」の問題集は一章目から難問揃い。

はじめは漢字の読み。

紙に答えを書いて、後から正解と照らし合わせる。

漢字には結構自信があるつもりの私でも、読めない漢字がたくさんあった。

↓間違えた漢字↓（この他にもたくさん）

Q：「逼迫」「忖度」「女郎花」「進捗」「草鞋」「嚆矢」「干戈」

A：「ひっぱく」「そんたく」「おみなえし」「しんちよく」「わらじ」「こうし」「かんか」

（意味すら分からない）のも（聞いたことはあるんだけど、漢字では初めて見た）のもどちらも多い。

「草鞋」は「ぞうり」、「干戈」も「えと」と読んでしまった  
一般常識のなさに改めて気づき、第一章で挫折しそうになった。

そして、次の漢字の書き取り問題では、さらに情けない結果を見ることになるのだった。



2002.07.25 Thu バイキング

---

朝8時に母に起こされて（家にいるのになぜか携帯電話で）、近所の散歩に出た。

8時とはいえ、夏の日差しは結構こたえて早々に引き上げた。

元気では私の方が負けている・・・。

明るいうちに散歩なんてするもんじゃないって思うんだけど、母は、少しでも涼しければ、とやる気満々だ。

いつのまにか日陰人間になりつつある自分。

心まで暗くならないようにしなくちゃ。

お昼はランチバイキングに行った。

1,000円でどれだけ食べてもOK。

サラダやエビフライやハンバーグ、炒め物、フルーツ、ケーキなどいろんなお皿があって、すごく充実してた。

お皿が空になると、すぐに新しい料理を出してくれるし、味もすべて美味しくて、本当に満足。

今までのバイキングのイメージを覆すような、満点のお店だった。

あまり混んでないのが不思議。

プールの看視員の初仕事。

中学校に着くまでに自転車で30分ほどかかった。

なんせ隣町の中学校だから、ケッコウ遠いのだ。

川沿いにサイクリングロードがあって、その道をただひたすら上っていくと中学校が見えてくる。

まず、職員室に入り、笛とメガホンとスタンプ（生徒の出席簿押印用）と看視員日誌を取り、プールへ。

初出勤だったので、時間が読めず、20分も前に着いてしまった。

ただボーっと広いプールサイドに座っている。

こりゃガマン大会みたいなもんだな・・・。

と思っているうちに、中学生がやってきた。

「こんにちは～!!!」

名前も知らない私に50m先から大声で挨拶してくる。

元気な娘たちだ。

こっちも大声で返す（ちょっと照れくさい）。

一番乗りの、その娘たちは着替えて、泳ぎ出した。

どうやら水泳部らしく、バタフライなどスイスイ泳ぎまくってた。

あ～、いいな～、気持ち良さそう・・・。

じっと見ていると泳ぎたい衝動にかられる。

だけど、仕事に徹しなければ・・・。

ちょっとした拷問のような気分だった。

そのうちに、水泳部の顧問の先生が来て、挨拶した。

「スタンプ押すだけでいいですからねー。私がいますから。」

と優しく声をかけてくれた。

「水泳部の顧問ですが、水泳に関しては素人でしてね。よかったら、こいつらに教えてやってください。」

と、コーチを頼まれたりした。

でも、飛び込みを指導させられそうになったので

「飛び込みは苦手なんです～、アハハ。」

と逃げた。

今日いた19人の生徒たちはみんな明るくて、元気で、礼儀正しかった。

しかし、何百人といるこの中学校の生徒の中には、深夜に侵入して校内のガラスを割ったりするヤツもいる。

先生と親に願います。

未来あるこの子達が道を外れかけたときは、気づいて修正しようとしてほしい。

いじめや心の悩みに気づかない親も先生もいるみたいだけど、

本気で生徒を思うなら、その不安定な空気は感じ取れると思う。

部外者ながら、そんなことを思いながら帰途についた。

本日もプールバイト。

台風が接近した後だったので、プールにはトンボの羽やらアメンボやらいろいろ浮いていた。一向に生徒たちが来る気配もないので、じっとしてられない性格の私は、網を手に取りそれらを掬った。

ここのプールは手入れが行き届いておらず、プールサイドには雑草が伸びっぱなしで、土が入りこんでいる。

プールなのに、歩くと砂浜のように足が汚れる。

その土までほうきで掃いて、清掃作業をしていると、やっと生徒が来た。

やっぱ12:30オープンというのも、微妙な時間帯なのでしょう。

お昼食べたばかりでは、泳ぎたくないだろうしね。

今日の生徒も元気な人達ばかりでした。

中学生というのは、友達の生育状態が気になる年頃でもあるのか、

「お前ワキ毛ボウボウ〜!!!」

なんて、わざと大声で叫んだりしてました（男の子同士で）。

誰にでも、苦手なものというものはある。

仕事にだって、向き・不向きがあると思う。

だけど、それは、潜在意識や好みによるものが大きいと思う。

人間やればできないことはないし、やってみて、むしろ得意になったりすることもある。

こないだ行った面接の仕事内容は、初任は営業。

数多くのアルバイトや仕事をしてきたけれど、ものを勧めて売る仕事はまだ一度も経験がない。

これまでは自分に合うと思われる仕事を選んでやってきた。

しかし、今、ゼロから職を選ぶという状況にいて、新しいことをやってみたいという気持ちもある。

自分の経験を生かして能力を伸ばすか、危険を覚悟でまったくの新境地を開拓するか・・・。  
迷うところである。

母のカッピング治療に立ち会った。

吸い玉治療とも言われるこの民間療法には、母の場合、身体の調子を良くするために通っている（3回目だそうだ）。

看板も何もない、普通の一軒家に

「おじゃましま〜す。」

と言って入っていく。

そこには母と同年代の先生（普通のカッコをしているが）と可愛い猫が1匹。

母も友人から勧められて通い出したのだ。

どんな治療かというと、患部（母の場合、肩を中心）にカップを貼り付け、機械で吸引して、真空状態にするというもの。

それから数十分後、カップを取り外すと、その部分から悪いガスが出て行くという。

カッピングを行うとどす黒い紫のような跡がつくのは、血が汚れているからだそうだ。

きれいな血液の流れている人は、薄いピンクのような目立たない色になるそうだ。

ちなみに、汚れた血液のことを、お血（おけつ）と呼んでいて、ちょっとビックリした。

「ここにオケツがたまっていますね。」

（・・・えっ!?!）

あるエステでも美容に効果があるとうたっている。

傍で見ている私には、こんなにたくさん跡がついて、痛々しいだけにしか思えない。

だけど、実際にやってみると、ずいぶん楽になるみたいだ。

母も、これをやると気分がよくなって、普段通っているマッサージも行く必要がなくなったと言っている。

不思議で不可解だけど、そんな治療もあるんだと知った。

## 2002.08.02 Fri 手伝いがてら

---

今日は、母のお店も細々と営業していて、日付を越えて朝5時近くまで手伝いをしていた。手伝いといっても四六時中動いている必要もなく、手が空く時間を使って試験勉強している。これぞ一石二鳥というものだろうか。

だけど、学問の道は一朝一夕には成らず・・・。

で、まだ漢字の書き取り問題をやっている。

これから、時事問題も英語も残っているのに、果たして試験日までに間に合うかな。

佐賀県には、清水の滝という名所がある。

日本の名水百選にも選ばれているそうだ。

(京都と同じように、そばに清水寺というのもある。関係ないと思うけど)

今日は、この辺の名物・鯉料理を食べに行った。

去年くらいに食べに行ったお店が定休日だったので、別のお店に。

鯉定食は、「鯉のユッケ」「鯉のあらい」の舟盛り、「鯉こく（味噌汁）」など鯉尽くし！

前回食べたときは、泥の臭みが少々気になったのだが、今回はそんなこともなく、美味しく頂いた。

舟盛りは食べきれないくらいに量が多いし、ご飯・鯉こくもお代わり自由。

これで¥1600円はなかなかお得だと思う。

ただ、鯉にはビールがあまり合わないということを知った。



2002.08.03 Sat あこがれ

---

昼間、珍しくNHKの教育番組を観ていたら、鈴木重子さんという女性が出ていた。英会話の番組だったけど、鈴木さんはJazz歌手だけあって、なかなか発音もよく、そして、何よりよかったのは、彼女の表情の豊さや、独特の物腰だった。

すごくおっとりした話し方をするので、最初はちょっと驚いたけど、なんだか見ているうちに、心地よい雰囲気の人だと思うようになった。

特にTVでは、テンポよく早口でしゃべる出演者が多く、頭の回転の悪い私についていけない時もある。

だから、こんなゆったりしたペースで丁寧にしゃべる人を見ると、なんだか安らぎをおぼえる。

番組の終わりに鈴木さん作詞・作曲の歌を聴いたけど、Annie Lennoxを思わせる、ゾクッとするような素敵な声だった。

いいなあ、こういう人。

徐々に憧れという感情を抱いた気がする。

たまには教育テレビもいいもんだ。

アルバイト先の中学校では、毎回違う顔ぶれに会える。  
今日登場したのは、ちょっと風変わりな生徒だった。  
私が看視してるのはプールの一番奥で、普通、生徒は私とは対岸にあたる所から入水し、泳ぎ始める。

その女子生徒は、奥までゆっくりと歩いて、直接私のところに来た。  
そして、私に向かって  
「のこぎり大作戦。」  
とだけつぶやき、にやっと笑みを浮かべた。

「??？」  
私は訳が分からずに、  
「なあに、それ？」  
と訊いた。  
だけど、彼女は説明もせず、とりとめもない会話をした後、泳ぎに出た。  
変な子だなあと思いながらも、プールの看視を続けた。

その子は、グループで来ているバレー部の女子生徒たちの所に向かって行った。  
そしたら、その女子達は、避けるように、逃げるように散らばっていった。  
そして、5分も経たないうちに、  
「もうかえろ～！」  
と呼びかけあって、全員プールからあがってしまった。

残されたその子は、次に男子達の所に泳いで行った。  
その姿は積極的に仲間に入ろうとしているようにも見えるのだが・・・。

その頃、5～6名いた男子達も、  
「寄るな、寄るな～！」  
と言って、彼女によってたかって水をかけたり、逃げたりしている。

男子達もそのうちプールから出て更衣室に戻った。

最後にプールからあがった彼女はどこか寂しげな顔をしていた。

私はあがってきたその子と、普通に会話をした。

時々分からないことを言うけれど、他の生徒より落ち着いてしゃべれる。

なぜあんなに敬遠されるのだろう？

ちょっと時間を共にしたくらいでは、イマイチその理由がよく分からなかった。

私も中学の時に、いじめではなかったが、暗に避けられたことはあった。

どうして私は周りの子になじめないんだろう？

と、もどかしい気分だったのを覚えている。

そんなこともあって、疎外されている生徒を目の当たりにした今日は、少し心が騒いだ。

毎日、恐ろしいほどの陽射しを浴びながら30分もかけて通勤するのは、辛いものがある。で、少しでも気を紛らそうと、MDを聴きながら自転車をこいでいる。時々、鼻歌まじりで。

今日は篠原美也子を聴いていた。

『満たされた月』というアルバム。

力強い歌い方。でも、少々酔ったようなクセのある調子なのが耳に障ることもある。定まった旋律に到達するまでに経由地点があり、もっと素直に歌えばいいのに、と思う。

だけど、この人のいいところは、詞。

詞だって、量が多くて、詰めこみすぎの印象も受けるが、たまに、はっとするフレーズがある。そういう理由で、むしように聴きたくなる時がある。

私はいつからラーメン好きになったんだろう。

本日は“一休軒”に行った。

通ってた中学の目の前にあったにもかかわらず、同級生のお家が経営してる店だったにもかかわらず、

今まで行く機会も、興味もなかった。

高校生くらいまで、ラーメンを食べたいなんてことはなかったと思う。

だけど、最近、Rちゃんから美味しいヨ、というのを聞いて、一度食べに行こうと張り切っていたのだった。

お店は満席で、相席をたのまれた。

Rちゃんはラーメン&餃子、私はラーメン&おにぎりを頼んだ。

普段、ラーメン屋でご飯を注文することはないが、直感的に、ここのラーメンはご飯に合うような気がしたのだ。

予想通り、私はラーメンを食べながらも、白いおにぎりがすすみ、見事、ラーメン1杯、おにぎり2個をたいらげたのだった。

最近人気のさっぱり系のとんこつよりも、この、とんとんしたスープが美味しいと思う。

多分、私がラーメンを好きになったのは、コクがあるとんこつの久留米ラーメンを食べた時以来だろう、と思い出した。

食べ物の好みって、年をとれば変わるようだ。

昔はお菓子大好きで、ケーキの食べ放題なんかに行ってたのに、今はもう無理というか、勘弁して、という感じである。

## 2002.08.05 Mon 『千と千尋の神隠し』

---

母の店が終わって家に帰ってきた後、もう夜遅かったが、借りてきたビデオと一緒に観た。  
『千と千尋の神隠し』（DVDではないので画面の赤みはなかった）。

私は去年、映画館で観たので2度観ることになったのだが、初回よりも面白く感じられた。

以前この映画を観たときは、実はそれほど印象に残らなかった。

ナウシカやラピュタに較べると、ずいぶんとこぢんまりとしてるなあ、キャラクターは魅力的だけど・・・

くらいにしか思ってなかった。

だけど今日は、ドジでひ弱な“千”が、だんだん強く成長していくさまになんとか勇気づけられたり

、  
登場人物の気持ちに感情移入したり、と、新鮮な気持ちも。

登場人物から小物に至るまで、緻密に描かれているのを見るのも楽しい。

変身させられた豚の醜さ、布団の模様、マニアックな小さなキャラクターまで、目を配るとキリがない。

こんなことアニメだからできる、というようなファンタジックな面も、なんだかワクワクして、とにかく全体的に楽しみながら最後まで観ていた。

映画の感想というものは、自分の内面的な状態によってもその都度変わるのかもしれない。

本日のプールは50名を越え、大繁盛だった。  
私は看視してるときに、常に人数を数えて安全確認してるのだが、  
こうたくさん泳いでいると、もうお手上げだ！

気持ちよさそうに泳いでいる生徒を50人も見たら、もう我慢の限界。  
・・・ということで、帰りに寄って来ました、プールに。

家の近くにある県営プール。  
ここには屋外プールと室内プールがあり、私は室内に。  
久しぶりに泳ぎ、生きかえたような気分だった。  
多分、自分の前世は水に住む生き物だったにちがいない。

今日は久々だったので、無理のないようトータルで1km泳いで帰ることにした。

900m泳ぎ終わったところで、隣のコースにいる女性から声をかけられた。

「ここは股関節かしら？」  
と自分の腿の前の方を指して、私にそう聞いた。  
「そうですね。どうかされたんですか？」  
・・・と話をしているうちに、コースロープを隔てて、何十分も話しこんでしまった。  
どうやら、彼女は水中でウォーキングをしているうちに、股関節を痛めたらしい。

そのうち、彼女の娘さんの話になり、私と同じような年頃だということ、今は東京にいて、なかなか帰って来ないこと、  
などなど、赤の他人の私にいろいろと話し出した。  
私のことが実の娘さんとダブって見えるらしく、時折涙ぐみながら話していた。  
だけど、最近ではポジティブに、人生を楽しく生きようと思ってると話してくれた。  
彼女は57歳だそうで、身体は元気そうで笑顔も素敵だけど、どこか寂しそうな表情をしていた。

誰でも、何かを頼りにしなければ生きていくことができないんだと思う。  
それは、子どもであったり、親であったり、宗教や思想や仕事や趣味であったり、人によってさまざま。  
私もどんどん年をとって行く訳だけど、たった1度の人生をどうにか楽しんで生きていきたい。  
精いっぱい生きて、考えて悩んで、昇華して、充実させる。  
その繰り返しかもしれないけれど。

自転車で中学校へ向かっている途中、雨が降り出して、よほど引き返して母に送ってもらおうと思ったが、

それも面倒だったのでそのまま向かった。

雨は一時的なもので、だんだん止んできて晴れ間も見えてきた。

そして、中学校に着いたとたん、辺りは真っ白になるほどの大雨。

それでも、私はとどまることなく、職員室から荷物を持ってプールへ向かった。

長いジーンズがびしょぬれだった。

女子中学生が泳ぎに来たけれど、あまり長居せずに帰ってしまい、後は閑古鳥が鳴いていた。

どんよりしていた空には、光が戻ってきた。

そのうちにうとうとと眠ってしまいそうになった。

終了間際、また大雨が来た。

私はこれから帰るというのに～、と誰もいないプールで文句を言っていると、そのうちにピタリと止んだ。

帰りは無事にお日様に照らされながら帰ることができた。

雨女、返上してもいいかな、とちょっと嬉しかった。

深夜、筑紫野市の温泉に繰り出した。

夜の街が見えるパノラマ温泉！なんて謳っているけれど、女湯には風情のないすりガラスが。

夜景は露天風呂に入っているときには全然見えない。

風呂から立ち上がり、さらに石垣に上るとやっと夜の街並みが見える。

ちょっとダマされたような気分だった。

だけど、やっぱりお風呂に入るのは気持ちよい。



今日もあまり生徒は来なかった。全部で10名ちょっと。

長い時間プールにいたのは、元気な女の子たち。

最初に私のところに来て、水泳帽忘れたしまったけれど泳いでいいかと尋ねた。

かぶるのはきまりじゃないから、別にいいよ、というと、次に別の女の子が、浮き輪持ってきていい？と聞く。

う～ん、浮き輪は・・・。

いいのかな？と思ったけど、つい「いいよ」と言ってしまった。

プールにカラフルな浮き輪がぷかぷか浮いてるのを想像したら、ちょっとヤバイような気がした。

担当の先生が見たら怒りそうだ。

まあ、そんな時はそんな時。

夜、母とサヨミさんと3人で歩いた。

私は一昨日泳いだので、腕が筋肉痛だった。

腕の力が恐ろしく衰えてて、クロール100mを泳ぎ終わる頃にはフォームがガタガタに崩れてしまっていた。

「鍛えなければ。フォームを整えなければ。」

と、2人の後ろを歩きながら、必死でプルの練習をしていた。

左と右ではどうしても同じかき方ができないのもどかしい。

今日も生徒は10人と少なく、一組あがるごとに、また一組来て・・・と、みな貸切状態で泳いでいた。

2人で仲良く泳いでる兄弟の弟の方が私の所に来て、

「プールの底に何か落ちてる。」

と報告してきた。

何かというのは、コンクリートの塊で、プール周りの部分が老朽化して欠けているのだった。

兄は一生懸命にもぐって、拾い集めて私のところに持ってきた。

私はプールサイドの端の、同じような石がたくさん集めてある所にそれを積んでいった。

そんな共同作業をした後、兄弟はプールからあがって着替えてきた。

兄のスタンプカードを見ると3年生だということが分かった。

「受験だね。どこ受けるの？」

と聞くと、

「K高校、土木科造園コース。」

とはっきりと答えた。

「庭を造る仕事がしたい？」

「いや、土をいじる方・・・。」

もう自分の将来をしっかりと見据えているようで、目の前の中学生が頼もしく遅しく思えた。

夢・希望がある人間を見るのは好きだ。

なんだか、生きてると実感させてくれるから。

プールの看視員も残すところ7日間。

やっと半分が過ぎた。

異常な暑さには参るけど、意外と楽しい。

2002.08.09 Fri 発見

---

やっと見つけた、あの人を。

あの人というのは、10年以上も前に一家で夜逃げしたお隣さんのこと。

急にいなくなっちゃうなんて、死の別れと一緒にじゃないか～、とその時は思ったものだった。

空っぽになってしまった家を見ながら悲しくてたまらなかった。

なのに、こんな情報が入ってこようとは！

インターネットってつくづく便利だな、と思う。

もともと頭のいい子だったが、人をまとめる立場で活躍しているとは驚いた。

今は遠くにいるし、連絡をとるつもりはないけど、とりあえず、生きててくれてよかった。

「曖昧」という言葉。

「はっきりしない」という意味。

人の気持ちや都合を考える。

一歩引いて・・・

相手にゆずったつもりで・・・

それが、人にとっては気持ちのよくないことでもあるらしい。

久々に母の店に行った。

久々にジャガイモとニンジンの皮むきをして、刻んだ。

カレーライス用に。

隣ではお手伝いのコガさんが見ている。

人前で料理をするというのは、自分一人のための料理の時と違ってなんだか意識してしまう。

ジャガイモひとつでも、大きさや切り方がバラバラにならないように、丁寧に刻む。

そんな風にしてできたカレーだけど、味はいつもと変わらなかった。

2002.08.12 Mon 中谷美紀さん

---

お休みの日というのは、とかくだらだらと過ごしがち。  
今日も母とお風呂に行った後は、家でごろごろしていた。

『ケイゾク』のビデオなど観ていた。

中谷美紀は好きな女優の一人。

『沙粧妙子』の悪役で出てたときのその存在感というか輝きは今でも忘れられない。

『ケイゾク』のとぼけたような（素のまま？）役もなかなかいいけれど。

彼女は黒い髪の方がゼツタイ似合うと思う。

母の知人から紹介を受け、今週末からアルバイトをすることになった。

久々の接客業。

2ヶ月前にオープンしたばかりのショットバー。

今日は、そのお店に行って打ち合わせをしてきた。

ケッコウ流行っているお店らしく、忙しそう。

私はその多忙な時間帯の夜3時間だけしか働かないけれど、空いた時間を活用するにはちょうどいい。

2002.08.15 Thu ギリギリ

---

就職試験を受けるための書類を郵便局に出してきた。

〆切間際の提出だった・・・。

時間はたくさんあったはずなのに、ギリギリにならないと行動しない私の悪いクセ。

直さないと、そのうち大変なことになる。



**2002.08.15 Thu 単発仕事**

---

登録してた派遣会社からいきなり電話がきて、昼過ぎから夜まで働いてくれ、と頼まれた。

高速で1時間近くかかる日田まで運ばれ、派遣先に着くと早速作業開始。

ただひたすらDMの封筒のり付けをするだけだった。

山積みされた何万もの封筒を・・・。

それは集中力との闘いで、まさに無我の境地とも言うべき体験だった。

先に着いていた人は朝8時から半日以上もこの作業をしていたらしい。

多分、私だったら気が狂いそうになることだろう。

2002.08.21 Wed 石

---

昨日のお昼は母のお供でドライブ。

父の墓参りに行って、それから山へ。

“気”が出る石のある所まで登って行った。

この石に近づくと、“気”を感じるそうである。

私は母のように気功も習ってないし、石の前に立っても何かを感じることはできない。

ひんやりとした空気が漂ってるなぁと思うくらいだ。

母の場合は、この石に接すると元気になれるそうだ。

不思議で不可解だけど、何かが作用しているみたいだ。

## 2002.08.21 Wed アルバイト

---

夜9:00からのアルバイト開始。

キッチンにて、いろんなフードメニューの中から、主なものの作り方を教わった。

キッチンもカウンターも狭くて、なんとも動きづらい。

今までいろんな飲食店で働いてきたけど、今回のお店はワースト1かもしれない。

狭い造りなのはしょうがないけど、動線が確保できないのはホントに困る。

これから苦勞するなあ。

キッチンにいと、なんだか聞いたことがある声がした。

カウンターに出ると、なんと高校時代の同級生が飲みに来ていた。

7年ぶりに会ったけど、名前と顔だけはお互いに覚えていた。

働いた初日で知り合いに会うとは、ちょっと気恥ずかしかったけど、懐かしく嬉しくもあった。

母達と先日引き続き、また山へ出かけた。

お昼ご飯を食べに。

そこには大変感動的な美味しいものが待っていた。

山でとれたものづくりの食事。

山菜の炊きこみご飯に、虹マスの揚げ物、猪のたたき、山菜や花の天ぷら、新鮮なトマトサラダ

、

素材を生かした味付けのポテトサラダに、茄子の漬け物・・・etc。

お茶は“ゲンノショウコ茶”という変わった名前のももの。

どれもこれも山の幸を丁寧に調理したもので、季節感を味わえる食事だった。

2002.08.22 Thu 惰眠

---

夕方5時過ぎまで寝ていて、せっかくの休みを睡眠に使ってしまった。

たくさんの夢を見たと思う。

夢の見すぎで、起きた時にはたいへん疲れてしまっていた。

見てもしょうがない夢ばかりだったので。

今日もプールの看視バイト。

やっと今週で終わりだ。

この仕事が終わるということは夏休みももう終盤ということだ。

ホントに時間の経つのは早いと思う。

学生の頃はこの時期になると、いつも焦っていた。

「宿題、何にもやってないよ〜。」と。毎年毎年学習能力もなく・・・。

いつもの道を自転車で走っていると、公園には大量のゴミが。

日曜日、バーベキューをしたグループが残していったものだ。

紙皿、コップ、空き箱、食品トレイ・・・、すべて置いていったというように、散らかっている

。

また別の所には花火の残骸があちこちに散らばっている。

こういう有り様を見ると、腹も立つけど、悲しくなる。

なぜ、きれいな場所を汚して帰って平気でいられるのだろうか。

同じ土地の人間として、恥ずかしく思う。

自分たちの遊び方のルールには、「後片付け」という項目も入れておいてほしい。

って、これはいい大人に向ける言葉じゃないと思うんだけどなあ。

## 2002.08.22 Thu 再会

---

ある採用試験の願書を出しに行った帰り、幼なじみのあっこに偶然会った。

二人とも自転車同士で乗ったまま話を始めた。

「積もる話もあるし、近いうちに会おうね。」

と言って1ヶ月半。

こんな形でバッタリ会うとは・・・。

彼女とは小学校の4年間同じクラス、中学では別々のクラス、高校では3年間同じクラス、と、なかなかの縁があり、一緒にいることが多かった。

話して近況を報告すると、同じ試験を受けるのだということが判明した。

身近な所にライバル(?)が現われて、ちょっとは努力しようという気が起きてきた。

きのう、初めて中洲の屋台に行ってみた。

屋台でラーメンを食べるのは初めてだった（おでんは食べたことあるけど）。

行列というのは、どんな広告にも勝る宣伝だ。

行列ができていれば、きっと美味しいだろうと思って並ぶ。

まずいものを食べさせられることは、まずないだろう、と。

そして、私もその法則(?)に逆らわず並んでみた。

待つこと、20分くらい。

屋台のカウンターだけではキャパが小さすぎるので他にもビール箱を積み上げた簡易テーブルがあった。

そこでラーメンを食べていたら、屋台のおばちゃんが、早く食べろと言わんばかりに前に立ちはだかっている。

これで期待どおりの味なら文句はないけれど、油っぽいだけのコクも何もないラーメンだったので、

思わず難クセをつけたい衝動にかられた・・・。

しかし、「待たされ、急かされ、美味しくない」ラーメンを選んだのは、誰でもない自分なのだ。

行列のできる店が美味しい、とは一概には言えない。

難しいところである。



2002.08.27 Tue 太宰府

---

太宰府天満宮にお礼参りに行った。

実は、私の大学受験の時に母と兄が合格祈願に行ってくれたのだが、合格できたにもかかわらず、お礼がまだだったのだ。

太宰府駅を降りたら、5分ほどでお宮に着いたけれど、その途中もずっとお店が建ち並んでいて飽きなかった。

遅すぎるお礼参りと、就職試験の合格祈願をして境内をぐるっと歩いた。

境内にはカメがたくさん悠々と泳いでいた。

私は泳ぐカメというのは初めて見たかもしれない。

ペットショップや、人んちで狭い水槽の中に飼ってあるのしか見たことがない。

生き生きと泳ぐカメは、幸せそうに見えた。

母が久々の休みをとったので、二人で旅行に出かけた。  
旅行といっても車で2時間もかからない福岡県原鶴温泉という所へ。

朝家を出ても、十分その近場を散策する時間があったので、高塚地蔵へお参りに行った。  
何体ものお地蔵さんが安置してあり、乳の出がよくなるお地蔵さまということらしいが、願い事は何でも(?)かなえてくれるらしい。  
たくさんの方が参拝しに来ていた。

非常に暑い日で、お堂までの長い階段を上るのがややきつかったけど、  
お地蔵さんの優しい顔を見ていたら、なんだか安らいだ。

宿には6時前に着き、温泉と初めての垢すりエステを体験した。  
垢がどっさり出るのかと思ったら、それほどでもなかった。  
けど、スッキリして気持ちよかった。

浴衣姿で母と散歩した。  
夜の温泉街の情緒あふれる雰囲気を楽しんだ。

アルバイトではフードメニューを任されています。

スパゲティもゆでます。

スパゲティのゆで時間というのは難しくて、ちょっとずつ固さを見ながらゆでます。

あ、まだ芯がだいぶあるな、と思ってそのままにしてたら、あっという間にふにゃふにゃになってしまいます。

ほんの少し芯が残るくらいがちょうどいいのですが、そういうアルデンテに仕上げることはなかなか容易ではありません。

これを極めることが今の一つの目標でもあります。

バイトしてる店に、近所で働いてる公務員の男性が来た。  
常連さんなのだそうです、私は初めて会った。  
なのに、やたら私に話しかけるので、グラスを拭きながら相手をした。

なんだか小難しい話をしている。  
言ってることの1/3くらいしか理解できない。  
頭にスッと入ってこない話というのは聞くだけでもつらい。  
彼は、「公務員とはなんぞや」「マスコミ廃止論」を主なテーマとして語っていたのだが、まるで講義をしているようだった。

しかし、途中から、どうも話が要点をついてないな、支離滅裂だなと感じ、  
目を見ると、トロンとして眠そうに見えた。  
そう、彼は酔っ払っていたのである。

忙しくなってきたので、私が厨房へ下がると、しばらくして帰って行った。  
話の途中だったので、続きはまた今度、と言い残して。  
今度来たときは忘れてくれてたらいいな、と願うばかりだ。

一人で飲みに来るときは、酔っ払う前に帰りましょう。

思考と感情のバランスが大切だと思う。

感情に比べ、思考は時に面倒さがつきまとう。

しかし、何かに接する過程で、考えることをおろそかにするのは良くない。

問題を解決するのに思考は不可欠だから。

感情中心で生きずに、現実を深く見据えることも忘れないようにしたい。

今日は食材のお買い物に行ってきました。

その店は看板に「プロの食材の店」とあって、以前から興味があったのです。

自動ドアを抜けると、ふつうのスーパーとは少し違う感じ。

置いてある商品はどれも大きめで、パッケージもシンプル。

普段目にしない業務用の食品専門のお店だったのです。

パン粉1キロとかドレッシング1リットル、漬け物一樽なんてのは用もないけど、多種類のチーズや調味料や世界各国の麺など揃ってて、見てるだけでも楽しかった。

牛乳を混ぜるだけで簡単にムース（イチゴ・抹茶）になるやつとか。

安いバイキングなんかのデザートに出てくるんだろうなあ。

探してたガーリックマーガリンを発見。

これを塗ってガーリックトーストにすると、美味しいんだ。

他にもいろいろ掘り出し物を見つけ、カゴに入れてった。

嬉しいスーパーだった。

料理するぞ。

2002.09.02 Mon 2ヶ月

---

佐賀に帰ってきて、はや2ヶ月。

最初は職もなく落ち着かない毎日を過ごしていたが、そろそろ7年のブランクも埋まりつつある。

ここの良いところは、とにかく自然が多いところ。

そして、高い建物が少ないので、空が美しい。

夜なんかプラネタリウムのような。

あとは・・・物価が安い。テレビチャンネルが多い。

福岡や長崎に隣接していて熊本にも近いため、各地の電波が入ってくる。

韓国や中国のラジオ放送まで聴けたりする・・・。

都会のような、中心部的な情報や物に満たされた楽しみ方はできないけど、それなりに満足している。

## 2002.09.04 Wed Swimming Pool

---

昼下がり、母と近くのプールに泳ぎに行った。

最初は25mの室内プールで泳いでいたが、混んでいたのが外の50mプールへ移動。

そこは空いていて、広々と1コース使えることができた。

ただ、水深が140cmもあるので、ウォーキングする母には適さず、彼女はいつのまにか元のプールへ戻ってしまった。

暑い日だったこともあって、屋外のプールの方が水温がちょうどよかった。

私はそのまま気持ちよく泳ぎつづけた。

泳ぐときのピチャピチャと水のはねる音や、プールの中のくぐもった音が好き。

私にとって、水に浮かぶことが最高のリラクゼーションかもしれない。

そんな感じで1時間近くも泳いでいたら・・・

また日焼けしてしまった！



## 2002.09.04 Wed 面接

---

派遣会社から仕事を紹介され、なかなか興味のある仕事だったので話を受けた。

今日は派遣先の会社で顔合わせだった。

派遣会社のスタッフに付き添われて行った。

応接室のようなところに通され、部屋には偉そうな人が二人座っていた。

私は打ち合わせ通り自己紹介をし、いろいろ質問もした。

顔合わせというが、面接のようなものだった。

徐々に堅い雰囲気緊張感を味わった。

午後にスタッフから連絡がきたけど、採用の返事はまた今度ということで・・・。

果たしてどうなることやら。

一度は涼しくなったのに、また夏に逆戻りしたように暑い。  
夏は季節の中でも一番好きだけど、今年は分らず屋がやってきたようだ。  
何とも相手しづらい。

隣は業者で、そのエアコンの排気口から出る熱い風がわが家を襲う。（エアコン4基分！）  
だからウチのクーラーは昼間は全然きかない。  
これも公害？

アルバイト先にはお役人がよく来る。  
こないだ来た人とは違うけど、またもや独演が始まった。  
今日のお題は「なぜ人は人と一緒に食事をするのか（団欒の起こりについて）」だった。  
彼によると、仏陀がカースト制を否定し、貴賤の別なく同じ物を食べることの意義を説いたから  
だという。  
だから団欒というのは仏陀の教えが広まって以来のものである、と。

納得するには至らなかったけど、まあまあ面白かった。  
公務以外にもいろいろ考えているんだなあ。  
だけど、どうも説教くさくて苦手な人種だ。

**2002.09.06 Fri** ふりだし

---

今日、派遣会社を通じて電話がきて、例の仕事の話、断られました・・・。

私の就職活動はふりだしに戻ってしまったという訳です。

人生はそう甘くないんだなあ・・・。

## 2002.09.06 Fri My Birthday

---

「おめでとう」のコトバをくれた方々、「ありがとう」  
生んでくれたお母さん、ご先祖さま、「ありがとう」

母と鹿島の温泉に行った後、久々に美容院に行った。  
髪をばっさり切った。  
ついでにちょっと色も入れてみた。

「美」意識というものに疎い私に、初対面の美容師のおねえさんは親切にアドバイスしてくれた。  
まるで子どもに話しかけるように・・・。  
26歳にもなって化粧の仕方や眉の切り方も知らんのか！と内心思っていたことだろう～。

それからアルバイトへ。ギリギリ間に合った。  
お客さんが「ハーピーバースデー♪」と歌ってくれた。  
教えてもないのに！！と感激して涙が出そうだった。  
どうやらオーナーが履歴書見て覚えててくれたらしい。  
優しい人たちに囲まれ、幸せな一日だった。

## 2002.09.12 Thu LIVE

---

私が毎年楽しみにしている長渕LIVE！

今回は横浜スタジアムのみでやるということで、飛行機で東京へ向かった。

飛行機は30分近くも遅れてしまったけど、なんとか開演に間に合った。

初めて観る野外LIVEということで、ワクワクしどおし。

ふと、空模様があやしいことに気づいた。

雨が一時的に降った。

Uさんによると、昨日は大雨で大変だったそうだ。

まったく知らなかった・・・。

とれた席は距離的にはステージに近かったが、一塁側スタンドで、サイドから見る形だった。

でも大画面が設置されていたので、見えなくて困ることはなかった。

歌詞をど忘れした場面までアップで映ってしまい、観客から一気にはやし声が飛んだ。

その時のニヤリと笑った表情が実にお茶目であった。

ギターの音に、生の声に、酔いしれた。

歌を口ずさんだ。

これでもかというほど、空を殴った。

長渕は、自分の歌を噛み締めるように歌っていた。

アンコールはいつもと違い、バースデーソングで迎えた。

3万もの観客から「ハッピーバースデー♪」と歌ってもらえるってのはどんな気分なんだろうなあ。

長渕のLIVEはいつも筋力との勝負だ。

20時過ぎに終わる頃には、へとへとだった。

しかし、これがいいんだ。

LIVEが終わると、どしゃぶりの雨！

それまで何かストップをかけていたように。

Uさん、忙しい中、付き合ってくれてありがとう。

相変わらずの例え話も。

思い出すと、苦悩の様子が改めてよく分かるよ。

## 2002.09.13 Fri ペルー料理

---

ペルー料理を食べに行った。

自動ドアが開くと、中にいたお客達が一斉にこちらを向く。

誰一人として日本人はいなかったので、圧倒されて思わず逃げ腰になった。

初めてのペルー料理。数多くのメニューを見ながら15分は迷った。

薦めてくれた料理も含めて、4品注文した。

ジャイアントコーンや香菜が入ったイカのマリネ、ミルクスープヌードルなどなど・・・。

どれも今まで食べたことのない味だった。

バジルのスパゲティでさえ、ペルー風(?)で風変わり。

緑の麺の下に、ボイルされた厚切りのポテトが隠れているのだ。

イタリアンとは違って、麺は太くてぼそぼそした感じだった。

どれ一つとして食べられないものはなかったけど、特別美味しいとは思えないものばかりだった

。

ペルー人の子どもがちょろちょろ歩き回っていたけど、目も頭もクリクリしてて可愛かった。

## 2002.09.13 Fri 会いたかったよ

---

久々に淳子と会った。

多分、1年半ぶりくらい。

餃子を食べながらいろんな話をした。

芝居好きの彼女が、今は映画を趣味としているらしい。

仕事は大変そうだけど、落ち着いた生活を送っているんだろうなあ、と安心した。

大学に入りたての頃は、ビールがちっとも好きじゃなかった淳子。

今はメニューも見ずに真っ先にビールを注文する。

年取ると好みは変わるもんだね、と二人で笑った。

こないだの引っ越しの際に業者さんが自転車を運ぶのを忘れていった。  
今回、中野のアパートに行くと、台風や大雨にさらされた私の自転車を確認した。  
つるがぐるぐると絡まって、まるで支柱のような役割を果たしていた。  
それを取り除き終わるまでに蚊に4~5ヶ所刺されたが、なんとか乗れる状態に。  
でもタイヤはペコペコで、近くの自転車屋で空気入れをした。  
それで快適に走れるはずだったけど、なんとブレーキもきかない。  
自転車屋さんに相談したら、5000円はかかるとのこと。  
あきらめて、処分しようと思いついた。  
で、またうろうろしてたら、別の自転車屋発見！  
「自転車の引き取りはやってますか？」  
と声をかけたら、そこのおじいさんは、  
「やってないこともないけど、ウチが1000円頂くことになるんだよ、バカらしいでしょ？」  
と親切に答えてくれた。  
「実はブレーキが壊れちゃって・・・。」  
と話したら、少しお金がかかるけど、直してくれるとのこと。  
3000円で、と言われた。  
その値段ならお願いしよう、と思い、預けた。

そして、今日、取りに行った。  
ブレーキは完全に直っていた。スゴイ！おじいさん、ありがとう！  
と、喜んだら、長い長い世間話が始まった。  
「私は大正5年の生まれでね...」  
次のパンク修理のお客さんが来るまで、おじいさんの若かりし頃の話聞いていた。  
お年を召されて耳が遠くなっていたみたいだけど、作業の丁寧さには本当に感心した。  
どこか他に調子の悪いところは？と聞いて、細かい所まで直してくれるのだ。  
妥協のない仕事ぶりを尊敬する。  
ものを大切にしようという心がもう一度生まれた。

私は自転車とともに19:10発のフェリーへ乗りこんだ。  
明後日5:00に九州に着く。



船の中は快適。スタビライザーとやらが搭載されており、それが揺れを防いでくれてるようだ。お風呂はなかなか勢いよく波立ってるから、揺れてないことはないんだと思う。でもフェリーでは酔ったことがない。釣り船の時は大変だったけど。

あまりにも長い船の中の時間。

みんな思い思いに時間を使っている。

客室で本を読む人、昼間もただひたすら寝る人、ゲームやテレビコーナーで暇をつぶす人・・・。

私は喫茶室で、問題集を開いた。

窓際に4人用の白いテーブルと椅子が10以上も並んでいる部屋。

奥の一つを自分のスペースとした。

周りには誰もいなくて静かで、海を見ながら勉強に集中した。

お昼過ぎ、同じ客室の5人は皆、徳島で降りてしまった。

お互いに言葉をかけあい、見送った。

広い部屋に私一人残されて、なんだか寂しかった。

徳島からも誰も乗ってこないし・・・。

午後は昼寝したり、お風呂に無駄に長くつかったり、デッキで景色を見ながら過ごした。

フェリー乗り場にあった張り紙を思い出した。

行方不明者捜索のTV番組でも出ていたが、宮本さんという人がこのフェリーに乗って以来消息を絶っている。

事件か事故か。

だけど、下船した後がないというから、彼はきっとこの広い海の中にいるような気がする。

長かった船旅も終わり、朝5時に九州に上陸。

そこから自転車とともに、とにかく走った。

地図を見ながら、なるべく山越えをしないように、大きな道を走った。

とは言っても、山を越えなければ抜けられない道もあり、そこは自力でこいだ。

今回走ってて思ったのは、自転車や歩行者が通る道というのはホントにないがしろにされているなあ、ということ。

歩道が整備されている国道でも、いきなり自動車しか走れない道になってしまい、何度も迂回を余儀なくされた。

北九州から福岡までのサイクリング。

疲れたけどまだまだ行けると思ってた頃、自転車がパンクしてしまい後は車で運んだ。

パンク修理はできるのに、道具を持っていなかった。自転車屋も近くはない。

ということであきらめた。

ちょっと悔しかった。

夜、無事に家に到着。

今年の夏休みはこれでおしまい。

## 2002.09.14 Sat Refreshed

---

久しぶりのアルバイト。

金曜日だったこともあって、忙しかったけど、気分新たに元気に働いた。

力がみなぎっていると感じる。

リフレッシュされたみたい！

朝4時に母の店が終わり、その後、付き合いで近くのファミレスへ。

「居酒屋メニュー始めました」なんてポスターが貼ってあったので、私は一人でビールとおつまみを注文。

これから寝るだけなのに・・・。

深夜には食べないようにしてるのに・・・。

つつい誘惑に負けてしまった私。

母は雑炊を注文した。

けど、塩辛かったそうで、一口食べただけで箸を置いてしまった。

私も薄味好みだけど、食べられないほどではなかった。

ホント彼女は舌が敏感。

だけど、高血圧。

どこに原因があるのだろう・・・？

## 2002.09.16 Mon “流し”のおじさん

---

オーナーの昔からの知り合いOさんがバーに来た。

何十年もギターで“流し”をやっていたそうだ。

お店もだいぶお客様が引き、落ち着いてきたので、彼と話し込んだ。

音楽の話、家族の話、学生時代の話・・・。

私がお客様の話を聞く立場なのに、本当にこちらの話をよく聞いてくれた。

グラスを洗ったり拭いたり、ずっと手を動かしていると、

「少し、休みなさいよ。」

と言ってくれる、とても気持ちのあったかい人だった。

視力が全くないというハンデがあるにもかかわらず、こちらの状況を感じとってくれるのだ。

気分が後ろ向きで外に出たくない一日だったけど、人と話をするだけで、ずいぶん明るくなった。

村上春樹ではないが、河合隼雄先生に会いに行く。

佐賀には初めていらっしたそう。

「近ごろ老人力を発揮しているので確かではないが、“多分”来たことがないだろう。」とおっしゃってた(笑)。

お題は『21世紀に生きる』

関西弁でユーモアたっぷりに語ってくださって、なかなか面白い講演会だった。

心理学の専門的な言葉ではなく、一般人にも分かりやすくして。

相当な地位にある方なのに、全然偉そうな態度を取らない人なんだと知った。

「生きた心で。」が今日の主要テーマだった。

物が無い時代は、工夫を凝らして年中行事などを楽しもうと自然に試みたが、

今では物も情報もあふれすぎて、そんなものはただ通りすぎるだけの日々。

科学技術の進歩はおおいに結構。だけど、心の通い合いを失わないように、というお話だった。

主に、子育てをしている人向けの話だったけど、子どものいない私でもすうっと理解できて。

面白おかしくしゃべりながらも、要点をついているところがすごいなと思った。

ただ、希望を持たせる話だったが、理想論的な面があり、実践は難しいだろうな、という印象も。

12時から派遣先での面接。

自転車で指定された場所まで行くと派遣会社のスタッフが待っていたが、見覚えのある顔。

しゃべったことはないけど、同じ高校の出身だった。

なんか、同級生に仕事を与えられてる自分が情けなく思えた。

派遣のスタッフからは、

「面接じゃなく、顔合わせだから、気を楽に。」

と言われた。

しかし、実際、企業へ出向くと、

「この会社のイメージは？」「最近のニュースで印象に残ったものは？」「普段心がけていることは？」

などと質問された。

これが面接じゃなくて何なんだろう？

実は別の派遣会社にも同じ企業を紹介されている。

それをスタッフに打ち明けると、

「うちの派遣会社の名前は出さないように！」

と念を押された。

そして、

「採用されるかまだ分かりませんので、もっといい所を紹介するように頼んでおいてください。」

」

と言われた。

なんだか不信感ばかりが募り、派遣で勤めようとすることにちょっと嫌気がさした。

「第一希望でない企業の正社員になるよりも、派遣で短期の仕事をしながら希望の職を探していこう。」

と思っていたのだが、この戦略(?)は切り替えた方がよいのか、と疑問を抱きはじめている。

2002.09.19 Thu 慣れ

---

今夜も元気にアルバイト。

高校の同級生Yちゃんが23人引き連れて飲みに来た。

カウンターに入って、ドリンク作りを手伝ってくれた。

ありがたいこっちゃ。

やっと最近アイスピックで自分の掌を砕かなくなった。

「習うより慣れろ」

不器用な私はこうやっているいろんなことに慣れていくしかない。



**2002.09.20 Fri** ふられっばなし

---

先日の面接の結果も、×でした。

自業自得だと思っています。

今日は、求人誌を買ってきました。

これからは、気合を入れなおし、がんばります。

だれか、体力あり余り&働き盛りの26歳に仕事をくれ～！！

金曜日だったこともあって、バーは大忙しだった。

つまみ作りで厨房にこもりっきり。

一気にパスタ数種類、サラダなどの注文を受け、二口しかないコンロをどう操るか頭の中で考えていた。

下ごしらえをテキパキやらないと、あっという間にパスタは茹であがり、冷めてしまう。

あったかいものをすばやく出さなければいけないので、緊張感がたえない。

このひとは、いつもボーっとしている私が、思考をフル回転させる唯一の時間だ。

**2002.09.24 Tue アジアマンス**

---

母とアジアマンスのアジアフェスティバルに行ってきた。

JRを使って二人で出かけるなんて、ホント何年ぶりだろう！？

福岡に住む母の高校時代の友人と合流した。

私が赤ん坊の頃を知っているそうなのだが、私は覚えているはずもない。

でも3人で和気あいあいとアジア屋台料理とおしゃべりを楽しんだ。

30年以上経ってもこうやって会って一緒に過ごせるというのは、すごいことだなあと思う。

私の部屋の中で、幼稚園時代と小学校時代の通信簿を発見！

きれいに3年+6年分とっておいてある。

これを見ると、幼稚園～小学校高学年までの性格の変遷が手に取るようにわかる。

どの担任も遠慮することなく私の学校での様子を書いており、ま～恥ずかしい！

年少～年中2学期頃までは内気で、屋外で遊ぶよりもピアノを弾いたりすることを好んでいたが、その後、次第に協調性も出てきて、友達と外で元気よく遊んだり、先生に話しかけたりするようになり・・・。

小学生の低学年の頃は、おっとりしていて、発表の回数も少ないということだったけど、

高学年では、活発で下級生の面倒をよく見るなどと書かれていた。

親に言わせれば、手のかからないいい子だったらしいが、小さい頃は先生にとって問題も多々あったようだ。

性格はこんな風に移り変わりが顕著だけど、今は、総合してどれも「私」だと感じる。

人間の基本的な部分はそう変わるものではないな、と思う。

そして、私の人格はこの幼少時代の教師たちに矯正されたり改善されたりした部分が大きい。

人からの影響力「大」のこの時期の教育を担う人はホントに大変だなあって思う。

「明日は休みでしょ？」

と言われ、ほぼ強制的に午前3時過ぎまでの労働。

自分では予定通り2時で帰れると思ってたので、残業が決定した時の絶望感と言ったら・・・。

いや、決して働きたくないわけではないのだけど、定時が来て

「あ～終わった～♪」

と、ひとたび解放感を味わったので、疲れがどっと来てしまったのだ。

中学の先輩と偶然再会。

12年ぶりなので、記憶も途切れ途切れ。

そこで、押入れのダンボールをひっくり返し、過去の記事を探っていると・・・

しっかりと、その頃の記述が残ってました。

それを読むともう、まざまざと思い出しました。

それにしても、昔は、なんてハイテンションな文章だったんでしょう。

落ち着き払ってる今とは似ても似つかない。まったく別人のよう。

だけど、見習う点も（自分の文章なのにそう言うのはおかしいけど）。

表現が生き生きしてて、自由なんです。

制限されることが多い、狭い世界にいたのに、ホントに楽しそうでした。

今はなぜか、感情をあんな風にストレートに出すことができなくなっています。

2002.09.26 Thu 怪我

---

昨日、ダンボールをひっくり返してみて、ちょっと部屋の片付けをしなければと思い、  
本日はMy Room大掃除！

写真の入った額のガラスが割れていたのに気づかず触れてしまい、左手薬指をざっくり。  
バンソウコウを貼って、戻って整理を続けてたら、また別の指もやってしまった★  
己の学習能力の無さに嫌気がさした。

その後、アルバイトで洗い物をして痛いなのって。

朝（もうお昼に近かったが）、母に起こされウォーキングに誘われた。

ヒガンバナ咲き乱れる川沿いをゆっくりと歩いた。

いつのまにか昼間に散歩できるくらい、穏やかな陽射しになったんだね。

母は、人の家を観察するのがシュミである。

「この古い住宅地は、ホント静かね〜。もうみんな年寄りになって子どもがいないのね〜。」

などとブツブツ呟きながら歩く母に、こっちとしては少々辟易している。

そんなことには構わず、無邪気に人の家を覗きこむ。

まったく、好奇心旺盛なヒトだ。

1時間以上も歩いて、その後、私は派遣会社の紹介先へ。

先日受けた所からではなく、もう一つの派遣会社から紹介してもらった。

こないだダブルブッキングしたことは少々お怒りだったが、チャンスを与えてくれた。

あの一件以来、派遣による仕事探しはやめようと思ったが、感謝の意味も込めて受けさせてもらった。

この会社の紹介で派遣先に出向くのは初めて。

なんと車での送り迎えつき。

派遣会社の支社長と一緒に訪問し、自分の紹介をしてくれて、わたしも挨拶をした。

派遣先の支店長とは、互いの趣味の話が弾み、なかなか和やかなムードだった。

3人受けるらしいので、結果はまだ分からないが・・・。

さて、どうなることやら？

三度目の正直を祈ってます。



2002.09.28 Sat 三度目の正直

---

午前中、派遣元のA社から電話が来て、  
「おめでとうございます。採用されましたよ。」  
と心のこもった通知。  
嬉しかったなあ。  
「ありがとうございます・・・！」  
としみじみ返した。  
10月1日から働くことになりました。  
新しい環境でがんばってみます。

ホッとしたのでCDを買った。  
元サニーデイ・サービスの曽我部恵一さんのアルバム。  
これから楽しみに聴こう♪♪♪

2002.09.30 Mon 七山

---

車で50分ほどかけて、山のほうへ。

日帰り温泉に行ってきました。

栗、コスモス、ヒガンバナ、そして、うっすらと紅葉の兆し。

ドライブしながら秋とたわむれていました。

山へ入っていくほど涼しくなっていくのが感じられました。

温泉はやっぱり露天風呂に限る。

お昼、友達とパスタを食べに。

私はモッツァレラチーズ&トマトのスパゲティ、友達はほうれん草とベーコンのクリームスパゲティを注文。

ほうれん草がああな事情でブロッコリーに変わってた。

友達は、

「このほうれん草、固いな〜。」

と、ぶつぶつ文句を言いながら食べていた。

よっぽど、ほうれん草が恋しかったらしい。

夜はバーでアルバイト。

ここでもほうれん草とベーコンのクリームスパゲティを出しているが、材料はそのまま。

中国産のほうれん草ではない。

大きなお店では、客への配慮や仕入れの問題もあって、そう簡単にはいかないということかな。

## 2002.10.01 Tue 初出勤

---

どっきどきの初仕事。

8:40に派遣元のスタッフと待ち合わせ、10分後、一緒に新職場へ。

皆さんに挨拶をした後、女性の社員に更衣室へと案内してもらった。

初めてオフィスの制服を着た。

柄の入った白いブラウスの上に紺のベスト、そして同じ紺色のスカート。

自分で見ても似合わないと思ってしまった。

仕事が身につけばそれなりに見えるものなのか・・・？

一日働いてみて、楽しい人々が多い職場だと感じた。

緊張もそのうち解けてきた。

ただ・・・仕事が単調で、どうしても時間が過ぎるのが遅い。

こんなんでも給料をもらっていいのかな、と思うほど仕事の密度的には薄かった。

このつまらなさをどう打開するかが今後の課題・・・かな。

## 2002.10.03 Thu 2日目

---

2日目も元気に出勤。

制服があるので、今日はスーツではなく、どうしてもいい私服で出かけた。

茶色のローファーで会社に行ったんだけど、オフィス用の靴を忘れてしまった。

規定では、黒の革靴、ということになっているらしいが、早くも規則違反。

(革靴、ということで何も言われなかったけど・・・。)

ここでも、同級生(中学の)が働いていることが判明。

給湯室で立ち話をしてて、お互い「あッ」と思い出した。

なんて狭い場所なんだ、佐賀って・・・。

夜はバーでアルバイト。

一日12時間労働して、早くも休みが欲しくなった。

2002.10.04 Fri ひとりごと

---

なんだか熱っぽい。  
急に長時間労働を始めたからかな??  
だけど、本日の仕事は時間が早く感じられた。  
きっといろいろと雑用を頼まれたから。  
忙しい方が楽だな。  
度合いによるけど。

ところで、まったく違う話。  
カタツムリは好きなのに、ナメクジは嫌い。  
ハムスターは好きなのに、ネズミは嫌い。  
これって矛盾してるのかな。

2002.10.05 Sat 谷村有美

---

毎日、職場に行く時は、自転車ながら音楽を聴いている。

久々に谷村有美を聴いた。

彼女の澄んだ声にはハッとさせられるものがあるって、心が洗われるよう・・・。

疲れがほぐされる感じがする。

でも「恋に前向きに生きる女性」的な歌詞が多いので、あまり入りこめずにいると、

『朝は朝 嘘は嘘』という曲が聞こえてきた。

淡々と心境を歌っていて、乾いた感じのところが今の自分にリンク。

2002.10.06 Sun 土曜日

---

土曜日も、普通に出勤。

だけど、なんだか浮き足立ってる気がして、どうもいつもと調子が違う。

・・・と思ってたら、先輩のIさんが、

「土曜日ってなんかそわそわするよね～」

と一言。

この空気は、他の人も同じように特別だと感じてたらしい。

土曜日には仕事がお休みのお客さまが多いので、電話も来客も頻繁。

あっという間に夕方になってしまった。

さてと、明日はこちらもお休みだ。

何をしようかな・・・？



2002.10.08 Tue 雨

---

お昼は母達と3軒隣のイタリア料理店に行って、ランチを食べてきた。  
¥1500のランチをおごってもらい、ついでにワインも飲んでしまった。  
昼間からほろ酔い気分・・・いいんでしょうか？  
ま、いいよね、お休みだし♪

小学校時代からの友達に久しぶりに電話をかけたら、地元に戻ってきてるとのこと。  
なんとうちから数百メートルの病院で働いていたのだ。  
それから、長年連絡をとってない横浜の友達にも手紙を書いた。  
一日、ゆったりと時間を過ごすことができたように思う。

2002.10.08 Tue 嬉野

---

二連休の2日目も、母達と行動。

嬉野の日帰り温泉&肥前夢街道という小さなテーマパークに行ってきた。

温泉は露天風呂が広くて、見晴らしもよくて、とてもいい気持ち♪

メジロが木の实をついばむ様子を楽しんでいた。

肥前夢街道は、江戸時代の街並みを再現したようなつくりになってて、

できてからもう何年も経つのに、初めて訪れた。

駕籠（かご）屋や、水車小屋などが建ってて、普通に中を覗ける。

こういうセットって結構好きだったりするので、楽しかった。

だけど・・・あまりに閑散としてて街娘や忍者達がかawaiiそうだった。

**2002.10.14 Mon sora**

---

九州は、晴れの日が続いている。

いつも西向きで仕事をしてるので、夕方には西日をいっぱい浴びなければならない。

ガラス越しに毎日夕焼けを見ていると、同じ空でも毎日違うものが見えることに気づく。

今日のsoraは最高の絵だった。

真っ赤なじゅうたんが掛かってるようだった。

美しいのだけど、何かが起こりそうな胸騒ぎを起こさせるsora。

明日もきっと晴れる。

## 2002.10.15 Tue 自転車通勤

---

本当に寒い朝だった。

わたしは、Tシャツにトレーナーにジャケットを羽織って自転車をこいで会社へ行った。

会社ではわたしとIさんの2人以外はクルマ通勤。

Iさんは自転車で5分程度、わたしは15分程度かかる。

15分も自転車こぐの！？と、クルマ社会のこの土地では変人扱いされるけど、きっとクルマはしばらく買うことはないだろうね。

(というか、経済的余裕がなく買えないと言った方が正しい。)

だけど、これからどんどん寒くなる。辛くなるなあ・・・。

## 2002.10.16 Wed 寄り道

---

次の日も朝から仕事が控えているのに、夜はアルバイト。

いつまでこんな生活が続けるんだろう～。

仕方ない、と思いながらも、バイトではいいように扱われ、定時で帰してもらえず、なんだかボロボロな気分だった。

こんな日は、居心地のいいところに行きたくなる。

別のバーにちょっと寄り道。0時を過ぎていたんだけど・・・。

こちらのバーでは、一人でもなんだかゆったりとした時間を過ごせる。

ここへ来ると、マスターとお互い興味のあるお酒や音楽の話をして、落ち着きを取り戻す。

小さいバーだけど、ジンジャービアーを置いていたり、生のフルーツを使ってカクテルを作ってくれたり、

と、嬉しいサービスをしてくれる。

わたしにとってはストレス解消の場（Bar）かな。

## 2002.10.19 Sat 歓送迎会

---

会社の歓送迎会があって、仕事の後、一旦家に帰ってから、会場へ向かった。

佐賀の街の小料理屋で20名ほど集まって宴会をした。

わたしは歓迎される(?)側で、ちょっと挨拶をしたけれど、大勢の前でしゃべるのはホントに苦手。

それも急にふられたので、なんともオチのない話をしてしまった。

鍋や刺身を囲んで、隣にいた前支店長とじっくりと話をした。

わたしの面接をしたものの、初日から異動になってしまった方だ。

これからここでずっと働くかは別として、頭を使う仕事をした方がいいよ、とアドバイスをくれた。

レストランで食事を運ぶだけの人と比べながら・・・。

う～ん、言いたいことは分かるけど、なんかそれも違うなあと思う。

接客をメインでやる人だって、いろいろ考えながらやっている。

仕事はあくまでも仕事で、余暇で好きなことできればいいんじゃないか、とも思う。

どの職業がいいとか悪いとかではなく、一日一日を自分なりに満足して過ごせばいいんじゃないかな。

**2002.10.19 Sat 労働者**

---

昨日は夜遅くまで飲んでたのに、いつもより目覚めがよかった。

7時にパッと起きて、元気に職場に行くと、他の社員も遅れずに出社していた。

当たり前なことだけど、すごいと思った。

今日の労働時間もすごい。

朝から夕方まで働いて、夜もアルバイト、帰ってきてから母の店の手伝い・・・。

翌3時過ぎまでの拘束で、さすがにフラフラだった。

## 2002.10.19 Sat 再会

---

小学校時代の恩師と、地元に戻ってきてから初めて会った。  
家の近くの焼き鳥屋で飲みながら話をした。  
わたしが小学生だった頃30代前半だった先生も、今は47歳。  
髪の毛はだんだん薄くなってきたけれど、あの頃から変わらず面白い先生。  
この先生のおかげで、5・6年1組は、みんな仲が良くて楽しいクラスだった。  
だけど、まだ一度も同窓会をやっていない。  
今度の正月あたり、ぜひ実現したいと思った。



2002.10.20 Sun アンティーク

---

特に用事もないけど、インテリアショップへ。

特に必要もないのに、そこで見た鍵付きの戸棚が妙に気になってしまった。

鍵が鉄のアンティークなタイプのもので、扉を開けると、がちゃっとしっかりした手応えがある

。

こういう感触って好きなんだなあ。

2002.10.20 Sun 交流

---

職場の人が帰りにごはんに誘ってくれたので、おともした。

受付の先輩と営業さんと3人でしゃぶ鍋を囲んでおなかいっぱい食べた。

生ビールを1杯飲んだら、あとは当たり前のように焼酎の水割り。

ああ、九州にいるんだなあと、改めて実感。

B型の二人はとってもユニークな人達で、時間も忘れて楽しい話をした。

仕事帰りにこういった付き合いができることが、すごく幸せに思えた。

## 2002.10.20 Sun 誕生日

---

仕事をいつも教えてもらってる先輩の誕生日。

ついでにわたしを面接した前支店長と課長の誕生日でもある。

面接のときは、前支店長と課長がわたしと対面し、先輩がお茶を運んできた。

同じ誕生日の方々ばかりだったということになる。

なんてすごい偶然！

今日は前支店長も会社に出向してきたので、3人にお祝いの言葉を贈った。

「もう〇〇歳よ〜。」

と嘆く人も、

「何歳になった？そんなの覚えとらん・・・。」

と断固として年をはぐらかす人もいるけど、

皆、誕生日を祝われるのは、照れくさくも嬉しそうだった。

いろんな事をためこみすぎている、とこの頃感じる。

身近にいる人の態度や言葉などに敏感に反応してしまう。

ここで、わたしが言いたいことを言えればすっきりするんだらうけど。

言うのは簡単。

だけど、わたしが言葉を伝えるときって、直球すぎて相手を傷つけないか、と心配してしまうのだ。

それに比べて、営業の仕事をしている人は、やはり言葉のかけ方がうまいな、と思う。

相手を不愉快にさせないように、させても最小限に抑えるように、最大限の配慮をしている。

営業さんと一緒に働くのは初めてだけど、彼らには見習うべきところが多い。

## 2002.10.23 Wed おしゃべりDay

---

今日の仕事はヒマだった。

営業さん達も、本日はずっと会社において、お客待ちをしていたので、ずーっとしゃべっていた。40代後半のOさんは、奥さんととっても仲がいいらしく、今度沖縄に夫婦で旅行へ行くそう。もちろん映画を見るときもいつも二人で。

奥さんとの出会いの話、結婚の話、今の生活の話を聞いていたら、ホントに家族を大切にしていることが分かる。

出会って1年ほどで結婚したけれど、今まで大きな喧嘩もせず、夫婦円満だという。

彼が言うには、相性が一番大事、とのこと。

相性がいいから、相手が少々気に入らないことをしたって多目に見られるし、許せてしまう。

これが、性格の合わない人ならば、すぐに反発しあってしまうだろうと。

離婚率の高いこの世の中での、なんだかホッとのお話だった。

2002.10.23 Wed 休日

---

先輩の買い物に付き合い、福岡まで。

雨の中のドライブもなかなか良い。

夜は、職場の人と三人で三日月町の焼肉屋へ。

久々のごちそうだった。

その後、ファミレスで1杯飲んで、パフェまで食べるというフルコースだった。

いくら別腹とはいえ、食べすぎだ！

19時に集まって、帰りは0時を回っていた。

他愛もない話をしながら、

「そろそろ帰ろうか〜。」

と誰かがさりげなく言い、他の二人も同意して、よっこらしよと腰をあげた・・・。

時間を気にせず一緒に過ごせるって、最高の贅沢だと思う今日この頃。

こちらに帰ってきてから、母のお友達にエステをやってもらうようになった。  
顔全体と首の付け根のリンパ腺の部分を丁寧にマッサージ。  
その後は、スチームをあてて、顔の新陳代謝を促す、というシンプルなもの。  
だけど、肌を優しく優しく扱ってくれるので、極上の気分になり、つつい眠りに入ってしまふ・・・。

今日は1時間中、ほとんど熟睡状態だった。

こんな風に身体をいたわってもらおうと、今までの荒っぽい自分の身体への接し方に反省。  
もっと大事にせねば。

今、川原亜矢子さんの『シンプル・ビューティ』を読んでいるけど、  
心と身体のケアについて、ためになることばかりである。

今日、18時に仕事を終え、いつものように自転車で帰っていると、スモックを着た保育園児が一人で歩いてた。

女子高生に、

「どこ行くと〜？」

と話しかけられても、彼はもくもくと歩いてた。

高校生たちが行ってしまった後、こっちの方をちらちらと見ながら歩くので、どうせ近くだろうから、

と、そばについてゆっくり進んだ。

「どこに行ってるの？」

などと話しかけながら・・・。

「家に帰ってる。」

と答えながらも、なかなか着く様子はない。

もう真っ暗だったので心配になり、わたしの進路から少しそれたが、そのままついてった。

1キロくらいかな、やっと彼の家であろうアパートに着いた。

だけど・・・、

「誰もいない。まだ帰っとらん。」

とたちまち彼の顔が曇ってしまった。

ちょっと厄介なことになったなあ、とわたしも困った。

この保育園児は、はるか向こうのおばあちゃんの家から歩いてきた様子。

どうやら一人で冒険してきたようなので、

「どうする？戻る？」

と聞くと、

「うん。でももう歩けない。疲れた。」

と彼は答えた。

わたしは、彼を自転車の後ろに乗せて、もと来た道をこいでいった。

彼の地理感は幸いはっきりしていて、無事におばあちゃんちへの道を案内した。

おばあちゃんちに着くまで、たぶん2キロくらいはあったんじゃないかな。

この子は、ここまで一人で来たんか！

と驚いていると、向こうから

「りょうちゃ〜ん。」

と悲痛な叫び声。



どうやらお母さんのようなので、ストップしたら、  
息子を確認したお母さんは、わんわん泣きながら「りょうちゃん」に近づいた。  
「どこ行ってたの～。心配したとよ～。」

わたしは、それまでの経緯を簡単に説明。そのまま去っていった。  
「ありがとうございます～。」  
と泣きながらお礼を言われた。

わたしは彼を自転車に乗せながら、こんなに小さいのに親に放っておかれてるのかなあ、  
といたたまれない気もしていたが、無駄な心配だった。  
やはり、親にとって子は宝なのだ。

この男の子を見ていると、小さい頃の自分を見ているようでもあった。  
女の子なのに、人一倍冒険心が強く、しょっちゅう、三輪車で知らない場所へ出かけていた。  
わたしが忽然といなくなるたび、親はどんな思いをしたんだろう・・・。  
今日初めて分かった気がする。

## 2002.10.26 Sat コンタクトレンズ

---

やっと保険証が届いた（派遣社員でも長期ならば社会保険に加入できる）。

ほとんど病気もせず、めったに医者のはにかかるとはならないのだが、目だけは悪い。

右も左も0.1以下だ。

これで、やっとコンタクトレンズを買いに行ける。

使い捨てレンズ愛用者なもので、切れたら補充。

このご時世に使い捨てなんて環境に悪いと思いつつも、やはり快適なので使いつづけている。

2002.10.26 Sat 魚

---

通勤途中、ぽーんと秋刀魚を焼く匂いがしていた。

朝ごはんを食べていなかったなので、思わずお腹の虫が反応した。

そういえば、魚を焼く匂って昔も今も変わってないんだろなあと思う。

古代から魚は食べていただろうし、昔の人も同じ匂いをかいでいたのだろうと想像する。

舗装道路もクルマもなかった時代だけど、「匂い」というのは今と変わらないものも多いのではないか。

秋刀魚の焼く匂いをかいで、昔の風景へのイメージが豊かにふくらんでいくなんて(笑)。

2002.10.31 Thu 福岡にて

---

はるばる遠方からお客さん。

ヤマメの刺身や、くじら肉など珍しいものをいろいろ堪能。

**2002.10.31 Thu** サイバック

---

サイバックにて、DVDを2本見た。  
インビジブルとファニーゲーム。

## 2002.10.31 Thu ホークスタウン

---

ホークスタウンへ初めて行った。

福岡ドームと、ショッピング施設、ホテル、アミューズメント施設などが集合している。

見るものなんてそんなないだろうと思ってたら、わたし好みの雑貨や洋服などのお店がたくさんあって、

時間を忘れて歩き回ってしまった。

ナムコのボウリングも楽しかった。

## 2002.10.31 Thu 忘れ物

---

最近、朝起きるのがホントに辛い。

ギリギリまで寝てしまうので職場へもギリギリに着く。

本日もそんな状態で行ったのでついに忘れ物をしてしまった。

靴！

スニーカーで出勤したので、とても替わりにはならない。

困ってしまって取りに帰ろうかと思っていると、先輩のお母さんの靴が一足あるのを思い出してくれた。

ホントに大助かりの助け船だった。

先輩ありがとう！！

## 2002.10.31 Thu ヨーグルト

---

うちの課長はヨーグルト作りに凝っていて、今日は会社でその腕を披露してくれた。

材料は種のヨーグルトと牛乳のみ。

それを混ぜて7~10時間くらい置くと、立派にヨーグルトができあがる。

わたしも一つもらって帰ったけど、サラサラの液体が徐々に固まっていくのを見るのは面白い。

これを種として、またヨーグルトを増やすことができる。

温度の調節が難しいけど、挑戦してみようかな。



**2002.11.04 Mon 気球**

---

佐賀では、本日から国際バルーンフェスタが開催されている。

世界各国の人々が熱気球で競い合うのだが、今年はどうも天気が悪くて、気球にあまりお目にかかれぬ。

いつもなら、この時期、何十基ものカラフルな気球が空を占領するというのに！

気球は遠くから見ると、会場に行って間近で見ると、どちらでも楽しめる。

ロマンチックでファンタジックな眺めである。

せっかく佐賀に帰ってきたというのに、年一回のこのお祭りが雨模様なんて、残念。

派遣社員になって今日でちょうど1ヶ月。早いもんだ。

毎朝9時10分過ぎに販売課で朝礼が始まる。

当番は司会をするのだが、司会は何か「おはなし」をしなければならない。

北朝鮮の拉致問題や、出張した人はその報告、その他経済面の話題、とさまざまな「おはなし」を「聞いてきた」。

今までは私以外の人達で順番に当番をしていたのだが、今日、1ヶ月ということで、イキナリ当番に！

驚いたが、皆スタンバっている。

「11月1日金曜日の朝礼を始めます。お座りください。」

とまでは言えたものの、突然指名されて、「おはなし」なんかできるはずない。

「すみません、何も考えていなかったので・・・。」

と、即、支店長の挨拶に切り替えた。

後からいろんな話題を思いついたけれど、もう遅し。

11月の最初だというのに、なんとも気合のない朝礼となってしまった。

次は1週間後くらいに当番が回ってくるだろう。

それまでには話題を用意しとかなきゃ・・・。

仕事がまた一つ増えてしまった。

この仕事始まって最大の寝坊。

母からたたき起こされて、職場へ送ってもらい、なんとかギリギリ間に合った。

しかし・・・髪の毛がいつも以上にはねていて、人前に出られる状態ではない。

午前中、自分のこの髪ばかり気にしていた。

あまりにも憂鬱なので、お昼休み、すぐに隣のスーパーの中の美容院に。

シャンプーとブローだけたのんだ。

丁寧に洗ってくれ、ドライヤーでのばしてくれた。

ごはんを食べる時間は残ってなかったが、午前中とは全然気分のノリがちがう！

髪の毛をちゃんとするだけで、ここまで調子が良くなるとは。

やはり、朝余裕をもって起きることは大切だ。

**2002.11.04 Mon 悪天候**

---

10月の終わりから、ずっと雨が降り続けている。

なぜこの時期に・・・？とホントに恨めしい。

こう天気が悪くて寒いと、せっかくのバルーンフェスタも全然見に行く気が起こらない。

おてんとさまよ、明日くらいはなんとか明るい日にしておくれ。

母とバルーンフェスタへ。

最終日の今日もやはり天気あまりよくなく、15時からの競技は中止に。

今回は気球を間近で見られなかったなあ。

仕方なく屋台を一通り歩いて、野外ステージへ。

infixのLIVEをちらっと見たけど、ちょっと盛りあがりに欠けた。

いい曲あったと思ったんだけど、それはLIVEでやらなかった。残念。

その後、FMラジオの生放送があって、なんとBOOMの宮沢さんがゲストだった。

昨日ここで行われたLIVEの一部が流れてるのを聴いたら、昨日足を運べばよかったと後悔した。

BOOMはケッコウ好きなのに、あまりの寒さで家から出られなかったんだよなあ。

その後、あのC-C-Bが登場！

冷やかし半分で見ってたんだけど、だんだんノリにのってきて、しまいにはみな大興奮のLIVEとなった。

「不自然な君が好き」「原色したいね」「ないものねだりのI WANT YOU」など、ホント懐かしい曲ばかりで・・・。

極めつけは「Romanticがとまらない」！！

花火付きのすごい演出で、前の方の観客は今にもステージに乗り出さんばかりだった。

母はC-C-Bが始まる前に帰ってしまって、わたしは一人で見ってたのだが、我も忘れてはしゃいでしまった。

やっぱりLIVEは楽しいです。

この数年、寒くなりはじめると髪を切るのが常となっている。

今日も、肩まであった髪の毛をショートヘアに。

市内には美容室が多い。

家の前の通りだけでも、6軒はある。

どれも全部オシャレな店構えだけど、イマイチどこへ行けばいいのか分からないので、情報誌に載ってる遠くのお店を予約した。

だが、判断を誤った・・・。

カット後、わたしの後頭部は段々畑のように・・・。

電話をかけたとき、やる気のなさそうな男の人が出たので、ちょっと不信感があったのだが、そのへんどうでもいい性格なので、素直に予約を入れたのだった。

けど、よく見極めるべきだったと反省。

もう、あそこには行くものか。

31歳になる職場の先輩は、朝から仕事そっちのけで本を読んでいた。

ジョン・グレイという人が書いた『この人と結婚するために』という本（秋元康訳）。

先輩は、彼氏と喧嘩をして、どう修復しようかと悩んでいるのだった。

わたしもちょっと読ませてもらったけど、これ、いい本だと思う。

「結婚するために」なんて、どうせありきたりのマニュアル本だろうと思ってたんだけど。

付き合いにおいて、女性の陥りやすい失敗を男性の視点から書いていて、考えさせられるところが多い。

それにしても先輩がこんなに深刻に悩んでる姿を見るのは初めて。

並外れて美しいひとなんだけど、人並みに恋に悩んだりもするんだと知って意外な感じがした。

無事、解決しますように・・・。

仕事から帰る頃、またもや雨模様。

雷がなるくらい天気が悪かった。

アルバイトへどうやっていこうかと思ってたら、ちょうど止んでくれた。

晴れ間をぬって、無事到着したけど、お客は二人だけで、彼らもすぐに帰った。

たぶん、今日は飲みに出かけずにみんなまっすぐ帰ったんだろうな。

労働わずか2時間でわたしもあがらせられた。

だが、帰る頃になって、また雨が・・・！

帰れないくらいのだしゃぶりだった。

仕方なく、店で雨宿りすることに。

カウンターに座って1杯飲んでしていると、近所から帰ってきたオーナーと一緒にカラオケやろうと言  
い出した。

奥にあるカラオケルームに入り、二人で声が枯れるまで歌った。

花花でハモったり、魔女シリーズのメドレー（魔女っ子メグちゃんや花の子ルンルン）など、な  
かなか楽しかった。

久々に歌いまくり、やなこと何もかも忘れてスッキリして店を出た。

さっきまでの雨もカラッと止んでいた。



2002.11.09 Sat 当番

---

早くも朝礼当番が回ってきた。

本当は先輩の番だったが、忘れ物して遅れるというので、わたしに繰り上がってしまった。

こんなこともあるかと、ネタを考えておいてよかった～。

きのう立冬だったので、寒くなっておこりやすい関節痛の話をした。

去年首を痛めて後ろを振り向けなかった経験談も交えて・・・。

話し出すと、考えていたことの半分もコトバが出てこない。

朝礼が終わってから、こんな言い回しの方がよかった、なんて思い返したり。

そして、声が小さくて自信なさ気だったとか、いろいろ悔いはある。

反省の弁ならたくさん出てくるのに・・・(笑)。

しかし、人の前で話すことは、思考の整理ができるという点でいい機会なのかもしれない、と思った。

## 2002.11.14 Thu お菓子の日

---

今日は、1年に1回の大きな展示会があるので出勤した。

全従業員出勤の日だったので、保険会社の営業さん達やお客さんが、それぞれ差し入れを持ってきてくれた。

給湯室の冷蔵庫は食べ物が積み上げられている！

シュークリーム、デコレーションケーキ、プリン、最中などなど甘いもの中心にどっさり。

展示会の客足はまばらだったので、みんな、休憩のし放題、お菓子の食べ放題だった。

なんとも甘ったるい日だった。

夜はバーのオーナーが体調を崩したので臨時出勤。

何をしに行ったんだろう、というくらいお店も暇だった。

一日の拘束時間ばかりが長く、あまり仕事をしている気にならない。

2002.11.14 Thu 理想

---

母と近所の焼き鳥屋へ。

親子水入らずで外での夕食なんて久しぶりで、楽しく美味しいひとときを過ごした。

その後、グランドに出かけて約3キロをおしゃべりしながら歩いた。

食べた後ちょっと運動して、理想的な生活・・・。

これが続けられたらいいのに、なかなか時間が合わず、そうもいかない。

## 2002.11.14 Thu お葬式

---

プールに行った後、友人のお父様のお葬式へ。  
喪服を着たのは、父の三回忌以来かな。  
いろいろとあの頃のこと、思い出してしまった。

親を亡くすというのは、絶望以外の何物でもない。  
これは仲の良し悪し・好き嫌いに関係ないのだから、血というのは不思議なものだと思う。

2002.11.14 Thu 粗相

---

先輩がマンガを借りに来た。

その後酒屋に付き合っ、スロージンとバーボンを購入。

スロージンの瓶を玄関前で大破してしまった。

ああ。。。

手元が不注意な今日この頃。

2002.11.14 Thu 裏切り

---

身近な人が今、離婚の危機にある。

旦那さんが浮気をして、相手が妊娠してしまったというのだ。

その相手というのは、奥さんの親友・・・。

こんなドラマみたいな話がホントにあるなんて、信じられない気持ちだ。

幸せになること。

それはパートナーが一生添い遂げられる人かどうか、ということでもあるのかもしれない。

仕事から帰ると、母が寝ていた。

最近、店が忙しくて睡眠不足のようだった。

一度起きてきて、また寝室に戻ろうとすると、だれもいないはずの2階の部屋から

「みい〜。」

と声がする。

慌てて、母は

「かほ！ほら、なんか鳴いてるよ！！」

と言ったので、わたしは2階に急いであがっていった。

2階の部屋にはグランドピアノが置いてあり、わたしの片付けるべき荷物もどっさりがある。

わたしが部屋に入ると、グレーの影が見えた。

近づこうとすると、ピアノの隙間に入り込み、隠れてしまった。

なかなか出てこないでピアノを開けたら、今度はあっという間に逃げて1階へ。

台所へ隠れてしまった。

1階に追って行くと、台所の一番奥で、そのグレーの生き物を発見。

予想通り、ネコだった。

トラ模様みたいのが入ってて、なかなか愛らしい顔をしている。

彼女がいつこの家に入りこんだか、母もわたしも知らない。

入ったとすれば、数日前に少し玄関を開けっぱなしにしてたその時だと思われる。

数日間2階の部屋で飲まず食わずで生きていたらしい。

全然気づかなかった！

ネコはこのでっかい訳の分からない言葉をしゃべる物体に相当怯えていて、近づくと、威嚇した。

だけど、そおっとクラコットを差し出すと、カリカリと元気よく食べ出した。

抱いて、母のところへ連れて行くと、

「あんたいつ入ったのね？ん？」

と話しかけ、さらに大きな物体にネコはたいそう怖がっていた。

ネコを飼いたいなあと思ってた時に、偶然迷い込んできたので、わたしはこのネコにただならぬ縁を感じた。

だけど、もう大人になってしまったネコをこれからしつけるのは大変だよ、と母に言われて、仕方なく外へ逃がした。

彼女は一瞬で闇の中へ消えてしまった。

好奇心で未知の世界に入りこんだものの、世にも恐ろしい思いをしたことだろう。



## 2002.11.19 Tue 腰痛

---

昨日からどうも腰が痛い。

原因は・・・月曜にバタフライをしたので（フリーのスクールに参加した）。

数日あいて、急に痛み出したのだ。

昨日、バーで氷を割っている時には半中腰の姿勢なので非常に辛く、今日は通勤するのもやっとだった。

昼には整体に行こうと思い立って、会社近くの整体院に電話を入れたが、あいにく予約がいっぱい。

仕事帰りに寄ることにした。

だけど、ちょっと残業をしなければならず、キャンセルしてしまった。

何も手につかないほどの痛みが、夜になるとすうっと引いていった。

自然治癒力ってヤツか??

貼るカイロをずっと腰に貼りつづけていたのが良かったのかもしれない。

## 2002.11.19 Tue 創作ダンス

---

母の友人Kさんは体操の先生。

今日は彼女が所属する団体の創作舞踊公演だった。

中学生の時に体育の授業で創作ダンスというものをやったが、それに近い。

「挑戦」「しがらみ」といった抽象的なテーマで創られたダンスが繰り広げられた。

創作ダンスというのは、体育でも一番苦手な類だったが、見るだけでも同じ気持ち。

特に目を引くすごい動きがあるわけでもなく、創った人にしかその世界は分からない。

・・・という点で逆に面白いのかも、と思考を転じるとまあまあ楽しめた。

2002.11.19 Tue ピーリング

---

友達にピーリングというエステをやってもらった。

顔から角質（要するに“垢”！）がぽろぽろと落ちて、つるんとタマゴみたいな肌になった。

クセになりそう・・・(笑)。

## 2002.11.19 Tue 健康診断

---

派遣会社から指定された病院へ健康診断に。

尿を提出し、身長・体重計って、血圧測って、血を採られ、レントゲン撮られた。

身長が158cm、とわずかばかり伸びていて、ちょっぴり嬉しかった。

あれ～、縦の成長は高校生で止まっているはずなのになぁ～？

身長・体重のバランスも、血圧も、問題なし、と言われ、無事診断を終えた。

病院には久しぶりに行った。

ふだん病気しないから、こういう所に行くと、なんだか楽しい。

病院のにおいてケッコウ好きなのである。

**2002.11.25 Mon** 夜更かし

---

母が0時過ぎに帰ってきて、久留米の温泉に行くことに。  
ゆったりとお風呂につかり、帰りは屋台のラーメンまで食べて、  
家に着いたのは、3時過ぎ。  
夜更かしして、ふらふら。  
今日からまた仕事始まったばかりなのに・・・。

バーで働いているといろんな人間模様が垣間見れる。

今日は常連のBさんが、珍しく女性を連れて、飲みにやってきた。

40代に近づこうとしている独身男性だが、しゃべると少々独演状態になるどこかクセのある人物だ。

彼は20代後半の美しい女性と飲んでいた。

だけど、Bさんは他の常連さんとばかり話して、彼女のことはほったらかし。

なのに、彼女が先に帰ると、ひどく落ちこんでしまいやけになって飲んでいて。

拳句の果てに他の客をカラオケに付きあわせる始末・・・。

オーナーから、

「あれじゃ、だめだね。Bさんはもっと自分を知らなくちゃ。」

と温かいコトバをかけられていました。

他の皆も全員納得。

2002.11.28 Thu クリスマス

---

受付の先輩と会社のクリスマスツリーに飾り付けをした。

クリスマスまで、まだ1ヶ月も切っていないのに・・・。

いつも聴いてる有線からは、頼みもしないのにクリスマスソングが流れてくる。

二人で「せつないねえ・・・。」

とぶつぶつ言いながら、もくもくと仕事をしていた。

2002.11.28 Thu 大入り

---

バイトに行くと、既に満席になろうとしていた。  
なんでも、食べ放題・飲み放題のパーティプランを始めたそうだ。  
そんなの知らないよ～。  
と言ってる間もなく、着くと同時に戦闘開始！  
フルスピードで働いた。

でもちょっといいことが。  
いつもより売上が伸びたので、帰りに大入り袋を頂いたのだ♪



2002.11.28 Thu Oh ! 休み

---

昨日知ったのだが、今日から三連休！

普段は日・月が定休だが、1週目・4週目の土曜が祝日の時は休みになるそうな・・・。  
危うく出勤するところだった。

いつものように母と温泉に行き、昼ごはんを食べ、スーパーで買物。

スーパーの横っちょにある精米所に玄米を持っていき、セルフの精米機にかけた。

つきたてのお米は、生あたたかくて、いかにも美味しそう。

実際、市販の白米よりはだんぜん美味しいということだ。

30kgあるお米を2階にある母の店へ運んだ。

はあ～、重かった。

ひと仕事した後、友達と居酒屋にて飲んだ。

久々に楽しいお酒だった。

## 2002.11.28 Thu 音楽会

---

職場の前支店長が所属する楽団のコンサート。

チケットをもらっていたので、応援・鑑賞に駆けつけた。

初めて第九を生で聴いた。

300人以上もの合唱団だったので、すごい迫力！！

第九の前には、アンサンブルの演奏もあったのだが、

チェンバロ&バイオリンやサックスのカルテットの演奏にたいへん感動した。

2002.11.29 Fri 欲

---

部屋でうだうだしてると、前の職場のHさんから電話がかかってきた。

わたしが以前やった仕事のデータの在り処の問い合わせ。

能見台かぁ、懐かしいな。

あの頃（今年1月）は、徹夜残業続きで身も心もボロボロだった。

休みの日でも常に仕事のことが頭の中にあった。

そんなメリハリのない生活をしていたので、仕事の進行にも支障が。

帰りが遅いので、次の日の朝は起きれず遅刻もよくした。

ずいぶんといい加減な取り組み方だったと思う。

今回、程よく休める仕事に就いて、リフレッシュすることの大切さに気づいた。

「きちんと休む」ことを知った今、少々きつくても今度は納得いく仕事ができるんじゃないかと思う。

面白味のある仕事にもう一度就きたいという欲が出てきた。

2002.11.29 Fri 命日

---

新しい働き手が見つかった、との嬉しいお知らせ。  
ただタウン誌に広告を載せて忙しくなるだろうから、しばらくは  
同時に入ってもらいたいとのこと。  
クリスマスも年末もアルバイトか・・・？  
ま、特に予定もないし、それもよからう。

今日は、父の命日。  
もう4年も経つのだなあ。

そういえば、昨日はバーに父の古くからの仕事関係者が偶然飲みに来た。  
わたしの小さい頃をよく知ってる人だ。  
顔を覚えていたので声をかけると、  
「かほちゃんなの??」  
とたいそう驚いていた。  
「あなたが小さい頃は幼稚園の園歌をだれよりも元気よく歌っていたよ。」  
とか、  
「ピアノの発表会の際にはうちの娘のドレスを着て弾いたんだよ。」  
とか、  
カウンター越しにしばし思い出話を。  
こんなところで店員をやってないで、目標を持ってしっかり生きなさい、と言われた。  
・・・やはり教育者だ。

20年近くも会ってなかった人なのに、こんな偶然が父の命日前に起こるなんて。  
少し不思議なキモチもした。

## 2002.12.02 Mon カラオケ

---

仕事の後、誘われてバー備え付けのカラオケルームへ。

お客さん二人とオーナーと4人で歌った。

わたしは洋楽を歌う、というのが定着しつつあり・・・今日も期待(?)を裏切らず英語の曲を。

(単に近ごろの歌を知らないので、必然的に昔のポップスになってしまうだけなのだが。)

今日は『明日に架ける橋』を・・・。

歌い出したら、バンドマンであるYさんがハモリを入れてくれた。

まるでサイモン&ガーファンクルのようだった。

なかなか感動的でしたよ(笑)。

ついでにビートルズを彼が歌い出した時には自然に私もマイクに手が伸びていた。

いい気分の仕事場を後にしたのでした。

名曲は色あせない。

## 2002.12.02 Mon タイムリミット

---

母から、11月までに2階の部屋にある大荷物を撤去するように注意が出ていた。

だらだらと何もしないまま、今日は11月の最終日！

慌てて、本腰を入れて片付けることに。

相変わらず捨てられない性格は直っておらず、苦しみながら荷物整理。

(注：7月に引っ越してきたときの荷物である・・・。)

一生懸命やっていたものの、夕方になると足はアウトドアへ。

自転車をこいで、佐賀市中央部を徘徊。

ばあちゃんに頼まれてた本を探しに本屋へ行くが、見つからず、佐賀市東部の果てのTSUTAYAまで。

そこにもなかったが、あきらめて注文した。

それから借りていたビデオを返しに佐賀市北部の果てまで。

職場からは近いのに、観てなかったので昨日は返せなかったのだ。

家に戻ってきた頃には8時過ぎ。

佐賀市内をほぼ半周してどっと疲れてしまった。

結局、片付けは終わらずじまい。

2, 3日中に片付かないと警告が出てしまうこと必至である。

ナイターでスノボに行く予定だった。

(一応佐賀にもスキー場はある・・・人工だけど)

4年ぶりに滑るということで、ドキドキしていたが、同行者が風邪を引いてしまい、延期となった。

おかげで片付けは順調に進み・・・いや、徐々に進んだ。

ホントに必要なものなんて、この中にあるのだろうか・・・と思いながら。

## 2002.12.07 Sat 再会

---

小学・中学校の同級生に連絡をとり、一緒にランチを食べた。  
中学校の隣のイタリアンレストランで待ち合わせた。  
パスタランチが600円という、カジュアルなお店♪  
帰ってきてから初めて会った、というか、何年ぶりだろう・・・。  
病院で栄養士をしている彼女はとても忙しそう。  
今日も週1の休みなのに、朝ちょっと働いてきたという。  
久々の再会だったけど、ゆっくり話ができよかったな。



**2002.12.07 Sat** 休み

---

アルバイトなしの日。

これからは暇がどんどん増えていくので、有効な時間の使い方をしようと思う。

2002.12.11 Wed お初です

---

今日は、1週間ぶりにアルバイトの日。

新人くんと一緒に仕事をした。

21歳の大学生で、さわやかな感じの人だった。

人に好かれそうな印象を持っている。

まだ今日で3日目だそうなのだが、なかなかテキパキと仕事をこなしている。

厨房でいろいろしゃべっていたら、なんと鹿児島出身なのだそう。

しかも彼の実家は、わたしの母の実家の隣町！

ローカルな話題で盛りあがってしまった。

トム・クルーズの映画を観に行った。

近くのシネコンに行ったら、15分前に着いたにもかかわらず、もう前の方の席しか空いてなかった。

しかも端っこ！

どうしようか、としばし話し合ったが、がんばって予定通り観ることに。

予想通りどアップで、こりゃダメだと思ったが、だんだん慣れてきて気にならなくなった。

犯罪を予知し、未然に防ぐことができる、というストーリーは現実離れした感じだったけど、なかなか楽しめた。

途中、中だるみする場面もあったけど、後半は面白くなって画面に釘付けだった。

映画館で職場の営業さん&奥さんとバッタリ会った。

彼らも同じ映画を観に来ていたが、いい席がなかったのであきらめて

「ハリー・ポッター」を観たそうだ。

## 2002.12.11 Wed 手帳

---

白木屋に行ったら、会計の後、  
「よかったらどうぞ♪」  
と「開運手帳」を頂いた。

そろそろ来年の手帳を買わねばと思っていたのだが、結構使いやすいそうなのでこれにしようと思う。

表紙に「モ〇テローザ」とあるがご愛嬌・・・。

年号早見表もついているのがよい。

運が開けるかしら？

夜2時には寝たのに、休みなのをいいことに昼過ぎまで寝ていた。

半日は眠っていたことになる・・・。

ああ、現実逃避。

オムライスを食べに行った。

ふわふわ・とろとろのオムライスがおすすめだよ、と友人に言われ連れてきてもらった。

注文してから5分とかからず運ばれてきたのにはびっくりした。

ファーストフードの店でもないのに、あまりにも早いので、なんだか不安になってしまった。

たしかに、卵はふわふわ・とろとろで美味しい。

だけど、中のライスが、イマイチ。

というか、お酒の味しかない。

オムライスの上にはホワイトソースがかかっているので、ほとんど味をつけていないのかと推測したが、

味付けを間違えたのかもしれない、とも思える味だった。

本格的に作ってあるのかもしれないが、ちょっと納得がいかなかった。

検証するためにもう一度行ってみようと思う。

朝、自転車で職場へ出かけていると、雪がはらはらと降っていた。

降っていた、というより、舞っていたという感じかな。

そんなにも寒いのか！

と思ったが、職場へ着く頃には顔が汗ばむくらいに身体が温まっている。

それくらいフルスピードでこいで心拍数あがった状態で更衣室へ飛びこむのだ。

皆、寒い寒いと駆けこんでくるのでちょっとした優越感にひたれる(笑)。

これだから、自転車通勤はやめられない・・・

(本当はクルマを買う余裕がないだけだが。)

**2002.12.18 Wed 美容院**

---

仕事帰り、職場隣の美容室で髪をカットしてもらったが、これ以上切りすぎると元の木阿弥（段々畑）になってしまうことが判明！  
こないだの人、段つけすぎだヨ～。

髪はほとんど切ってもらわず、なんだかマッサージを受けて帰っただけのような気も。



## 2002.12.18 Wed クリスマス・パーティ

---

会社の労働組合のクリスマス・パーティに参加。

珍しくワンピースなど着て行った。

パーティは博多で行われるので、電車で行こうと思っていたら、営業さんが車に乗ってくれた。

他の支店の人々も大勢来ていたが（150名はいた）、当然だれがだれだか分からない。

だけど、他の支店同士との交流を考えてあるのか、くじを引いてテーブルに着くようになっている。

わたしが着いた席は、同じ支店の営業さん以外はまったく知らない人。

心細いなあ、と思いつつ、おとなしく飲んでいた。

たまに隣の偉そうな人のビールをついであげながら...

そのうちゲームが始まった。

ゲームというのはテーブル対抗リレーだった。

バットを額につけて、5回まわってスタートし、チームメイトの元へ走ってレイを渡すという...

だれがこんなゲーム考えたんだ！

お酒が入ってやるゲームではないぞ(怒)！

大多数の人が、まわった後よろけていた。

当たり前だ。

テーブルにぶつかって、グラスや皿をひっくり返してしまった人もいた。

自分も周りの人が青ざめるくらいに見事にコケた。

とっさに受身をしたが、こんな大勢の人前でコケるなんて...、かなりブルーだった。

ああ、情けない、情けない(哀)。

## 2002.12.18 Wed 宴会

---

年上の人ばかりが集まる飲み会へ。

誘ってくれた、母のお友達の小夜美さん以外は、見ず知らずの人々。

最初は緊張したけれど、そのうちに慣れた。

第一印象と、話した感じの印象が違う人が多くて、楽しい宴会だった。

昨日のいやな思い出もどこかへ吹っ飛ばすくらい・・・。

仕事の手が空いた母から

「パーッとどっかにごはん食べに行こう！」

と誘われ、近くの銭湯に行った後、小夜美さんも誘って佐賀の街へ繰り出した。

母はお酒が飲めない人なので、食事も十分にできるダイニングバーへ。

2000円のコースを注文したけれど、サラダや魚料理、肉料理、パスタ、ピザ、デザートと満足できる内容。

お風呂の後だったので食欲がわいて、もりもり食べた。

わたしと小夜美さんのお皿に母は料理を取り分けてくれた。

それを見た小夜美さんは、

「親鳥からエサを与えられるひな鳥みたいね〜。」

と言った。

それを訂正し、母は、

「ひな鳥というより、親豚からえさを食べさせられる子豚と言った方がいいわ。」

と一言。

確かにみなぼっちゃりしてるけどさ(笑)

## 2002.12.20 Fri コンタクトレンズ

---

ひとりで福岡へ。

久々に電車に乗った気がする。

コンタクトレンズを購入。

まず店の隣の眼科に入った。

眼圧や視力を流れ作業のようにはかっておしまい、というような所が多いのだが、今日行った所は珍しく丁寧に診てくれるお医者さんだった。

乱視のこととかいろいろ相談してしまった。

病気はほとんどしないけど、視力はどんどん悪くなっていくなあ...

2002.12.21 Sat 祖母

---

わたしが佐賀に帰ってきてから、亡き父の実家との距離が縮まった気がする。

こないだは祖母から、本を買ってきてほしいと頼まれたし、

今日もおばさんから電話がかかってきて、車を出してほしいと頼まれた。

わたしはアルバイトがあるので、母に代わりに行ってもらった。

今までは祖母というと、母方の実家ばかり連絡をとっていて、父の方とは疎遠になっていた。

けれど、それぞれお互い女同士の家だし、これから助け合って行ければな、と思う。

## 2002.12.22 Sun コロッケ（ミートソース風味）

---

久々に揚げ物をした。

こないだ作ったミートソースが全然減らないので、これを、ほぐしたじゃがいもに混ぜ、コロッケのように揚げるというもの。

パン粉はないがパンはある...ということで、パン粉まで作った。

ミキサーにウィィ〜ンとかけるだけで、パン粉らしくなった。

適当に作ったわりにはケッコウ美味しかった。

しかし、ふだん使わない労力を使ったせいか、洗い物をする気力まで残っていなかった。

「片付けないのに料理なんてするんじゃないの！」

帰ってきた母に怒られてしまった。

**2002.12.24 Tue OPEN !**

---

通勤途中の道沿いにドラッグストアチェーンがオープンした。

その近隣500m以内には、別の薬局・ドラッグストアが3店舗もあるというのに。

郊外にこんなに薬屋建てて、どうするんだ！って思ったんだけど、

自信満々に進出してきた訳が分かった。

ただのドラッグストアではなかった。

食品や日用品も置いてあり、それがまた安いのだ。

これは向かいのスーパーまで大きな痛手を受けるだろう。

儲けのためなら他店舗なんか関係ないと思ってるんだろうな。

近くで細々とやってる薬局の心境を察してしまう...

2002.12.24 Tue シングルベル

---

世間はクリスマス・イヴ。

だが、そんなイベントとは全く関係なく過ごした。

いつもと変わらぬ一日。

ちょっと普段と違うことといえば、ケーキをお腹いっぱい食べた（食べてしまった）

ということくらいか。



来年正月から、習い事というか、サークルに参加することに。

前からやりたかったゴスペル。

今日はその教室に参加費を支払いにいった。

たまたま水曜日で、ちょうど集まっている時だったので、見学させてもらった。

教室はたった4人...

今日は欠席者が多いとのことだが、盛りあがってないのかな~とちょっと不安に。

見学だけするつもりだったのに、しっかり楽譜を渡され歌わされた。

先生は女性だけど、よく声が通ってなかなか迫力がある。

カッコよくてとっても明るい人だった。

生徒も老若男女集まってて和やかな雰囲気だった。

ただ、肝心の歌は...他のパートにつられて歌ってしまう人が多く、難ありと見た。

クリスマスにゴスペル歌えるなんて、ちょっと感慨深い日だった。

来年が楽しみ♪

## 2002.12.27 Fri 再会

---

オーナーが休みということで、今日のアルバイトはチーフと二人でがんばった。  
土曜日は普段はあまり忙しくないそうなのだが、本日は団体客も多く、よく働いた。  
常連さん（看護婦さん）が友人4人を引き連れて、カラオケルームへ。  
オーダーを取りに部屋に入ると、その中の一人に見覚えが。  
なんと、中学の陸上部時代の後輩だった。  
同じ長距離をやってる子だったので、名前もフルネームで覚えてて、話しかけると、  
「せんぱ〜い！なんでこんな所いるんですか！」  
と驚いてた。

面影はそのままだけど、女性はキレイになるもんだなあ。  
妙に自分が恥ずかしかった。

2002.12.28 Sat 温泉

---

母といつもの温泉へ。

たまにはテレビではなく音楽を...と、車内でカーペンターズの曲をかけた。

ゆったりとした気分になりながら温泉へ向かった。

この温泉は露天風呂がよい。

室内のお風呂も、わりと広い上にサウナや蒸し風呂もあって文句なし。

ただ、今まで10回以上も行ってるのに、露天風呂はいつも岩風呂...

露天は、ヒノキ風呂と岩風呂が男女日替わり制になっているはずなのに...

ごつごつした岩もいいんだけど、すべすべヒノキの感触もそろそろ味わいたい。

## 2002.12.28 Sat 賀状

---

年賀状を刷った。

といっても、わたしのではなく、母の店のお客さんのだけど…。

2年前の年賀状作成ソフトを使ったが、干支の画像はいろいろ入ってて問題なし。

かわいい羊のイラストを入れて機械的作業をしたが、宛名は自分で書くとのこと。

200枚もあったのでホッとした。

さて自分のもそろそろ作るかな…。

ソフトで絵でも描こうかな、いや、やっぱ手書きがあったかみがあるよなー、

などと思いながら、まだ何にもやってない。

正月は年賀状を書いて過ごす、というのが恒例になってるので（苦笑）。

仕事の後、ちょっと遠出して久留米の友人の元へ。

佐賀からの上り電車（2両しかない）は私服の高校生たちでごった返していた。

そういえば、もう冬休みなのか。

旅行者みたいに大きなかばんを抱えた人もちらほらと。

久留米には電車を乗り換えて計30分ほどで着いた。

友人の知り合いがやってるバーに連れてってもらったが、客は最初から最後まで私たち一組だけ。

清潔感があって、オシャレで雰囲気の良い店なのに、なぜなんだろう？

ゆっくりしゃべれるから...ということで友人は平日にわたしを呼んだのだが、

ホントにじっくりとマスターも交えながら話げできた。

自営で、うなぎの卸をやってる友人がうなぎについて語り出した。

うなぎの養殖って卵からではなく、稚魚から育てていくのだという。

うなぎの純粋な産地は未だに不明で、「このあたり」（フィリピン辺り？）としか分からないそう。

あらゆる技術を使って、その辺りと同じ環境を作り卵から孵そうとしても、育てられない...

だから海流を上ってやってきた赤ちゃんうなぎを養殖しているのだと。

うなぎの生態ってちょっと神秘的だなあと思いながら聞いていた。

あとは、旅の話など...

マスターがバリ好きで、何度も足を運んだという話から、友人のヨーロッパ旅行体験談まで旅行話に花が咲いた。わたしの香港一人旅の話も。

惚れこんでる場所があるっていいと思う。

時間はあっという間にすぎて終電の時間が来てしまった。

駅では、人身事故で特急が1時間以上も遅れてるとのアナウンス。

自分の乗る電車は普通列車だったので影響なかったが...

帰ったら、男女二人が特急電車に飛び込み心中、という悲しいニュースが流れていた。

このような事件で一番不幸なのは、やはり運転士だと思います。

## 2002.12.28 Sat 仕事納め

---

今日で今年の仕事はおしまい。

ということで、来年の準備で朝から大忙しだった。

新春フェアのダイレクトメールをせっせと糊付けし、ショールームや事務所の掃除をした。

営業さんも夕方には帰ってきて、事務所の電球のかさの掃除を。

電球を一本ずつ外してやる作業だからホントに大変！

そこまでしなくても...と思ったが、きれい好きな支店長の要請だからしょうがない。

隣の給湯室で洗い物をしてた頃、爆発にも似たすごい音が。

何事かと思って音のした方にとんでいくと、

ダンボール上に置かれた電球が落下して大破！

気をつけて立てかけといたのにだれかが移動を...？

駆けつけたが最後、わたしが後始末をすることになった。

落とした営業さんが

「いや～、仕事が増えちゃったな～。」

と言いながらも視線はわたしの方へ…。

「さっさと掃いてしまっただね。ここも、あそこも。」

と、当たり前のようにわたしに指図するので、

「人にものを頼む態度じゃないぞ！」

とカチンときたけど、文句はいわず素直に電球の残骸を掃いた…。

不本意なことも多い職場である。

しめ縄や鏡餅も買ってきて、ちょこっと残業して引き上げた。

明日から1週間休みだ♪

2002.12.31 Tue 大晦日

---

最小限の期待ならば、それが外れた時の失望は、最小限で済むことを悟った。

**2003.01.04 Sat** 休み開始

---

とりあえず、遅くまで寝ていました。

夜、忘年会帰りの人がうちに来ましたが、かなり飲んでの飲酒運転。

つかまっても知らないぞ。

飲んだら乗ってはいけません。



**2003.01.04 Sat** 投げ納め

---

友人とボウリング。

よく投げたなあ...5Gも。

最後まで同じ調子で投げられたけど、どれもあまりパツとしないスコア。

2003.01.04 Sat 満足

---

ゆっくり起きて、母と昼ごはんを食べに行く。

ラーメンのチェーン店へ。

とにかく不味いことで評判(?)の店だったが、子どもの頃にたまに行っていたので、懐かしくなって母に頼んで連れて行ってもらった。

やはり美味しくなかったが、満足だった。

空腹が満たされたから、というわけではなく、そこに行けただけで欲求が満たされたのだ。

母と、高速バスを使って鹿児島のお祖母の家へ。

八女ICから都城北までの約2時間半の小旅行だった。

ビールを飲んだりしゃべったり音楽を聴いたり眠ったりしてるうちに、バスは到着。

渋滞もなくバスはスムーズに走ってくれたので、快適だった。

高速バスは初めて使ったけれど、これからはこうやって帰ったらいいね、と話し合った。

降りた所でお祖母が待っていた。

数年前に病気をした75歳のばあちゃんが、ホントに元気になっていたのには驚いた。

79歳のじいちゃんは、だんだんと老いていくのが分かるが、まだ車も運転できるし、大丈夫。

ただホントのことを言うと、長距離の運転は心配だ。

夜は、おせちではなく、ばあちゃん特製の煮物と年越しそばを食べた。

年はもう越したはずだが、鹿児島に帰るとこれを食べずにはられない。

そばはざらざら感が舌に残るくらいの手打ちの太い麺。

甘めの味付けをした鶏がらベースのだし汁はホントに美味しい。

思わず顔もほころんだあったかい夜でした。

2003.01.06 Mon 吾平山陵

---

祖父方の墓と、祖母方の墓と計4箇所もの墓地へ墓参り。

それから吾平山陵（アイラサンリョウ）にお参り。

ここには、有名な神社のように立派な社殿なんてない。

ただ神武天皇の母君と父君の御陵と呼ばれる場所に向かって参拝するのみである。

いちばん奥のこの御陵へ行くには、深い緑に囲まれた長い参道を歩いて進む。

そして途中の、澄んだ川で手を清める。

この一連の流れが本当におごそかな気持ちにさせてくれる。

祖父母の家に行くと、わたしはちゃんと“いいこ”になる。  
皆が食事をした後の洗い物もする。ふとんも自分の荷物もきちんと片付ける。  
自分の住む家ではいい加減なので、母はこのギャップが気に入らないらしく、  
「うちでもしつけをちゃんとすればよかった。」  
なんて文句を言っている。  
ちょっとは家の手伝いもせねばな...。  
なんて反省したり。

そんな三が日もあつという間に過ぎ、今日は佐賀へ帰る日。  
夕方的高速バスに乗ったのだが、2番目の乗り場にも関わらず、30分遅れでバス到着。  
乗ったらますますひどい渋滞に巻き込まれ、高速バスは臨機応変に高速をよけ、下道に。  
結局、中間点あたりのバス停には、2時間ほども遅れての到着。  
車内に2つあるテレビ画面には、映画のビデオが流されていたが、  
途中で降りたわたしたちも3本ものビデオ鑑賞ができたくらい、バスは遅れた。

元日に乗車した八女ICで降り、母は佐賀へ、わたしは福岡の天神へ電車で向かった。  
友達と待ち合わせをしていたのだが、予定の時間より約3時間遅れで到着。  
普通の人なら怒って帰っているところだろう...。  
無事、合流できて朝まで飲んだ。

2003.01.06 Mon 雪

---

昨日深夜から雪。

昼になっても気温が上がらず、大粒の雪がどんどこ降っていた。

そんな景色を長崎ちゃんぽんのお店から眺めていると、なんだか幸せな気持ちに。

2003.01.06 Mon 出勤

---

朝起きると、外がやけに静か。

いくら休日だといっても車の通る音がほとんどしないので、ちらりと窓の外に目をやると...

案の定、雪が積もっていた！！

これが出勤日ではなかったら、どんなに嬉しかっただろう。

しかし、ちょっと雪が積もったくらいで休みになる会社ではない。

のそのそと起きて、支度を。

雪道をママチャリで行くのは大変キケンだった。

車体をなるべくまっすぐに立ててスリップしないように気をつけた。

だけど・・・

やはり滑ってしまった。

それも思いっきり！

5mくらい、自転車ごとスライディングしてしまった...

さっき自分が追い越した自転車の男性が、そばを通り過ぎる。

薬局の開店準備をしていた店員の人の視線を感じる。

わたしは目も合わさずに、何事もなかったかのように、自転車を起こし、そそくさとまた走り出した。

車が通ってなくてよかった。

受験生じゃなくてよかった。

なわとび20分がこんなにキツイなんて....。

昨日の“あるある大辞典”では下っ腹のたるみを引き締める方法を紹介！

恥ずかしながら、お腹の出っ張りがかなり気になるわたし....。

もう、番組放送中はTVに釘づけだった。

お腹ぽっこりの原因の新説は・・・なんと、胃や腸がたるんで下に落ちてきてるからだそうである。

そこで、胃を元の位置に戻すための体操などが紹介されてた。

なわとびで、腸にほどよい刺激を与えるのもいいらしい。

さっそく、今日は、ご飯の後、実践開始。

下腹を意識した腹筋や、ヨガのポーズなどをした後、外へ出ていきなわとび20分間！

10分×2セットでいい（もしくは5分×4セット）とあったけど、これがホント疲れる！

たったの1分やっただけで、心拍数あがりまくり。

なわを回す手首も重くなってきて、しょっちゅう引っかかるし。

結局、休み休み20分間やったけど、ふらふらになりながら家にあがった。

簡単そうに見えても実はかなり大変なことってある。



急に電話がかかってきて、久しぶりにアルバイトに入ることに。

忙しい時間だけでいいというので22時に行ったが、たぶん暇だろうと思ってた。

店に入ると案の定、客は一人もおらず、ストーブでは餅が3個焼けてた...

相当ヒマだったのだろう。

餅を食べながら新年のご挨拶。

最近入った新人の女の子がなかなか面白かった。

彼女は23歳だから、今年年女だろうって言っていると、年女って何ですか？って聞き返してくる。

説明をすると、「そうなんだあ。今日は一つ勉強になったなあ♪」と嬉しそう...

しゃべっていると、徐々に忙しくなりだした。

相変わらず狭いキッチンで料理をして、掃除をして、あがったのは1時。

2003.01.11 Sat 風邪

---

会社では風邪っぴきさんが続出。  
かなり重症で病欠の社員もいる。

いつも隣で仕事してる先輩も  
「風邪引いた〜！」  
と言いながら、朝会社にやってきた。

わたしは今のところ、大丈夫だが...。  
そのうちうつるんだろうか。

風邪って不思議だ。  
何もしなくても、平気な時には平気だし、  
どんなに気をつけてても、うつるときにはうつるんだから...。

先輩がとうとう風邪で休んでしまった。

今日は、一人でバタバタと忙しく働いた。

掃除をし、電話を取り、明日の展示会の準備をしてあっという間に業務終了。

仕事から帰っていると、母から電話が。

コインランドリーに来てほしいとのこと。

なんでも母の店のじゅうたんが灯油まみれになったそうで、洗うのを手伝って、と。

コインランドリーでじゅうたんを洗濯？

そんなに大きな洗濯機があるの??

と思ったけど、行って初めてわかった。

そのコインランドリーには、庭というか屋外に、じゅうたん洗い場があるのだ。

1.じゅうたんを広げて、ホースで水をまき、全体をぬらす。

2.除草機のような形の、先にブラシがついてる機械で、じゅうたんをブラッシング（洗剤も出る）

。

3.また水をまいて、すすぐ。

4.掃除機みたいな脱水機で、水を吸い取る。

5.物干し竿にじゅうたんを干し、2~3日乾かす。

ってな作業を二人で共同で行った。

機械は重くてたいへんだし、大量のコインが要るんだけど（計15枚の100円玉を使った）

なかなか便利な場所だなあと感心した。

「今日は鏡開きだから、餅を食べよう。」  
と課長に言われた。

鏡開きって、名前こそ聞いたことがあったけど、具体的にどんなものかわからなかったの、  
検索サイトで調べてみた(笑)。

名前から推測すれば簡単なことだった。

鏡もちを開くことだったのね(そのままやん！)

去年までは、先輩がぜんざいを作ってたらしいが、今日は彼女は休み。

じゃあ、よしわたしが...！と意気込んだが。

あいにく去年の鏡開きで鍋が焦げてしまったため、煮る鍋も無し。

おまけに今日出勤してる女性はわたし一人、ということで、本来の業務で大忙し。

結局、鏡開きの日に鏡もちを開くことは実現しなかった。

## 2003.01.15 Wed in Tokyo

---

厚手のコートとマフラーを持っていったが、東京は暖かかった。  
4ヶ月ぶりの上京だったが、久々の人ごみで目が回りそうだった。  
九州に来て、いかに違うペースで生きているかを思い知った。

2003.01.15 Wed 試験

---

会社説明会に参加。

たいへん興味のある仕事内容だった。

その後、テストを受けたんだけど、散々な出来。

ネックはやはり数学だな…。

これからまたがんばります。

アルバイト臨時出勤。

正月休み明けの平日のバーはなんてヒマなんだろう。

それでもばらばらと常連さんが飲みに来た。

その中の一組が、ホッピーを仕入れて持ってきた。

わたしは、ホッピーを飲める店を九州では見たことない。

だけど、ホッピーには少し思い出がある。

金沢八景駅前の大衆居酒屋（今もあるかな...?）に行ったUさんが、

「ホッピーっていうのを飲んだんだよ〜。」

と嬉しそうにわたしに報告してくれたので、百聞は一呑にしかず(?)ということで

後日、おじさんばかりのその居酒屋に行って、ホッピーを注文したのだ。

ホッピー体験。

甘くないサワーで、ビールに似たような味だった。

すごく美味しいわけではないけれど、飲むと、なんだか昭和30年代にタイムスリップしたような  
気分。

今日店に来た彼らもホッピーをホントに気に入ったようだ。

そばにあるノートパソコンで、“ホッピーでハッピー党新聞”というホームページまで見つけ、  
人の名前で掲示板に書きこみをしていた。

2003.01.17 Fri ぜんざい

---

会社でぜんざいを作った。

先輩は今日から研修旅行で休みなので、わたしに託していった…。

やっとう鏡割り。

小豆から煮ようかと思ったけど、時間がかかりそうなので、

缶のゆであずきを買ってきて煮込んだ。

手抜きだけど、美味しかった。

外から帰ってきたHさんに食べませんか？とすすめたら、

「俺たち営業は適当に食べるから、寒いところ（＝工場）で働いてるメカの人達に先に食べさせてやって。」

とのこと。

いつもへんてこりんなことばかり言ってる人だけど、こういう時には人に気を使う。

帰りにわたしが遅くまで残されていたら、

「こっそり帰れよ。」

と裏口を教えてくれたり。

こんな風に人の気持ちを察することができる人は尊敬します。



2003.01.17 Fri 和歌

---

君ゆけばゆきし淋しさ君あればある淋しさに追はるるころ

読売新聞九州版を讀んでて目にとまった（『盟約ニテ成セル』より）。

柳原白蓮が、のちに夫となる宮崎竜介におくった歌だそうだが、  
愛する人と一緒にいる時と別れるときの感情ってまさにこういうものだなあと思う。

**2003.01.28 Tue 講習**

---

今度、会社で損害保険関連の試験を受けなくてはならず、今日はその研修...

通常業務を半日休んで4時間半もの勉強をしてきた。

試験のときにはテキストの持ちこみができていたそうなのだが、

1年ほど前から持ちこみ禁止になったそう。

真面目に勉強しなくては！

2003.01.28 Tue ラーメン

---

母につきあって、久留米までお買い物。

帰りに前から行こうと言ってた久留米ラーメンの店へ。

近ごろ、ラーメンを食べに行くと、ご飯も一緒に頼むことが多い。

この組み合わせがまた美味しいのだ。

太りそうだけど...

2003.01.28 Tue 親切

---

どうやら、健康保険の二重払いをしていたようなので、市役所に行ってきた。

5時ぎりぎりになっても、別に嫌な顔せず受け付けてくれる。

こういう時、やはり田舎の人は親切なのかなあと思う。

電車に乗り遅れそうになっても、待っててくれるしなあ。

**2003.01.28 Tue** お土産

---

京都に研修旅行に行ってきた職場の先輩から、お土産をいただいた。

あの有名な“よーじや”さんのあぶらとり紙と口紅おさえ紙とお風呂で使うぬか袋！

このあぶらとり紙は、他のメーカーのものとは比べ物にならないくらいよく吸い取る。

ホントに嬉しいお土産だった。

## 2003.01.28 Tue 新年会

---

会社の新年会。

飲んでも帰れるように自転車で向かったけど、ホントはこれも飲酒運転なんだよなー。

現支店長が別の支店に異動することが発表され、かなりショック。

ホントに穏やかでしっかりしたよい人だったのに…。

集団で飲むというのは、やはり落ちつかない。

今日は男性13人に女性が2人ということもあって、特にいろいろと気を使ってしまった。

ふだんあまり話す機会のない人と話せたのはよかったけど。

**2003.01.28 Tue ラーメン**

---

ずっと行きたかった“幸陽軒”というラーメン屋に連れていってもらった。

とんこつのスープは薄味でもかなりの脂の量。

冷めた先からラード状に固まりそうなくらいだった。

こういうラーメンは初めてだったけど、なかなか美味しかった。

やっぱり自分は九州の人間ですな。

2003.01.28 Tue 美術館

---

久々に美術館に行ってきた。

「近代洋画の巨匠たち」展を鑑賞。

いちばん見たい絵はユトリロだったけど、今日はシャガールがよかった。

あの青の美しさにはとても魅かれる。

しかし、人がごったがえしてて、あまりゆっくり見られなかったのが残念。

展覧会は最終日に行くものではない、と今日の教訓。



だいぶ前にバーのオーナーから借りたというか、薦められ貸されたコミック全28巻。  
1巻も手をつけずにおそらく2ヶ月以上も放置してあった。  
そろそろ返さなくちゃなあと思い、読み出すと、これが面白い！  
あっという間に読み終えてしまった。

篠原千絵作でタイトルは『天は赤い河のほとり』。

そういえば、篠原千絵っていうと、もう10年以上も昔『海の闇、月の影』にもはまったなあ。

今回読んだのは、世界史を習った人なら知っているであろう古代ヒッタイトが舞台の作品。  
主人公はなぜか日本人の女の子である...(笑)。

全巻で数々の登場人物が出てきたのだけど、どのキャラクタも個性的で味がある。  
人物の描き方がすごくうまいと思った。  
クライマックスまで読み終えた時、なんとも言えない淋しさが募った。  
あー、終わってしまった、と。  
こんな気持ちになったのは久々だなあ。

## 2003.02.06 Thu Happy Birthday

---

母の誕生日。

とうとう50歳に。

といっても、まだまだわたしよりも元気だ。

今日はサヨミさんと母と3人で韓国料理を食べに行った。

辛いもの食べて顔が真っ赤に。

外では大量の雪が降っていて、食事を終えて帰る頃には身体が一気に冷えた。

2003.02.07 Fri 雪

---

昨日から降っていた雪だけど、今朝はたいして積もってなかった。  
路面も先日のように凍っておらず、自転車でも危なげなく通勤できた。  
それでも、雪は日中もしつこく降って寒いなのって！

外から室内に入ると、短い髪の毛先に雪がついてて笑われた。  
正月の雪の日も、こんなことがあったっけなあ。  
たんぽぽの綿帽子みたいだったのが忘れられない。

**2003.02.08 Sat** 谷山浩子

---

2日も過ぎたけど、母の誕生日プレゼントを買いに行った、ローソンに。

買った物は、コンビニ弁当でも栄養ドリンクでもなく、ライブのチケットである。

母の好きな谷山浩子が来月佐賀に来ることになったのだ。

母の影響でわたしも幼い頃から彼女の歌には親しみがある。

ということで、一緒に行くことにした。

佐賀にはおそらく初めて来るだろう。

とても楽しみである。

**2003.02.08 Sat 焦り**

---

今日で1月も終わり。

こないだ受けに行った試験の結果はむなしいものに終わってしまった。

あと1ヶ月で派遣社員の更新の返事をしなければならぬので、

なんとか安定した職を見つけたいものである…。

2003.02.08 Sat 新しい上司

---

新しい支店長が会社にやってきた。

第一印象では、なんだか仏頂面で堅そうな人に見えた。

朝は、全員集まって朝礼を始めたが、さっそく会社の慣例を変えようとする動き。

とにかく業績をあげてやろうという熱血漢のようだ。

前支店長とはあまりにもタイプが違い、戸惑いを覚える。

なんだかこれから先が思いやられるなあ...

**2003.02.08 Sat** 焼鳥屋にて

---

先輩と近所の焼鳥屋に行った。

そういえば、こうやって夜飲みに行くのは初めてだ。

食べて飲んでしゃべって笑ってるうちに、あっという間に時間が過ぎていた。

気がつけば閉店間際で、わたしたちは最後の客となっていた。

気分家で、何を考えているか分からないようなところもある人だから、

こうやってずっと楽しく過ごせたことが意外だった。

2003.02.08 Sat 福岡にて

---

大学時代のクラスメイトT君と会った。  
卒業以来だから4年ぶりくらいの再会。  
彼も数年前に九州に帰ってきて、今は実家で暮らしている。  
おそらく同じクラスで九州在住なのは彼とわたしだけだろう。

会社を辞めた後、身を削って努力をしたT君は4月から新しい職場で働く。  
文字通りだいぶ体重を落としたりしく、顎の線がくっきり出ていた。  
そんな彼の言葉にはなんだか説得力があり、多くを考えさせられた。  
その他にも、学生時代の友人のこと、横浜のことなど、懐かしくなる話題が尽きず、  
あの頃はホントに幸せだったんだと改めて思った。

だけど今は今。  
前に向かって「きちんと」生きようと思う。



わたしの派遣先の会社では自動車を売っている。  
そして、自動車保険を扱う代理店業務も当然ついてくる。  
この業務に必要な「損害保険代理店資格」を派遣社員もとれるようになったらしく、  
わたしはほぼ強制的に試験を受けさせられることになった。

今日はその試験本番。  
お昼を食べてメカニックのKさんと試験会場へ向かった。  
数人しか集まらないのだろうと思いきや、とても広い会場が用意されていて、  
受験者も60名以上はいた。

試験対策をやっていただけあって、時間はかかったものの全部に解答した。  
会社ではまだ落ちた人はいないというから、なんとか受かりたいものだ。

2003.02.08 Sat 悩み

---

同じ会社の女性社員Oさんは、わたしと同じく髪の毛にクセがある。  
だけど、パーマをかけたのかと思うほど美しいウェーブでよくまとまっている。  
切ったばかりの頃は短すぎたと思っていたわたしの髪も、そろそろ長さが出てきた。  
しかし、Oさんのようにクセを生かすどころか、クセに悩まされる毎日である。  
自転車通勤だから、風に思わぬ方向へブLOWされなおさら厄介だ。  
なんとかならないものかなあ…。

新&前支店長の歓送迎会。

19:30に会場集合だったが、30分ほど遅れて着くと事前に言っておいた。

18:30から、近くの出版社の面接だったのだ。

その会社では、いきなり作文を書かせられた。

「私の仕事観」というテーマを与えられたが、全くさえない文章になってしまった。

普段から仕事については漠然と考えてはいるのだが、文章にしろと言われてたら途端に思考がとまってしまう。

もっと書く練習をしないといかんなあ。

しかし、正社員は採らず、取材があるときだけの仕事依頼だというから、待遇面での魅力は感じなかったし、会社の雰囲気もイマイチ...

遅れて行った歓送迎会では、男性は皆スーツ姿でビシッとキメていた。

女性2人は一番奥にいて、わたしが一番手前。

周りの人の飲み物や運ばれてくる料理など気を遣ってしまい、疲れた...

会社の飲み会というのは、やはりどうも好きになれない。

だけど、お世話になった支店長にお礼を言う機会をずっとうかがってはいた。

一次会が終わって店の前で言うことになったが、話ができてよかった。

「ショールームの植木は頼んだぞ、時々見に来るから。」

と、言葉をかけてくださった。

握手をして、別れた。

ホントにいい人だったから、いなくなるのは淋しい。

社員にも植物にも細やかな気を配る、それでいておおらかな人だった。

寒い屋外で、自ら観葉植物の伸びた根を切ってくれたり、土の入れ替えをしてくれたり。

そんな姿を見ていて、花や木を愛するココロをそっと教えられたように思う。

## 2003.02.11 Tue 集中力

---

職場の先輩が私用で神戸に行ったので、今日は一日一人きり。  
ダイレクトメールの封づけ作業をもくもくとやっていた。

最近思うこと。

「何事にも集中力が大事」ということ。

何かに打ち込んでいるときは、充実している。

人と話しているとき、本を読んでいるとき、映画を観ているとき……etc。

他の雑念を振りきり、集中して何かをする時間はすごく貴重に思える。

上の空で流れていく時間というのは実にもったいない。

DMの封づけ作業だって、集中してやれば、何か無我の境地に至るような、  
そんな思いすらしてくる。

普段ぼーっとしているわたしだけど、思考をクリアにして何かをやろうとしている。

2003.02.11 Tue 状態

---

少し落ちついてきた。

少し気持ちに余裕が出てきた。

少し目の前が開けてきた。

やっと前に進み出せそうな気がする。

BEGINのカバーで『涙そうそう』を歌ってる夏川りみさんが佐賀空港にやってきた。農協が主催してるらしい「佐賀農業まつり」が空港公園で行われていて、彼女はそのイベントである歌謡ショー（いかにも田舎くさい響きだ）に出演したのだ。

『涙そうそう』に始まり、沖縄の子守唄やBEGINの別の曲のカバーや『島唄』『花』など計6曲ほど歌った。

『涙そうそう』を聞くと、なぜか自然に涙が出そうになる。昨年暮れの紅白のビデオを観たときも、今日の野外ステージでも涙腺がゆるみっぱなしだった。なんでだろう...？  
旋律と詞と声とすべてに心が反応する。

母も気に入ったようで、アルバムを2枚買って帰った。  
BEGINは昔から好きでよく聴いていたが、すごい曲を作ってくれたな、と思う。

昨日からライブ続きで、今日は谷山浩子さんの「101人コンサート」に行ってきた。  
母は3度目だけど、わたしは初めて「生谷山」にお目にかかれた。  
物心ついた時から家の中でよく流れていた歌を、まさに本人が目の前で歌っている。  
それだけで感慨深いものがあった。

新しいアルバムからの曲が多いのかな、と思っていたが、懐かしい曲もたくさん歌ってくれた。

『カントリーガール』や『サーカス』『私の恋人』など20年経った今でも色褪せずに聞こえてくる。

MCも、言葉一つ一つが優しく、機知に富んでいて、とても心地よい。

アンコールは2回。

そのたびに「嬉しいなあ」と言いながらひょこっと出てくる姿がとてもキュートだった。

今日こそ、このボサボサ頭をなんとかしなければ、と思い立ち、美容院へ。  
会社の隣の美容室は予約がいっぱいだったので、先輩が紹介してくれた店に行ってみた。

「Uという人がいるから、その人に切ってもらいな。」  
と前に言われていたので、紹介してもらったことを伝え、Uさんに切ってもらった。  
Uさんもまた同じ中学出身だった。  
バレ一部に所属していたいっこ上の先輩でなんとなく見覚えがある。  
知っている人というのはどこか安心感があって、イメージを伝えやすかった。  
店全体の雰囲気もなかなかよく、Uさんのしゃべりすぎないところも気に入った。

7ヶ月の間に、美容室を転々としたが、やっと落ちつけそうだ。



ビジネスホテルを経営してる社長Mさんは、なぜかよく来店する。  
たぶん、少しでもクルマの調子がおかしかったら点検しに持ってくるのだろう。  
ショールーム担当だからよく分からないけど…。

Mさんはいつも自分のお孫さんを連れてくる。  
一人は、目がぱっちりした3歳くらいのかわいい女の子。  
もう一人は、同じくらいの年でいかにも悪戯好きそうな男の子。  
だいたい女の子だけを連れてくるのだが、男の子も一緒だと対応がホントに大変。  
今日は子どもたちだけにして、揚げせんべいを与えたままほったらかし…。  
わたしも忙しくて見てなかったのだが、後でショールームに戻ったらせんべい散らかし放題！！  
悪ガキたちはせんべい触った手であちこちベタベタにするわ、  
いっちょ前にお茶のお代わり持って来いと言うわ…。  
さすがに子ども好きなわたしも角が生えた。

たまにいるんだよなあ。  
ここを喫茶店や保育所か何かと勘違いしてるお客さん。

## 2003.02.17 Mon バレンタインデー

---

世間はバレンタインデー。

すっかり忘れていた。

これほど意識しなかった日がこれまでにあったか??

どうやら一番盛りあがってるのは学生達のような。

帰りにすれ違う女子高生たちは、ほとんどと言っていいほど大きな包みを抱えてた。

今は義理チョコじゃなく友チョコが流行なんだそう。

会社では期待してる人もいたようだったが、女性3人はその話題を避けた...

皆、ドライ（薄情？）です。

## 2003.02.18 Tue 飲み会

---

小学校からの友人の誘いで、ある飲み会へ。

友人以外は皆知らない人達だった。

あまり話をしようという気がないらしく、そんなわけで話が合う人もいなかった。

ただ酔うだけの飲み会はつまらなくて、一次会で退散。

**2003.02.19 Wed** 虚しい日

---

気分がすぐれず昼間寝てばかりいた。

天気はよかったのになあ。

市長選の投票にも間に合わなかったし、無生産の一日。

**2003.02.19 Wed 悪戦苦闘**

---

やっとうちもADSLに。

モデムはやっところさ繋げた。

しかし、ルーター接続がうまく行かなくて一晩中時間を費やした。

無線LANへの挑戦はまだ早かったかな...？

## 2003.02.19 Wed ADSLへの道

---

遠い千葉のAさんにADSLの接続の仕方を教わった。

モデムだけならいいのだが、間にドアフォンのアダプタがあるので、複雑だったのだ。

ワードで図まで送信してくれて、かなり分かりやすい説明！

とりあえず、ADSLは正常に接続できた♪

ハードに詳しい人はホントに尊敬するなあ。

次は無線LANに挑戦だ。

ゴスペルの発表会が3月下旬にあるらしく、これから教室開講日以外に練習をやるので来てくれ、と言われた。

今日は、練習第一日目。

臨時スケジュールのため、いつもの教室は使えないので、市内の公民館へ。

ソプラノ、メゾ、アルトがそれぞれ2人ずつ集まった。

このメンバーで発表会に出るそうだ。

わたしはもともとソプラノなのだが、アルト人員不足のため、アルトへ。

低音部は少しきついところもあるけど、メロディラインのソプラノより、

ピリッとスパイスみたいな役目のアルトの方がやりがいを感じる。

練習は和気あいあいと進んで、いい雰囲気。

たっぷり2時間歌った。

それぞれのパートの音は大体皆とれているけど、まだまとまりに欠ける。

迫力のあるゴスペルになるためには、発声法、口の開け具合、発音など一つに揃うことが重要。

その辺が、今後の課題だ。

「いい感じ♪」

と思わせる歌を歌えたらいいなあと思う。

2003.02.23 Sun 感謝

---

受付の先輩に3月いっぱい派遣の仕事を辞めることを、やっと告白できた。

彼女は初め、えっ？と驚いたものの、半年経てば有給もとれるのに、もったいないよ！

と、親身になって意見を言ってくれた。

先輩も派遣社員なので安定しないのが不満で、転職を考えてるらしく、逆に、いい就職ある？と相談された。

それから2人でインターネットを使っての転職情報検索...

ホント人間関係には恵まれているなあと思う。



2003.02.28 Fri ひげ

---

近ごろ、あごひげをはやしてる男性が増えたのはなぜだろう？

ワイルドに見せたいのか

剃るのが面倒なのか

単なる流行なのか...

ひげというのは威厳の象徴だろうか？

女性の勢いが強くなってきた世の中だから、

男性側も勢力を盛り返そうという動きが出てきているのかもしれない、

と思ったり...

Sもあごひげがいつのまにか伸びていた。

「なんか、うれしいんだよね、植物の成長過程を見ているようで♪」

と嬉々として語っていた。

なんて変なヤツだと思ったが、

彼が造園の仕事をしたことを思い出し、妙に納得してしまった。

## 2003.02.28 Fri 送別会

---

中学時代の陸上部の仲間で昼に集合した。

事情で来られなかったうめちゃん以外の4人がハンバーグ屋に集まった。

その中の一人が熊本に引っ越すというので、お別れ会を兼ねた同窓会だった。

会うのはホントに久しぶりで、懐かしい話で盛りあがった。

その後、4人で陸上部の顧問だった先生の家へ。

手土産のケーキを食べながら、すっかり話しこんでしまった。

先生も友達も、面白いほど変わってなくて、ホッとした。

2003.03.02 Sun 休息

---

母と山の温泉へ。

やっぱり今日も岩風呂！

なかなかほんとに檜の湯の日に当たらない。

だけど、ゆ〜っくりとつかって心身ともにスッキリ。

帰りに居酒屋でご飯を食べた。

ここはもともと寿司屋だったそうで、お寿司のメニューもあった。

それならば...と思い、にぎり一人前を頼んだら、ひどいものだった。

ネタは切り身の余りのような薄っぺらいのがのってるだけで、新鮮さもなし。

商売をおろそかにしてはいけませんね。

**2003.03.02 Sun** ドーナツ化現象？

---

会社帰りに鍋島に寄って帰る。

ボールペンの芯を買いに文房具店を目指していたのだが、その前に新しくできた“GEO”へ。

マイケル・ジャクソンの特番の影響か、急にジャクソン5の歌が聴きたくなったのだ。

この近くには来月“TSUTAYA”もできるらしい。

佐賀市中心部の店は相次いで閉店し、どんどん郊外発展型になる模様。

2003.03.02 Sun 花粉

---

職場には花粉症の人がホントに多い。

今日は彼らにはとってもつらい日だったらしく、目がかゆい、鼻水がとまらない、と訴えていた。

外に干していた服を着て近づくだけでも、やはりアレルギー反応を起こしてしまう人がいる。春が来るのを万人が待ちわびる時代ではなくなってきたみたいだ。

**2003.03.02 Sun 心配**

---

お昼の時間は交代制で、わたしは12時から入ることになっているのだが、  
なぜか、12時半まで仕事をしていた。  
別に忙しかったわけでもなく、ホントにボーっとしてて忘れていたのだ。

最近ものわすれが激しいし、こんなことが続くと自分の精神状態が本当に心配になる。  
いつか大きな過ちをおかしそうな気がする。  
大丈夫かなあ…。

2003.03.02 Sun 気合

---

月初め。

あと1か月で就職が決まらなければ、また無職人になってしまう。

ということで、なんだか気合が入った3月1日でした。

すぐに闇の中にもぐりこんでしまいそうなココロの状態だけど、

目の前は明るい、と信じようと思います。

## 2003.03.05 Wed 演奏会

---

前々支店長が所属してる楽団の演奏会へ。

チケットを2枚もらったので、誰かで行こうとした。

だけど誰も都合のいい人がいなくて、結局一人で花を買って向かった。

わりと有名な曲（“カルメン”や“フィガロの結婚”など）がオペラ付きで楽しめた。

伸びやかな歌声、繊細なバイオリンやビオラの調べに感動した。

管楽器は完成されていなくてバラバラのイメージでイマイチだったかな。

アンコールは“G線上のアリア”。

これはわたしが最も好きな曲の一つ。

この曲はいつ聴いても心洗われる。



2003.03.05 Wed 職安

---

約5ヶ月ぶりに職安へ。

求職登録してきた。

佐賀の職安の募集は乏しいなと思ってたけど、今日はなかなかいい求人が見つかった。

一つは印刷会社、もう一つは...よく分からないけど、ビデオや小冊子を作ってる会社だそう。

後者は、タウンページにも電話番号を載せていないちょっとアヤシイ会社。

しかし怖いもの見たさで受けってみようかな、と考えている...

職場にバックパックを背負った青年が道を聞きに立ち寄った。  
春休みを利用してバイクで旅をしている学生のような感じだ。  
彼は「ここから長崎に行くにはどうしたらいいですか？」  
と少し緊張した様子で尋ねてきた。  
わたしは地図を持ってきて、簡単な道案内をした。  
すごく冷え込んだ日だったのに軽装で、見るからに寒そうだった。

旅をする人には親しみを感ずる。  
ついつい世話をやきたくなる。  
わたし自身、無謀な一人旅をよくして、旅先での親切な人達に何度も助けられたから。  
未知の土地に踏みこむのは不安だけど楽しくもある。  
見えない風景、いつもと違う空気、すべてを肌で感じるのが好きだ。  
旅人は長崎の小浜（おばま）に向かっているようだ。  
どんな出会いをして、どんな出来事を体験してくるのだろうか。

今日のゴスペルの練習は、佐賀市の交流センターのスタジオにて。  
グランドピアノと譜面台があり、本番に近い練習ができた。  
このゴスペルメンバーはソプラノ・メゾ・アルトがそれぞれ2人ずつ。  
26歳女性が3人、40代女性が3人、で歌っている。  
わたしと同じアルトの子は、歌うときにはホントに堂々とした歌いっぷりで  
声に圧倒されそうになる。  
そんな彼女の足を引っ張らないように、わたしもいい声を出そうと集中する。

彼女は無口で、ほとんど会話を交わさないのだが、二つの声がうまく合わさるたびごとに、  
だんだんと心の会話が進んでいく感じがするのが嬉しい。

練習が終わって、それぞれ帰る方向に分かれるとき、皆で手を振って挨拶した。  
今日は彼女も笑顔で手を振ってくれた。  
好きなことを一緒にやる仲間って、近い存在に思えるんだなあって思った。

## 2003.03.12 Wed 残業

---

久々に45分も残業した…。

今の職場では残業がほとんどない。

だから45分というのは、わたしにとっては長い時間なのだ。

前の職場にいた頃とは全く違い、本当に楽な仕事だと思う。

あの頃は、徹夜が二晩続いたこともあったし、7時前に帰れることなんてほとんどなかったから。

しかもサービス残業。

なんで、あんなに働いていたんだらう？

遠い過去のような気がして、あの過酷な労働をしていたことが今では信じられない。

それとも今の職場みたいな所の方が珍しいのかな？

## 2003.03.13 Thu 展示会

---

今日は展示会。

営業さんたちはせっせと主役のクルマたちを洗って、お客様を待つ。

朝から、案内状を持ってきた人達がぽつぽつ来はじめて、

それぞれ担当の営業さんと歓談していた。

午前中、別の支店の人から電話がかかってきて、

「客の入りはどうだ〜？」

と聞かれたので、

「まあまあですね。」

と答えたら、

「まあまあって…。こんな早い時間にそんな景気いいはずないやろ。」

と一笑された。

そんな風に言わなくてもなあ。

確かに、商談してる営業さんはいなかったケド。

確かに、この支店は一帯の中で売上もよくないケド。

電話を切ったその時は、軽く流したのだが、後からあれは蔑まれた言葉だったんだと気づいた。

こんな風に、人の言葉を振り返って嫌な気持ちになることってたまにない？

母の高校時代の友人が大分からはるばる遊びに来た。

ちょっとうちで過ごした後、3人ですぐに出かけた。

目的地は鹿島。

家から長崎方面へ1時間程度の所で、なんと、カキをその場で焼いて食べられる

「カキ焼き小屋」があちこちにあるのだ（この時期限定）。

母によると、こんな所は全国でも珍しいらしい。

小屋はカキの直売所の横にある。

カキはカゴいっぱい¥1,000也。

他にも、ホタテやカニやイカなどがあって、全部焼いて食べることができる。

海鮮バーベキューである。

炭火の煙を直接浴びるので、たいへん煙たい！

自分がスモークして食べられそうなくらい、燻される。

火の粉も飛び、悲鳴もあがる。

こんな散々な環境の中で食べるけど、やはり新鮮な魚介類は美味しい。

美晴おばちゃんも気にいったようだ。

お腹いっぱい食べた後、帰りは温泉に寄って、もうあとは寝るしかない(笑)。

久々に遠出をして、楽しかった。

いつでもこうして誰かを連れ出せる母の行動力には感心する。

**2003.07.09 Wed 再開！**

---

長らくサボっていた日記をそろそろ書くことにします。

派遣社員での仕事を3月に辞め、4月21日から新しい職場で働き始めた。

今度は隣の県の小さな印刷会社。

車を買って、40分かけて毎日通っている。

まずはMacオペレータとして配属。

あらかじめデザインされたチラシやパンフレットなどの原稿を見ながら、

Illustratorでデータにする仕事をしている。

Illustratorは1年のブランクがあったので最初は操作を思い出したり、

新しい機能を覚えたり、と即戦力にはならなかったが、

2ヶ月半経った今、普通に仕事をもらってこなしている。

仕事が終わるのは0時過ぎることもしばしば....

一日中PCと向き合ってるので、疲れる仕事だけど、なんとか続けられると思う。

**2003.07.15 Tue** オススメの音楽を教えてください。

---

今、深夜2時半。

もうとっくに寝る時間なのに、眠れない。

最近会社にミニコンポが導入され、好きな音楽をかけられるようになったので、わたしも自分の部屋からCDやMDを持ち出しては会社で聴いている。

自分の好きな曲を編集して録音するのが趣味となりつつある。

で、ついつい夜更かし・・・。

何度聴いても飽きないのはスティービーワンダー。

コニーからいつか焼いてもらったCDを大切に聴いている。

いつか“Lately”をピアノで弾けるようになりたいと思っている。

Fair Grand Attractionもホントに好き。

これはGawatyさんからの影響だ。

他にも人から教えてもらった音楽は数え切れないほどある。

よい音楽を作る人、そしてそれを知らせてくれた人たちに感謝する今日この頃。

さあ、でもそろそろ眠ろうっと。



**2003.08.06 Wed お盆前**

---

うちの会社はお盆前は仕事が忙しいらしい...。  
先週から残業4時間以上の日々が続いている。  
今日は深夜1時過ぎに仕事が終わった。

今夜は会社の近所で九州一大きな花火大会が行われるはずだった。  
しかし、夕方ものすごい雷と雨。  
来週に延期になった。  
花火大会なんてほとんど行ったことないから、来週は見られたらいいなあ～。

2003.08.10 Sun 夏休み？

---

新しい町に行き  
以色列料理を食べ  
韓国映画を観て  
台湾音楽を聴き  
日本は広いのだと  
実感した  
一日余りだった。

2003.08.16 Sat 日帰りで

---

兄ちゃんが里帰りしたので  
家族水入らずで長崎に遊びに行った。  
リーズナブルでとっても美味しい蟹料理と  
母オススメのとおきの温泉を楽しむできた。

温泉には韓国式サウナがあり  
麻袋をかぶって入るという  
すごい体験をしてきた。  
電気をまったく使っていない  
松の木の薪を燃やしただけの天然サウナ！！  
もちろん中は真っ暗（奥で薪が燃える火のあかりのみ）。

誰か九州に遊びに来ないかな～。  
ぜひとも連れて行きたい場所になりました。

2003.08.18 Mon いいのか？

---

ゴスペルグループ“Flash”始動後の初ステージ！！

献血夏祭りなるものに出場した。

音も正確にとれないままの中途半端なステージ。

これで本番を迎えることは大変恐れ多いことなのだが

とうとうその日が来てしまった。

まだまだ人前で歌うには忍びないグループで

課題は山積み！

後から自分で録った本番のテープを聴きながら

まだまだ“聴かせる”どころか

自分等で聴くのでさえしかめっつらしそうな演奏。

本番は3時くらいに終わり、

6時から打ち上げが近くの焼き鳥屋で行われた。

二次会のカラオケで

酔った人を介抱するつもりでいたのに

自分がすっかり酔っ払ってしまって

メンバー達にお世話になった。

2003.08.24 Sun 親睦会

---

会社で親睦会があって土曜日だけど久留米の会社へ。

工場の横でバーベキュー大会！

屋根はあるが、クーラーはない。

汗だくだくになりながら、必死で焼き場係をしていた。

4ヶ月前の新人歓迎会の時は、全員初対面で緊張してたけど、

今日はマイペースで、ちゃんと人間らしい交流ができた気がする(笑)。

暑かったけど、なんだか元気になった。

だから夏って好きだよ。

2003.12.27 Sat 冬休み

---

12月28日は祖母の80歳の誕生日。

しかし、その祖母が誕生日まで生きられるかわからない状態にある。

今は叔母や古くからの友人が病院で必死の看病を続けている。

わたしも冬休み、できるだけ祖母と一緒にいたいと思う。

20年前、祖父が病に倒れたとき、家族は同じように病院に通いつづけた。

だけどその頃のわたしは人の死というものがどうもよく分かっていなかった。

不用意に

「じいちゃん、62歳で死ぬなんてまだ早すぎるよねえ。」

と発言して諭されたことを憶えている。

病に苦しみ、死の恐怖と闘っている祖母を目の当たりにし、

無力ながら祈りつづけている自分がある。

少しでも彼女の中の光を取り戻せますようにと。

2004.04.08 Thu 春の手紙

---

↑大貫妙子さんではないけれど・・・

みなさんお久しぶりです。

わたしは元気でやっております。

昨年4月に隣県の某印刷会社に就職し、早1年が経とうとしています。

Macオペレータとしての立場は変わりませんが、

最近夜勤なるシフトに組み込まれ、昼夜を問わず働くようになりました。

今週は夜勤（隔週で交替）。

昼1時に出勤し、平均で深夜3時、遅いときには朝7時過ぎまで働くことも。

長時間仕事をしていると、休みの日も、頭が仕事モードになってしまって、

うまく気持ちを切り替えられません。

でも勤めて1年経って、仕事以外の大切なこと、そろそろできるようになりたいなという気持ちでいっぱいです。

もっと自分と、大切な人達と向き合おう。

スロースターターですが、これからもよろしくお願いします。

**2004.04.20 Tue** 今週は夜勤（13時出勤）

---

夜勤で、午前6時ごろ帰宅。

もう辺りはうっすらと明るく、朝の気配。

帰ったら母が「冬のソナタ」のビデオを一生懸命みていた。

どうやらはまってしまっているようだ。

わたしもつられてみてしまう。

親子して昼夜逆転&睡眠不足。



## 2004.05.25 Tue 田舎暮らし

---

今週は日勤で、9時出勤です。

国道34号線を少し東へ進み、後は周りが田んぼだらけの道をひたすら久留米方面へ向かいます。

今朝は農家のおじちゃん・おばちゃんが農作業をしている姿をたくさん見かけました。

麦の刈り取り作業がはじまったのでしょうか。

佐賀地方では、この時期、金色に輝く麦の穂がいたるところで見られます。

どこまでも続く麦畑の景色は、とても美しく、のどかです。

この収穫された大麦が、わたしの大好きなビールの原料として使われるのですね(笑)。

ゴスペルをみんなが歌っている。

わたしはそちらの方へ行こうとするのだが、

足が重くてなかなか進めない。

やっとステージに着いたと思ったら、まっすぐ立てなくてぶっ倒れてしまう。

それでも、どうしてもみんなと同じように歌いたくて、必死で立って歌おうとしている、そんな夢・・・。

不自由な夢はよく見る。

2004.07.01 Thu 2年

---

今日から7月です。

もう佐賀に帰ってきて2年が経ちました。

早い・・・早すぎる。

そして薄い2年だったような気がする。

**2004.11.11 Thu** 少し更新

---

ネットからしばらく離れていたなので、HPの更新の仕方を忘れてしまった！  
でもなんとか、リンクの修正などができたので、よかったー。

リハビリも兼ねて、少しずつ少しずつネットに復帰していきたいと思います…。

お寺で、今年亡くなった人のための法要があり、叔母と出席した。  
そこには祖父母と父が眠っているのに、こういう時にしかお寺に行かない。  
先祖不幸ものである。

でも今日は、お寺にももっと足を運びたいという気持ちになった日だった。  
浄土真宗でいつもやるように、お経を聞き、念仏を全員で唱えた後に、  
別の寺の和尚さんが延々80分もした説法が面白かったのだ。  
(休憩入れて各40分)

「無代者（代わる者無し）」と「無有代者（代わる者有ること無し）」  
を比較して、仏法では、「無有代者」を重んじる、と。  
なぜなら、単に「代わりがない」のではない、  
「代わりがないことがない」（意識すると「代わりがいるわけがない」かな。）、  
つまり、誰にも代われない、一人一人が尊い存在だということ。

というような話を、和尚さん自身の身近な人の出来事に例えて  
ユーモアたっぷりに話していたので、なんだか落語を聞く感覚で、  
ついつい聞き入ってしまった。

同窓会の話なんかひどかったな。  
まず、同窓会で物故者を追弔して、その後久々の同級生と風呂に入った時、  
同級生が「5年後はまた（この同窓会の参加者が）減ってるんだろうね。」  
と言ったらしいが、5年後、その本人が物故者追弔の中に入っていた、ということ。

「いやぁ、人間がいつ死ぬかなんて本当に分からないものです。」  
なんて笑いながら言ってた。亡くなって1年経たない人の法要の場で、  
そんなことを言うなんて...。  
とも苦笑したけど、現実を教えながら仏法を説くので感じる所が多い。

喪中のハガキの話で、「よく生前お世話になりました。」と書くが、  
生まれる前（生きる前）、となぜ書くのか、と問われた。  
これは、仏教ならではの考え方で、実は「往生する前」という意味だと。  
それを聞いて、ああ、祖母も浄土に行って生まれ変わったわけか、  
と妙に納得して、仏教の良さを感じてしまった。

話が長くなったけど、  
仏教の思想って結構いいではないか、と思った日だった。

と言いながら、夜はゴスペルの練習でキリストを賛美し...  
なんとも節操がないヤツである。

父の七回忌。

兄も東京から帰ってきた。

親族は私達家族のみで、他は、父と親しかった友人の方々に来ていただき、20数名で、質素に法要を行った。

わたしは、父のことをまたよく思い出すようになった。

音楽の話など、今、したい話がたくさんあるのに、頼りたいことがたくさんあるのに、もう会えない、と思うと辛い。

こういう時、どうすればいいのだろうか。

お寺では、皆、和やかなムードでお話ししてくださったが、

愛する人を失うという悲しみは、6年経っても、なかなか消えないみたいで、簡単に笑顔になれなかった。

きっと父は天国からわたしのことを見ている？

それとも、死んでしまえば、すべて終わり？

それは、わたしのココロ次第。

正月も美術館と博物館が20時までオープンしているというので、行ってみた。  
博物館では、有明海をテーマに企画展をやってて、  
有明海での漁業で使われてきた、古い道具などが展示してあった。  
無名の人が書いた、有明海の生き物の図鑑などもあって、  
貴重な資料だなあと思いながら見た。  
その中には、もう現在は確認できなかつたり、絶滅の危機にある生き物も。  
昔のように、生き物が住みやすい海ではないのだろうな。

美術館では、  
歌川広重作の浮世絵「東海道五十三次」など展示。  
55枚揃っているのは初めて見たが、表現力の豊かさに感心した。



昨年末から、月2回、英会話教室に通っている。

カナダ人の先生だが、彼がわたしたちのゴスペルの練習を見に来て知り合ったのがきっかけだった。

ゴスペルのメンバーと2人で教わっているが、まだスムーズにコミュニケーションがとれるには程遠い。まず、英語流挨拶の仕方に慣れてない。

先生のアパートを訪ねると、

"Hi!How are you?"

と、いつも言葉をかけられる。

でも、

"I'm fine."

としか答える術がない。

もっとバリエーションが欲しいのだが(笑)。

こんな時、本場ではどういう表現を使うのだろう？

今度聞いてみよっと。

2005.01.15 Sat 一周忌

---

祖母が亡くなったのは、昨年1月7日のことでした。  
息を引き取った瞬間のことも昨日のように思え、  
最後まで一生懸命生きていたのが、今でも忘れられません。  
本当に時間が経つのは早いなあ、と感じます。  
今ごろ天国で、祖父と父と仲良くしてるんだろうなあ。

今日は祖母の一周忌でした。  
知らない方たちがたくさんいたけど、祖母の身近な人たちが  
こうして一つの所に集まって一緒に時間を過ごせるのも、  
祖母が与えてくれた縁なのだなあと、しみじみと思いました。

テレビはあまり見るほうじゃないけど、  
久々に家でゆっくりできたので、NHKのライブジャム2005なるものを見ていた。  
いい番組だったと思う。  
ベッキーの司会が元気でよかったし。  
ダイノジのおおちさんも、冬ソナのシナリオ読みでいい味出してた。  
朗読日本一？の高校生には、マイッタ！  
大げさでなく、でも感情をたっぷり込めての朗読。  
将来はアナウンサーに？と聞かれて、目を輝かせながら、  
「映画の吹き替えをしたいです。」と落ち着いて答える姿は、  
希望が満ちあふれていたように見えた。

しかし、平原綾香って20歳には見えないくらい  
貫禄あるなあ。  
着物姿で歌う「明日」に感動した。

叔母の家に用事で行ったついでに、外に食事に出かけた。  
最初は、近くの和食の店に行ったが、カウンターしか空いていなかったのもので、  
イタリアンのレストランへ。

テーブルが広々としていて、落ち着けるお店。

でも、2人分3,500円くらいのコースを頼んだら、  
たくさん料理が来て、テーブルがいっぱいになってしまった。

コースには、サラダ・アラカルト・パスタ・ピザ・デザート・ドリンクが  
含まれていて、ちょっと豪華なお食事に。  
しかも、それぞれ全部種類を選べて、楽しい♪

店の奥～の方の席を案内されたけど、  
店員さんは、何でもちゃんと気づいて来てくれる。

料理も美味しかった。特にピザ！  
上に乗ってるトマトがフレッシュで、  
チーズやピザソースと相性ばっちり、最高でした。  
生地ももちもちとして、ちょうどいい堅さ。  
最近はクリスピー生地のピザが多いけど、どちらかというと、  
パン生地みたいなピザの方が好きだな。

叔母とのおしゃべりもはずみ、  
幸せなひとときでした。

2005.01.23 Sun 工場見学

---

今日は「ビール」についてのお勉強に行ってきた。

できたてのビールって、こんなに美味しいものなんだと再確認。

## 2005.01.23 Sun レストランにて

---

今年一番のステージ。  
また人前で歌った。  
佐賀の小さなレストランにて。  
これからここでは月1ペースで歌うことになりそうだ。

お客様の反応を間近に見られるので、考えるところが  
たくさんある。

音楽を聴くお客さんの中には、  
いろんな人がいる。

大体、歌を聴いてくれるお客さんは、  
歌の完成度・音程・リズム・ノリ・表情・・・。  
こんなことを見ているのだと思う。

だけど、どんなお客さんも、  
気持ちのこもってない歌を聴いて  
面白いと思うはずがない。

少しずつでも、気になるところを  
改善していけたら、と思う。

## 2005.01.23 Sun 工場見学

---

印刷会社の工場見学に。

わたしは実際に印刷会社で働いていたのだが、  
恥ずかしながら、印刷の全工程を見たことはなかった。

忙しいときに研修のため、と連れていかれたので、

早めに知らせてくれればよかったのに・・・

と、複雑な思いで行ったけど、

大規模な機械で、高速に印刷されていく様は、

迫力があって、印象に残る体験だった。

とにかく何でも目で見る体験をさせてくれる

部長に感謝。

20時から英会話。

仕事が2時に終わったので、

ちょっと遅れて行った。

"er" などの難しい発音を徹底的に叩きこまれる。

日本人でもNativeに近い発音ができるように、

という方針らしく、

ツボを押さえた教え方をしてくれるので、

信用できる先生だと思う。

英語は、大きさに口を開けて発音しなければならないので

ちょっと恥ずかしいが、

これを克服してこそ、きれいな英語になるはず！



前の職場の先輩が  
豚バラが美味しい焼鳥屋があるというので  
行こうと誘ってくれた。

そういえば、東京や横浜に住んでいた時には、  
メニューになかったなあ。豚バラ。  
そもそも焼鳥屋に豚肉が置いてあることが  
おかしいのか？

でも大好物。  
これが食べられるだけでも九州に帰ってきて  
よかったな、と思う(笑)。

まだ現職の人4人、卒業した人4人で集まった。  
一番元気なのは、ペニシリンファンのIさん。  
飲みすぎた果てにはつぶれてしまった。  
1年前に卒業したKさんは、  
いまだに職についてなくて、パートのお母さんの  
家事のサポートをしているそうだ。  
毎日、何して過ごしてるの？  
と聞いたら、  
食事の買い物や、洗濯や・・・  
という返事。  
シンプルだけど、そんな生き方もいいな。

いちばん年下の男の子は  
相変わらずみんなにからかわれてばかり。  
強制飲み・・・じゃなくて強制食べ、の  
拷問を受けていた。  
本人はいやがるどころか嬉しがっていたけど・・・。

携帯を取って、勝手に画像を見たり、  
財布の中を見たりして騒いでは夜が更けていった。  
いつもどおり精神年齢の低い飲み会で、  
そんな雰囲気にも満足して、わたしは一人

店を後にした。

明日は仕事だ・・・。

## 2005.03.30 Wed イースターコンサート

---

所属しているゴスペルグループ「Flash」で、チャリティーコンサートに出演した。

小さなイベントホールに100人?くらいのお客さんが見に来てくれた。

歌を聞かせる、どころか、

自分たちで歌う歌をコントロールするのでさえまだまだだなあと思う。

結成して2年経つけど、いまだにスターティングポイント。

お客さんと共に歌う企画も3曲ほど用意してて、

それなりに楽しんでもらえてたと思う。

けど、ステージから、お客さんの反応を見てたら、

自分たちのレベルがよく分かる。

なんとか楽しんでくれてる人もいるが、

じっと聞いてて、拍手もしない人もいる。

これが正直な感想なのだと思う。

自分としては精一杯表現したつもりなのだが・・・

## 2005.04.01 Fri 顎関節症

---

生春巻、ハンバーガー、手巻き寿司・・・etc

少し厚みのある食べ物を食べる時に、

口をあけられないほどアゴが痛い。

もうかれこれ10日ほどになる。

顎関節症の疑いがあると思い、

歯医者に行った。

6年ぶりくらい？

アゴの関節を痛めた原因として考えられるのは・・・

1.何らかの強い衝撃による

2.ストレスによる

3.虫歯で片方のアゴに負担がかかる

この3つだそうだが、

わたしの場合、ゴスペルで思いっきり口をあけたからだ。

虫歯はないと言われたし・・・

ストレスは・・・

なきにしもあらず、かな？

とりあえず、ビタミン剤と痛み止めを処方された。

治ればいいな。

2005.04.07 Thu 町おこし

---

まちおん会議。

佐賀の音楽もっと広めよう！

みたいな主旨で去年から始められたイベント「まちおん」。

バンドや弾き語りやってる人、タップダンスやってる人・・・

いろんな人がいて、刺激になる。

5月15日、FLASHでまちおんに出演します。

寺でゴスペルを歌います。（節操ない？）

最近は、この狭い佐賀で、

こぢんまりと、

町おこしのようなイベントに参加

することが多くなった。

長崎に行った。

佐世保バーガー初体験！

いやぁ美味しかった。

バーガー目当てだったけど、

サイドメニューのタコス（230円）にも手を出したら、

これが絶品！

皮がパリパリして、ソースとの相性もバッチリ。

バーガーは780円のスペシャルバーガー（！）

これまで食べたどんな

高いハンバーガー（クア・アイナ、モスバーガーの“匠”など）

よりも美味しかった。

佐世保の商店街も

けっこう面白いお店がいろいろあって、かなり気に入った。

アーケードが長く続いて、

ちょうど雨だったのに濡れずに済んだ。

夜は、武雄温泉に行った。

行ったらちょうど春まつりをやってて、

神輿をかつぐ人達や見物客の群れで賑わっていた。

少し待たされた後、駐車場にクルマを停めて無事、温泉へ。

ぬるい湯（それでも40度くらい）、あつい湯（41～2度くらい）の

二つの内湯があるだけの、

質素な温泉。

入浴料は、なんと300円！

外観も浴場内も、歴史を感じさせる、レトロな造りになってて、

古くから親しまれている公衆浴場という感じだった。

常連さん？も親切だった。

近くにあれば、しょっちゅう行くのになぁ～～。

**2005.04.10 Sun うどん**

---

久留米荘という旅館みたいな名前のうどん屋さんに行った。

ごぼう天うどんを注文。

まーるいかき揚げみたいなごぼう天が入ってて、  
美味しかった。

スープがちょっと塩辛かったのが残念。

うす味好きなもので・・・。

2005.04.10 Sun 増量中

---

母と近くのスーパー銭湯に行った。

ここに来ると、いつも体重を計る。

このごろは増加傾向・・・。

運動しなくっちゃなあ。

毎日自転車には乗ってるけど、

たった1.4キロ程度の距離を往復（家～会社）だから、

たいした運動量にはならないし。

たまには歩くか・・・。



## 2005.04.11 Mon わたしが産まれた時

---

鹿児島から母の同級生が遊びに来た。

母とそのおじさんは、  
竹崎かにを食べ、温泉に入って帰ってきた。  
少し、3人でおしゃべりした。  
母の血液はRH-だったよね、という話から、  
わたしの出産当時の話になって、  
母は、わたしが今まで聞いたことのなかった話をしてくれた。

RH-の母親がRH+の第二子を妊娠するという事は、  
血液型不適合妊娠と呼ばれ、その当時では、  
その名前すら知られていなかったらしい。

という話は何度も聞いたが、  
出産の時、大量の出血があり、  
RH-でO型の血液を募集する放送が流され、  
輸血がはるか遠くの群馬県から運ばれてきたときのこと、  
母が死を覚悟したこと、  
わたしが産まれたとき、その混乱で  
間違って男の子の足輪がはめられ、  
「女の子」が欲しかったのに、とがっかりしたこと、  
など、興味深く聞かせてもらった。

母がいろいろと覚えていたことに驚いた。

今では注射一本で、安全に出産できるが、  
血液型不適合妊娠ということその当時知っていたら、  
わたしを産まなかつたらと言っていた。

生きていて辛いこともあるけど、  
苦勞して産んでくれた母や、心配してくれた祖父母に  
改めて感謝し、  
この人達に何か恩返しをするためにも、  
命を大事にして生きて行こうと思った。

## 2005.04.11 Mon ホントの花見

---

友人3人でこぢんまりとお花見。  
ウチに集まる前に、  
母から、生春巻の作り方を伝授してもらった！  
初挑戦！

ライスペーパーの扱いが難しくて、  
最初はうまく巻けなかったけど、  
慣れたらなかなかいい感じ♪  
さっと茹でてごま油で風味付けしたニラがアクセントになる、  
と母が教えてくれた。  
他には、レタス、えび、チャーシュー、カイワレを入れて  
ひたすら、巻き巻き・・・♪

香菜があればもっとよかった。  
好物のアボカドも用意し忘れた。  
でも、とっても美味しそうに出来あがった。

元同僚が満開の桜の下を選んで、  
宴会の始まり。  
今日の桜はホントにきれいだったなあ。  
ふんわりとこぼれおちそうに咲いていた。

おしゃべりにも花が咲いて、  
あっというまに深夜になってしまった。  
桜の下にいること、約6時間！

すっかり出来あがって、い〜気分で帰った。  
公園を後にする時、  
通りすがりの人の中から  
「よっぱら〜い！」  
という声がした。

きっとお互いサマ。

今日も市内のレストランでのライブ出演。  
このごろめっきり露出度だけは高い(笑)。

本日のオープニングは、  
映画「天使にラブソングを」で歌われた  
“I WILL FOLLOW HIM”。

この歌で、  
ちょっとキーが高いソロに挑戦。  
ノリだけはよかったが、  
声が思うように出なくて、反省する事しきり。

穴があったら入りたい～って思ったが、  
穴は見当たらないので、  
プールに入って、ひたすら泳ぎまくって帰った。

スーパーに行ったら  
数人の若者がわいわいと買い物をしていた。  
公園が近いから、  
きっと花見客なんだろうけど、  
もう桜は半分以上散っちゃったし、  
今夜はホントに寒くて、  
大変だろうと思う。

でも、満開じゃなくても  
みんなで集まれば楽しいんだよね、花見って。

「葉桜見」をした数年前を  
思い出しました。

**2005.04.22 Fri 鹿島**

---

鹿島の某レストランでのゴスペルライブ出演。  
初めて行った所だけど、  
芝居小屋みたいな趣のある2階建てで、  
中は吹き抜けになってて天井が高い！  
ライブをするにはなかなか良い場所だった。

ライブが終わるといつもみんな放心状態。  
これが、不完全燃焼からのものでなく、  
よいライブだったという満足感からのものであれば  
いいのだけれど、  
自分としては納得がいくものではなく・・・。

ホントにコーラスは難しい。

**2005.04.22 Fri くたくた**

---

もうすぐゴールデンウィーク！  
カレンダー通りにお休みがとれる。  
・・・のは嬉しいけれど、  
仕事はその分多くて忙しい。  
今日は23時過ぎ帰宅。  
週の初めからすでにくたくた～。

## 2005.04.24 Sun CM

---

会社で上司が開催している研修に参加。  
今日は、福岡の映像制作会社のCM作品集を見た。  
ローカルだけどインパクトのあるCMがいろいろあった。  
くだらないけど、どっか面白みのある作品が基本的に好き。  
上司いわく、お金をかければ、良いCMは簡単にできる。  
でも地方は制作費が少ない場合がほとんどだから  
いかにお金をかけずして、面白いCMを作れるかが課題、  
と。  
アイデアが勝負ということですね。

月に2回の英会話の日。  
英語のクロスワードパズルを解いたが  
これがなかなか難しい。  
英英辞典になっかつもりで  
がんばったけど、  
結局、優しい先生からヒントばかりもらってた。



曾我部恵一さんのアコースティックライブに行ってきた。  
仕事がちょっと遅くなり、予定時間を少し過ぎての出発。  
車をとばして、西へ西へ。

1時間半ほど運転して、長崎県の国道沿いのカフェに  
やっと着いた。ここが会場。

カフェはテーブルも椅子も全て  
取り払われてのスタンディングライブ。  
何人くらいいただろう、100人弱くらいかな。

よく通る優しい声と、ギターの響きがすばらしかった。  
憧れの人だからね、こんなに近くで歌ってるというだけで  
感動もんだけどね。

それも福岡の大きな都市を飛び越して、  
こんな辺鄙な（失礼）場所に来てくれて、ますます嬉しい。

去年の12月に佐賀で聴いたときは、  
ダブルオーテレサというバンドを引き連れてきてた。  
でも今回は一人。

ギター1本でこれだけノラせてくれる彼をすごいと思った。  
「青春狂騒曲」（サンボマスターではない）  
で盛り上がりは最高潮に！  
やはりわたしと同じようなサニーデイファンが多いみたいだ。

ギターの弦2回も切って、  
張り替えながら、MCして、ひたすら歌う歌う曾我部さん。  
「みんな呑んでる〜？」「俺にもコーヒー1杯ちょうだい。」  
なんて、終始リラックスしたムードだったけど、  
歌いだすと、その勢いは誰にも止められない！  
パワフルなライブで元気が出たよ。

2005.04.25 Mon エステ

---

ある伝手でエステに行った。  
顔のマッサージをやってもらい、スッキリ。

今日のマッサージは1回3,000円だったが、  
キレイになるためにはそれなりの投資が必要、  
ということで、トータルで20万ほどのコースを  
かなり時間をかけてすすめられた。

6月の車検も控えてるし、  
今の時点ではローンを組む気はないと  
言って洗顔料買って帰ってきた。

知り合いがやってるエステがその都度支払いの所だったから、  
ここもかと思って試しに行ってみたけど、  
ぜんぜん違ってビックリ&残念。  
下調べはちゃんとしようと思おうと反省。

## 2005.04.27 Wed 事故

---

会社の休憩スペースで  
ずっとテレビがつきっぱなし。

なんだろうと思って、  
向かいの上司に聞いたら、  
兵庫で電車がマンションに突っ込んだとのこと。

ニュースを見ると、  
悲惨な事故の内容が映し出されていた。

何気なく乗っていた電車で  
こんなに何人もの人が傷つけられて  
死んでしまうなんて・・・。

## 2005.05.26 Thu 異常なこと

---

あの悲惨な事故から1ヶ月、原因解明が進められている。  
運転士が追い詰められた精神状態であったということが  
明らかになってきた。  
その背景にあるのが、社内の異常な管理体制。

思えば、「異常なこと」はたくさん転がっている。  
公の場で事実ではないことを、あたかも事実であるように見せたり  
問題があると分かっているのに、やり過ごして隠してしまったり。

利益を追求するあまりに「正直さ」を忘れてしまっている。  
わたしたちは、身の回りの「異常なこと」に鈍感になってはいけない。

自分自身の小さな異常もいつか大きな過ちを犯すかもしれない。  
と感じている。

佐賀の音楽シーンを街から盛り上げよう。

という去年から始まった音楽のおまつり「まちおん」本番！

主に県内のバンド、弾き語り、お笑い、アカペラ、ゴスペルなどのグループや個人が街のあちこちの会場に集い、音楽を奏でる。

特に準備段階から顔を出していた今年は思い入れが強かった。

2年連続でソロ部分を歌わせてもらったけど、

下手さは変わっていない。

少し変わったことといえば、ちょっと度胸がついたことと、

そして、歌うことをもっと楽しめるようになったことかな！

2005.05.26 Thu ピアノ

---

スタインウェイ・アーティストの  
エレナ・クシュネローバさんの演奏を聴きに行った。  
ピアノを離れると、一人のロシア人女性なのだが、  
鍵盤に向かうと、その表情には鬼気迫るものがあり、  
惹きこまれてしまった。  
アンコールで弾いたブラームスが心にいつまでも残ってる。  
明るくも懐かしいようなせつないようなメロディが好きだ。

**2005.06.17 Fri** おかえり

---

家に帰ったらクルマが車検から帰ってきてた。

不覚にも自分ちの塀にぶつけてしまって、痛々しかった後部ドアも、ちゃんと取りかえられてキレイになっていた。

平成6年式の古いマーチだけど愛着は格別。

気をつけて乗るからね～！

これからもよろしく、

と言っておいた。

鳥栖スタジアムにて。

「夢劇闘」をスローガンに掲げたJ2サガン鳥栖の試合。(VS水戸)  
会社からもらったチケットを持って、同僚のMさんと。  
サッカー観戦というのは初めてだった。

最初はぎこちない動きで、攻められてばかり。  
観客が見守る中、前半22分であっけなく1点をとられた。  
それからは、早くなんとかゴールを、と会場も盛り上がり、  
必死で応援していたが、  
決定打に欠け、とうとう負けてしまった。

スポーツで熱くなるなんて久しぶりだったなあ。  
残念だったけど楽しかった。



歌を歌っても伝えられない。

泥沼に入ってしまったような。

気持ちが散漫になっている。

ぷつんと糸が切れてしまったような。

ツヨクイキナケレバ！

2005.07.30 Sat 後悔

---

わたしが3歳の時に佐賀に引っ越して以来の付き合い、  
お向かいのおじいちゃんが亡くなった。94歳だった。  
小さい頃はよく遊んでもらったり、お小遣いもらったり  
してたのに、最近は顔も出さなくなってしまっていた。  
そして突然の訃報。  
施設の中で息を引きとったということだ。

会いに行こう、行こうと思いながら、  
つい目の前の自分のことばかりにかまけて、  
長い月日が経ってしまった。

こちらをじっと見つめる遺影はどこか寂しげな目をしていた。

人はいつ死ぬか分からない。  
思っているだけでなく、行動すること。  
それが今の自分にとっていちばん必要なこと。

2005.07.30 Sat 旅人

---

When in Rome, do as the Romans do.

わたしの前に突如として現われた旅人から学んでいる。

この土地柄があまり好きではなかった。

けど、この旅人のおかげで客観的に見る術を知ったような。

避けてた方言もなんだか最近面白いと思えるようになった。

視点を変えるだけで、楽しいことって転がっているんだなあ、

と新たな発見。

## 2005.08.22 Mon 練習

---

2週間ぶりのゴスペル練習。

朝は緊急の仕事で休み午後から参加。

\*OH HAPPY DAY

\*僕の一番欲しかったもの (by榎原敬之)

\*Total Praise

\*夢で逢えたら (by大瀧詠一)

\*Amazing Grace

\*I Will Follow Him

\*It is Well with My Soul

\*My Life is in Your Hands

\*His Eye is on the Sparrow

\*Soon and Very Soon

これらの曲を通してリハーサル。

“Total Praise”のラストのハーモニーが  
おかしいなどなど問題もあったが（大問題）  
なんとか終了。

来週はメンバーの知人の結婚式（湯布院のレストラン）で歌い、  
そして久々に、レストランかささぎで歌う。  
どちらもマイクなし！！  
発声練習を十分にしておかなければ・・・。

“OH HAPPY DAY”は新郎新婦入場の時に、  
“僕の一番欲しかったもの”は新婦の方からのリクエストで  
ケーキ入刀の時に歌ってほしいとのこと。

ブライダルライブ初体験・・・  
さてさて、どんな披露宴になることやら。  
（実は湯布院に行くのがみんなの一番の楽しみなのだ）

初めて、スティールパンの演奏を生で聴くことができた。  
数年前から興味を持っていたこの楽器。  
どこか儂く懐かしい感じがする、それでいて陽気で明るくて  
元気がみなぎってくる不思議な音色。

トリニダード・トバゴから十数人で来日している“EXODUS”の  
スティールパンライブを見に行ったのだ。  
まさにハッピーサウンド！

楽器のみで終わるのかと思っていたが、  
（実際それでも十分満足しただろう）  
♪サマータイム・・・  
と突然女性の声が！

しかしステージには歌う人なんて誰もいない。  
しばらく姿を探すと1階中央から  
歌いながら歩いてくるキレイな女のヒトが。  
演出もたっぷりと楽しんだ。  
お客さんは某学会員が多くて、  
おばさんたちの握手を求める手が次々に・・・  
演歌歌手のディナーショーみたいな異様なノリだった。

本場のカーニバルでは100人規模で演奏するそうだ。  
たった十数人でもこの迫力なのに、どんなにスゴイだろう。

楽しかった夏もこれでおしまい。  
チョット寂しいけど、思い残すことはない。

## 2005.09.06 Tue 10年経って

---

今日で29歳になりました。

大学時代の友達Jから誕生日おめでとうとメールが来て思い出した。

10年前の誕生日のことを・・・。

忘れもしない、あれは1995年9月5日、19歳の誕生日の前日。

当時つきあってた人から呼び出され、こっぴどくフラレたのだ。

横須賀の海岸で・・・。

子どものように泣き、ショックで死にそうだった。

一夜明け、目を腫らしたわたしの住むアパートに、

誕生日プレゼントを持って訪ねてきてくれたのがJとT。

彼女たち二人のことを考える余裕もなく、ただただ暗いわたし。

でもそんなわたしを一生懸命なぐさめてくれた。

二人はホントに困っただろう・・・。

心配そうに帰っていく二人の顔が今でも忘れられない。

そして、こんなわたしのことを今でも支えてくれてありがとうと言いたい。

2005.09.16 Fri こぼこぼ

---

Uさんから届いたコーヒー豆で  
コーヒーをいれてみました。

ちゃんと「美味しいコーヒーのいれかた」指南まで  
ついてきてたのに  
ayaと試したときは失敗しちゃって  
超薄〜い珈琲もどきに。

今度はうまくいった。  
これで夜なべがんばろう、、、

aya！次は美味しいコーヒーごちそうするからね～。  
(mixi日記分)

## 2005.09.26 Mon 登山

---

この3連休は、お天気にめぐまれて行楽日和。  
金曜日は、会社の上司たち3人と久住山へ登ってきました。  
前日急にお誘いを受けたので、  
登山靴を買う時間もなく、部長の奥様の靴を借りていざ！  
分厚い靴下を履いていたけれど、  
やはり履き慣れない靴で長時間歩いたので、かかとにマメが。  
でも靴下を2枚重ねにし、バンソウコウを貼って、無事登頂。  
雲より高い所から見えた町並がすごくキレイだった。  
神秘的な青の lindou にも感激。  
自然に触れるってホントいい気持ちになれて好きです。  
(mixi日記分)



2005.09.26 Mon 銀河

---

満天の星だった。

きらきらとよく光る星、小さく鈍く光る星、ほとんど見えない星・・・

無数にたくさんあるのに

一つの星だけをじっと見つめて他を見ようとしなかった。

時には見えないものを見ようとする必要かもしれないなあ。

わたしが愛してやまないアボカド。  
ふだんは、シンプルにわさび醤油でいただくのですが  
たまにはアレンジを・・・  
と、アボカドカップサラダ作ってみました。

ボイルしたエビ&角切りアボカドを  
ごまドレッシング（マヨネーズを少しプラス）で和えて  
中身をくりぬいたアボカドカップに入れるだけ。  
佐賀の“R o o m C a f e”のメニューを思い出しながら  
作ったけど、我ながらなかなかのお味。

みなさんもお試しあれ～♪



(mixi日記分)

2005.11.10 Thu 黒糖？

---

沖縄に行ったゴスペルメンバーのIさんから、  
お土産を頂いた。

その名も「パイン黒糖（沖縄特産）」。

Iさんが買ってきてくれた中には  
他にも、インスタントソーキそばなど  
いろいろあったが、  
この色鮮やかな黒糖？？という  
物珍しさにひかれて選んだ。

えー、  
「黒糖はさとうきびをそのまま絞り煮つめて  
濃縮したものであり、ビタミン・ミネラル・カルシウム  
等を豊富に含んだ、栄養価の高い食品です。」

と、パッケージの後ろには書いてあります。

しかし！！  
原材料には、「グラニュー糖、パイン、酸味料（クエン酸）、  
水あめ、着色料」

どうやら、さとうきびを煮つめて作ったものではないらしい・・・

味わって噛んでみると・・・

パインの味は味わえず、普通の角砂糖の味でした♪

まったく大らかな所ですねえ、沖縄って。



(mixi日記分)

2005.11.20 Sun おおパリ

---

作詞 イッセー尾形 作曲 矢野顕子

とうとう来たじゃないパリ！

なんで熱が出てしまったの  
エッフェル塔がゆがんでる  
ベルサイユが崩れ落ちる  
リュクサンブールは火の海だ

とうとう来たのにパリ！

モンマルトルから転げ落ち  
ムーランルージュで息も絶え絶え  
コンコルド広場を這いずって  
凱旋門の股を見上げた

とうとう来たのにパリ！

セーヌ川に頭をつっこみ  
少しでも熱を下げるのよ  
なんとか夜のパリに間にあって！  
金は円で払ってやる

とうとう来たのよパリ！

-----

矢野顕子「Super Folk Song」の中の『おおパリ』。  
パリへの憧れの気持ちたっぷりに歌ってる  
この歌が好きで高校時代によく聴いていた。

でもパリに自分がまさか行く事になろうとは、  
想像もしてなかった！

3泊5日の社員旅行。

すごくすごくステキな街でした。  
泊まったホテルで乾燥に喉をやられ、  
2日目から風邪がみだったけれど  
目一杯パリの街を歩き回りました。

ルーブル美術館ではモナリザ、ミロのビーナス、  
ハンムラビ大法典、などいろいろ見たけど、  
「民衆を導く自由の女神」の絵を目の前にしたとき、  
なぜか最高に感動してなかなか離れられなかった。

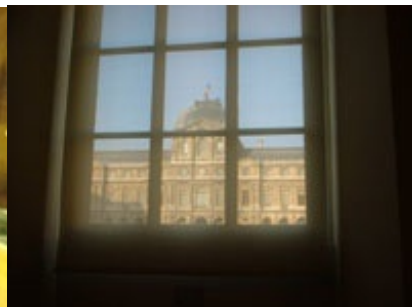
モンマルトルでは、似顔絵を書いてもらったけど、  
不本意な料金で、苦い思い出。  
でもユトリ口の描いた絵に出てくるような  
白壁の家がたくさんあってワクワクした。

ノートルダム、サクレクールなど  
古い教会もよかった。  
厳粛で壮大な空間に圧倒された。  
未だにパイプオルガンが使われてミサが行われているようだ。

鍋一杯のムール貝、おいしくて全部平らげた。  
セロリかな、香草と一緒に煮こんであるスープの  
旨味が忘れられない。

どこを歩いても、統一感のある白い建物。  
街を歩いて見える景色も素晴らしかったけど、  
ふと何気なく窓から覗くと見える景色がまたよくて、  
「おおパリ！」と叫びたくなる気持ちに。

また行きたいパリ！



(mixi日記分)

## 2005.11.24 Thu おおパリ～回想～

---

ねこさんのリクエストに応じて・・・

パリで食べた物の写真公開。

一つはムール貝で有名？なお店「Leon」で食べた  
トマトサラダ。

周りに散らばってるのは、小さなエビです。

暗いピンク色をしてて、日本ではあまり見ないタイプ。

トマトと一緒に食べるとなかなか美味しかった。

どうやらこのお店はベルギー料理のお店らしい。

もうひとつは、サンジェルマンの街角で食べたサンドイッチ。

フランスパンに、トマト、チーズ、ハム、レタスが  
挟んであります。

パリの人々は、よくこういうのを食べながら歩いてました。

最後の日、女性二人で買い物中、時間もなかったので、  
お昼はこれで済ませました。

といっても、ボリュームがあるのでこれだけでお腹一杯に。

-----  
今回、Kちゃんに勧められて買った

『パリのおさんぽ』という本を持っていったのですが  
観光としてではなく、普通の生活している人の視点で  
説明した写真やコメントが満載。

3日目の自由行動の日には、

その本を参考に、一人でいろんな通りを歩いていました。

通りに名前がついているものの、

やはり初めての土地というのは迷ってしまい・・・

7時半の夕食の待ち合わせの時間に遅れそうに。



歩けど歩けど、地下鉄の駅が見つからないので  
思いきって、タクシーを拾った。

タクシーの運転手さんは英語のできる人で、  
最初は「20分くらいかかる」と言っていたけど、  
「今日はすいてるから、10分で着くよ。」  
「地図見るなら、ライトはここだよ。」と  
いろいろ親切だった。

タクシーの中でかかっていたラジオから  
流れていたジャズピアノも  
気分を落ち着かせてくれた。

待ち合わせ場所のホテルのロビーには  
5分前に滑りこみセーフで間に合った。

この旅、準備なんかほとんどしてなかったけど、  
やっぱり知らない所に行くと、  
うろうろしたくて仕方がなくなるみたい。



(mixi日記分)

週明けにしては珍しくシゴトが落ち着いていた。  
よし久々に早く帰れる♪と帰り支度を始めた頃・・・  
何やら不吉な影が。  
営業さんである。  
しかも立て続けに4人も。。。

「このCD-Rの中の写真一覧を出してほしいんだけど・・・」

「FMにCM原稿送っというて～」

「去年の新春特番のCM素材出力おねがい！」

「新聞原稿修正、明日3時上がりで！」

!!!

みんな寄ってたかって時間外労働させんなー！

と心の中で叫び、対応ははいはい～♪とにこやかに。

あー、たまには早く帰りたい。

(mixi日記分)

男性の団結力ってスゴイと思うときがある。  
今日も、男性陣のパワーに圧倒される場面が2度も。

ある車のディーラーにCM撮影で行ったのだが、  
各支店から男性の営業が1人ずつ集まっていて、  
誰がどんな風に映るか、などという打ち合わせも  
私達が着く前にバッチリ決めてあった。  
(社員が出演するCMなのだ。)

いざ撮影の時も、ホントに楽しそうに撮影中の社員の様子を見守っていて、和気あいあいとした雰囲気。  
撮影も過去最速?の1時間未満で終わり、  
大助かりだった。

夜、まちおんスタッフ達と会議、ご飯を食べた後、一人で帰っていると、  
酔っ払ってふらふら歩いている20歳くらいの女性が。  
あまりにも危なっかしいので声をかけた。  
「だーいじょーぶでーす」と言いながらも  
車道の方に倒れそうになったりと、かなり危険なので、  
乗っていた自転車を降りて、彼女を抱えて歩くことにした。

でも、自転車を押しながら彼女を支えるのに一苦勞。  
と、そのうち向こうから男性2名がやってきて手伝ってくれた。  
同じ会社の仲間らしい男の人達も、どやどやと近づいてきて  
結局全員で彼女を送ることに。

「たまには人助けしなきゃなー。」  
などと言いながらいやな顔一つせず手伝ってくれた彼らは  
底抜けに明るくて、知らない人達なのに安心できた。  
無事に送り届けた後は、歌いながら去っていった・・・。

陽気で仲良くて、っていうグループは男性の方によく見る。  
わたしは独りで行動する方がラクで好きだけど、  
なんだか、こんな風に楽しく過ごせていざというときに団結できる  
人達っていいなあーとちょっとうらやましく思った。

2006.01.06 Fri スロースターター

---

「明けましておめでとうございます。」

って言いにくい言葉だと思いませんか？

会社で新年の挨拶回りをしてて、何度も舌を噛みそうに・・・

そんなわけで、もう年が明けて大分たちますが

今年もよろしくお願いします。

毎日をなんとな～く過ごしていた2005年。

今年はずっと動き回ろうと思います。

(mixi日記分)

自転車で会社へ行く途中、ある幼稚園の前を毎日通る。  
そこでは、急ぎながらも心に留めておきたいことに時々出会う。

まず、園内に流れる朝のクラシック。  
朝のにぶい神経に心地よい刺激を与えてくれる。

「主よ人の望みよ喜びよ」「アンダンテ・カンタービレ」「ユモレスク」・・・  
聞こえてくる曲は、毎日違って、  
穏やかだけど、うっとりするほど素敵なメロディ。  
通勤時の数秒のシアワセである。

ほかに、園児達のかわいらしい姿を垣間見ることができる。

こないだは、園児が狭い庭を二人でたこ上げしてて、  
なんとか飛ばそうと必死になって声も出さず  
走り回ってる姿、ほほえましかった。

夏は、セミ取り。  
あれは活気のある昼休みだったかな？  
いつもの庭が一瞬静まりかえったように思えた時、  
一人の園児の  
「あっ！捕れた！」と元気な声が響き渡った。  
なんだかわたしも嬉しくなったのだった。

こんな、何でもない幼稚園の日常が  
どこかノスタルジックでもあり、心に残る。

2006.02.16 Thu 霧の中 佇む君は 幻か

---

深夜に仕事を終えて会社を出ると  
遥かむこうまで霧に包まれていた

辺りは暗くて  
街灯がなければ進むこともはばかられた

恐る恐るいつもより明るい道を帰ったけど  
ときどきその奥から黒い人影が出てくる

わたしがおどろくのと同時に  
相手もびっくりしているようだった

なぜかETのあのシーンがかさなる  
そしてとつぜん姿を消してしまっただれかのことも。

(mixi日記分)

2006.06.02 Fri 不覚にも . . .

---

『佐賀のがばいばあちゃん』を見て  
泣いてしまった。

日本語を忘れつつあるので。

今日の晩ご飯はカレーライス。  
運送会社で働いている人からジャ○カレーを  
たくさんもらったとのこと。  
運搬中に荷崩れした商品は買い取るのだそうで  
それが回ってきたみたい。

溶かしてしまえばまったく問題ない。  
おいしいカレーでした。

今日はおつかりってことで、おわり。。。

(mixi日記分)



金曜夜から、東京・横浜に。  
有休をとらず（とれず）土日をつるに使う滞在だった。  
横浜スティールパンフェスタを見に行ったのだ！！

このイベントがあるって知ったのはいつだったかなあ。  
今いちばん興味がある楽器なので、絶対見に行くぞと決めてた。

みなとみらい駅の改札横で、こぢんまりとやってたけど、  
2日間で10以上のバンドが出演して、  
辺り一帯は大盛り上がり！

ほとんど同じパートだけで構成されている演奏もあったけど  
やはり、和音を響かせたり、ほかの打楽器も使ったりして  
音に広がりのあるバンドが聴き応えがあった。  
スティールパンは、優しすぎず、激しすぎない演奏が  
いちばん心に響く。

この楽器を始めるまで、きっとそう遠くない。

(mixi日記分)

仕事がやっつと落ち着いた。

少しはプルサーマルのこと勉強しようと思い

19時から「六ヶ所村ラプソディー」の上映会にアバンセへ。

20年前、六ヶ所村で

核燃施設建設のための海域調査が強行される日に

計画に反対する漁民を、機動隊員が阻止。

抵抗する漁民の坂井さんを「あんた過激だよ」と言って抑えようとするが

坂井さんは「どっちが過激だ？あんたたちここで何をする？」と

必死に叫んでいたのが印象的だった。

確かに、一步間違えば多くの人を殺すことができる放射性物質、

それを扱う施設を建てる方がよっぽど恐ろしいし、過激だ。

結局、調査は終了し、核燃施設は建設された。

2007年から全国の原発に核燃料が輸送されるようになるらしい。

他国の核燃施設近くでは、海岸で高い数値が検出されたり、白血病になる

子どもの割合が高かったり、と確かに影響を及ぼしている。

六ヶ所村もいずれそうなるかもしれない。

でもこれは、本当に難しい問題だそうだ。

発展を続けていく日本の電気の供給のために……。

そのあと、ゆげ家へ。

ゆげちゃんの仲間たち3人と鍋をいただいた。

## 2006.12.07 Thu 合唱

---

なちゅぱ（合唱）の練習、先生宅にて。

なちゅぱの合唱は、ガラス細工のように繊細で  
ふだんゴスペルを歌っているわたしにとっては  
力加減が難しいなと感じた。

魅力ある声の持ち主ばかりで、練習に参加できるだけで  
なんだか得をしている気がする。

## 2006.12.09 Sat 路上デビュー？

---

あげられるものは、何もないけれど～♪

昼間に浮かんできたこの歌。

はて、何の歌だったっけな？

夜になって判明した。

路上専門の柿原しんや君オリジナル『届くまで』であった。

1時過ぎに仕事が終わりに、家とは反対方向へ自転車を走らせる。

路上のしんや君とゆげちゃんがいつもの場所に。

らんらん、よっぺ、それに通りすがりのおじさんが囲んでいた。

しんや君の『届くまで』にゆげちゃんがコーラス譜を作ってきた。

ゆげちゃん&らんらんとコーラスの集中レッスンしてみたら

なんと、4人で歌う『届くまで』ができあがった！

しんや君は「いい曲やね～誰が作ったん？」と楽しそうだった。

夜もすっかり更けて3時。

けど歌好きな仲間たちとらんらんがくれたカイロのおかげで

ホットな夜だった。

佐賀大学コーロ・カンフォーラの定期演奏会に初めて行った。  
最近知り合いになった部員のしおちんからチケットをもらっていたのだ。

今日は福岡にビリー・ジョエルが来る日。  
ビリーのライブにも行ってみたい...と密かに思っていたのだが  
わたしの選択は、「母と一緒に歩いて佐賀市文化会館へ。」

音楽にはうるさい母もコーロの演奏を聴いて  
なかなか楽しんでいたようだ。

中ホールの舞台に50人はいただろうか、  
一人ひとりの声が重なってステキな合唱だった！  
マイクなし、楽譜なし。そこから聞こえてくるのは  
人間たちの素の声。その澄んだ歌声に心が洗われた。

「けつとばされて来たものは蹴りかえせばいいのだ」と  
谷川俊太郎の詩を歌った曲もあった。  
なんだか元気の出てる歌だった。  
「サッカーによせて」というタイトルだったが  
いじめられている子どもたちへの応援歌にも聞こえた。

2006.12.17 Sun 練習

---

朝10時に先生の家へ。

近くのレストランのディナーショー出演のための練習をした。

昼からは、23日にあるクリスマスコンサートのための練習。

いつの間にか日が暮れて、もう練習終わろうか...という雰囲気。

でもまだまだ、まだまだと自分のパートを頭にたたきこんだ。

こっちはド真面目に練習してるから、冷やかす声も耳に入らない。

しかし、後で思い出すと、無反応で失礼だったかなと思う反面、

少しは分かってくれたらいいのに、と悲しくもなった。

今日の朝礼は先輩のYさん。  
同じ制作サイドで仕事をしている。  
彼はデザインを担当しているが、  
今日は、社外活動について話してくれた。

同じデザイン仲間から誘われて  
展覧会のようなものに作品を出して以来、声がかかるようになって、  
今回は作品集を作る機会があったそうだ。

福岡の印刷会社が、オンデマンド印刷という  
部数の少ない印刷ができるシステムを紹介するという狙いらしい。

これも広告の一つだろうけれど  
ちょっとしたきっかけが自分の活動を活性化させる。  
そんな場をもっと地元にも！という話だった。

他にも何かをやってる人、たくさんいると思うけど  
それを発表する場を作ることによって新たな何かが生まれるんだなって最近思う。  
気持ちや、技術や、出会いや、いろんなものが  
一歩前に進む。

## 2006.12.19 Tue トラブル

---

仕事でトラブル発生。

明日編集のCMで使うデータが、お客さんから届かない。

タイムリミットの夜7時ごろ、ようやく行き違いがあったことが判明。

「データはいりません」とわたしが言ったことになっていた！

一言も言っていないのに、なぜだろう。

自分の言葉が伝わりにくいことを改めて感じた。



CMの編集に福岡の映像制作プロダクションへ。  
初めてのおつかい、じゃないけど、一人で編集に立ち会った。  
わたしを旅に出した上司は、心配そうに電話をかけてきては  
「どう？進行具合は？大丈夫か？」と確認をした。

ほとんどプロダクションの人に任せっきりだったけど  
少しは自分の意図も伝え、反映させてもらった。

自分の意図を伝えるには  
まず、自分なりの考えがないといけない。  
それにはもっと勉強が必要だ。

スタジオでは、借りてきた猫のようになってたけど  
スタッフの一人が気さくに話しかけてくれる人で  
大阪でお好み焼食べたら、へらしか出てこなかった  
（箸がなかった）と、まったく関係のない話で場が和んだ。  
自然に話ができる人ってやっぱりいいなあ〜と思う。

夜は、なちゅぱの練習に遅れて参加。  
「忘れない」を歌った。  
なんだかほろりとしてしまう歌。  
メンバーたちの声もまた好きだ。  
ゆげちゃんの曲によく合っているような気がする。

## 2006.12.31 Sun 2006年覚書

---

- 1月
  - ・映画「プルーフ・オブ・マイ・ライフ」
  - ・ふれコンin松浦
  
- 2月
  - ・島村楽器の発表会inアクロス福岡
  - ・佐賀学園吹奏楽部定演
  
- 3月
  - ・FLASH 玉屋出演（ひなまつりコンサート等）
  - ・食事会in青い月
  - ・叔母と「ふるさと祝祭コンサート」in文化会館
  - ・EVERLASTING FATHER 「森のまつり」出演  
その後、社員Sさんのお父様の通夜
  - ・韓国のGolden Angels来日
  
- 4月
  - ・FLASH カンボジア教育支援のイベント出演
  - ・登山（秋月、宝満山）
  - ・FLASH ウェルネス大和出演
  
- 5月
  - ・大阪へ
  - ・まちおん
  - ・R結婚式
  - ・松本優香さんライブ in活水
  - ・Ring Shoutゴスペルライブ inイニミニマニモ
  
- 6月
  - ・FLASH フリー参観デーライブ in松梅小
  - ・FLASH エコプラザライブ
  
- 7月
  - ・なにわブラックペッパーズ 定演
  - ・西田麻美さん JAZZライブinエスプラッツ
  
- 8月
  - ・ベースレッスン初回
  - ・COCOROCOライブ in文化会館
  - ・FLASH 佐電エレクション会にてライブ
  - ・国立音大 定演
  - ・横浜スティーロパンフェスタ 淳子と再会

- 9月
  - ・台風の中ムッシュ。氏 来たる
  - ・第1回てらおん
  - ・まちおん合唱練習始まる
  - ・さんま会
  
- 10月
  - ・FLASH 佐賀工業学園祭出演
  - ・第2回てらおん パッサン・ドルマさん来日
  - ・鹿島肥前浜宿コンサート
  - ・大阪 天満音楽祭
  
- 11月
  - ・FLASH バルーンフェスタサテライトイベント出演in玉屋
  - ・FLASH 九州授産施設大会懇親会出演in唐津
  - ・まちおん合唱団 ツインマーマンの夢 出演
  - ・まちおん合唱団 まちおん秋の陣 出演
  - ・FLASH イマジンコンサート出演
  - ・サガン鳥栖 ラストホームゲーム観戦 負ける
  
- 12月
  - ・コーロ・カンフォーラ定演
  - ・FLASH iスクエア クリスマスコンサート出演
  - ・FLASH ディナーショー出演 in FOUR SEASON
  - ・淳子 佐賀に
  - ・FLASH 自主コンサート 「GLORY DAY」 in旧古賀銀行
  - ・FLASH 玉屋クリスマスコンサート出演
  - ・なちゅば忘年会inらんらん亭
  - ・スノボ in MIZUHO HIGHLAND
  - ・兄帰省&母と叔母と4人で年末を過ごす
  - ・年越し in JET ROOM

## 2007.01.02 Tue 家族と過ごしたお正月

---

年明け。

元旦は、母と兄と叔母と過ごした。

仕事の夢を見た気がする。

でも元旦に見るのが「初夢」ではないと知ってホッとした。

叔母は昨晚から泊まっていた。

昼、叔母を送り届けた後、母の知り合いの千代田にある「若宮神社」へ。

それから「仁比山神社」へ。

この時点でもう夕暮れ時だったので三社参りはあきらめた。

## 2007.01.03 Wed のんびりと大掃除

---

大掃除。

ふつう、大掃除は暮れにするものだ。

しかし先延ばしにしていたため、今頃に。

模様替えも兼ねて、わき目もふらず部屋を片付けた。

だいぶスッキリ。

冬季休暇はあと1日だ！

**2007.01.04 Thu** 輝かしい新年

---

先生に新年のご挨拶とまちおん合唱の話し合いを兼ねて11時にお伺い。

新年さっそく忘れ物。家に携帯を忘れた。

ゆげちゃんは寝坊した。

その旨のメールをわたしに送ってたが……。

相変わらずの二人だった。

「まちおん合唱団」のすべてのおつとめ終わり…。

去年9月から今日まで、5年分くらいの出会いがあった。

合唱をするために、メンバー集めから始まった。

有岡さんにゆげちゃんを紹介してもらい、偶然の意気投合、ゆげちゃん率いる  
なちゅぱや自分のいるFLASHの先生やメンバーにも協力してもらい  
学生・社会人が入り混じった混声合唱が実現！！

藤戸先生、ゆげちゃん、ふじこちゃん、佳寿子さん、直美さん、典子さん、万里江さん、よっぺ  
、ななちゃん、まりん、美紀子ちゃん、美由紀さん、秀子さん、ゆいちゃん、はるの、らんらん  
、ちえっち、淳子さん、理恵ちゃん、寿美子さん、いけっち、くまゆっこ、コリン、さっちゃん  
、みどりちゃん、こーせー、しおちん、Y o s h i さん、笹井2号、河道さん、がっちゃん、  
みぞ、ゆうくん、まえだし、よりさん、ボス、マッチ、ゆーだい、大石さん

ホントにありがとう。

次回の出演は5月20日の「まちおん」??

これについてはまだ白紙状態。

2007.03.18 Sun 打ち上げ

---

らんらん亭にお世話になった。  
お世話になりっぱなし。

らんらん亭では、ゆげちゃん、ボス、こーせーの卒業祝いも  
兼ねた鍋パーティ。  
前々から、卒業祝いの贈り物についてらんらんから話を聞いていた。  
なちゅぱ関係のみんなのメッセージをコラージュ、という構想。

手伝う、手伝う、と言いながら手伝わず結局今日を迎えてしまった。  
遅れて参加し、卒業生みんなが揃ったところで、  
わー、3人へのプレゼントタイム！

感慨深い贈り物だった。  
なちゅぱの新旧メンバー、かかわった人たちの写真とメッセージが  
遊び心たっぷりにコラージュしてある。

いつの間にか撮りためた、いい表情の写真ばかり。  
しかもその写真にメッセージが添えられている・・・

ホントに贅沢な贈り物！！

ほとんどらんらんが作り上げ、ちえっちも手伝ってくれたみたい。  
世界でひとつだけの贈りものを見つめる卒業生（修了生）の表情といたら！！

もう「すばらしい。」  
の一言です。



2007.03.30 Fri ラン らんらん ラン

---

桜マラソンが2日後に迫ってしまった！

最初は彼女？のらんらんと順調に練習してたものの、  
だんだんと〇日坊主に...

これでハーフ（21km）に出るというから  
二人とも無謀さだけは大了なものだ！

今から、夜の多布施川沿いを  
らんらんと元気に駆け抜けてきます。

夜桜runrunらんらんらん♪

## 2007.04.01 Sun 桜マラソン

---

### 【1 km地点】

あと21倍も走るのか、とひたすら足を進める。

### 【6 km地点】

やばい、体力、もたないかも、と不安になる。

### 【8 km地点】

らんらんと今ここで一緒に走れる幸せをにわかを感じる。

### 【10 km地点】

ゴールしたら...と楽しいことばかり思いつき、足取り軽く。

### 【14 km地点】

らんらんが苦しいもよう。  
しかし急に瞬発力を発揮するので驚く。

### 【18 km地点】

桜のいちばん美しく、しかし、  
もっとも苦しい地点のひとつだと判明。  
自分に負けそうになる。

### 【20 km地点】

息切れ、足は棒のよう。  
力を抜き、腰を高くして走るよう努める。

### 【ゴール】

なんと、完走！  
最後まで走れたことにビックリ。  
ひたすらゴールに近づきたい一心で走ってた。  
力をくれた人に本当に感謝している。  
これで、今年度、いろんなことががんばれそうな気がする。

2007.04.02 Mon 新年度

---

会社は一斉にレイアウト変更され  
ガラッと雰囲気が変わった。  
とはいえ、まだダンボール箱が山積みである。  
今日の午前の業務は片付けで終わってしまった。

昨年度で辞めた先輩から引き継いだ仕事は  
ダンボールいっぱい保管資料がある。

これらのものを自分の所に収めるには、  
自分が持っていた荷物を減らすしかない。

しかし、参考資料や、今まで携わってきた仕事の資料など  
捨てられないものが多く・・・。

人が生きていくってことは、  
明らかにモノが増え続けることなんだなあ、と実感。

生きていくうえで、大切にしたいものがだんだんと増えていく。  
捨てていいものなんてそうそうない。

しかし大切なものだらけでパニック状態な今日この頃。  
整理は必要かな。

2007.04.03 Tue なちゅば

---

合唱行くも、ひどい声。

気管支どうもやられているらしい。

こーせーの話によると

桜マラソンで21キロ完走できたら

歌のレベルが3上がるらしい…。

このまま治んなかったらどうしよう！

2007.04.04 Wed 花見

---

会社の花見。

花見は事業課（イベント企画を担当する部署）の腕の見せ所。

ストーブあるわ、鍋あるわ、ライトあるわ・・・

寒い花見をいかにあったかく過ごせるか

幹事の方の心配りに感心していた。

しかしやはり非常に寒かった。

とはいえ、今日はなんだか酔っ払うのが早かった。

あまりの寒さに専務が屋台のおでん買うって言うから

ふらふら〜と鍋持って手伝ってたし。

「今日できることは明日に延ばすな」とは  
小学校の担任の先生が言ってた言葉。

延ばしまくりだからいつまでも片付かないことが  
いくつかある。

- ・まちおんフリーペーパー仕上げ→印刷

早くしないと直近のイベント「日峯さんライブ」  
(4月12日)に間に合わない！

- ・まちおん合唱団 再始動

練習場所の確保、ピアニスト、スタッフ募集

- ・メールアドレスの登録

旧携帯から新携帯にデータが移せない！  
前の携帯が特殊なメーカーで、  
DoCoMoには端子がなかったのだ…。

## 2007.04.06 Fri フリーペーパー会議

---

珍しくアバンセで3人で真面目に話し合いをした。

今度もばたばたしそう...

終わった後は、パフェを求めて街に繰り出した。

なな&こが合流。R-Styleに初めて入った。

電話からなかなか戻ってこないよりさんのシナモントーストに、

ななちゃんがかわいい悪戯を仕掛けていた。

## 2007.04.07 Sat いろどり月の夜vol.2

---

歯医者に行ったので、FLASHの練習は午後だけ。

おしゃべりもそこそこに、仕事でトラブルのため会社に。

何事も思い込みには気をつけなければ...

それから、待ちに待ったライブ「いろどり月の夜」に。

とても雰囲気の良いライブで、心地よく楽しめた。

帰りはディナー600円。

優しい人たちに守られていると感じる。



こないだは100均で、鉄のフライパンを買った。

今度は、100均で、ステンレスの皿とボウルを買った。

本来の用途とはかけ離れた目的で...

カン！カン！と金属を叩く作業が始まった。

スティールパンを叩きたい！というわたしの小さな夢。

それなら作っちゃえ！と誰かのアドバイスのおかげで

ただいま共同作業中。

そのうちに夢がかなうかもしれない。

月曜日は多忙。

なのに、ちょっと精神的に不安定でまいった。

環境の変化に少し戸惑いもあるのだろうか。

甘えてみる。

いつもと変わらない言葉が返ってくる。

それだけで安心する。

思えば、

このままでいたくない自分がいるのに

周りが自分を変えようとする、拒みたくなる。

そんなわがままな自分が嫌になるのだ。

**2007.04.10 Tue** できあがり

---

まちおんフリーペーパー、2人の人手を確保し  
音楽教室の長机でひたすら折る。

意外と早く折れたことにビックリ。  
一仕事終わって、ホッと一息。

2007.04.11 Wed 第一歩

---

働くことはきっとラクじゃない。  
けど、仕事があるから好きなこともできるし  
毎日がもっと楽しくなる...！

2007.04.12 Thu 日峯さん

---

まちおんではいろんなアーティスト同士のコラボも流行の兆し。  
それを見るのもまた楽しいのだ。

今日は佐嘉神社でまちおんライブ！in日峯さん

ビギンをカバーした「began」というバンドが出るらしかった。  
楽しみにしていたのに、仕事が遅くなり見にいけなかったー（泣）

夜、ちょっとした話し合いの一場で、いざこざが。  
いつも明るい人の顔から笑顔が消えるのは悲しい。  
言葉は大切にしたいものだと感じた。

夜の8時ごろまで、明日のCMの出演者さがし。  
準備不足が露呈した形となってしまった。

けど、母の力を借りギリギリで決定。  
一人の力には限界があると痛感するとともに  
協力してくれる方の気持ち一つ一つに感謝！

## 2007.04.14 Sat 再会

---

朝7時から仕事でCM撮影の立会い。

今日は天気がよく撮影日和だった。  
太陽の光に当たると風景も人物も生き生きとして見える。  
こんな時の光と影がとても好きだ。

朝の撮影の後、待ち時間があったので  
カメラマンたちと朝マック。  
存在すら知らなかった「マックグリドル」を  
アシスタントの女の子に初めて教えてもらった。

メープルシロップ入りのパンに  
ベーコンエッグがはさんであるのだが、これがいける！！  
自分の中ではヒットだったけど、他の人々はちょっと嫌がってた。

けど、カメラマンのIさんが  
「数日後にまた食べたくなる味だね」  
と言ってくれたのでうれしかった。

撮影クルーに混じって自分だけ別会社の間人で不安もあったが  
いろいろと気を遣っていただき、楽しく仕事できた。

子どもがお母さんから離れず、撮影が中止になるという  
よくあるハプニングも。  
それでもめげずに次の打ち合わせをみっちりやって、  
お仕事終了！

夜、ayaを迎えに、博多へ。高速道路を突っ走った。  
1年半ぶりくらいかなあ。変わらず元気で嬉しくなる。

九州は佐賀以外来たことないayaを連れ、中洲へ。  
屋台のラーメン、おいしかった～。

帰ってからもビールで乾杯。ワインも1本あけた。  
カナダのお土産話など聞きながら、至福のひと時だった。

## 2007.04.15 Sun SLASH BRASS!!

---

朝はayaと遅く起きて、母と呼子へ。  
ayaは新鮮なイカにはしゃいでた！  
それを見てるだけでも楽しかった。

夜はSLASH BRASS!!ライブ at RAG-G。

行くまでは、想像しがたかった、SLASH BRASS!!  
イベントの名前なのか、よく分かってなかった。

トランペット、サクソ、トロンボーンを主として  
ベースやドラム、キーボードも入る大所帯のバンドだった。

狭いステージいっぱいには熱い演奏が繰り広げられ、  
ライブハウスでこういうのを聴くのは初めてだったので  
目からうろこ状態。

なめらかなサクソの音、心地よく低音きざむベースの音、  
おしゃれなピアノの音、が特に好きだったなあ！

aya・らんらんは初対面だったけど意気投合。  
輪が広がって楽しい夜だった。



2007.04.16 Mon 料理

---

カルボナーラを作った。

最近、親にまかせっきりでほとんど料理をしないわたし…。

一人暮らしの頃の記憶を呼び起こしながら

手探りで料理していた（笑）

## 2007.04.17 Tue まちおん会議

---

まちおん会議、遅れて参加。  
いよいよあと1ヶ月ちょっとに迫る。  
やるべきことを整理しないとなあ。

第二会議場ではTさんとよく話した。  
音楽の話や仕事の話・・・。  
つらいときもあったけど音楽に救われて今がある！

やっぱりみんなそういう経験をしてるんだなあとしみじみ思った。

第三会議場ではRさんとジョイフル。  
自分の意見を持ちながらも、人の気持ちを尊重することを忘れない  
彼女はオトナだ。

髪を切った。

平日に美容院に行けるなんて、めったにないから嬉しい♪

飽きっぽいわたしが、もう4年も同じ美容室に通っている。

その訳は...中学時代の先輩Uさんに切ってもらおうという安心感もあるが、第一に、Uさんは今まで見たことのないカットのプロであるということ。

いわば「髪の毛を尊重する美容師」。

幼い頃から天然パーマで悩まされてきた。

短くすれば収拾つかず、長くしてもうねりが出て、下ろしておけないのでまとめることしかできなかった。

そんな髪だったから、矯正かけるしか道はないと思ってたのに

今は、下ろしてても気にならない。

癖を生かしたカットをしてきているから！！

これは、自分の人生にとって画期的なこと。

Uさんに出会えてよかった！！

今日は、切ってもらいながら広告の話もした。

佐賀には毎月発行されるフリーペーパーが何種類もあり、

美容室の広告はよく載っているのだが

この美容室の広告は一度も見たことがない。

聞くと、企業ポリシーで載せないのだそうだ。

宣伝にお金をかけるくらいなら、

技術や他の事にお金をかける方がいいと。

「クーポンつけて安くしても、お客さんは割引を求めて渡り歩くだけで定着しないからね。」

なるほど確かに。と

広告の仕事をしてるくせに、深く納得してしまった。

「本当に良いものは、広告に頼らなくても支持される」  
これって、自分自身が今、体感してること。

「広告はわが生涯の仕事に非ず」の続きが読みたくなった。

一人ひとりの声がいくつも重なって、  
渦のように一つになるときを。  
心に響くハーモニーになるときを。  
わたしは夢見ている。

去年のイベント出演のために企画したまちおん合唱団を  
イベントだけで終わらせる気にはなれなかった。

ずっとくすぶっていたけど、やっと今日  
再始動の案内を送ることができた。

こんなことは性に合わないと思いつつも  
不器用で臆病なわたしを突き動かすのは、人間の声という魅力に  
とりつかれているから。

協力してくれる人の思いも伝わってきて、  
ちょっとずつ、光が見えてきた。  
まだまだ手探りだけど、いつか一つになれることを目指して。

2007.04.20 Fri 河のほとりに

---

っていう谷山浩子の歌があったなあ。  
昔から親しんできた家の前の小さな川。  
さすがに最近は川で遊んだりすることがなくなったけど  
時々、川のそばに行き、あの頃と変わらない流れを見ている。  
夏にはホタルも飛んでいる。  
今日は、暗闇の中、川べりに座っていたので  
迎えに来たAはとてもびっくりしたらしい。

**2007.04.21 Sat ツインマーマンの夢**

---

月1回、旧古賀銀行で行われるコンサート♪  
20回記念だそうだ。

WIZさんのアカペラ、かっこよかった。

同じ楽譜で歌ってもこんなに違うのか、と  
いろいろ参考になった。

いよいよ再始動初日！

「音のある街」と「おーシャンゼリゼ」を5人で歌った。

まりん、じゅんこさん、がっちゃん、かわみっちーさん。

かわみっちーさんが、コー口流の発声練習をしてくれて面白かった。

まだまだ声かけが足りず、人数的にはさびしかったけど

これからがんばっていこう～！！



## 2007.04.23 Mon たけのご飯

---

たけのご飯クッキング！

しょう油の量が少なく、ちょっと薄味だったけど

たけのこの香りが増すような...

とポジティブに考えることにした。

**2007.04.24 Tue** おめでとう

---

仕事で遅くなり、帰ってきて横浜に住む淳子に電話。

今日は淳子の誕生日なのだ。

妹夫婦と楽しく会食中だった。

31歳...ってことは、知り合ってもう12年ほども経つ。

Jは春生まれのせいかな、いつもこの時期が来ると、

入学の頃の風景を思い出す。

初々しかったなあ... (笑)

2007.04.25 Wed きんぴらごぼう

---

久々に母とゆっくり夕食。  
新ごぼうできんぴらを作った。

ごぼうの切り方を教わった。  
ささがきにする方法もあるけど、  
やっぱり、きんぴらは千切りじゃなくっちゃ！ということで  
手間はかかるがマッチ棒より細〜く切って、炒めた。  
味付けは、砂糖、しょうゆ、そして唐辛子。  
激辛寸前が好み♪

会社の歓迎会行ってアイスクエアにてまちおん会議。  
会場の責任者やスタッフが集まって  
またいろんなことを決めて行った。

スタンプラリーをやるそうな！  
9会場を周遊させるために、北は駅から南は佐嘉神社まで、  
4つの会場にスタンプをおいて、  
4つ集めた方にはガラガラを引いてもらい  
景品をあげる、というもの。

本番まで1ヶ月きってるけど、なんとか集客しようと  
一生懸命になっている。

2007.04.27 Fri デザイナー

---

そえじと吉岡さんが街中のバーでポストカード展を開いている。今日は、そのクロージングパーティだった。

二人の誕生祝をかねていたが、それぞれの知り合いがいっぱい集まり、それは盛大に行われた。

道行く人の靴を描くそえじ、オリジナルキャラクターのフィギュアを粘土で作っている吉岡さん。どちらもその凝りようはすごい！

そえじはまちおんでもお世話になってるデザイナー、吉岡さんは会社のデザイナー。ということもあって、内輪の集まりみたいだったけどあまりよく話せない人とも話す機会があって面白かった。

朝からCMの撮影。

ベンチで寄り添うカップル、

玄関で家族を見送る主婦、

畑仕事をしているおばあちゃんに声をかける営業さん。

たったこれだけなのに、夕方までかかってしまった。

最初に決めていた畑が構図的にどうしてもしっかりと来ず  
場所を変えたため。

これは、畑のロケハンをしていなかったことが原因。

場所の下調べは念入りにしなければならない。

その場でぴたっと来ることもあるんだけどね....。

夜は、てらおん。

母が「ハミングバード」という3人組で出演。

久しぶりにはらはらした。

機材のトラブルとかもあったけど

なんとか無事に済んでよかった。

**2007.04.29 Sun** ライブ三昧

---

FLASHが佐賀玉屋の子ども向けコンサートに出演。  
その後、唐人町のまちおんプレイベントを冷やかに。  
片付けまで手伝って、夜もB-SHUFFLEのライブへ。

**2007.04.30 Mon 合唱**

---

IさんやSさんが新たに助っ人で来てくれました。  
紹介してくれる人に感謝！



## 2007.05.02 Wed 変な飲み会

---

うちの上司と先輩と、取引先のデザイナーの女の子と  
4人で飲み会。

最初は上司と彼女が二人きりで飲むつもりだったが  
彼女が心細そうだったので、あとの2名が乱入したカタチ。

なかなか集まることのないレアなメンバー構成・・・。  
有田陶器市の話などで大いに盛り上がった不思議な飲み会だった。

2007.05.06 Sun 石

---

まちおん合唱団のあと、Rとゆめタウンへ。

わたしのペンダントの中に埋まっていた石が一つとれてしまったので  
代替りの石を探しに。

でも、同じような石を探すのは困難で、加工をやっている所もなかった。

あきらめモードになってたら

「小さなビーズを敷き詰めてもかわいいよ」とRがアドバイスくれた！

なるほど〜と、そのアイデアを頂くことにした♪

センスがいい人には憧れるなあ。

## 2007.05.07 Mon 人気のないラーメン店

---

国道沿いのあるラーメン店。

ラーメン屋にしては広く、きれいなお店なのに、いつも人はまばらだ。

というか、お客さんが入っているのをほとんど見たことがない…。

でもうわべだけで判断しちゃいかん、と

試しに入ってみた…（客はわたしたちだけ）

ラーメンはとんこつやみそなどいろいろあって、迷う。

メニューが豊富なのはいい！→けど、値段設定がちょっと高め。

とんこつしょうゆにしてみた。

味にはうるさくない方だけど、中の下くらいかなあと思ってしまった。

リゾート地の食堂などに行くとスープペーストをお湯で薄めたような

ラーメンが出てくるけど、それに近いものがあった。

連れと分けようと注文したチャーシュー丼も

どうもしっくりこない。

佐賀のみなさんが足を運ばないわけがなんとなく分かった。

けど、好きな人（同性でも異性でも）と一緒に食べるご飯って

それだけで不思議とおいしいものです。

**2007.05.11 Fri** フリーペーパー

---

フリーペーパー、やっと残りの9,700部の印刷があがり  
ぼれぼれに届けることができました。

夕方すぎからフリーペーパーまだ？と催促がきてたので  
仕事もそっちのけで対応していましたが

それだけ真剣に関わってくれている人がいるんだと思い  
感謝と、発行の遅れの反省も…。

FLASH練習のあと「ゆずるとまさき」ライブを見にB-shuffleへ。  
二人の演奏はギターとボーカルというシンプルな編成ながら  
とても元気が出る。とにかく演奏してるときの二人の表情が好き。  
サンドイッチのブルースは一度聴いたら病みつきになる。

トップバッターのまえけんこと前田健太郎さんもよかった。  
ハイトーンだけどちょっとハスキーで柔らかな声が好き。

そして...カンデラ。こないだのBluesセッション以来、  
おそろしく気になるボーカル（女性）がいる。  
キャロル・キングのような落ち着いた、のびのある声。  
メンバー紹介のときも、自分の紹介はしないからいまだに正体不明だけど。

そして選曲がまたいい！  
はっぴいえんど「風を集めて」のジャズ・アレンジや  
エルヴィス・コステロの「Alison」などなど。  
アンコールにオリジナル曲をやってくれた。  
ベースのOさん達はそれまでの真剣な表情からうってかわって鈴隊となり、  
すごく楽しんでいる様子だった。

帰りはグラッツェでご飯♪

**2007.05.13 Sun 準備日**

---

まちおん本番まで1週間。

看板を作ったり、チラシ撒いたり、まちおん合唱行ったり  
母の日のプレゼント買いに行ったり、会議したり...

よく動いた一日だった！！

2007.05.13 Sun ロストロポーヴィッチ

---

母のパソコンのバックアップ作業にA氏が呼ばれた。  
なのに...なぜか家で3人でビデオ鑑賞会。

チェロの巨匠・ロストロポーヴィッチと小澤征爾の共演の模様。  
長かったけど面白かった！！

ロストロポーヴィッチさんはリヒャルト・シュトラウスの  
ドン・キホーテを丁寧に、丁寧に表現しようとする。  
風車の音やドン・キホーテの最期の場面などなど・・・  
細かな場面の描写を音で表現することにのめりこんでいた。

クラシックは全然詳しくないけれど、演奏する者の端くれとして  
こんな風に一つの曲に思い入れを持ちながら演奏する彼に  
憧れのようなものを感じた。

**2007.05.14 Mon** 歌った食べたしゃべった

---

まちおん合唱に向けて家で臨時練習。母に音取りしてもらい  
Mと二人でまったりと。なかなか練習に参加できないMだけど  
音もすぐにとれて、問題なさそう。

練習もそこそこに、ケーキ食べながらおしゃべりした。



## 2007.05.15 Tue レコーディング

---

CMソング録音の日。

zunさんがやってるスタジオ「いちご音楽堂」でレコーディング！

はるばる三瀨まで出かけていった。

どこまで行くんだろうと思ったら、田んぼ道を抜けた先に住宅地があってその中の一軒が住宅兼スタジオだったのだ。

初めてのお宅でゆげちゃんもわたしもちょっと緊張気味。

しかし、気持ちは「よい音を録る！」ことのみ。

zunさんの作った演奏にゆげちゃんが合わせて歌う。

電話ボックスより小さいハコの中に閉じこもって...

さぞ、中は暑かったことだろう。

Oさんに音程を直されながら、無事レコーディング終了。

あまりにも早すぎてあっけない感じもしたけど

これがプロの仕事というものだろう。

お客様に無事、満足してもらえますように。

**2007.05.19 Sat** まちおん前日

---

いよいよ明日に迫ってしまった、まちおん。

FLASHの後、まちおん合唱、デザイナーNさんのお父様のお通夜、と大忙しで、落ち着く暇なし。

2007.05.20 Sun まちおん

---

何人もの人の手によるイベントだなあと実感した。  
朝早くから、会場責任者やスタッフやボランティアが何人も  
このイベントのために集まって、準備をしたり、人集めをしたり、  
お客様の対応をしたり...

スタッフをやるだけでも大変なのに、演奏まで。  
これはなかなか器用な人じゃないと無理だなあ、  
全体的に準備不足だったなあと今回はいろいろ反省した。

住職様が最後に「合唱、よかったよ」と言ってくださって  
本当に救われる思いだった。

もっと人の力を信じて、自分のことも信じて生きて行きたい。

2007.05.21 Mon いか

---

<昼>

普段どおりに仕事。

装ってても普段どおりではなく

どこかホッとした気持ちと、心残りと、

いろいろごちゃまぜ…。

<夜>

新鮮ないか料理が食べられる店を発見！

呼子にいかなくてもいっかあ！？

刺身、ホントにおいしかったよ～。

TSUTAYAをぶらり。

2007.05.22 Tue 嫌な夢

---

ビデオで「宣戦布告」を観た夜、自分がSATになって  
敵から逃げ惑う夢を観てしまった。

敵に見つからないように、そろりそろりと窓の下を這って移動。  
いかに逃げるか、ばかりを考えていた。  
なんとも情けない特殊部隊員。それでもSATか！！

攻撃されたか、足を踏み外したか忘れたけれど  
自分の終わりが来て「お母さん今までありがとう」と  
最期の時を迎えるシーンで目が覚めた。

寝る前に怖い映画を見るものではない。

食料調達にゆめタウンへ。

食料品売り場はいろんな食材が充実してて、ついつい時間を忘れそうに。

安いけど美味しそうなお米（広告の品）も発見したのでかごに入れた。

そのほかは、お財布と相談しながら、必要なものを買って揃えていった。

実は銀行に行き忘れて手持ちがあまりなかったのだ。

しかし、レジでお会計してもらおうと、予想以上に高い！！

仕方なくお米をはずしてもらい、その場を逃れたが

実はそのお米、セール品ではない通常価格の品であることが判明。

POPのそばにあったから間違っって持ってきてしまったのだ。

もう一度、POPの商品名を手がかりに、お米探しの旅へ・・・。

お米も、地元の農家のや、全国のブランド米、無洗米など

いろんな種類があり、数箇所に分けて並べられている。

お目当てのお米は...

なんと！目立たない棚の下部にさりげなく積んであったのだった。

おそろおそ～るレジに持って行き、バーコードを通してもらうと

願いどおりの価格♪

こうして、無事に予算内で、お米も食材も手に入れて

帰途に着いたのだった。

ちょっとした達成感を味わえた。

## 2007.05.25 Fri 旅 1 日目

---

一人で東京へ。

5/26のEDDI READERのライブを見に。

ところで、なぜ自分は前日に東京入りしているのだろう、と

羽田からの京急の中で考えていた。

「そうだ！スティールパンのライブを見に行くんだった！」

思い出せてよかった。

PAN NOTE MAGICというスティールパンバンドのライブ

大塚まで行った甲斐がありました。

スティールパンに愛情を持った人が奏でていた。優しい音。

その音を聴いただけでもう満足。

そして、時に激しく、楽しく！こんな演奏も大好き。

卒業するメンバーがいたらしく、外部には分からないしんみりした

感じのときもあったけれど、これもライブの醍醐味かな！

朝起きて、浅草でぶらぶらと過ごしていたが  
ROXで聴こえてきたスティールパンのCDの音に  
またもや刺激されてしまった！

そして、足は神田へ。  
この街には楽器屋がたくさんあって  
いつかキーボードを買ったような記憶が……。

お目当てはスティールパン。  
なかなか九州ではお目にかかれないけれど  
ここにならきっとあるだろう！と期待していった。

しかし、めぼしいものはなく、Aから仕事が終わったという  
連絡があり渋谷で待ち合わせ。  
Aの提案でまずLIQUID ROOMの場所を確かめてから歓談することに。  
根がしっかり者なんだなあ、と感心。

渋谷駅から歩くこと20分くらい？  
その途中にキリムのお店に寄ってみたり。

そしてLIQUID ROOM（恵比寿駅からの方が近かった…）も無事発見して  
わたしたちは近くのバーに入った。

Aもカナダでよく作っていたというクスクスを初めて食べた！  
ラムを煮込んだものがかけてある。  
パスタが粉々になった感じの食感が新鮮だった。  
穴場的バーでAとおしゃべりしてあっという間にライブの時間に。

EDDI READERの生の声を聴くのは二度目だったけど  
この人の声や歌を聴けることがうれしくてたまらなかった。  
最初はあれ？声の感じがちょっときつくなかったかなあ、なんて  
思ったけど、だんだんとやわらかく伸びのある声に。やっぱりいいな。  
その声も風格も存在感があふれてて、  
わたしの中では、ひそかに女王だと思っている。



しかし、観客はFair Ground Attractionのファンが多いらしく  
昔の曲が演奏されるたび、異様な盛り上がりになり、また  
少し悲しさも覚えた。

拍手が鳴り止まず、嬉しい2アンコール！

そして、恵比寿からJが待つ横浜へ。  
夜遅かったにも関わらず、あたたかく迎えてくれてホントに感謝。  
最近気になっている、という隠れ家的バーに連れて行ってくれた。

3人くらいの常連さんがカウンターにいたが、わりと気軽に入れる  
雰囲気、わたしたちもカウンターに座ってみた。

マスターは気さくだけど繊細で穏やかな方。  
初めてとは感じさせない自然体の雰囲気がすごく気に入ってしまった。

Jとゆっくり話したかったが、常連さんがなぜかわたしたちを  
巻き込もうとしてしゃべるしゃべる（笑）  
それはそれで楽しかったけど、あまり長居はしなかった。

J宅でワインをごちそうになって、遅くまで語り合った。

2007.05.27 Sun 旅3日目

---

2泊3日の旅はやはりばたばただったけど  
なんだかリフレッシュした気分で、思い残すことなく佐賀へ。  
Jの作ってくれた手作りパン（ベーコンエピ）おいしかったなあ。

佐賀に帰ってくると夜Y宅で焼肉をごちそうになった。

油がとんだ！はねた！

仕事道具のキーボードにまで…。

しかしYは気にした様子でもない。

繊細なのに大らかな不思議なヤツだ。

2007.05.28 Mon 断念

---

行き当たりばったりの企画。

最近はお得意分野になってきているけれど

それで果たして満足するものが作れるのか？

で悩んだ一日だった。

いろいろ考え、少ない時間で話し合った結果、断念。

無理はしないでおこう。

そんな選択もあっていい。

2007.05.29 Tue 三線？とピアノのゆうべ

---

よしとさん&ゆげちゃんのツーマンライブ。  
ツーマンとツインマーマンって響きが似てるな……。

よしとさんがオーストラリアにワーキングホリデーに行くそうで  
しばらく会えなくなる……

ゆげちゃんはあるなよしとさんのために、曲を1曲作ってきた。  
よしとさんはホントに感慨深そうだった。

誰かを思い、作る歌。  
音楽に言葉を乗せれば、最高のプレゼントになる。

ゆげちゃんはそれを知ってか知らずか  
自分の言葉で。自分の描くメロディで。歌を贈る。

こんなことが自然にできてしまう彼をすごいと思う。

2007.06.03 Sun 墓参り

---

足が遠のいてしまいがちなお墓参り。

けれど、むしうにお父さんに会いたい気分に。

街かど畑でお花を買って、お供え。

千の風になって、という歌詞にはとても共感を覚えるけれど

こうやってお墓に足を運んで、手を合わせる気持ちも

持ち続けていたい。

仕事の終わりになちゅば練習に行ったら、なんと！  
みんなでこれからホタルを見に行こうという話に。

自宅の前の川のホタルさんたちは、今年は特にたくさん光を放っていたが  
もう見られなくなってしまった。  
けど、小城（自宅からは30分も離れていない）にはホタルがまだまだいた！

ピカ★ピカと強弱つけてふわり、ふわ〜り。何度見ても不思議な光景だ。

深夜だしあまり騒がないように気をつけながら、  
祇園川沿いの道を歩く男女7人。

全く関係ない別のカップルを、仲間だと見間違える場面も。  
だって暗闇の中だし、声も出さずにじっと手をつないだままだし！  
けど、せっかくのロマンチックな雰囲気壊してごめんなさい。

なちゅばは練習が終わったらご飯も食べに行くことも多いし  
気軽に遊びにも行く。  
みんな明日はそれぞれの仕事があるのに、一緒に時間を過ごす。  
社会人だからこそ、すごくかけがえのない時間なのかもしれない。

**2007.06.08 Fri** ボーン・コレクター

---

かわいいマスコットがぶら下がってるタクシー。

しかしそのタクシーに乗った人には恐ろしいことが...

残酷なシーンも多くて、ご飯を食べながら見るのはキツイ映画だ。

デンゼル・ワシントンもアンジェリーナ・ジョリーも

いざというときに力を発揮できる有能な刑事・警官でカッコよかった！

音楽を聴いて感動する人ってというのは、「感動したがり屋さん」？

映画「ファイティング・テンプテーション」の1コマで  
主人公がそんな皮肉をいう場面が。

音楽を聴くにあたって少なからず「いいとこさがし」をするから  
「感動したがり屋」にあたるかも、と思う反面、  
きっと本物の音楽は無関心な人の心をも動かす！

こっちから近づいていくのではなく  
音楽のほうから近寄ってくる、  
そんな音楽にたくさん触れたいと思うのであった。

自分の場合は、やっぱり感動を求めている輩の一人だろうけど。



## 2007.06.16 Sat JAZZピアノの夜

---

今日のツインマーマンには、ゆげちゃんの大学時代のピアノの先生が出演。  
この野田正純さんという方は、  
ピアノを自由自在に操って何でもJAZZアレンジにしてしまう！

今日の出演者がマリンバや二重唱で演奏してたOver the Rainbowを  
あえてJAZZで弾いてみたり  
チック・コリアのSpainや  
ジャコ・パストリアスのThree Views of a Secret  
お客さんからのリクエスト曲Yesterdayなどなど...

ピアノの魔法を見せられてる感じで興奮した！

2007.06.17 Sun 新譜

---

タワレコでCDを物色。新譜から縁遠くなっていたけど、最近、新しい曲チェックしてみるのもまたいいもんだと思うようになってきてる。

「くるり」のニューアルバムいいなあ。買おうかなあ。  
おいしいハンバーグをごちそうになって舌もとろけそうに。

まちおんで知り合った大学4年のS君は  
人と会うことでいろいろな情報を得て  
今後の進路の参考にしている。

一般企業に勤めても自分を押し殺して働いて、いいように使われるだけ？  
だったら、同じ志を持った仲間と一緒に面白いことやれないかな  
と、方向性を探っているようだ。

労力に見合ったお金を。というS君の考え。  
だからまちおんも少しお金を集めたらいいのに、と言った。

わたしは、何かがひっかかっていた。

利益は後からついてくるもの、だと思ってる。  
お金にはならなくても自分のやりたいこと、  
好きなことをしながら生きていきたい。  
どうしても利益優先という考え方にはなれない。

そんなこと言ってるからわたしの人生設計図は未完成なんだろうなあ。

2007.06.21 Thu PIG

---

近くのペットショップで最近よく見かける黒い子豚。

そっくりなぬいぐるみをいつか誕生日にもらったことがあります

その子の生き写しのような子豚ちゃんが

とっても気に入っている～。

昼休みに通りがかったときは、いつも眠そうで夢うつつ…

一言で言うと「かわいい」のです。

2007.06.21 Thu プロ

---

映像技術を駆使してCMを作るTプロのもとへ。  
仕事の話が終わっても、しばらく油を売っていた。  
どんな仕事してるのか見せてもらったりしながら、  
見て楽しい仕事や感動がある仕事こそがプロの技なんだとつくづく感じた。

Tプロは、近ごろはカメラの技術も着々と身につけているようだ。  
接写レンズの魔法は衝撃的だった！  
分かりやすい説明に新鮮な驚きを覚えた。

2007.06.27 Wed 悪

---

身の危険を感じるほどの出来事って、そんなになんかと思うが  
実際に身近な人の言動に怯え「自分の人生どうなるんだろう」と  
荒んだ人生を送ってた時代もあった。

極めて不当な要求、  
それは普通の人から見たら、明らかに異常なことなのに  
知ってか知らずか、圧力をかけてくる人間がいる。

ふと夏目漱石の『こころ』を思い出す。  
「人間はある日突然、悪人に豹変するのですよ」  
というようなことを言ってたっけ。

悪を悪とも気づかない人間に出会わないこと  
そして自分がそうならないことを祈っている。

## 2007.06.28 Thu 元気の出る食べ物

---

ゆめタウンでいろいろ買い込んで夕食。

元気のないときに効くのが

生の野菜、果物、海草、お酢！

めかぶの酢の物はカラダにス〜ッと入ってきて

なんだかカラダをシャキン！としてくれる。

2007.06.29 Fri 南へ

---

9時過ぎ。いつも会社を出る時間帯。  
今日は会社へは出かけずに、母と二人で鹿児島へ。  
八女から高速に乗り、都城で降りる。  
都城から志布志に入り肝属へ。  
休憩を入れて5時間ほどで、母のふるさとに着いた。

じいちゃんが今月半ばに骨を傷めて入院したのだ。  
心配して訪ねて行ったけれど、当の本人は自力で起き上がることも  
できて元気そう。  
むしろ、ばあちゃんの方が「心」を病んで気分がすぐれないことが  
多く、心配の種が残ってしまった。

この祖父母の家には、たった5時間かければ行けるのに  
足が遠のいてしまっている。

これからは、もっと気軽に足を運んで行かなければ。

夜は親子3代水入らずの夕食、おいしかったなあ。



鹿児島島の祖父母宅にて朝を迎えた。

わたしたち親子が来たら、ばあちゃんがしてほしかったこと。

それは、親戚宅へのあいさつ回り。

じいちゃんが入院中で、足のないばあちゃんは遠くに行けないから。

7時に起こされ、8時には母と二人で出発。

小城で買い込んだ羊羹を一つ一つ届ける。

まず、祖父母の義妹・タマ子おばちゃんの家へ。

明るい笑顔で快く迎えてくれて、朝からスイカをご馳走してくれた。

腰は曲がっていても、いつも表情にはほほ笑みが絶えないから

元気だと分かってホッとした。

次に、祖父の妹・マリ子おばちゃんの家へ。

山奥に入っていくこの家はすごく分かりづらく

とうとう迷ってしまった。

しかし！そばにあった商店の方が、親切に道順を教えてくれたのだ。

まだ9時前なのに店は開いていた。田舎のお店バンザイ！！

おかげで無事にマリ子おばちゃんの家にとどり着けた。

クルマではちょうどペドロ&カプリシャスの「五番街のマリーへ」がかかってて、母と二人で笑いあった。

マリーの暮らしぶりは・・・？

優しい旦那さんと静かに朝ご飯を食べている最中でした！！

突然の訪問、びっくりさせちゃってごめんなさい。

すぐにおいとまして、次は、じいちゃんの大切に守るお墓へ。

買っておいた花を生けて、墓掃除をして、次は、祖母の弟の家へ。

ここでも夫婦元気に畑仕事をしてて、

採れたてのトマトなどもらって帰った。

そんなこんなで午前中のおつとめ終わり、

昼からは祖母と三人でうどんを食べ、買い物をして

夕食の支度をして・・・

田舎にいとゆったりと時間が過ぎていく。

いつもと全く逆の、シンプルな時間の使い方がとても新鮮だった。

午前中に祖母宅を出て、じいちゃんの入院する病院へ。  
じいちゃんを守る大事なお墓のことで家族会議。

お寺の納骨堂にご先祖様をうつそうか、という話。  
これからじいちゃんは今までのように身体が思うように動かないだろうし、  
墓の手入れをするのは結構たいへんで危険だろう、と  
祖母のたっでの願いだった。  
納骨堂なら、いつも和尚さんが唱えるお経が聞こえてくるし・・・  
というばあちゃんの意見。

しかし、長年墓を守ってきたじいちゃんは、そんなことを承諾する  
はずもなく。

「大事なのは、先祖を敬うわれわれの気持ち。  
お経が聞こえてきたって、そんなことは何にもならない。  
自分たちの先祖の所へ足を運んで、手を合わせる気持ちこそが  
一番大切なんだ。」

いつでも花をぎっしりと生けて、丁寧に墓の世話をするじいちゃんの姿を  
小さい頃から見してきたから、気持ちが痛いほどよく分かる。

今の自分があるのも、ご先祖様のおかげ。  
改めてその気持ちを胸に、鹿児島を後にした。

途中、妙見温泉を通り、仙寿の里ラムネ温泉に入った。  
野趣あふれる、緑にかこまれた温泉だった。  
洗い場には毛虫やクモ、蜂までいて、あわてて格闘する場面も。  
殺虫剤がおいてあるくらいだから、よく出没するのだろう。

何はともあれ、さっぱりしてから  
高速をとばし、佐賀に帰った。

2007.07.05 Thu 同級生

---

ふと電話を見ると、見知らぬ電話番号からの不在着信が。

かけ直すと、なんと電話の主は大学時代のクラスメートR君からだった。  
大学を卒業して以来、音信不通だったけれど、  
たまに連絡を取り合っているT君から、わたしの電話番号を聞いたらしい。

まだ携帯も持っていなかった頃（1年生の頃かな）、一人暮らし同士  
たまに電話をしていたから、なんだか話してて懐かしくなった。

今度、仕事で長崎にやってくるとのこと。  
最近は、大学の友達と会える機会が少しずつ増えてきてなんだか嬉しい。

2007.07.07 Sat 七夕

---

昨日からの大雨で熊本では孤立した町があるらしい。  
土砂崩れなどが心配だったけれど、  
夜中から山鹿の温泉「どんぐり村」へ。

途中、ファミレスに寄ると、偶然にも憧れのサックスプレイヤーに遭遇。  
こんな真夜中になんとか嬉しい出会だった。

どんぐり村では、庭でうさぎと戯れた後、  
温泉にゆったり浸かって、い～い気分。  
かけ流しのきれいなお湯で、とても気持ちいい。  
寝湯に浸かっていると、うさぎがちょこんと座ってこちらを見ている。  
(いや、寝ているだけかもしれないが・・・)  
ホント、イチ押しの温泉です。

母は数年前、この露天風呂で獅子座流星群を見るという  
すごい体験をしていた。  
今夜、天の川は見られなくて残念だったけど、  
また星のきれいな日に行きたいなあ。

## 2007.07.08 Sun ピアノが愛した女

---

ハードオフで、矢野顕子さんのドキュメンタリー映画VHSを見つけた。  
「SUPER FOLK SONG ～ピアノが愛した女～」

高校の頃から好きだったアルバム「SUPER FOLK SONG」のレコーディング  
風景を撮ったもの。なんと100円！  
なんだか複雑な気分だけど、これを買わない手はない！と  
手に入れた。正確に言うと、財布を忘れたので  
優しい連れに買ってもらったのだが。

さっそく夕方から鑑賞。

音作りに真剣な矢野さんの姿が映し出されていた。

「それだけでうれしい」の演奏を何度も何度もやり直す姿を見て  
え～、矢野さんでも、こんなに苦労してピアノを弾くことって  
あるんだ！とすごく意外だった。

あえてカンタンな道を選ばず、

「こうしたい！」という理想に向かって一步も譲らない姿勢こそが  
あんなステキな音を生み出してるんだな～と思った。

**2007.07.09 Mon** クリスマスに向けて

---

真夏もまだなのに

クリスマスアルバムを3枚も買い込んだ。

FLASHの今年の定期ライブに向けて

こんな時期から意気込んでいる自分がいる。

12月23日（日）、旧古賀銀行にて開催決定している。

今度こそ、良いものをつくりたい。

2007.07.10 Tue ラーメン+α

---

ラーメンに、ご飯に、お豆腐に、餃子。  
大和にあるラーメン屋さんのセット内容だけど  
これだけペロリとたいらげるわたしって...  
最近、食べすぎかな...



台風が心配される中、亀渕友香さんが昨日から来佐。  
今日は、FLASHの練習を見てくださった。

最近譜読みが終わったばかりの、「Circle of Life」を聞いていただいた。  
藤戸先生が歌うソロが力強くいいですね、とまず第一印象を述べられ  
その後は、一人ひとりに、  
「ゴスペルではない曲を歌うことについて、どう思うか」と  
意見を求められた。

いろんなジャンルの曲を歌いたいから、こういうPOPSも楽しい、とか  
一人ずつ意見というか、思いを述べていった。  
「誰一人として、同じ意見を言っはけませんよ。  
皆、感性が違うのだから、一人ひとり意見があるはずですよ」  
最初にそんなことをおっしゃるから、皆、ドキドキしながら  
自分の番を待っていたはずだ。

わたしは、いくつもの人の声が合わさったハーモニーが好きで  
ゴスペルを始めた（ゴスペルそのものがやりたかったわけではない）

他のメンバーも  
「ゴスペルとは何か、よく分からないけれど  
これからもっと知って行きたい」

など素直に自分の気持ちを発表していたが、  
「ゴスペルがいちばん！」というメンバーは一人もいなかった。

これを聞いて、亀渕さんはどう思っただろうか。  
「一人ひとり意見がしっかりしている、安心ですね」と  
藤戸先生に言っていたけれど・・・。

亀渕さん自身もVOJAという「ゴスペルグループ」を率いていながら  
宗教色の表れる歌よりも、人の心、絆、といったものをテーマにした  
歌をよく取り上げている。

自分の意見を前面に出すのではなく、ひたすら生徒の意見を聞いていた

から、余計に亀渕さん自身の気持ちが気になった。

日本語で歌う歌をどう思いますか、と  
今度はメンバーからの漠然とした質問。

一人でも多くの人に自分たちの歌が伝わればいいと思っている、  
だから、できるだけ多く日本語で歌ってほしい、とおっしゃった。

今日は、歌を聴いていただいて、技術をどうこう、というのではなく  
「歌の極意」を教わった気がする。

歌で一番大事なものは、「想像力」だそうだ。  
アフリカの大地に行ったこともないけど、思いを馳せながら  
歌の意味を想像しながら、歌う、それが歌だ、と。

亀渕先生の話は、心にスッと入ってきて  
不思議と聞き入ってしまうのだ。

ただ、少し考えが違うな、という部分も。  
でもそれでいいのだ。人と違ってこそいい。  
それは亀渕さんが教えてくださった。

数年前からグリーンカレーにはまっている。  
ココナッツミルクが入ってまるやかなのにスパイシー、  
そのギャップがたまらない。

今はペーストが売ってるから、家で簡単にグリーンカレーが楽しめる！  
ということで、材料を買いに、スーパーへ。

鶏肉コーナーを目指して歩いてると  
なんだか見覚えのある顔の男性がこちらを見ている。  
こちらもじっと見返してやりながら一瞬考えて、  
小学校時代6年間同じクラスだったNくんだったことに気づいた。  
昔の面影そのまま。

きっと15年以上ぶりだ。  
それでもきちんとフルネームで覚えてる。  
あの頃は、なぜか女子が男子を呼び捨てにすることが多くて  
女が強かった。

こんな風に会うと、やはり年月が経って少しはしおらしくなってる  
自分に気づいておかしかったり。

いや～、でも懐かしの同級生にバツタリ会えるのって  
嬉しいものだ。

佐賀に帰ってきてよかったことの一つ。

新鮮な青唐辛子やししとうを入れたグリーンカレーは最高だった。

2007.07.16 Mon 地震

---

3連休の最終日。

遅く起きたら、新潟が大変なことになっていた。

台風が心配されてた矢先に、不意打ちの攻撃。

日本は災害つづきなのに、佐賀は台風の被害もなくホント平和だどつくづく感じる。

今日は、ちょっと真面目に「Away in a Manger」の音を拾って楽譜に落としたり。

共同作業がなかなか楽しかった。

けど、完成への道のりは長い・・・

2007.07.17 Tue 赤ちゃん

---

数ヶ月前、あるライブで知り合ったKさんは妊娠中で  
8月31日に赤ちゃんが生まれる。

音楽が好きな赤ちゃんらしく、  
ライブの間などよく動いているらしい。  
お母さんが音楽好きだから、きっと同じように  
楽しんでいるのだろうなあ。

チビ子ちゃんと呼んでいたのだが  
もう男か女かも区別がついて名前もつけられていた。

今はお腹にかくれてるけど、元気な姿になって  
出てきてくれるのがホント楽しみだ。

仕事で、市内のホテルへ。  
今度作るCMについての打ち合わせをするけれど  
なかなかいいアイデアが浮かんでこない。

こわもての社長と昨日からお話しているが  
妥協は許さない、といった感じで  
どれだけできるか試されてる気がする。

むむむ、プレッシャーだ！  
頭をフル回転させて、今ががんばりときだ！

2007.07.20 Fri 靴下

---

真夜中にいつまでも探してた。

足りない片方の靴下を。

風で飛んだのか、まさか泥棒のはずはないし・・・

気になって気になってしょうがない。

2007.07.24 Tue カレー

---

久しぶりに20時近くに仕事が終わった。  
このところ忙しかったから、解放された気分で帰宅。

母の作ってくれたカレーがおいしくて  
もう3食も続けて食べている。

アボカドとトマトときゅうりとわかめのサラダも  
今日は一段とおいしかった！

そのうち、いつの間にかうたた寝していた。  
海外ドラマ？「プリズン・ブレイク」を途中から観てたら  
とまらなくなってしっかり夜更かし。



## 2007.07.27 Fri LIVE

---

10年ぶりくらいに会える予定だった大学時代の友達から  
残念なお知らせ。  
急遽、職場のある鳥取に帰らなければならなくなったとのこと。

気をとりなおして、上司のやってるアコースティックバンドと  
異色のひとりバンドのLIVEへ。

この2組が一緒の日に組み込まれてること...  
それが一番フシギだ。

上司のバンド「ACT」が始まる前にアイコさんが  
ACTの演奏で歌ってたけど、アイコさんのオリジナル曲がかなり  
印象的だった。

音楽って楽しい！っていうのが曲にも表情にもにじみ出てる。  
マサキさんのLIVEを見ててもそう思うけれど  
それってきっと音楽の原点。

トリで演奏した「トモ」は  
男性ボーカル2人とギター1人という珍しいユニット。

1曲目でギターの弦が切れるというハプニングが！  
上司が見るに見かねて愛用のMartin製ギターを貸していたが  
なんだかハラハラした。

というわけでまた変わらずLIVEを楽しんだ週末の夜だった。  
チケットくれた古賀君、ありがとう！

母の友人のSさんが小城のようかん屋さんで  
作品展をやっているので母と一緒に見に行った。

紙粘土で花を中心にした作品づくり。  
始めてからまだそれほど長く経っていないのに  
細やかですごく美しい！

花びらの微妙なカーブや、淡いグラデーションを再現してて  
思わず見とれてしまう。

その中で唯一おうちを作った作品があり、  
おいしいようかんとお茶をいただきながら、ちらちらと  
気になっていた。  
そしてそんなわたしを見たSさんは、安く譲ってくれることに！

絵本に出てくるような、懐かしい感じのおうち。  
庭に犬がいたり、郵便やさんが配達に来たり、なんて場面が  
いろいろ想像できそうなおうち♪

母は置物があまり好きではないから  
自分の部屋において、ゆっくり楽しむことにしよう。

2007.07.30 Mon うなぎ

---

今日は土用の丑。

取引先からうなぎを注文しておいたので  
持って帰って即、夕ご飯。

ご飯が炊けて、ほうれん草のお吸い物ができていた。  
これぞ関係プレー！

身は厚みがあってやわらかい。  
とってもおいしいうなぎちゃんでした。  
早くも疲れ気味の今日この頃。  
体力回復して夏を楽しまなければ！

2007.08.04 Sat 祭り

---

会社の同僚や元社員で女4人の飲み会。  
もうすぐ南の島へお嫁に行ってしまうSさんとも  
久々に話せてうれしかった。  
お開きになって外に出ると  
栄の国まつりの花火があがっていた！  
ゆかたのななちゃんとも遭遇し  
なんか祭りらしい気分を味わえた。  
中央大通りにこれだけ人が歩くんだ～と  
かなりびっくりした。

免許をとって11年、クルマを所有して4年ちょっと。

初めて検問というものを受けた。

家の前でパトカーともう一台のクルマが停まってて

なんだろう、事故でもあったのかなあ、とよけながら駐車場へと入っていった。

そのときおまわりさんはまっすぐ進め、と交通整理をしているように見えたので。

家はここだよ、と指さして丁寧に合図までしたのに...

おまわりさんは慌ててこちらへ走ってきた！！

びっくりするわたしに

「けんもんなんですけど・・・」

とおまわりさん。

あ～、とやっとな飲み込んでしぶしぶ免許証を見せると、

「あ、ゴールドなんですね...平成23年生まれで・・・」

(免許の更新の年だ、それは！)

とても不慣れそうな初々しい感じのおまわりさんだった。

なのに強行突破しようとしたわたし。

さぞ、びっくりしたんだろうな・・・。

ごめんなさい！

2007.08.09 Thu デジカメ

---

以前のノキアに比べると、どうも今の携帯のカメラが使いにくい。

薄すぎるせいかシャッターボタンも押しにくいし

明るさの調節もあまりできない。

そしてPさんのカメラ生活がうらやましくもあり…

デジカメを6年ぶりに買うことに！

買ってしまいましたIXY1000。

フダン使いなら1000万画素もいらなidarotto言われそうですが

写したときの液晶のキレイさに惚れてしまったのです。

がんばってまた働きたいと思います。

2007.08.10 Fri 旧友

---

元同僚・Aが佐賀に。

関東と九州の距離の差なんて関係なく

ちよくちよく会いに来てくれることがすごくうれしい。

佐賀駅で待ち合わせた後、あいてる店を探しながら歩き

やっとベトナム料理屋に落ち着いた。

A氏も加わり、ダブルAのへんてこな飲み会だった。

よく笑ったなあ。

歯医者が長引いたからFLASHはお休み。

夕方、Aと熊本へ。

Aの知り合いで「りゅうくん」という人がギターを弾いていて  
今日、JAZZライブをやるからよかったらおいでよと言われたのだ。

お盆前だったけど、高速はそんなに混んでなくて

スイスイと熊本の街まで行くことができた。

ビルの中にある吹き抜けスペースがステージ。

キーボードとボーカルとギターのトリオが3ステージやることになっていた。

ちょうど「火の国まつり」の最終日で街はにぎやか。

Aとわたしはぶらぶらと散策しながら、靴屋さんに立ち寄ったり

祭りの「打ち水」大作戦の模様を見物したり…

打ち水をやるにあたって

水を運ぶ生コン車数台

水を分けるための大きなバケツ

水を配るための小さなバケツ（何千個あっただろう？）

そしてたくさんの人手…

着々と準備が進んでいく様子を一部始終観察。

路上にたたずんでいると、わたしたちも水が入った小さなバケツを渡された。

「けっして、人にはかけないでくださいね～！では行きますよ～！」

アナウンスの威勢のいい合図の後には…

「パシャッ」「パシャッ」

あちこちで黙々と地面に向かって打ち水をする光景。

数秒後に「は～い、ありがとうございました～！！」

と終わりの合図。

こんなに大がかりな準備をしたのに

一瞬で終わってしまった！！

地味なイベントだったな。。うん、でも少し涼しくなった感じ？

少し、腹ごしらえしてライブに行ったら2ステージが終わろうとしていた。

さわやかなボーカルに、涼しげなギターの音。

夏のおいがするJAZZライブだった。

そして説得されAとともにりゅうくんの家にお邪魔。

朝4時近くまで3人で楽しいときを過ごしたが

お酒が回りすぎてジゴクを見るはめに…。



2007.08.12 Sun 生還

---

りゅうくん・Aと分かれ、ふらふらになりながら佐賀に戻った。

暑さもまたこたえた。

まさか泊まるとは想定していなかったので

着替えも用意してなくて、帰りは大川でシャツなど購入。

お土産を届けて、夜にはやっと少し回復。

馬刺しをおいしくいただいた。

2007.08.14 Tue 穴場

---

熊の川温泉に行った。

朝は700円、昼3時を過ぎると500円、夕方5時以降は300円、と時間が経つごとに入浴料金が安くなる。

長〜く入る湯治客も多いからだそうだ。

それくらい、この温泉は効く！そして気持ちいい。

源泉はほとんど水に近いぬる〜いお湯なので、夏にはうってつけ。

冬は、源泉に入るのにはちょっと勇気がいる。

サウナもなく、シャワーも1つしかないのが不便だけど

この温泉に入ると、次の日肌がツルンとして

さわったとき「あっ♪」って思うのが好き。

2007.08.15 Wed 暇

---

世間はまだ盆休みのトコロが多いはず。  
会社にかかってくる電話の少なさで実感した。  
営業さんは、特に回る場所もなく  
制作部は、新規の仕事の発注なんてほとんどない。  
午後から急遽休みをとった社員も多く、  
会社全体が「退屈モード」になってちょっとドキドキした。  
「最初から会社休みにすればよかったのに」と  
誰もが思ったことだろう。

2007.08.16 Thu 罪

---

世界にはまだまだすばらしい音楽がたくさんあるんだよ、と  
教えてくれた人。

音楽でも何でもいろんなことを一緒に共有していきたい、と  
言ってくれた人。

その思いをかなえられないどころか

わたしの思いやりのなさに、傷を与えてしまったかもしれない。

若くして亡くなった大事な人の分まで

どうか幸せになってください。

2007.08.17 Fri 代休

---

代休消化の命令が出たため、平日に休みをとった。

虫や魚たちと戯れながら、また竹取ったり

のんびり子どもみたいな時間を過ごした。

帰りに、大和バイパス沿いにある店で夕飯。

前々から気になっていた

「三瀬鶏 お好み焼」の看板。

三瀬鶏が入ったお好み焼なんだろうか、珍しいよなあ〜、と。

そして、今日、謎がとけた！

「三瀬鶏の焼き鳥」と、「お好み焼」をメインに出している

お店だったのだ。

メニューを見てたら、どちらもおいしそう〜♪

店員さんもすごく丁寧で、感じがよい。

でも、結局注文したのは、焼きそばだったのでした。

ごちそうさま。

2007.08.19 Sun 甲子園

---

TVに釘付けになってしまった。

北高が…帝京にいい試合をし、とうとう勝ってしまった！

大舞台でも精一杯、自分たちの力を発揮し

仲間を信じ、助けあう、そんな試合が見られたと思う。

フェンスに身を打ちつけてまでキャッチした

馬場崎選手のファインプレーがいつまでも忘れられない。

## 2007.08.20 Mon SCAFULL KING

---

SCAFULL KINGのDVDを見せてもらった。

「ドラムを聴く」という感覚は今まであまりなかったが、  
このバンドでは、ドラムのその絶妙なリズムに惹きこまれていった。  
すばらしい演奏をするアーティストでも  
よく知られているのは一握りなんだなあ。  
まだまだ知らないアーティストがたくさん！  
そして、わざと大衆ウケするものから  
目をそらしてみるのも面白いかもしれない！と思った。

**2007.08.22 Wed 逆転優勝！**

---

一瞬一瞬が、連鎖反応のように勝利へと結びついていった！

奇跡！と言われるのも無理はないくらいに

すごいドラマだった。

最後に久保投手の笑顔を見れて

やっぱり、ホントの笑顔はいいなあと思った。



2007.08.23 Thu アボカド

---

仕事が早く終わったので、8時に閉まるスーパーに寄れた。

ここは好物のアボカドがなんと！1個100円なのだ。

4個購入。

最寄のスーパーは10時まで開いてるが、

そこでは最近198円に値上がりした。

庶民には買えない……。

元気がないときはアボカドを食べる。

らんらんにならったミックスビーンズと合わせて和えるのが

最近のお気に入り。

やっと年賀状を出し終え、夜はてんぷらや「えびぞう」へ。

揚げたてのてんぷらを格安で出してくれる！

でも、今日のお目当ては新メニュー「カキフライ定食」。

大ぶりのカキフライがなんと5個も出てきてびっくり。

採算あってるのかな、といつも心配している。

ここはゆず風味の手作り塩辛もあるし、お漬物も何種類かあって

ごはんとお味噌汁もとても美味しい。

てんぷらやなのに、ごはんとお味噌汁だけ注文しても

きっと満足して帰れそう。

山内町の道の駅にある「なな菜」はすてきなレストランだ。

何十種類もの野菜料理がバイキングで食べられる。

どれもこれも、やさしい味つけで

食べているうちにカラダに栄養を取り込んでいる感じ。

ご飯類も豊富だし、ちゃんと肉や魚も出してくれるから

満腹、満足。「黒だいこんのてんぷら」がイチオシ！

食べ終わった後、園芸好きな母は、腹ごなしに道の駅の裏にある

ガーデニング屋に行こうと言い出した。

「ここはちょっと高いけど、根がしっかりしてるのよ。」

一目置いているらしい。

わたしは植物の名前をあまり知らない。だから今日は少し覚えてみようと思い

「アイビーゼラニウム」と「サイネリア」だけは店内を3周くらいして覚えた。

「アイビーゼラニウム」は花びらいっぱい、「サイネリア」はなんとなく人工的な花、

というなんとも乏しい観察力。次に花をみたときにぱっと名前が出てくるのか！？

「ぱっ！とさいねりあ〜」♪♪懐かしい歌にこじつけて覚えることにしよう。

帰りは大町にできたあつ〜い温泉に入って帰ったとき。

2008.01.06 Sun ぶらぶら

---

当てもなくぶらぶらとショッピング。  
欲しいものを一つだけ買った。

わたしのやっているゴスペルの練習を見たい！というので  
今日は、見学者を一人連れての参加。  
同じ会社ではないけど、仕事仲間である。  
去年放送された「歌のチカラ」というドキュメンタリー番組に  
うちの先生が出ていたのを見たらしく  
今日、玄関で先生が出てきたときには  
「テレビ見ました！！」と感激した様子で挨拶していた。

大学で賛美歌を歌っていた彼女は、練習に参加して  
ゴスペルのリズムは賛美歌に比べて難しい、と感じたそうだ。  
でも、アットホームな感じで、自分が行って所に似ているとも。  
毎週土曜日の練習がネックになっているようで  
すぐいい返事はもらえなかったけど  
また歌いたくなったら来てくれるだろう！

いつか、市内で活動するうまいア・カペラグループと  
我がFLASHの両方を見学してった人がいた。  
さあ、どっち??  
と迫ったわけではないけれど、自ら前者を選び、今でも活動している。  
FLASHも雰囲気良さには自信あり!?  
でも実力はまだまだ・・・。  
見学者に「入ってみたい！」と思わせられるグループに  
いつかなれるように日々、成長していきたい！！

仕事半分、遊び半分でウエディングフェアへ。  
チャペルの祭壇で演奏するゆげちゃんと塩見さん。  
自然な音の反響がすばらしく  
言葉の一つ一つが心にとびこんでくるようで...  
号泣。  
ゆげちゃんが、小田和正さんの「Woh Woh」で  
「不思議だね」と歌いだしたときから  
もう、うるうる状態。  
ささやくような歌声がとてもマッチしていたんだ。

8時半、とちょっと早めに出勤して嬉野へ。

旅番組のロケ立会い。

今年は男性のディレクターのせいか、

細かなシナリオはなくて

ほとんど出演者まかせ。

その分、自然な表情や会話が撮れるというメリットはあるけど  
時間が計りづらい！！

ということで、段取りには何の問題もないのに、

スケジュールを2時間オーバー。

次の武雄のクライアントに迷惑をかけてしまった。

でも、女性の入浴シーンはいろいろと大変だろう、と  
心配していたのが、

「水着を着ているから大丈夫」

と、まったく手がかからなかったのに少し驚いた。

Iさんの美しさと、Hさんの絵のうまさには

だいぶ驚いた！

2008.01.17 Thu 史跡

---

鯨の門に、カメ棺...

今日の旅番組ロケは、まさに「歴史にふれる旅」だった。

高齢のHさんには寒さがこたえたようで

本丸歴史館の展示室で

「ここあったかいよね」と

床の一箇所だけ暖かい部分を見つけて嬉しそうだった。

今日はまともに？ではないけれど

昼食をとることができた。

若柳のちゃんぽん、美味しかったなあ。



2008.01.18 Fri まち

---

ロケ最終日。

今日は、かつて賑わった佐賀の街へ。

昔は、「日峯さんに行く」ことや「佐賀の街に行く」ということはこの上ないレジャーであり楽しみだったらしい。

確かに、昔の日峯さん通りの写真を見ると

その様子がよく分かる。

わたしも高校生までは、

「街へ遊びに」＝「アーケードに買い物に」

行くことだった。あれは、街が賑わってた晩年だったのだろう。

元気がない佐賀の中心街に活気を取り戻そう、という

もう一つの試みを知ることができた

よい機会だった。

## 2008.01.23 Wed ラーメン & ご飯

---

ラーメンが半額になる某タウン誌の素敵なクーポンを  
大いに活用させていただいた。

期限がそろそろ切れるし、ウエスト部分も気になる、  
ということで、今日は使いおさめ。

大和のラーメン屋さんへ。

「これでしばらくお別れしよう」と誓っておきながら  
そのサンマー麺の美味しさに

「やっぱりラーメンとご飯ってあうよなあ」と  
つくづく感動するわたしであった。

**2008.01.25 Fri** こんなはずじゃ

---

メーリングリストが  
たいへんなことに・・・！

2008.01.26 Sat 発見

---

オサツルがブレイク！

2008.01.27 Sun 合唱

---

キー坊というスナックみたいな定食屋さんに行った。

2008.01.28 Mon 55歳

---

花とケーキを贈った。

届く

2008.02.02 Sat リズム感

---

悪いぞ



2008.02.03 Sun モダンジャズ

---

駅でA列車

2008.02.04 Mon 穴あき

---

セーターの不思議

2008.02.05 Tue お空缶

---

7人無事発見

よかった

2008.02.06 Wed ライブ中止

---

残念、でも楽しかった

2008.02.07 Thu 気持ちいい？

---

腰まわしダイエットなるものがあるらしい

2008.02.08 Fri スローナイト

---

ゆげちゃんとマッチのDUOがとてつもなくよかった。

奏でる音の魔法で一つになれるよ・・・

『音のある街』を歌って  
Aさんを送り届けようと

ひそかに有志が集まって練習していた

外では駐車違反のステッカーが

貼られていることも知らずに...

2008.03.09 Sun 反省

---

ついつい相手の気持ち考えず、甘えちゃうことがある。伝達不足で、相手を困らせる。「言わなくても分かる」は大間違いだね。言いにくいことでもきちんと伝えよう。



この人はこうだから...と固定観念で決め付ける  
のではなく  
なんでこんな行動をとるのか、発言をするのか  
よく観察すると  
知らなかったことがいっぱい見えてくる。  
多くの人と何かを一緒に作り上げるなら  
思い「やる」ことは大事。

2008.04.04 Fri たわごと

---

ホントにやりたいこと、というのは自然と気持ちが向くものだ。

「ホントにやりたいことは何？」なんて

昔は考えなかったなあ。

好きなことをやって、それで毎日が過ぎていくことに満足だった。

家に帰ってから開いた楽譜。

同じ年の友人が今考えてることについて素直に賛成できること。

行き場のない気持ちを、音楽に求めるでもなく

ホントに素直な気持ちで

自分の趣味嗜好に傾いていく

そんな状態でありたい。

2008.04.05 Sat コンサート

---

願正寺の桜のきれいなこと、きれいなこと！

しだれた枝にいっぱい、こぼれおちるほどの花が  
今が盛りとばかりに堂々と咲いていた。

夜桜コンサート、最初は境内で、途中から本堂で。

ななこがの演奏は惹きつけるものがある。

単に歌がうまい、というだけでなく、歌で伝えるということに誰よりも長けているななちゃん。

絵の世界をそのまま歌にしたような、色彩のある曲をかく古賀くん。

竹灯籠も幻想的で境内の夜桜にすごくマッチしていた。

**2008.05.30 Fri 洋食**

---

母にごちそうになった。

神埼のレストラン「時代屋」は夜11時までもあいている。

仕事が終わってから十分間に合う、しかも美味しい！

中学時代の先輩がシェフになっていた。

**2008.06.16 Mon ?**

---

思いが変われば行動が変わる

もう一度、自分の夢に挑戦しようと思っている。

## 2008.07.02 Wed CMで流れていた

---

某とんかつ屋さんの「重ねカツ」食べました  
CMではホントにおいしそうに肉汁じゅわっと  
シズル感たっぷりの映像だけど  
実際に食べたらCMほどではなかった  
なんだろう？豚肉のうまみがもうちょっと欲しかったな。  
相方が食べていたオランダカツと1個ずつトレード。  
チーズとカツは合いますね。  
それにしてもCMのかってスゴイ・・・  
と、本職ながら思うのでした  
CMつくるときは「広告だから大げさに」と言われます。  
でも、実際にその商品やサービスにふれたとき、  
最初の誘引とかけはなれたものになってしまう  
ってことは自分の中で良心の呵責が・・・  
あまり広告には向いていないのかも？

一つにメーリングリストがあるが  
これを使って一人よがりな情報を伝えようとする人がいる  
送る方は悪気はないのだが、送られた方は「またか」と  
だんだんストレスがたまっていく人もいる  
これもインターネットのトラブルと言えるのでは、と思う。  
顔つきあわせなくても大勢に情報を知らせることができる時代。  
メーリングリストの業者は、そんな問題を見越してか  
「代表者しかメールを送れない」モードも用意している。  
本当に伝えたいことがあるなら、個別送信すればいいのだ。

2008.07.05 Sat 笑い

---

小学校のときの担任の先生は

「人と会うときは必ず1回は笑わせるように心がける」

人だった。

その担任に教わった2年間は

とても面白くって楽しくって充実していたし

クラスの子どもたちは、先生を慕うだけでなく尊敬もしていた。

笑わせることが重要だとは今の今まで思っていなかったけれど

やっぱり、笑って空気を和ませる大切なものかもしれない。

今日も人と知り合う機会があり、その方がユーモアあり毒舌あり気遣いあり

と、なかなか面白い人だったもので、

ついそんなことを考えてしまった。



## 2008.07.06 Sun SLASH BRASS!!

---

「あ〜、今日も間に合わないだろうなあ」  
あと少し早く出ればよかったと悔やみながら  
自転車を走らせ、ライブハウスに着くと  
ちょうど1曲目が始まる所だった、ラッキー！

管楽器がメインの「SLASH BRASS!!」のライブ。  
椅子がびっしりと並べられ、ほぼ満席。  
邪魔にならないように後ろの端の方で聴いていたが  
オープニングですぐに釘付けになった。  
いい意味でイメージと違う選曲、  
ホーンとベースが交互に入る所もカッコイー！

2ndステージからはゴスペル仲間のJさんが夫婦に来て  
じっくり聴きいった。

2008.07.07 Mon し

---

2枚きっぷの有効期限が今日までだったので  
平日だけど福岡に遊びに行ってきました。  
一風堂のラーメンおいしかった〜♪  
博多駅から福岡空港までは歩きました。  
歩けないキョリじゃなかったけど、  
歩くための道が整備されていないので  
歩くことはおススメしません。

**2008.07.08 Tue 兄**

---

先週末は兄が久しぶりに関東から帰ってきて  
母に手伝いを頼まれていました。  
リビングとバスルームに網戸を取り付けてくれて  
とても助かりました。

ひよんなことから、

あの「ぶるぶるマシン」に匹敵する新しいエクササイズを編み出した！

それは、インスタントコーヒーのビンを洗っていたときのこと。

水を入れたビンの口に手を当て、ビンを横にして振って洗っていると・・・

「ぶるぶる、ぶるぶる・・・」あら？なんだかこの動作、腰に効くかも！

それから数分の間、調子を上げて

リズムカルにぶるぶるやっていたのは言うまでもない。

¥0でできる、家でできる、いつでもやめられる・・・いいコト尽くし。

ぜひお試しあれ。

小学校時代からの友人Kが  
最近ピラティスなるものを習い始めた。  
ピラティスの先生になるためのコースで  
さっぱりうまくいかないから  
わたしに練習台になってほしいとメールが。

さっそく家でレッスンを受けることに。  
ピラティスとはドイツで生まれニューヨークにわたって広まった・・・  
などと基礎知識を教えてもらい、次のステップは呼吸法。

胸式ラテラル呼吸？という呼吸法で  
これがなかなかむずかしい。  
息を吸い込み、あばら骨の辺りが膨らむ・・・  
はずなのだが・・・  
「かほ、肩に力はいりすぎやん！」  
とダメ出しと、なぜか笑いがとまらない友人K。  
それを見て、つられて笑うわたし・・・。

生徒も先生も要特訓だな～。

## 2008.07.11 Fri 貯金宣言

---

出会いは4～5年ほど前。

ふと流れたBGMからパンの音が聞こえたとき、妙に気になっていた。

それからスティールパンという楽器があることを知った。

パンCDを買い、パンライブに行き…

パンへの思いは募るばかり。

そして先月、横浜のSteelpan Garageでパンに触れて

いつか自分のお金でこの楽器を買おうと決めた。

無駄遣いを改めてコツコツと「500円貯金」しております。

久々の合唱。

楽器の用意、ウォーミングアップ、発声練習、連絡、掃除・・・

一人ひとりが何かしらの担当を受け持ち

これまでとは比べ物にならないほど楽になったし

グループの雰囲気もよくなっている。

みんなの、みんなによる、みんなのための合唱が

実現しようとしている。

2008.07.16 Wed 広島風

---

県警の隣にあるお好み焼き屋さんは  
ボリュームたっぷり、サービスも良いので気に入っている。



プチSAKEスクールという佐賀県の酒造組合が企画・運営する日本酒の勉強会に足を運んでいる。今日は全3回のうちの2回目。会場は佐賀市内の焼き鳥屋さん（前は居酒屋さん）女性を対象にした企画で、毎回20人ほど集まる。私たちはもう7期生だそうだ。日本酒の製造工程や種類、飲み方のポイントなど県内各地のいろいろな蔵元が来て教えてくださる。友達Kに誘われて参加したけれど、すごく興味深く知識がどんどん広がるのが面白い。でもそれ以上に熱心な方もいて、質問も次々に飛び出すから感心する。講義のあとは・・・蔵元を交えての飲み会。美味しいお酒と料理に舌鼓を打ちながら、蔵元に質問をぶついたり意見をぶついたり・・・ついついヒートアップしすぎる生徒もいて蔵元もたじたじ・・・の場面も。みんな年齢も職業もばらばら。でもすぐに打ち解けられ、なかなか楽しい場である。今日は向かいに座った人が上司の妹さんであることが判明し驚いた。一緒に参加したKは、こないだよりペースが速いなと思ったら案の定、飲みすぎてた。

今日もコンサートを聴きに、浪漫座へ。  
月に一度のお楽しみ、ツインマーマンの夢。  
ずっと聴けずにいたMihoさんの演奏があると聞いていたので  
今日こそは聞き逃すか！との思いで行った。

スタッフさんからお客さんまで顔見知りの人が多く、  
なんだかいつも同窓会のような気がしている。  
Mihoさんの弾き語りには、まずピアノが生き生きとして印象的。  
どの曲も、Mihoさんの思いが伝わってくるようで  
表現するという事にひたむきさを感じた。

そして、本村さんの作った映画の上映。  
Sさんの初めての演技、たっぷり見させてもらった～。  
道路拡張で取り壊されていく本庄小学校に集まる4人の卒業生・・・  
物語だけどドキュメンタリーのような、迫力ある映像もあって  
思わず見入ってしまった。

次に弓削田健介君の弾き語り。  
誰にでも親しまれる童謡を書きたいと思ってるゆげちゃんは  
「う～み～はひろい～な、おおき～な～」と  
ステキなアレンジでピアノ弾き語りをしてくれた。  
シンプル、だけど改めていい曲だなあと思うと同時に  
ゆげちゃんのやりたいことが痛いほどよく分かる気がした。

そして、コーロ・カンフォーラが  
「お気に入りの場所」を歌った。  
曇りのない澄んだハーモニーが心の中に溶け込んでいく。  
そこらへんの合唱曲ではこんなに感動することはないのに・・・

「自分の家をデザインしてそこに住むことが夢です」  
小学生の頃はそんなことを思ってた時期もあったっけ。  
自分でチラシの裏の白い紙に間取り図を書いて  
2Dの空間で遊ぶことが好きだった。

そんな夢もそのうち忘れてしまっていたけど  
今日は、仕事でモデルハウスの見学に行き  
久しぶりに小さい頃を思い出した。

まだ家具も何もない建て終えたばかりの家だったけど  
木の感触とか、新しい畳の匂いとか  
本棚の後ろにウォークインクローゼットが隠されていたり  
地下室収納や屋根裏部屋があったり、と  
家の中を見て回るのが楽しくて隅々まで探検した。  
3Dってところが昔とは違う。

いつからか自分の持ち物が増えすぎて  
家そのものへの興味が薄れてしまったようだけど  
ちょっと整理して空想の世界に逆戻りしてみたい。

## 2008.07.23 Wed 集中力

---

昨日見たモデルハウスのパンフレット作り。  
コピーやラフをせっせとおこした。  
夕方あたりからどどっと集中力がわいてくる。

(遅い！！)

すぐに集中モードに切り替えられるようにならなければ  
仕事のプロとは言えない。

2008.07.26 Sat てらおん

---

八重山モンキーのよしとさんがオーストラリアから帰ってきた！

ということで、てらおんに出演。

日本語が通じるのがうれしい、と感慨深そうだった。

オーストラリアでの話もいちいち面白かった。

苦労しながらも楽しんでたんだらうな～。

オーストラリアから友達をつれてきていた（イタリア人）

今日はよしとさんの歌が特に心に響いた日。

ななちゃんたちも、てらおん・銀天夜市・・・とでずっぱりで

でも一生懸命に歌ってた。

久々のらんらの歌声も心地よかったなあ。

ゆかたのKさんと暑い中ラーメンを食べて帰った。

新規オープンしたばかりのお店。

おいしかった！！

今いるわたしの部屋は、夏暑く、冬寒い。  
鉄筋のせいか、外の気温をそのまま家に反映してしまう感じ。  
床もベッドも壁も、熱を帯びててあつ〜い！！

それでもクーラーは使っていない。  
20年は経つ古い機械だから、電気代が怖いのと  
クーラーのある空間は、あまりにも外の気候となじまない気がして。

そんなわたしに母が買ってくれた扇風機。  
組み立てて電源を入れてみた。そよそよ〜。  
風があるのとないのでは、だいぶ違うなあ。

この夏、大の仲良しになりそうである。  
扇風機の電気代ってどれほどになるんだろう??

あまり服を買わないわたしが  
一目ぼれして買った麻綿の白いパンツとスカート。  
麻と綿がそれぞれ50%ずつで  
履いてみると、軽くてザラザラ感がとても気持ちい〜。

そして何より涼しい！！！！

この夏はきっとフル稼働♪

## 2008.07.30 Wed チラシ作り

---

いけっちの依頼で、「アクアの癒しの空間」というイベントのチラシを作った。

9月5日（金）県庁ホールに

まちおんでおなじみのシゲルさん（現在は東京在住）がやってくるらし～！

折り紙師範の作品展示や詩の展示もあるらし～！

平日だけど・・・お時間ある方は足を運んでみては♪

シゲルさんの歌声は、昼下がりのカフェテラスにいるような

心地よい気分になさしてくれます。





2008.07.31 Thu レンコン

---

なんとすごい植物なのだろう  
食べてもおいしいレンコン  
天ぷらやキンピラはもちろん、  
サラダ、肉詰め、煮物などに  
引っ張りだこ！！  
スイレンも凜とした美しさがあり、好きだ。

2008.08.01 Fri 塩味

---

逃げ場がない

2008.08.02 Sat JUSCOで

---

歌う

2008.08.03 Sun 花火

---

クルマから花火鑑賞

びっくりドンキーにハンバーグを食べに行ったら、  
テーブルの隅にエコの取り組みについて書かれたPOPが置いてある。  
その名も「明日に架ける箸」。

あの有名な洋楽から言葉を借りてきたのかな？  
思わずお椀に架け渡した箸を想像してしまうけど…

“明日”に架ける箸なのよね。  
このハンバーグ屋さんでは、  
お箸を2度洗って衛生的にリユースしているらしい。

ごみがどんどん増える中、こういう取り組みって大事。

割り箸撤廃に関しては、間伐材を箸として利用するのは  
環境に良いという意見もあり、賛否両論だというけれど…

でも、わたしは本当に環境にいいことって  
なるべく「自然のまま」でいることではないかな。  
と思う。

草木はあるべき場所に生えたままで  
魚や動物もあるべき場所で生きること。  
生きるのに必要な分だけ採集・捕獲しつづけていれば  
今のような大きな環境問題にはならなかったと思う。

新しい技術で温暖化を阻止しようとするより  
暑ければ扇風機やプールに行ったりカキ氷食べたり  
一つ昔の手法で暑さ対策を試みよう。  
少し不便かもしれないけど。

## 2008.08.08 Fri オリンピック開幕

---

開会式は見たいと思いつつ

外出してしまい

結局見れずじまい。

家でテレビ見てる人が多いかなと思ったけど

意外と外で過ごしている人多かった。

2008.08.09 Sat ティーンズミュージカル

---

「風の曜日」を見た。



2008.08.10 Sun 出会い

---

今日も新たにメンバーが二人入ってきた。  
事前に話を聞いていたので、  
どんな人なのだろうと楽しみにしていた。  
人との出会いはいつでもわくわくする。  
そしてちょっとドキドキする。

どんな出会いもこんな好奇心がずっと続けばいい。  
自分次第で続くはずなのに、  
「慣れる」ということは時に見失うことも多く  
愚かなことかもしれない。

2008.08.11 Mon あの時

---

疑問を持ったことをすぐに伝えていれば。  
一滴も漏れがないように調べていれば。  
知識がもっと身につけていれば。

悔やんでももう遅い。

たいしたことではないけれど  
悔しい出来事だった。

## 2008.08.12 Tue TRI VOICES

---

3人の女性ボーカルがJAZZを歌うライブ。

これは行かない手はないと思い

仕事を早く片付けて、急ぎ向かった。

当たりだった！！

## 2008.08.13 Wed 心に浮かんだこと

---

「修正してください。なるべく早く上げてください。」

「はい。分かりました。月曜の午前中には上げます。」

一つの広告を作るときにいつも行われてるやりとり。

しかし...同じ広告で何度もこのやり取りをしているうちに

疑問がわいてきた。

できたものを見ながら、そのつど新たな修正を加えてくる。

もう三回目だ。

これが一度で済んだなら、作業するほうもラクなのに。

なぜ、そういうやり方をしないのか。

仕事は抜かりなく。そして全力を出すこと。

でも...

疑問を持つ姿勢も忘れないようにしよう。

お花を買って父と祖父母のお墓へ。  
今日も真夏日だ。  
からからに乾ききったお墓を念入りに濡れタオルで拭いた。  
けど、それだけじゃまだ父たちは暑そうで  
お墓のてっぺんから水をかけた。  
母が「お墓の中は暑いでしょうね」と言った。

母が持ってきた「お墓セット」。  
短いお線香が何本も用意してある。  
「おばあちゃんはこういうかわいいのが大好きだったからね」  
母が言った。  
小さなロウソクに火をつけた。  
風がけっこう強く、ロウソクの火はすぐに消えてしまう。  
お線香へと火をうつすのに苦労した。  
暑いからって邪魔してんのかな…？

花を生けかえ、最後に手を合わせた。  
母が「みんな早いね」とつぶやいた。

もう二度と会うことはできないけれど  
生前とは違った形でのコミュニケーションができています。  
なんだか新しい関係を築いているような  
不思議な気持ちになる。

シャガールの青。  
いつからかその色の独特な存在感のとりこに。

今日は電車に乗ってはるばる熊本まで。  
その青に会うために。

(やっぱり、この青はグラフィックでは出せない深みのある色だなあ)  
と思いながらも、なぜか記憶している青とは違うもののように思えた。

自分の中での感覚が変わってきたのか、  
追い求めているものに出会えなかつただけなのか。

代わりに、と言っては変だが  
『死せる魂』  
ゴゴリーというロシアの作家が書いた物語に  
シャガールが挿絵をつけたものが面白いと思った。

並んだ数々の挿絵にある登場人物の滑稽なしぐさや表情には  
それぞれの感情や時代背景まで見えるような気がして  
物語を読みたい気持ちにかられた。

ヴィテブスクという故郷に戻った際に描いた  
床屋の叔父さんの絵も好きだった。  
荒んだ時代の中にも温かさを感じる作品。

展覧会の解説ビデオで画商？の女性が言った。  
「シャガールの絵は客が見ようとするものではなく  
絵がそれを求めている人のところまでやってくるのだ」  
と。

確かに、自分にとって特別な絵は、目をつぶってもなお  
目の奥に迫ってくるものだ、と思う。

「幻想的」「空想的」な絵といわれることを  
シャガール本人は嫌っていたらしい。

「リアルなものしか描いていない」からという。

とすると、街の上に浮かぶ恋人たちも、  
空に横たわる女性の裸体も  
心情を持つような目をもつ馬も、  
シャガールにはリアルな世界だった???

キャンバスに向かうシャガールの気持ちを  
イメージしてみるのもまた面白い。

ゴスペルを通じて知り合い

ちょくちょくライブを見に来てくれるKさん。

今日は初めて一緒に食事をした。

もうすぐ1歳になるKさんの赤ちゃんはとっても音楽好き。

産まれる1週間前までライブに行ってたそうで

お腹の中にいたときから、音楽が流れるとはしゃぐはしゃぐ！

こないだのゴスペルライブでも大喜びだったと

嬉しそうに話してくれた。

出てきたハンバーグラunchを「おいしそ～」と言ったら

店員さんが「おいしいですよ～」と自信たっぷりに返したり

なんだかそんなやり取りが自然で心地いいな、

と思える人である。



2008.08.17 Sun カキキューカオワリ

---

夏期休暇・最後の日。

散らばってたMDにインデックスつけて整とんしたり  
大衆演劇を観に行こうとしたり  
実家から戻ってきたAを迎えに行ったり  
そんなこんなで一日が終わった。

宿題、全然できなかった（やらなかった）。

母の眼の手術。

本人は見えるようになったことを何よりも喜んでいるが...

目にメスを入れるなど、考えただけでも恐ろしい...

ド近眼のわたしは、コンタクトときどきメガネ。

こないだ眼科で「目に少し傷がついてますね～」と言われたので気になっている。

コンタクトつけたまま眠らないように。

1日8時間以上はつけないように。

軽視しがちだけどちゃんと守ろう。

**2008.08.22 Fri 良毒**

---

なんだかんだで40時間くらい起きっぱなしだった。  
お酒も飲んでないのに風呂に入りながら意識が朦朧とする。  
人間眠らないとこうなるのかあという感覚を味わった。

普段眠りすぎのわたしにとっては  
よい毒だったのかも……。

2008.08.23 Sat 赤とんぼ

---

今度、ゴスペルのメンバーが働く福祉施設で歌わせてもらうことになった。

おじいさん、おばあさんが多いので

少しでもなじみのある曲を入れようと「赤とんぼ」

(ゴスペルバージョン)もチョイス。

出だし全員で歌うところがイマイチ揃わないので

急遽ソロで行くことになったが、誰か歌う人〜と声がかかっても

みな奥ゆかしく遠慮？する。

そこで、TちゃんからSさん、当の施設で働いてるMさん

それぞれに歌ってもらい、

事態は「ミニオーディション」の様相に。

ただ聞いていただけだったが、

「赤とんぼ」ひとつでも、それぞれの歌い方があり

一人ひとりの声がじんわりと心に染みて、不覚にも涙が出てきた。

歌ったメンバーたちも、それを提案したIさんも、みんな良いものをもっている。

あと5〜6年経ったら先生が還暦になるから

その時は赤いローブ（ゴスペル服）をプレゼントしようね、と

冗談で言ってたのだが、ホントにいつまでも続いてほしい

グループだなと思う。

夕方は会社の同期の結婚式二次会に参加し、

夜は兄と小城のアマチュア音楽祭に。

花火大会の時には母も揃って

なんだか夏休みみたいで楽しかった。

2008.08.24 Sun 一人では

---

一人の偉業より

みんなで知恵や力を出し合って暮らせば・・・

楽しし楽しい。きっと。

そういう意味で家族ってよいなあと思う。

ありがたいなあと思う。

単身赴任のNさんとそんな話をしたら

Nさんの家族への気持ちはもっと強いことがわかった。

2008.08.25 Mon テレビに釘づけ

---

一語一語、言葉を選びながらしゃべる姿は  
ともすればもどかしさを覚えるかもしれない。  
でも、不思議な魅力を感じた。

2008.08.26 Tue 家族団らん

---

兄が帰ってきて1週間くらいになるけど  
やっと、家族全員でそろってご飯を食べた。  
さんまの塩焼きおいしくいただいた♪

日々、ずっと一緒にいたら見えてくる  
良いところも悪いところも  
この人のこういうところはいやだな～  
こういうところはステキだな～  
そんな気持ちが隣り合わせ  
人付き合いってそんなものだと思う

最近はずい人の批判ばかりしてしまうが  
あえてプラスの面だけを取り上げた

すべて自分の気持ちを伝えるには  
足りないような...?  
けれど、それでいいのだ。



## 2008.08.30 Sat This Little Light of Mine

---

自分の中にある小さな光  
希望を捨てないで  
その小さな光を輝かせようよ！

ゴスペルの代表的な曲

それほど思い入れはなかったけれど、  
長い時代を生き抜いてきたたくさんの方々を前にして  
この歌を歌ったときに  
人生最後の最後まで希望の光を灯していてほしい  
と祈るような気持ちだった

どんなことだっていい  
自分が少しでも好きだと思えるもの、得意なもの  
興味がわくもの、打ち込めるもの  
ある一筋の光を大事にして、育てていくこと

それが生きている意味にもつながる

そして、鹿児島にいる祖父母についても  
真剣に考えた

## 2008.08.31 Sun 夏の終わりのビッグバンド

---

県内のビッグバンドがエスプラッツに集結。  
ほぼ満員で大盛況だった。

2008.09.02 Tue 再会

---

あれは幻か...

もう何年も会ってない人と  
再会したような気がする。

狭い佐賀にいても  
今まで会うことがなかったのに。

しかしやっぱり少し違うような気がして  
不確かだ。

奇妙な顔に殴られ顔、パンパンに膨れた身体...  
中谷美紀は沙粧妙子以来、あこがれの存在だったのに...

主人公なのに、出てきたときには殺されている、という  
これ以上ないひどい役を演じていた。  
救いのない人生にやるせなさを感じた。

ひどい場面ばかりだったが  
ミュージカル仕立てで派手に演出してる  
これぞ甘辛ミックス？

2008.09.05 Fri へとへと

---

32歳を目前にして  
体力の衰えを感じている

ほんの少しの余力で  
待ち合わせのお店に足を運んだら  
新メニューのシシリアンライスで笑顔に。

そして  
佐賀でとれた？というリンゴに癒された。

お昼にラーメン屋さんへ。  
家から歩いて1分程度の所にあるのだが  
なかなか行かない。

今日久しぶりに行ったら  
近所で働いている方だろう団体さまが  
おしゃべりに夢中で、  
他に単独のお客さんが2人ほどカウンターで  
静かにご飯を食べていた。

ここは地元客にしかほとんど知られていないが  
久々に行ったら、なぜかすごくおいしい。  
あっさりやさしい味で、塩の強いチャーシューが  
よいアクセントのように思えた。

周りを見渡すと、何しろ子供のころからあるので  
古い様相の店内だけど、どこもかしこも  
ピカピカに磨いてあることに気づいた。  
厨房のステンレスの部分や壁も、まるで新築のように  
曇りない。

ある別の食堂では、食べるスペースの頭上に  
大きなクモの巣がかかっているのに、放置されてた^^;  
わたし自身、全然デリケートではないけど  
やっぱり食べる場所が清潔だと気持ちいいものだ。  
見習わなければ。

自分の生き立ち

クソマジメに

「何歳の時はどんな子どもで・・・」

と延々と聞かされたって

面白いとはなかなか思えない

やはり人の前に立つ時って

「遊び」が大事だなと

つくづく感じた

人のフリみてわがフリ直そ

そして「遊び」とはなんだ？

カレーを愛してやまない。  
カレーと名のつくものなら大体好きだ。  
カレーライス、カレーラーメン、グリーンカレー...  
一人暮らしのころは、カレールーを使わずカレー粉で  
好みの味に仕上げるのも好きだった。

昨日は、宴会のコース料理の最後に小さなカレーが出てきた。  
(たとえば、佐賀の人ならどこの店かだいたい想像つくだろうけど)

おいしくて、このカレーだけで宴会でもいいくらいだ。  
とひそかに思った。

でも、この小さなカレーが余計にカレーへのハートを熱く  
することに。。。

会議しながらカレーのことばかり考え、  
終わると迷わずカレー屋さんに直行するという  
まるで絵に描いたようなカレー現象が起こったのだった。



**2008.09.10 Wed 出発**

---

今までに会ったことないタイプの人と  
新しい仕事  
さて、どうなるのでしょうか！？

2008.09.11 Thu ガリリ

---

今日のランチでオムライスを食べていたら、  
中から、なんと卵のカラが生まれてきた！  
5ミリくらいなの。

(逆だろ～～～)

ここで言うべきか言わざるべきか…  
ずいぶん迷ったが、  
お世話になってる方でもあったので  
そっと紙に包んでしまった。

あなたならどうしますか？

佐賀にいて普通にお仕事してる人に向かって

「モデルになってくれませんか？」

と言うことにもいくぶん慣れてきた。

なんて厚かましいことをやってるんだろうなと思う。

でも、受けた人はとりあえず話を聞いてくれて

力になろうという方向で一生懸命考えてくれる。

世の中にはやさしい人がなんと多いのだろう。

ほとんど接点もなかった人に頼む場合がほとんどだけど

いろいろ話をしていくうちに、

知らなかったその人の姿が見えてくる。

迷惑をかけながらもそこに何かしらの意味があることが

唯一の救い

2008.09.14 Sun 気持ちよいこと

---

ほどよい緊張感とゆったりした気持ち  
歌を歌うにはこんな状態が一番いいと思う

新しい試みをやっているという楽しさと  
名曲の面白さもあいまって  
歌える喜びに浸ったひととき

夜はプールで泳いだり、  
たまにぷかぷか浮かんだり  
水の抵抗を感じながら歩いたり。

2008.09.15 Mon 撮影

---

お昼から夜まで撮影の立会い

あちこち奔走しながらも順調に進んでいる（はずだった）

もっと周囲に気を配れるようにならないとな...

夜は、ビバレオのLIVEにすべり込みセーフ。

今週の占いには確か...

「どんな仕事も順調に運ぶ」と書いてあった。

でも、台風は近づいているわ、人探しも一から、と  
どの仕事もうまく進まない！！

本気で信じてるわけではないけど

ここまでトラブル続きだとなんだか笑えてくる...

波乱はあっても、良い方向へ向かってるのだと信じよう。

そんなこんなで朝4時業務終了。

CM撮影で鹿島へ。

雨も降ったが外での撮影のときはぴたりと止んだ。

行く先々で親切に対応してもらい  
スケジュール通りに順調に進んだ。

撮影隊のクルマは何度も止まったけれど...

バッテリー切れか、何かの故障か？

通りすがりの人にブースターケーブル  
つないでもらいエンジンかかってはいたものの・・・  
とうとう動かなくなってしまった。

幸いにも次の撮影地は車検の工場！！！！

無理を承知でけん引してもらい  
難を逃れた。

運がいいのか、悪いのか、不思議な一日だった。

入社以来のショッキングな出来事もこの日起こった。

2008.09.18 Thu 押しかけ

---

たった3人での撮影行脚は無事2日間で終わり  
あとはうまく編集してくれることを祈るのみ...

夜、久々にうちでご飯を食べ、それから  
向かいの席のHさんの家にお邪魔した。  
目の前でいつもバタバタと慌しいわたしを  
そっと見守ってくれている女性。

こちらの頼みごとにも嫌な顔せず引き受けてくれ  
大らかだけど、きちんと自分の目で物事を見ている。  
ちょっと理想のタイプだ。

そんなHさんも、より必要とされる職場が見つかり  
今月末で会社を去る。さびしいなあ。



2008.09.19 Fri 仮定

---

今週、なんだかいろんな出来事や感情の動きがあってどっと疲れが出た。

金曜日の朝はいつも

「今日一日がんばれば休みだぞ〜！」と

自分を奮い立たせるんだけど

今日ばかりは、それでは充電が切れてしまいそうだったので

「土曜日まで仕事があると仮定」し

気持ちに遊びをもたせて乗り切った。

そんな自分がちょっといやだった。

## 2008.09.20 Sat Xmas Song

---

異様に暑い日。

そんな中でも歌う歌はクリスマスソング。

もくもくと練習をしているけれど

この気候の中でクリスマス気分と言っても

ちょっと無理があるな...

## 2008.09.21 Sun Jammin Zeb

---

Jammin Zebのコーラスにはまり中。

2ndアルバムはタワレコで、1stはハードオフで発見！

これほどハーモニーのバランスがいいグループは  
日本ではなかなかいないのでは？

外国ではAll 4 Oneも改めてすばらしいと思う。

2008.09.22 Mon 進言

---

思いどおりに行かないことが多くて  
心が穏やかになれない日

おかしいと思うことを  
あらわしたなら  
またそれが新たな火種を生む

どろどろした謙虚さよりも  
正しいことを伝えたい

人間どうし話せば分かる？  
でも立場がじゃまをしている

**2008.09.23 Tue 感謝**

---

よいものを作ろうとしてくれるスタッフに感謝

一日中、連れまわしても笑顔でこたえてくれる  
主役の2人に感謝

**2008.09.24 Wed きずな**

---

湯川れい子さんの講演会へ

「きずな」を歌わせていただいた。

湯川さんとコスモス画家・荒井幸史さんが作られた  
絵はがきには素敵な言葉が書いてあり

日常の次元とは違う世界に引き込まれた。

## 2008.09.25 Thu Little Jive Boys

---

佐賀のフロンティアでこないだライブをしたウクレレ弾きの藤井康一さんに  
ピアノのライオン・メリーさんとベースの恵福浩司さんが来佐。

藤井さんは歌も歌えばサクソも吹く。

恵福さんは最高のベースと「ボンボンボン♪」と口ベースの披露

ついにはウッドベースの重量挙げまで...!

(これがそんなに有名とは知らなかった)

ライオン・メリーさんはポーカフェイスでピアノやアコーディオンを

弾くかと思えば、チャンポンダマンボでは陽気に（妖気に？）踊っていた

ホントに何でもやるノンジャンルの集団だった。

楽しかった～ななちゃんありがとう！

2008.09.27 Sat 赤ちゃん

---

ゴスペルの先生のお孫さんが里帰り  
1歳と1カ月の男の子だ。

もう文句なしにかわいい！！  
携帯とかラジカセとか機械を見ると  
興味を持っていじろうとする。

メンバーのグッチの財布も  
開けたり、閉めたり  
離そうとせず...

何をするにも立てひざで遊んでいたのが  
すごくかわいくて癒された。



久留米市北野町コスモスパークにて撮影

5分咲き

しかもまだ満開ではないのに枯れてるコスモスがなくて

撮影には場所を選んだ

コスモスって咲くとどれくらいで枯れるんだろう？

モデルさんの到着が遅れると分かったとき

雨降りそう！その前に暗くなっちゃう！と心配して

不安な時間を過ごした

撮影を始められたのは4時過ぎだったかな

でも和やかな雰囲気でも撮影できて

これですべてのロケ・撮影は終了。

「パーっと打ち上げ行こか！」

明るいカメラマンのIさんが冗談で言ったけれど

まだまだ続くよ編集は～ってことで

お預け。

モデルさんと二人の帰り道、みやき町のケーキ屋さんで

がんばったごほうびにケーキ買ってあげて

和風のシュークリーム？みたいなのを

食べながら帰った。

おいしかった！

2008.09.29 Mon 憂うつ

---

ちょっと憂うつな気持ちで会社に行った。  
先週金曜の飲み会にいた人の反応は...と考えると....

まずは、新人さんが入社してわたしの前に座った  
わたしの方を見て、いたずらっぽく「ニヤリ」と笑った。。。。

けれど、「テンション高かったですね～」 「楽しかったですよ～」  
ひいてる素ぶりはなく、少しホッとした。

「歌うたってましたよね、なんだっけ矢野...じゅんこ？」

！！！！思い出した。  
こないだ酔っ払ったときに歌った歌を。

矢野顕子の「ラーメン食べたい」を  
声色変えて歌っていたのだった。

歌わされていたのではなく、たぶん自分で選んだのだ。

そろそろ2009年のカレンダーやスケジュール帳が  
お店に出される季節。

文具店のそばを通りかかって

何気なしにスケジュール帳を手にとって見てみると

「日曜始まり」のものが全くない！！

カレンダーは日曜から始まるものが多いから

手帳も日曜からの方が断然使い勝手がいいよな～という

ひそかなこだわりがある

ほとんどの手帳を見たけどカレンダー一部分も日記部分も

「月曜始まり」のものばかり。

手帳メーカーで統一されたのかな？

たしか本屋さんとかにある「高橋手帳」は

わざわざ「日曜始まり」のものも取り扱ってたと思うけど...

選択肢はそれだけなの～??

2008.10.01 Wed ハリコレ

---

CMの仕事をしていながら知りませんでした  
「ハリコレ」のCM。

ハリコレに模してモデルさんが  
次々と歩いてきて  
ハリコレという湿布を見せポーズとる

最初はホントにファッションショーかと思  
ってしまった（笑）

一度見ただけですごくインパクトがある！  
これがCMなんだなあ

商品名よりCMプランの方が先にできたのだろうか？

2008.10.02 Thu 焼肉

---

家族3人で近所の焼肉屋さんへ。  
兄の誕生日祝い（9月末）をした。

9月は兄妹二人の誕生日だけど  
どちらの誕生日も家族でいるなんて  
きっと20年近くもなかったこと

おいしい焼肉を食べながらも  
兄にもいい人が現れれば...と願っていた

・・・こんな兄でもいいという奇特な人が  
現れないかのう～

**2008.10.05 Sun 雨でも晴れ**

---

朝から夕方まで歌の練習。

夜も18日の本番に向けて合唱の練習。

終わった後はメンバーで

お魚がおいしい牛津のお店にご飯を食べに行き

いろんなことを話しながら

とても幸せな気分が一日が終わった。

2008.10.07 Tue カルボナーラ

---

一人暮らししてた頃から  
ブロックベーコンでカルボナーラを作るのが好きだ。  
ほかに生クリームと卵があれば簡単にできる。  
(昔は牛乳で作っていた)

最近、カルボナーラを作るのはわたしの役目になってきた。  
400gのパスタをゆで、3人分のカルボナーラを作った。  
パスタの大きな皿に山盛り！母と兄はわたし以上によく食べる。

そのほかに母はピーマンやナスの天ぷらを揚げ食卓に出した。  
カルボナーラと天ぷら...相当ヘビーなメニューだ。

メタボに気をつけなければ！

夕方営業さんから会社宛に電話がかかり  
「伊万里から帰るところなんだけど  
伊万里梨がいくつも入って500円！買う？」  
とのこと。

おうちへのお土産にいいなと思って  
先輩と1袋ずつ頼んだ。  
帰ってきたら大きな梨がなんと7個も入っていた。  
会社の女性4人が頼んだらしいけど  
車まで取りに来てと言ってた訳がわかったわ。  
30個ほどもいっぺんに運ぶのは無理だ（笑）

傷があるものの、食べるのには差し支えなさそう！  
お得な買い物をした～と喜んだ。

伊万里に同行した人の話でも  
「Iさん、得意げに買ってたよ」とのこと。  
その姿が目につかぶようで  
妙におかしかった。



2008.10.11 Sat おすすめ

---

大川の雑貨屋&家具屋さんに行き  
おいしいカレーを食べて  
昇開橋温泉に入って帰った。

露天風呂の目の前は海。  
すばらしいロケーションで  
(サッシで外はあまり見えないが)  
泉質もとてもマイルド、気に入った～♪

2008.10.12 Sun プロ

---

やっかいだった癖毛を、ストレートパーマで伸ばすのではなく  
カットの工夫で生かしてくれる

素晴らしい美容師さんに出会って5年。

中学の先輩で親近感もわきずっと通い続けている。

最近は3か月に1回のペースになってしまったけど...

今日は、その美容師さんから「髪質変わった？」と  
言われた。

実は2週間くらい前からシャンプーを変えたばかり。

大好きなローズマリーオイルが入った

石けんシャンプーを使っていて、

前より広がらなくなったという話をした。

ちょっとした変化にも気づいてくれるところが  
さすがプロ！と感心した。

生まれて初めてホーミーを聴いた。

1人で2声出す発声法で歌う...

頭蓋骨に響かせて...!?

キツネにつままれたような気持ちで聴いていたが

なんとなくモンゴルの大草原を馬が走っている

情景が浮かんでくるようだった

5組で5時間に渡るライブ

個性のある出演者ばかりだったな★

## 2008.10.14 Tue Sing Harlem Sing!

---

心に届く歌、とはこういう歌を言うのだろう  
体いっぱい使って、高らかに歌い上げ  
ステージと会場が一つになる  
もう、最初から興奮しっぱなしだった  
音楽の素晴らしさを再確認。  
特にゴスペルという音楽を築いてきた黒人たちに  
敬意を感じずにはいられなかった。  
そして  
彼らを向かわせた“Jesus”という絶大な存在に対して  
改めてその力のすごさを感じた。

**2008.10.15 Wed** こんな風にして終わるもの

---

「通達」が来た。  
というより確かめた。  
予想していたこととはいえ...  
ショックだった。

2008.10.16 Thu 覚悟

---

くよくよ考えていたこの数日間だったけど  
覚悟はできた。

2008.10.17 Fri フィラー

---

フィラー (filler)

=詰め物、埋め物、満たす者  
だそうだ。

お天気フィラーの撮影。

天気予報のバックで流れる映像だから  
CMと違ってゆったりとしたイメージを描いて...

まだ1から10までわかっているわけではないけど  
右も左もわからなかった頃に比べれば  
少しずつ成長している (はず)

思えば、見よう見まねでやってきたなあ。  
有能な上司や先輩がそばについて、  
段取りを教えてもらったことなどない。  
この仕事に就く人はみんなこういうものなのだろうか。

教えてもらうことと、自ら教わりに行くことが  
必要だったと

今更ながら考えた。

## 2008.10.18 Sat 合唱コンクール

---

「まちおん合唱団」改め「合唱団そら」が  
九州の歌声祭典という合唱コンクールに出場。  
佐賀市文化会館の中ホールという大舞台で歌うには  
まだまだのレベルだけど  
よい経験になったかな、と思う。



## 2008.10.19 Sun 掃除その他

---

朝、8時前に起き、町内の川掃除。

それから張り切って部屋掃除。

いらない雑誌やチラシ類をまとめた。

その間にもついつい昔の雑誌なんかを読んじゃうから

たいへんスローペースな掃除だった。

それでも、昼寝しながら一日ゆっくり過ごせた。

こんな日もまたHAPPY。

2008.10.20 Mon 訃報

---

一昨日、先生のお義父さんが亡くなりました。

91歳だったそう。

早くにご両親を亡くされた先生にとって

きっと大切な存在だったに違いない。

ご冥福をお祈りします。

2008.10.21 Tue 尊敬

---

担当している番組の制作会議で  
いつもクライアントから感想をいただくのだが  
担当者が不在のときでも  
別の社員の方が、しっかりとしたコメントをくださる。

そのコメントがいつもの的を射ており  
参考にするところがたくさん。  
よい人材が揃っているところもすごいと思うし  
クライアントの能力や思いが  
ますますその企業を活性化させる、と  
肌で感じる一場面。

**2008.10.25 Sat 後退**

---

ソロ部分がうまく歌えない・・・  
長い間練習してるのに、最初の方がまだ  
まじに歌えていたような気がする

練習不足かな??

初心に戻って一からやり直そう。

二度繰り返す店名のお店は、美味しいところが多い??

「くすくす」

→朝食を買ったパン屋さん

いつ行っても駐車場には車があふれている。  
生地はもちりふわふわでおいしー。

焼きたてのパンが常に売り場に出ていて  
すぐに売れ、また次の新しいパンが焼きあがって  
出てくる、という理想的なシステム。

「たんたん」

→お昼ごはんを食べた中華料理屋さん

食欲をそそる香りが外まで漂ってくる  
お店に入ると、本格四川料理のメニューが豊富。  
中でも坦々麺が特におすすめ。  
半分はゴマなんじゃないかと思うほどゴマたっぷりのスープは  
くせになりそうなおいしさ。  
※辛いのが苦手な方はお控えください。  
連れのゆきさんが食べてた  
海鮮あんかけ焼きそば?も味見させてもらったけど  
思わず一口二口、と箸がすすんでしまった^^;  
これは辛くなかった。

おいしい中華を食べると元気になれる!

バッグに目がない母に付き合い

「ゆめぶら」してきた。

※ゆめタウン佐賀をぶらぶらすることの意、だそうだ

進藤晶子さんが手がけたというトートバッグを衝動買い。

たくさん物が入るしポケットもいっぱい付いてて丈夫！

・・・なのは分かるけど、

部屋の壁に飾られたカラフルなバッグたちも

外に出るのを待ってるよ～。

ま、高級ブランドバッグでないだけ、まだいいか。

**2008.10.28 Tue** おうちごはん

---

3人でおうちごはん。

小さい頃好きだった

「コーンのかき揚げ」が  
久々に食卓に登場した。

もうそろそろこたつの季節だなあ。

2008.10.30 Thu おふろ

---

久々にぽかぽか温泉へ。  
塩サウナでツルツル、キュッキュッ。  
塩をつけても、漬物のきゅうりのようにこすっては駄目。  
汗が出てきてからゆっくりともむのだ。

古くからの知り合いに会って  
小さな娘さん2人とも初対面。

ニコッと笑う姿が天使のほほえみのようで  
とっても愛らしく  
お風呂とともに、今日一日の疲れも洗い流してくれるようだった...  
子どもはやっぱりかわいいなあ。



2008.11.01 Sat 手帳

---

2009年の手帳は「奥野宣之」式にしよう！と  
漠然と考えていたものの  
スケジュール部分の切り貼りが面倒だなあと  
思っていた矢先、  
紀伊國屋書店でネコの手帳に一目ぼれ。  
しかも、日曜始まり。

即買いしてしまったけど  
奥野式のために買った100円手帳（しかも3冊で）を  
なんとか試したいと思っている。

## 2008.11.02 Sun ワークショップ

---

カンボジア支援のコンサート出演のため  
一般参加のクワイヤ（聖歌隊）が集まって  
1回目の練習。

10代から60を超える方まで  
老若男女問わず来ていただき  
ひたすらゴスペル2曲の譜読み・音取りをした。

短くて初歩的な曲が1つ  
長くてそこそこややこしい曲が1つ

でも2時間という限られた時間の中で  
どちらも声を合わせて通すことができたので  
びっくりしてホッとして希望が見えた。

本番は今月28日。  
歌ってる方はもちろん楽しいけれど  
お客様も楽しいと思えるステージに。

## 2008.11.03 Mon 佐賀の2大イベント

---

朝8時半にKさん姉妹に迎えに来てもらい  
唐津くんちへGO！

父方の祖母は唐津出身なので昔はよく行ったけど  
(おぼろげに覚えている)  
大人になってからは初めて。

たくさんのギャラリーの中でも  
気を緩めずに曳山をひいてる人たちには  
やっぱり見とれてしまう。  
2番曳山・青獅子は気合たっぷり、  
「勇壮」という言葉が似合うなあと思った。

酒蔵の社長さんは酒呑童子の先頭近い所でご活躍。  
たった一瞬見えただけなのに  
これまた真剣そのものな表情が印象に残った。

今回の祭り見物は  
大人4人に2歳の子ども1人という  
珍しい組み合わせだったけど  
朝から夕方までホントによく歩いた。  
Kさん、ありがとう。

帰りは小城駅で降ろしてもらい  
最終日のバルーンフェスタに向かった。  
特にお祭り好き、というわけではないけれど  
バルーンフェスタはなんだか特別な催し。  
毎年、一度は見ておきたいのだ。

カップルや家族連れがわんさかいる中、  
一人、夜間係留の見物は、少しさびしいものがあった...

2008.11.04 Tue ぴかぴか

---

良い曲を聴くと

胸の奥が「ぴかぴか」と点灯する

そんな曲を作ってくれた

ゆげちゃんに感謝

2008.11.05 Wed 背伸び

---

ハードルの高い会社だったけど

「えいっ」

と書類を送ったところからの返事。

第2ハードルは飛ばせてくれなかった。

## 2008.11.07 Fri 反省会

---

いろんな人の力が結集して完成した作品。  
最後にこんな仕事にめぐりあえたことに感謝。

出演。音楽。撮影。ナレーション。企画...

その仕事でそれぞれの役割を担った人たちが集まり  
打ち上げ&反省会だった。  
ちょっと時間が経ったけれど・・・

仕事の話はほとんどせず、楽しいひと時だった。  
心に残る言葉をいっぱいもらった。

SWINGの演奏もサイコーだった！

**2008.11.08 Sat GLORY DAY**

---

毎年恒例となりつつある

FLASHクリスマスコンサートのチラシづくり。

今年は高校性のTちゃんがデザインの素案を考えてくれたから  
やりやすかった。

Illustratorの8.0でせっせと作りました～。

パソコンの調子が悪い中、だましまし・・・

早くなんとかせねば。

土曜の夜は時間があるから  
チケットも一気に作ろう！

と意気込んでた昨日。  
YOU TUBEの動画探しにはまり込んで  
まったく作業をしなかった。

サイモンとガーファンクルの「明日に架ける橋」の  
ゴスペルバージョンを探していたら  
出てくる出てくる...

アメリカでは讃美歌として歌われているという。



2008.11.11 Tue ヨガ

---

とある場所でヨガを習い始めた。

岩盤浴の中でやる初心者向けの教室。

20分の3クールで休憩をはさんで計1時間ほど  
体を伸ばしていくのだけど、  
5分も動けば、もう汗が体から流れ落ちる。

ヨガは鼻呼吸。

先生の「吸ってえ～、吐いて～～～～～～」  
という独特の言い回しに合わせて呼吸を整える。

明らかに吐く方が長くて息がもたないのだが  
2回目の今日は、1回目よりも楽に吐けた。

訓練をつめば呼吸法マスターできるかも！

一緒に行ったR先生も

「合唱の発声に役に立つかも」と  
感激していた。

「健康診断だからさ～、昨日は飲まなかったよ」  
と話す会社の先輩。

「じゃ～、今日は身体の調子いいんじゃないですか??」  
と尋ねると

「いや・・・その逆でさ。  
我慢して飲まなかったからストレスたまるわ、イライラするわ・・・」

と訴えられた。

今日、健康診断明けの彼女は、喜々として出社。  
きっと一昨日の分も飲んですこぶる調子がいいのだろう。

でもお酒は、ほどほどにネ。

健康診断の結果が気になるここ数年。

CDショップに行って、商品を物色するとき  
まず試聴コーナーにどんなCDが入ってるか見てみる

ヘッドホンに手が伸びそうな作品って少ない。  
よく名前は聞くけどノリがいいだけの音楽も受け付けないし  
アイドル系ももちろん興味はもうないし・・・

今はあちこちに試聴機が置いてあるから  
流行ものは置いといてぐるりと回ってみるけど  
そうでない音楽の層が薄い！と感じる

流行ものに興味ない人は、あとはカフェ系というか  
ほんわかした音楽を好んで聴く傾向があるのかな

売り場に2大勢力のような図式で置かれると  
少々不満をおぼえ、  
結局は、JAZZコーナーや洋楽コーナーに走る

でも「日本のPOPS」コーナーに置かれていた  
中山うりさんは、よかったな。

アコーディオン弾きさんらしいけれど  
トランペットの腕も相当なもので  
なんと美容師まで本格的にやっている！

見た目とはギャップがある落ち着いたのある声  
小野リサさんみたいな・・・  
この声は、生で聴いてみたい。

## 2008.11.15 Sat お買い物

---

ゴスペルの練習が終わった後、  
メンバーのいちばん若い子（18歳！）2人が  
ゆめタウンに行きたいというので車で送迎。

ちょい仕事を済ませ、また戻ってくると  
目当てのものはモラージュにあるんだったと気づいたらしく・・・  
3人でモラージュへ。

探していたのは、  
クリスマスコンサートで頭につける飾り。  
ありました、ありました。  
コサージュにもなりそうな大ぶりのお花の飾りを  
嬉しそうに買っていました。

他にも、雑貨屋さんをまわり、ハートのクッション、  
ヒョウ柄で紫やピンクのひざ掛け、金の飾り枠がついたスタンドミラー  
など見ながら「かわいい～」と感嘆の声をあげていました。

かわいいけど・・・わたしの部屋には縁遠い^^;  
と内心想いながら、  
若い子と一緒に買い物するのはとても新鮮な気分でした。

縁あって、所属している合唱団が  
教会のクリスマスコンサートに出ることに。

讃美歌を必死に練習しているところで  
今日は実際に教会で声を合わせてみた。

教室1つ分くらいの小さな教会で  
隣の部屋では、奥様たちが料理を作っていた。  
アットホームな雰囲気だけど、  
響きは本格的！  
コンサートではこの教会がいっぱいに埋まるとか。  
みんな緊張するだろーな。

そして併設の幼稚園で練習させてもらっていると  
牧師さまあらわる！  
わざわざ挨拶に来てくださったのだ。

良い機会だから、ということで  
今うたっているクリスマスの讃美歌の意味を  
教えていただいた。

歌の中に出てくる「羊飼い」とは  
当時世の中で低く見られていた人たち。  
なぜ、そういった人たちに真っ先に  
神の御子の誕生が告げられたのか。

救い主は、弱い者にも貧しい者にも目を向けられる  
それによって、自らを蔑み自信を持てなかった彼らも  
誇りをもって生きることができたのだ、と。

イエス様が生まれた時代背景など考えたこともなかったので  
とても興味深く、ある意味衝撃的だった。  
今までゴスペルを歌っていながら  
知らなかったことが恥ずかしい...

牧師さまのお話は心にしっかりと届くもので  
有意義な時間だった。  
歌の意味を知って歌うのと知らずに歌うのでは  
大違いだろうなあ。

2008.11.17 Mon そのまんま

---

小学生のときに1級下で  
笑顔がとってもかわいかった男の子。  
週に1度のクラブ活動くらいしか  
接点がなかったのに、  
なぜかその子のことをよく覚えている。

美容師として活躍している彼と  
20年の時を隔て、再会。  
ホントに嬉しそうに笑う、笑顔は  
そのまんまだ。

わたしのことは全く覚えていないらしいから  
昔のことをいろいろ言われて不思議な感覚だろうなあ。

幼稚園の頃の担任だった  
R先生のお義母さんが亡くなり  
お通夜へと急いだ。享年93歳。

ご飯を食べなくなって  
最期のときを何度も迎えようとしたけれど  
家族の懸命な介護と驚異的な生命力で  
何度も息を吹き返した。

心の底から「生きたい」と思う気持ち  
あってこそそのものだったと思う。

もしもの場合、自分にはそんな力が  
あるだろうか、なんて考えていた。



## 2008.11.20 Thu ワインの会

---

ボージョレ・ヌーボーの解禁で  
ワインが飲めない営業さんから  
ワイン会に誘われたので参加してみた

こんな催しは初めてなので少し緊張しながら  
レストランに入った  
でも個々のお客さんそれぞれ和やかなムードで  
居心地はなかなかよかった

今年のボージョレの白と赤、  
2006年のボージョレの赤を飲み比べ。  
ワインの味はよく分からないけど  
2年前のワインの方が、香りがよく  
味も整っている（気がした）

料理は鴨肉のローストやチキンのマスタードソースがけなど  
ワインになかなかよく合うものばかりで  
期待以上に楽しませてもらった！

そして来週の別のワインの会では  
150人の前で歌の披露という、  
過酷な試練が待ち構えている...

お酒飲んでしばしの現実逃避。

寒い日が続いている

「こんな溶けそうな暑い日に  
よく自転車で出かけられるなー」

と会社の人から不思議がられたのは  
たった3か月前。

どんなに暑い日でも  
凍えるような日でもよっぽど遠くではない限り  
自転車で行く

その気力があるうちはまだまだ大丈夫と  
それが元気のバロメーター。

**2008.11.22 Sat** 今年一番

---

ジャズ・オルガニスト 野田正純さんと  
バイオリニスト 穴澤雄介さんのデュオのライブ。

今年見たライブの中で一番よかった！！  
この日の出会いに感謝。

朝、ゴスペルのワークショップ3回目。

「仕上がった」と30分も早めに終わったけど  
もう後は練習なく、28日の本番にのぞむのみ。  
どうなるか不安だなあ...

先生が調子悪そうだった。

昼ごはんを食べて

そのまま、クリスマスコンサートの練習。

みっちり4時間。

終わると同時に

エスプラッツのスタジオに移動し

また合わせ練習。

先生はこの後男性ゴスペルの指導が

あるそうだ。

鳥になってしまいそうなくらい歌っている。

2008.11.24 Mon 反省

---

朝、ちょっと仕事して（メールで済む）

あとは完全オフ。

だいぶ前に友達からもらった手紙の返事を書こうと

机に向かう

手紙をほとんど書くことがなくなったので

字を間違ったり、言い回しが気に入らなかったり、

と何枚も書きなおし・・・

そんなことばかりで部屋にこもっていると

母に「忙しいのは分かるけど

家のこともちょっとはやってちょうだい！」

と言われてしまった

自分のことばかりにかまけてて

なんでも任せっきりで悪かったなあ・・・

少しは役に立つ娘になろうと

反省した

今日も、午後は代休を取り  
小学校時代の後輩に髪をセットしてもらい  
「髪で勝負してくるよ」と言って別れ  
着替えた後、  
いざワインの会があるホテルへ！

前日に歌詞を叩き込んで  
和訳も確認し曲のイメージをつかんだ。  
(いまごろ・・・)  
本番は譜面を見なくてもいい状態に。

着くと、フラメンコのリハーサルの最中だった。  
歌とギターと舞さんの踊り。  
ちょっと踊っただけで汗が噴き出る...情熱的で激しい動き。  
歌もパンチのある魅力的な声だった。

その後はわたしたちの歌のリハーサル。  
先生のソロの間に、会場の奥まで見回ったけど  
こんなにもスピーカーが張り巡らされてるのかと  
分かり、ひるんだ。

マイクの前に立つと、なぜかピッチが取りづらい・・・  
コーラスとしての一体感を改善できないまま  
本番を迎えることとなった。

歌への愛情をこめて歌ったけれど  
ハーモニーを気にしすぎて  
少し遠慮がちに声を出すと、かすれたり震えたりする。

最初の「Over the Rainbow」では間奏で拍手をいただき  
お客様の反応を感じられたけれど  
尻すぼみになったかもしれない。  
マイクをうまく使いこなすことが、  
これからの課題。

ホントにコーラスは難しいと感じた夜だった。

わたしたちの次のフラメンコは大盛況！  
民族音楽に興味があるので  
衣装、メロディ、踊り、すべて一体となった  
フラメンコの舞台に釘づけ。

ワインの夕べに催し側として参加して  
夢中になっているうちに、  
昨日受けた会社から「採用」の返事を  
いただいたことのうれしさも  
なんだか緩和されてしまったみたい。

ホテルに向かいながら電話をいただいた時は  
ほんとに飛び上るほどうれしかった。

リハーサルや本番の合間に  
じわじわとその嬉しさをかみしめていたのだ。

きっとこれから苦労するだろう。  
でも神様がくれたチャンスだと思う。

長年の夢が、本当に叶うときが来た。

2008.11.29 Sat 10年

---

父が亡くなって今日で10年。

当時は日曜日で  
横浜のボウリング場でアルバイト中だったわたしは  
母から突然の訃報を聞いてバイトを抜け  
急いで佐賀の故郷に駆けつけた。

細く冷たくなった父の顔にふれた感触は  
今でも忘れられない。

昨日のことものようにも思える悲しい出来事。  
10年経っても、時々どうしようもない悲しみに  
襲われることもある。

けれど、早すぎた父の死には  
何らかの理由があり  
本人自身に、そして遺された家族にとっても  
何らかの意味があったからだ、と  
考えるようになっている。



## 2008.11.30 Sun 結婚式

---

ゴスペルメンバーの則ちゃん結婚式。  
まだできて2年も経たない式場での  
披露宴を楽しみにしてきた。

新郎新婦入場！の合図とともに  
会場前方のカーテンがパーっと開き  
なんとシャボン玉いっぱいの中庭から登場。

余興で花嫁も一緒にゴスペルを歌い  
お色直しの登場の際もまた私たちが歌う中  
階段上から現れるという凝った演出が  
そのあとも随所に。

天井で大きな風船が割れて  
小さなハートの風船が落ちてきたり  
最後は中庭の花火で締めくくり、など  
エンタテインメントウエディングだった。

花嫁の手紙の後は  
新郎新婦で、ありがとうの歌を歌ったり  
最後は新郎を囲んで全員で乾杯の合唱を  
贈ったり、全体的に歌でまとめられていて  
音楽好きな二人らしさがあふれた式。

すごくHAPPYな顔が見られて  
よかった、よかった。

でも、結婚式に出席したあと  
既婚者のメンバーから必ず言われる。

「次はだれの番かな・・・？」

会社で担当するTV番組を見てたら  
クリスマス商品の紹介をしていた。

横にいた上司のKさんが

「俺の子ども小学4年（♂）だけど  
まだ、サンタクロースがいるって  
信じててね・・・

マンションのどこから入ってくるのか  
気が気じゃないらしい」  
と話してくれた。

純粋なお子さんだなあと感激し

「そのまま育ててくださいね」  
と言ったら

別の上司が

「大丈夫か？そんなこと学校で言ったら  
いじめられんか??」  
と現実的なお答え...

とり方は人それぞれだと思った。

心の中にサンタクロースがいるって  
素敵なことです。

2008.12.05 Fri 教会で

---

合唱団が教会のクリスマスコンサートに出演。  
恐れ多くも、牧師さんや通っている信者さんの前で  
歌わせていただいた。

牧師さんは喜んでくださったけど  
信者さんの表情を見る限りはギリギリの線だった。  
(聴かせるに値するか否か、という点で)

声の出し方、姿勢、目線、表情、ひたむきさ、一体感...  
きっと合唱には聴く人の心を動かす要素がたくさんあって  
どの一つひとつも大切なはず。  
でもまだ意識も声もばらばら。

ちゃんとした指導者がいないのが  
いちばんの問題か。

FLASHで駅中のイベント出演。

今日は音響機材の運搬まで行い  
母がピンチヒッターでPAをするという  
すべてセルフモード。  
自分たちでスピーカー・マイク準備するというのは  
初めてだったので、右往左往。

母は、私たちが歌っている間、PAをやりながら  
手を叩いてお客さんを盛り上げてくれた。  
その姿が涙ぐましく、ありがたかった。

「その前にマイク、ハウってるよ！」  
と合図するも、マイペースの母。

朝、久しぶりに自分の自転車に乗ると  
空気が全然入っていない。  
まるでパンク状態だ。

昼休みに会社の近くの自転車屋さんで  
空気を入れてもらい（無料！）  
「パンクですかね〜？」と聞くと  
「いや、これはもうタイヤがかなり傷んでますね」

交換に必要な額を聞くと、4,500円とのこと。  
前後を替えたら、自転車1台買えるなあ〜と  
思いながら、お礼を言って帰った。

近所のおじいさんがやっている自転車屋では  
サドルとタイヤ両方替えて、そのくらいの値段だった。  
いざ見積もり！

仕事で遅くなったわたしの帰りを待っていたのは...  
母の作った「かぶのミルク煮」。

やわらかい食感と風味...  
どこかピリッとした大根と比べ  
かぶにはまた違ったおいしさがあるよな～  
と感激していただいた。

そういえば、昔、「おおきなかぶ」という  
絵本が好きだったような気がする。

「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声で  
大きなかぶを引っ張っていく。  
なかなか抜けず、どんどん参加者が増えていくのが  
面白かった。

## 2008.12.13 Sat ゴスペル行脚

---

本日はピアニスト不在で  
わたしが伴奏CDを焼いてきたけれど  
"Hail Holy Queen"と間違えて  
"He'll Make a Way"を入れてきてしまう始末...

でも午前中の練習でなんとか形になり  
「これでもいいんじゃない？」と  
予定曲変更で一件落着。

おおらかなメンバーに感謝！

午後は途中うどんを食べ  
千代田の病院の施設と、佐賀市内唯一のデパートで  
ミニコンサート。

来週の自主コンサートに向けて  
大詰め...といきたいところだけど  
練習不足ぎみでちょっと危機感もある。

2008.12.16 Tue 創る

---

「創る」人とのささやかな忘年会。  
2日連チャンで豆腐料理なんて！  
なぜかヘルシーな今日この頃。でもとてもおいしかった。

- ・なぜ創ることを止めないのか
- ・なぜ創るのか。そして作品について多くを語らないのか
- ・ニューヨークの魅力、そこで出会った素敵な人

などなど、話は尽きず  
久しぶりに会ってあったかい気持ちに。



## 2008.12.19 Fri 黄色い箱

---

昼休みを取る余裕もないこの時期は  
仕事をしながら食べられる  
カロリーメイトを食堂の自販機で買う。

カロリーメイトとコーヒー。  
忙しい時の定番...

栄養補給のつもりはないけれど  
とりあえず固形物をお腹に入れて  
満足した気分になる。

すっかり、あの黄色い箱ともお友達の  
今日この頃。

2008.12.20 Sat 本番 1 日前

---

明日のクリスマスコンサートに向けて  
朝からプログラム作り。

1 時、相知の練習場に急いで向かうと  
もうみんな着いており  
明日の打ち合わせをしていた。

通しでリハーサル。  
アルトメンバーだけで歌う「Little Drammer Boy」も  
低音が効いてよい感じに仕上がってた。  
女性コーラスに幅が出せるっていいなあ。  
来年もまたアルトオンリーの企画をぜひ。

わたしが入る 3 人のユニットは  
練習不足で申し訳なかった...

ということで、相知の練習を 5 時に終え  
自宅でユニットの歌を仕切り直し。

練習もしたけれど歌やピアノで  
遊びまくって 10 時ごろ解散した。

## 2008.12.21 Sun 5th Glory Day

---

いよいよ1年の集大成の時。  
外はあいにくの雨。おまけに寝違えた。

朝、紙を買いに行き、プログラムを刷り  
遅れて先生の家に着。

早くやっておけばよいのにと  
毎年、反省...

皆、髪の毛をきれいにセットして準備も万端。  
A吉くんのソロに合わせてコーラスが始まった。

来たばかりだというのに  
やさしくて素直な声が心に染み入り...不覚にも涙。

3時過ぎ、浪漫座に到着し舞台の設置、椅子並べ...  
もう慣れたものだけど、  
ステージ作りはコンパネを並べる作業と  
後ろのついたてをきれいに立てる作業に手間取った。

そして少しリハーサルをした後、軽く食事して  
あっという間に6時半、開演時間に。

別イベントで駐車場にとめていたクルマが出られなくなり  
15分ほど開演が遅れた。今回も200名以上のお客様が  
来ていたので、駐車場は問題が起きるかも...  
とっていたら案の定だった。  
マスターのアナウンスとスムーズな誘導に感謝。

いよいよ歌。ノリノリのナンバーで始まったが  
今思えば、「イイコのノリノリ」だったなあ。  
もう少しリズムにのればよかった。

今回はMCの間、ピアノ演奏が入る段取り。  
ピアノの瑞々しい響きの中、挨拶が始まると

改めて5回目を迎えられたことが  
小躍りするほどうれしくなった。

ほどよい緊張感。

歌える喜び、歌への思いが自然とあふれてきて  
一心に歌った。

あの教会で牧師さんの話にふれた時から  
神さまの存在がすごく近くなっている。

ライブ録音を聴いたら  
反省することもたくさんあるけれど  
とにかく気持ちが一番安定していたライブだった。

大分から来てくれた母の友人Yさん、  
合唱メンバーのR先生、Nさん、そして母。  
遠くから見つめる目に、なぜかホッとした。

今年も皆の力が集結し、無事に終わった。  
もっとこうしたい！と野望はたくさんあるけど  
本当に強く願った時、その思いは形になるはず。

そして一日の締めくくりは仕事...。  
ライブの後片付けを終えて会社に向かった。  
来年はもっと心に余裕を持てたらいいな～。  
って、休めるのか??

2008.12.24 Wed イブはお好み焼

---

これだけクリスマスソングを歌っていても  
クリスマス・イブ、って感じがしない  
雨は夜更け過ぎに雪へと変わる  
気配もしない

唯一、会社で購入したクリスマスケーキが  
届いたくらいで。

見に行く予定のライブは  
もう中盤を過ぎていたのであきらめ  
お気に入りの店に  
お好み焼きを食べに行った。

月に1～2回しか行かないのに  
顔を覚えられていて  
いつもありがとうございます、と言ってくれる

今日は食事のあと、ケーキがサービスされた！

そして家でもケーキ。  
切ってお皿に移すと、大きなイチゴのショートケーキを  
サンタクロースが一生懸命支えている図に♪

3人で仲良く過ごせたイブでした。

夜、仕事が終わって  
3人で音楽番組を見つつ  
阿久悠の歌はやっぱり名曲や～などと言いながら  
ご飯を食べていた。

今日のメニューは、母がスジ肉を使って  
コトコト煮込んだカレーだった。

ケーキも2晩目。

そしてもう深夜になったけれど  
小田さんの「クリスマスの約束」が始まったので  
これは見逃せない！と  
釘づけになってしまった。

小田さん、口の悪さに磨きがかかっているなあと  
思いながら、でもやっぱり面白いし歌も良い！

松たか子との声のトーンもぴったりだった。  
激しさはないけれど、素直な声で音程も素晴らしい。

こういう声の人たちが集まってコーラスやったら  
さぞかし美しいだろう...なんて思ったり。

2008.12.27 Sat ぐうたら

---

久しぶりに泊まったYちゃんを見送り  
断続的に寝たり起きたり  
ぐうたらな一日だった。

生活を立て直さなくては！

築30年の我が家は、床がかなり傷んでて  
べこべこになっている部分もある。  
そのうち修理をしないとね、と言っていた。

でもまさか、大晦日に大がかりな「リフォーム」を  
自分たちで始めることになろうとは！

その名も「床板張替大作戦」。

やり始めた母を止めるわけにもいかず  
板を並べたり、のこぎりでドアを切ったり  
まるで業者みたいに  
たいへんな作業を始めたのだった。

板が足りず、結局年内に終わらなかった。  
「年越し苦勞」でした。。。

そんなわけで  
No Planで動くことが多かったけれど  
来年はもっと計画たてて動こうかな。



## 2009.01.01 Thu 新年の祝い

---

いつも元旦は、母と叔母（父の妹）と、3人で過ごす。  
ちょっと朝寝坊して、10時頃起床。

わたしが叔母を迎えに行く間  
母はおせちのなますとお雑煮を作り始めた。

それでもみんなそろった頃には  
洋皿にかずのこやこんぶなど数種類のおせちが  
きれいに盛りつけられたので  
お正月を迎えた気分になった。

ささやかだけど  
なんだか嬉しいお正月。

みなさんも健康で幸せな一年でありますように。  
どうぞ、今年もよろしく申し上げます。

## 2009.01.02 Fri 年賀状

---

新年に入ってやっと年賀状書き！

母のもいろいろ手伝わされました。  
親子して、スロースタートです。

特に構想も練ってなかったのに  
無料のデザインをダウンロードしよ～  
・・・とってたのに、  
今年は気に入ったデザインが見つからない。

ガーン...と少し、焦りながら  
なんとなくillustratorを触っていたら  
出来上がりました。

しかしプリントアウトした後は、  
あて名書きだけで深夜に突入。

あて名もプリントアウトしてしまう母に  
先を越されました。

昼間、彼女は遊びに行ってたのに～。

2009.01.03 Sat 並んだ、並んだ

---

5日から新しい職場でしかもスーツで通勤。

今日は、ほとんどラフな服しか持たないわたしに  
母が買い物に付き合ってくれた。

行った先は、  
鳥栖プレミアムアウトレット！！

昼過ぎに到着予定なのに  
混雑がひどくて県道17号線から出れない...

プレミアムアウトレットも同様、人わんさか。  
みんな正月からなんで服を買うんだろう～。  
と自分のことは棚にあげて考えてた。

待てよ、服を買う→福を買う  
・・・というわけではないよな。

坦々麺のお店もスタバも行列。  
でも珍しく並んでみた。

2009.01.04 Sun できた！

---

朝から床板張替大作戦、再開！  
建築用の水性のりを、板の裏面につけて  
一枚一枚、パズルのように組み合わせていく  
(接合面にはそれぞれ凸凹がありジョイント式)

グッディの親切なお兄さんがうちの構造に合わせて  
カットしてくれた板だって、  
ほ～ら、きれいに敷き詰められた！

...と思ったら、こちらの指示ミスで  
切った板の「凸」まで平らにカットしたので  
ジョイントしてない境目がどうしても気になりだして  
母、追加の板を買いに行く。

わたしも用事を済ませて  
帰った頃には、べこべこしない普通の  
フローリング床ができていた。

素人がやったにしてはキレイ。  
これからは、どんなVIPが訪ねてこようと  
躊躇なく迎え入れることができそう！

2009.01.05 Mon 初出勤

---

今日から新しい職場。  
ドキドキしながら向かった。

全員と初顔合わせ。  
朝礼、自己紹介、新年の社長訓示...

そして全員で初詣。  
少人数だから為せる技だなあと  
思いながら、見る風景が何もかも新鮮で  
きょろきょろしながら、とにかくついて行った。

なんと！今日入社の人もう一人。  
同期はいないと聞いてたので  
ヒジョーに嬉しく、心強かった。

## 2009.01.06 Tue 初めての営業

---

2日目。

営業の仕事が始まりました。

もちろん先輩同行で、  
初めて訪問してお会いした  
方はなんと、外国人でした。

「ワタシ、ガイコクジンダカラ  
モットキガルニハナシテイイヨ」

と優しく言われました。  
福岡の人情に触れた気がして  
緊張が少し和らぎました。

2009.01.08 Thu 贅沢

---

頂いた名刺を整理しようと、帰りがけに  
名刺ホルダーを買いに行った。

ホントは100円ショップで（が？）よかったのに  
福岡のどこにあるか分からないから  
とりあえず「文房具」がありそうな場所へと  
さまよった。

そこで行き着いたのがINCUBE 4階の文房具屋さん。

品揃え豊富で、特に輸入品の文房具がかわいくて  
色もキレイ！

スケッチブック、蛍光ペン、ノート...  
ありとあらゆる文房具が  
ピカピカとして見えて...

いかんいかん、名刺ホルダーを探しているんだって  
気づいて、ちょっと贅沢に  
「100円ではない」名刺ホルダーを買って帰った。

FLASH、新年初歌い！だったけど  
大分からの母の友達をバス乗り場まで送って  
遅れて到着。

雪が降っていてバスが運行中止になった  
とは、あとから聞いた・・・

自宅周辺は、全然積もっていなかったの  
あ～、読みが甘かった、と反省。

練習のお部屋にお邪魔すると、  
みんなの元気な姿がそこにあった。

「明けました！」という先生の明るい表情を見ると  
もうそれだけで、気持ちが高まり嬉しくなる。  
メンバーへの愛情と、今年の意気込みが伝わってくる。

歌の方も気合い入れていくぞー。



ライトファンタジーファイナル  
イベントに今年も出演させていただいた。

チラシに去年の写真が載っていたのだが  
わたしの頭がぼさぼさだったのに落胆し  
昨日、さっぱりと美容院で切ってもらった（髪を）。  
今年は、なんと前髪ぱっつん。

それはよいとして、  
今日はすごく寒い日。しかも野外イベント。  
なのに、よい感じにお客様も来てくれてよかった！  
デザイナーKさんも最近よく見に来てくれて  
感謝、感謝！

オープニングでTOY BOXさんの出演、  
オークション付ファッションショー、と続き  
FLASHの出番。  
寒さで顔も体もやや固まりつつある中  
去年の反省生かして歌った。  
ハーモニーになっていたかな？

後で元上司のMさんが  
「なかなか良かったねー、  
ブルースみたいな曲のソロもよかった」  
と嬉しい言葉をかけてくださった！  
(きっとJ姉さんの低音ヴォイスのことだわ)

全員のコーラスではハーモニーを大事にしつつ、  
ソロではそれぞれの声の持ち味を活かしていけば  
もっと幅が広がるはずだ、と  
方向性が見えてきた！

後半もアート抽選会→ビンゴ大会と盛り上がり  
とてもよい雰囲気イベントが進んで  
楽しかった～。

「魚介とんこつラーメンのお店」...？

34号線沿いの気になるラーメン屋さんに  
母と行ってきた。

メニューは分かりづらかったけど  
店員さんに何度か確認して  
目当ての品を注文することができた。

ホントに魚介の風味が全開で  
でも豚骨ラーメンの要素もしっかりある。

どちらもバランスよく共存している感じで  
この意外性が結構気に入ってしまった。  
スープの底からは魚介を粉々にしたものが  
ざらっとゆさっていた。

(注：佐賀弁「たまって沈んでいる」の意)  
これが魚介風味のもとか！

母は、「魚介」と聞いて、蟹とか海老が入っている  
ものと勘違いしていたようだ。  
それなら海鮮なんとか、と名がつきそうだ？

三連休はおいしいラーメンで幕を閉じました。

自動車を動かす燃料はいつの日か  
なくなってしまう、と  
危機感を抱いていた子供の頃。

「電気自動車が普及すれば自動車を買おう」  
なんて漠然と思い描いていた。

大人になって、必要性にかられ  
普通にガソリン車を買ってしまった2003年春。  
やっと最近、どこの自動車メーカーでも  
電気自動車開発のニュースが聞かれるようになってきた。

10年後の日本の道路では  
どれくらい電気自動車が普及しているだろう。

でも、子どもの頃は気付かなかったこと。  
電気自動車を動かす電気を作るにも  
大切な資源を使うということ。

新しいものに頼るだけでなく  
今できることはやっぱり今あるものを  
大切にしていくことなんだなあ。

朝から福岡の大橋へ。

昭和の時代を切り取ったような  
「西鉄名店街」や

学生の街としての顔。

地元の方々に支えられていそうな  
数多くの小さな商店・飲食店。

この街にはいろんな顔があって  
街全体としての個性を放っていた。

福岡天神から電車で10分もかからない所に  
こんな町があったんだなあと  
新たな発見。

2009.01.15 Thu VIORO

---

福岡の街は商業ビルがいっぱいありすぎて  
いまだに覚えられないわたし...

今日はUさんの誕生日プレゼントを選ぶため  
仕事帰りに  
いろんなビルを歩き回ったのだけれど...

20時を回って、蛍の光が  
聞こえ始めた...

あきらめモードで意味もなく  
新天町を歩いた後、  
21時まで開いているビルを発見！  
その名もVIORO。

それまでの閉店間際のビルとうってかわって  
女性たちがうようよ歩いており  
まったく別の空間に来た感覚だった。

よい香りのバスグッズや  
かわいい靴屋さん、  
かっこいい革のバッグのお店などなど  
心くすぐられるお店がいっぱい。

つつい本来の目的を横に置いて  
夢中で歩きまくった。

よいものが置いてあり、  
それぞれのテナントがちゃんと機能している  
という印象。

全体としてのイメージって  
やっぱり大切かもしれない。

2009.01.16 Fri あたたかさ

---

上司が部下を本当に心配し  
本気で怒っているという場面を  
目の当たりにした。

言葉は厳しいけれど  
部下を信じ、思うからこそそのもの。

そして、  
改善策をみんなで考えているような  
社内の人たちの姿を見て  
「人間ってこんなにあったかかったっけ？」

とある種の感動を覚えたのだった...

ゆげちゃんがFLASHに歌ってほしいと  
オリジナル曲「越えてゆけ」女声3部の  
楽譜を提供してくれた。

しかし、これが難しいのなんのって！  
音は1回の譜読みでは取りきれず  
みな苦戦していた  
それはまさに「越えてゆけな～い」

元気炸裂のゴスペルと同じように  
歌っていたら  
痛い目を見る・・・

そんなことにもまだ気付かず  
「越えてゆけ」を威勢よく  
歌っている。。。  
出来上がりは、  
すごく楽しみ♪というより  
ちょっと恐ろしくもある...♪

きれいにセットされたテーブルには  
10人分の椅子。  
そして運ばれてくるおいしい料理の数々…。

一人ひとりが相手の顔を近くに見ながら  
ゆっくりと楽しく語れる場所、  
「青い月」。

マスターは、  
今までいろんなグループのために  
この場所を用意したことだろう。  
カウンター越しに  
さまざまなグループを見ているのも  
楽しいらしく、  
いつの間にか、私たちの  
話し相手も務めている。

騒がしくない、ありきたりでない。  
清潔なお部屋と  
あったかいテーブルセッティング。  
こういうお店はすごく貴重だ。  
マスターにはいつも感謝！



## 2009.01.19 Mon 家計簿

---

今年から家計簿をつけている。  
この歳になるとそろそろ貯金を...と  
考えているわけではないが、  
ただ、月にどれくらい使っているか  
数字で知りたくなったのだ。  
それと...早くスティールパンを手に入れたい、という  
夢もある。

やれ新しい服だ、アクセサリーだ、とむやみに買わないけれど  
朝バスを待つ間に買うブラックコーヒーが  
もったいない。  
お昼ごはんも、家で残りものを詰めて  
お弁当作ってくれば大分節約できる。

ガソリン代や生活必需品は仕方ないとして  
無駄はなるべくなくそー。

生春巻やアジアンヌードルによく入ってる

パクチー（香菜）が好き。

あの独特のクセがたまらない。

高校生のころ、初めて京都で食べたときは

とても衝撃的で、きつかったけど。

時が経てば、好みは変わるものだ。

生のパクチーは佐賀で売ってるのはまだ見たことがなく

母の知り合いの業者に頼んで買ってきて

もらったくらい。

そんな中、今日は、スーパーで乾燥香菜を発見！

乾燥ものであの風味が味わえるのか・・・？

試しに買ってみた。

同期入社のIさんは面接の時も  
ユニークな発言で  
上司たちを笑わせたという。

まだ新入社員で必死で会社に慣れようと  
している私たちだが  
上司たちの間では楽しい会話が  
ちよくちよく出てきて雰囲気や和らぐ。

今日は、撮影のある取材に同行する前、  
カメラのふたを取らずに試し撮りをしようとしていた  
Iさんに、上司が  
「Iさんって、天然ですか??」

と質問。すると、すぐに  
「いいえ、養殖です」  
と返すIさん。

上司、何も言えず、苦笑...

Iさんの存在自体に憧れを感じた  
わたしであった。

ベテラン編集者のSさんは  
口数は少なそうだが  
みんなの話をよく聞いていてたまに発言をする。

今日は、辛いものが全くだめだというKさんに  
面白い質問をしていた。

「あなたが“人に比べて辛いものがだめだな～”と  
感じたのは何歳くらいの時ですか？」

Sさんの興味は奥深いところにある。

今日も雪がちらつく日。  
薄い花びらのような雪がひらひらと  
舞う様はとても美しかった。

佐賀市内は積もるほどではなかったけど  
15キロほど西に住んでいるJさん家の周りは  
それなりに積もっていたようだ。

こんな日は運転を控えてほしい、と  
ゴスペルの練習に行くJさんに  
電車で行くことを勧めた旦那サマ。

もちろん、Jさんも  
数ある陸橋をクルマで渡るのがはばかられ  
（Jさんのクルマは雪道には弱い）  
おとなしく電車を使う心づもりだったらしいが...

旦那サマはキッチンに立ち、冷蔵庫にあったコーラを  
Jさんに差し出した。

Jさん、ゴクン。

・・・「あれ、これもしかして焼酎入ってる・・・？」

「お前、これで絶対運転できないだろー」  
ニヤリと笑う旦那サマ。

Jさんは運転する気なんてさらさら  
なかったけど、  
万が一気が変わらないようにと  
仕立て上げられたJさん。

「やられたー」  
と言いつつも  
残りの焼酎入りコーラを飲みほして

無事、ゴスペルの練習に電車で向かったそうなの。

まったく愉快な夫婦である。

合唱でテルーの唄をうたっている。

ゲド戦記の挿入歌？

「鷹のよ～うなこの心」

...鷹の心って??とイマイチ歌の中身まで  
入れずに歌っていた。

帰りの車の中で  
そんなことをつぶやいていたら  
Mが一からストーリーの核を教えてくれた。

竜と鷹の話などゲド戦記のことを  
よく把握していて、興味深く聞いてた。  
...おぼろげに見えてきた感じ。

それにしても「この心」の「こ」が  
不自然な裏声になってしまう。  
言葉として発せねば・・・

2009.01.26 Mon 華

---

お花がないフラワーショップに行った。  
ギフトに重きをおいたお店で  
「贈るとき」「贈られるとき」の一瞬を  
大切にしている。

客はお店のスタッフと事前によく話し合い  
どんなお花を贈りたいのか  
要望を伝えオリジナルフラワーギフトを  
創ってもらう。

日常の中にちょっとした「華」がある  
生活っていいなあと思った。



「二人で歩いたね 夕暮れの大濠公園」

この公園の近くを通るとつい口ずさんで  
しまう長渕剛の歌。

代表曲ではないのに数十年経っても耳から  
離れない歌ってやっぱり名曲だと思う。

それはさておき、外から見た  
「夜」の大濠公園は、静かで暗くて  
入ると吸い込まれたまま帰ってこれなさそう...  
そのまま眺めて通り過ぎた。

**2009.01.28 Wed** おめでとう & ありがとう

---

木下航志君がライブで福岡へ！  
彼のアメージンググレイスを聴きたかった～

けど、思いのほか残業で遅くなったし  
母の誕生日でもあったので、  
プレゼントを買ってそのまま自宅へ。

待っててくれた母とおいしいごはん屋さんで  
食事をして、ささやかなお祝いをした。

長く一緒に住んでると  
ホントは口に出して言いたい感謝の言葉も  
照れくさくて伝えられない。

自分の道はこれだ！と決めて  
まっすぐコツコツと階段を昇ってきた人。

自分に厳しく人に優しい、その料理人さんの  
指は繊細で美しかった。

2009.01.30 Fri 反応

---

言ったことがウケない、反応がないことを  
俗に「滑る」というけれど

何を言っても裏目裏目に出て  
相手がどんどん不機嫌になっていく状態は  
なんと云えば・・・？

「転ぶ」？「滑落する」？  
それとも「砕け散る」・・・？

とにかく

言葉不足&配慮不足でした、ほんとに。

2009.01.31 Sat So tired

---

「疲れた～」 「無理かも」

・・・気を許せる仲間には正直に言える。  
無理をしないようにセーブしている表れでもある。

だけど、言葉にすることで  
自分を「負」の方向へ持って行きたくない。

ヤング@ハートを鑑賞。at CIEMA。  
ご老人のコーラスグループの話！？  
そりゃ〜、見に行かないワケにはいかない！  
と、コーラスの先生の予定に便乗して  
結局5人でぞろぞろと見に行った。

日曜日だというのに...我々5人を含めお客さんは10人ちょっと。  
小さな部屋だったから落ち着いたけど...。  
昔の映画館そのままかな？懐かしいなあー。

実は、この映画、「ご老人のコーラスグループの話」としか  
聞いてなかったから、  
勝手に「歓喜の歌」とか歌う合唱隊を想像しちゃってた。  
まさか「ロックやパンクを歌うご老人の集まり」とは  
知らずに・・・

「し、心臓に負担はないのか？」と思うほどの  
パンク・ロックを歌いこなすおじいちゃん、おばあちゃん。  
そのイメージのギャップに  
思わず椅子から落ちそうになった。

厳しい練習にも耐え、難しい曲に立ち向かうおじいちゃんたち。  
舞台の上に立つというのは並大抵のことでは  
できないと思うけれど、挑戦する気持ちがすごいと思った。

いつの間にか、そこにいるのは興行収入なんかを考える  
ファンキーでキラキラした老人たち。

フツのコーラス映画とはかけ離れてたけど  
楽しめた！

人生には終わりがある。  
限られた人生の中で、何をして過ごすか？  
と最近よく考える。  
この映画を観て「どう生きる？」と問われている

ようだった。

初めての取材。

以前の会社ではライターがやっていたことを  
今度はわたしの手で。

やっとここまでたどり着いたのかぁ。

でもほんの始まりに過ぎない。



2009.02.03 Tue サロン

---

最近仕事で長い時間を共に過ごしている  
K姉さんと、夜のお食事。

文学や芸術にたずさわる人々が  
集いそうな趣のある喫茶店に  
連れて行ってもらった。

しっかりした木造りの空間に  
なぜか懐かしい気分になり  
時がたつのを忘れる。

行くのはちょっと暗めの落ち着いた  
お店ばかり、と言って笑うK姉さん。  
でも、ついて行けばいつも  
素敵な場所にたどり着ける気がする。

2009.02.04 Wed 仕事

---

営業は、商品の力よりも  
「人の力」が大事??  
ということについて  
泣きながら考えた日。

会社でお世話になっているという  
福岡の焼き鳥屋さんに連れて行ってもらった。  
2階のお座敷に案内される。  
焼き鳥の種類、多っ！  
佐賀ではあまり食べた経験のない  
「しろ」や豚バラでおくらを巻いて焼いたものまで...  
おいしかったけれど、  
頼み方ヘンでしょ？と思うくらい  
多くの焼鳥を食べたので、それだけで満腹に。  
身体の「肉比率」が急激に上がり  
後はもう野菜だけを欲していた。

会社の先輩方はお店の情報を  
いろいろ教えてくれた。

そして仕事の話もあれこれ。  
また、いろいろ見えてきた。

**2009.02.06 Fri 琉球回帰**

---

沖縄気分であったりと。

2009.02.07 Sat 弁当

---

今週は外食が多かったので  
珍しく弁当を作ってFLASHへ。

人間、身体が必要性を感じれば  
自然とできるものなんだなあ。

おかげで遅刻したけど。

やっぱりおにぎりは家で握ったやつが  
サイコー！

開演 1 時間半前。

母に「佐世保に行ってくる！」と言ったら  
「わたしも行きたい！」と言ったので  
連れだって「ほたて児童合唱団」の公演に。

弓削田健介君が共演するということで  
ぜひ！おすすめ！と本人から言われてたのだ。

コミュニティセンターなる会場はほぼ満席。  
合唱団の保護者関係の人たちがほとんど？  
「ってさ」を歌っていた女の子がかわいかったなあ。

JAのCMで使われている「この街で」の続きが  
完成してた！苦労してあの時作ってくれた曲に  
また新しい命が吹き込まれてた。

2009.02.09 Mon 採算

---

ラーメンの麺を製造・販売している工場が  
直営するラーメン屋さんへ。

ラーメンとご飯のセットで480円！

おいしくて接客も感じよかったけど  
こんなに安くて採算とれているのかな～

2009.02.11 Wed 定演

---

佐賀学園吹奏楽部の定期演奏会へ。

いつも大ホールが満席になるくらい  
お客さんが多いけれど今回も  
開場30分前には文化会館の外まで  
はみ出すほどの長蛇の列！

開場となるやいなや  
どんどん席が埋まって行き・・・

もう最前列付近しか空いていなかった。

近い席で吹奏楽団の演奏を見て  
分かったこと。

「全体が見えん！」（笑）

フルート・クラリネット・コントラバス  
そして指揮者の南里先生などは  
詳細な動きまで把握でき、

ホルン・トロンボーン・トランペットなど  
後ろにいる楽器の人たちは  
音しか聞こえず。

マーチングの隊列は、足元がよく見えた。  
かかと上げて歩くのって  
非常につらそうだあ！  
顔は晴れやかにしなくちゃいけないし。

若いながらしっかりとした演奏で  
2時間があっというまだった。

南里先生が指揮台に立ち  
振ったときにピッタリ揃って演奏が始まる



あの緊張感のある瞬間が大好きだ。

2009.02.12 Thu 雰囲気

---

お店づくりって  
味とかサービスとか以前に  
お店の中の雰囲気が大事なんだなあって  
気づいた日。

テーブルと椅子、置いただけじゃダメ！

帽子探索。

K子姉さんにVIOROの中の帽子屋さん  
連れて行ってもらった。

キャップもハットもハンチングも  
他では見たことがない品揃えで  
楽しかった～！

ラッピングサービスも満点。  
しかも出口まで見送ってくれる。

春からに向けて、また帽子新調するのも  
よさそうだなあ。

2009.02.14 Sat 便乗

---

バレンタインデー。

ミサちゃんの手作りチョコクッキーに  
ノリちゃん母のおからクッキー、  
すみれちゃんの東京出張土産（ミルフィーユ？）

と今日のゴスペル練習は  
お菓子づくしだった。

自分は何も特別なことはせず  
ただおいしくいただくだけでした^^;

仕事のこと、歌のこと…  
マックでおしゃべりしてたら  
3時間も過ぎてしまった！

あとは不具合だらけの  
パソコンの初期化に集中。  
これでダメだったら（ダメだろうけど）  
修理に出すしかない。

K子姉さんが福岡でいちばん好き！  
というラーメン屋さんへ。

しかし  
こわいおっちゃんが隣に座り…  
何かにぶつぶつと文句を言っている。

なんだか酔っ払ってるみたいだし  
様子をうかがっていたら  
しばらくしてレジの方へ。  
なかなかこないラーメンに  
しびれを切らしたのか  
(そんなに長い時間じゃなかった)  
一万円札を出して、  
もう帰る！と言って店を出て行った。

ラーメン屋の人はけろっとしてて  
お金を受け取らず  
出て行った後、苦笑いしながら  
奥の厨房に  
「もう出さんでいいからね～」  
とあっさり伝えてた。

ラーメンもおいしかったが  
この絶妙な対応にますます  
好感をもってしまった。

2009.02.17 Tue スタートライン

---

心の中を打ち明けた。  
心にある矛盾を…。  
二人でよく噛み砕いてベストと思われる決断をした。  
「また一からやり直す」。

最後まで上司はよく話を聞いてくれた。  
人間として尊敬できる人たちばかりだった…  
のに。

結局は人間関係よりも  
やっぱり自分の理想に近づくことを選んでしまった。

料理を初めてしたのはいつのことだったかな？

たぶん小学生の高学年くらい。

簡単なクッキング本を見ながら

オレンジの皮をカップにしたゼリーや

材料を袋に入れ鉄板に絞り出して焼くクッキー、

コーンのクリーム缶を使ったコーンスープ（これは今も時々作る）

などなど。

その当時、家庭科の授業も始まったけれど

家庭科室で作った「味噌汁」の味が忘れられない。

しっかりだしをとり、具はねぎや豆腐なんかを入れ

味噌は甘めの白味噌（市販のものだった）。

シンプルなのにおいしくておいしくて…！

うちの味噌は母の実家（鹿児島）に送ってもらう

甘めの麦味噌なのだが、あの味わいとはちょっと違う。

以来、大学生になって一人暮らしをしたときも

あの時の味噌汁を再現したくて、「それっぽい」味噌を買って

みたりもした。

でも、やっぱりだいぶ違う。

で、今日、ダイレックスで買い物をしていたときに

ふと目に留まった味噌が

あの20年前の記憶と重なった。

小さな袋で257円。

岡山県で製造、とある。

京都は白味噌。隣の県の岡山ってことは

もしかしたらいけるかも…。

と思い、おもむろにカゴに入れた。

結果は後日！



2009.02.19 Thu ハロー！

---

ワーク。

**2009.02.20 Fri 福岡にて**

---

今日はPCスキルのチェックをした。

やっぱりExcelの関数が弱い、というか

ほとんど知らない。

入力したり表を作れるだけで「Excel使えますよ～^^」

なんて、簡単には言えないなあ。

おじちゃんとおばちゃんが二人でやっている  
焼き鳥屋さんへ。

材料は新鮮そのもの。

そして一つ一つが丁寧に作られていて  
本当にありがたいと思いながら口に運ぶ。

でもお店のおじちゃんに言わせると

わたしたち3人衆は

「女性にはなかなかいない」くらいの  
食べっぷりだったそう。

小城のア・カペラコンテスト初出場。  
FLASHの中の5人で、初めて「コンテスト」なるものに挑んだ。

出ようといった張本人（わたし）は  
最後まで「振り付け」が微妙だった。

ほかにものりちゃん（ソロ）は  
歌詞忘れないか不安そうだったし  
まあ、初参加だし「様子見」ってことで…（意味不明）

なんて思いながら、でもやっぱりちょっと  
いつもと違う雰囲気緊張した。

出番の後はホッとして、二部のグループをゆっくり鑑賞。  
鬼束ちひろの「月光」、美空ひばりの「愛燦燦」、  
チューリップの「心の旅」…  
福岡からのグループが主で、邦楽中心の選曲。  
アレンジやらハーモニーやら聴きどころ多くて  
レベル高いな～と感心してたのに、

最後の審査発表では  
優勝したのは、なんとわたしたちのグループ「KANHJ」。

司会のフッチーさんいわく  
「今年は審査が難航しました」とのこと。

びっくりしたけど、うれしかったなあー。  
実力はまだまだけど、アグレッシブさというか  
勢いだけは…あったような気がする。

挑戦し続けたい。これからも。

2009.02.23 Mon フリー

---

お昼にエスプラッツに行くと  
たまたまギターのコンサートがやってた。  
元上司がいたので、挨拶&近況報告。  
「がんばれ！」と励まされた。

夜はパーティルームでマスターが  
おいしい食事を用意してくれた  
タツノオトシゴが水槽で飼われてて  
辰年生まれのわたしは妙に愛着がわき  
じ〜っとそのユーモラスな動きを見ていた。

## 2009.02.24 Tue パソコン修理

---

ようやくパソコンを修理に出せた。  
ピッピッピとずっとエラー音が鳴ったり  
検索窓にカーソル合わせると  
444444444や;;;;;;;;;;と勝手に文字が  
打たれたり、と厄介な症状だらけ

ちょうど3年前に買ったパソコンで  
5年保証があったから修理に出したのだが  
修理会社の人はずごく親切。  
いろいろ親身になって教えてくれた。

## 2009.02.25 Wed SEASONS OF LOVE

---

ゴスペル・ソングを歌い続けて早6年。  
最初のころに比べて何が変わったかというと

「歌詞の意味を意識するようになった」。

最初は自分のパートを覚えるのが精一杯で  
歌詞のことは二の次だった。

今では、  
歌詞を意識せずに歌うことは  
よそ見しながら自動車を運転しているような  
感覚と同じだなと思う。

今練習している「SEASONS OF LOVE」の歌詞も  
意味を知ると  
歌うことがまた楽しくなってくる。  
心が晴れるように。  
ゴスペル・ソングではないけれど  
通じるものがある。

2009.02.26 Thu ごちそう

---

山小屋ラーメンで  
Aのささやかな誕生日祝い。

Aに言わせると  
食事は、ちょっとずつ数回に分けて出てくる  
コース料理なんかよりも  
一気にまとめてど〜ん！  
みたいなもののほうが  
嬉しいそう。

特別なときには特別な料理を、と  
思うのだけど、  
ラーメンや丼ぶりもの、定食類は  
わたしも大好きだから  
ま、いっか。



母が友人に

「あなたみたいに煮込み料理を多く作るなら  
ヒーターよりもストーブがいいわよ」

と言われたらしく

春間近だというのに居間に  
ストーブがお目見えした。

わたしも一人暮らししてた頃

お湯が沸かせてもちも焼けるストーブを  
購入したことがあった。

使わずじまいで倉庫にしまってあったのに～。

でも最新型？のストーブが

電器店で4,000円だったらしい。安いなあ。

さっそく、ストーブを活用して

かきも焼いたしおでんもできていた。

便利！！

もうひとつのダイニングキッチンですな。

福岡のK子姉さんが佐賀へやってきた。  
いつも福岡を案内してもらっているので  
今日はわたしが佐賀を案内しようと  
待ち構えていた。  
まあ、一番の目的は「てらおん」ライブ鑑賞だったのだけど。

今日は「かりゆし」と「ななこが」の出演で  
沖縄好きのK子姉さんにはうってつけだと思って  
お知らせしておいた。

でもナビをする必要もないくらい、  
佐賀の街はイベントづくし。

- ・ ひなまつり
- ・ 骨董市
- ・ 楠の杜手作り市
- ・ てらおん...

というわけでイベント見ながら  
佐賀の街を歩くことになった。  
すべて歩いて回れる位置なのが嬉しい！

さびしい感じの松原マーケットも  
ストリップ劇場跡も、松原川沿いも  
佐賀城のお濠も、大きな楠の木も

K子姉さんにとっては  
尋常じゃなく興味の対象だったようだ。

目をきらきらと輝かせながら  
裏も表もある佐賀の街の風景に見入っていた。  
(ほとんど裏だったけど)

楠の杜手作り市で売ってた焼き物や  
願正寺の本堂、など

行く先々で素敵なもの見つけてくれて  
よかった！

日帰りツアーの締めは家でごはん。  
おでんを食べながら、母のおしゃべりに  
付き合ってくれた。

また、願正寺の桜が見頃になれば  
ご招待しようと思う。

久しぶりの鹿児島。

祖父母と1年半ぶりの再会。

「じいちゃんのご飯をあまり食べない」  
と聞いていたけれど、ご飯を小盛りと  
ばあちゃんの作ったおでんを数種類食べていたので  
きっと、毎日外に出ずに過ごしている  
じいちゃんにとっては、これが適量なのだろう。

でも、確かに身体が小さくなって口数が減った。  
聞いてると、さっき言ったことを忘れていたようだ。

間近で毎日見ているばあちゃんにとっては  
そのことが気がかり。  
どちらかというとなたしたちはばあちゃんの方が  
気がかりだったりして。。。

母と祖父母と4人で過ごし夜10時半にお開き。  
いつになく夜更かしだったかも。

## 2009.03.02 Mon 料理大会

---

パスタだったら食が進むという話を聞いたので  
さっそく昼はカルボナーラを作ってみる。

もったりまったりした味わいが気に入ったらしく  
「これはうまい！」と絶賛。  
よかったー。

料理がおっくうなときの保存食として  
母は、自家製カレーやミートソースを作っていた。

祖父母の家を出た帰り  
霧島に寄った。

母が前々から目をつけていたという  
27の泉源からお湯を引いた霧島ホテルへ。

ひなまつりということで  
日帰り入浴料がなんとタダ！  
なんてラッキー！

お風呂が何種類もあるのに、  
すべて温泉。  
混浴ゾーンは巨大なプールのように広くて  
そのスケールの大きさにびっくりした。  
女性しかいないのを見計らって  
ちょびちょび入った。

帰りはマッサージ機器の販売業者に  
呼び止められ  
なぜかこれも無料でマッサージタイム。

全身ほぐされて、帰途に着く。  
山道は霧が濃くてちょっとこわごわ運転。  
道路の脇にたたずむ鹿2頭を発見！  
かわいかったー。

## 2009.03.04 Wed ケータイ壊れた

---

ケータイのボタン操作が全くきかなくなり  
ドコモショップの人から「修理ですね」と言われた。

ただメールが1件来ていたので  
どうにかして確認したかった。

結局持ち帰り、あれこれ方法を練っていたけど  
らちがあかず1日悶々と過ごした。

iモード履歴確認という機能があって  
過去の受信履歴などわかることが判明。

これしかない！と思って申し込んだけど  
当日分は明日の12時以降にしかわからないという……。

あきらめて今度こそ修理に出した。

夜、メールの送信者がふと思い当たり  
その通りだった。

ホッとすると同時に、  
何時間も無駄にしたなとちょっと悲しくもあり。

今日から活動再開！

審査用書類を提出するんだけど

志望動機を日本語と英語の両方で出すようにと  
言われた。

悪戦苦闘してるけど楽しみながらやっている。

何が面白いかというと、

和文で作成した文章をそのまま直に英文にすると  
なんだかぎこちないし、硬い…のだけど  
受身にしてみたり、違う言い回し考えたり、と  
言葉で遊んでる感じ。

英語は嫌いじゃないんだなって改めて思った。

メールの和英訳を引き受けてたのも

役に立ったかな～。



知人から「良いよ～」と  
勧められていた小柳酒造のライブへ。

ギター・スティールギター・ウッドベース  
バンジョーの4人組「ロンサム・ストリングス」。

弦楽器だけのバンドで  
楽しめるのかな～と思いつつも足を運んだら

すごくいい！

それぞれの弦の音が溶け合い  
情景が浮かんでくる音楽。  
easy, but aggressive!

2部で共演した湯川潮音さんの声も  
よかったなあ。

ロシア民謡のようなトラディショナルな  
雰囲気が高音を生かした歌づくり。

楽しそうにダンスしたり揺れながら  
歌っている姿がcute！

知り合いのご家族も来てて  
そちらは湯川さん目当て。  
アニメソングを通じて興味を持ったみたい。

1ドリンクは、酒蔵ならではのメニュー！  
日本酒かお茶かコーヒー  
どれかを選べるようになってて  
やっぱりお酒（瓶入り）をチョイス。  
クルマで来てたので持ち帰り用…（せこい？）

たまたま隣に座ってた

カメラマンの娘さん（小学生）は  
なぜか「さきいか」を持ってる（笑）  
彼女からもらったさきいかをちびり噛みながら  
見たライブでした♪

結婚式のために

懐かしい歌をコーラスで練習することに。

松田聖子の「瑠璃色の地球」。

小学生のとき以来だわー。

2009.03.09 Mon 真似

---

こうなりたい！と思うアーティストの曲を聴いて  
なんども繰り返し歌えば  
少しはうまくなるだろうか？

フェイクは何度やってもうまくできん……。

2009.03.10 Tue 再会

---

かわいいRisaちゃんと。

高校の頃の塾の一つ後輩で  
今でも時々連絡を取り合っている。

結婚して3年くらいで  
いよいよ今月赤ちゃんが産まれることに！

おなかの大きなRisaちゃんと  
喫茶店でいろいろ話をして  
無事に送り届ける途中、

おばあちゃんが車の前に出てきて

何事?! と思いきや

「わたしを高木瀬（1キロほど先）まで  
乗せてってくれませんか？  
足が弱ってて…歩けないんです」

と言うので、まあ同じ方向だし  
「いいですよ」と言って  
なんの気なしに乗せたら

「助かりましたー、  
ありがとうございます、ありがとうございます。」

と何度も言うおばあちゃん。

どうやらバスを間違えて  
乗ってきてしまったらしい。

よろよろしてるし  
危害を加えられることもなさそうだと  
思ってたけど

Risaちゃんはちょっと怖がってた。

ごめんね～～～。

まだ就職のめどもたたないので  
改めてお金を大事にするようになった。

なるべく、外食せずにおうちでご飯。  
料理をするいい機会でもある。

作り始めると  
不思議と、キッチンに立つのが  
面倒じゃなくなって  
おいしいもの家で作ったろ～と  
思うようになるものだ。

2009.03.12 Thu 日にち感覚

---

「思い出して頭ン中を整理する」

↑日記をつけている理由のひとつ。

今日は危うく予定を忘れそうになってた。

日にちの感覚が鈍ってきてるなあと感じる。

それもそうだ……

まとめて思い出して日記つけてるのだから。



2009.03.13 Fri ケータイもどる

---

言われてた通り、10日前後かかって  
ケータイが修理からかえってきた。

ある日突然  
ボタン操作がまったくきかなくなる故障だったので  
中に入れてたデータ取り出すことはできず  
去年の5月からのデータがすべて消えていた  
(電話帳だけは修理前に移せたけど)

空になったケータイ・・・  
ちょっと寂しい気持ちになりながら  
あきらめつつ、何気なく操作してたら

ん？ん？？またボタンがきかん！

と、思うまもなく、カメラが勝手に  
カシャ、カシャと動き出すじゃーありませんか。

ボタン操作できない&カメラの勝手な動作。  
故障時とまったく同じ症状。

「しっかり確認してから  
返せばいいのにね～」

と母が憤慨しながら一言。

でもデータ消えた今は  
もう失うものは何もないので  
それほどイライラしなかった。

明日、また、ショップに行こー。

佐賀新聞文化センターの  
発表会へ。

ゴスペルのステージは  
やっぱり特別なものとして  
見てしまう。

長年講座に通っている  
男性のNさんや、  
FLASHのメンバーでもあるTちゃんが  
一生懸命に歌っている姿を見て

やっぱり長年続けてる人の中では  
何か新しい力が生まれてきてる！  
と感じた。

Yahoo!のサイトを見てたら  
いろんな人が登録してる  
料理のレシピがとても美味しそうだった。

<http://recipe.gourmet.yahoo.co.jp/>

見てたら  
カレー鍋というものを作りたくなり挑戦。  
いつもの鍋にカレールーを溶き  
+「牛乳」（豆乳バージョンも）を  
カップ1杯入れるのがミソらしい。

家にあるキャベツや  
にんじん、ごぼう、さといも・・・  
いろいろ入れて簡単にできあがり。

じいちゃんの妹が作るサトイモが  
ふわっと舌でとろけるくらいに  
美味しくて感動。

最後はチーズを入れて  
リゾットなんぞ作ってみたり。

それにしても、このサイト、便利だわー。  
家にある材料で何を作ろう??と迷ったら  
たとえば、「白菜 たまねぎ」で検索。  
すると、作れる料理が出てくる！

一人暮らしのときに欲しかった、この機能。。。。

## 2009.03.16 Mon レッスン

---

先生宅にお邪魔して  
今度28日にレストハウスかささぎで  
歌うための「Joyful, Joyful」の  
ソロ（2人バージョン）部分  
を見てもらう。

2005年のコンサートで歌って以来なので  
ちょい心配。

ハーモニーは話し合い固まったので  
後は声が出るように練習だ！

2009.03.17 Tue 面接

---

求人応募してた会社から  
朝、急に電話がかかってきて  
「11時ごろ、面接大丈夫ですか？」と  
言われた。

たちまち、あわてて履歴書準備。

履歴書を書くのにも、もう慣れた。

はずなのに・・・

資格の欄に書くべき内容を  
別の欄に書いてしまい。

やり直し！

もっと注意深くならなければ～。

2009.03.18 Wed 汗

---

久しぶりにスポーツクラブへ。  
サウナで汗を流してスッキリ。

…でもそろそろ仕事して  
汗を流したいなあ～。

## 2009.03.19 Thu 思い出のアルバム

---

現像しっぱなし&もらいっぱなしの写真を  
きちんと整理するという作業を始めた。

高校3年の時から今までの写真が  
ポケットアルバムに入っていたり、  
あちこちばらばらになってたり。  
なんと、それをアルバムに一まとめに。  
(高2までの分は、数年前に作った)

非常に大掛かりな作業なんだけど  
たぶん今しかできないだろうと思って。

時間がかかるのは  
いつのことだか思い出せない写真が  
いっぱいだから (やっぱり年の順にしたい)

特にFLASHの過去5回のライブ記念写真は  
ほとんど同じ黒ずくめの格好なので  
判断がつきにくいわけです。

でも、こうやってアルバムに  
一つ一つ写真を貼って行くと、  
この山を登った後は温泉行って…  
とか、改めて記憶がよみがえってくるのが  
なんだか楽しい。

自分の歩いてきた道を振り返りながら  
あのときの出会いや行動が  
「今の自分」をつくり上げてると感じたり。

正しい方向にばかり進んではいけない。  
でもそれも人生。

## 2009.03.20 Fri 合唱

---

土曜日のゴスペルの練習を繰り上げて  
本日金曜日に。

祝日の練習は  
気持ちの上でゆったりしてるせいか  
時間が過ぎるのが遅い、と感じる。

いつもは、  
「あ、もうこんな時間だ。」  
と思うのに、

まだ20分もある！  
状態だ。

夜は、佐賀女子高校の合唱部の  
定演へ。

1部、超難解な歌から始まり  
あ、こりゃ、今年は楽しめないかも…  
と思ってたけど  
2部のシューマンの合唱曲では  
ホントに切なくなるような  
きれいな旋律とそれに伴うハーモニー。  
ここで既にアンコールお願いしたかった。

誰の声も一人浮くことなく  
溶け合っているため  
目を凝らしていても、どの生徒が  
どんな声を発しているのかは  
わからない。  
静かで澄んでて清らかなハーモニー。

ソロ部分もかなり美しかった。  
相当訓練してるんだろうな。



最後はラテン音楽。

“ブラジル”などを合唱で歌ってた。

動きはオーバーではないけど

密かにダンス上手な人がいたので

見とれてしまった。

全体としては女声合唱の域。

もう少しダイナミックさがあれば

よかった。

アンコールは中島みゆきの“時代”。

これがまたよくて…

語りかけるような歌い方に

ジーンときました。

昨日、ドコモから電話がかかってきて  
ケータイの修理が終わりました～  
とのこと。

今度は「ボタンも取り替えて  
動作確認もしたので大丈夫でしょう」

とのことだけど…

朝、起きて操作しようとしてたら  
また…かたまってる！！

もうドコモに駆け込むのは  
3回目！異常事態じゃ。

また分割払いが  
1年以上も残ってるので  
なんとしてでも直してもらわねば～。

2009.03.23 Mon 就活真っ只中

---

希望に合う案件があったので  
4件応募。

ただいま書類審査、5連敗中。

これでインターネット上の  
求人情報サイト登録は6つにのぼる。

どんなチャンスでも逃がさないように  
してるんだけど  
ピンときてくれる会社がなかなかない……。

なぜか夢の中で

元気な頃の父に

今の母とわたしが会っている。

背景はよく覚えていないが

父は普通に元気で、淡々とした表情。

父のそばに行き、話しているわたしを

母は涙ぐみながら見ている。

父が長くは生きられないということを

わたしたちは知っているから。

夢から覚めて

特に辛いという感情もなく

ただ自然に涙が出てくる。

そういえば、昨日はお彼岸明けだ。

今日も元気にハローワークへ。  
時間ぎりぎりに行ったにも関わらず  
親身になって相談に乗ってくれる  
職員さん。

「まだまだこれから。  
へこまなくていいんですよ！」

少し焦りを覚えるときもあるけど  
危機感を持ちつつも  
わりと落ち着いて淡々と活動できてる。

そんな中、やっぱり  
ちょっとしたこんな一言で  
元気づけられている。

郵便局に向かってポーっと歩いてたら  
「かほちゃん」と声かけられた。

最初よく分からずにじーっと見てたら  
FLASHライブをよく見に来てくれる  
きょうこさんだと分かった。

だいぶご無沙汰してしまってるのに  
変わらない笑顔にホッとする。

知り合いの顔の判別もつかないなんて  
わたし、鈍いなあ…と思いながら  
ふと周りを見渡すと、

県庁前の桜は今が盛りと咲いている。

春が来たのに  
なんだか目の前のことしか見えてなくて  
少しさびしくなる。

願正寺の前も通ってチェックしてみた。

4月5日は、ここで夜桜コンサート出演。  
お願い、それまで咲いていて！

2009.03.27 Fri らんらん亭

---

致遠館の音楽部演奏会に行ったあと  
明日のソロ部分の練習。

夜桜花見には間に合わなかったけど  
2次会久々のらんらん亭にお邪魔。

猫の「たびちゃん」が  
でん！と玄関先でお出迎えしてくれた。

初めて&久しぶりの人々がたくさん。  
楽しい話がぼんぼん飛び出して  
みんなの反応の速さに  
感心することしきり。

こーせーやいはちゃんは  
相変わらず笑わせてくれるし。

みんな元気そうでよかった！

母の旧友が入院するので  
飼っているうさぎを預かってほしいとのこと。  
今日は、真っ白なうさぎが  
我が家にやってきました。

きちんとトイレシートや食べ物なんかを  
揃えてもらって、ケージも設置完了。

でもうさぎのみーちゃん（ミッフィー）は  
知らない家に連れてこられて  
怖がっているらしく

ケージにある小屋の中に  
こもりっきり。

生き物を飼うのは  
6年ほど前までいた猫以来だけど  
飼育係がんばります。



主食は牧草。

視力が0.05くらいしかない。

ほとんど鳴くことはない。

耳を持ってはいけない。

お風呂で洗わないように。

油っぽいものはあげない。

・・・うさぎについての  
にわか基礎知識。

初日はほとんどえさも食べず  
排泄した様子もなかったので  
どうなることかと心配したけど

今日は、草や果物なんかを  
もりもり食べて、もりもりう〇ちもしてたので  
母もわたしも安心。  
もう、ママとお姉さんになった気分  
うさぎと家族団らんを  
楽しんでいます。

よく鼻をひくひくさせて  
においを嗅いでますねー。

ホントのママを探しているのでしょうか。

2009.03.30 Mon 菜の花

---

成長すること

2009.03.31 Tue おこめちゃん

---

夜桜コンサートのチラシを取りに  
「ななこが」宅へ。

「おこめちゃん」という白い猫がいて  
まあ、なんてかわいらしいこと！

左右の目が青と黄色でとてもキレイなのです。  
玄関先で初対面したけど  
ぜんぜん人見知りしなくて素直でイイコ。  
やっぱり飼い主に似るもんだな～??

ピアノコンクールの付添いで、福岡へ。

アクロス福岡での九州大会。

生徒は自分の番になると  
番号で紹介されステージ真ん中のピアノへ。

そして、ひたすら皆同じ数十秒の課題曲を  
弾き次々と入れ替わる

…というのを各コースごと何百人も繰り返す。

審査するほうは大変だろうなと思いつつ  
でも、一人ひとり弾き方とか表現に  
差があって、見てる分にはなかなか面白い。

ピンクのふりふりドレスを着た女の子が  
衣装でかなり目立ってたけど  
演奏のほうも大人顔負けで感情たっぷりに  
弾いていた。

見かけ倒しじゃなく中身もすごいと  
思ってたら、やっぱり優勝しちゃった。

## 2009.04.02 Thu 電器店inJUSCO

---

電化製品を買うなら、  
大型電器店に行く人が多いと思う。

わたしもまず、ヤ●ダ電機やベ●ト電器に行く。  
安いし、ポイントつくし…

でも今日はちょっとぶらっと  
JUSCOの電化製品売り場に行ってみると  
意外に、こぢんまりしてて買い物しやすい  
ことが分かった。

しかも、びっくりするくらい安いものも。  
Micro SD cardがなんと、2Gで780円とか…。  
昨日、福岡行ったついでに寄ったビ●クカメラで  
1,780円で買ったばかりなんですけど。

JUSCOにあるのは  
どこでも見るようなメーカーのではなかった。  
品質に差はあるのかな～？

佐大医学部前の通りには、  
いくつかご飯屋さんがある。

パスタ屋、焼肉屋、ラーメン屋…

今日は、近頃気になっていた  
天ぷら屋さんへ。

天ぷらだけでなく、うどんもある。  
なんと、天井とうどんのセットで600円台という  
嬉しいお値段。

懐が寂しい者にとっては  
大助かり！

だけど、あまりお客さんがいないのを  
心配している。  
わりと遅い時間に行くせいかもしれないけど  
もっと早い時間（いわゆる夕飯時）  
繁盛していますように。

2009.04.04 Sat 志

---

この春から宮崎の大学に通うTちゃんが  
佐賀でのゴスペルの練習へ。

入学式はまだかと思ってたら  
もう4月の最初に済んで、しばしの里帰りだという。

大学ど〜お？と聞くと  
なかなか楽しそうな所の様子。

しかし、外国人の先生が8割くらいで  
授業は全部、英語！だそうなのだ。  
学生同士は日本語で話してるけど...とのこと。

日本人の先生もいて、サポートしてくれる  
そうなのだが、こりゃー鍛えられるだろうな。  
自分がもしそこの学生だったらと思うと...  
考えただけでも恐ろしい。

それにしても、ゴスペルを歌いたいから  
英語を徹底的に学べる大学に行き、  
練習のために佐賀に帰ってくるという  
Tちゃんの志はすごい。

もの静かな子だけど、内に秘めてる強さがあるんだなあ。

嬉野温泉の春のイベント出演。  
桜ウォークラリーの参加者の方々に  
ゴスペルを聴いていただいた。

着物を着た女性たちの踊りの後に  
ゴスペルを歌うという  
不思議な組み合わせだったけど、  
わたしたちの視線の先には、  
数人のさわやかな欧米人らしき人たちが...

彼らの目には日本のゴスペルグループは  
どういう風に映るのか？

などと思いながら歌い続けると、  
横のほうで、ノリノリの黒人女性が  
一緒に歌っている！  
どうやら別のグループのようだ。

「あなたがゴスペルシンガーでしょ！」  
と言いたくなるような体格とノリのよさ。

その本場のリズムにつられ、  
つついわたしたちもいつもと違うテンションに。

1曲めが終わり、彼女が視界から消えた。  
と思ったら、なんといつの間にか  
ステージに立っている（笑）。

一緒に歌を歌い（歌詞もご存知）、  
振り付けにもついてきて  
だいぶ盛り上げてくれた！

どうやらゴスペルを教会で歌っている方  
みたいで。  
いやいやホントに楽しかった！



終わってからお弁当と、女将さんから  
「生ビールが余ってるからいかが？」  
と、ビールまで頂きさらに幸せな心地に...

皆でシーボルトの足湯に行き、ちょぼんと足をつけていると  
一人おばあさんがいらして、またここでも心の交流を。  
福岡から娘さんと一緒に来たという。

歌を歌っているチームなんです、と紹介すると  
またここでも調子よく一曲披露することに。  
ア・カペラで歌った「さくら」は  
お風呂を囲んでということもあって  
気持ちよく音が響き... (笑)  
おばあさんも「来てよかった」と  
感激している様子。  
なんだかとても嬉しく心に残る出来事だった。

嬉野を後にし、  
夕方、願正寺での夜桜コンサートへ。

ななこが、かりゆし、  
それぞれの持ち味を活かしたライブで  
もうこのまま終わってもいいのでは、と  
いう頃、FLASHが最後の出番。

MCも任され、本日最高潮に緊張。  
歌自体、疲れも出てきていたかも。  
それでもすごく一生懸命に聴いてくださって  
それが何よりありがたかった。

- ・ 今まで働いてきた会社で、それぞれ学んできたことは？  
また、辞めた理由は？
- ・ あなたはうちの会社で何ができると思いますか？
- ・ 趣味は何ですか？
- ・ あなたの持ち味とは何ですか？

etc...etc...

今日の面接では、本当に一から十まで  
いろいろなことを聞かれた。

そのほぼどれもが基本的な質問事項だったけど  
すべて自分の中でまとめているわけではなく  
言葉につまる場面も。

面接を担当した女性の社長は、  
人を厳しく観察している、といった感じの人。  
それもそのはず、  
ビジネスマナーの訓練なども行っている会社だった。

だんだんこちらの形勢が不利になっていくのは  
明らかで（笑）

「Webの勉強がしたいなら、職業訓練行くといいわよ」  
「あなたにはTやW（フリーペーパー）が合うんじゃない？」  
などと、別の会社をすすめられる始末。

「結果は後日郵送でお送りします」  
と言われ、最後は、パーティーの後ろから  
全社員が出てきて、お見送りをしてくれた。

二度と行くことはないと思うけど  
なんかいろいろ勉強になった。

2009.04.07 Tue 落選

---

以前勤めていた所と同業種だったので  
書類を送ってみた会社。  
前職の会社とはいわばライバル関係にある。

数週間待たされた後、  
書類で落選した...

佐賀ではなかなか働かせてもらえません。

5年間続いてきた「まちおん」ですが  
今年開催を断念。  
今までみんなを引っ張ってきたAさんが  
昨年佐賀を離れて以来、  
実質上、まちおんは誰のものでも  
なくなりました。

そして、佐賀の街で地道に  
ミニコンサートなどを企画する  
ミュージシャンも増え、  
あえてたくさんの費用と人手を要する  
「まちおん」を開催する必要性が  
薄れてきたこともあるかもしれません。

それでも、「まちおん」って  
わたしにとっては大切なものです。  
佐賀の街に佐賀の多彩なミュージシャンの音楽が  
生で聴ける！  
ステキなイベントだと思っています。

課題は

- ・コンセプトをはっきり
- ・スタッフの充実
- ・一日だけのイベントに終わらない  
(何かを持続すること)

またいつかいい企画を提案して  
今度はしっかりやりたいと思っています。

某通販の会社で面接を受けた。  
小さな通りが多くて、方向感覚を失いながら  
なんとか到着した頃にはもう汗びっしょり。

一人、会議室に通され試験が始まる。  
まず...最初は30問ほどの計算問題。

- (1) 875
- (2) 593
- (3) 34

・  
・  
・

一問一問、数字のみが書いてあり  
「足して1000になる数字を答えよ」  
という問題だった。

30問もある中、だんだん  
頭がこんがらがってきて  
苦勞した。

そして、一般教養の問題。  
漢字の読み書きや英単語の試験  
税金の種類を答える問題も...

さらに、次は  
エクセルでの表作成。  
商品名の入力と、消費税を計算した上で  
表を作らなければいけない。

エクセルで計算ってどうするんだっけ？  
などと考えてる暇はなく  
アクセサリの電卓使用という苦肉の策に出たが  
痛いところをつかれた～と思った。  
平均なら求められるんだけど。

その後、3人による面接を受けたが  
感じがよい方ばかりで  
あまり構えることなく話げた。

だげど試験がなあー。

2009.04.10 Fri うさぎ帰る

---

2週間ほど預かっていたうさぎを  
とうとう飼い主が引き取りに来て  
飼育係の仕事は無事に終わりました。

わたしや母によってきて  
鼻でつんつんしたり  
ぐるぐる人の周りを回ったり、と  
なんとも愛嬌のあるうさぎで  
いなくなるとなんとなく寂しく  
なっちゃいました。

柱はだいぶかじられたし  
最後に、わたしのショルダーバッグの  
ストラップをガジガジ食って帰りました。

大和の韓国料理店へ。

スンドゥブ、海鮮チゲなど  
いろんな鍋の種類があり  
韓国人の方がやってるだけあって  
味も本格的。

柄の長い銀のスプーンで  
鍋のスープをすすりつつ  
ご飯を口に運ぶと  
なんだか幸せな気持ちになる。

いちばんおいしかったのは  
石焼ビビンパ。

卵がご飯や具材にからみ合って  
なんともまるやか。

隣にいた30~40代の女性のグループは  
おかみさんとも気心が知れてる様子で  
見るからに韓国料理フリークという感じだった。

でもうちも既に韓国化しつつある。

チョングッチャン（納豆が入った韓国鍋）や  
トッポギ（棒状の餅を甘辛く炒めた料理）を  
作る家庭はまだ日本では少なからう。



2009.04.12 Sun 15分

---

日曜日だけど、午前11時半からある会社の面接へ。

今日は早めに着き、5分前にドア前のブザーを押し名乗ると中に通された。

入るとすぐに椅子が用意されていてそこでお待ちくださいと言われる。

どうやら、奥でまだ面接中らしかった。

入口の絵が肩の回りが広く開いた服を着ている目を閉じた女の子の絵で、なんとなくほのぼのした気持ちに。

定刻になって、中に通されるとまず自己紹介をしてくださいと言われる。

そして、今まで手がけた作品などを見せて話すこと15分。

あっさりと終了してしまった。

余裕で1時ごろJUSCOに着き2時からのミニライブにも参加できた。

スーツ姿のわたしにメンバーが「面接、どうやった？」と何人も聞くけど、

筆記試験も何もなく、

これまで受けた中で最短で終わったため  
まったく結果が読めない。

「わからない」

としか、答えようがなかった。

本日は、あるIT関係の会社へ。  
先日受けたオンラインテストの出来が  
まったく良くなかったのに  
なぜか一次試験を通過したところ。

ドアを開けるとすぐロビーがあり  
既に3人ほど来ていた。

係の人は誰もおらず  
「定刻になりましたら参りますので  
しばらくそこでお待ちください」  
という張り紙を見て、  
一人の女性と同じテーブルに着く。

少し世間話をした後  
時間が来て、担当の方登場。  
中に通される。

従業員が黙々とパソコンに向かって  
作業をしている横を通り抜け  
会議室へ。

5人での集団説明会を受けた後、  
別の部屋での面接にうつる。

担当の方はしっかりしているが  
堅苦しい、という感じではない。

安心して話していると  
つい油断してしまい  
次の試験で集中力が散漫に。

ちょっと自己嫌悪で終わったけど  
よい経験だった、と思う。

ちょうど、博多で母も同窓会を  
やっている（同じ電車で来た）ので  
母の旧友の皆さんに挨拶。  
（ホテルでお食事中）

その後、  
「受けてみたいと思った会社、  
先週から掲載されてたよなあ。」  
早く申し込んでおこう...と思いながら  
ネットカフェへ。

一件、電話がかかってきた。

その場では取れずに  
後からかけなおすと、  
昨日受けた会社から  
「採用となりました」  
うれしい知らせが！！

よかった。  
ほっとした。

2ヶ月弱に及ぶ就職活動も  
ついに終結。

「捨てる神あれば、拾う神あり」  
だと、しみじみと感じた。

就職祝いと言って  
知り合いのマスターからお昼をおごってもらった。

マルフク→休み  
カゴシマ→休み

ことごとく目当ての店にふられ  
別のお店へ。

いろいろ選べてお値段もお手ごろ。  
店内からの景色もよかった。

マスターは  
「お客様は神様」  
という考えに疑問を持っているようだ。

禁煙と言っているにもトイレでタバコを吸ったり  
店で騒ぐのはいいけど外に出ても大騒ぎしたり  
そんな客には止めてくれとハッキリと言うとのこと。

客が店を育てると同じように  
店も客を育てるし、

客が店を選ぶのと同じように  
店も客を選ぶ権利があるのだと。

確かにそうだ。

でも、やっぱり  
おもてなしをする立場は  
お客様の気持ちを逆なでするような  
ことはあってはならないと思う。

気持ちを伝えつつ  
あくまで相手の気持ちは尊重する。

そうすれば、きっと  
大喧嘩になったりすることは  
ないと思うのだ。

今日、聞いたことでうれしかったのは  
こんな話。

わたしの前の職で後輩だったMくんが  
マスターの店のチラシを担当したという。

言ったことをきちんとこなし  
相手の立場に立った営業をしてくれる、と。

Mくんはまだ若いけれど、  
年上の者が彼の姿に教えられることが  
たくさんある。

小学校時代からの友人Kが  
ピラティスの練習台になってほしいと  
家にやってきた。

身体の動きについて  
また面白いことを教わった。

腕を横に広げるとき  
腕はどこから動かしてる？  
との問いに

「腕の付け根！」

と答えるわたし。

でも、鎖骨に手を当てながら  
再度、片腕を広げると  
鎖骨が動いている。

なるほど、こんなところから  
影響してるのねー。

ピラティスは、  
身体の動きは、単なる一部分ではない  
いろんな所で行っている。  
そのことに意識をおいて、動かしていきましょう、  
というような考え。

身体の軸も重視している。  
左右のバランスをよくし  
ゆがみをなくすため。

自分の右手が左手に比べ硬いことがわかった。

昨日のピラティスが効いたのか  
朝、10時まで寝ていた...

話は変わって  
目に見えないものの力について。

世中にはいわゆる「気」というものがあるらしい。

ゴスペルメンバーのIさんが  
ある治療を受けたところ、  
一度でぎっくり腰が治ったことや  
痛かった腕が上がるようになったことなど

半信半疑で聞いていた。

だって、その先生は  
身体には何も触れず  
患部のそばで、指を鳴らすようなしぐさを  
したり、患者に「治りました」と言葉で  
言わせたりするだけ・・・というのだから。

そういう体験をしたことのないわたしは  
なんだか不思議だけど、  
そういう目に見えない力ってあるのかな、  
という気はしている。

ただ、今日、目の前で母が  
由緒ある神社の鈴つきの棒でお祓いのようなことを  
されていると、ついつい笑ってしまった。

まだまだスピリチュアルなものを  
理解するには至っていない。



2009.04.17 Fri 誕生日

---

ななこがのライブ at B-Shuffle

相変わらずななちゃんの声はよくて  
「仮」のタイトルで新曲も披露してくれた。  
月のなんとか（ワルツ）、よかった♪

お客さんに誕生日の人がいることがわかり

ななちゃん：「誕生日の歌など歌えたらいいんですが...  
持ち合わせていないので...」

おじさん：「ハッピーバースデートゥー...！」（超有名誕生日曲）

ななちゃん：「...ですよね～。こぶしきかせて歌いますかぁ～」

そして、ななちゃんは  
誕生日の方のために「童神」を歌った。  
わが子の成長を祈りながら  
沖縄で子守唄としても歌われる、この歌。

誕生日を祝うって  
その日をただ祝うだけじゃない。

ななちゃんの“童神”を聴きながら  
その人の産まれてきた頃に思いを馳せるとともに  
なんだか「人生」を感じた。

お母さんに抱かれあやされている赤ちゃんが  
だんだん大人になり・・・

っていう生きてきた軌跡がコマ送りで  
見えてくるんだから、  
ほんとにななちゃんの発想のしなやかさに感心。

前の職場を離れた人の「卒業」式。  
元同僚同士で。

たくさんの社員がいた前の職場では  
今年も人が辞めたり入ったり  
いろんな出来事に事欠かなかったり。  
というわけで話題も尽きず・・・

18時から始まり  
2次会が21時くらいから始まったけど  
千鳥足で家に着いたのは1時くらい。

いろんな話を聞いているうちに  
過去のつらかったことなんかを  
思い出してきて、たいへんだった。

悪酔いもいいところ。

2009.04.20 Mon 入社

---

9:30に来てくださいと言われ

9:10頃に到着すると

あれ、ドアが開かない。

どうやら誰もまだ来ていない様子。

曜日間違えたかな、それとも…

と少々不安になりながら待つこと数分。

ようやく社員の女性がみえて、ほっとした。

出勤してくる数人の方々にご挨拶した。

朝礼も紹介も別になし。

社長は出張中。

皆さん、もくもくと仕事に取りかかる。

でも雰囲気は悪くなく、親切そうな人ばかり。

面白いなあ、この会社。

なんて考えるも束の間

若い男性社員がマンツーマンで

これからやる仕事を教えてくれた。

覚えること、いっぱい！

すぐには要領を得ず、初日でも8時まで残業。

新入りだけど扱いはもう普通な所もあり

なんだか不思議な感覚。

とりあえず……勉強しなくちゃ。

## 2009.04.21 Tue 歓送迎会

---

今日は出張から帰ってきた社長や社員さんが加わって  
7人が揃い、歓送迎会を開いてくれた。

社長9：社員1くらいに社長の話が  
大きなウェイトを占めていて  
みなさんよく聞いている感じ。  
なんだか大人の会社だなあと思った。

敬語や仕事用の話し方って  
普通にできていると思ってたけど  
ここにくると、自分の言葉遣いが  
いかにいい加減かわかる（笑）

わたしはもうすぐ辞めてしまう社員の方と  
向かい合わせだったので  
合間に少ししゃべった。

出会ったばかりの人とすぐにお別れなんて  
しかも唯一の女性社員だったので  
さびしく、心細い。

仕事が決まっていなかった頃に  
小学校時代のクラスメイト3人と担任の先生とで  
同窓会をしようということになり、  
仕事が終わってから駆けつけた。

2時間近く遅れたのに待っていてくれて  
久しぶりの再会を果たすことができた。  
中には20年ぶりくらいに会う友達も。

担任だった先生がなんと校長先生に。  
あの頃子どもだったわたしたちが  
こんな大人になった姿を見るのも  
先生にとって感慨深いだろうけど、

今のわたしたちの年（32歳）だった担任が  
50歳を超え、自分たちとこうして同じ場所  
お酒を飲んでいるなんて  
そこに歴史が感じられて嬉しくなるのだ。

12歳の頃、不思議とクラス全体が  
うまくまとまって、認め合えてたような  
気がする。  
久しぶりなのに、そうじゃないような  
安心感があるのは  
きっとそういう仲間だからかも。

校長になったとはいえ、  
先生は相変わらずひょうきんで  
笑いが絶えなかった。  
しかもお財布を忘れてくるという  
技を披露してくれた・・・

今日、3人に会うと決まったときに  
思いついたのが、  
弓削田くんのCDを皆に

プレゼントするということ。

なぜかどうしても聴いてほしかった。

なかなかテレビを見るのが少ないので  
たまに通勤途中ラジオを聴いている。

お気に入り  
パーソナリティ陣と音楽が自分好みということから  
やっぱり「Love FM」。

鳥栖あたりからよく電波が届く（苦笑）  
大和～中原あたりは…。山のせい？

DS「英語漬け」のおかげか、  
英語のニュースも少しずつ聞き取れるようになってきた。

たまたま、今朝はアンジェラ・アキがゲスト。  
ゲストが好きなミュージシャン“ベスト3”をやっていて  
興味深いなあと思いながら聴いていると  
彼女はその人にしかない個性的な声に魅かれるらしく  
（ズルイ声、と表現していた）

3位…中孝介  
2位…Ben Folds

そして1位は  
Sarah McLachlan。

2位と1位はなるほど～とうなずく。  
Ben Foldsは新アルバムでも共演してた  
くらいなので。

3位の中さんは意外…というか  
ほとんど聴いたことがないので  
そのズルイ声を試しに聴いてみようかな。

わたしにとってもミュージシャンの「声」って  
ホントに重要なポイントで、

第一に「声」、第二に「曲」、第三に「詩」と  
言ってもいいくらい。

ちなみにわたしが「ズルイ声」のミュージシャン  
あげるとすれば

Annie LennoxとEddi Reader。

ハスキーでどこか屈折したようなAnnie Lennoxの声と  
甘いけどドライ、そして奔放で心地よいEddi Readerの声。  
玉置浩二の声も好み。ちょっとLennoxに通じるところが  
あるような。

大学の先輩であるConyも

太陽を感じさせてくれるようなあたたかく奔放な歌声。

どうしても洋楽寄りになってしまうのは

「これだ！」と感じさせてくれる好みの声は  
日本人の中ではなかなか見つからないから。



今週与えられた仕事に  
旅館のメニューや優待券のデザインが  
あるのだけど...

なかなかOKにならず  
修正が返ってきては  
直すという作業をしてたら  
夜も更けてしまった...

仕事を片付け、  
上司と二人で最後に会社を出る。

向かう先は近くのダイニングバー。  
一足先にあがった社員の方たちが来てて  
今日で退職される先輩の送別会と称し  
飲んでいた。

普通にわたしも数に入れられていて  
今週入ったばかりとは思えないほど  
自然体でいられるところがありがたい。

手にはギター  
口にはカズー  
背中にドラム...

ほかにもタンバリン、シンバル、シャボン玉・・・  
とあらゆる楽器等が装着されていて  
決まった身体のパーツを動かせば  
音が鳴るしくみになっている。

ななこがの古賀くんが  
今日はこの姿でてらおんのオープニングを  
務めたが、まったく面白い！

みあ～げて～ごらん～と  
調子っぱずれ（失礼！）の元気な歌と  
パーカッションが妙にマッチしている。

ビッグバードのようなお友達まで  
とぼけたようにゆらゆら揺れている。

やっとお目にかかれた  
「フーミン・ワンマンバンド」は  
想像以上に愉快で  
思い出すだけでなんだかおかしくなる。



久々に叔母の家へ。  
行く途中にミニストップで  
エクレアとシュークリームを買った。  
(20円引に惹かれ)

ピアノコンサートのチケットを受け取り  
家の前で立ち話したり  
飼っていた猫が逃走したので  
追いかけてたり

さあそろそろ帰ろうかという頃  
エクレアかシュークリームがあったのを  
思い出して、  
どちらか食べる〜?と聞くと  
「じゃあ、エクレアもらおうかな」といい  
ちょっと待ってて、と

叔母が奥から持ってきたのは  
なんと花畑牧場の生キャラメル。

北海道の物産展で買ったらしいが  
わたしはもういないからー  
と叔母さん。

え〜、いいの〜と言いながら  
ありがたく頂戴することに。

エビでタイを釣った気分で  
嬉々と自転車を走らせて家に帰った。

会社に着くと

また、まだ誰も出社してなくて  
鍵が開いていない。

仕方なくトイレに入って洗面台に  
荷物を置くと、

わたしのパンパンのバッグは  
バランスを崩し、流しのほうへと  
倒れていったのだった。

そこで蛇口のセンサーが反応し  
わたしのバッグの中めがけて  
どんどん水が注がれていった...

中に入っていたのは書類や手帳  
そして、携帯電話などなど。

まず一番に携帯を心配する。  
お？水にまみれているけど  
拭き取れば大丈夫そう・・・

と表面の水を拭って  
そろそろ会社も誰かが来て  
普通に業務に入った。

ところが数時間後、  
なにやらケータイの調子がおかしい。  
まさかと思って内部を開けてみると  
水滴は中まで浸入していた！！

電源を切り、電池を抜き、  
とにかく乾かす。

あー。

あの故障から1ヶ月もたっていないのに

なんて受難のケータイなのだろう。

昼休みに近くのドコモショップへ。

水に濡れた場合、修理はできませんよ～  
と言いながら店頭でお兄さんがわたしのケータイを  
触ると、普通に電源が入った！

1日置いて乾かしたのがよかったのか？？  
わからないけど、

「このまま使い続けると  
基盤が錆びてきちゃう可能性もあります」  
とお兄さん。

修理はできないということなので  
とにかく礼を言って持ち帰った。

何はともあれ  
まだ1年しか経っていないケータイが  
数々の苦勞を乗り越えて  
復活してくれたのだから  
このまま生き続けてくれることを祈る。

夜はまちおん会議。  
また仕事で遅れ、着いたころには  
今後の方針が固まったようだった。

街から音楽の発信、も  
ちょっと「ひと呼吸」。

佐賀警察署の隣の広島風お好み焼き屋さんへ。

ここのお店は飲食500円ごとにスタンプがたまるしくみ。  
10個になったら500円分の割引券になる。

当然、人と行くと1度で2～3個ほどはたまり  
10個たまるのにそう時間はかからない。

お好み焼きもおいしいし  
今日はそば飯を頼んでこれもいけた。  
新たに始めたたこ焼きもいただき  
これがまた美味。

いつも行くたびにメニューが増えて  
サービスも多く  
こっちはかりいい思いをしてる気がするのだけど  
果たして利益は出ているのか？

いつも心配になる。



**2009.04.30 Thu 別れ**

---

パートの女性も一人退社。

ほとんど仕事の時は  
話せずじまいだった。

最後にあげるお花を選んでいたら  
昼休みが終わってしまいそうに。

流されているだけではなく  
目標を持って動くこと。

2009.05.01 Fri 思い

---

連休前で忙しさが爆発！  
結局、終バスで帰ることになったが  
上司と帰り際にいろんな話ができる。

最年少なのに態度が大きい、と  
からかわれている人だけど  
ホントはきちんと周囲に敬意を払っているのがわかるし  
自分でも、周りの人のことを尊敬している、  
すごいと思う、と語っていた。

会社の人に対して尊敬の念と  
感謝の気持ちがすごくある。

感謝の気持ち。  
わたしも最初に感じたこの思いを  
大事にしていきたい。

そして、この居心地のよさに甘えず  
得意分野を伸ばしていきたい、と思う。

周りの指示ばかりに頼らず、とにかく自分で  
やってみる。

父の実家は、おもちゃ屋。  
わたしが生まれる前から営まれているが  
人手が足りず初めて叔母から手伝いを頼まれた。

朝9時に着いて、お手伝い、お手伝い...  
と真面目にお仕事スタート。

まず、縁日とかでよく見かけるビニール製の動物を  
ふくらましてた...  
まんべんなく足まで空気入れて、と  
そろそろかなと空気入れのスイッチを切ろうとしたら

「ぱーん！」

大きな音がして、かわいいワン子が  
背中からぱっくり割れてしまった。  
無惨。修復不可能。

聞くと、卸価格で¥400いくらかするらしい。  
ひえー。やっちゃった。  
空気入れすぎ~とのこと。  
明るく許してもらえたが、なんだか不安な滑り出し。

気を取り直して、次はお菓子の袋詰め。  
5種類のお菓子を一つずつ計50袋のビニール袋に詰めていく。

これは、OK。  
「兄ちゃんより速いやん」とのこと。

去年の夏は兄がしばらく手伝っていた。  
兄は見た目にも美しく丁寧に詰めていくんだらうな  
と想像できておかしかった。

あとは、勝手にPOPもどきを作ったり、  
お客さんの対応、などなど。

接客は難しい。うまくしゃべれない。  
最低限のやり取りだけになってしまうことも。

しかし、久々の客商売はなんだか新鮮な気分。  
ウルトラマンエースや仮面ライダーの凧や  
（古いタッチの絵！）  
スケバン刑事のヨーヨーなんかも...

としっかり商品チェックもして  
次に備えた（次、あるのか？）

2009.05.03 Sun のんびり

---

先生・路子さんと七山へ。

大和を過ぎ、古湯を抜け、建設中のダムを見ながらの  
快適なドライブだった。

きれいな道路になったもんだー。

GWというのに、前にも後にもクルマ、ゼロ。

全然、混んでない！

朝それぞれが作ったおかずやお弁当を持って行って  
物産所近くの公園で食べた。

水遊びに格好の川があり

すっぽんぽんで泳いでる子どもも！

ちょっとまだ早いよ～

なんて余計なお世話だったみたい。

すごく楽しそうな声が聞こえてきた。

温泉も物産所も程よい混み具合で  
のんびりした休日だった。

自然の多い場所に行きたいね、と  
意見が一致して七山を選んだけど  
大正解。

それにしても、

自然の多い所を欲するなんて

今まであったかな？

自分の中で

バランスをとりたがってるのかも

なあ。

誰かが奏でる音楽には  
美しさがあったり  
楽しさがあったり  
思いが伝わったり。

そんなものを期待してLIVEに足を運ぶのだが  
少なくとも自分にとっては  
心が動く「音」ではなかった。

音楽の趣味のハバはそんなに狭くないはずだけど  
まあ、単に気に入らなかったということ。

## 2009.05.05 Tue 披露宴

---

昨日の雨とはうってかわってきれいな青空。  
今日はFLASHメンバーのいとこの結婚式。  
余興として歌で参加。

全然、新郎新婦のことは知らなかったけど  
出席者の友人や親戚を見てると  
新郎新婦の「人となり」が想像できるのが  
なんだか楽しい。

今日の新婦友人たちはヒョウ柄の衣装を着て  
7～8人で余興をやっていたけど  
一人ひとりがすごくにぎやか！

全員が同時に何かをしゃべってる感じで  
わたしたちはそのボリュームにびっくり（笑）

新婦もきつとめっちゃ明るい人なんだろ～。

披露宴も大宴会状態。  
歌なしでもいいんじゃない？と  
後から思った（笑）

2009.05.06 Wed 墓参り

---

叔母と一緒に、父・ばあちゃん・じいちゃんの墓参りに。

浄土真宗のお寺で、

「まず本堂にお参りしましょう」と  
札が立っているけど

お寺のワンちゃんも、  
山門をくぐってやってきた私たちに向かって  
ほえて大騒ぎ。

叔母によるといつもなんだそうだ。

そして、いつも  
お参りを終えて本堂を出るころには  
なんのことはない、静かだ。

最初にほえるのは

「おい、こら！お参りしていけよ～」  
の合図かな、とも思う。



2009.05.07 Thu 靴

---

こないだ七山の帰りに買った  
ヒール低めのお仕事用の靴

今日、連休明けの仕事に早速履いて行ったけど  
長時間歩いてみて初めてわかった

甲を覆う部分が狭くて  
ちょっと支えが足りない…

足を楽にとヒールの低さばかりに注目して  
履きやすさのチェックが甘かった！

人生でも目先のことばかりに囚われて  
日常の大事なものを  
見落としていることがある

うちの母はおしゃべりだ。  
どこからそんなに話題を持ってくるのかと  
感心するほど、ご飯を食べてるときも、出かけるときも  
よくしゃべっている。遠くにいてもよく聞こえる声で。

「たくさんしゃべる人は  
声がよく通る傾向にある」。

最近、ちょっとそんな仮定をたてている...

電車やバスのようなある空間の中にいて、  
誰かの会話が自然と耳に入ってくる。

何席も離れてるのになあ～  
なんて思っていると

聞こえてくるのは同じ声ばかり。  
一人がずっと熱弁？していることが多い。

思ってることをはっきり伝えよう  
という意識が強く、それが声となって  
言葉の量と比例して現れる  
(無意識に、かもしれないけど)

なんて、勝手な推論だけど。

声の通らない自分してみれば  
見習うところも多くて。

仕事で行けないから、と  
叔母から吉富久美子さんのピアノリサイタルの  
チケットをもらったので  
代わりに聴きに行ってきた。

まさに現代音楽。

ふだんよく耳にするメロディのある音楽とは違う  
ちょっと、つかみどころのない世界。

でも、よく聴いていると  
水だったり雨だったり、対象物そのものを  
音として表現しようとしているのがわかる。

メロディに置き換えるよりも  
ずっとリアルだ。

普通にしっかりした旋律をたどる音楽を  
ミックスジュースとしたなら、  
現代音楽は、生ジュースなのかもしれない、  
と思いつかぶ。

かと思えば突然現れる不思議な美しさの和音に  
惹きこまれてしまう

新鮮でした。

天国の父も喜んでいることでしょう。

ひと月前に我が家に預けられていたうさぎ。  
また一時預かりをすることに。

前回は一日目は  
小屋にこもりっぱなし  
ご飯も食べず、う○ちもせず  
たいへん心配した。

「ここどこ〜？」

と言わんばかりに  
初めての場所におびえていた。

最後は、もううちの子みたいに  
くつろいでたけど。

そして今日、  
着いてしばらく経ったら  
目は生き生き、動きも機敏。  
小屋では手足をだら〜んと長く伸ばして  
おくつろぎの様子。

ここで過ごしたこと  
覚えてるんだなあ。

おなじみの広島風お好み焼き屋さんからはがきが届いた。

「3,000円分のお好み焼きを30分以内に食べた方は無料！さらに金一封進呈5月31日まで」と書いてある。

ただでさえ大きくがっつり系のお好み焼き。それを3人分は超える大きさなんて...想像しただけでお腹いっぱいになりそう。

なんて話をラーメン屋さんでしたら、偶然、そのお好み焼き屋の店長が現れた！

ついでに聞いてみると既に2人が30分以内に完食したそう。見るからに大食いそうな体つきの人？いやいや、どちらかという痩せ型の人...なんて話をしながら

本人（店長）も大柄ではないのにラーメン、ご飯、ぎょうざを次々と平らげていった。替え玉も2回おかわり？という気持ちよい食べっぷり。

それを見ていてお好み焼き屋の仕事もケッコウ肉体労働なんだなーと思った。

身体使う系の早食い・大食いの人  
超特大お好み焼きチャレンジしてみては～

2009.05.12 Tue もし

---

最終便のバスで帰って  
遅い夕飯を家で食べていると  
わたしと母の周りをうさぎがうろうろ、うろうろ...

二人でしゃべっていると  
アタシもまぜて～と人に乗っかってきたり  
鼻でツンツンとつついたりする。

とにかく人なつっこい。

母が、  
「もし、あんたがしゃべれたら  
いっぱいおしゃべりするんだらうにね～」

と可愛い仮定を立てていた。

うさぎは声帯が退化してるから  
泣かないのだそうだ。

人に寄ってきて鼻でツンツンとつつくときは  
「なでて～！」のしるし。

ケージに閉じ込められてるときは  
金網をガジガジと噛んで（それはすごい形相で）  
「出して～！」と訴える。

動物とはしゃべれないけど  
しぐさや感情表現にいちいち反応しながら  
心の交流？を楽しんでいる。

2009.05.13 Wed 初出張

---

朝から、某宿泊施設にこもりっぱなし。

次々と業務をこなしていく上司たち3人を見ながら  
よくこんなに集中力が続くものだと感心した。

自分はというと

ボーっとしている暇もなく

ある一つの仕事を任され、

あーでもない、こーでもない、とやっていたが

精神面でも技術面でもまだプロには至らない。

朝から栃木へ向かう。

羽田で上司2人と合流して  
栃木方面へと向かっていたんだけど  
乗り換えのたびに切符を買うわたしを見て  
「Suica持ってないの？」  
と社長が一言。

九州の人間だけど、  
出張の多いわが社の社員は  
みんなSuicaで改札を出入りする。

東京ではそれほどまでに普及してるのかぁ。  
改札にはほとんどSuicaのタッチパネルが  
ついている。

初出張で、上司もわたしもそこまでは  
気が回らなかったから  
「持ってません！」と言うと  
社長自ら『モノレールSuica』を買ってくれた。

初Suica。

これで、JRも地下鉄も自動改札に  
タッチするだけで乗り越しができる。

財布に入れてても反応するのに  
裸のSuicaを取り出して  
直にタッチしていた超初心者であった…。

しかし、便利！

「Suicaのおかげで切符を買わなくて済むけど  
短縮できた時間って、  
いったい何に活用してるんだろう？」



去年横浜に行ったときの  
淳子の言葉が改めて興味深い。

仕事においては  
根拠を示すことが  
相手を動かす力になる

根拠が不足しては  
説得力に欠ける…

ということで  
出張先では夜2時まで  
こもりっきりで事前の打ち合わせ。

思いつきだけではだめなのだ  
と徹底的に教え込まれた。

鍛えられています。  
働き盛り32歳、がんばります！

佐賀総合運動場での  
NECグリーンロケッツと九電ヴォルテクスの招待試合。  
ラグビーを生まれて初めて観戦した。

NECで活躍する先生の次男を応援しようと  
ゴスペルメンバー大勢で乗り込んだのだ。

わたしも含め4人ほど初観戦で  
せめて最低限のルールくらいは・・・と  
事前に路子さんが動きつきで解説してくれて  
ちょっぴり理解。ほんのちょっぴり。

細かいところまではよく分からん！

とにかくトライを決めるために  
1個のボールを奪い合っていく様子を  
じーっと観戦していた。

同じ形態でのパス回しなどが多かったので  
あー、それぞれの役割と定型があるんだなあ  
思いながら観てたのだが  
なかなか前に進めない。  
そして何度もスクラムのやり直しも起こって  
なんだかじれったい。

でも一瞬のチャンスを逃さずきちんとトライを  
決めたときはやっぱり喜びが大きい。  
そして、あんな蹴りにくそうなボールなのに  
きちんとゴールを決めたときも感激！

40分×2はあっという間で  
グリーンロケッツが17対7で勝利。  
大差ではないけれど勝ってよかった～

なんだかよく分からないけど

また観たいと思う。

最後はみなサイン会にしっかり参加。

先生のご息子は試合直後で疲れてるにも関わらず  
笑顔で記念撮影にも付き合ってくれた。

なんて男前なんだ～。

オフの日。

自分の時間を好きなように  
使える日。

...のはずなのに、  
常に何かに追われているような

そんな気がして  
心の底から安らげない。

人と一緒にいても  
つい時間を気にしてしまう。

わたしのスイッチは  
オンともオフともつかず  
中途半端なところをさまよっている

「オフは休むべき」なんて  
な〜んか、結局そんな「義務感」が  
ネックなのではないか??

2009.05.18 Mon 今日はここまで

---

月曜日だから、早めに帰ろう、と言って  
みんな8時ごろには帰る仕度を始める。

こちとら、仕事が残っている！  
どうする、どうする…？

あ…まだ鍵を持ってないから  
一人残業できないんだった！

ということで、帰る。

理想としては、

1. 仕事を時間内に終わらせて定時に帰る。

だが、

それができなければ

2. 仕事を持ち帰り、家でやる
3. 残業する

のどちらかだが、これらは  
二の次にしたい。

やっぱり1！どうにかして  
スピード感をつけていきたい。

2009.05.19 Tue ?

---

もし、パン屋さんが  
バンドを組むことになったら  
ぴったりの名前↓

「イースト・キングス」

## 2009.05.20 Wed おでん屋オープン

---

佐賀駅北口を出て右へ進んだ所  
(ラーメン“ビッグワン”西隣)に  
小さなおでん屋さんがオープン。

コーラスをやっているメンバーのお店で  
以前は、そばで「ほとむらいん」という  
中古CD屋を営んでいた。

GWの5/2にオープンしたばかり。  
2日目にお腹をすかせた者同士で行ったら  
当たり前のように、おでんしかなく(笑)  
…おでん三昧。

前日の夜から仕込みをしてるというだけあって  
味がちょうどよくしみてて美味しい。  
トマトのおでんやねぎ袋といった  
「変わりおでん」も。

昨日、会社帰りに寄って見たら  
偶然、前の会社の上司と会い、つつい長居。

飲食業は初めてのはずなのに  
ご主人と奥さんとの会話は自然でラク～。  
一人でも気軽に立ち寄れる雰囲気がいいな。

17時～23時まで。



うさぎの主食は「牧草」です。

うさぎが我が家に来たちょうどその日は、  
コタツから夏用のイ草マットへと  
模様替えをしたばかり。

牧草大好きな彼女は  
我が家のイ草マットもこのように  
食べまくりました。



きっと、美味しかったことでしょう。  
今日、無事に飼い主とともに  
帰って行きましたが  
マットごと、全部あげればよかったかな～。



歓迎会に行った先で  
出される料理があまりにもすばらしいので  
わたしが記録係に。

民家の中で1組限定でやっているお店。

近江こんにゃくやテーブルクイーンなど  
今までに見たことも食べたこともない食材が  
いろいろ出てきた。

素材の味を引き立たせる調理法、女将さんの説明も丁寧で  
食事って工夫次第でこんなに楽しいものなのかと  
感動の連続でした。

写真、うまくなりたい。。。





2009.05.23 Sat 昼も夜も

---

隣の部屋で奏でられる  
完成形とはいえないピアノの音を聴いていた。

ピアノの音って人それぞれ。

滑らかな指の動き、  
ほどよく力の抜けた優しいタッチが  
やはり心地よい音となるのだろう。

仕事やまちおん広報でお世話になった  
ソエジがめでたく結婚！

結婚式2次会にお祝いに駆けつけた。  
会場のバーには仕事・デザイン・友人関係など  
多彩な顔ぶれが。  
ライブや話で盛り上がり、みんな思い思いに  
過ごしていたけど、それがすごく自然でいい感じ。  
改めて、周りに大切にされるキャラだなあと思った。  
二人の幸せそうな姿が見れてよかった～。

司会進行を務めたのが  
友人のChachaiさん。

道ばたを歩く人の靴を描くソエジと  
パーカッションをやっているChachaiさん。  
共通項がなさそうなのに  
路上で知り合った縁で今の二人がある。

なんだか縁って面白いなあ～と思いながら  
Chachaiさんの進行を楽しんでた。  
飲んでるのにきちんとしてて感心…

ミュージシャンが演奏している間  
一生懸命聴いてるソエジや奥さんを  
見ながら、もうず～っと幸せでいてほしいなあ、と。

電車やバスで通勤していると  
ピーク時の  
席の独り占めはどうにかならんかな、と思う。

電車もバスも二人がけなのに、  
一人で座って横にバッグを置く人が必ずいる。

座れずに近くに立っている人が  
見えていない？

早い者勝ちだよ、っていう勘違い？

最近では、バッグが置いてあっても  
「隣、空いてますか？」  
と言って空けてもらう人もよく見かける。

でも、占領したまま寝ている人は  
起こしてまで座りづらい。

JRの人は、寝てても「席空けてください」と  
促すけれど

もう分別のありそうなおじさんやおばさんが  
無関心そうな態度だと  
どうしてー？と疑問に思ってしまう。

日曜日は、わたしが通ってた小学校の運動会。  
運動会ってこのごろは春にやるんだな～  
と横目で見ながら通り過ぎてると  
運動会を終えた女の子たちが  
体操服のまま下校してた。

体操服のボトムは  
男の子と同じショートパンツ。  
とてもうらやましい。

自分の小学生時代といえば  
どうしてもブルマ姿を思い出さずには  
いられない。

ブルマがイヤだったのだ。

ブルマ姿で地面を見下ろすと  
まず最初に目に飛びこんでくるのは  
自分の足の太さ。  
足の付け根から「でん！」と伸びた  
モモを見るたび、  
小学生ながらため息をつきたくなったものだ。

しかも小学校のイメージカラーは、緑！  
だからと言ってブルマまで緑に  
しなくてもいいだろうに……。  
余計に強烈な思い出だ。

なんで昔は、  
女の子はブルマだったんだろう？

それにしても  
今の子は、足が長くて細い子が多い！  
あんな足なら  
きっとブルマも似合うのにー。

なんのためにこの仕事をしているのか

なんのためにこの話をしているのか

なんのために歌っているのか

狙いは？目的は？

なんのために、なんのために...

そんなことをあえて考えるようにした

いかに普段、自分が意志のない

生活を送っているかが分かる

考えることによって

だんだん進むべき方向性が

見えてくるような気がする。



これからオープンするビアガーデンの視察へ。  
仕事で、です。

健康志向の人も増えてるから  
サラダやさっぱり系メニューを増やした方が  
いいですよ、  
なんて、改善策を立てたりしますが…

ホントのところ、どうなんだろう？

屋上にちょうちん、電飾…  
白い簡易テーブルに、パラソル。  
おつまみはポテトや枝豆等カンタンなもの。

自分としては  
この昔ながらのビアガーデンの姿に  
むしように血が騒ぐのです。

昔は西友の屋上にもあったなあ。

料理は二の次で  
やっぱり生暖かい風に吹かれながら  
ビールを飲む、なんともいえない  
開放感がいちばんの醍醐味…

と本心では思います。

**2009.05.29 Fri 叱られて**

---

出張から帰ってきた社長に  
今日は初めてきつく叱られました。

何かしたのかって？

いいえ。

「何もしてない」から  
叱られたのです。

自分のペースで仕事をするなど  
言われました。

ホントにそのとおり。

「のんびり」は仕事の上では  
卒業しようと思います。

そして重大ニュースが。

群馬へ3か月ほど出張に行くことになりました。  
1週間前に言われて一度は保留になったけれど  
やはり行くことに。

出張という名の研修です。  
6月8日から。

**2009.05.30 Sat 感動した！**

---

ティーンズミュージカル佐賀の公演。

今日はミュージカルではなく  
音楽とダンスだけのステージ。

これまで上演してきたミュージカルの歌や  
好きな歌やダンスをいっぱい披露してくれた。

ただ歌う、ただ踊る、だけではなく  
表現することを知っていて、  
魅せるステージを作り上げていた。

遠くから観ていたのに  
ステージ上の彼女たちはすごく大きく見えて  
越えてゆけ、と曇りのない歌声を響かせてくれた子  
身体いっぱい使って、躍動感に満ちたダンスをする子  
感動する場面がたくさんあった。

恐るべし、ティーンズ達！

ピラティスの先生の卵Kから頼まれ  
本物の先生の前で実技試験の生徒役に。

Kはとても緊張していた。  
でも、1時間のテストを無事終えたとき  
今まで費用も労力もかけ培ってきたことが  
報われる日も近い、と思った。

身体の構造をよく理解していて  
目に見えないところで  
がんばってるんだなあというのが  
わかるから。

なんだか照れくさくて  
面と向かっては言えないけど  
ホント、輝いてるヨ～！

## 2009.06.01 Mon 首が痛い

---

もう一週間くらい

背中から首にかけての痛みがある。

ちょっと前は1日も経てば治っていたのに...

年のせい？

それとも運動不足かな。

勤務中9割くらいの時間が

パソコンに向かったの作業。

気がつくとき長時間よくない姿勢で

キーボード叩いてることも。

いつかは整骨院に行って

治してもらったけど

ピラティスを知った今は

それは応急処置に過ぎないとわかる。

一生付き合っていく身体を

きちんと正しく動かしてやるのが

身体の歪みを直して健康にもつながる...

今さら身体の動かし方なんて

なんだかヘンだけど

長年の癖がついた身体を

元に戻さなくちゃー。

次々と出てくる理不尽な言葉の数々...。  
それに対して、こちらも  
正当性を主張しようと  
久々感情的になってしまった。

「目には目を...」  
相手との衝突を避けたいと思っても、  
冷静さを失うと、攻撃的な強い感情が  
突如現れることがある。

平和を願うのは  
自分の心だって同じはずなのに。

## 2009.06.03 Wed 車検です

---

3か月間の群馬行きが決まったこのタイミングで  
車検の季節がやってきた。

これから行くところは  
公共の乗り物はバスしかない。  
周りに便利なお店もない。

もしかしたらクルマを使うことになるかもしれないと  
（「使えればいいなあ」と淡い期待を秘め）  
受けることにした。

就職して1か月半の身にとっては  
10万円弱は痛い出費だ～。

ただ、いつも車のお世話をしてくださる  
整備会社のOさんには感謝。  
明日、お休みにも関わらず  
クルマを取りに来てもらえることに。

**2009.06.04 Thu 買っちゃいました！**

---

島村楽器があいている時間に帰れたので  
欲しかったあの商品を見に行く。

「スクロールピアノ」  
ぺらぺらのピアノだけど、49鍵あって音もクリア。  
しまうときはくるくるっと巻いてポーチにポン。  
とってもコンパクト！

というわけで、出張の荷物の中に  
入れていこうと考えたのだ。

出張の準備しながら  
余暇のことも忘れずに考えている（笑）



## 2009.06.05 Fri しばしのお別れ

---

明日の朝から関東入りというのに  
ふつうに仕事して22時を回ってしまった。  
残った3人で帰り仕度。

会社の先輩方とは、いつもと同じ笑顔だけど  
少ししんみりした空気で別れの挨拶。  
わたしの先輩も別の場所へ長期出張に行く。  
これからどうなるか...の不安の色が見える2人。

バスの中でさんといろいろな話をしながら  
駅に着いた。優しくてすごく親身になってくれる先輩。  
また〇か月後に...と言って分かれた。  
いつか戻ってきたい。

帰れば過酷な荷物整理が待っている。  
とりあえず、必要なものを  
ケータイのノートに書き出してみた。  
仕事・生活・余暇...  
それぞれの必需品をリストアップすると  
膨大な荷物の量に！

出発まで残りあと10時間ほど...  
とタイムリミットを計算して、焦る。



昨夜、疲れて寝てしまったわたしは  
朝、5時に起きて荷づくり！！  
大きなスーツケースと旅行バッグとポシェットという  
すごい大荷物になってしまった。  
海外旅行に行くとしたか思われぬだろう…

佐賀空港から羽田へ到着。  
「忘れ物してないかな～、仕事もまだ残ってるな～」  
時々不安に襲われながらも、顔はだんだん  
ニヤけてくる…横浜行きのバスの中で。  
横浜に行く、というだけで  
どうしてこんなに嬉しくなってしまうんだらう。

旧友・淳子と横浜駅で待ち合わせし  
荷物を預けてみなとみらい散策。

行ってみたかったY150（横浜開港150周年）を見て回った。  
いくつも会場があり広範囲なのに、こぢんまりしてて  
なんだか不思議なイベントだった。うろうろ歩いてるうちに  
巨大なクモが動き出した。なんでクモ！？

横浜市が  
世界の創造都市とのネットワークを広げていくために  
巣を作る「創造的な生命体」であるクモを採用した  
そうなのだー。

英語でWeb＝クモの巣という意味だったとは！  
知らなんだー。

キャラクターグッズ売り場にはまってしまった。  
たねまるはおなじみだが、  
敵キャラの「ペリーテイト君」なんてのもいて  
にくらしげな中にもかわいさを見せていた。

行くたびに変化しているみなとみらいを散策し  
東京は駒込へ。

兄の所属する水族館劇場の芝居を初鑑賞。  
大観音堂の境内にテント小屋が建ててあり、セットがものすごい！  
町並みや商店の看板など、相当作りこんであってワクワクした。  
舞台は回転するし、クレーンも...

芝居の内容は、「分かる人には分かる」という感じ。  
自分にとっては「分かるところは分かる」だった。

自分の兄ちゃんが、本当に芝居をやっていたことが  
一番びっくりした。

夜は淳子宅にご厄介に。  
疲れた身体を休めてしばし、くつろいだ～。

仕事で欠かせないもの→「時計」。  
なのに腕時計を実家に忘れてくるという  
不完全なわたし。

ところが数か月の間、淳子が貸してくれる  
ことに…。なんとありがたい！  
すっかりお世話になりっぱなしで  
淳子宅をおいとま。

本日の宿に大荷物を預け  
東京散策をした。

千駄木、谷中霊園。  
新しい街へ行くのもまた新鮮で。  
久しぶりのU氏とConyがいる小金井公園へ向かったけど  
会えずじまい。う～ん、残念！

やり残した仕事を片付け  
明日に備える。

休日の神田は、眠ったビジネス街。  
ご飯を食べる場所も日曜はほとんど休業中で  
コンビニめぐりをした。

今回、懐かしい人たちと再会して  
いつまでも変わらないからこそ  
道しるべになっているのかもしれない、  
と思う。

**2009.06.08 Mon** こんにちは群馬

---

上越新幹線からJR吾妻線に乗り継ぎ、中之条駅へ。  
目的地の四万温泉は、そこから車でさらに25分。

これからお世話になる方々に  
迎えに来ていただき、無事、現地入り。

今日から数ヶ月の間、出張と名のついた研修です。

数年前、広告代理店で働いていたときに  
ふと、目にとまる温泉宿のサイトがありました。

群馬だし、行くことはないだろうな。  
いや、でもいつか行くことがあるかもしれない...

その温泉に特別なものを感じたわたしは  
とりあえずブックマークに入れておいたのです。

今回、出張が決まった場所が  
まさに、その温泉宿です。

縁とは不思議なものですね～。

2009.06.09 Tue まるでわが子のように

---

宿のあちこち歩くたびに  
古い建築のまま大切にされていることが  
愛おしくて  
大事大事～、と抱きしめたくなるような  
気持ちになる。

建物自体に愛情がわく。  
自分の家に対してもきっとそんな気持ちは  
あるのだろうけど  
いつのまにか忘れてしまっていた。

従業員の皆さんが勢ぞろい。  
親睦を深められたのは良かったけど  
別のところから雷が...

「ど～すればいいんだろ？」

数分悩んだ後、  
開き直って宿の周りを初めて散策してみた。  
あいてるお店なんてほとんどない。  
ついでに小雨も降ってきた。

ここは今までのように  
1分歩けば雑誌や食料が手に入る  
生活とは無縁だけど

何もないことが  
逆にエキサイティング！  
退屈だとは思わない。今のところは～。

2009.06.11 Thu 喉が痛い

---

ただ、喉が痛い。

32年付き合っている身体だから

(母のお腹にいるときを含めれば33年?)

なんとなくわかる。

風邪、引いた!



寮の一人部屋には、  
ちょうちょに似たヤツが  
ちよくちよく忍び込んで暴れまくる。  
どこに身をひそめていたのか  
いきなり

「ブーン！」

と、ライトや壁に向かって  
あちこち飛び回りはじめるから  
落ち着いていられたもんじゃない。

しかも山育ちででっかい。  
窓を開け放ってそちらへ促すけど  
成功には程遠い。

とりあえず、今欲しいものは  
虫捕リアミである。

2009.06.13 Sat カゼヒイタ

---

カゼヒイタ  
ホンカクテキニ

ヤク2 ネンブリ

フロントマンのKサンニ  
「ナツカゼハ  
バカデモヒカナイ」

ト  
バカニサレタ！

2009.06.14 Sun 病院へ

---

従業員の食堂で

Nさんからみかんをもらった

風邪引いてる身にはうれしいビタミンC！

よく見ると、JA唐津から。

はるばる来たね～

君もわたしも。



※もともと4個入り。それでも500円とは高い！輸送費のせいかな？

今日は初めてお休みをもらって

休日診療の病院へ。

バスに揺られて40分。

がらんとしてるのに

病院では待ちに待たされ

やっとお医者さんに診てもらえた

喉の奥を診て

「まっかっか～」と言われ

あとは、聴診器で普通に心音聞かれ

それだけで終了。。。。

今流行りのインフルエンザでなくてよかった。

薬を5種類も処方されお会計へ。

意識ももうろうとしているせいか

「ごちそうさま」

なんて、変な言葉を口走ってしまった。

看護婦さん、うろたえていた。

帰りは、「しまむら」と「マツモトキヨシ」と  
スーパーで、生活に必要なものをそろえる。

途中どしゃぶりになり  
傘を差してもずぶ濡れになったときは

なんだか悲しくなった。

会社の上司が昨日、群馬入り。  
...たくさんそろったなあ。  
全体像はまだ見えないけれど  
何かを得ていくのみ。

群馬入りして1週間経った。  
でもまだ慣れないことが一つある。

寮は川のすぐそば。  
上流にあり、川の流れが激しすぎて  
朝から晩まで  
まるで大雨が降っているかのような音がする。

今までの生活なら  
鳥が鳴いたり、人や車が通る音がしたり  
窓から陽が射したり  
それがいつもの「朝が来た合図」だった。

森と建物の影にあり  
川の流れる音しか聞こえないこの部屋では  
「朝が来た」のが分からず  
危うく寝過ごしてしまいそうになる毎日。

クッキリハッキリした朝が恋しい～。

2009.06.16 Tue 推進力

---

ゆるやかな時の流れに  
合わせるかのように  
遅々として進まない仕事。

風邪も治らないし...  
弱った弱った。

夜遅くまで、残業してたら缶コーヒー。  
送り迎えしてくれた人に、缶コーヒー。  
初めましての挨拶代わりに缶コーヒー。

従業員の間では、毎日ちょっとした場面で  
缶コーヒーのやり取りが行われている。

こじられたものは周りに何も無いけど  
コミュニケーションツール、缶コーヒーのおかげで  
従業員の仲は今日も良好。

2009.06.19 Fri ホッ

---

遠くにいる社長に  
毎日の業務報告はメールで送っている。  
夜遅くに送ったメールに対して  
社長から返信が。

1 件目「不安なことがあれば連絡しなさい」

2 件目「早く寝なさい」

一人でいて不安になるときもあるけど  
まだ見捨てられていないんだなあと  
妙にほっとした。



「おんめえ、うるせえんだって！」

「分かってっから！」

「冗談ばっか言ってんじゃねえ！」

地元の人々の間では  
こんな調子の会話がポンポン飛び出し

最初は  
本気でケンカしてるのかと思ったけど

気心が知れると  
これくらいは当たり前みたいだ。

妙に調子がよくなって  
なんだか芝居を見ているようで楽しい。

誰かにいたずらしたときは

「おこんじょ～～！」

と言われた。

どうやら「いじわる」という意味らしい。  
漢字で書くと「悪根性」。なるほど。

宿のアイドル老猫に対しても

「ねずみとったんかい？お前はいい子だよ～」  
「おお、そおかい、そおかい、うん、うん」

猫と話している人の何と多いこと！

人が好く、元気。

わたしから見た群馬ジンの印象。

仕事が終わってから  
お寿司さんに連れて行ってもらった。

3人でカウンターに座ると  
ショーケースにはきれいで新鮮そうな  
海の幸がたくさん！

赤貝、中トロ・・・  
味も絶品！こんな山の中に  
美味しいお寿司を出す店があるなんて～。

びっくりして聞いてみると  
もう長年、付き合いのある仕入れ業者の方が  
毎日魚を届けてくれるのだそう。

焼酎を水で割って飲んでいただけ  
甲類のせいかな、みんな水のようにスイスイと飲む。  
わたしも見習って・・・

久しぶりの外食で  
お酒も飲めてうれしかった。  
3人とも地元民ではなく  
それぞれのきっかけでここに集まっている。  
これも何かの縁でしょう。

2009.06.22 Mon 緊張

---

仕事の説明をしていくのだけど  
なんだか緊張してうまく伝えられず。  
でも10人くらいというのは  
ちょうどいい人数。  
落ち着いてやれば・・・。

ちょっとぶらぶらと辺りを散策してみた。  
とんかつ屋さんに行って昼ごはん食べたり  
お土産やさんに寄ったり  
観光案内所に寄ったり。

昭和の真っ只中の時代から  
時が止まったまんま、って感じの  
古い建物のお店を発見！

街から遠く離れたこんな山の中で  
一つの集落が確かに存在していること。

なんだか幻のようにも思えてくる。

ここに来る前から  
「自然の多い場所に行きたいなあ」  
と願っていた。

その願いがまさに叶えられた上に  
歴史の重みを感じる素敵な場所にいられる  
今がとても幸せ。

顔を合わせても挨拶程度だった  
Kさんと、初めて少し話し込んだ。

今までは年の近い女性が  
いなかったの  
わたしが入ってきてうれしい、  
と言ってくれた。

ちょっと打ち解けて  
わたしもうれしかった。

そういえば、人に興味を持って  
自分から行動することが  
このところなかったなあ。

些細なことでもいい。  
自分から近づいてみたい。

2009.06.25 Thu ?

---

おかしい夢を見た。

登場人物は亡くなった父、  
そしてわたし。

父の部屋にわたしが訪ねていくと  
自分の知ってる父とは180度違う性格に  
なっていて、気難しく文句を  
言ってきたのだった。

訪ねて行くわたしの気持ちは  
ちょうど、  
『千と千尋の神隠し』で  
湯婆婆を訪ねていく  
千尋の気持ちに重なる。

やんややんやと言ってる父は  
意地悪でも威圧的でもないけど  
とにかくストレートに物をいう印象。

映画の影響と  
群馬県民と接している影響、  
混ざって夢に出てきたかなあ？（笑）

2009.06.26 Fri もー！もー！もー！

---

あんたの考えは認めたくない！  
拒否感がどんどん大きくなって  
心のバランスを保つのが  
難しくなってくる

相手にぶつけかけたときも  
あったけど  
今はまだ早いと思ってやめた。

もし、この状態が続けば  
ストレスになるだろう～。

今の立場では  
相手を変えることはできない。

ならば自分が変わるしかない。



寮では、従業員の食堂があるので  
昼と夜しっかり食べて（朝は軽くバナナなど）  
あと、掃除・洗濯は自分でやる！

日当たりがいいとは言えない部屋。  
洗濯物が乾くのも遅い。

電器店でよく見かける  
洗濯&乾燥が一気にできる洗濯機が欲しい。

と思ってたら  
なんと、寮の自動洗濯機には  
乾燥機能が付いていることを発見！

30分、1時間、2時間、と選べ  
洗濯機の中で温風が出るらしい。

初めて使ってみたら  
いい感じに生乾きになってくれた！

もちろん干した後、スムーズに乾く。  
便利、便利。

これで梅雨も乗り切れる！

2009.06.28 Sun らっきょうもらった

---



らっきょうと言えば

食べ慣れてるのはころころとした甘酢漬け。

今日は宿で女将さんから

塩漬けのらっきょうをもらった。

細くて小さいけど、

しゃきしゃきして程よい塩加減で美味しい！

お椀一杯のらっきょうを

たくさんの方に配ってたけど

洗ったり下ごしらえする手間を考えるだけで

気が遠くなるー。

一気に食べると

次の日が大変なことになりそうなので

ちびちびつまむことに。

## 2009.06.29 Mon CMづくり

---

旅館・ホテルの予約サイト「じゃらん」には  
写真を組み合わせて簡易CMを作る機能が。  
テロップも入れることができる。  
→じゃらんにて、宿のトップページ  
→「フォトギャラリー」（ない宿も多い）

文字や数字を追いかける毎日なので  
CMづくりでちょっとした気分転換...のつもりが  
すっかりはまってしまった。

テロップが入る場所や  
写真が現れるときの効果などは  
あらかじめ決まっているけど

作り方しだいで  
ちょっとしたストーリーのあるCMが  
できあがる。

旅行者の想像ふくらむ  
世界~ってのを作ってみたい。

母のこよなく愛するBさんの  
ボーカルスクールへ  
体験レッスンを受けに。

今の歌い方を根本的にくつがえす  
練習をしていくと言われ  
十分に納得したうえで通うことに。

今の状況を打開したい。  
その一心で。

久々にいい緊張をした。

懐かしの中野のアパート周辺と  
大久保のコリアンタウンも散策。

奇しくも、今日は  
7年前わたしが東京のアパートを引き払った  
日だった。

あまりにも年月が経ちすぎて  
ホントにここに住んでいたのか？  
と疑うほど忘れてしまっていた。

社長と久々のご対面。

安心すると同時に  
今までのゆるやかな雰囲気  
一気に仕事モードに！

決めたことが流されないように  
しっかり「いつまでにやる」と  
約束をする。

そのサイクルが仕事というもの。  
あたりまえだけど  
なかなかできない。

そして他の人ほど  
緊張感がない自分がいて  
あ、まだまだ甘いんだな～って  
気づく。

2009.07.02 Thu 届けもの

---

FLASHメンバーJさんから届いた  
先日の「キャンドルナイト」  
コンサートの録音CD。

九州の味とともに...

あたたかい心遣い、

ありがとうございます！

地元を離れてから

初めて寂しさを感じました。

本日の計画

「ラーメンをレンジで調理する」

上司からもらった

コンビニの景品の小鉢に

お水を張り

レンジでチン！

そして昨日もらった棒ラーメンを

二つに折りお湯につけ込み

レンジでチン！

すると、3分くらいで

中まで火が通り、麺がゆであがった・・・。

スープの素を溶いて

ほぼ完璧なインスタントラーメンの出来上がり。

ダメもとでやってみたのに

無事、懐かしい九州の味にありつけた。

皆々様、電子レンジ様。

たくさんのありがとうが詰まった味でした。





何かを生み出さなくちゃいけない  
はずなのに  
うまく歯車が回らない...

大声を出して批判する人、  
責任を認めない人、  
借りてきたネコのようにじっとしたまま  
思いをためている人...

いろんな人の気持ちが錯そうして  
空中分解しそうに。

でも心はしぼまない。  
むしろ、やることが明確になって  
希望がわいてくる。

仕事が終われば自分の時間。

あれもしたい、これもしたい、のに  
そのうち、その日の充電が切れてしまう。

結局いつもと同じ朝がきて  
自分は何やってるんだろう？  
と問いかける。

理想と現実はかけ離れないように  
あまり欲張りすぎないことも大切。

悲しくなる朝なんていやだから。

2009.07.06 Mon スパルタ！

---

あいうえお～！  
らりるれろ～！

B先生のレッスンへ。  
ひたすら発声練習をしました。

どんなに高い音になっても裏声を出さず  
裏声になってしまうと

「あぁー！もう一度！」

非常につらい練習でした。

朝、あわててたので  
いつも仕事で使っている室内履きのまま  
出てきちゃいました。  
気づいたのは駅へ向かうバスの中...

Uさんに笑われながら  
新宿の繁華街で靴の買い物をして  
行き着いたのは、焼き鳥や。

近ごろ質素な食事をしていたので  
居酒屋料理がすごく贅沢なものに思えました。

相手のことを第一に考えてくれるUさんは  
接客業にも向いているのではと思ったり。

スチームサウナが好きだ。  
高温で肌をさすようなドライサウナと  
違って、蒸気が全身を包んでくれるから  
自然に汗がとろとろと出てくる。

久しぶりに蒸し風呂に入ったけど  
やっぱりいいなあ。  
しかも温泉の蒸気だから  
温泉成分を口から鼻から取り入れる  
ことができる。  
温泉の湯船につかるよりも  
効果があるそうだ。

疲れていても  
入った後はすっきり。

幸せな場所にいることを  
改めて実感。

2009.07.08 Wed 一か月

---

早いもので群馬に来てもう一か月。  
仕事は淡々と、たまに叱咤激励を受け  
揉まれながら進んでいる。

生活は、シンプルそのもの。  
仕事が終わっての数時間  
何かを考えたりしているうちに  
一日が終わる。

テレビがあるのに  
流行りの音楽にもニュースにも  
ますます無頓着になってしまった！

そんな中、今の情報源は、人とネット。  
人からは、この近辺の情報をよくもらっている。  
美味しいお店があるんだよ～、的ない情報は  
その人の好みがわかる。  
それに対する周りの反応から  
いろんな人の好みがわかるのもまた面白い。

ネットでは...  
エディ・リーダーが9月に  
ビルボードにやってくるらしい。

過去2回とも彼女の声に酔いしれた。  
絶対行きたい！けど平日なんだよなあ...

2009.07.09 Thu なまってる！

---

寮から仕事場まで歩いて約3分。  
仕事場では食事休憩以外はほぼ一日中  
座りっぱなし。

そんな生活を続けていたら  
身体がなまってることに気づいた。  
(群馬なまりも少し)

今日は階段で2度もこけた。  
階段のステップで足が上がらずに...

「本当は怖い家庭の医学」で  
いつかこんな症状のこと言ってたような...

散歩しよう！

「おれの世界に入ってくるな！」  
「この中で誰が一番だと思う？おれだよ！」

いったん火がつけば激しく  
周りに攻撃をしかけてくる料理人。

今までに会ったことのない  
衝撃的な人物だった。

数週間前、  
「話せばわかる」  
ってな青〜い考えで話に行くと  
思ってもみない反撃に打ちのめされた。

男性と女性の差もある。  
わたしには支配というものが  
なんとなくしか理解できない。

でも決してそれは  
支配ではないことに気づいた。

激しい気性からは想像もつかない  
料理が彼の手によって生み出される。

キーワードは「艶（つや）」。  
＝女性を喜ばせる料理。  
そのことしか考えていないそうだ。

艶、かぁ。  
確かに「繊細」とみんなは表現するけれど  
「艶やか」と言った方が近いかもしれない。

例えば、料理界の荒木経惟みたいな  
人かもしれない。

「艶をもて」かぁ。  
投げかけられた言葉に、鈍くも  
自分の中で何かが反応した。



その人が怒ったのを見たことがない  
仙人みたいな人、と  
だれかが表現していたような。

でもやり場のない怒りが  
こみあげてくるときだって  
あると思う。

そんなときはどうすればいいの？  
「仙人」はどう対処しているのでしょうか。

2009.07.12 Sun ねこのしっぽ

---

ふわふわ～

しましま～



2009.07.13 Mon 県民性

---

群馬県では女性が働き者で  
「上州女カカア天下」  
とか言われている？らしい。

駅に向かうバスの中で  
運転手さんが地元のお客さんに

「今日はいい天気だね～！  
休みだったらもっといいんだけどね～！」

なんて話しかけてたから  
やっぱり男性は道楽者なんかな～

と思わず笑ってしまった。

ってなくらい、トップの2人に  
ものすごい剣幕で叱られました。

仕事に対しては、  
決していい加減な気持ちではなく  
とにかく「いいものを作ろう、オー！」

と、気合いだけは十分だった。

でも、業者の都合や自分の状況で  
ちょっとばかり遅れてしまった。

その姿勢、というか仕事の順序を  
こっぴどく注意されたのだった。

困ったことに、自分で正しいと思って  
行動していたことだったので  
どうしても素直に謝れなかった。

結果、自分の考えを主張することに...

どつぼにはまってさあ大変！  
世渡り下手な自分でした。

次は、夕方さらに、別のトップから叱られた。

休みの間に人に頼んでおいた仕事が  
今度は、どんどん進みすぎてしまっていたから。

途中経過も逐一、報告する。

自分がやれていないこと。  
盲点はそこだ！

叱られてもすぐに対処したのが  
よかったのかもしれない。

今までは  
こうと決めたらてこでも動かない  
融通がきかない自分がいた。

社会生活をする上では  
その頑固さがネックになると  
前の会社にいたときから  
気づいてはいたのだけど・・・

「無理に」ではなく  
自然に人の意見に耳を傾けられる  
人になりたい。

2009.07.16 Thu 散歩

---

位置関係がつかめなかったので  
周りを歩いて確かめた。

森の中を小道を歩く。  
小さい頃、おばあちゃんちに遊びに行って  
虫取りに出かけたときのような・・・

社会生活なんてその頃は  
考えたこともなかったけど。

夜は近くのとんかつ屋さんで  
宿の人とビールで乾杯。

その後、別の人の住処に乱入～。  
シンプルな古い部屋が  
その人独自のお洒落な空間になってて  
ビックリ！

最近、質素な食事だったので  
急に油ものを一杯食べたら  
胃もたれした・・・

2009.07.17 Fri 声の力

---

出張に出かけてた上司が  
こちらへ帰ってくるので  
車でお迎えに行った

群馬のラジオで  
大黒摩季の「夏が来る」が  
かかったた（懐かしー）

「きとっとなっつっはく～るう～♪」

ご機嫌で一緒に歌ってたら  
自分の声にパワーがないことに  
改めて気づいた～～

のびて広がる大黒摩季の声。  
プロは違うなー



2009.07.18 Sat お客様

---

淳子さんとお友達Cさんが  
横浜からはるばる遊びに来てくれた。  
待てども待てども彼女たちが乗る  
東京発のバスが来ない。  
なんと！ETCの割引の影響と  
夏休み初日と連休初日が重なって  
関越自動車道が前代未聞の50km渋滞に  
はまっていたのだ。  
麻生さん、「生活対策」の  
ETC割引制度は本当に  
よい方向に向かっているのでしょうか？  
などと、宿のみんなで口々に言っていた。

何はともあれ、バスは約3時間遅れで無事到着。

わたしは仕事であまり一緒に過ごせなかったけど  
夜、たくさんの写真を見ながら  
いろいろと楽しそうに報告してくれて  
わたしも少し夏の休暇気分を  
おすそわけしてもらった。

二人のおしゃべりもまた楽しく...。  
いい夜でした。

2009.07.19 Sun はっぴ

---

温泉街にて、初めてのスマートボール。



でっかいビー玉をはじいて  
運がよければホールイン！したら  
追加の玉がザーッと流れてきたり  
こなかったり...

「結構楽しめます」  
の宣伝文句どおりにわりと楽しめた。

昭和の頃から時間が止まったまま？  
と思わせる店内もGoo。

旅行者気分少し浸った後は  
現実に引き戻され、はっぴ姿で  
いろんな場所で走り回って汗だくに。

十分なおもてなしができなかったし  
たぶん旅の疲れもあったと思うけど  
帰り際まで楽しんでもくれたようで  
ホントに感謝、感謝。

B先生の歌のレッスンを受けに東京へ。  
もう体験レッスンを含めて4回目です。  
大好きなStevie Wonderの歌も練習しながら  
出ない声を徐々に出していきたいと思います。  
改めてStevieの声にはほれほれします。  
また、先生の声もすばらしく  
わたしに教えているときの声を聞きながら  
ついうっとりしてしまいます。

帰りは1年半ほど前に佐賀のてらおんのライブに出演してくださった  
朝子さんご夫婦に拾ってもらって  
群馬に帰りました。  
なんと宿に泊まりに来てくれるということで。

東海道沿いにはよく行くけど  
群馬やこっちの方面はなかなか行けないから、とのこと。  
ありがたや～～！  
「墓場の鬼太郎の歌が好き」など、  
車や宿でいろんな話をしました。

古い方の棟しかあいてなくて不便な思いをさせたと  
思うけど、気に入ってくださったようで  
うれしかった。

縁って、なんて楽しいものなんでしょう。

2009.07.21 Tue 現実へ還る

---

ご夫婦は小雨模様の中  
帰ってゆきました。  
お見送りもばたばたで  
申し訳なかったなあと思います。

気をひきしめて  
仕事に専念！

パンフレットが完成間近。  
印刷が上がる頃  
わたしはここにはいない...

DMを徹夜で仕上げた！

最初に出したのは、

「全然よくない」

と散々な評価だったので

気合いを入れなおして修正したら

雰囲気はよくなってる、

との評価。

デザインはセンスと集中力...かな？

骨董とかあんまり興味のないわたしが  
この古い旅館の佇まいには  
なぜか魅力を感じずにはられない。

長年使われてきただろ柱や壁や温泉や  
数々のものが愛しくてたまらなくて

抱きしめたくなるような気にかられる

そこに泊まる人々の笑顔は  
穏やかで心から寛いでいる、と  
思うこともしばしば。

その人たちの笑顔を見るのも  
また幸せだった

そんな大好きな宿を離れることが  
日に日に近くなってきて  
何とも言えない虚しさ、寂しさが  
押し寄せてきている

2009.07.24 Fri 送別

---

焼き肉をごちそうになった  
昔ながらの古い焼肉屋さん。  
小さいロースターを囲んで  
お肉を焼いていくのだけど  
ホルモンは生ではなく  
湯通ししたものが出てきた  
群馬ではそういうお店が  
多いらしい

Mさんが酔っ払わないか  
冷や冷やしながらも  
楽しい晚餐だった

2009.07.25 Sat 3 番目のお客様

---

なんだか不思議なことだけど  
知り合いの方が相次いで  
遊びに来てくれて  
今日は3組目。

宿の人からは  
「ありがとうございます」  
と言われた。

こちらありがたいことです。

またもや仕事で  
バタバタと出入りしたけど  
ゆっくりできたかなあ？



出発の時間ギリギリまで仕事をして  
佐賀へと向かった

ホントにたくさんの人との  
出会いがあったので  
こうした短い期間でお別れすることが  
逆につらい

最後に言葉を交わしたのは  
今回、最も強烈な印象を残したあの人。  
晴れた庭にでん、と座っていて

やっぱり忘れさせない人だなと  
ちょっとおかしかった

帰りのバスでは  
心にぽっかりと穴が開いた状態

でもきっとまた来る。

九州は大雨だったらしく  
帰り道を心配する電話が社長から  
かかってきた

高速道路を避けて  
福岡空港からは電車で移動  
それでも運行が遅れていたの  
佐賀に着いたのは深夜だった

2009.07.27 Mon 葬儀

---

大切な友人の、一番大切にしていたお子さんが  
天国へと旅立った

小さな身体で5年間も病気と闘いつづけ  
ながらも笑顔を忘れなかった

親である友人も家族もみんな  
その子を守り続けたのだけど...

葬儀では、フルートやピアノの献奏、  
保育園の仲間たちの献唱など  
たくさんの音楽が流れ  
家族の精一杯の思いが詰まった  
お別れの会に。

悲しい顔が嫌いだからと  
最後は笑顔で手を振ってその子  
を見送った

ふっと吹けば消えてしまいそうな  
繊細な命の灯火  
その強さには人それぞれあるけど  
いずれも天命を全うするものでなければ。

どうしようもない悲しみの中で  
その子が教えてくれたこと。

**2009.07.28 Tue** 久々の福岡

---

約50日ぶりの福岡出社...。  
ちょっと浦島太郎のような気分。

相変わらず朝はバタバタした。

3か月程？といわれていた群馬の滞在も  
1か月半に短縮。

この会社は、徹底的に現場主義で  
一度こうと決めたことでも  
現場の状況に応じ、  
臨機応変に日々刻々と変わる。

そして次は鹿児島行きが決定した。

まだまだ戸惑うこともあるけど  
苦、ではない。  
何かが自分を後押ししている。

2009.09.22 Tue 太った？

---

今、栃木にいます。

山奥の秘境の旅館で仕事をしています。

最寄りの駅までバスで30分。そこもまた山奥です。

買い物はというと、歩いて7～8分の温泉街で

食料品や薬品などはそろえられます。高いけど。

食事は昼・夜の2食、従業員用の食堂で食べられます。

野菜と魚中心の食事でおいしく頂いてます。

いつも変わり映えしないこと以外は

まったく文句ありません。

アパートにも一口コンロがあります。

卵焼きを作ったり、お茶を沸かしたり...

炊飯器はないので、朝食はパンです。

毎日、質素な食事と仕事にお菓子の差し入れを

食べたりするくらいなのに...

最近、スカートがなんとなくキツイ！

あわてて、温泉の脱衣所の体重計に乗ってみたら...

体重は、今までとそう変わらず...

ほっとしました。でも実は体形の方が

大事だったりする??

思い当たるふしといえば

昨日と今日は、

仕事が遅くなったので食堂を利用せず

上司とその奥様にラーメンを二晩続けて

ごちそうになりました。

一晩目は「みそラーメン」

二晩目は「しょうゆラーメン」

どちらも分厚いチャーシューが  
4枚ほどのっています。

おいしいのだけど...  
塩分とカロリーが高い！

上司は、「作戦通り」と  
わけのわからないことを言ってます。

どうやら仕事のしすぎで  
痩せないように、との配慮？みたいです。

佐賀に帰った時、メタボになってないことを  
祈ります。

2009.09.29 Tue 愛がなくちゃ

---

研修のために、会社の女性4人で

秘境の宿に泊まりに来ています。

最近気が付きました。

何においても

愛がなくちゃだめなんだと。

愛情こもった料理や人の言動は

心に響きます。

ハナシは変わり

10月は、死ぬ気で仕事します。

本気でやる気、な気分です。

## 2009.10.09 Fri 夕食事情

---

夜、いつも従業員食堂に行くと、  
おかずのみ入った弁当が用意されている。

夕食は、そのお弁当と茶碗によそったご飯。

弁当箱にはもともと仕切りがあって  
メイン1品に、サブ1品、漬物・佃煮系1～2品、  
といった構成。

果物系・甘く煮た豆など、デザート系？の  
1品も入っていることが多い。

いつかバナナが入っていた時は  
おかずの全てがバナナ味になっていた。  
(勘弁！)

まあ、そんなこともあるけど  
おかずのバリエーションは多いので  
わりと楽しんでいる。

だけど、今日は...  
弁当箱の中に見慣れない黒いものを見つけた。

ボケてるけど...



いなごの佃煮。

7～8匹は入っていた。。。

黒いけど、ハッキリと姿が分かる形。

しばらく、イナゴを箸でつまんで面と向かい...。  
でも基本的に残さず食べる主義のわたしは



えいっ！と、頂いてみた。

???・・・意外と、いける。

甘く煮てあって、クセはない。

最初、抵抗はあったけど、カリ、ポリと  
ぜんぶ食べてしまった。

地元の人みんな食べるんだろう、と  
思いながら。

後から来た従業員の方々の話で

「地元だけどオレは無理だ」

「何が悲しくて虫なんか食わなきゃ  
いけないんだい」

「ええ～、食べたの??  
あんた、食糧難でも生きていけるよ！」

いなごは、さんざんな扱いだということが分かった。

「郷に入っては…」を実践したつもりも  
なんだか空振りに終わったカンジ。

でも、ホントに意外とおいしかったのだ。

2009.10.14 Wed 道すじ

---

抱えている仕事が終わらないうちに  
新しい仕事がどんどん増えていく...  
(しかも緊急!)

だから今抱えている仕事は  
次の日に延ばすわけにはいかない。

...と、頭では分かっているけども  
溜まりに溜まった仕事の渦に飲みこまれて  
あっぷあっぷ状態...

今までも仕事に多くの時間を費やしてきた。  
もうそろそろ、路頭に迷いながら歩くのではなく  
道筋を作っていける自分になりたい。

できることから、一つ一つ、確実に。

1日だけの休み。  
防寒具を買うため、そして  
スティールパンのライブに行くため  
下山して東京へ。  
翌朝は5時の始発で栃木へ帰る。

急にUさんも誘ったけど  
いいお返事をもらえたので  
より楽しい休日となった。

ライブでは、  
バスパンからテナーパンまで  
スティールパンがズラリ。  
ベース、ドラムやコンガも加わって  
総勢10名のワクワクするような  
音の世界だった。

楽しそう～に演奏する女性もいれば  
リーダーは、何かを背負ってるような  
少し憂いを帯びた演奏をする。

陽気なイメージだけど  
少し哀愁を帯びた音色のスティールパン。  
「楽しいだけじゃない」ところに  
なんとなく魅力を感じる。

2009.10.26 Mon 長い一日

---

今日は休みだった。

朝、9時過ぎに起きてパソコンのメールを見ると上司から、送った企画についての意見その他が返ってきていた。

企画が通れば「OK」または「了解」のみの返信。

通らない場合や、再考が必要な場合は意見の数々がメール本文にしたためられている。

足りない頭で考えながら一つ一つ、検討していく。そんな一日の始まり。

今度は母から電話がかかってきた。祖父（母の実父）の容体があまりよくないので今月末に実家に帰ろうかと思ってる、あなたも早いうちに会いに行きなさい、と。

そこで電話がかかってきたらしく一旦切れた。

程なくして母から再度かかってきたときは「ただ事ではない」と察知した。

祖父の容体、急変。今日中に帰って来てくれないか、とのこと。

急いで身支度をして帰る途中、もう祖父は最期のときを迎えていた。希望持ちながら帰ってきてほしかったという母の意向で連絡がこなかった。

訃報を聞いて飛行機に乗る。

11年前、父の訃報で同じように  
飛行機で駆け付けた記憶がよみがえる。

23時過ぎに祖父母の自宅についたときには  
もう動かない祖父が布団に横たわっていた。

取り乱さないけれど

わたしたちにじいちゃんの顔を見せ  
しばらくしてため息をつくばあちゃん。

「今、あごが動いた気がする」  
そう思うのも無理がないくらいに  
眠っているとしか思えない。

愛情をいっぱい注いでくれた

じいちゃん。

現実世界では「一日前」と「今」で  
じいちゃん存在は  
「ある」から「ない」に変わった。

にわかには信じがたいけれど

あなたが注いでくれた

深い愛情は、後々受け継いでいきたいと  
思うのです。

2009.11.12 Thu お出かけ

---

会議のため、栃木から東京・浅草へ。  
車で約40分移動、途中コンビニで朝ごはんを買い  
特急電車に乗り込む。

あったかいコーヒーと  
シュガーバターのついたパンを  
食べる。

こんな何でもないようなことが  
ここではとっても幸せに思えてくる…。

虎舞竜の歌みたい？

愛する者を失ったとき

ただただ途方にくれ

涙があふれてはこぼれ

静かにため息をつき、

の繰り返し。

祖母も友達もわたしも。

直面して初めて痛いほど分かる。

遠くにいて、大きな愛で包む人もいれば

近くにいて、より密に愛情を注ぐ人もいる

離れていても祖父は、見守ってくれていた。

そんな存在になりたいと思っていた。

色まではっきり見えるような星たちも  
ただ帰る私をじっと見守る木々たちも  
憎らしい人も愛おしい人も全ての物が  
世界を織りなしている。  
何もかもが「自然」の一部。

そこでは、  
自分はすごくちっぽけな存在に思える。  
ホントにちっぽけな存在。

だけど何物かによって  
確かに生かされている。



2009.11.28 Sat てらおん

---

月末で仕事は立て込んでいたけど  
なんとしてでも帰りたかった。  
だって、合唱団そらが「てらおん」に出演。  
久々の願正寺さん。  
ちょっと浦島太郎気分でドキドキした。

自分たちの歌の出来栄は...  
まだまだ課題だらけだ。  
でも小学生から定年間近のおじさん（失礼！）  
まで一緒にステージで歌えること自体が  
すばらしい！！  
10歳以下～10～20～30～40～50代まで  
全ている合唱団そら。

この合唱団を続けてきてくれた  
メンバー、そして母にただただ感謝します。

そんでもって久々に住職様の  
お話が聞けたことと  
やっぱり持つべきものは友達だと  
思えたことが  
今回帰った一番の収穫。

帰れて、よかった。

FLASHの第6回目のコンサート。  
去年のコンサートでは  
「今年は30%くらい（の出来）。  
来年は40~50%を目指したい」  
とコメントしたような気がする。

そのときは、自分がこの仕事に  
つくとは夢にも思ってなかった  
（仕事を辞めることは分かっていたが）

6月からの長期出張からやっと戻れたのは  
12月も半ば。なんというタイミング！  
こんな時期に帰れるなんておかしくて  
こうなったらとことん裏方を楽しんでやれ  
と思っていた。

「今年はお出ないの？」と聞かれたら  
「オーディションに落ちました…」とか  
冗談で答えるつもりだった。

まあ、そんな余裕もなかったけど  
当日、受付をしながらわたしが見たものは  
少しパワーアップしたFLASH。

まだまだ未熟な点はあるながらも  
心が一つになってた。  
誰一人とびぬけた力を持つてる人が  
いない中、  
チームで気合の入ったステージを  
見せてくれた。

ちょっと嫉妬を覚えながらも  
やっぱり積み重ねってスゴいな  
と思った。

2009.12.30 Wed およばれ

---

「おかえり」と言ってくれる人がいる  
あとからなんだかホッとした。

おいしいピザとポテトサラダで  
ホームパーティ。

「将来、自宅にライブスペースを作ること」  
今日呼んでくださった夫婦の夢なんだって。

音楽で知り合った夫婦ならではの  
すてきな夢だなあと思った。

## 2010.01.01 Fri 新年の決意

---

人はただ 風の中を  
迷いながら 歩き続ける  
『遠い日のうた～パッヘルベルのカノンより～』

ってな感じの、1年でした。

そろそろ、前に進みたいと思います。  
今年の抱負は  
「追究」と「迷わない」

遠い日の歌 卒業版

思いのままに綴ってきた10年  
これまでに逢った人、風景、出来事  
うれしかったコト、かなしかったコト  
すべて包み込んで  
そっとしまいきみたい  
そんな気持ちにかられて  
0から歩き出すことに。

今まで読んでくださってた方  
ありがとうございました。  
そして今年もよろしく申し上げます。

行き先はこちら↓↓  
[happi-seesaa.net](http://happi-seesaa.net) ※No Link

何か新しい試みを企み中。  
twitterも始めちゃったり…。

P.S.  
差出人不明の年賀状をいただきました。  
「新しい自分自身が作れるようがんばって！」  
と励ましの言葉、ありがとうございます。

心当たりの方、ご一報ください。

「おまいり」にいこう」

と母が言ったので、喪中だし

当然「お墓参り」と思っていた。

でも母が向かったのは

小城にある岡山神社。

「お詣り」だったのか！

喪中なのにいいの？

50日を過ぎれば忌明けとされ

参詣可能とする神社もあるというが……

とりあえず小城公園の中を

ぐるりとお散歩しながら

ひたすら数箇所のほこらに参拝した。

露店もないしおめでたい雰囲気でないから

よしとしよう……？

大きな木からは神々の声が聞こえきそうだ

大地を踏みしめて歩く

土の香りがする

高台に上ると小城の町が見渡せた

おみくじはひかなかった。

何かの冊子に「おみくじは運だめしでなく道しるべ」と

書いてあったから。

「道はもう決まっている」

倉庫の片付けを手伝っていると

くんくん・・・ケモノの臭いがする。

どうやら我が家の倉庫には

イタチ君が住んでいるらしい。

その根拠として・・・

倉庫に置いてあった空のダンボールの箱が

トイレ代わりにされていた！

(しかも梱包材がしいてありうってつけ？)

夜な夜な、自分の部屋の天井裏で

どたどたと走り回る音がする！

5年くらい前に、一度だけ彼の姿を

見たことがある。

階段の上と下でお互い見合わせたまんま数秒・・・

つぶらな瞳と長いしっぽがなんともキュート！

以来、いたずらされても

なんだか憎めずにいる。



ところで、いただいた年賀状の差出人が

さっぱり分からず、気になりっぱなし。

「新しい自分自身が作れるようがんばって！」

ありがとうございます。

どなたか心当たりの方、

いらっしゃいませんか??

母が観ていた韓国ドラマにはまってしまった！

10話あたりから観始めたのに・・・

『風の絵師』といって

実在した宮廷画家を主人公にした

歴史モノ。

絵を描いたり構図をとったりするシーンが

実際にいっぱい出てくるから、

面白いな～と思いながらな～く観てたら

いつの間にか惹きこまれてました。

サスペンス要素あり、恋愛要素あり、

そして何より俳優パク・シニョンの存在感がすごい。

ムン・グニョンの演技も好きだけど。

絵の師匠パク・シニャン、弟子がムン・グニョン。

年もだいぶ離れてて、パク・シニャンいい年した貫禄ある役なのに

二人の内に秘めた感情を追っていくうち

目が離せなくなりました。

「絵を描くとは何だ？」

「恋しさではないでしょうか」

絵を描くシーンがこんなに出てくるドラマを

ほかに観たことがないし、なんだか新鮮でした。

むしように絵が描きたくなりました。

主題歌がまたステキ。

友人の結婚式。

長い道のりを経てたどり着いた先は

ほんとに素敵な建物とおもてなしがあり

もう、それだけで十分だったのに。

新郎新婦のあったかい配慮のおかげで

すごす時間のなんと心地よかったことか。

愛は二人の間だけではなく

そこにいた人みんなに注がれているかのようでした。

長い年月の中で、二人が種をまいて

育ててきたもの。

それが一堂に会したような楽しい結婚式でした。

そっと心にしみこんでいった

ロンドンデリー。

自分の頭の中をかち割ってみると...

歌のこと・音楽のことが

半分くらいを占めている。

コーラスガーデンの後、

特に音楽への思い、歌やコーラスへの思いが

強くなった。

3割が仕事のこと。

それ以外は2割。

頭の中だけで、行動は伴っていない。

## 2010.04.06 Tue 法事と買い物。

---

父の13回忌、祖母の7回忌。

いつまでも年をとらない父と祖母の遺影が  
お釈迦様のそばに立てかけてあって。

いまだに何にも変わらない

自分の姿があって。

「何不自由なく暮らしていますか？」

きっとそうだと思っていても

生前の父の希望を追いかけつつある自分がいます。

ところで、この法事当日、

母はダウンして不参加となりました。

前日に墓掃除や買い物に一生懸命でした。

お寺へ持っていく果物と盛り方で

さんざんお店の人と交渉してたそうです。

「かごが、安っぽいなあ」

「値段に見合っていないんじゃない？」

などと口に出したか分からないけど

やり取りの末、

3軒目にしてやっと、希望どおりの

果物盛りを作ってもらえることになりました。

そんな母の姿を見て

「買い物とは本来こうあるべし」

と思いました。

商売する人と、買う人。

どっちも本気になれば

もっと面白い商品が生まれ

消費活動が活発になる...？

まあ、そんな小難しいことは

おいといて

「考えて買う」って大切かもしれない。

## 2010.05.04 Tue Heal the World

---

インターネット関連の仕事が多いので  
たまに気分を変えて  
ネットカフェに行って仕事したりします。  
GWも行きました。  
深夜の佐賀中心街のネットカフェは  
ガラガラでした。たぶん。（人の気配がしなかった）  
頭は仕事仕事。。と思いつつ、気分はGW。  
さあ、集中しよう！と  
何度か試みるのだけど、"This is it"が  
配信されてるのを発見！  
誘惑に負けてしまいました…。

見終わって、改めて  
ホントに悲しくなりました。  
彼の音楽性・才能の素晴らしさと  
人間性に触れることができたからです。  
昔の職場でよくマイケルの曲が流れてて  
"Heal the World"だけは  
なんだか異色な感じがしてた。  
メロディアスでほんわりした雰囲気…  
他の曲はとがった感じのものが多いので  
「本人が歌ったものじゃないだろう」  
とさえ思ってた（笑）。  
いつかよpさんからMP3にいろんな曲を  
入れてもらった中に"Heal the World"が。  
最近になって、  
改めてマイケルと歌が一致して  
しみじみといい曲だなあと聴いてます。  
気になってた、曲名の"heal"について  
映画を見終わって調べたら  
「癒す」「治癒する」と…。  
あゝ、日本語になってる「ヒーリング」と  
同義か！とまた新たな発見。  
決して"悪役"でも"かかと"でもない

↑ "heel" (笑)

タイトルの意味が分かった後は  
歌詞の内容がすんなりとイメージできる。

"heal"というと

単に病気を治すのではなく、  
精神的なものまで含めた治癒のことを  
言っているように思える。

環境だけでなく、人々の心まで

このすさんだ世界を・・・

少しでもよい居場所にできますように、と。



仕事で伊豆に来て1か月が経ちました。

ホテルからも住んでいる部屋からも  
海が見えてのどかないいところです。

...でも数字と向き合う毎日。

このギャップに違和感を感じつつも  
元気でやっております。

夏が終わるまで？終わっても？

しばらくここにいることになりそう。

今はここにいることしかできない。

そんな状態に対して、

時々もどかしさを覚えます。

なんて言ってる暇があれば

行動しよう。

のんびりマイペースの今の自分は

ちょっとおいといて

8月は1.5倍速で仕事したいと

思います。

年末、31日は鹿児島島の祖母宅へ。  
大雪の予報だったけど、楽しみにしているだろう祖母の顔を思い浮かべながら  
母と交代で車を運転しながら九州縦断！  
なんとか八代までは行けたものの... その先は。  
昼になっても高速の通行止めは解除になりませんでした。  
雪を、甘く、見ていました。

国道3号を走りながらも降り続ける雪。  
下りの車が集中している上に、道も雪だらけ。  
渋滞で「鹿児島まで150km」の表示の後、一向に100kmを切らない。  
鹿児島に入ったくらいの頃、気力が尽き  
「もうこれ以上進めない」と、途中で宿をとりました。  
奇跡のようにビジネスホテルの部屋1室のみ空いていました。  
ただし、暖房が効かないという...

年越しは、コンビニで買ったカップラーメンです。  
母はよっぽど疲れていたようで、すぐ寝息を立てて朝までぐっすり眠っていました。  
とんだ年越しになったけど、次の日の朝は、幸いにも雪が解けて昼に祖母宅へ。  
「わっぜ元気！」で安心しました。  
1日遅れの年越しそばと新年のおせちを同時に食べました。  
何気なく話をしても、  
祖母の言うこと...やっぱり何十年も生きてきた人の言葉には、重みがある。  
今年は、一步前進。

## 2011.04.16 Sat 沢知恵さんとの出会い

---

聖書協会の催しで沢知恵さんの歌声を初めて耳にした。

ななちゃんが歌ってたのでいい曲だなあと思ってはいたが、本人の生声を聴いたのは初めて。

ライブに行って「CDを買いたい衝動にかられる」という数少ないミュージシャンに

出会えました。そして「そのCDを帰ってすぐ聴く」という自分としては珍しい行動に。

沢知恵さん。

聖書の教えをピアノでうたう。本当に「歌う」という言葉がぴったりなくらい

感性のままに、メロディに乗せて、うたう。

その声も、メロディも、話し方も、しばしわたしの心を持っていかれました…。

深く包み込むような声、かと思えば独特のハスキーな声、

張り上げるときに少し負荷を感じる声。鼻にかかるくぐもった感のある声。

何か一言で表せないような、人間的、魅力的な声でした。

ライブはやっぱりいいですね。佐賀に来て下さった沢知恵さん、

そしてこのようなイベントを設けてくださった聖書協会に感謝します。

あるアメリカ人の家に行き、新約・旧約聖書を読み込んでいく  
「聖書研究会」のようなものに参加している。（クリスチャンではないけれど）  
日曜日、10時から始まるその会が、気が付いたらあっという間に12:30に。  
アメリカ人の先生から「光陰矢のごとしですね」と言われた。  
日本人でもあまりそんな言葉を使っているのを見たことがない…。

漢字もよく読めるし日本語がとても上手な人だけど、  
たまに彼が分からない言葉を  
こちらから片言の英語で説明してあげたりするのも面白い。  
（知っている日本語がホントに多くて感心する！）

そうそう、「悪知恵」の関連語「入れ知恵」はまだ知らなかったようだ。

2011.10.04 Tue 栗

---

トゲトゲの毬（いが）、かた〜い鬼皮、そして渋皮まで・・・。

「栗さん、それほどまでに食べられたくないですか？(^\_^;)」

と思いながら初めて作った栗ご飯。

味は、なかなかのもの・・・！

2011.11.01 Tue 沢知恵さん

---

心の底からわきあがる感情を抑えきれず、  
沢知恵さんのアルバムを購入。

9月19日、宗像ユリックスで沢さんの音楽に触れました。  
4月に佐賀で演奏を聴いたときと同じく、  
ビリビリと電気を通されたような、とにかく衝撃を受けました、今回も…。

会場にはCDがたくさん売られていたけど  
お目当てのアルバムがなかったので、  
帰ってAmazonで注文。

さだまさしも、ユーミンも、CINDI LAUPERも、BOB DYLANも  
童謡も、JAZZも、沢さんの息にかかれば  
新たな音色となり、  
抜群の浸透力で人の心の中に染み込んでくるよう。

「Singer」であり「Song writer」でもある沢さんは  
音楽を通していろんな活動をしています。  
毎年、ハンセン病療養所「大島青松園」でコンサートをし  
自ら日本人と韓国人の懸け橋となり、平和を心から願う…。

そんな彼女の思想にも魅力を感じるけど、彼女の音楽がとても好きです。

2012年3月2日、沢知恵さんが佐賀にやってきます。  
カンボジア教育支援フロム佐賀の事業の一環として  
同じく沢さんファンの路子さんが呼んでくださったのでした。

詳しくは、また後日。

**2011.11.02 Wed ごほうび**

---

Web制作をマスターするためPCスクールに通ってます。

今日は学校の帰りに、一緒に通っている友人と

アンジェココに寄りました。

家族から噂には聞いていたけど、

お庭の中に、カントリー調の小さな家が集まって

ケーキの家、紅茶の家、パンの家・・・など、

一軒一軒見て回るのが楽しかった♪♪♪

お誕生日のささやかなお祝いになったかな。

真面目に？勉強している自分へのごほうびも兼ねて・・・

特別な時にまた行こう。

## 2011.11.03 Thu 練習

---

11月から12月にかけて、すべての土日祝はゴスペル練習日。  
気合入ってます。

お昼は停車場うどんでした。



久しぶりにお店で飲みました。  
いつの間にか酔っ払いました。

Swingの演奏に  
また酔いました。

ご一緒したお友達にはかなり迷惑をかけました。  
家まで2キロの道のりを歩いて送ってもらったようです。  
す、すみません・・・。

2011.11.05 Sat 苦い思い出

---

神野小体育館で少年の主張大会と文化芸術祭。

審査の間に、子どもたちや保護者さんたちの前で

ゴスペルを歌わせていただいた。

スピーカーの音とマイクの音にズレが生じ

予想外の事態に・・・。

ピンチを乗り切る術を身につけなければ！

は一、反省。

2011.11.06 Sun 真っ白な気持ちで

---

昨日の失態に引き続き、  
チャペルでの聖歌隊もうまくかみ合わず  
連チャンで、不本意な結果に...

よい演奏をするためには  
やはり一人で集中して向き合う時間が不可欠。  
積み重ねが大事。

この2日間を忘れず、また歩き出したい。  
真っ白な気持ちで。

## 2011.11.07 Mon You Raise Me Up

---

本日の軽トラ通学時、友人が流したのは、  
CM等で流れているクラシック曲を集めたコンピレーションCD。  
("Treasure"という)

まずはビエラのCM曲、美しいソプラノで癒された後、  
2曲目はなんと昨日のチャペルでの苦い思い出  
"You Raise Me Up"！！

なぜ、今日このCDなの～～、と  
またもや猛省しながら月曜の朝を迎えました。

この友人とは気持ちが通じ合っているというか  
なんというか...  
因縁で結ばれているようです。

「雨の海苔弁」には  
笑ったなあ。

父の誕生日。  
この世にいるならば63歳。

2011.11.08 Tue よくう？

---

今日も学校が終わり軽トラで送ってもらった帰り際、

「よくいんしゃいね！」

と友達が言った。

「よくいんしゃい」???

初めて聞く言葉だった。

（「よく食う」それとも「浴衣」??

う～ん分からん・・・）

数秒の沈黙が流れたあと、ギブアーーッ！

正解は

休んでね、という意味だった。

佐賀育ちなのに佐賀弁にちょっと疎いわたし。

最近よく周りの人から佐賀弁について教えてもらうことが多く

ちょっと楽しい。

お茶のお稽古初体験。

今まで和の文化とは無縁の生活を送っていたが

前に勤めていた会社の上司や、願正寺の住職様から

お茶などしてみてもいかが？

と今年たてつづけに言われたので

少し興味がわいて、お寺の教室に足を運んだのだった。

借りてきた猫のように「ちょこん」と座っていたけど

先生があまりにも気さくな人なので

生徒さんが練習している間も、気軽に話しかけてくださり

いろいろ話を聞くことができた。

その間も生徒さんが一生懸命に目の前でお稽古をしている。

中には60を過ぎて習い始めたという男性の方も…。

お茶の世界のことは分からないけど

皆さんのピンとした身のこなしが印象的だった。

最近、ブライダルのDVDを制作する会社へ  
仕事のお手伝いに行っている。  
ひたすら、エンドロールに流れる参列者の名前を打ち込む作業。  
多い場合には200人近くの氏名を入力することも...。  
もちろん誤りがあってはいけないので  
ちょっと労力を使う。  
慎重に、慎重に...と。

すべて打ち込み終わった後、  
校正も、すべて完ぺき！

よっしゃあーっ

と次の作業に移ろうとしたところ  
社員さんからダメだしを頂いた・・・

最後の最後で、  
エンドロールの最後尾に入れる  
「順不同」という文字が

「順不動」となっていたのでした。

「絶対動かない」みたいな??? (笑)  
と、突っ込まれマシタ。

苦笑しながら、ツメが甘い自分を反省～★

英語とか外国語って

よく耳にするものではある

テレビにラジオに音楽に・・・

でもやっぱり、

日本語の世界で生きる自分にとっては

外国語の響きは、非日常的な

世界の広がりを感じるものなのである

カタカナでは置き換えられないものなのである・・・！



学校の後、夜は国際下宿屋パーティで

ゴスペルを歌う。

今年は、風邪をひきたくない一心で、自分の喉に対して特に敏感。

でも、大声張り上げたせいか

なんだか喉に違和感が・・・。

学校では休み時間のたびにうがいをし

風邪ではないのに予防のためにマスクをしていたくらい

神経つかっていたけれど

とうとう捕まってしまいました。

## 2011.12.23 Fri 8th Glory Day

---

本番当日！

この日のために

どれだけの時間を費やしてきたことか・・・

のどは不十分でも

思い切って行け！と

言い聞かせるワタシ。

でも

なんだかふわふわとして

あまり考えられなくなってた

一生懸命に歌ったけど、

理想と現実の差に、泣いた。

学んだこと。

どうにかなると思ってどうにかなるときってというのは

コツコツと下積みを重ねてきたものが報われるときなのだ。

今回どうにもならなかったのは

まだまだ、努力が足りないのだなあと。

身の引き締まるオファーを頂き

一生懸命取り組んだ結果は

不採用。

ものづくりというのは

もっとう、突き詰めて考えなければならないものなのだと

改めて思った。

これからそのような仕事をするならば

絶対になくってはならない過程。

2012.07.01 Sun 10年

---

佐賀に帰ってきて10年、の節目の日。

2012.07.02 Mon やさしい人

---

服をいっぱいもらった

久々に寄ったら、面白い本がいっぱい。

雇用関係に力を入れているからか

県の図書館らしく、仕事に役立つような本を集めた  
コーナーも充実している。

**2012.07.04 Wed** 今年はホントによく雨が降る

---

送り迎え

「この年になると  
だれかとの関係が悪くなるからと言って  
言いたいことも我慢して発言しないなんて  
思わなくなるの。」

どう考えても間違っていない、と  
自信を持って言えることは堂々と言う  
そう決めたと話す、我が母。

それが良いとも悪いとも思わないけれど  
母らしい生き方だ。



2012.07.06 Fri 第1週の木曜日は・・・

---

SWINGLIVE!

わたしが好きなバンドです。

2012.07.07 Sat 七夕

---

かちがらすを見かけた

今日の星空は、Milky Way

ゆうすけ氏から教わったこと

ソウル音楽

思えばソウルフルなものに憧れてきたっけ。

大学の時の先輩、コニーには  
太陽を感じた。

そして、Stevie Wonderが好きになった。

同時に、こんなのも好きなんじゃない？と

貸してもらったのがEaglesやBrian Adams。

メロディなり、コーラスにも、せつない、何かがこみあげてきて

惹きつけられた。

特にStevie Wonderとコニーの声がよくマッチしていた。

その太陽、とはソウルのことだったことかもしれない。

## 2012.07.09 Mon ピリ辛砂肝炒め

---

家にある材料でご飯を作ることも苦じゃなくなってきた。

今日は家にあったキャベツ、キュウリ、玉ねぎ、ピーマン、人参と、  
買ってきた砂肝で料理。

しょうが、醤油、酒、きび糖で調味液を作り、

最後に鷹の爪も入れてピリ辛に仕上げた。

ちょっと炒めすぎたので見た目が減点だけど

味は、Good!と二人に言ってもらってホッ。

独り暮らししてた学生の頃は、冷蔵庫にあるもので作ることが

イマイチ苦手で、エクセルでデータベースを作ろうかな

とまでも思ってたのに、今はクックパッドなんて便利なものもできて～。

しかし、自分で考えることも必要。

栄の国まつりで

なんと大学の浴衣を着て総踊りで踊ることになった！

踊りといえばこの方まともに踊ったことがない

運動は好きだけど

ダンスはうまく踊れた試しがない

小学校のときの親子ダンスなるもので

「あんた、踊り下手ね・・・」と

母から言われたのが未だに忘れられず

以来、踊りには無縁の生活を送ってきた。

そんなわたしが人様の前で踊るとは！

祭りで見かけても、指差して笑っちゃいけませんよ。

仕事のバリエーションが増えてきた  
ことに伴い、ここ最近  
残業時間がうなぎ登りに増えてきた。

新聞のチェック、記事の切り抜き、コピーと配布  
ニュースのチェック、番組編集、  
郵便物のチェック、  
広報誌の校正、  
広報誌の配布先のラベル印刷

スピードアップをはかるためには  
集中力のアップ、効率アップ、  
無駄な作業を省く・・・

イメージとしては  
自分に任された仕事を通して  
全体の歯車がうまく回るようにしたい  
というのが理想なんだけど・・・

**2012.07.12 Thu** お通夜

---

唐津のお寺へ叔母を送った  
父方との親戚との交流

2012.07.13 Fri カミナリこわい

---

思わず傘を離した



コンサル的な役割をも持てるように

すごく漠然としたイメージを形にすること

少しでも、コンセプトなり何なりをつかめれば

すうーっとそれに基づいた形になっていく。

心の中にひっかかり、しばらく考え込んでしまう。

素通りできない気持ち、すぐに放出できないこの思いは何なんだろう？

- ・ ・ ・ また、そんな気持ちを抱えてる女性たちの話を聞くことが最近多い。
- ・ 信頼している友達が、実は半分好奇の目で自分を見ていたという心理が判明
- ・ Facebook上で知人がUPする明るい話題のおかげで、それを受け取るのがつらい自分がいる
- ・ 人間関係のトラブル相談しても、上司は体裁を整えることが先で、本人の気持ちのケアは二の次
- ・ 自分も含めたコネクションのはずなのに、なぜか自分だけ、蚊帳の外 ・ ・ ・

面と向かって言い出すようなことでもないけれど

「ちょっと複雑」な気持ち、でも、看過できない気持ち。

そして、共通するのが、複雑な気持ちを抱えている本人とほうらはらに

そんな気持ちにさせている人々は大体単純、という構造。

一晩寝たら忘れられるくらいの出来事なら構わないけれど

しばらく悶々としてしまう場合は、

違う次元に行くしかない、と思っている。

ピンチは、チャンス。

11月16日（土）沢知恵さんのコンサートを中川副小学校で聴く。

小学校の体育館とは思えないほど、

歌声とピアノの響きの素晴らしさ！

初めから、終わりまで、一曲一曲を聴き逃したくない、と思う。

それほど、たくさんの想いが、沢さんの歌には詰まっていると思う。

歌い続けて3～4曲目、

「詩人って分かるかな？」

と沢さんが一番前で母親と座っている男の子に言った。

「歌を歌う人を歌手と言うように、詩を書く人を“しじん”と言うんだよ、

たくさんのいろんな想いを“詩”という短い言葉にする人のことだよ」

と言った。

その後、祖父である詩人の「キム・ソウン」の訳で

沢知恵さん作曲の「こころ」を演奏した。

どんなステージでも、主催者と参加者の気持ちに寄り添っている。

そしてこれからもそうやって歌い続けるだろう。

沢さんの歌、その内容を思えば思うほど、

考えさせられるのか、感じさせられるのか、よく分からない

いつも不思議な感傷的な気持ちになる。可笑しいくらいに。

そして次の日の練習にて。

わたしたちがコンサートに向けて練習している

ア・カペラの少人数での曲を

ステージでやるに堪えるかどうか問いかけがあった。

今のままでは厳しい、ということも言われた。

「歌う」

という同じ行為一つでも、この違いの現実を見据えてのことだったかも。

つくっとサガアワードにえいと参加。

チームラボの猪子さんの話がとても面白かった。

名前も存じあげなかったのだけれど、お友達がテレビで見たらしく

「すごく歯並びがいいのが印象的だった」

と言っていたのと、facebookでのご招待もあり参加。

基調講演ではチームラボさんの作品とそれについて猪子さんが解説。

ハンガーがデジタル化されており

服のかかったハンガーを取ると

向こうの画面に、その服のコーディネートが映し出されるとか

9人が同時に画面で見られる望遠鏡とか

こんなことがデジタルでできるのか～という可能性も感じられたし

映像で見ているだけでも楽しくなるようなものばかり。

でも、その何かを生み出すきっかけは意外にも身近にある。

たとえば、

イギリスのお茶、中国のお茶、いろいろあるけれど

お茶を飲むという目的を脱して

「お茶を飲む」という行為そのものが目的になるのは

日本だけ。

そこにヒントを得て、何かをする過程がもっと

楽しいものになればという想いがあったとか。

コンセプトを一から創り出すという考えではなく

自分のそばにある何かを深く掘り下げていると

新しい価値が生み出せるという

「温故知新」のような考え方が逆に新鮮だった。

「伝統やしきたりにとらわれず、自由な発想を」といっても

単なる思い付きから生まれたものが

必ずしも人々の共感を得られたり、根付くものではない。

そこにしかないものをどう活かせるかが  
クリエイティブそのものだと思った。

作り手だけでなく、消費者側を見ても  
ご当地グルメがもてはやされたり  
人が旅に出かけたりするのは  
そこにしかない何かを求めているからではないか。

冬のアイス消費を増やすための商品が  
なぜ「いちご」味だったんですか？という  
猪子さんの質問は、すごく今納得できる。

ちなみに、【冬のアイス需要を伸ばすキャンペーン】の  
森剛さんのプレゼンが素晴らしかった。面白く熱のこもったプレゼン。  
あんなアツいプレゼンされたら冬のアイスの消費ものびるだろ～ね！  
というオチも考えられる…。

とにかく、もう一度、佐賀を探そう。  
自分を探そう。

人は思い通りにならない...。  
一方通行、梨のつぶて・・・ などなど。  
これらが、すべて自分の普段の行いによるものだと思うと、  
それでまたしばらく悩んでしまう。

新年の決意は  
「大事なことしかしない」だった、のに。

いつも、ついつい発作的に無駄なことをしてしまう自分。

発作的に無駄なこととは

愚痴を言ったり、悪い方に考え込んでしまったり、  
そしてついつい自分のクセが出てしまうこと

自分のクセとは

人の感情の影響を受けやすい  
(あなたが悲しければ自分も悲しくて、というような)

これは、ついつい悲観的になるという、  
やっかいなクセでもある。

そして良い兆しが見えてくると、たちまち  
楽観的になるという、ホント、一喜一憂が絶えない。

それでもどうにかこうにか生きていられるのは  
殻を完全には閉じ切っていないからかな。

いつか光がどこかから射してくる。

自分の大切なものを二度や三度の失望くらいで  
捨ててしまうには、まだ早い。

人は思い通りにならない。

ただそれだけでいい。



## 2013.06.05 Wed やらなければいけないことはたくさんあるんだけど

---

少し気持ちを整理したくなかったので書いておく。

5月30日の朝から6月1日の早朝まで上京していた。

兄の関わっている芝居を観るため

数人の学生時代の友人に会うため

全国の大学が手がけた商品を売り出す「大学は美味しいフェア」を見に行くため

10年近くも計画していたスティーールパンをついに購入するため。

鎌倉の古道も歩きたかったけれど

天気と時間が間に合わず。

それにしてもなんと充実した今回の上京だったことか。

兄と友人たちと、それぞれかけがえのない時間を過ごし

スティーールパン製作者と語らい、一世一代の買い物をした（大げさ）。

そして佐賀に帰ってきて、次の日。

最近できた友達と武雄の喫茶店でお茶しながら数時間話した。

振り返ってみると、

この数日間に、わたしは長年解けなかったパズルを

その答えがどこにあるか、少しずつ「この辺り」と教えられた気がする。

その答えは自分の中にあるような気がする。

2013.08.02 Fri 残念

---

この気持ちは怒りでも悲しみでもなく

ただただ 「残念」。

英語で言うと

"disappointed"

が、しっくりとくる。

どうしようもなく

残念な気持ちがここ数日、自分の中を渦巻いている。

彼女とわたしは根本的に価値観が違うのだと気づいたとき。

長年一緒にいて、

一つの方向に向かって進んでいると思ってたけど

心が感じられるか否か

それが問題だ

## 2013.08.14 Wed 旧交をあたためる

---

昨日は中学時代の同窓会。

あの頃、学校生活中心に時間が流れていて

すご〜く長い時間を一緒に過ごした仲間たち。

だからこの久しぶりの再会は

日常と非日常がドッキングするような、とても不思議な感覚。

脱け出したくても脱け出せない

苦い思い出もあったけど

時を越えて

また新しい関係が築ける

と思う。

他所に頼んでた仕事が

渡していたスケジュールの作業完了予定日から

1週間待てどあがってこず

そろそろどうですか、と進捗状況を伺ったところ

ムリです、最初から分かるはずでしょう

と言われ、残りの作業まで手伝うことに。

途中経過の報告をお願いします、という

そちらが主体でやっているのだから

そちらから先に聞くべきだ

と言われる。

別の作業をお願いした場合も

「ただ、終えた」と言わんばかりの穴だらけの状況になり、

結局、確認作業に時間がかかる

依頼する側も、作業する側も、仕事の質が最低レベルだ！

いや、もはや仕事とは言えないかもしれない。

ここに頼むのは決まりごとだから

上手に進める方法をこちらが考えていかなければ、と

社会勉強になります。

一つの作業をするにも

続けていくうちに、自分独自の「型」を

見出していく

もっとも効率よくスピーディに仕上げるには

どの型がいちばん自分に合った型か

試行錯誤しながら

見出していく

一番よい型にはまったときには

無の境地

基本の方があ場合も

それを学ぶのと学ばないのでは

きっと美しさに違いが出る

歌もそう

基本の型を学んでこそ

表現するということが初めてできるのではないか

2013.08.28 Wed ほこり

---

壁一面を覆っていた大きなクローゼットを取り払ったら

ホコリまみれになったひとつの押し入れが現れたのだ

越してきてからきつと30年以上ぶり

たくさんのホコリを掃除機で吸い込みながら、

これは父が生きていた頃の...?

なんて思ったら、

ホコリさえも愛おしくなってきた

帰宅後午後8時頃の急に父が近くなったお掃除タイム。

## 2013.09.06 Fri 一年の行方

---

ゆうべは先生のソロコンサート打合せのため  
バンドマンたちの所にお邪魔した。

帰宅後、完徹仲間と明け方まで仕事しながら  
チラシ1本仕上げ、誕生日を迎えた。

これからの一年を象徴するかのような  
自分らしい37歳の幕開け。

あれこれと欲張らずに、今年は  
仕事メインで生きる、と決めた。

その中に、自分の好きな音楽があれば  
それでいい。



## 2013.09.09 Mon 麻の夏

---

今年の夏は本当に暑かった。

おそらく今まででいちばん暑い夏だった。

少々の暑さは平気な自分だけど、本当に今年はまいった。

どれくらい暑かったかというと

- ・ 毎年、エアコンはもちろん扇風機すらあまり使わないけれど、今年は扇風機を毎日使用。
- ・ その扇風機を回すと温風が発生。
- ・ エアコンのある母の部屋に逃げ込んでいた。
- ・ 水風呂に入りながらパソコン仕事ができないか、本気で考えた。
- ・ 肌にまとわりつく服がイヤで、綿100%の半袖Tシャツすら着たくなかった。

そう、わたしは麻の素材の服をよく着ていた。

麻の黒い長袖シャツを着て自転車通勤。軽くて、さらっとして、とても気持ちがいい。

身に着けるものなのに、麻は干渉しない。麻独特の質感を保つ。

- ・・・そんな麻の日々も過ぎて、肌に触れる衣服を着るようになった、9月。

まだ一緒にいたいよ、麻。

暑かったけど、やっぱり夏が好き。

今日はこんな気分。

2013.09.28 Sat 出あい

---

朝からたくさんの人と接した日  
図書館のカフェで  
先生のスタジオで  
てらおん開催の願正寺で。

カフェには  
話を聞きに行ったはずなのに  
いつの間にか立場が逆転したような・・・？

いつも、気持ちよく話を聞いてくれる  
しかも  
次々にわくわくするアイデアをくれる  
友人に感謝

## 2013.10.04 Fri 浄化

---

人間関係でいろいろあった今週は

自分自身に情けない気持ちから

とても穏やかになれない精神状態で。

とにかく、人のいないところに行きたかった

お疲れさまの人間同士、で山へ。

温泉に浄化された

風のおいに浄化された

無邪気な人に浄化された

## 2013.10.07 Mon ご縁に囲まれて

---

むかし仕事で知り合ったレポーターのユリさん。  
(その頃は名字で呼んでいたけど)

何年かぶりに再会し、facebookなどで近況を知るうちに  
彼女はヨガのインストラクターでもあることが分かった。

ヨガ? かつて『ヨガの奥義』という本を買ってみたものの、  
パラパラとめくるばかりで、自分一人でなかなかやろうとはしなかった。

ユリさんのヨガどんなんやろ? と興味津々だったわたしは  
無理を承知でお願いし、福岡から来てもらうことになった。

先月、自宅に来てもらい、既に一度お試しレッスンを6人で受けている。  
ゆっくりした呼吸とともに、なかなか使わない筋肉を動かしていると  
本当に気持ちがいい。

透明感のあるユリさんの声も、なんだか気の流れるようになるようで  
終わった後、「身体が整った」とすごく感じた。

次は10月27日。  
たくさんの人に来てもらいたい、と公民館のスペースを借りることに。

市の公民館はあいていなかったけど  
歩いて1分の所にある自治会の公民館が見つかった。  
しかも親友のお父さんが館長さんと判明!

利用手続きに自宅に伺うと、お父さんは嬉しそうにいろんな話をしてくれた。

こんなふうに、  
たくさんのご縁に囲まれ暮らしている日々。

2013.10.08 Tue あみだす

---

大学関連の新聞記事の切り抜きをし  
A4コピー用紙にそれを並べて貼るのも  
大学での広報の仕事です。  
(回覧&ストック用)

スティックのりを新聞の裏面の端っこギリギリに  
四辺つけても、角はよくピラピラしてしまいます。

ピラピラすると、コピー機に送りこんだとき  
端が折れて、記事にかぶり読めない・・・  
なんてことがよくあります。

週3日のこのお仕事を1年半ほどやっていますが、  
未だにそんなストレスを抱えていたのです。

でもついに、それを解決する策が！！

今日はなぜか、のりをつける際、  
四辺ではなく、角のあたりで1cmほど動かしていたら  
「あ、四隅にこれを施せば、  
あとでピラピラにならずに済むのかも！」  
とひらめいたわけです。

実際にしっかりとくっついてピラピラしません。

それから四隅の1cmほど内側から角に向かって  
のりをつけ、四辺にもつけるようになりました。

今は、自分で「型」をあみだしたかのような  
すがすがしく晴れやかな気分です。

「普通そうするよね？」みたいな突っ込みはなしで....。

ある意思が頭の中であって  
それについて思いめぐらせること  
言葉で表してみることに。

この段階ではまだ空に漂っているだけで  
実際に形をなしていない。

なのに半分くらい仕事が終わったような  
訳知り顔であとは風まかせ

本当に自分のものにするには？

頭や口を動かすよりも  
手足を動かす

思考の粒をかき集めて  
一つでもカタチにする。

佐賀市のホームページで知り申し込んだ、  
創業支援セミナー第1日目。

起業の「き」の字もまだ教わってない中、  
融資関係や助成金の話を各方面の3人の方から聞いた。  
まだ具体的にスケジュールを組んでいないけれど  
資金のようリアルな話をしてもらったことで  
妙に現実を突き付けられて参考になった。

20人程度の定員だったけど  
もっとたくさん受講していた気がする。

今、創業する方を後押しするような制度がたくさん出ているので、  
みなさんにとっては追い風ですよ、  
と笑顔でおっしゃる中小企業診断士の方。

あちこちで起業支援の話や、  
起業家精神を育てる取り組みのようなものが  
行われているので、なんとなくそうは感じるけど・・・

自転車で帰途につくまでの向かい風は強すぎて  
これからの道のりは風当たり強いのかも、  
とったり。

夢という言葉があんまり好きではなかった  
夢は何ですか？と聞かれても、  
夢という言葉はあまりにも漠然としすぎてて・・・

去年だったかな、  
ロバの音楽座のコンサートに行ったとき  
大きくなったら何になる？とステージ上で  
子どもたちに問いかけていた

このくらいが分かりやすくいいな、  
とっていた

でも今日は初めて  
「夢」のある場に心からわくわく感を覚えた

生まれも育ちも違う大人たちが一堂に集い  
創業への想いについて発表をする場

奥さんの燻製の技術を活かし夫婦で開くパン屋さん、  
世にあまり知られていないドキュメンタリー映画を広める事業、  
コーヒーをフィーチャーしたカフェ、  
佐賀県産のりと佐賀県の塩を使った塩のりの販売、  
コンテンツとご当地名産品を組み合わせたネット販売、  
今まで拠点のなかった人が店を構えての浄水器の販売、

などなど・・・  
これはいいなと思うものも、  
もう少し話を聞かないと見えないものもあったけれど  
実現できる、できないに関わらず、  
未来を描きながら手探りで進んでいる人が  
こんなにもいるのか、と心がふるえた  
わたしより年配の方もたくさんいることにも励まされた

これからも「夢」という言葉はあまり使わないだろう  
でも、すべての人の視線の先に、描く何かがあれば、



ユニークで面白い世の中になると思っている

## 2013.10.16 Wed 女にとって

---

メイク道具を無くした。

家中、探し回っても、黒い化粧ポーチが見つからない。

日焼け止め、リップクリーム、口紅、アイシャドウ、ベース、ファンデーション...  
歯磨きセットまで、全て一式入っていたのに！

週明けの朝はどうしようもなく、ほぼノーメイクで。

何とも落ち着かず挙動不審だったかもしれない。

よく、顔が薄い人と言われるけれど

いちおうこれでも最低限のメイクはしていた

飾るというより、「元気の証」としての顔色コントロール。

自分の意志でメイクをしない時とは違って

女にとってメイク道具を「無くす」というのは

武器を奪われたような？

とてつもない不安感に襲われるのだと知った

一つだけ思い当たる週末の仕事場に問い合わせしてみよう・・・

(年に1回くらいしか行かない)

※上記の通り、仕事場に探しに行き、無事見つかりました(10/17 木曜日)

## 2013.10.25 Fri やさしく走って

---

昨日の帰宅時。しとしと雨の中、歩道にいたわたしの横を猛スピードで走り抜けていく黒のワンボックスカー。ちょうどそこに深い水たまりがあり、突然のスプラッシュ・マウンテン状態！傘は差していたのに全身派手に水をかぶり、「Uh~Wah~！」と思わず叫ぶわたし・・・。

その後も、挑戦的にとばし続けた女性ドライバー。ナンバーも特徴的だったからぜってーわすれねー！（あ、失礼）

ドライバーの皆さん、雨の日は優しく走ってください。特に佐大から清和にかけての工事中の道では...（泣）陥没地点たくさんあります。

心にひっかかったものが

いつまでもとれず

自分に闇がつきまとう時でも

わざと笑ってみる

微笑んでみる

そうすると少し楽になる

笑うことで何か楽しいことを

見つけようという気になる

そして自然や人や物や

自分のそばにあるものを

いつもより大切に扱ってみる

はかない自分の存在が

その中にあると確かめられた後は

よくバランスを保ったね、と

自分で自分のことを

包み込んであげる

## 2013.11.22 Fri 最善を尽くす

---

「詩はどんな時に思い浮かびますか？」

「う～ん、悲しいとき、そして怒っているとき、かな」

ぽつりぽつり、会話をしながら、二人の時間は過ぎて行った  
朝子さんと一緒に過ごしたこの2日間は、わたしにとって、とても大切な時間だった

旅の疲れもあるだろうに3時過ぎまで話しこんだり  
大川温泉に行ったり、カレー屋さん「タージ」でのランチで  
ハウレンソウのカレーとトマトベースのカレーを分けあって食べたり。

1日目の発声ワークショップ、新聞を読んで参加してくれた人も含め5人が集まった。  
2日目のLIVEも、朝子さん、祐輔さん、そして来てくれた一人ひとりの  
あったかい気持ちとその空間に満ちていた気がして  
今でも思い出ただけで泣けてくる。

ドキドキしながら自分なりに動いて  
結果的にこんな形になった。

これはこれでとても素敵な時間を過ごせた、と思う。

けれど、これが「最善」だったかな？と  
一夜明けて自問自答した

何でも一人で動いてしまう、これはわたしのクセ。  
いつでもその様子は傍から見られていると思う。  
できることは手伝うよ、という人もいたかもしれないのに  
結局、自分の中でしか動いていない

"Best of the moment"

わたしは今、ベストを尽くしているか？  
わたしが作るものは、最善を尽くされたものか？  
わたしの心の状態は、曇りなく澄みきっているだろうか？  
わたしの仕事のやり方は・・・？

自分の生活の一瞬一瞬において、  
ベスト（最高、最善）なものを目指して行こうと思った。

てらおん79回目。

「来年は忙しくなりそうだから」  
と、大阪から今年最後の「てらおん」を観に来てくださった方。

「少しでも協力を」  
と、仕事で忙しい中、カメラを持って  
開場前に駆け付けてくださった方。

お客様は15名位のこぢんまりとしたコンサートだったけど  
一人ひとり、本当にありがたい。

それに比べて  
御本尊の名前を間違えるという  
大変な失態をしてしまったわたし。

やはりあの場では話すこと自体  
控えておくべきだったと、後悔しても時すでに遅し。  
本質をとらえていない自分が  
時々恥ずかしくなる。

「仏様は怒らないから大丈夫」  
「もうこれで次は間違えないよ」

とご住職は励ましてくださったけれど  
37年生きてきてこの有り様では  
やはり・・・残念すぎる。

風って不思議だな

やる気のない風

焦りの風

希望に満ちた風

心配の風

優しい風

そこに吹く風によって

目に見えなくても

何かが変化していく

そこにいる皆

風に吹かれているだけで

何か反応する

何も変わらないことを

あきらめるんじゃなく

そよかぜでもいい

風通しのよいところに

行くだけでいい

変わらないものはない

風に吹かれている限り

この命ある限り

・・・今年の3月3日、携帯に書きとめたこのメモを  
今日、なぜか思い出して読み返してみた。

自分が

吹かせていたのは



きっと

驕りの風、それと甘えの風だ。

長渕の歌を聴いていた

"NEVER CHANGE"というアルバムは  
若い頃、何百回聴いたか分からない

～傷つき打ちのめされても  
這い上がる力が欲しい

で始まる懐かしい歌詞。  
今聴くと、なぜか新鮮に胸に響く。

そして歌が  
STAY, STAY, DREAM～  
で終わると

自分の思い描いた夢は  
たった一つの存在と、ともに育てていくものと  
思っていたことに気づいた

さて、この心のやり場をどこにしよう

悔しくて悲しくて辛くて  
卑下、恨みという感情さえ湧き出でて  
昨日という時間は過ぎて行った

そして今朝、いつものように仕事に行く

いつものように仕事をしながら  
次第に穏やかな気持ちを取り戻していく

これも自然治癒力？  
いや、「自省治癒力」かもしれない

今の自分ではだめだという思い  
それを気づかせてくれた人に感謝。  
自分の立て直し、するぞ。

## 2013.12.13 Fri 髪を切る

---

先月、大財のSPAで髪を切った際に  
キャッシュバックキャンペーンがあったので  
12月限定の利用、ということで今日は  
カットに、カラーもお願いした。

10年通っている美容師さんなので  
髪質などもよく分かってきている

わたしが持っていったイメージを  
見ながら、良いように切ってくれた。  
少し短くしすぎたかな？  
帰りにムースワックスをドラッグストアで購入し  
今後のヘアスタイルの計画は  
なんとなくできた。

佐賀デイトスでのゴスペル出演。  
前に座って、あるいは足をとめて聴いてくれた人が  
20人くらいはいたような。

ダンスチームや昭栄中の吹奏楽部の後、  
ちょっと（だいぶ？）年齢層高めのわたしたちが、  
最後の出番をつとめた。  
放送部の生徒さんのアナウンスも上手ですばらしい。

ピアニスト不在のため、  
歌は打ち込みのCDに合わせ、苦労しながら歌った。  
それでも、聴きにきてくださったTさんが  
「いつも癒されています・・・」と最後に  
声を掛けてくれたのが救い。

主催者（スポンサー）に配慮できるような  
グループになるとなお良し、と思う。

夜は、典子さんとさがドラマスクールでの芝居を観に行った。  
脚本にも演出にもキャスティングにも一人ひとりの演技力にも  
いたく感動してしまった。

一人ひとりの力が集結してこれだけのものを  
作り上げるんだろうなと思うと、  
本当にすばらしい。

「風は吹いている」というタイトルで  
まさに、自分が書いた[『風』](#)の心境と  
リンクする話なのだった。

人生は山登りのようなもの  
登って行くまでの過程は希望があってもいいけれど  
それから下っていくのは辛くて厳しい

けれど

一生懸命生きている人のところに  
いい風は吹いてくるもんだよ

と風さんは言っていた。

時には風の声に耳をすませしてみるのもいい  
それは生きる道標となるかもしれない

## 2013.12.22 Sun 10th Glory Day

---

10回目の記念となるクリスマスコンサート開催。  
これほど準備期間が短いように感じたコンサートも初めて。  
そして当日も・・・。  
イベントの多いこの時期。日中、浪漫座は別のイベント開催。  
16:30～という厳しい時間制限の中、会場準備を始めた。  
客席・ステージセッティング・着替えは結局18:00までかかり  
開場ギリギリまでリハーサルをしたのも初めて。  
寒い中、早くから並んでいた方もいたので  
少しでも早く開けたかったけれど・・・

緊張するヒマもなく、  
いつものように、あれよあれよという間に本番突入。

今回、230名の方がわたしたちのコーラスを聴きに来てくださった。  
直接の知人も、いつもより多かったかもしれない。  
けれど、今年の自分は、きっと遠くにいる何かに向かって  
声を届けていた。

少しも後ろを向きたくなかった。  
負けない、逃げない、そんな思いを意識に取り込み  
今自分にできる限りの全てを出しきりたかった。

反省点はいっぱいあるけど、  
少しでも前進する気持ちを音楽にして  
伝えられたかなと思う。

会場の雰囲気はいつもより暖かかった。  
複雑な思いでいたけれど、  
どこまでも前向きなMCに改めて  
「かなわないな～」という  
敬意を覚えた。

## 2014.01.01 Wed 特別なこと

---

新年が明けました。

明ける前といえば

26日に大学での勤務を終えてからは

26日夜～27日は間借り仕事→自宅仕事→忘年会

28日も自宅仕事&サニースポット（摂食障害関連の茶話会）

29日はチャペルでのゴスペルLIVE鑑賞&温泉・映画・忘年会

30日はお昼から大掃除

といった流れで、

31日は母の手伝いで家具を3つ組み立て

（本棚・洗濯機ラック・ハンガーラック）

あと数時間で新年だ・・・、と時計を気にしつつ

お掃除で年が暮れて行きました。

21時頃からは母と夕食&なんとなく紅白歌合戦を観ながら

ゆっくりと過ごしていました。

おそばだけはわたしが調理しました。

（室長から信州土産で頂いたもの）

23時頃、数日前に栓を開け半分くらい残っていた赤ワインを

最後までグラスについだとき、横で見ていた母が

「空いた...！」

と一言。

「今年のお酒は今年のうちに」

とニヤリと応えると、大笑いされました。

そんな中、予定していた願正寺へ。

母をも巻き込み、除夜の鐘をつきに

出かけました。

たくさんの人と並んでいるときに年が明けました。

鐘は上手につけなかったけど

108以上はあると思われる煩悩の数々

少しは取り除けたでしょうか。



本堂にもお参りし

「南無阿弥陀仏・・・」とお念仏を唱え  
熊谷住職の読経とご法話を  
ありがたく聴かせていただきました。

「有り難し」という言葉、  
今の自分によく響いてきます。

これまでは  
親がいること、恋人がいること、仲間がいることを  
普通だ、当たり前だと思っていた自分。

でもこの年の暮れ、いろんなことがきっかけで  
それを「特別なこと」だと感じるようになっていました。

決して当たり前ではないことを感じながら、  
無の自分＝ニュートラルな状態であると思いたい。

それがわたしの新しい年のスタートです。

[シンガー](#)

[シンガーの他のレビューを見る»](#)

評価：★★★★★

沢知恵

コスモスレコーズ

¥ 2,709

(2008-08-20)

2011年4月、このアルバムに出逢いました。  
沢知恵さんが佐賀に来られ、  
聖書関連の会で歌うのを聴いた後  
CD販売コーナーで  
迷わず選んだアルバムです。

「シンガー」の中の歌はどれも、  
歌詞が、メロディが、深く心に入ってきます。

全体にわたってアレンジが秀逸。  
弾き語りのピアノの心地よさもあいまって  
何度もリピートして聴いてしまいます。

特に心に残った曲

『風に立つライオン』  
さだまささんの詞の世界観は彼本人にしか  
出せないと思っていた。  
でも、沢知恵さんが歌うと  
みずみずしい感性が吹きこまれた新しい物語として  
聴くことができる。  
アフリカを起源とするゴスペル「Kum ba yah」や  
「青い影」が曲中に使われている  
ところもニクイ(笑)

『一本の鉛筆』  
美空ひばりさんが自ら愛した平和を願う歌。

このアルバムで原曲を知ったけれど  
沢さん以外の歌手や合唱団が演奏するのを聴いても  
いまだにどんなリズムで歌っているのか分からない。  
よくこの難解なリズムの歌を合唱で歌えるなど感心する。

沢さんは、初めから終わりまでワルツのアレンジで進行。  
さりりとした中にも感じる言葉の重み、  
そして曲調の変化で、豊かに表現されている。  
「あなたに読んでもらいたい」の  
「あ」の一瞬の発声から、さりげなく迫ってくる。

### 『夕暮れ』

ブルーハーツの曲が見事に変貌。  
「はっきりさせなくてもいい／あやふやなままでいい」  
から始まり、明るく優しい口調で弾き語られている。  
最初は特に印象としては残っていなかったけれど  
一時、社会と離れた兄の空白期間を案じていたときに  
自分に寄り添ってくれた曲だった。  
この曲をきっかけに  
ブルーハーツに一目置くようになった。

### 『満月の夕べ』

おっと！この曲を忘れるところだった。  
実は、最初の数日は、この曲に迷わず1位をつけていたのに  
アルバムを聴きこんでいくうちに、  
他の曲にもそれぞれ惚れ込んでいった。  
いろんな人がカバーしている曲だけど  
ピアノの美しさといい、静かなイントロといい  
全体的に引き締まった感じといい  
やはり、沢さんが歌いあげるバージョンは  
一つの完成形だと思う。

ほかにも

### 『人生の贈り物』

### 『Time After Time』

### 『うみ』 『七つの子』 童謡メドレー

### 『男はつらいよ』

『小さな恋のうた』

『卒業』

『あなたも見ていたのか』

『ひこうき雲』

『スイート・メモリーズ』

『ブルー・ムンク』

(順不同)

・  
・  
・

といったように、

収録曲をすべて思い出せるくらい

折にふれ、よく聴いています。

わたしの中では、もはやカバーの域を超えた一枚。

2014.01.03 Fri 三が日

---

1日の夜、母が毎年購入している年賀状イラスト集  
(データCD付)を借りてはみたものの・・・  
竹ペンで落書きしているうちに  
自分のメッセージが浮かんできた

これを活かそう、と今年は自分で作ることに。  
絵を描きながら夜は更けていった

2日は、起きてから母の年賀状の印刷を手伝い  
また自分の年賀状の制作を再開。  
手描きのメインイメージをPCにとりこんだ  
結局、竹ペンではなく万年筆で描いた線を採用。

16時ごろ休憩&母の年賀状投函がてら外で食事。  
そこで、一人でもくもくとパスタを食べている  
男性を発見・・・母の昔の知り合いのN氏だった。  
7年ぶりくらいの再会に、一緒に食事をしながら  
ずいぶんと話しこんでしまった

帰宅して  
Illustratorで他の部分のデータも作り  
「塗り絵」のようなモノクロ版年賀状の完成。  
いよいよ「塗り絵」の段階へ。  
ここからが一番大変な作業だったかもしれない  
朝4時頃?終了

3日、起きて宛名を書き、昼過ぎ、やっと投函。

これが終われば出かける予定だったけれど、  
「仕事が...」  
わたしの立場を分かってくれる母に感謝

仕事も終わらせ、  
夕方から鳥栖のスリランカカレー店  
「LION CURRY」へ行ってみた

スパイスたっぷり、クセになりそう。  
吉野ヶ里温泉で初風呂も楽しんで帰宅。

よく母と過ごした3日だった。

<教訓>

年賀状の色は、プリンターにお任せしよう

2014.01.04 Sat 目覚め

---

夢みていたわけではなかった  
悲しみが降りそそいだ目覚めの朝

"miss someone"

自分の心をなぞれば  
ただひたすらにさびしく

だれかの心をなぞれば  
過ぎ去ってしまった時間だけが  
さらにさびしく重くのしかかる

朝から流れているのは  
長渕剛の

"Bye Bye 忘れてしまうしかない悲しみに"

昨年12月25日放送分の「クリスマスの約束」をやっと観た

吉田拓郎さん世代とは  
なんとなくギャップがあると感じていたけれど  
今回、小田さんの番組への出演を見て  
初めて吉田拓郎さんのことをカッコいいと思った  
歌からまっすぐに伝わってくる、気迫のようなもの

『人生を語らず』  
また、いい歌に出逢ったな（え、遅い？）

他にも印象に残ったのは  
ミスチル桜井さんとの共同作品？  
『パノラマの街』

JUJU・松たか子さんと歌った洋楽  
『What the world needs now is love』  
など。

気づいたらわたしは  
だれかの歌からコトバを拾い集めている  
きっと自分だけでは見つけれない何かを  
コトバの中に探しているんだ

<今日の出来事>

・昨日帰郷した兄が今日帰京（出発）した  
往路：高速バス（15時間） 復路：鈍行列車（青春18きっぷ使用）

・手作りのかぼちゃプリンを持って友達が訪問してくれた  
我が家で新年コーヒー会  
正月に久留米の成田山に行ったそうだ  
地獄絵図を見せられて  
こんな恐ろしい所だから、と御守などを盛んに勧められる



宗教にちょっと嫌気がさしたという

わたしも仏教と関わり合った新年  
相反する経験をしたことが面白かった

年末以降10日間も空けて大学での仕事始め。  
メダカは元気に生きていた。

メールをチェックし、広報誌を学内の各部局・機関に発送し  
学生さん達がこの冬も製造している日本酒について、  
瓶に貼るラベルを検討。

そうこうしているうちに、夕方になってしまい、  
年末年始の新聞のスクラップが  
時間内に間に合わず、1時間ほど残業。

元日、父たちが眠る妙念寺にお参りしたとき  
「月々のことば」から  
「先手」の重要性を教えられていたのに  
反省しきりの仕事始めとなってしまった。

将棋や囲碁で  
最初に石や駒を動かし試合を始める、つまり  
相手に先立って遅れずに行動をおこすことや  
先回りして自分の立場を有利にすることを  
先手を取ると表現する

先を越されたり、先に攻められ受け身になることを  
後手に回ると言う。

阿弥陀如来は遠い十劫も前から  
わたしを救うために働きかけておられるのだそうだ

願いをかけて、それをかなえてもらうというのが  
一般的な宗教であるが  
阿弥陀如来は常に先手で  
わたしたちのことを考えておられるという。

「救うが先手・たすかるは後手」と題して書かれた  
そんな「月々のことば」だったが、

先手＝先を読むということは  
発展性のある仕事や生活をするという意味で  
すごく重要だと思ったのだった。

先手の姿勢で行きたい。

## 2014.01.07 Tue ランチ

---

隣の課のTさんに誘ってもらい  
派遣社員3人で学食ランチ。  
まだ冬休み中の学生さんも多いみたいで  
ほとんど並ばず食事にありつけた。  
(混んでいるときは20分以上待つ行列になることも)

特にこれが食べたいという希望もなかったので  
バイキング方式のコーナーへ。  
ひじきの煮物、唐揚げ、サラダなど10品くらいとり  
重さを計測し1グラム1円でお会計、のはずが  
火曜日はさらに安く  
ご飯(90円)とお味噌汁(30円)合わせても  
318円という満足の内容!

お正月は何してたとか気軽な会話。  
人がそばにいる時には常に話しかけるTさんと  
入って間もないけれど、そう感じさせないHさんと  
いつになく賑やかなお昼を過ごし、息抜きになった。

昨年から仲良くなった友人がケーキやジャムなどを  
手作りして、よくおすそわけしてくれる  
彼女はおせちも自分で作ったのだそうだ

ウチにオーブンはないけれど  
わたしもなんとなく久々にお菓子を作りたい気分になり  
蒸しパンミックスを使って簡単に作ってみた

ミックス（粉）、卵2個、牛乳100cc、砂糖、油

材料はこれだけ。

混ぜて、大きめの容器に入れて、後は電子レンジが調理・・・  
ふかふかの蒸しパンとコーヒーは遅い朝食にちょうどよかった

オカリナ、ピアノの練習に来た母の友人達にも  
蒸しパンで新年のご挨拶をしようと  
コーヒーを淹れている最中、  
これまでのコーヒーの淹れ方が良くなかったことに気づいた

思い出したのは、植木への水やり。  
勢いよくではなく、ちょろちょろたっぷり、  
全体に行き渡るように、と母から教わった

コーヒーも一緒だ、と思い  
今までのように勢いよく淹れるのではなく  
ぽたぽたとやかんのお湯を数滴ずつ垂らす。  
今度は恐ろしく時間がかかり、濃くなってしまったけれど  
適量のコーヒーで  
ちょうど良い濃さにできるはずだ、と遅まきながら気づく。

動画もあったので参考にしよう。



一つのことを気になると  
順番そっちのけにしてしまうことが多々ある

帰ってきてから服も着替えずに取りかかったのが、  
買っておいた真エビの殻むき

ストックされたままのエビチリソースと  
真エビをなんとかしなければと思っていたのだ

キッチンで、寒さと殻付き真エビとの格闘

と言ってもエビ料理は久しぶりすぎて  
どんな処理をすればいいのか忘れたので  
ネットで調べておいた

「背わたをとること」  
とあったので、30尾ほどのエビの背わたを  
ひたすらとって、ふうと一息ついたのも束の間、  
背わたらしきものは別にあることに気づいた

わたしがとっていたのは  
わたのように黒くて最初に目についたものだった  
しかしそれは「背わた」ではなく  
じん帯のようなものだったらしい。

背わたというくらいだから背側にあるはず  
でも、一見、背に何も見当たらなかったのも  
お腹側の、とる必要のなかった部分と  
とってしまっていたのだ

背の入りこんだところにある細くて長いもの。  
引っ張ると、うまくつーっと抜ける時と  
途中で切れることがある  
腸のような膜に汚れたものが見えるので  
これが背わただと確信した

排泄物や砂が入っているらしい

本物の背わたを一からとったけれど  
もう少し判断力をつけたい自分である

ネギと玉ねぎ、チリソースと炒め  
無事にエビチリは完成した  
指にはエビの香りが残った



## 2014.01.10 Fri 仕事はじめ

---

図々しくも、間借りのワークスペースでの仕事はじめ。

最近では挽きたてコーヒーが楽しめる  
最強アイテムが登場！にもかかわらず、  
いつにもまして眠かった

明け方近くになると

焦りが出てくるせいか、目が冴えてくる。

帰路は、さんさんと降り注ぐ、まぶしい朝日を受け

人々が仕事へと急ぐ中、

一日の終わりを迎えたくない自分がある。

あきらめ傾向を直したい

アクションを起こし

それに反応が得られないと

いろいろと理由をつけて

もう、やめてしまおうかな・・・

なんて気持ちになる

でもある人の

「あきらめない精神」を何度か目にする機会があり

自分の思考のクセを考えさせられる

Stopすることがよい場合もある

けれど、単に後ろ向きの理由だけであるならば

基本的に「Go」は「Go」で行きたい

改めてそう思う。

\*\*\*\*\*

クリスマスライブの反省会は

一人ひとり気持ちのこもったものだった

メンバーそれぞれ、自分自身と向き合い

自分のグループと向き合い

反省やこれからの希望や自己肯定感を

自分の言葉で表した

共感もしたし、嬉しくもなった

自分の番には、

言いたいことは一つだけだったのに

なぜか、いろんな気持ちがごちゃまぜになり

話をしているうちに

なぜか涙がとまらなくなり申し訳なかった

「前に進むことだけを考えて歌った」

曲がりなりにも、その決意だけは  
心にとどめながら歌えたつもり。  
でも・・・  
まだまだ全部を肯定するには早い。

## 2014.01.12 Sun 結婚式

---

水色のドレスを身にまとい  
新しく家庭を築く2人の  
大切な結婚式のお手伝い

一つ目は人前式

賛美歌もお祈りもない

代わりに、司会の女性による式進行と

歌はディズニーソング

("A Whole New World""美女と野獣""星に願いを")、  
ミッキーとミニーのぬいぐるみによる指輪リレー。

立会人署名の際、

2人にご縁のある夫婦の名前が呼ばれたけれど

新郎の

「来てません」

には笑ったな。後から無事に来られました。

これも二人らしい結婚式を考えた結果の一つの形、

一つの「編集」と言えるんだろうな。

二つ目は教会式

新郎入場、新婦・新婦父入場の際

列席者が扉の方を注目する中

シンガーによる歌のタイミングを見計らって扉を開ける

・・・「け」っこんのアド「ヴァ」イスをお聴きください

外国人牧師が日本語で話す、祝福・お祈りの言葉

強調される子音・母音やアクセントを聴きながら

自分の発音の参考にしていた

日本人の日本語とは第一発声から別物だな、と

歌のプレゼントでは

新婦が目をキラキラさせて

シンガーの歌に聴き入っていた

一式目も二式目も

兄弟姉妹やおじいちゃん、お母さんの涙が

こちらにまで移ってきそうな式だった

光あるところに 人は集まる  
光に包まれて 人は笑顔になる  
むしろ 人が笑顔だと分かるのは  
光があるからかもしれない

目に焼き付けていた  
輝きにあふれた美しい街を  
華やかに打ち上がる花火を  
それは特別な今日だけの  
エールにも思えて

更けていく夜  
光もあれば闇もある  
一人ひとり、必ずある  
誰かが泣いているかもしれない  
でも 闇の中では気づく術がない

一筋の光を感じていたい



学生さんが住んでいる寮で、先週末火事がおこった。  
火元の一部屋が全焼。  
命をおとす人がいなかったのが何よりの幸いだけど  
火元の本人はじめ、寮生は本当に怖い思いをしたらろう。

出勤した際、現場で後片づけをした上司から  
写真を見せてもらったが、  
フロア全体に被害は及び、廊下のライトや備品など  
熱でぐにゃぐにゃに溶けていた。  
他の階もすすだらけ。  
本人の部屋は真っ黒に焦げ、何もかも燃やし尽くされていた。

火事はこれまでの生きてきた証の数々を奪ってしまう  
自分が持っているすべての「モノ」を失ったとしたら  
わたしは耐えられるだろうか。

お昼時、母が

「なんだか風邪っぽい、温まりたい  
辛い鍋食べに行かない？」

というので、（わたしは）久々の

「キッチン キム宅」へ。

韓国人の方が開いている

韓国家庭料理のお店。

着くやいなやメニューも見ず

タットリタンを注文する母。

待つこと20分くらい？で

一人用の鍋にアツアツの

タットリタンが運ばれて来た。

鶏肉とジャガイモがごろごろ

その他野菜も一緒に入った

真っ赤な辛いスープ

でも、食べた感じは強烈な辛さではなく

ふわっと甘さが残るような？

汗をかきながら

幸福感に包まれる食事だった

食べた後、残ったスープを

一旦キッチンに下げて

石焼きピビンバのようにしてくれる

これもイケル！

塩気の多い日本人が作る韓国料理と違って

良質の唐辛子と出汁で味付けをしているので

のどが渴くことはない

本当に自分好みの韓国料理だと思った

帰ってから、母と一緒にレモンの木を植えた



わたしが40になる頃までに  
実がなるかしら？と言っていた

雑誌「ミセス」2月号に  
大学の教授がとりあげられていたらしく  
パラパラとめくっていると、巻頭の  
「上野リチ」のデザインした  
ガマ口のバッグのイラストに  
まず目を引かれた  
たくさんの色を使っているのに落ち着きがあって  
かわいさもある  
白いページの真ん中にぽんと置かれたそのバッグの絵は  
さりげないコピーが添えられ、存在感があった

後でネットで調べてみると  
テキスタイルなどの装飾デザイナー  
もう50年も前に亡くなった人  
だということが分かった  
草花をモチーフにした繊細な線と  
上品かつ多彩な色づかいが特徴

2009年に上野伊三郎＋リチコレクション展が  
開催された（上野伊三郎は夫で建築家）頃の  
多くの関連記事はあるけれど  
今、話題にしている記事はほとんど見られない

今回、ミセスが光を照らしてくれたおかげで  
その存在を知ることができた

<今日の出来事2>

輪転機の排紙ボックスがいっぱいになったので  
交換したところ、  
インクがベタベタ手について真っ黒になった。  
しかし、そのインクの香りは、大川温泉（モール泉）  
とそっくりだったのだ

モール泉は植物の化石から湧き出た温泉  
（植物起源の有機質を含んだ温泉だそうだ）

印刷機のインクの原料と何か関係があるだろうか

<今日の出来事3>

\*Heartland のRock Ride 定期ライブが今年初のライブ。

後半数曲しか聴けなかったけど、行ってよかった

ななちゃんの相変わらずの気持ちよいビブラート

Jinさんのベースも、相変わらずの存在感で。

同じ歌を聴いても、

彼女の場合はいつも同じではないところがよい

それぞれ、人生経験豊富な

大人な人たちに会ってホッとした

太平洋戦争が終わっても29年間  
フィリピン・ルバング島のジャングルで潜伏し続けた  
元陸軍少尉小野田寛郎さんが  
16日に死去されたとニュースで報じられていた

この人のことを耳にしたことはあっても  
あまり気にもとめていなかった  
でも、最近、戦争を経験した人がどんどん亡くなっていく。  
自分の中で、形に残さなければという焦りが出てきた  
一人でも多くの戦争体験を・・・

小野田さんの考えや活動  
いくつか共感する部分もあり  
もう少し、語録を追ってみたいと思った

戦争に行った兵士達にとって、靖国神社という場所は  
「死んだら会おう」と約束した場所だったという。  
「国は私たちが死んだら靖国神社に祀ると約束しておいて、  
戦争に負けてしまったら、靖国など知らないというのは余りにも身勝手」  
という記述があった。

総理大臣による靖国参拝には賛成できない  
これまでの自分だったが、上記を読んで  
少し立ち止まって考えさせられた  
それでもやはり賛成はできないけれど。

昨日、紹介された小野田さんの言葉で印象的だったのは  
「その時代、時代で、人々は違うことを言っている  
時代に振り回されず、冷静に物事を考える必要がある」  
という主旨のもの。

すごく胸に響いた。  
「冷静に考える」ってなかなかできないこと。  
マスコミによる偏った報道、  
大多数がまとまるよう操作された意見。

そんな一方的な情報だけを真実だと信じて疑わないのは愚かだ。

なんとなくの方向へと進む今の社会を危惧する  
もちろん曖昧で無知な自分自身も。

真実を読む力をつけなければ。

2014.01.18 Sat こんぶ

---

仕事しながら口さみしいときがある  
でも、アメやガムはほとんど口にすることがない  
ちょこっとチョコレートと  
あったかい珈琲があれば幸せ

でもこのところ寒いので、食べたいな~と思っても  
わざわざ買いに出るのがおっくうになり  
家の中をごそごそ、と探したりしている

そこで見つけたのが  
キッチンのテーブルに影薄く  
ずっと残っていたおやつ昆布。  
中野のおやつこんぶ「おしゃぶり」

酢昆布は好きでたまに食べるけど  
ただの昆布だもんなあ、と  
あまり気は乗らないまま、口に入れてみる

・・・意外とイケル。  
口の中でふやけてきてトロツとなる  
ある程度、柔らかくなったところで噛み砕く  
やめられない、とまらない、というわけではなく  
口さみしくなってふと思い出した時に  
一切れずつ口に運ぶ、という感じがよい。

手も汚れずカロリーも低く、  
仕事中には理想的なおやつかも。  
今度は自分で買ってみよう

大切な結婚式の仕事で  
思い出すだけでも  
かなり落ち込むような  
サイテーな失敗  
ハプニングも重なったとはいえ  
今までで最大のミスだ

帰りに年上の仲間が付き添ってくれて  
冷静に「事」について振り返りながら  
明るく励ましてくれたけど  
もう二度と繰り返してはいけない

- ・ 客観的な冷静さと責任感
- ・ 主要ポイントを押さえ、全体をつかむ
- ・ 新しいことは一度目より二度目こそ注意

肝に銘じて、忘れない

## 2014.01.20 Mon センター試験

---

今年のセンター試験が昨日終わった  
大学の職員さんは当番制で出勤していて  
土日も出てきて疲れた様子だった  
「曜日の感覚がない」と言っていた

毎年、事故やミスがないように、と  
全国の会場がピリピリムードの2日間  
目立ったトラブルはなかったそうだが  
九大は1分早く試験時間を終えてしまったようで  
再試験の対象となっていたという

「1分あればあの問題が解けたという受験者が  
いるってことよね」

と話題にあがっていたけど  
ふと、自分の受験生時代を思い出した！

時間配分はすごく苦手だったことを・・・  
できる問題からやればいいのに、  
一つの問題が解けないと、そこから進めない  
結局空欄をたくさん作ってタイムオーバー  
なんてしょっちゅうだった

今も、生活と仕事のメリハリをつけたり  
計画的に仕事を運んでいったりする  
時間配分が苦手なところは  
変わっていない



今、一つひとつの行動を見つめて  
その行動自体がきちんと立っているか  
なんてことをイメージしていた

何をやっているのかハッキリと分からない  
自分でも説明できないような仕事はダメだ  
もちろん周りからも何をやっているか  
見えないような仕事ではダメだ

それは自分のやっていることをひけらかしたり  
鼻にかけたりということではなく  
「何をやっているのか？」  
常に、脳と行動がつながっている働きをする  
ということ

脱「ながら仕事」。

コンサルティングの会社に勤めていたときに  
給料天引きで購入した  
DELLのノートパソコン（vostro1320）。  
2009年6月から使っているが  
トラブルもほとんどなく、本当に使い勝手がよい  
通勤や出張で持ち運び、自宅でもまた使い  
いつも一緒に働いてくれる優秀な愛機  
しかしついにWindowsXPサポート終了とのこと。

どうしようか・・・

ということで何かヒントが得られるかもと思い  
WindowsXP移行対策セミナーに出かけた

NPO法人OCP総合研究所 理事長 桑山 義明氏からは  
もし新しいパソコンを買った場合、  
アクセサリ→システムツール→ファイルと設定の転送ウィザード  
へと自分のファイルを移行できる、といった  
具体的な方法のレクチャーを受けた

日本マイクロソフト社 エバンジェリスト 西脇 資哲氏からの話は  
セミナーというよりアツいプレゼンのようだった

「"買い替え"という言葉は使わないでください」  
と前置きされた。

買い替えというのは時期が来たから仕方なくという要素が含まれているが  
OSのバージョンアップは「投資」とお考えいただきたいとのこと  
なぜなら、このOSは仕事効率化やユーザビリティの向上につながる  
さまざまな利点があるから・・・

いかにWindows8が、自由にインタラクティブに操作でき  
仕事に役立つか、というクラウド利用の画期的な機能を  
熱意込めてかつ分かりやすく説明していただいた

最後の質疑応答コーナーで、出た質問はただ一つ

「クラウドというものがよく分かってないので教えてください」  
だった！（50代くらいの男性）

佐賀は、今、まだこのあたり。

こんな感じでIT発展途上の佐賀だけど  
最先端の情報は意識して取り入れていかなければ  
と思っている

Windows8の魅力もたっぷり聴けたことだし  
これからどうするか、考えよう。

駆け込みの申し込みにも応じてくれた佐賀商工会議所の方に感謝

新聞に新しくオープンした餃子店が載ってたよと  
先月、誰かが話していた

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2602571.article.html>

よく通る道沿いでもあるので、  
主婦たちが出入りするのを見ながら  
少し気になっていたお店・・・  
今日はふらりとそのお持ち帰り餃子店に  
立ち寄ってみた

20個入り500円、40個入り1,000円の餃子の販売だけで  
工場の直売店みたいなシンプルなお店だけど、  
佐賀県産豚100%使用のPRもよく効いて  
繁盛していそうな感じ。  
閉店1時間前に行ったら、冷凍餃子だけ残っていたので  
20個入りを購入。

帰って母に知らせたら、母も気になってたとのこと。  
自転車ってすぐ立ち寄れるからいいね、と言われた。  
仕事を優先してわたしは後日の試食。  
水餃子にした母は「美味しかったよ」とコメントをくれた。

## 2014.01.24 Fri 3時のおやつ

---

恒例の？木曜から金曜にかけての徹夜作業

プチリニューアルのHTMLメルマガ制作

画像ファイルがたくさんできた

後で整理しなければ・・・

午前3時のおやつは

- ・ さがほのか
- ・ グリコのヨーグルト
- ・ 挽きたてホットコーヒー

夜中0時から2時間ほど

かなり眠くてうとうとしてしまったけど

おやつの時間が来ると思うと

少しシャキットする

これからは休憩時間をほどよく設けよう

久しぶりに心からたくさん笑った気がする  
なんで笑っていたか思い出せないけど。

すごく可笑しいときの笑いというのは  
ぬるま湯みたいな笑いと違って  
顔全体がふにゃふにゃになるもので  
そんな感覚がすごく新鮮だった

楽しいことをしよう  
可笑しさを探してみよう  
と改めて思った  
土曜日夜明け前。

<今日の出来事>

待望のakiko Jazz Liveに行った  
2006年くらいに初めてアルバムを聴いて以来  
気になっていたアーティスト。  
7年越しくらいで生で聴くことができた！  
しかも、バンドはベース丹羽肇さんに、ギター田口悌治さんなど  
事前から本当にそそられっぱなしだった。

お客さんは佐賀の人ではなさそうな人も半分くらいいたような？

前から4番目くらいで、ちょうどakikoさんから斜め30度くらいで  
目が合う絶好の席。彼女の目ヂカラに圧倒されそうになりながら  
演奏に酔う、わたし。

かわいい声、そして少しハスキーな声、ぞくっとする大人の女性の声  
akikoさんの声にはいろいろな要素が含まれていて  
魅力を感じずにはいられなかった

そして、akikoさんがJAZZをどれだけ愛しているか、  
思い知らされた。

「2ndステージではわたしの新しいアルバム（Jazzの解説付き）  
の曲を主にやる予定なので、休憩時間にぜひ手に取って

解説を読みながら歌を楽しんでほしい」

なんて言うから

アルバム「Jazz Me Up」会場で買っちゃった！

まあ、そういうやり方には少ししたたかさを感じつつも

Jazzをもっと知ってほしい、という思いも伝わったし

2,500円のLIVE料金というお得感もあり

(佐賀市文化振興財団さんありがとう)

CDは、すすめられなくても手に入れていただろう。

「今日このバンドとは初めて会いました」

と話す、akikoさん。

なのに、ため息が出るような演奏のレベルの高さ！

しかもセッション感もたっぷり同時に味わえる

安心感バツグンのバンド。

わたしにとって

Jazzは憧れだ。

行き帰り送り迎えしてくれたNさんと

LIVE終了後、ベビフェで遅いディナー。

2014.01.26 Sun 感謝

---

国際下宿屋の10周年記念式典

at ホテルニューオータニ佐賀

FLASHもミニステージに出演させてもらった

県内大学の学長や理事なども招待され

かっちりとした式典

その中で歌うとは、なかなか微妙な雰囲気・・・

でも、いつも通り、歌ってきた

留学生たちの盛り上げもあって無事出番を終えた

帰り際、出席者の方が

歌っている表情もよくてよかったですよ

と後で話しかけてくださり嬉しかった

聴いてくれる人がいる

そして呼応する人がいる

というのは

なんて幸せなことなんだろう

なかなか歌うことのできない貴重な場で

歌わせてもらえることにも

感謝の念が芽生えた

NPO法人でもこんな立派な所でパーティができるんだねえ

とメンバーが素直な感想を言っていた

それだけしっかりした団体ということなんだろうな

よい取り組みが続きますように



2014.01.27 Mon 春雨

---

土曜日に、叔母から大きな白菜を2玉ももらった  
そして、家の台所の戸棚には春雨が何袋かある  
ということで  
帰りに豚肉を買って  
中華風炒め物を作ることにした

下味をつけた豚肉と、白菜をまず炒め  
少ししんなりしたら、春雨を投入、  
オイスターソースや醤油、鶏がらスープ、  
お酒、お水などで蒸し焼きにする

春雨がやわらかくなるまでに  
煮汁が全部とんでしまったりしたけど  
初めての春雨料理完成。  
美味しいしヘルシーだねと母に喜ばれた  
母は太刀魚のムニエルを作ってくれた

特に打合せもなく台所に立って  
一人一品を担当。  
こんな夕食もよい。  
霜降白菜の味は最高。

- ・ スモークサーモンとサラダ
- ・ 豚の角煮（万十の皮つき）
- ・ ピータン豆腐
- ・ 水餃子
- ・ 激辛麻婆豆腐
- ・ エビのマーラーソース炒め
- ・ レバーの家庭風炒め
- ・ 牡蠣のオイスターソース炒め
- ・ フカヒレスープ
- ・ ネギ入り塩ラーメン
- ・ 野菜入りチーズソースグラタン
- ・ 杏仁プリン

飲み物はビール 1 杯と紹興酒

以上、今日の晩ごはん。

母のリクエストでシャンリーの中華オーダーバイキングを  
頂きました。費用は誕生日の母持ちで・・・

本当にたくさんの香辛料が入っている麻婆豆腐と  
しゃきしゃきの食感（きゅうり？）が絶妙のピータン豆腐と  
とろとろでやわらかい豚の角煮がお気に入りでした。

3人で行ったのでいろいろ試せたけど  
体重増量がさらに加速しそうです。

ただ、胃の調子が万全でない

このオーダーバイキング、美味であり苦痛でもあるのです  
現に、わたし以外の2人が胃もたれして大変でした。

（一人は中華丼と春巻きをさらにオーダー）

母には何もいらないとされていたけど

小さなお花（じょうろ型の鉢植え）

いつかの写真を現像して

プレゼントとしました。